

# 船橋市障害福祉施策に関する 意識調査報告書

平成 30 年 1 月

船 橋 市



# 目 次

## 第1部 調査の概要

1 調査の目的と方法	1
2 調査ごとの設問項目	3
3 調査結果の概要	13

## 第2部 調査の結果

1 身体障害者を対象とした調査結果	37
【1】あなたご自身やご家族のことについてうかがいます	37
【2】あなたの障害のことについてうかがいます	41
【3】日常生活についてうかがいます	50
【4】保健・医療についてうかがいます	56
【5】情報・コミュニケーションについてうかがいます	59
【6】お住まいについてうかがいます	63
【7】保育・教育・療育についてうかがいます	70
【8】仕事についてうかがいます	75
【9】外出・バリアフリーについてうかがいます	83
【10】余暇活動についてうかがいます	87
【11】権利擁護についてうかがいます	89
【12】災害時など緊急の時の対応についてうかがいます	95
【13】障害者総合支援法についてうかがいます	99
【14】船橋市の障害者福祉についてうかがいます	119
2 知的障害者を対象とした調査結果	126
【1】あなたご自身やご家族のことについてうかがいます	126
【2】あなたの障害のことについてうかがいます	130
【3】日常生活についてうかがいます	137
【4】保健・医療についてうかがいます	143

【5】 情報・コミュニケーションについてうかがいます	146
【6】 お住まいについてうかがいます	148
【7】 保育・教育・療育についてうかがいます	154
【8】 仕事についてうかがいます	158
【9】 外出・バリアフリーについてうかがいます	166
【10】 余暇活動についてうかがいます	169
【11】 権利擁護についてうかがいます	170
【12】 災害時など緊急の時の対応についてうかがいます	177
【13】 障害者総合支援法についてうかがいます	179
【14】 船橋市の障害者福祉についてうかがいます	193

### 3 精神障害者を対象とした調査結果 ..... 200

【1】 あなたご自身やご家族のことについてうかがいます	200
【2】 あなたの障害のことについてうかがいます	204
【3】 日常生活についてうかがいます	213
【4】 保健・医療についてうかがいます	219
【5】 情報・コミュニケーションについてうかがいます	221
【6】 お住まいについてうかがいます	222
【7】 保育・教育・療育についてうかがいます	227
【8】 仕事についてうかがいます	230
【9】 外出・バリアフリーについてうかがいます	238
【10】 余暇活動についてうかがいます	241
【11】 権利擁護についてうかがいます	242
【12】 災害時など緊急の時の対応についてうかがいます	248
【13】 障害者総合支援法についてうかがいます	250
【14】 船橋市の障害者福祉についてうかがいます	263

4	施設入所者を対象とした調査結果	269
【1】	あなたご自身やご家族のことについてうかがいます	269
【2】	あなたの障害のことについてうかがいます	274
【3】	日常生活についてうかがいます	280
【4】	保健・医療についてうかがいます	283
【5】	情報・コミュニケーションについてうかがいます	286
【6】	外出・余暇活動についてうかがいます	288
【7】	権利擁護についてうかがいます	292
【8】	災害時など緊急の時の対応についてうかがいます	295
【9】	障害者総合支援法についてうかがいます	297
【10】	将来の生活についてうかがいます	303
【11】	船橋市の障害者福祉についてうかがいます	306
5	グループホーム入居者を対象とした調査結果	309
【1】	あなたご自身やご家族のことについてうかがいます	309
【2】	あなたの障害のことについてうかがいます	312
【3】	日常生活についてうかがいます	317
【4】	グループホームの入居についてうかがいます	321
【5】	将来の生活についてうかがいます	324
【6】	船橋市の障害者福祉についてうかがいます	326
6	一般市民を対象とした調査結果	329
【1】	あなたご自身のことについてうかがいます	329
【2】	障害のある人たちについての意識や交流についてうかがいます	330
【3】	船橋市の障害者施策についてうかがいます	339

## 第3部 人口推計

1	推計の基礎データ	351
2	推計結果	352



# 第1部 調査の概要





# 1 調査の目的と方法

## (1) 調査の目的

この調査は、障害のある方の生活実態などを把握し、今後の障害福祉施策の企画・推進の基礎的な資料を作成するために実施しました。

## (2) 調査方法

調査票の記入は、原則として本人が行うものとししました。ただし、本人による記入が困難な場合には、家族や支援者が本人の意向を確かめて記入するものとししました。

調査の種類	調査の対象	調査方法
1 身体障害者調査	身体障害者手帳を所持している市民から抽出	郵送配布、無記名による郵送回収
2 知的障害者調査	療育手帳を所持している市民から抽出	
3 精神障害者調査	市内の精神科医療機関に通院している市民に、医療機関を通じて配布	施設・医療機関にて配布、無記名による郵送回収
4 施設入所者調査	市内の障害者入所施設、精神科医療機関に入所・入院している市民に、施設・医療機関を通じて配布	
5 グループホーム入居者調査	市内のグループホームに入居している市民に、施設を通じて配布	施設にて配布、無記名による郵送回収
6 一般市民調査	住民基本台帳から、20歳以上の市民を抽出	郵送配布、無記名による郵送回収

## (3) 調査期間

平成29年8月10日（木）～平成29年9月10日（日）

#### (4) 調査主体

船橋市

#### (5) 集計・分析

株式会社 社会構想研究所

#### (6) 調査票の配布・回収状況

	配布数	回収数	無効票	有効回収数	有効回収率
1 身体障害者調査	2,500	1,445	0	1,445	57.8%
2 知的障害者調査	400	199	2	197	49.3%
3 精神障害者調査	400	145	0	145	36.3%
4 施設入所者調査	150	63	0	63	42.0%
5 グループホーム入居者調査	150	93	1	92	61.3%
6 一般市民調査	400	225	0	225	56.3%
合計	4,000	2,170	3	2,167	54.2%

#### (7) 利用にあたって

- ①調査結果の数値は、原則として回答率(%)で表記しています。
- ②表では、特別の表記がない限り、上段が実数、下段が割合(%)を表示しています。表中に「-」と表示してあるものは、回答者がいなかった場合です。
- ③アンケート調査を集計した数値は小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しています。そのため、質問に対する回答の選択肢が1つだけの場合、回答率(%)を全て合計しても、100.0%にならないことがあります。
- ④回答者数を分母として割合(%)を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると100%を超えることがあります。
- ⑤アンケート調査票の選択肢の文章が長い場合、図表中では選択肢を要約して表記していることがあります。
- ⑥回答者数が極端に少ないものについては、分析対象から外している場合があります。ただし、その場合でも調査結果には参考値として掲載しています。
- ⑦障害者の表記については、18歳未満の児童も含んでいます。

## 2 調査ごとの設問項目

※ 表中で網掛けをしている部分は「3 調査結果の概要」（13～35 ページ）に掲載している設問

### （1）身体障害者調査、（2）知的障害者調査、（3）精神障害者調査

大項目	小項目	身体障害	知的障害	精神障害
【1】基本属性	アンケートの記入者	問 1	問 1	問 1
	性別	問 2	問 2	問 2
	年齢	問 3	問 3	問 3
	同居家族	問 4	問 4	問 4
	主たる収入者	問 4-1	問 4-1	問 4-1
	世帯収入の種類	問 5	問 5	問 5
	居住地域	問 6	問 6	問 6
【2】障害のことについて	障害者手帳等の種類	問 7	問 7	問 7
	障害者手帳の等級	問 7	問 7	問 7
	障害者手帳の取得	問 7	問 7	問 7
	【身体障害者手帳】障害の種類（部位）	問 7-1	問 7-1	問 7-A1
	【身体障害者手帳】等級とサービスの認知	問 7-2	—	—
	【身体障害者手帳】取得しようと思ったきっかけ	問 7-3	—	—
	【身体障害者手帳】取得について案内された相手	問 7-4	—	—
	【身体障害者手帳】役立ったこと	問 7-5	—	—
	【療育手帳】取得しようと思ったきっかけ	—	問 7-2	—
	【療育手帳】取得について案内された相手	—	問 7-3	—
	【療育手帳】役立ったこと	—	問 7-4	—
	【精神障害者保健福祉手帳】取得しようと思ったきっかけ	—	—	問 7-B1
	【精神障害者保健福祉手帳】制度について知った機会	—	—	問 7-B2
	【精神障害者保健福祉手帳】役立ったこと	—	—	問 7-B3
	【自立支援医療（精神通院）受給者証】制度について知った機会	—	—	問 7-C1
【精神障害者保健福祉手帳、自立支援医療（精神通院）受給者証】疾患や障害の種類	—	—	問 7-D1	

第1部 調査の概要

大項目	小項目	身体障害	知的障害	精神障害
	【精神障害者保健福祉手帳、自立支援医療（精神通院）受給者証】申請での便利・不便	—	—	問 7-D2
	難病のための特定疾患医療受給者票の有無	問 8	問 8	問 8
	要介護認定の有無と要介護度	問 9	問 9	問 9
	誰かに相談したいこと	問 10	問 10	問 10
【3】日常生活・支援	ふだんの生活で困っていること	問 11	問 11	問 11
	相談相手	問 12	問 12	問 12
	身の回りの支援者（支援者との関係）	問 13	問 13	問 13
	主な支援者の年齢	問 13-1	問 13-1	問 13-1
	支援者亡きあとの不安	問 14	問 14	問 14
	支援者が支援できなくなった場合の対応	問 15	問 15	問 15
	支援を受ける上で困っていること	問 16	問 16	問 16
【4】保健・医療	医療の利用状況	問 17	問 17	問 17
	かかりつけ医の有無	問 18	問 18	問 18
	医療や健康管理で困ること	問 19	問 19	問 19
	病院や訓練施設の利用状況	問 20	問 20	問 20
	重度医療費助成の自己負担金の有無	問 21	問 21	—
	重度医療費助成の申請書・領収書簡略化の感想	問 21-1	問 21-1	—
【5】情報・コミュニケーション	コミュニケーションの程度	問 22	問 22	問 21
	情報収集や相談をするときに困ること	問 23	問 23	問 22
	【視覚障害】情報収集・コミュニケーションの方法	問 24	—	—
	【聴覚障害】情報収集・コミュニケーションの方法	問 25	—	—
	【聴覚障害】手話通訳者・要約筆記者の満足度	問 25-1	—	—
	【聴覚障害】手話通訳者・要約筆記者の不満理由	問 25-2	—	—
	【脳性まひや肢体不自由】意志を伝える場合に困ること	問 26	—	—
【6】住まい	現在の住まい	問 27	問 24	問 23
	今の住まいで困っていること	問 28	問 25	問 24
	住まいで改修したいところ	問 29	問 25-1	—
	改修時に最も難しいこと	問 29-1	問 25-2	—
	入所施設・グループホームでの生活経験	問 30	問 26	問 25

大項目	小項目	身体障害	知的障害	精神障害
	【自宅以外で生活した経験がある方】現在生活している場所	問 30-1	問 26-1	問 25-1
	【自宅以外で生活した経験がある方】自宅や一人暮らしへの移行した際に良かったこと・困ったこと	問 30-2	問 26-2	問 25-2
	将来希望する暮らし方	問 31	問 27	問 26
	【GH で暮らしたい方】障害者の GH への入居希望時期	問 31-1	問 27-1	問 26-1
	【GH に今すぐ入居したい方】障害者の GH へ入居していない理由	問 31-2	問 27-2	問 26-2
	【GH に将来的に入居したい方】将来の障害者の GH への入居希望時期	問 31-3	問 27-3	問 26-3
	【GH に今すぐ・将来的に入居したい方】障害者の GH への入居希望理由	問 31-4	問 27-4	問 26-4
	【GH に今すぐ・将来的に入居したい方】障害者の GH の選択基準	問 31-5	問 27-5	問 26-5
	現在の通園・通所・通学先	問 32	問 28	問 27
	中学校・高等学校卒業後の進路希望	問 33	問 29	問 28
【7】保育・教育・療育 ※25歳未満	【就学前の保護者】保育や療育で困っていること	問 34	問 30	問 29
	【在学中の保護者】学校や教育で困っていること	問 35	問 31	問 30
	【18歳未満】障害児へのサービスの利用	問 36	問 32	問 31
	【サービス利用者】利用しているサービスの満足度	問 36-1	問 32-1	問 31-1
	【サービス利用者】利用しているサービスの不満理由	問 36-2	問 32-2	問 31-2
	【18歳未満】今後の障害児のためのサービスの利用意向	問 37	問 33	問 32
		就労の有無と種類	問 38	問 34
【8】仕事 ※15歳以上	【働いている方】週労働日数と週労働時間	問 38-1	問 34-1	問 33-1
	【働いている方】現在の就労期間	問 38-2	問 34-2	問 33-2
	【働いている方】長期就労に必要なこと	問 38-3	問 34-3	問 33-3
	【働いている方】仕事で困っていることやつらいこと	問 38-4	問 34-4	問 33-4

大項目	小項目	身体障害	知的障害	精神障害
	【困ること・つらいことがある方】仕事に関することの相談先	問 38-5	問 34-5	問 33-5
	【困ること・つらいことがある方】就労が軌道にのるまでの相談員の支援の要不要	問 38-6	問 34-6	問 33-6
	【相談員の支援が必要な方】相談員の支援が必要な場合の訪問頻度	問 38-7	問 34-7	問 33-7
	【相談員の支援が必要な方】相談員の支援が必要な場合の支援期間	問 38-8	問 34-8	問 33-8
	【働いていない方】就労していない理由	問 38-9	問 34-9	問 33-9
	【働いていない方】就労希望の有無	問 38-10	問 34-10	問 33-10
	障害者の一般就労のために必要な支援	問 39	問 35	問 34
【9】外出・バリアフリー	外出の頻度	問 40	問 36	問 35
	【外出する方】外出の目的	問 40-1	問 36-1	問 35-1
	【ほとんど外出しない方】外出しない理由	問 40-2	問 36-2	問 35-2
	外出時の交通手段	問 41	問 37	問 36
	「社会全体のバリアフリー化」の推進に重要なこと	問 42	問 38	問 37
【10】余暇活動	余暇時間にしていること	問 43	問 39	問 38
	今後参加したい活動	問 44	問 40	問 39
	余暇活動時のヘルパーによる移動支援の要不要	問 44-1	問 41	問 40
【11】権利擁護	障害による差別を受けた経験	問 45	問 42	問 41
	障害者に対する市民の理解	問 46	問 43	問 42
	船橋市障害者虐待防止センター(はーふ)の認知状況	問 47	問 44	問 43
	障害者虐待の防止に必要な制度・体制	問 48	問 45	問 44
	成年後見制度の認知状況	問 49	問 46	問 45
	成年後見制度の利用意向	問 50	問 47	問 46
	船橋市障害者成年後見支援センターの認知状況	問 51	問 48	問 47
	「障害者差別解消法」の認知状況	問 52	問 49	問 48
	障害者に対する理解を深めるために大切なこと	問 53	問 50	問 49
障害者に対する理解を深めるための障害者自身の取り組み	問 54	問 51	問 50	

大項目	小項目	身体障害	知的障害	精神障害
【12】災害・緊急時の対応	緊急な病状になったときに不安なこと	問 55	問 52	問 51
	災害等で緊急に避難する場合に不安なこと	問 56	問 53	問 52
	ストマ装具の使用状況	問 57	—	—
	ストマの備蓄状況	問 57-1	—	—
	ストマの備蓄量	問 57-2	—	—
	災害時、市が提供するストマの利用の可否	問 57-3	—	—
【13】障害者総合支援法について	入所者・入院者の地域生活移行への考え方	問 58	問 54	問 53
	福祉的就労から一般就労への移行への考え方	問 59	問 55	問 54
	相談支援事業の利用状況	問 60	問 56	問 55
	【相談支援事業利用者】相談支援事業の満足度	問 60-1	問 56-1	問 55-1
	【相談支援事業に不満な方】相談支援事業の不満理由	問 60-2	問 56-2	問 55-2
	障害福祉サービスの満足度	問 61	問 57	問 56
	【障害福祉サービスに不満な方】障害福祉サービスの不満理由	問 61-1	問 57-1	問 56-1
	今後の障害福祉サービスの利用意向	問 62	問 58	問 57
	短期入所施設の利用経験	問 63	問 59	問 58
	【短期入所施設利用者】短期入所施設で利用を断られた経験	問 63-1	問 59-1	問 58-1
	【短期入所施設利用者】短期入所を利用する理由	問 63-2	問 59-2	問 58-2
	通所施設・事業所の利用状況	問 64	問 60	問 59
	【通所施設・事業所利用者】通所施設・事業所への通所手段	問 64-1	問 60-1	問 59-1
	【通所施設・事業所利用者】通所施設・事業所に通っている理由	問 64-2	問 60-2	問 59-2
	【通所施設・事業所不利用者】通所施設・事業所に通っていない理由	問 64-3	問 60-3	問 59-3
	自立支援医療の利用状況	問 65	問 61	問 60
	【自立支援医療利用者】自立支援医療を最初に知った機会	問 65-1	問 61-1	問 60-1
	【自立支援医療利用者】自立支援医療の満足度	問 65-2	問 61-2	問 60-2

第1部 調査の概要

大項目	小項目	身体障害	知的障害	精神障害
	【自立支援医療に不満な方】自立支援医療の 不満理由	問 65-3	問 61-3	問 60-3
	補装具の利用状況と種類	問 66	—	—
	補装具の満足度	問 66-1	—	—
	補装具の不満理由	問 66-2	—	—
	今後利用したい補装具の種類	問 67	—	—
	地域生活支援事業の利用状況と種類	問 68	問 62	問 61
	【日中一時支援事業利用者】日中一時支援事 業の改善要求	問 68-1	問 62-1	問 61-1
	【移動支援事業利用者】移動支援事業の改善 要求	問 68-2	問 62-2	問 61-2
	【移動支援事業利用者】通学通所支援の利用 状況	問 68-3	問 62-3	問 61-3
	【通学通所支援利用者】通学通所支援の改善 要求	問 68-4	問 62-4	問 61-4
	【入浴サービス事業利用者】入浴サービス事 業の改善要求	問 68-5	問 62-5	—
	障害福祉施設の過不足	問 69	問 63	問 62
	必要な障害福祉施設	問 69-1	問 63-1	問 62-1
【14】船橋市 の施策に ついて	福祉サービス情報の入手方法	問 70	問 64	問 63
	障害者・福祉施策用語で見聞きしたことのあるもの	問 71	問 65	問 64
	今後必要だと思う福祉施策	問 72	問 66	問 65
	自由回答	問 73	問 67	問 66



## (4) 施設入所者調査

大項目	小項目	
【1】基本属性	記入者	問1
	性別	問2
	年齢	問3
	施設の種類	問4
	現在の施設での入所年数	問5
	現在の施設への入所理由	問5-1
	施設の所在地	問6
	主たる収入者	問7
	世帯収入の種類	問8
【2】障害のことについて	障害者手帳等の種類	問9
	障害者手帳の等級	問9
	障害者手帳の取得年齢	問9
	【身体障害者手帳】障害の種類（部位）	問9-1
	難病のための特定疾患医療受給者票の有無	問10
	要介護認定の有無と要介護度	問10-1
	疾患や障害の有無と種類	問11
誰かに相談したいこと	問12	
【3】日常生活・支援	日中の過ごし方	問13
	施設・病院での生活の満足度	問14
	施設・病院での生活の不満	問15
	相談相手	問16
【4】保健・医療	医療の利用状況	問17
	かかりつけ医の有無	問18
	医療や健康管理で困ること	問19
	精神障害者入院費医療制度の認知状況	問20
	【精神障害者入院費医療制度を知っている方】精神障害者入院費医療制度を知った機会	問20-1
【5】情報・コミュニケーション	コミュニケーションの程度	問21
	【視覚障害】情報収集・コミュニケーションの方法	問22
	【聴覚障害】情報収集・コミュニケーションの方法	問23
	【聴覚障害】手話通訳者・要約筆記者の満足度	問23-1
	【聴覚障害】手話通訳者・要約筆記者の不満理由	問23-2
	【脳性まひや肢体不自由】意志を伝える場合に困ること	問24

大項目	小項目	
【6】外出・余暇活動	外出の頻度	問 25
	【外出する方】外出の目的	問 25-1
	【ほとんど外出しない方】外出しない理由	問 25-2
	「社会全体のバリアフリー化」の推進に重要なこと	問 26
	余暇時間に行っていること	問 27
	今後参加したい活動	問 28
【7】権利擁護	障害による差別を受けた経験	問 29
	船橋市障害者虐待防止センター(はーぷ)の認知状況	問 30
	障害者虐待の防止に必要な制度・体制	問 31
	成年後見制度の認知状況	問 32
	成年後見制度の利用意向	問 32-1
	船橋市障害者成年後見支援センターの認知状況	問 32-2
【8】災害・緊急時の対応	緊急な病状になったときに不安なこと	問 33
	災害等で緊急に避難する場合に不安なこと	問 34
【9】障害者総合支援法について	入所者・入院者の地域生活移行への考え方	問 35
	福祉的就労から一般就労への移行への考え方	問 36
	相談支援事業の利用状況	問 37
	【相談支援事業利用者】相談支援事業の満足度	問 37-1
	【相談支援事業に不満な方】相談支援事業の不満理由	問 37-2
	障害福祉サービスの利用状況と種類	問 38
	障害福祉サービスの満足度	問 38-1
	【障害福祉サービスに不満な方】障害福祉サービスの不満理由	問 38-2
	今後の障害福祉サービスの利用意向	問 39
	自立支援医療の利用状況	問 40
	【自立支援医療利用者】自立支援医療を最初に知った機会	問 40-1
【自立支援医療利用者】自立支援医療の満足度	問 40-2	
【自立支援医療に不満な方】自立支援医療の不満理由	問 40-3	
【10】将来の生活	将来希望する暮らし方	問 41
	【施設・病院で暮らしたい方】施設・病院で生活したい理由	問 41-1
	【施設・病院を退所・退院したい方】施設・病院を退所・退院したい理由	問 41-2
	【障害者のGHで暮らしたい方】今も施設・病院で暮らしている理由	問 41-3
【11】船橋市の施策について	福祉サービス情報の入手方法	問 42
	今後必要だと思う福祉施策	問 43
	自由回答	問 44

## (5) グループホーム (GH) 入居者調査

大項目	小項目	
【1】基本属性	性別	問 1
	年齢	問 2
	グループホームの所在地	問 3
	主たる収入者	問 4
	世帯収入の種類	問 5
【2】障害のことに ついて	障害者手帳等の種類	問 6
	障害者手帳の等級	問 6
	障害者手帳の取得年齢	問 6
	要介護認定の有無と要介護度	問 6-1
	誰かに相談したいこと	問 7
【3】日常生活・ 支援	相談相手	問 8
	グループホームに入居時の年齢	問 9
	グループホームに入居した理由	問 10
	グループホームでの生活の満足度	問 11
	グループホームで困っていること、不満に思っていること	問 12
	日中の過ごし方	問 13
	【通所している方】敷地内通所事業所の利用意向	問 13-1
	【敷地内通所事業所に通いたい方】敷地内で生活が完結することへの意見	問 13-2
【4】グループホーム 入居について	グループホーム入居前の暮らし	問 14
	グループホーム入居までの待機の有無と期間	問 15
	現在のグループホームに入居を決めた理由	問 16
	グループホーム入居後経過年数	問 17
	グループホーム入居箇所数	問 18
	グループホーム定員の最適人数	問 19
【5】将来の生活	将来希望する暮らし方	問 20
	【グループホームで一人で暮らしたい方】現在のグループホームの種類	問 21
	【グループホームで一人で暮らしたい方】サテライト型利用期間内での単身住居移行	問 21-1
	【グループホームで一人で暮らしたい方】支援員に支援してほしいこと	問 21-2
【6】船橋市の施策 について	自由回答	問 22

(6) 一般市民調査

大項目	小項目	
【1】基本属性	性別、年齢	問1
	船橋市の居住年数	問2
【2】障害のある人たちについての意識や交流	障害者への関心	問3
	障害者への差別認知	問4
	差別的な認識や行動の経験	問5
	差別的な扱いの目撃	問6
	障害者との活動経験	問7
	【障害者との活動経験がある方】経験の種類	問7-1
	【支援(手助け)をしたことがある方】被支援者の障害の種類	問7-2
	【支援(手助け)をしたことがある方】支援した印象	問7-3
	障害者のためのボランティア活動への参加経験	問8
	【ボランティア活動への参加経験がない方】したことがない理由	問8-1
	ボランティア活動への意欲	問9
	障害者の施設で働くことについて	問10
	【障害者の施設で働きたい方】働きたいと思った理由	問10-1
	【障害者の施設で働きたくない方】働きたくないと思った理由	問10-2
成年後見制度の認知状況	問11	
「市民後見人」への参加意向、興味	問11-1	
【3】船橋市の施策について	船橋市の障害者施策に関する考え	問12
	障害者に対する理解を深めるために大切なこと	問13
	障害者・福祉施策用語で見聞きしたことがあるもの	問14
	障害者週間記念事業の認知度	問15
	入所者・入院者の地域生活移行への考え方	問16
	福祉的就労から一般就労への移行への考え方	問17
	福祉サービス情報の入手方法	問18
	障害のある人が住みやすいまちをつくるために重要な市の取組	問19
	今後必要だと思う福祉施策	問20
自由回答	問21	

### 3 調査結果の概要

※ 表中で網掛けをしている部分は、クロス集計の結果の中で特徴のあった部分として、説明文で取り上げている項目を指します。

#### 1 基本属性

##### (1) 年齢

あなたは、何歳ですか。平成29年1月1日現在の満年齢でお答えください。

身体障害者調査では、「70～79歳」が33.0%で最も多く、次いで「80歳以上」が28.4%となっています。

知的障害者調査では、「20～29歳」が22.8%で最も多く、次いで「10～19歳」が20.8%となっています。

精神障害者調査では、「40～49歳」が29.0%、次いで「50～59歳」が22.8%となっています。

施設入所者調査では、「40～49歳」が42.9%、次いで「30～39歳」、「60～69歳」が14.3%となっています。

グループホーム入居者調査では、「40～49歳」が26.1%、次いで「50～59歳」が21.7%となっています。

平均年齢は、身体障害者調査は69.6歳、知的障害者調査は29.1歳、精神障害者調査、施設入所者調査、グループホーム入居者調査では40歳台であり、障害の種別によって大きく異なります。

図表1 年齢

	全体	0 ～ 9 歳	1 0 ～ 1 9 歳	2 0 ～ 2 9 歳	3 0 ～ 3 9 歳	4 0 ～ 4 9 歳	5 0 ～ 5 9 歳	6 0 ～ 6 9 歳	7 0 ～ 7 9 歳	8 0 歳 以上	無 回 答	平均 年 齢 ( 歳)
全体	2,167 100.0	50 2.3	60 2.8	107 4.9	142 6.6	231 10.7	221 10.2	323 14.9	532 24.6	428 19.8	73 3.4	61.2
身体障害者	1,445 100.0	26 1.8	15 1.0	8 0.6	42 2.9	75 5.2	110 7.6	241 16.7	477 33.0	410 28.4	41 2.8	69.6
知的障害者	197 100.0	24 12.2	41 20.8	45 22.8	25 12.7	28 14.2	17 8.6	8 4.1	1 0.5	1 0.5	7 3.6	29.1
精神障害者	145 100.0	-	2 1.4	8 5.5	23 15.9	42 29.0	33 22.8	14 9.7	7 4.8	5 3.4	11 7.6	48.7
施設入所者	63 100.0	-	-	1 1.6	9 14.3	27 42.9	8 12.7	9 14.3	6 9.5	-	3 4.8	49.8
グループホーム入居者	92 100.0	-	2 2.2	18 19.6	16 17.4	24 26.1	20 21.7	6 6.5	4 4.3	-	2 2.2	42.9
一般市民	225 100.0	-	-	27 12.0	27 12.0	35 15.6	33 14.7	45 20.0	37 16.4	12 5.3	9 4.0	53.9

## (2) 同居家族

あなたが一緒に暮らしている家族は、どなたですか。(あてはまるものすべてに○)

身体障害者調査では、「夫または妻（事実婚を含む）」が 56.7%で最も多く、「子」が 31.9%、「自分一人」が 19.7%となっています。

知的障害者調査では、「父母（夫または妻の父母を含む）」が 85.3%で最も多く、「兄弟姉妹」が 52.8%となっています。

精神障害者調査では、「父母（夫または妻の父母を含む）」が 37.9%で最も多く、次いで「自分一人」が 31.0%、「夫または妻（事実婚を含む）」が 22.1%となっています。

図表 2 同居家族

	全体	夫または妻 (事実婚を含む)	父母(夫または妻 の父母を含む)	子	孫	兄弟姉妹	その他の親族 (おじ、おば、 いとこなど)	友人や仲間など との共同生活	自分一人	無回答
全体	1,787 100.0	864 48.3	359 20.1	491 27.5	82 4.6	183 10.2	19 1.1	14 0.8	333 18.6	48 2.7
身体障害者	1,445 100.0	820 56.7	136 9.4	461 31.9	79 5.5	58 4.0	8 0.6	11 0.8	284 19.7	37 2.6
知的障害者	197 100.0	12 6.1	168 85.3	6 3.0	-	104 52.8	6 3.0	1 0.5	4 2.0	4 2.0
精神障害者	145 100.0	32 22.1	55 37.9	24 16.6	3 2.1	21 14.5	5 3.4	2 1.4	45 31.0	7 4.8

## 2 日常生活について

## (1) 日常生活で困っていること

あなたは、ふだんの生活で気になったり、困ったりしていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

身体障害者調査、知的障害者調査では「病気やけがのこと」が最も多く、精神障害者調査では「家計や暮らしの経済的なこと」となっています。

「友人・知人との付き合い」という回答は、知的障害者調査(22.3%)、精神障害者調査(24.1%)では2番目に多く、身体障害者調査では「買い物」(19.0%)が2番目に多くなっています。

図表 3 日常生活で困っていること

	全体	買い物	ごみ出し	食事の準備 (調理など)	部屋の掃除	洗濯	防犯	家計や暮らしの 経済的なこと
全体	1,787 100.0	323 18.1	174 9.7	225 12.6	260 14.5	128 7.2	123 6.9	305 17.1
身体障害者	1,445 100.0	274 19.0	150 10.4	167 11.6	197 13.6	97 6.7	83 5.7	222 15.4
知的障害者	197 100.0	26 13.2	13 6.6	34 17.3	32 16.2	20 10.2	23 11.7	36 18.3
精神障害者	145 100.0	23 15.9	11 7.6	24 16.6	31 21.4	11 7.6	17 11.7	47 32.4
	家族や親戚との 関係	近所付き合い	友人・知人との 付き合い	普段の話し相手	病気やけがのこと	その他	無回答	
全体	127 7.1	122 6.8	177 9.9	163 9.1	457 25.6	278 15.6	533 29.8	
身体障害者	82 5.7	77 5.3	98 6.8	104 7.2	370 25.6	241 16.7	450 31.1	
知的障害者	17 8.6	20 10.2	44 22.3	26 13.2	47 23.9	23 11.7	66 33.5	
精神障害者	28 19.3	25 17.2	35 24.1	33 22.8	40 27.6	14 9.7	17 11.7	

## (2) 支援してくれる人との関係

あなたは身の回りのことについて、どなたから支援を受けていますか。(あてはまるものすべてに○、最も機会が多い人には◎)

最も機会の多い支援者について見ると、身体障害者調査では「夫または妻（事実婚を含む）」が30.9%、「子」が14.3%となっています。

知的障害者調査では「父母（夫または妻の父母を含む）」が69.5%を占めています。

精神障害者調査では「父母（夫または妻の父母を含む）」が29.0%で最も多く、次いで「夫または妻（事実婚を含む）」が10.3%となっています。

図表4 身の回りの支援者（最も機会の多い人）

	全体	（事実婚を含む） 夫または妻	子	孫	父母（夫または妻の父母を含む）	兄弟姉妹	祖父母	その他の親族（おじ、おば、いとこなど）
全体	1,787 100.0	467 26.1	210 11.8	3 0.2	267 14.9	43 2.4	2 0.1	6 0.3
身体障害者	1,445 100.0	447 30.9	206 14.3	3 0.2	88 6.1	27 1.9	1 0.1	4 0.3
知的障害者	197 100.0	5 2.5	-	-	137 69.5	8 4.1	1 0.5	2 1.0
精神障害者	145 100.0	15 10.3	4 2.8	-	42 29.0	8 5.5	-	-
	近所の人	友人・知人	ホームヘルパー	施設の職員	ボランティア	その他	無回答	
全体	7 0.4	17 1.0	43 2.4	39 2.2	2 0.1	45 2.5	636 35.6	
身体障害者	7 0.5	14 1.0	35 2.4	31 2.1	1 0.1	42 2.9	539 37.3	
知的障害者	-	-	-	4 2.0	-	-	40 20.3	
精神障害者	-	3 2.1	8 5.5	4 2.8	1 0.7	3 2.1	57 39.3	



## (3) 支援を受ける上で困っていること

あなたが支援を受ける上で困っていることは、どのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

身体障害者調査では、「支援してもらうことに気を使う」が24.4%、「経済的な負担が大きい」が18.6%となっています。また、「特にない」は28.2%となっています。

知的障害者調査では、「言いたいことがうまく伝わらない」が50.3%と最も多く、身体障害者調査と精神障害者調査の割合を大幅に上回っています。

精神障害者調査では、「支援してもらうことに気を使う」が24.1%、「経済的な負担が大きい」が23.4%となっています。また、「特にない」は29.7%となっています。

図表 5 支援を受ける上で困っていること

	全体	支援してもら うことに気 を使う	経済的 な負担が 大きい	言 いたい こと が う ま く 伝 わ ら な い	支 援 者 の 代 わ り に な る 人 が い な い	支 援 の こ と を 相 談 す る 人 が い な い	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全体	1,787 100.0	404 22.6	333 18.6	262 14.7	228 12.8	132 7.4	48 2.7	483 27.0	382 21.4
身体障害者	1,445 100.0	352 24.4	269 18.6	139 9.6	151 10.4	98 6.8	32 2.2	408 28.2	340 23.5
知的障害者	197 100.0	17 8.6	30 15.2	99 50.3	51 25.9	24 12.2	9 4.6	32 16.2	25 12.7
精神障害者	145 100.0	35 24.1	34 23.4	24 16.6	26 17.9	10 6.9	7 4.8	43 29.7	17 11.7

### 3 情報・コミュニケーションについて

#### (1) 困りごとや悩みの相談先

あなたは、日常生活で困ったことや悩み事について、どなたに相談していますか。  
(あてはまるものすべてに○)

身体障害者調査では、「家族・親族」が 58.6%で最も多く、次いで「医師・看護師等」が 16.7%、「仲間・友人・知人」が 15.7%となっています。

知的障害者調査では、「家族・親族」が 63.5%で最も多く、次いで「施設の職員、ホームヘルパー」が 16.2%となっています。

精神障害者調査では「医師・看護師等」が 65.5%で最も多く、身体障害者調査及び知的障害者調査と比べて特に多くなっています。

図表 6 相談相手

	全体	家族・親族	仲間・友人・知人	近所の人	施設の職員、ホームヘルパー	相談支援事業者	医師・看護師等	障害者団体・家族の会	病院の相談員
全体	1,787 100.0	1,048 58.6	294 16.5	56 3.1	235 13.2	72 4.0	356 19.9	26 1.5	74 4.1
身体障害者	1,445 100.0	847 58.6	227 15.7	53 3.7	177 12.2	44 3.0	242 16.7	15 1.0	40 2.8
知的障害者	197 100.0	125 63.5	24 12.2	2 1.0	32 16.2	19 9.6	19 9.6	7 3.6	3 1.5
精神障害者	145 100.0	76 52.4	43 29.7	1 0.7	26 17.9	9 6.2	95 65.5	4 2.8	31 21.4
	・民生委員 ・児童委員	身体障害者相談員・知的障害者相談員	市の窓口	保健所・保健師	その他	相談する相手がいない	相談はしない	無回答	
全体	47 2.6	29 1.6	54 3.0	16 0.9	87 4.9	51 2.9	201 11.2	178 10.0	
身体障害者	40 2.8	19 1.3	44 3.0	7 0.5	71 4.9	46 3.2	173 12.0	146 10.1	
知的障害者	1 0.5	10 5.1	6 3.0	1 0.5	11 5.6	2 1.0	20 10.2	28 14.2	
精神障害者	6 4.1	-	4 2.8	8 5.5	5 3.4	3 2.1	8 5.5	4 2.8	

## (2) 情報収集や相談をするときに困っていること

あなたが情報収集や相談をするときに困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

各調査とも「どこに問い合わせたらよいかわからない」が最も多く、「身近な場に相談するところがない」が続きます。また、「特に困っていない」は身体障害者調査と精神障害者調査で過半数に達しています。

図表 7 情報収集や相談をするときに困ること

	全体	身近な場に相談する ところがない	電話やファクシミリを使った 情報収集や相談がしにくい	インターネットを使った 情報収集や相談がしにくい	点字や録音テープなどによる 情報提供が少ない	相談先で、周りの人に 相談内容が聞こえてしまう	どこに問い合わせたらよいか わからない	その他	特に困っていない	無回答
全体	1,787 100.0	178 10.0	110 6.2	128 7.2	11 0.6	31 1.7	238 13.3	50 2.8	925 51.8	345 19.3
身体障害者	1,445 100.0	126 8.7	79 5.5	94 6.5	11 0.8	17 1.2	168 11.6	35 2.4	766 53.0	302 20.9
知的障害者	197 100.0	31 15.7	17 8.6	16 8.1	-	4 2.0	40 20.3	10 5.1	85 43.1	37 18.8
精神障害者	145 100.0	21 14.5	14 9.7	18 12.4	-	10 6.9	30 20.7	5 3.4	74 51.0	6 4.1

## 4 保育・教育・療育について（※25歳未満の方とその保護者の方が対象）

### （1）学校教育修了後の希望進路

あなたは、中学校・高等学校卒業後の進路について、どのように考えていますか。  
（どれか1つに○）

身体障害者調査では、「高等学校・大学・短期大学に進学したい」が21.7%で最も多く、次いで「特に考えていない」が17.4%、「通所施設（作業所等を含む）を利用したい」が15.2%となっています。

知的障害者調査では「通所施設（作業所等を含む）を利用したい」が32.5%と最も多く、次いで「一般企業や役所に就職したい」が14.5%で続いています。

図表 8 中学校・高等学校卒業後の進路希望

	全体	高等学校・大学・短期大学に進学したい	専修学校・専門学校に進学したい	高等技術専門校に進学したい	一般企業や役所に就職したい	通所施設（作業所等を含む）を利用したい	障害者の入所施設を利用したい	特に考えていない	その他	無回答
全体	134 100.0	17 12.7	3 2.2	2 1.5	17 12.7	34 25.4	4 3.0	16 11.9	5 3.7	36 26.9
身体障害者	46 100.0	10 21.7	-	1 2.2	3 6.5	7 15.2	2 4.3	8 17.4	2 4.3	13 28.3
知的障害者	83 100.0	4 4.8	3 3.6	1 1.2	12 14.5	27 32.5	2 2.4	8 9.6	3 3.6	23 27.7
精神障害者	5 100.0	3 60.0	-	-	2 40.0	-	-	-	-	-

## 5 仕事について（※15歳以上の方が対象）

## （1）就労の有無と種類

あなたは、現在働いて（収入のある仕事に就いて）いますか。（どれか1つに○）

身体障害者調査・精神障害者調査では「働いていない」が過半数に達しています（ただし、身体障害者調査では回答者の大半が60歳以上であることに留意する必要があります）。一方、知的障害者調査では、「働いていない」は31.1%です。

就労の種類については、身体障害者調査では「一般就労（一般枠）」、「一般就労（障害者枠）」を合わせて9.9%、「臨時雇、パート、アルバイト、派遣など」が2.6%となっています。

精神障害者調査では「一般就労（一般枠）」、「一般就労（障害者枠）」を合わせて11.4%、「臨時雇、パート、アルバイト、派遣など」が7.6%となっています。

知的障害者調査については、「福祉作業所、就労支援施設などでの「福祉的就労」」が28.4%と他の障害種別と比べて多くなっています。

図表 9 就労の有無と種類

	全体	（一般就労） （一般枠）	（一般就労） （障害者枠）	臨時雇、パート、 アルバイト、 派遣など	自営業	家庭内職	福祉作業所、 就労支援施設などでの 「福祉的就労」	その他	働いていない	無回答
全体	1,652 100.0	91 5.5	93 5.6	54 3.3	45 2.7	6 0.4	63 3.8	17 1.0	847 51.3	436 26.4
身体障害者	1,372 100.0	77 5.6	59 4.3	35 2.6	41 3.0	5 0.4	17 1.2	14 1.0	712 51.9	412 30.0
知的障害者	148 100.0	1 0.7	32 21.6	9 6.1	- -	- -	42 28.4	3 2.0	46 31.1	15 10.1
精神障害者	132 100.0	13 9.8	2 1.5	10 7.6	4 3.0	1 0.8	4 3.0	-	89 67.4	9 6.8

## (2) 就業日数・就労時間

あなたは、週に何日間・合計何時間程度働いていますか。

1週間あたりの就業日数は、いずれの調査でも、週5日が最も多くなっています。

1週間あたりの就労時間は、身体障害者調査では31～40時間、知的障害者調査では21～30時間、精神障害者調査では6～10時間が最も多くなっています。

図表 10 1週間あたりの就業日数

	全体	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
全体	369 100.0	8 2.2	17 4.6	26 7.0	37 10.0	210 56.9	23 6.2	4 1.1	44 11.9
身体障害者	248 100.0	6 2.4	11 4.4	21 8.5	26 10.5	139 56.0	18 7.3	3 1.2	24 9.7
知的障害者	87 100.0	- -	2 2.3	2 2.3	6 6.9	58 66.7	5 5.7	1 1.1	13 14.9
精神障害者	34 100.0	2 5.9	4 11.8	3 8.8	5 14.7	13 38.2	- -	- -	7 20.6

図表 11 1週間あたりの就労時間

	全体	5時間以下	6～10時間	11～20時間	21～30時間	31～40時間	41時間以上	無回答
全体	369 100.0	42 11.4	56 15.2	45 12.2	57 15.4	78 21.1	46 12.5	45 12.2
身体障害者	248 100.0	27 10.9	28 11.3	32 12.9	31 12.5	56 22.6	42 16.9	32 12.9
知的障害者	87 100.0	7 8.0	19 21.8	10 11.5	23 26.4	20 23.0	1 1.1	7 8.0
精神障害者	34 100.0	8 23.5	9 26.5	3 8.8	3 8.8	2 5.9	3 8.8	6 17.6

## (3) 仕事で困っていること

【現在働いていると回答した人に対する設問】あなたが仕事をする上で、困ったり、つらいことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「収入が少ない」が身体障害者調査(22.2%)、知的障害者調査(25.3%)、精神障害者調査(41.2%)で最も多く、身体障害者調査では「通勤が大変」が19.4%、知的障害者調査(17.2%)、精神障害者調査(35.3%)では「職場の人間関係」が続きます。

図表 12 仕事で困っていることやつらいこと

	全体	通勤が大変	収入が少ない	肉体的につらい	仕事が合わない	職場の人間関係	職場の環境が整備されていない	職場の中で支援者を得にくい	その他	困ったり、つらいことは特にない	無回答
全体	369 100.0	62 16.8	91 24.7	54 14.6	14 3.8	56 15.2	16 4.3	22 6.0	21 5.7	121 32.8	41 11.1
身体障害者	248 100.0	48 19.4	55 22.2	41 16.5	9 3.6	29 11.7	11 4.4	10 4.0	13 5.2	88 35.5	27 10.9
知的障害者	87 100.0	8 9.2	22 25.3	8 9.2	3 3.4	15 17.2	2 2.3	10 11.5	5 5.7	28 32.2	9 10.3
精神障害者	34 100.0	6 17.6	14 41.2	5 14.7	2 5.9	12 35.3	3 8.8	2 5.9	3 8.8	5 14.7	5 14.7

### (4) 障害のある人の一般就労のため必要なこと

あなたは、障害のある人が、企業などで一般就労するためには、どのような支援が必要だと思いますか。(主なもの3つまでに○)

身体障害者調査では、「障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務体制の支援」が25.7%で最も多く、「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」が20.4%で続いています。

知的障害者調査では、「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」が37.2%で最も多く、「職場を理解するための就労体験・実習」が24.3%、「障害の特性にあった職業・雇用の拡大」が23.6%で続いています。

精神障害者調査では、「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」が38.6%で最も多く、「障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務体制の支援」が34.1%、「働くための知識・能力を身につける職業訓練」が27.3%で続いています。

図表 13 障害者の一般就労のため必要な支援

	全体	就労までの総合的な相談支援	仕事探しからの総合的な相談支援	働くための知識・能力を身につける職業訓練	職場を理解するための就労体験・実習	職場を理解するための就労体験・実習	障害の特性にあった職業・雇用の拡大	障害者向けの求人情報の提供	障害理解を促進するための職場への働きかけ	職場のバリアフリー化	障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務体制の支援	職場に定着するため	その他	特にない	無回答
全体	1,652 100.0	386 23.4	198 12.0	130 7.9	329 19.9	153 9.3	178 10.8	93 5.6	418 25.3	75 4.5	22 1.3	117 7.1	740 44.8		
身体障害者	1,372 100.0	280 20.4	137 10.0	81 5.9	264 19.2	128 9.3	131 9.5	88 6.4	353 25.7	33 2.4	18 1.3	99 7.2	662 48.3		
知的障害者	148 100.0	55 37.2	25 16.9	36 24.3	35 23.6	15 10.1	25 16.9	3 2.0	20 13.5	23 15.5	4 2.7	7 4.7	46 31.1		
精神障害者	132 100.0	51 38.6	36 27.3	13 9.8	30 22.7	10 7.6	22 16.7	2 1.5	45 34.1	19 14.4	-	11 8.3	32 24.2		



## 6 外出について

## (1) 外出の頻度

ふだん、あなたは週に何日くらい外出しますか。(どれか1つに○)

身体障害者調査では、「ほとんど毎日」が28.0%、「週に3～5日程度」が25.3%となっています。

知的障害者調査では、「ほとんど毎日」が59.4%、「週に3～5日程度」が22.8%となっています。

精神障害者調査では、「ほとんど毎日」が47.6%、「週に3～5日程度」が33.8%となっています。

一方、施設入所者調査では、「ほとんど外出しない」が過半数を占めています。

図表 14 外出頻度

	全体	ほとんど毎日	週に3～5日程度	週に1～2日程度	ほとんど外出しない	無回答
全体	1,850 100.0	594 32.1	465 25.1	371 20.1	233 12.6	187 10.1
身体障害者	1,445 100.0	404 28.0	365 25.3	321 22.2	184 12.7	171 11.8
知的障害者	197 100.0	117 59.4	45 22.8	14 7.1	11 5.6	10 5.1
精神障害者	145 100.0	69 47.6	49 33.8	18 12.4	5 3.4	4 2.8
施設入所者	63 100.0	4 6.3	6 9.5	18 28.6	33 52.4	2 3.2

## 7 余暇活動について

### (1) 余暇時間にしていること

あなたは、時間に余裕があるときにどのようなことをしていますか。(あてはまるものすべてに○)

各調査とも「家でゆっくりくつろぐ」が最も多く、知的障害者調査、精神障害者調査、施設入所者調査で約8割、身体障害者調査で約6割となっています。

図表 15 余暇時間にしていること

	全体	家でゆっくりくつろぐ	家で趣味、読書、学習活動などを行う	家の周りを散歩(散歩)する	友人や知人と会って交流を深める	デパートや店などに出かける	観劇、映画、音楽、行事などへ行く	スポーツに出かける	図書館や博物館などへ行く	その他	特に何もしない	無回答
全体	1,850 100.0	1,175 63.5	441 23.8	484 26.2	424 22.9	447 24.2	328 17.7	180 9.7	155 8.4	116 6.3	118 6.4	180 9.7
身体障害者	1,445 100.0	861 59.6	330 22.8	375 26.0	356 24.6	325 22.5	242 16.7	142 9.8	121 8.4	91 6.3	101 7.0	170 11.8
知的障害者	197 100.0	152 77.2	56 28.4	49 24.9	26 13.2	66 33.5	43 21.8	17 8.6	12 6.1	10 5.1	9 4.6	7 3.6
精神障害者	145 100.0	111 76.6	42 29.0	50 34.5	36 24.8	47 32.4	40 27.6	19 13.1	20 13.8	11 7.6	4 2.8	2 1.4
施設入所者	63 100.0	51 81.0	13 20.6	10 15.9	6 9.5	9 14.3	3 4.8	2 3.2	2 3.2	4 6.3	4 6.3	1 1.6

## 8 権利擁護について

## (1) 障害による差別を受けた経験

あなたは、障害があるというだけで、差別的な扱いを受けた経験がありますか。(あてはまるものすべてに○)

身体障害者調査では、いずれの項目とも1割未満であり、「特にない」が63.9%を占めています。

「差別的な言葉を言われた」が知的障害者調査(22.8%)、精神障害者調査(15.2%)で最も多くなっています。

施設入所者調査は、いずれの項目とも1割未満であり、「特にない」が66.7%を占めています。

図表 16 障害による差別を受けた経験

	全体	希望した学校に入学できなかった	希望する仕事に就けなかった	職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて低い	職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて低い	交通機関や施設の利用を断られた	医療機関から受診や治療を断られた	入居を断られた	賃貸物件への入居を断られた	飲食店やホテルなどで利用を断られた	差別的な言葉を言われた	その他	特にない	無回答
全体	1,850 100.0	31 1.7	75 4.1	76 4.1	36 1.9	41 2.2	19 1.0	8 0.4	180 9.7	51 2.8	1,152 62.3	344 18.6		
身体障害者	1,445 100.0	14 1.0	51 3.5	47 3.3	24 1.7	17 1.2	7 0.5	7 0.5	109 7.5	27 1.9	923 63.9	310 21.5		
知的障害者	197 100.0	15 7.6	13 6.6	20 10.2	9 4.6	14 7.1	4 2.0	1 0.5	45 22.8	10 5.1	96 48.7	15 7.6		
精神障害者	145 100.0	1 0.7	10 6.9	7 4.8	2 1.4	8 5.5	8 5.5	-	22 15.2	8 5.5	91 62.8	13 9.0		
施設入所者	63 100.0	1 1.6	1 1.6	2 3.2	1 1.6	2 3.2	-	-	4 6.3	6 9.5	42 66.7	6 9.5		

(2) 障害者虐待の防止に必要な制度・体制

障害者虐待の防止のために、あなたは、市がどのような制度や体制を整備する必要がありますか。(あてはまるものすべてに○)

「通報や相談を受ける機関」が身体障害者調査(37.6%)、知的障害者調査(48.7%)、精神障害者調査(55.2%)、施設入所者調査(33.3%)と最も多く、身体障害者調査と精神障害者調査では「緊急一時保護施設など避難する場所」が続き、知的障害者調査では「福祉施設の職員や市民などへの虐待防止のための啓発活動」が続きます。施設入所者調査では、「市職員や福祉施設の職員などに対する権利擁護や虐待防止のための研修」が27.0%で続きます。

図表 17 障害者虐待の防止に必要な制度・体制

	全体	通報や相談を受ける機関	緊急一時保護施設など 避難する場所	関係機関による支援の ネットワーク	福祉施設の職員や市民などへの 虐待防止のための啓発活動	市職員や福祉施設の職員などに対する 権利擁護や虐待防止のための 研修	地域の民生委員などとの連携	その他	特 に な い	無 回 答
全体	1,850 100.0	741 40.1	519 28.1	437 23.6	402 21.7	358 19.4	393 21.2	40 2.2	313 16.9	410 22.2
身体障害者	1,445 100.0	544 37.6	371 25.7	307 21.2	277 19.2	247 17.1	289 20.0	26 1.8	231 16.0	371 25.7
知的障害者	197 100.0	96 48.7	74 37.6	71 36.0	77 39.1	64 32.5	53 26.9	7 3.6	34 17.3	19 9.6
精神障害者	145 100.0	80 55.2	59 40.7	44 30.3	32 22.1	30 20.7	41 28.3	4 2.8	30 20.7	14 9.7
施設入所者	63 100.0	21 33.3	15 23.8	15 23.8	16 25.4	17 27.0	10 15.9	3 4.8	18 28.6	6 9.5

## (3) 成年後見制度の認知状況

あなたは、成年後見制度を知っていますか。(どれか1つに○)

身体障害者調査(42.5%)、知的障害者調査(41.1%)では「聞いたことがあるが、内容は知らない」が最も多く、「聞いたことがあり、内容まで知っている」が続いています。

精神障害者調査では、「聞いたことがあるが、内容は知らない」が38.6%で最も多く、「聞いたことがない」が29.7%で続いています。

施設入所者調査では、「聞いたことがない」が42.9%で最も多くなっています。

一般市民調査では、「聞いたことがあり内容まで知っている」、「聞いたことがあるが、内容は知らない」の合計が75.1%となっています。

図表 18 成年後見制度の認知状況

	全体	聞いたことがあり、 内容まで知っている	聞いたことがあるが、 内容は知らない	聞いたことがない	無回答
全体	2,075 100.0	523 25.2	872 42.0	414 20.0	266 12.8
身体障害者	1,445 100.0	347 24.0	614 42.5	247 17.1	237 16.4
知的障害者	197 100.0	55 27.9	81 41.1	51 25.9	10 5.1
精神障害者	145 100.0	40 27.6	56 38.6	43 29.7	6 4.1
施設入所者	63 100.0	13 20.6	20 31.7	27 42.9	3 4.8
一般市民	225 100.0	68 30.2	101 44.9	46 20.4	10 4.4

## 9 災害・緊急時の対応について

### (1) 緊急な病状になったときに不安なこと

もし、あなたが緊急な病状になったことを考えると、特に不安に感じることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

身体障害者調査では、「自分だけでは動けない」が41.6%で最も多く、「トイレや入浴設備」が23.7%で続いています。

知的障害者調査では、「自分だけでは動けない」が54.3%で最も多く、「状況を周囲の人に伝えることが困難」が51.8%で続いています。

精神障害者調査では、「経済的な負担が増える」が35.9%で最も多く、「自分だけでは動けない」が29.7%で続いています。

施設入所者調査では、「自分だけでは動けない」が49.2%で最も多く、「状況を周囲の人に伝えることが困難」が31.7%で続いています。

図表 19 緊急な病状になったときに不安なこと

	全体	自分だけでは動けない	状況を周囲の人に伝えることが困難	電話などの連絡の手段が使えない	頼れる緊急なときに人がいない	経済的な負担が増える	寝込んだときの支援者がいない	できなくなる仕事
全体	1,850 100.0	782 42.3	362 19.6	262 14.2	191 10.3	326 17.6	189 10.2	183 9.9
身体障害者	1,445 100.0	601 41.6	212 14.7	182 12.6	148 10.2	241 16.7	153 10.6	117 8.1
知的障害者	197 100.0	107 54.3	102 51.8	66 33.5	21 10.7	23 11.7	11 5.6	34 17.3
精神障害者	145 100.0	43 29.7	28 19.3	14 9.7	22 15.2	52 35.9	25 17.2	29 20.0
施設入所者	63 100.0	31 49.2	20 31.7	- -	- -	10 15.9	- -	3 4.8
	世話をする子どもや高齢者がいないの	寝る場所の確保	トイレや入浴設備	詳細な情報の入手	その他	特に不安はない	無回答	
全体	64 3.5	210 11.4	411 22.2	202 10.9	58 3.1	271 14.6	230 12.4	
身体障害者	45 3.1	167 11.6	343 23.7	156 10.8	43 3.0	226 15.6	199 13.8	
知的障害者	6 3.0	25 12.7	33 16.8	27 13.7	8 4.1	17 8.6	13 6.6	
精神障害者	13 9.0	18 12.4	25 17.2	19 13.1	4 2.8	18 12.4	11 7.6	
施設入所者	- -	- -	10 15.9	- -	3 4.8	10 15.9	7 11.1	

## 10 障害者総合支援法について

## (1) 入所者・入院者の地域生活移行への考え方

市では、「第4期船橋市障害福祉計画」に基づき、現在、福祉施設に入所または病院に入院している障害者のうち退所・退院が可能な人について、地域生活への移行を支援しています。このことについて、あなたはごどう思いますか。(どれか1つに○)

精神障害者調査では、「地域生活への移行は、積極的に進めてほしい」(35.9%)が「地域生活への移行は、慎重に進めてほしい」(30.3%)を上回っていますが、これ以外の調査では「地域生活への移行は、慎重に進めてほしい」が「地域生活への移行は、積極的に進めてほしい」を上回っています。

図表 20 入所者・入院者の地域生活移行への考え方

	全体	積極的に生活への移行は、進めてほしい	地域生活への移行は、慎重に進めてほしい	地域生活への移行を進める必要はない	その他	わからない	無回答
全体	2,075 100.0	392 18.9	703 33.9	35 1.7	17 0.8	568 27.4	360 17.3
身体障害者	1,445 100.0	246 17.0	465 32.2	18 1.2	10 0.7	395 27.3	311 21.5
知的障害者	197 100.0	32 16.2	75 38.1	5 2.5	1 0.5	65 33.0	19 9.6
精神障害者	145 100.0	52 35.9	44 30.3	1 0.7	2 1.4	31 21.4	15 10.3
施設入所者	63 100.0	7 11.1	16 25.4	3 4.8	2 3.2	30 47.6	5 7.9
一般市民	225 100.0	55 24.4	103 45.8	8 3.6	2 0.9	47 20.9	10 4.4

## (2) 福祉的就労から一般就労への移行の考え方

現在、福祉的就労（障害者の作業所などでの就労）をしている障害者のうち、訓練により一般就労（企業等への就労、在宅での就労）が可能となる人について、市では一般就労への移行を支援しています。このことについて、あなたはごどう思いますか。（どれか1つに○）

精神障害者調査では、「一般就労への移行は、積極的に進めてほしい」（37.9%）が「一般就労への移行は、慎重に進めてほしい」（32.4%）を上回っていますが、その他の調査では「一般就労への移行は、慎重に進めてほしい」が「一般就労への移行は、積極的に進めてほしい」を上回っています。

図表 21 福祉的就労から一般就労への移行の考え方

	全体	積極的に進めてほしい	慎重に進めてほしい	一般就労への移行を進める必要はない	その他	わからない	無回答
全体	2,075 100.0	507 24.4	614 29.6	18 0.9	17 0.8	494 23.8	425 20.5
身体障害者	1,445 100.0	311 21.5	383 26.5	7 0.5	9 0.6	359 24.8	376 26.0
知的障害者	197 100.0	50 25.4	72 36.5	3 1.5	2 1.0	52 26.4	18 9.1
精神障害者	145 100.0	55 37.9	47 32.4	1 0.7	3 2.1	24 16.6	15 10.3
施設入所者	63 100.0	11 17.5	13 20.6	1 1.6	1 1.6	28 44.4	9 14.3
一般市民	225 100.0	80 35.6	99 44.0	6 2.7	2 0.9	31 13.8	7 3.1



### (3) 障害福祉サービスの利用意向

今後、あなたが利用したいと思う、または現在利用している障害福祉サービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

身体障害者調査では、「居宅介護（ホームヘルプ）」が 16.8%で最も多く、「生活介護」が 9.8%で続きます。

知的障害者調査では、「短期入所（ショートステイ）」が 23.4%で最も多く、「グループホーム（共同生活援助）」が 21.8%で続きます。

精神障害者調査では、「自立訓練」が 21.4%で最も多く、「居宅介護（ホームヘルプ）」が 19.3%で続きます。

施設入所者調査では、「施設入所支援」が 39.7%で最も多く、「生活介護」が 28.6%で続きます。

図表 22 今後の障害福祉サービスの利用意向

	全体	(ホームヘルプ) 居宅介護	重度訪問介護	行動援護	同行援護	療養介護	生活介護	(ショートステイ) 短期入所	重度障害者等 包括支援
全体	1,850 100.0	292 15.8	53 2.9	93 5.0	121 6.5	75 4.1	200 10.8	180 9.7	65 3.5
身体障害者	1,445 100.0	243 16.8	46 3.2	61 4.2	89 6.2	64 4.4	142 9.8	119 8.2	52 3.6
知的障害者	197 100.0	13 6.6	2 1.0	21 10.7	16 8.1	4 2.0	22 11.2	46 23.4	8 4.1
精神障害者	145 100.0	28 19.3	4 2.8	6 4.1	8 5.5	4 2.8	18 12.4	13 9.0	2 1.4
施設入所者	63 100.0	8 12.7	1 1.6	5 7.9	8 12.7	3 4.8	18 28.6	2 3.2	3 4.8
	施設入所支援	自立訓練	就労移行支援	就労継続支援 A型	就労継続支援 B型	グループホーム (共同生活援助)	どれも利用したい と思わない	無回答	
全体	195 10.5	168 9.1	73 3.9	38 2.1	53 2.9	100 5.4	433 23.4	584 31.6	
身体障害者	136 9.4	103 7.1	23 1.6	8 0.6	13 0.9	35 2.4	349 24.2	521 36.1	
知的障害者	25 12.7	29 14.7	23 11.7	17 8.6	29 14.7	43 21.8	32 16.2	29 14.7	
精神障害者	9 6.2	31 21.4	25 17.2	12 8.3	10 6.9	16 11.0	42 29.0	25 17.2	
施設入所者	25 39.7	5 7.9	2 3.2	1 1.6	1 1.6	6 9.5	10 15.9	9 14.3	

## 11 船橋市の障害者福祉について

### (1) 福祉サービス情報の入手方法

あなたは、障害のある人のための市の福祉サービスの内容について、どのようなところで知ることが多いですか。(主なもの2つまでに○)

身体障害者調査では、「市の広報紙「広報ふなばし」」が41.7%で他の媒体と比べて特に多くなっています。

知的障害者調査では、「市の広報紙「広報ふなばし」」、「市障害福祉課が発行する「障害福祉のしおり」」が28.4%で最も多くなっています。

精神障害者調査では、「市の広報紙「広報ふなばし」」、「医師・看護師等」が23.4%で最も多くなっています。

施設入所者調査では、「障害者施設」が20.6%と、他の調査に比べて特に多くなっていますが、「特にない」という回答も27.0%と多くなっています。

一般市民調査では、「市の広報紙「広報ふなばし」」が44.9%で最も多く、「マスメディア(テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等)の記事や番組」が38.7%で続きます。

図表 23 福祉サービス情報の入手方法

	全体	「市の広報紙 「広報ふなばし」」	市障害福祉課が発行する 「障害福祉のしおり」	市役所や市の機関などに あるパンフレット	市のホームページ	市障害福祉課への 問合せ	機関紙やパンフレット、 ホームページ	市や障害者団体以外の ホームページ	マスメディア(テレビ、 ラジオ、新聞、雑誌等) の記事や番組	社会福祉協議会	民生委員・児童委員
全体	2,075 100.0	800 38.6	322 15.5	92 4.4	148 7.1	156 7.5	30 1.4	7 0.3	175 8.4	33 1.6	34 1.6
身体障害者	1,445 100.0	603 41.7	242 16.7	64 4.4	111 7.7	126 8.7	14 1.0	5 0.3	71 4.9	24 1.7	23 1.6
知的障害者	197 100.0	56 28.4	28 14.2	9 4.6	13 6.6	19 9.6	6 3.0	1 0.5	3 1.5	1 0.5	-
精神障害者	145 100.0	34 23.4	10 6.9	8 5.5	7 4.8	2 1.4	2 1.4	-	13 9.0	-	3 2.1
施設入所者	63 100.0	6 9.5	6 9.5	2 3.2	1 1.6	6 9.5	2 3.2	-	1 1.6	-	1 1.6
一般市民	225 100.0	101 44.9	8 3.6	9 4.0	16 7.1	3 1.3	6 2.7	1 0.4	87 38.7	8 3.6	7 3.1
	障害者施設	医師・ 看護師等	家族や仲間	病院の 相談員	薬局	市の 税務部門	市の 生活支援課	その他	特にな い	無回 答	
全体	71 3.4	145 7.0	125 6.0	77 3.7	6 0.3	2 0.1	30 1.4	59 2.8	214 10.3	422 20.3	
身体障害者	29 2.0	106 7.3	61 4.2	55 3.8	5 0.3	1 0.1	24 1.7	30 2.1	116 8.0	335 23.2	
知的障害者	21 10.7	2 1.0	36 18.3	1 0.5	-	-	3 1.5	10 5.1	19 9.6	34 17.3	
精神障害者	8 5.5	34 23.4	10 6.9	21 14.5	1 0.7	1 0.7	3 2.1	9 6.2	22 15.2	21 14.5	
施設入所者	13 20.6	3 4.8	3 4.8	-	-	-	-	5 7.9	17 27.0	11 17.5	
一般市民	-	-	15 6.7	-	-	-	-	5 2.2	40 17.8	21 9.3	

## (2) 今後必要だと思う福祉施策

あなたが今後、必要だと思う障害者福祉施策は何ですか。(主なもの3つまでに○)

身体障害者調査では、「医療費の軽減」が36.6%で最も多く、「所得保障の充実」が23.4%で続きます。

知的障害者調査では、「働く場の確保」が33.5%で最も多く、「社会福祉施設の充実」が24.9%、「医療費の軽減」が23.4%、「所得保障の充実」が22.8%で続きます。

精神障害者調査では、「医療費の軽減」が45.5%で最も多く、「所得保障の充実」が44.1%、「働く場の確保」が36.6%と続きます。

施設入所者調査では、「社会福祉施設の充実」が28.6%で最も多くなっています。

一般市民調査では、「家族が休養できる体制」、「医療費の軽減」が26.2%で最も多く、「能力に応じた職業訓練」が21.8%、「相談支援体制の充実」が21.3%で続いており、障害者を対象とした他の調査とは傾向が異なります。

図表 24 今後必要だと思う福祉施策

	全体	所得保障の充実	医療費の軽減	社会福祉施設の充実	障害者に適した住宅の確保	移動を容易にする施策の充実	介助体制の充実	相談支援体制の充実
全体	2,075 100.0	510 24.6	714 34.4	379 18.3	246 11.9	176 8.5	42 2.0	289 13.9
身体障害者	1,445 100.0	338 23.4	529 36.6	252 17.4	161 11.1	138 9.6	- -	173 12.0
知的障害者	197 100.0	45 22.8	46 23.4	49 24.9	25 12.7	15 7.6	- -	42 21.3
精神障害者	145 100.0	64 44.1	66 45.5	26 17.9	21 14.5	7 4.8	- -	19 13.1
施設入所者	63 100.0	16 25.4	14 22.2	18 28.6	8 12.7	2 3.2	- -	7 11.1
一般市民	225 100.0	47 20.9	59 26.2	34 15.1	31 13.8	14 6.2	42 18.7	48 21.3
	機能専門的復元的な訓練	能力に応じた職業訓練	働く場の確保	エスポート・レクリエーションの充実	家族が休養できる体制	差別の解消や権利を擁護する体制	その他	無回答
全体	196 9.4	231 11.1	348 16.8	112 5.4	330 15.9	161 7.8	46 2.2	547 26.4
身体障害者	138 9.6	120 8.3	180 12.5	62 4.3	212 14.7	85 5.9	28 1.9	429 29.7
知的障害者	8 4.1	28 14.2	66 33.5	10 5.1	28 14.2	31 15.7	4 2.0	49 24.9
精神障害者	10 6.9	30 20.7	53 36.6	22 15.2	27 18.6	19 13.1	6 4.1	13 9.0
施設入所者	4 6.3	4 6.3	5 7.9	9 14.3	4 6.3	6 9.5	7 11.1	12 19.0
一般市民	36 16.0	49 21.8	44 19.6	9 4.0	59 26.2	20 8.9	1 0.4	44 19.6



## 第2部 調査の結果



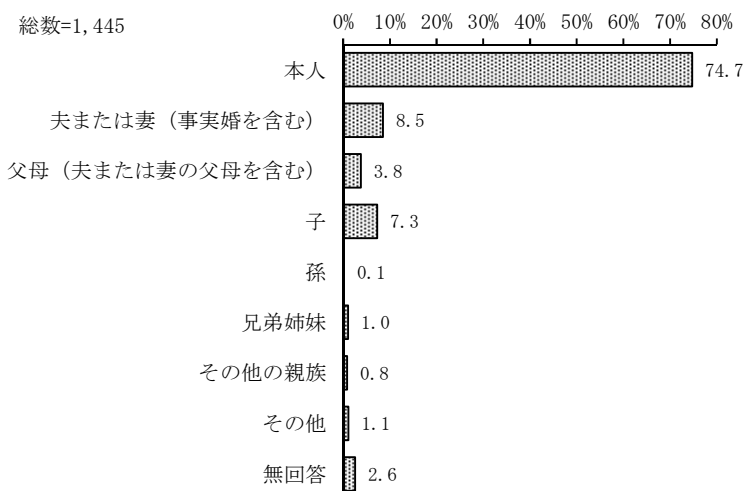
# 1 身体障害者を対象とした調査結果

## 【1】あなたご自身やご家族のことについてうかがいます。

問1 このアンケートの記入者はどなたですか。あなたから見た続柄でお答えください。（どれか1つに○）

「本人」が74.7%で最も多く、「夫または妻（事実婚を含む）」が8.5%、「子」が7.3%、「父母（夫または妻の父母を含む）」が3.8%で続きます。

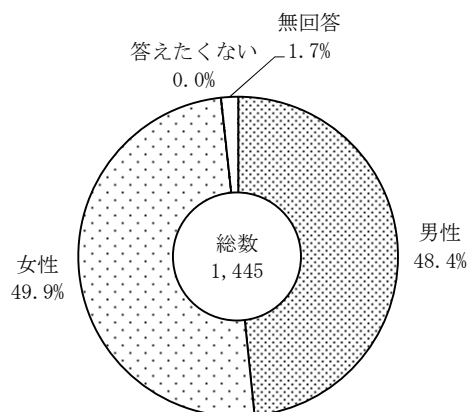
図表 1-1 記入者



問2 あなたの性別をお答えください。（どれか1つに○）

「男性」が48.4%、「女性」が49.9%となっています。

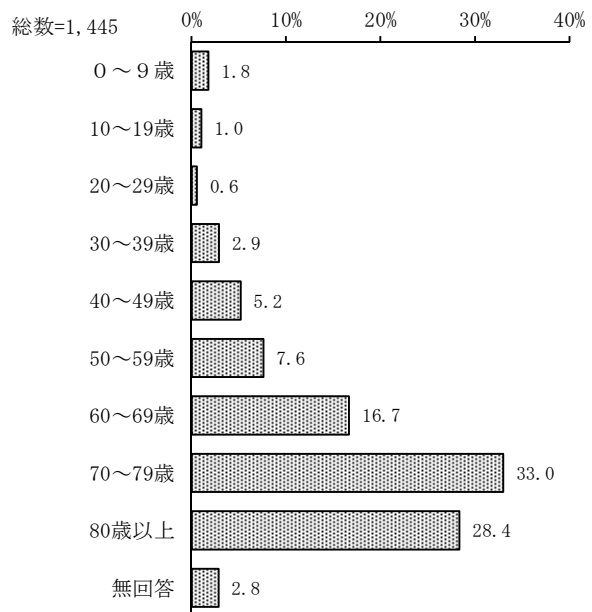
図表 1-2 性別



問3 あなたは、何歳ですか。平成29年1月1日現在の満年齢でお答えください。

「70～79歳」が33.0%で最も多く、「80歳以上」が28.4%、「60～69歳」が16.7%で続きます。

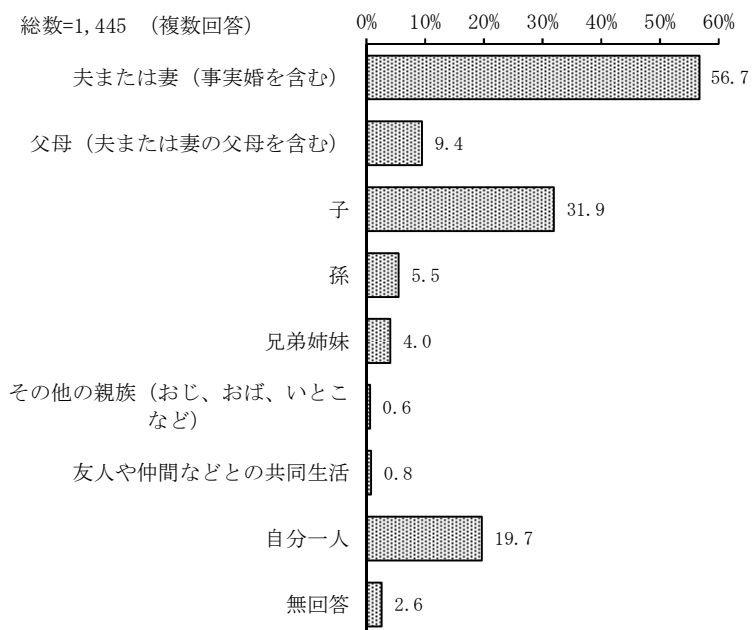
図表1-3 年齢



問4 あなたと一緒に暮らしている家族は、どなたですか。(あてはまるものすべてに○)

「夫または妻（事実婚を含む）」が56.7%で最も多く、「子」が31.9%、「自分一人」が19.7%、「父母（夫または妻の父母を含む）」が9.4%で続きます。

図表1-4 同居家族

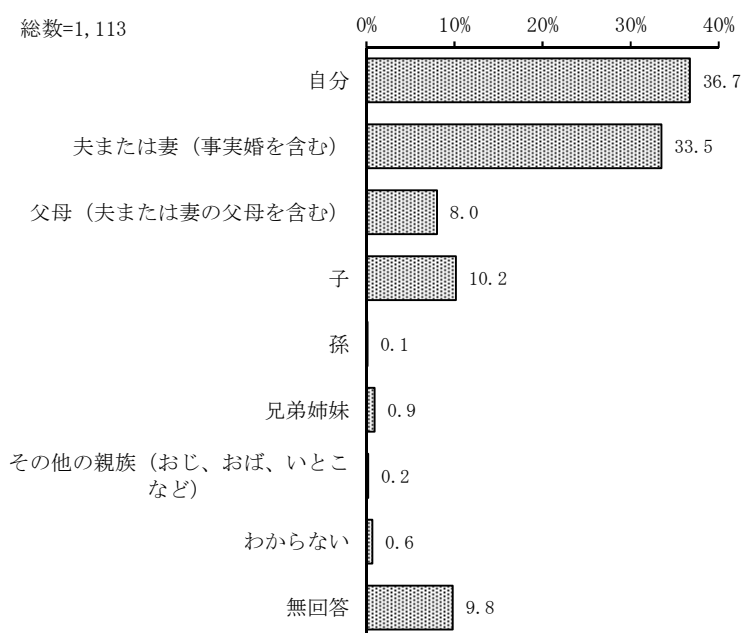




問4-1 【家族等と一緒に暮らしている方にうかがいます。】一緒に暮らしている家族の中で、主に生活のための収入を得ている方はどなたですか。（どれか1つに○）

「自分」が36.7%で最も多く、「夫または妻（事実婚を含む）」が33.5%、「子」が10.2%、「父母（夫または妻の父母を含む）」が8.0%で続きます。

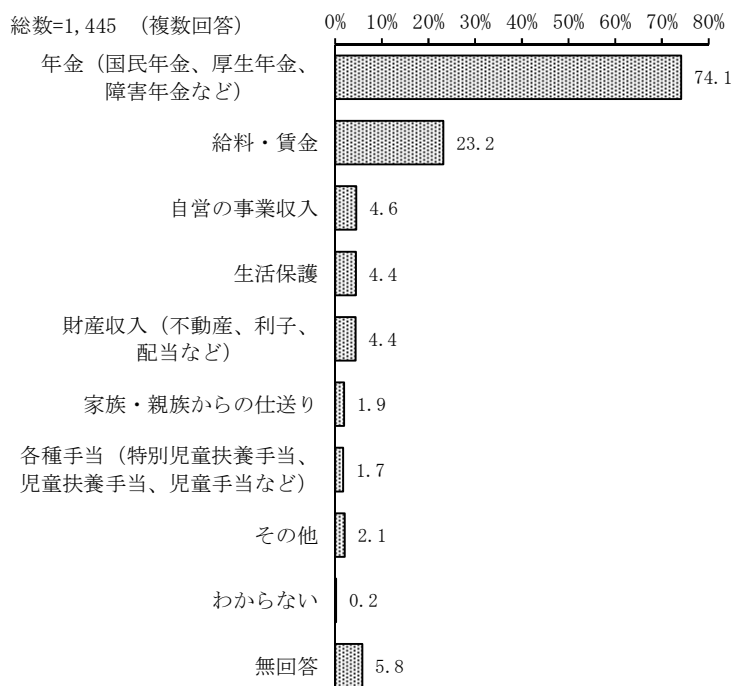
図表 1-5 主に収入を得ている同居家族



問5 あなたの世帯収入の種類はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○、最も金額が大きいものには◎)

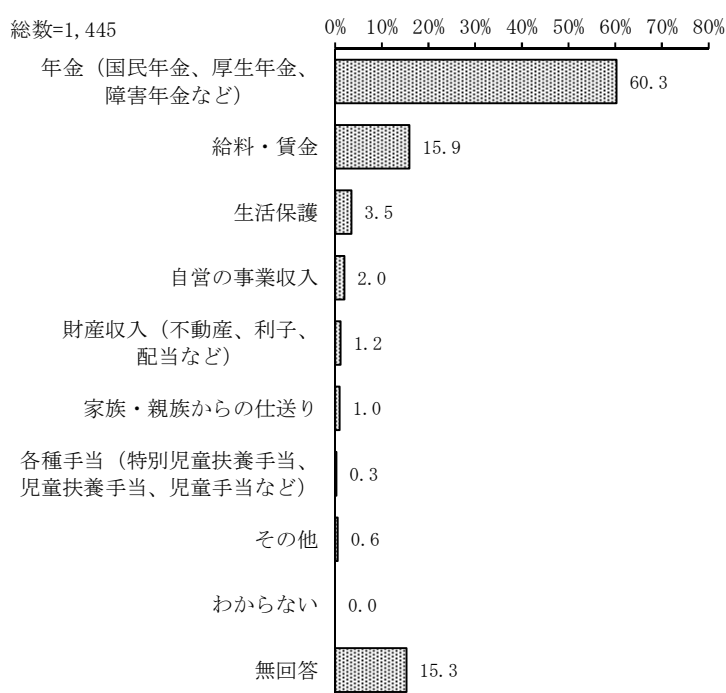
「年金（国民年金、厚生年金、障害年金など）」が74.1%で最も多く、「給料・賃金」が23.2%で続きます。

図表 1-6 世帯収入の種類



最も金額が大きいものは、「年金（国民年金、厚生年金、障害年金など）」が60.3%で最も多く、「給料・賃金」が15.9%で続きます。

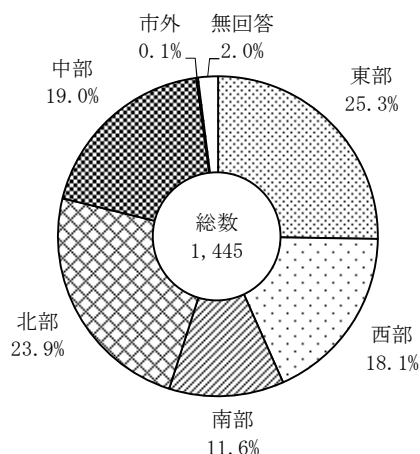
図表 1-7 最も金額が大きい収入



問6 あなたの住んでいる地域はどこですか。(どれか1つに○)

「東部」が25.3%で最も多く、「北部」が23.9%、「中部」が19.0%、「西部」が18.1%で続きます。

図表 1-8 居住地域

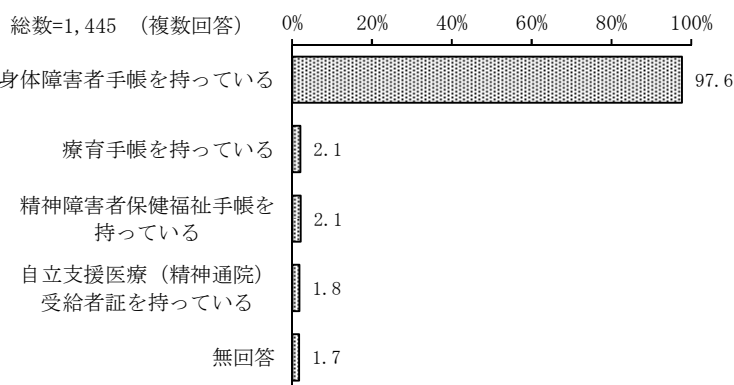


【2】あなたの障害のことがいえます。

問7 あなたがお持ちの障害者手帳等の種類と等級についてうかがいます。下の表のあてはまる番号と等級（程度）に○をつけて（ ）内に取得した年齢を記入してください。

「身体障害者手帳を持っている」が97.6%、「療育手帳を持っている」、「精神障害者保健福祉手帳を持っている」が2.1%、「自立支援医療（精神通院）受給者証を持っている」が1.8%となっています。

図表 1-9 障害者手帳等取得の有無



所持している手帳の組み合わせは、「身体障害者手帳のみ」が93.1%、「身体障害者手帳と療育手帳」、「身体障害者手帳と精神障害者保健福祉手帳」が1.5%と続きます。

図表 1-10 所持している手帳の組み合わせ

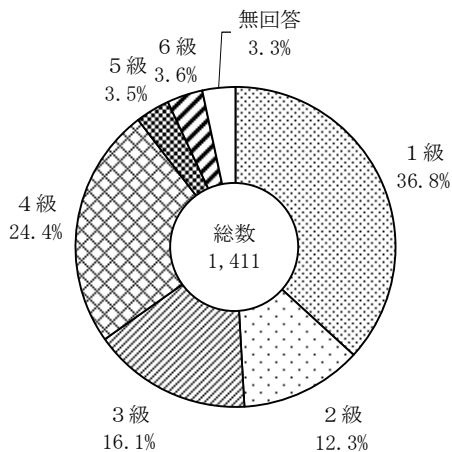
項目名	集計値	構成比 (%)
全体	1,445	100.0
身体障害者手帳のみ	1,345	93.1
療育手帳のみ	5	0.3
自立支援医療（精神通院）受給者証のみ	1	0.1
身体障害者手帳+療育手帳	22	1.5
身体障害者手帳+精神障害者保健福祉手帳	22	1.5
身体障害者手帳+自立支援医療（精神通院）受給者証	14	1.0
精神障害者保健福祉手帳+自立支援医療（精神通院）受給者証	3	0.2
身体障害者手帳+療育手帳+自立支援医療（精神通院）受給者証	2	0.1
身体障害者手帳+精神障害者保健福祉手帳+自立支援医療（精神通院）受給者証	5	0.3
身体障害者手帳+療育手帳+精神障害者保健福祉手帳+自立支援医療（精神通院）受給者証	1	0.1
いずれも持っていない	25	1.7

【身体障害者手帳】

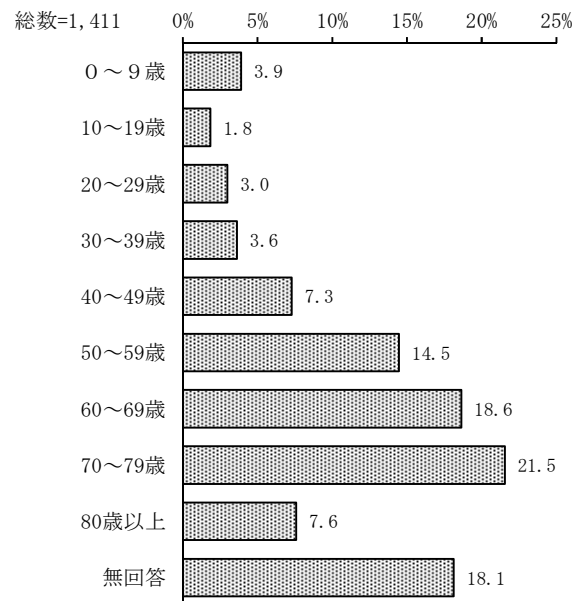
等級（程度）は「1級」が36.8%で最も多く、「4級」が24.4%、「3級」が16.1%、「2級」が12.3%で続きます。

取得した年齢は、「70～79歳」が21.5%で最も多く、「60～69歳」が18.6%、「50～59歳」が14.5%で続きます。

図表 1- 11 身体障害者手帳の等級



図表 1- 12 身体障害者手帳を取得した年齢

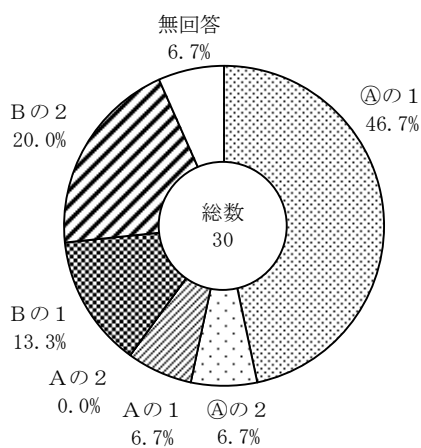


【療育手帳】

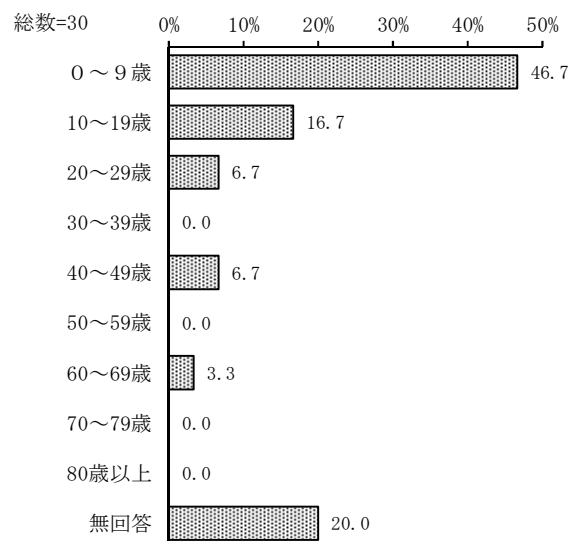
等級（程度）は「Aの1」が46.7%で最も多く、「Bの2」が20.0%、「Bの1」が13.3%で続きます。

取得した年齢は、「0～9歳」が46.7%で最も多く、「10～19歳」が16.7%で続きます。

図表 1- 13 療育手帳の等級



図表 1- 14 療育手帳を取得した年齢

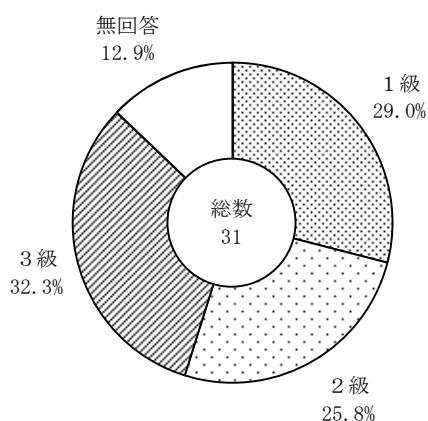


【精神障害者保健福祉手帳】

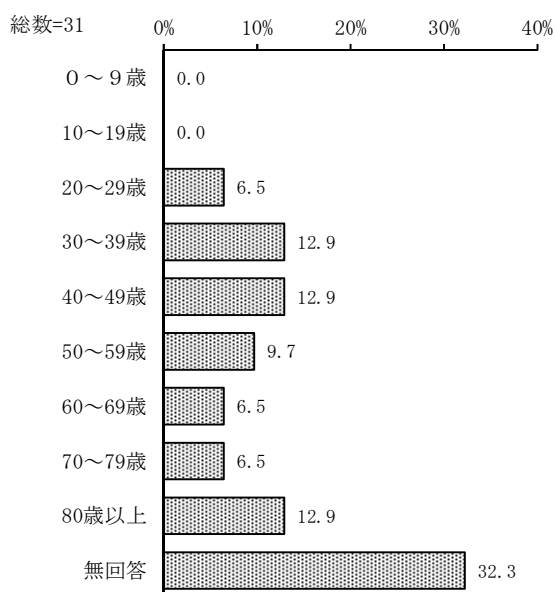
等級（程度）は、「3級」が32.3%で最も多く、「1級」が29.0%、「2級」が25.8%で続きます。

取得した年齢は、「30～39歳」、「40～49歳」、「80歳以上」が12.9%、「50～59歳」が9.7%で続きます。

図表 1-15 精神障害者保健福祉手帳の等級



図表 1-16 精神障害者保健福祉手帳を取得した年齢



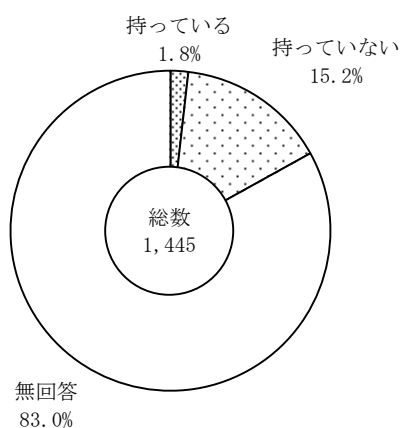
【自立支援医療（精神通院）受給者証】

「持っている」が1.8%、「持っていない」が15.2%となっています。

取得した年齢は、「30～39歳」、「60～69歳」が11.5%、「20～29歳」、「70～79歳」が7.7%で続きます。

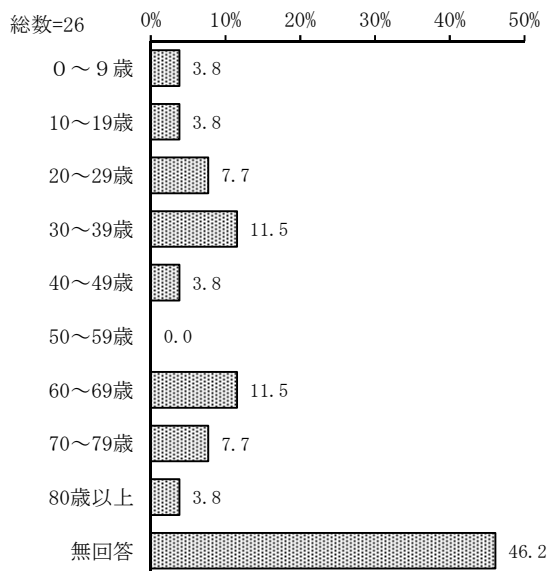
図表 1-17

自立支援医療（精神通院）受給者証取得の有無



図表 1-18

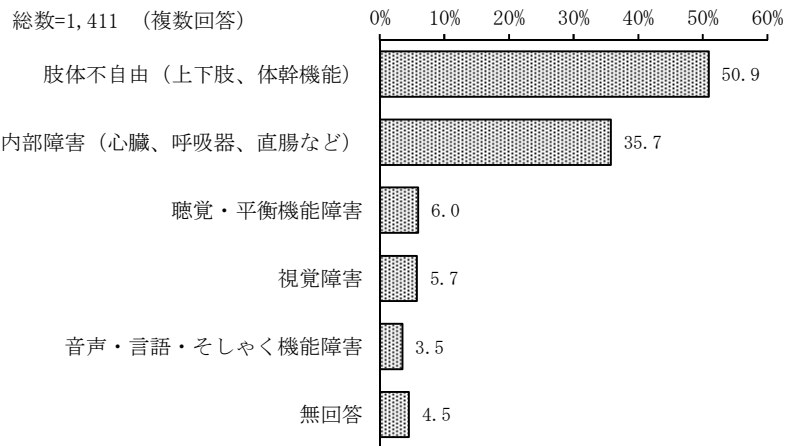
自立支援医療（精神通院）受給者証を取得した年齢



問7-1 【身体障害者手帳をお持ちの方にかがいます。】障害の種類（部位）は、次のうちのどれですか。（あてはまるものすべてに○）

「肢体不自由（上下肢、体幹機能）」が50.9%で最も多く、「内部障害（心臓、呼吸器、直腸など）」が35.7%、「聴覚・平衡機能障害」が6.0%、「視覚障害」が5.7%で続きます。

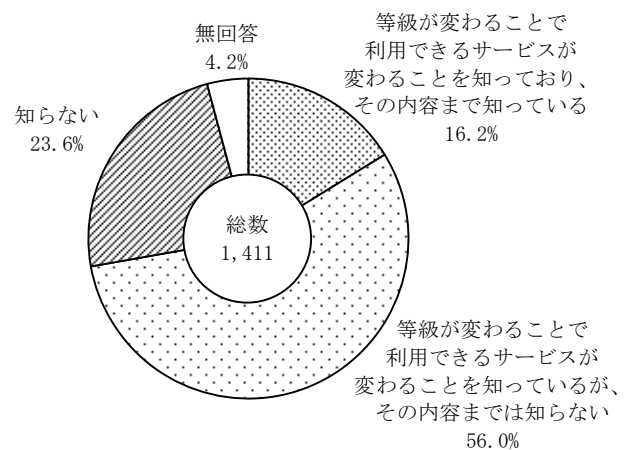
図表 1-19 障害の種類（部位）



問7-2 【身体障害者手帳をお持ちの方にかがいます。】身体障害者手帳の等級が変わることにより利用できるサービスが変わるということを知っていますか。

「等級が変わることにより利用できるサービスが変わることは知っているが、その内容までは知らない」が56.0%で最も多く、「知らない」が23.6%、「等級が変わることにより利用できるサービスが変わることを知っており、その内容まで知っている」が16.2%で続きます。

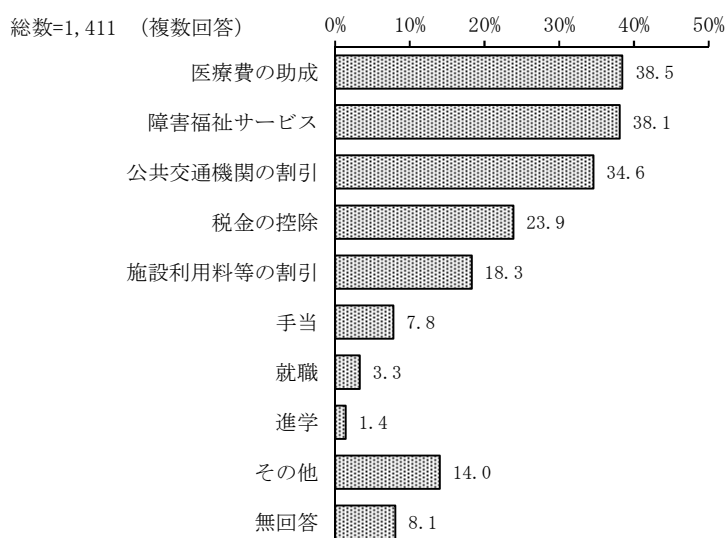
図表 1-20 等級が変わることにより利用できるサービスが変わることの認知状況



問7-3 【身体障害者手帳をお持ちの方にかがいます。】身体障害者手帳を取得しようと思ったきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「医療費の助成」が38.5%で最も多く、「障害福祉サービス」が38.1%、「公共交通機関の割引」が34.6%で続きます。

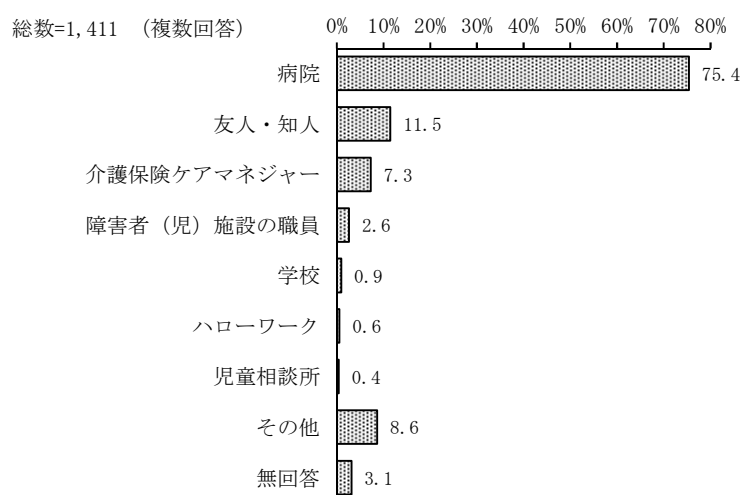
図表 1-21 身体障害者手帳を取得しようと思ったきっかけ



問7-4 【身体障害者手帳をお持ちの方にかがいます。】身体障害者手帳の取得についてどこで・誰から案内されましたか。(あてはまるものすべてに○)

「病院」が75.4%で最も多く、「友人・知人」が11.5%、「介護保険ケアマネジャー」が7.3%で続きます。

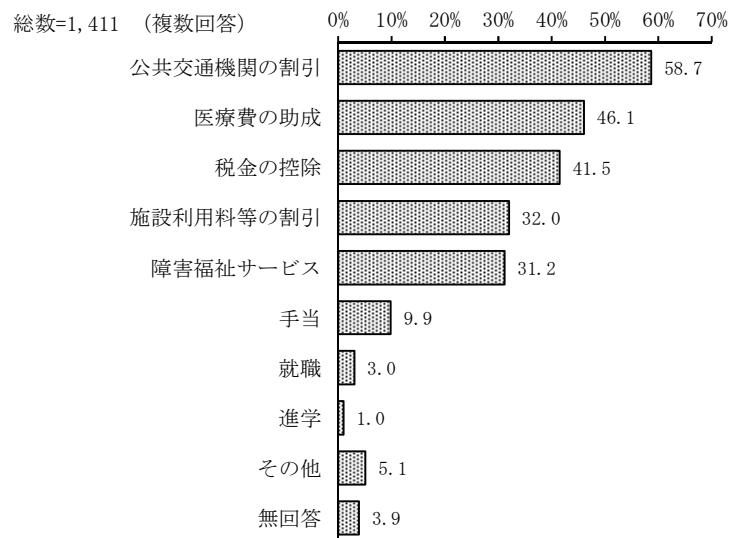
図表 1-22 身体障害者手帳の取得の案内先



問7-5 【身体障害者手帳をお持ちの方にうかがいます。】身体障害者手帳があつて役立ったことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「公共交通機関の割引」が58.7%で最も多く、「医療費の助成」が46.1%、「税金の控除」が41.5%で続きます。

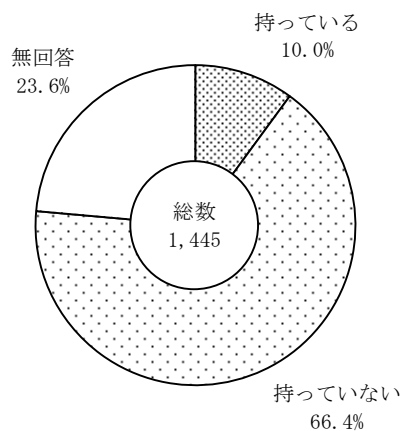
図表 1-23 身体障害者手帳があつて役立ったこと



問8 あなたは、難病のための特定疾患医療受給者票（千葉県特定医療費（指定難病）受給者証等）をお持ちですか。あてはまる番号1つに○をつけて、（ ）内に具体的に記入してください。

「持っている」が10.0%、「持っていない」が66.4%となっています。

図表 1-24 特定疾患医療受給者票取得の有無





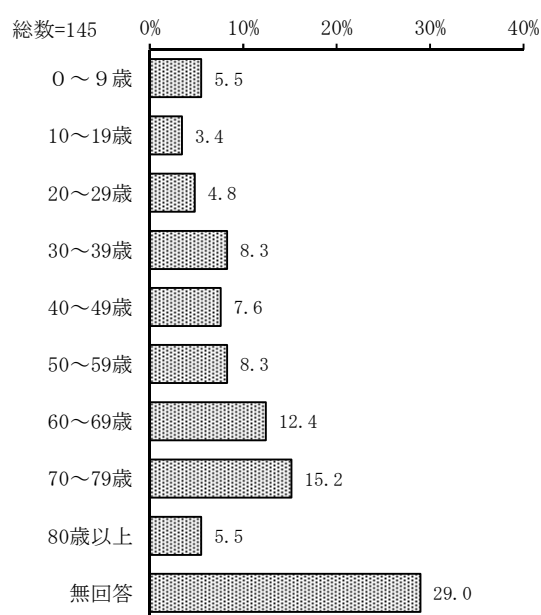
年齢別に見ると、「特定疾患医療受給者票を持っている」という回答は、0～9歳で30.8%、10～19歳で26.7%となっており、他の年齢に比べて割合が多くなっています。

特定疾患医療受給者票を持っている方が取得した年齢は「70～79歳」が15.2%で最も多く、「60～69歳」が12.4%、「30～39歳」が8.3%、「40～49歳」が7.6%で続きます。

図表 1-25 特定疾患医療受給者票取得の有無(年齢別)

	全体	持っている	持っていない	無回答
全体	1,445 100.0	145 10.0	959 66.4	341 23.6
0～9歳	26 100.0	8 30.8	18 69.2	-
10～19歳	15 100.0	4 26.7	9 60.0	2 13.3
20～29歳	8 100.0	-	7 87.5	1 12.5
30～39歳	42 100.0	9 21.4	29 69.0	4 9.5
40～49歳	75 100.0	12 16.0	56 74.7	7 9.3
50～59歳	110 100.0	16 14.5	81 73.6	13 11.8
60～69歳	241 100.0	23 9.5	158 65.6	60 24.9
70～79歳	477 100.0	39 8.2	313 65.6	125 26.2
80歳以上	410 100.0	27 6.6	270 65.9	113 27.6
無回答	41 100.0	7 17.1	18 43.9	16 39.0

図表 1-26 特定疾患医療受給者票を取得した年齢

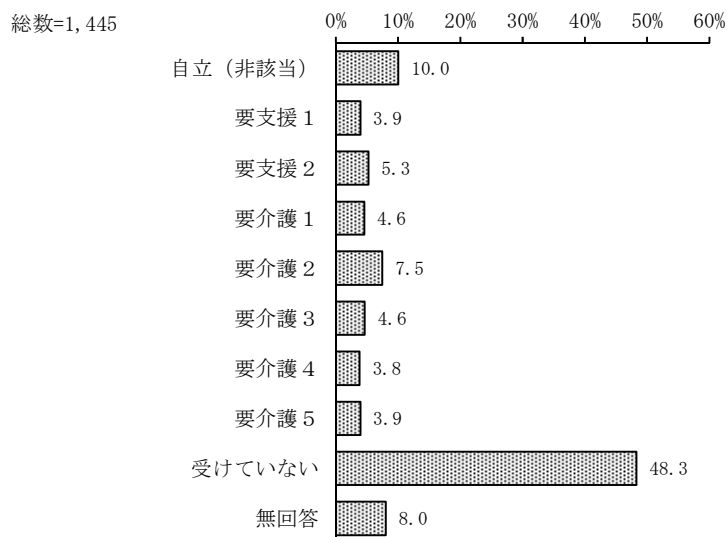


問9 あなたは、介護保険法に基づく要介護認定を受けていますか。(どれか1つに○)

「受けていない」が48.3%で最も多く、「自立(非該当)」が10.0%、「要介護2」が7.5%、「要支援2」が5.3%で続きます。

介護保険の被保険者である40歳以上について見ると、65歳以上(第1号被保険者)では「要介護2」が9.1%、「自立(非該当)」が7.7%、「受けていない」が42.8%となっています。

図表 1-27 要介護認定を受けていますか



図表 1-28 介護保険の被保険者(要介護度別)

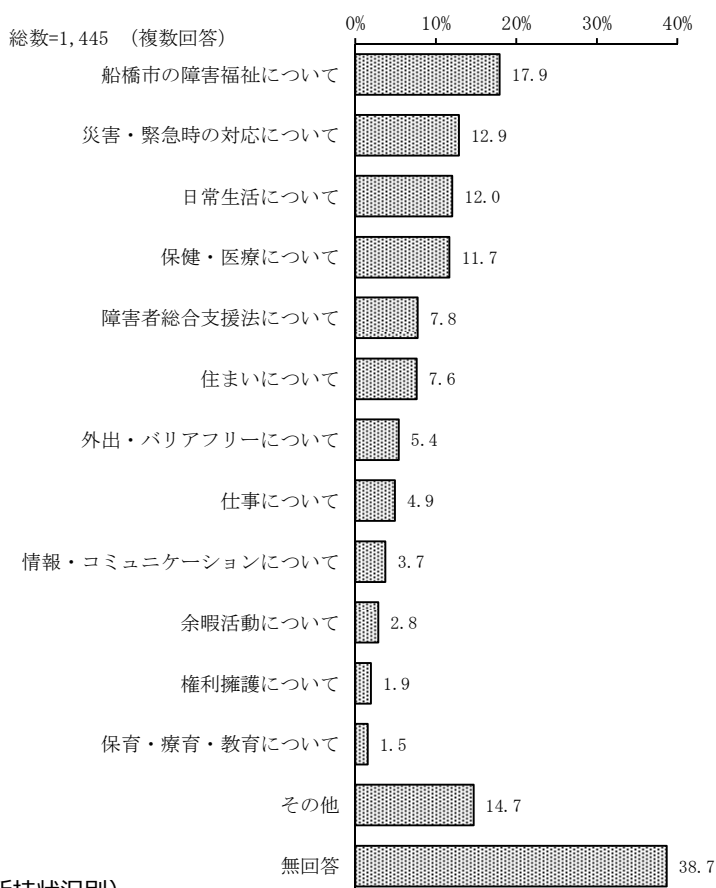
	全体	自立(非該当)	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	受けていない	無回答
全体	1,313 100.0	125 9.5	54 4.1	75 5.7	65 5.0	104 7.9	67 5.1	51 3.9	55 4.2	615 46.8	102 7.8
40~64歳	280 100.0	45 16.1	-	5 1.8	10 3.6	10 3.6	4 1.4	8 2.9	9 3.2	173 61.8	16 5.7
65歳以上	1,033 100.0	80 7.7	54 5.2	70 6.8	55 5.3	94 9.1	63 6.1	43 4.2	46 4.5	442 42.8	86 8.3

問 10 現在あなたは、誰かに相談したいことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

「船橋市の障害福祉について」が17.9%で最も多く、「災害・緊急時の対応について」が12.9%、「日常生活について」が12.0%、「保健・医療について」が11.7%で続きます。

難病のための特定疾患医療受給者票の所持状況別に見ると、「日常生活について」、「保健・医療について」では特定疾患医療受給者票を持っている回答者の割合が持っていない回答者の割合を10ポイント以上、上回っています。

図表 1-29 誰かに相談したいこと



図表 1-30 誰かに相談したいこと  
(難病のための特定疾患医療受給者票の所持状況別)

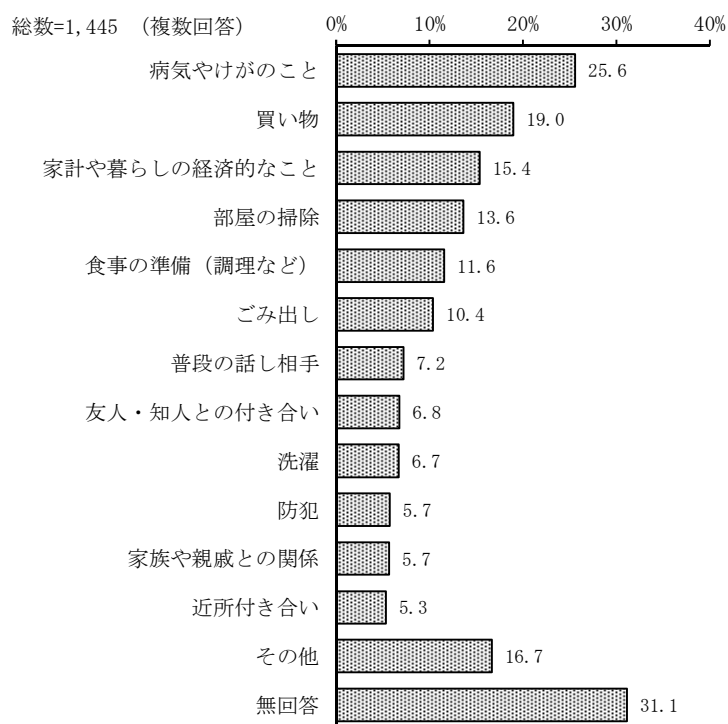
		相談したいこと						
		日常生活について	保健・医療について	情報・コミュニケーションについて	住まいについて	保育・療育・教育について	仕事について	外出・バリアフリーについて
全体	1,445 100.0	174 12.0	169 11.7	54 3.7	110 7.6	22 1.5	71 4.9	78 5.4
特定疾患医療受給者票	持っている	36 24.8	32 22.1	4 2.8	15 10.3	7 4.8	15 10.3	11 7.6
	持っていない	102 10.6	101 10.5	36 3.8	65 6.8	14 1.5	48 5.0	52 5.4
	無回答	36 10.6	36 10.6	14 4.1	30 8.8	1 0.3	8 2.3	15 4.4
全体	41 2.8	28 1.9	186 12.9	112 7.8	259 17.9	212 14.7	559 38.7	
特定疾患医療受給者票	持っている	5 3.4	5 3.4	20 13.8	15 10.3	28 19.3	17 11.7	39 26.9
	持っていない	30 3.1	20 2.1	135 14.1	62 6.5	174 18.1	170 17.7	344 35.9
	無回答	3 1.8	3 0.9	31 9.1	35 10.3	57 16.7	25 7.3	176 51.6

### 【3】日常生活についてうかがいます。

問 11 あなたは、ふだんの生活で気になったり、困ったりしていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

「病気やけがのこと」が25.6%で最も多く、「買い物」が19.0%、「家計や暮らしの経済的なこと」が15.4%、「部屋の掃除」が13.6%で続きます。

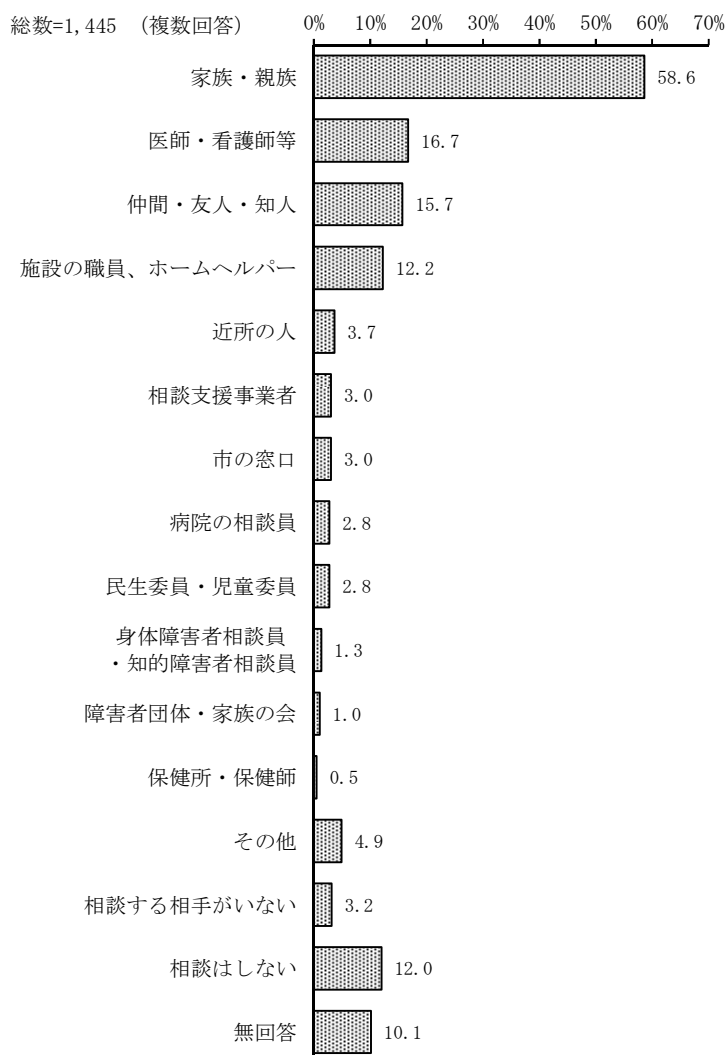
図表 1-31 ふだんの生活で気になったり、困っていること



問 12 あなたは、日常生活で困ったことや悩み事について、どなたに相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

「家族・親族」が58.6%で最も多く、「医師・看護師等」が16.7%、「仲間・友人・知人」が15.7%、「施設の職員、ホームヘルパー」が12.2%で続きます。

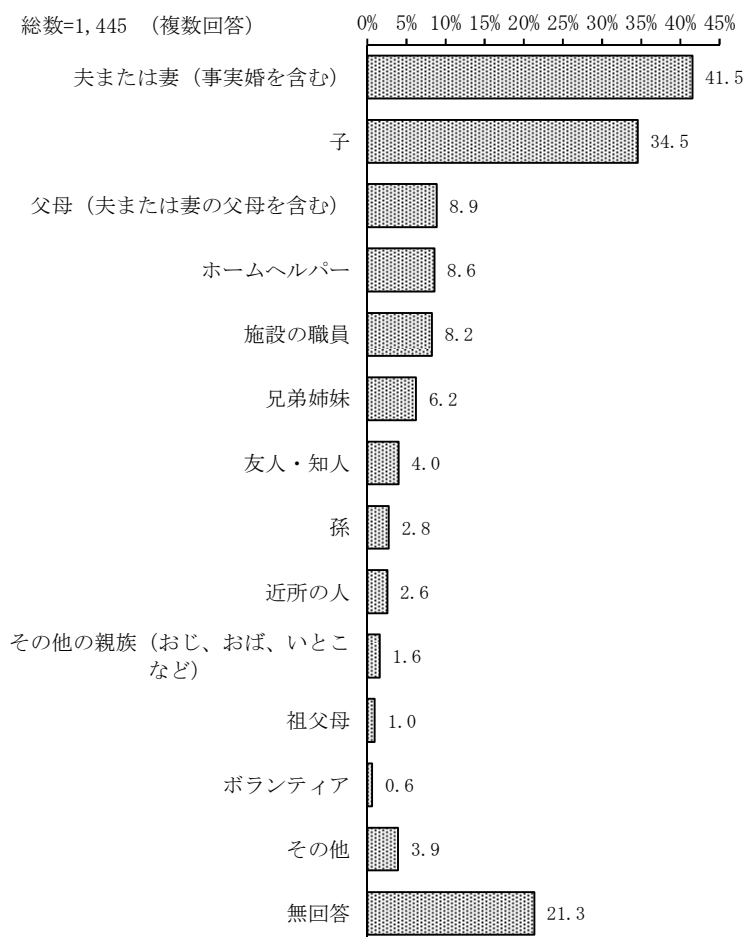
図表 1-32 困ったことや悩み事の相談先



問 13 あなたは身の回りのことについて、どなたから支援を受けていますか。  
 (あてはまるものすべてに○、最も機会が多い人には◎)

「夫または妻（事実婚を含む）」が41.5%で最も多く、「子」が34.5%、「父母（夫または妻の父母を含む）」が8.9%、「ホームヘルパー」が8.6%、「施設の職員」が8.2%で続きます。

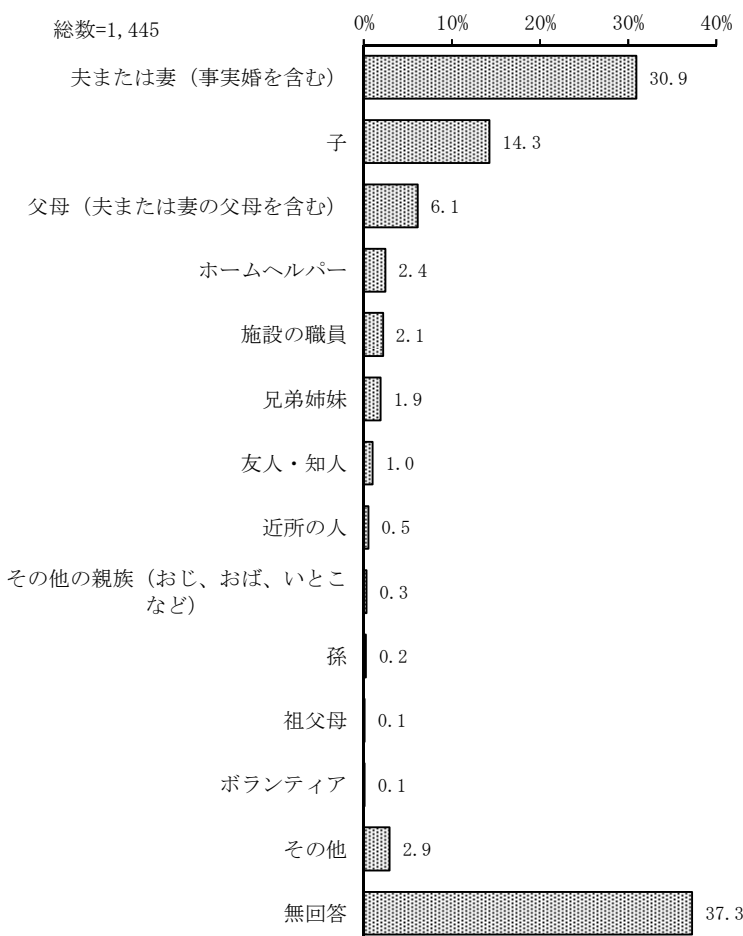
図表 1-33 支援を受けている人（支援者との関係）



最も機会が多い人は「夫または妻（事実婚を含む）」が30.9%で最も多く、「子」が14.3%、「父母（夫または妻の父母を含む）」が6.1%で続きます。

図表 1-34

最も支援を受ける機会の多い人（支援者との関係）

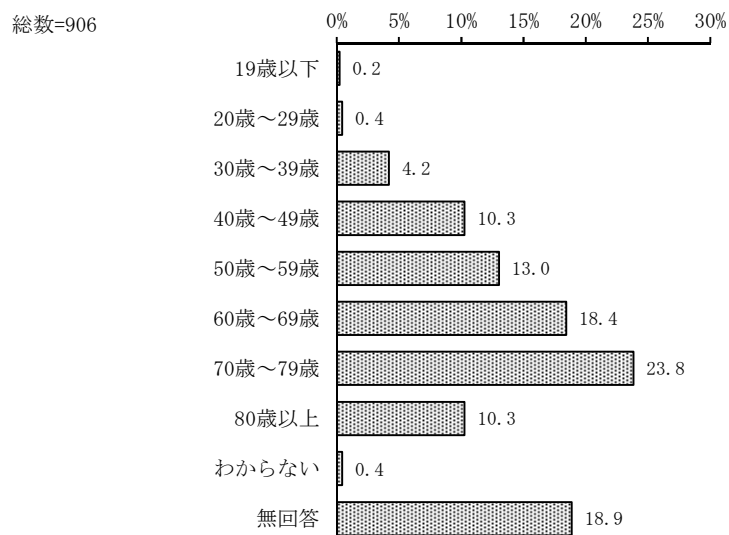


問 13-1 【問 13 で 1～7 に◎をつけた方にうかがいます。】 主な支援者は何歳くらいの方ですか。（どれか1つに○）

- ※ 1. 夫または妻（事実婚を含む） 2. 子 3. 孫 4. 父母（夫または妻の父母を含む） 5. 兄弟姉妹  
6. 祖父母 7. その他の親族（おじ、おば、いとこなど）

「70歳～79歳」が23.8%で最も多く、「60歳～69歳」が18.4%、「50歳～59歳」が13.0%、「40歳～49歳」、「80歳以上」が10.3%で続きます。

図表 1-35 主な支援者の年齢

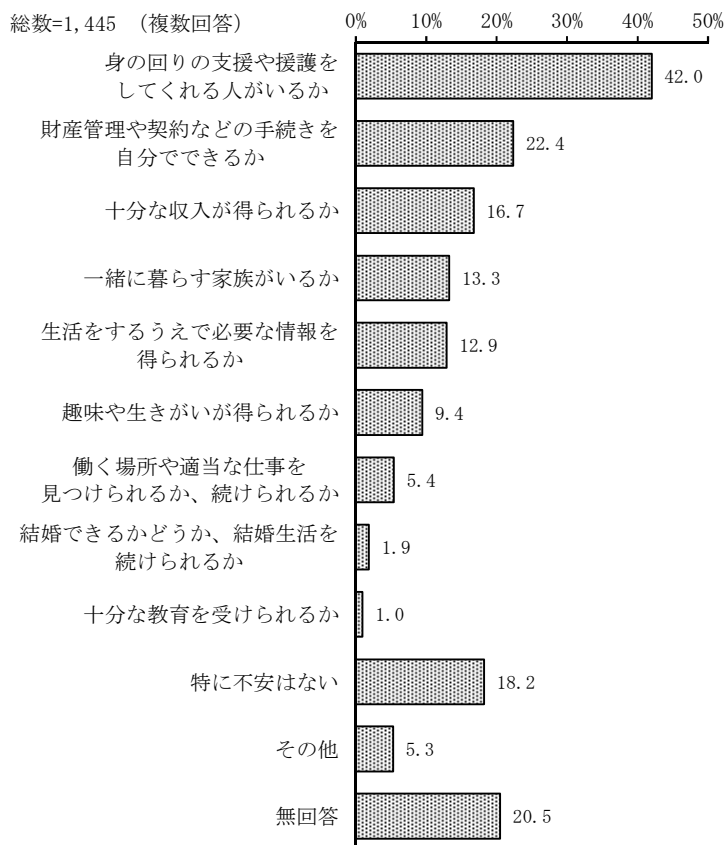


問 14 あなたは支援者亡きあとの生活を考えた時、どのような不安がありますか。(あてはまるものすべてに○)

「身の回りの支援や援護をしてくれる人がいるか」が42.0%で最も多く、「財産管理や契約などの手続きを自分でできるか」が22.4%、「十分な収入が得られるか」が16.7%、「一緒に暮らす家族がいるか」が13.3%で続きます。

障害の種類別に見ると、「身の回りの支援や援護をしてくれる人がいるか」という回答が、視覚障害者、聴覚・平衡機能障害者、音声・言語・そしゃく機能障害者で50%以上となっています。

図表 1-36 支援者亡きあとの生活で不安なこと



図表 1-37 支援者亡きあとの生活で不安なこと（障害の種類別）

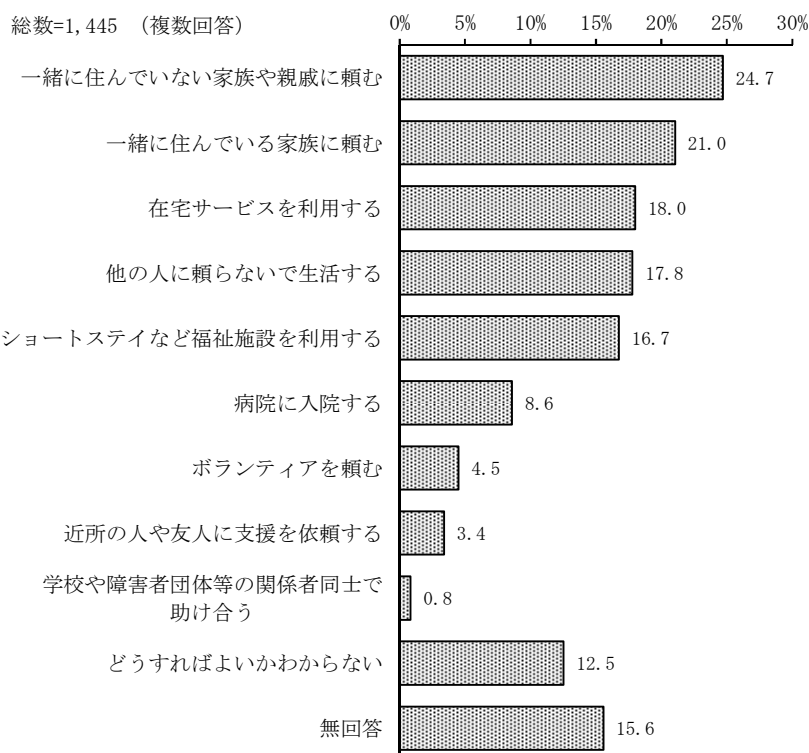
	全体	身の回りの支援や援護をしてくれる人がいるか	財産管理や契約などの手続きを自分でできるか	結婚できるかどうか、結婚生活を続けられるか	一緒に暮らす家族がいるか	十分な収入を受けられるか	働く場所や適当な仕事を見つけられるか、続けられるか	十分な収入が得られるか	趣味や生きがい得られるか	生活をするうえで必要な情報を得られるか	特に不安はない	その他	無回答
全体	1,411 100.0	596 42.2	313 22.2	26 1.8	183 13.0	13 0.9	75 5.3	234 16.6	134 9.5	181 12.8	257 18.2	74 5.2	288 20.4
視覚障害	81 100.0	45 55.6	32 39.5	1 1.2	15 18.5	1 1.2	5 6.2	18 22.2	11 13.6	20 24.7	7 8.6	4 4.9	13 16.0
聴覚・平衡機能障害	84 100.0	44 52.4	27 32.1	3 3.6	13 15.5	2 2.4	7 8.3	16 19.0	11 13.1	30 35.7	10 11.9	5 6.0	11 13.1
音声・言語・そしゃく機能障害	49 100.0	26 53.1	15 30.6	1 2.0	14 28.6	1 2.0	2 4.1	8 16.3	5 10.2	6 12.2	6 12.2	5 10.2	7 14.3
肢体不自由(上下肢、体幹機能)	718 100.0	311 43.3	168 23.4	14 1.9	91 12.7	7 1.0	37 5.2	128 17.8	68 9.5	97 13.5	125 17.4	47 6.5	145 20.2
内部障害(心臓、呼吸器、直腸など)	504 100.0	211 41.9	98 19.4	10 2.0	68 13.5	5 1.0	31 6.2	83 16.5	50 9.9	48 9.5	103 20.4	20 4.0	101 20.0
無回答	64 100.0	18 28.1	7 10.9	-	6 9.4	-	-	6 9.4	2 3.1	2 3.1	11 17.2	3 4.7	24 37.5



問 15 もし、いつも支援をしてくれる方が病気などで支援できなくなった場合、あなたはどのようにしますか。(あてはまるものすべてに○)

「一緒に住んでいない家族や親戚に頼む」が24.7%で最も多く、「一緒に住んでいる家族に頼む」が21.0%、「在宅サービスを利用する」が18.0%、「他の人に頼らないで生活する」が17.8%、「ショートステイなど福祉施設を利用する」が16.7%で続きます。

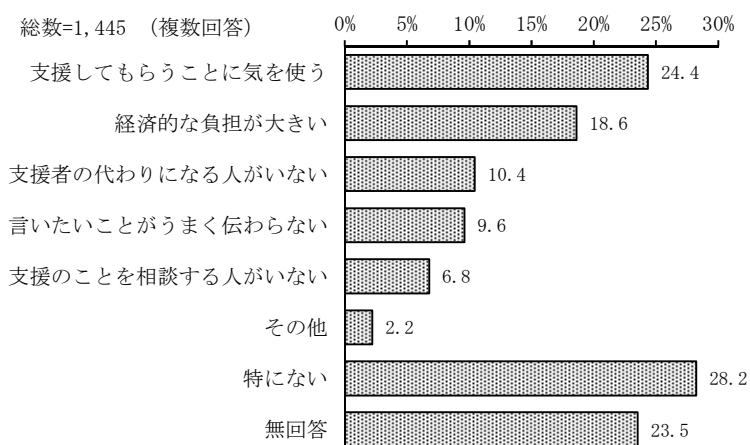
図表 1-38 支援者が支援できなくなった場合の対応



問 16 あなたが支援を受ける上で困っていることは、どのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

「支援してもらうことに気を使う」が24.4%で最も多く、「経済的な負担が大きい」が18.6%、「支援者の代わりになる人がいない」が10.4%、「言いたいことがうまく伝わらない」が9.6%で続きます。

図表 1-39 支援を受ける上で困っていること

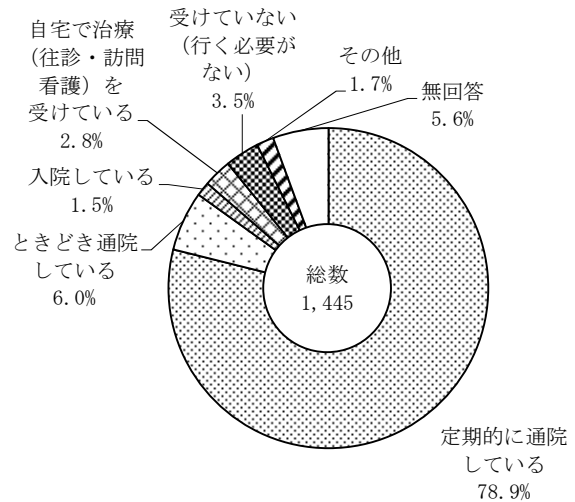


【4】保健・医療についてうかがいます。

問 17 あなたは、現在、医療を受けていますか。(どれか1つに○)

「定期的に通院している」が78.9%で最も多く、「ときどき通院している」が6.0%、「受けていない(行く必要がない)」が3.5%、「自宅で治療(往診・訪問看護)を受けている」が2.8%、「自宅で治療(往診・訪問看護)を受けている」が2.8%で続きます。

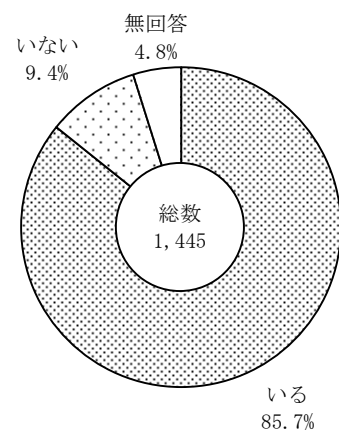
図表 1-40 現在、医療を受けていますか



問 18 あなたには、よく診察してもらう「かかりつけ医」がいますか。(どれか1つに○)

「いる」が85.7%、「いない」が9.4%となっています。

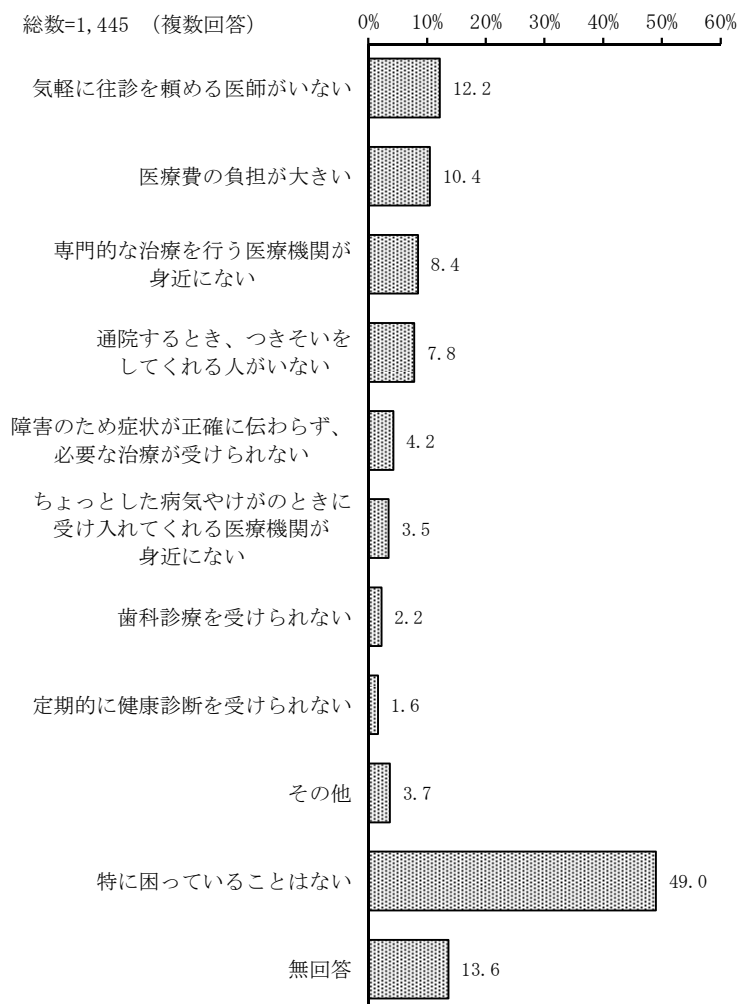
図表 1-41 かかりつけ医の有無



問 19 あなたが医療を受けるときや、健康管理で困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「気軽に往診を頼める医師がいない」が12.2%で最も多く、「医療費の負担が大きい」が10.4%、「専門的な治療を行う医療機関が身近にない」が8.4%、「通院するとき、つきそいをしてくれる人がいない」が7.8%で続きます。

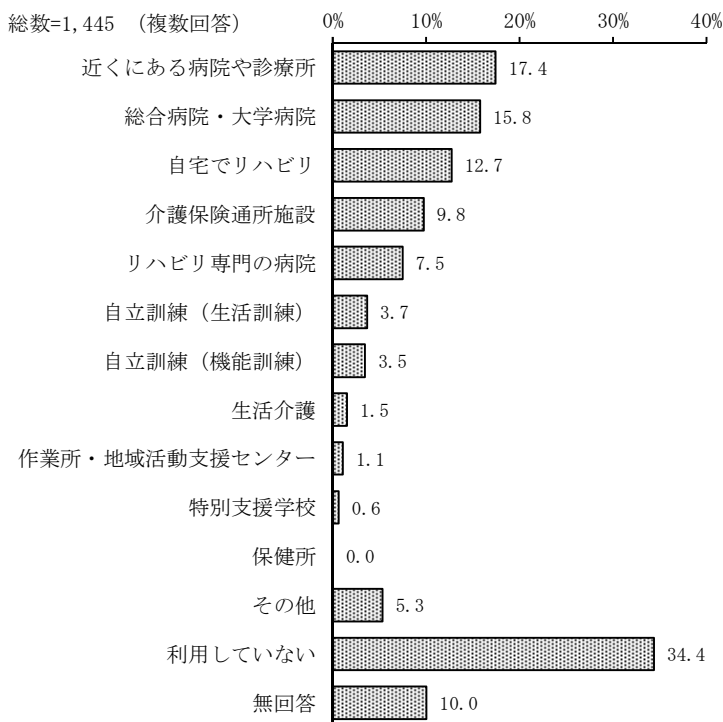
図表 1-42 医療を受けるときや健康管理で困ること



問 20 あなたは、障害の機能回復や悪化を防ぐために、病院や訓練施設を利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

「近くにある病院や診療所」が17.4%で最も多く、「総合病院・大学病院」が15.8%、「自宅でリハビリ」が12.7%で続きます。

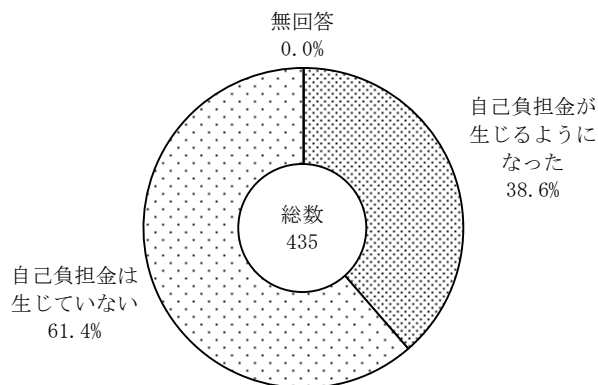
図表 1-43 病院や訓練施設の利用状況



問 21 【重度心身障害者医療費助成受給券をお持ちの方にうかがいます。】平成27年8月より、県内の病院等で重度医療費の助成を受ける場合は受給券を提示して、一定の所得の利用者に対しては自己負担金（通院1回300円、入院1日300円）が生じるという制度改正がされましたがどちらに該当しますか。(どれか1つに○)

「自己負担金が生じるようになった」が38.6%、「自己負担金は生じていない」が61.4%となっています。

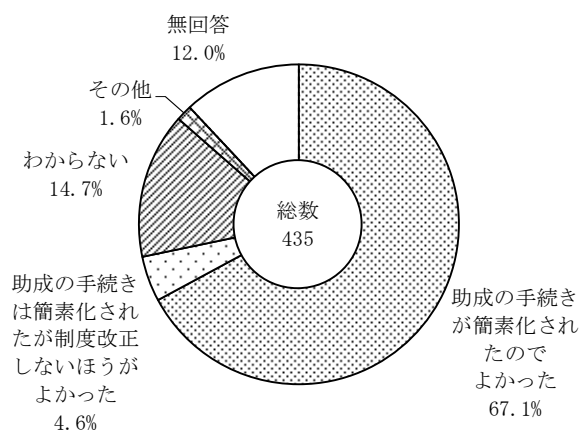
図表 1-44 重度医療費の助成を受ける場合の自己負担金について



問 21-1 【重度心身障害者医療費助成受給券をお持ちの方にうかがいます。】  
助成を受けるため、原則的には市役所へ申請書・領収書等を提出する必要がなくなりましたが、このことについてどう思いますか。(どれか1つに○)

「助成の手続きが簡素化されたのでよかった」が67.1%で最も多く、「わからない」が14.7%、「助成の手続きは簡素化されたが制度改正しないほうがよかった」が4.6%で続きます。

図表 1- 45  
市役所へ申請書・領収書等を提出する必要がなくなったことについて

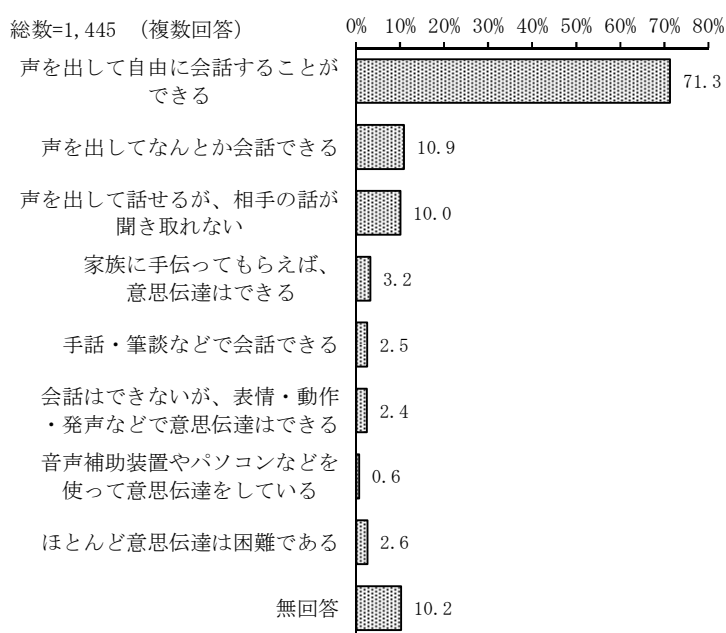


【5】情報・コミュニケーションについてうかがいます。

問 22 あなたは、日頃どのようにコミュニケーション（会話や意思の伝達）をとることができますか。(あてはまるものすべてに○)

「声を出して自由に会話することができる」が71.3%で最も多く、「声を出してなんとか会話できる」が10.9%、「声を出して話せるが、相手の話が聞き取れない」が10.0%で続きます。

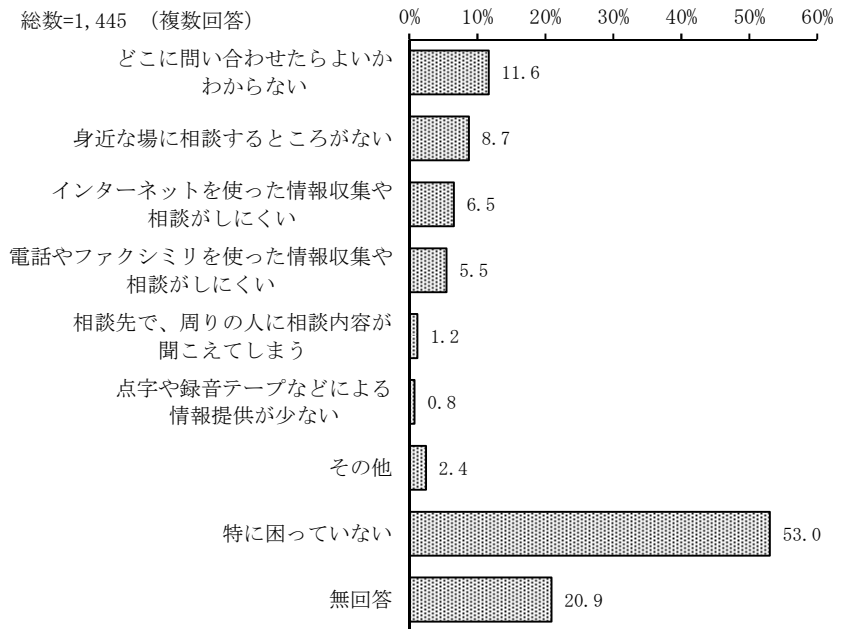
図表 1- 46 コミュニケーション（会話や意思の伝達）の程度



問23 あなたが情報収集や相談をするときに困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「どこに問い合わせたらよいかわからない」が11.6%で最も多く、「身近な場に相談するところがない」が8.7%、「インターネットを使った情報収集や相談がしにくい」が6.5%、「電話やファクシミリを使った情報収集や相談がしにくい」が5.5%、「電話やファクシミリを使った情報収集や相談がしにくい」が5.5%で続きます。

図表 1- 47 情報収集や相談をするときに困ること

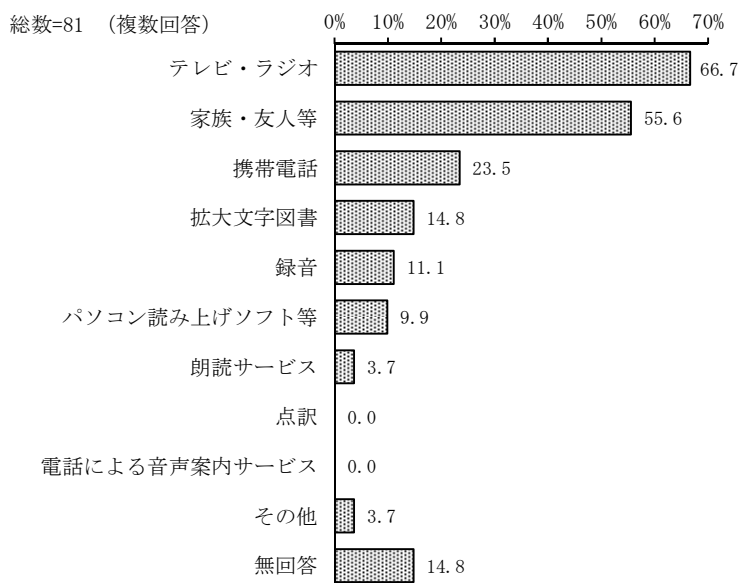


問24 【視覚障害の方にはうかがいます。】あなたは、日頃どのようにして情報を得たり、コミュニケーションをとったりしていますか。(あてはまるものすべてに○)

「テレビ・ラジオ」が66.7%で最も多く、「家族・友人等」が55.6%、「携帯電話」が23.5%で続きます。

図表 1- 48

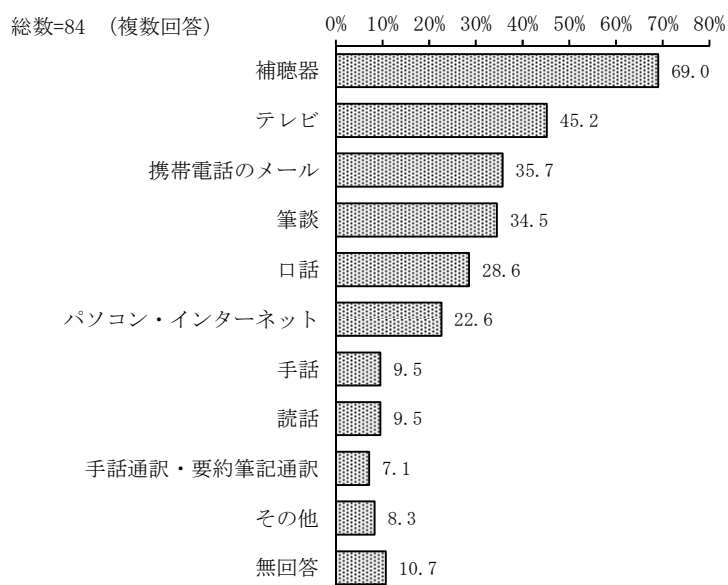
日頃どのようにして情報を得たり、コミュニケーションをとったりしていますか【視覚障害者】



問 25 【聴覚障害の方にはうかがいます。】あなたは、日頃どのようにして情報を得たり、コミュニケーションをとったりしていますか。（あてはまるものすべてに○）

「補聴器」が69.0%で最も多く、「テレビ」が45.2%、「携帯電話のメール」が35.7%、「筆談」が34.5%で続きます。

図表 1- 49  
日頃どのようにして情報を得たり、  
コミュニケーションをとったりしていますか【聴覚障害者】



問 25-1 【問 25 で 3 を選んだ方にうかがいます。】手話通訳者・要約筆記者の派遣サービスに満足していますか。（どれか1つに○）

### ※3. 手話通訳・要約筆記通訳

この設問の回答者は6名で、「満足している」が3名、「おおむね満足している」が1名、「満足していない」が2名、回答しています。

図表 1- 50  
手話通訳者・要約筆記者の派遣サービスの満足度

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	6	100.0
満足している	3	50.0
おおむね満足している	1	16.7
普通	-	-
満足していない	2	33.3
わからない	-	-
無回答	-	-

問 25-2 【問 25-1 で 4 を選んだ方にうかがいます。】あなたが手話通訳者・要約筆記者の派遣サービスに満足していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

※4. 満足していない

この設問の回答者は2名で、「派遣サービスを利用して自分の意図が伝わらない、相手の意図がわからないと感じることがある」が1名、「その他」が2名、回答しています。

図表 1- 51

手話通訳者・要約筆記者の派遣サービスに満足していない理由

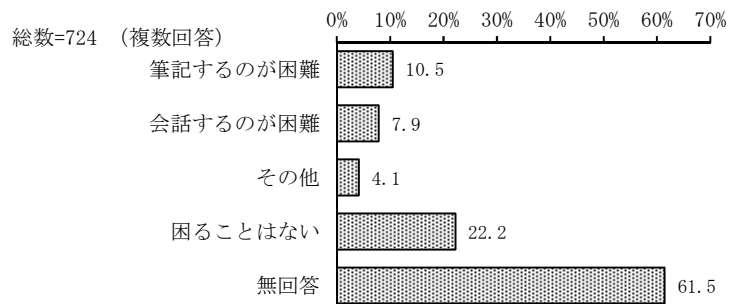
項目名 【複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	2	100.0
予約がとりづらい	-	-
用事の内容によっては、派遣サービスを利用できない	-	-
派遣サービスを利用して自分の意図が伝わらない、相手の意図がわからないと	1	50.0
その他	2	100.0

問 26 【脳性まひや肢体不自由の方にうかがいます。】あなたが意思を伝える場合コミュニケーションをとる際に困ることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「筆記するのが困難」が10.5%で最も多く、「会話するのが困難」が7.9%となっています。

図表 1- 52

意思を伝える場合コミュニケーションをとる際に困ること【脳性まひや肢体不自由の方】



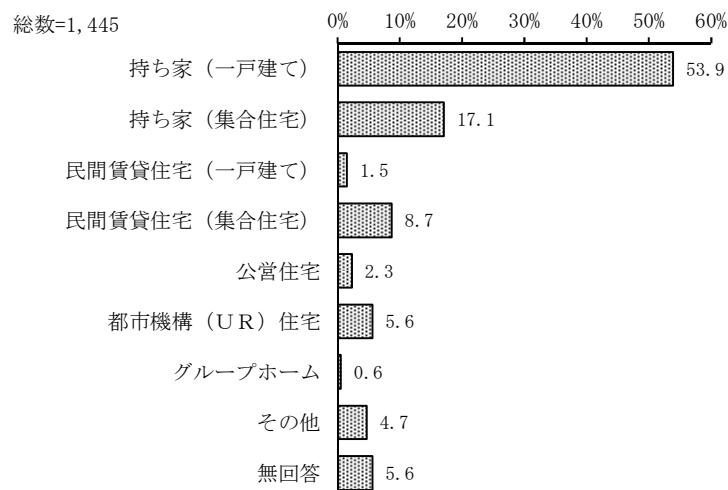


## 【6】お住まいについてうかがいます。

問27 あなたは、現在どのようなところにお住まいですか。(どれか1つに○)

「持ち家（一戸建て）」が53.9%で最も多く、「持ち家(集合住宅)」が17.1%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が8.7%、「都市機構（UR）住宅」が5.6%で続きます。

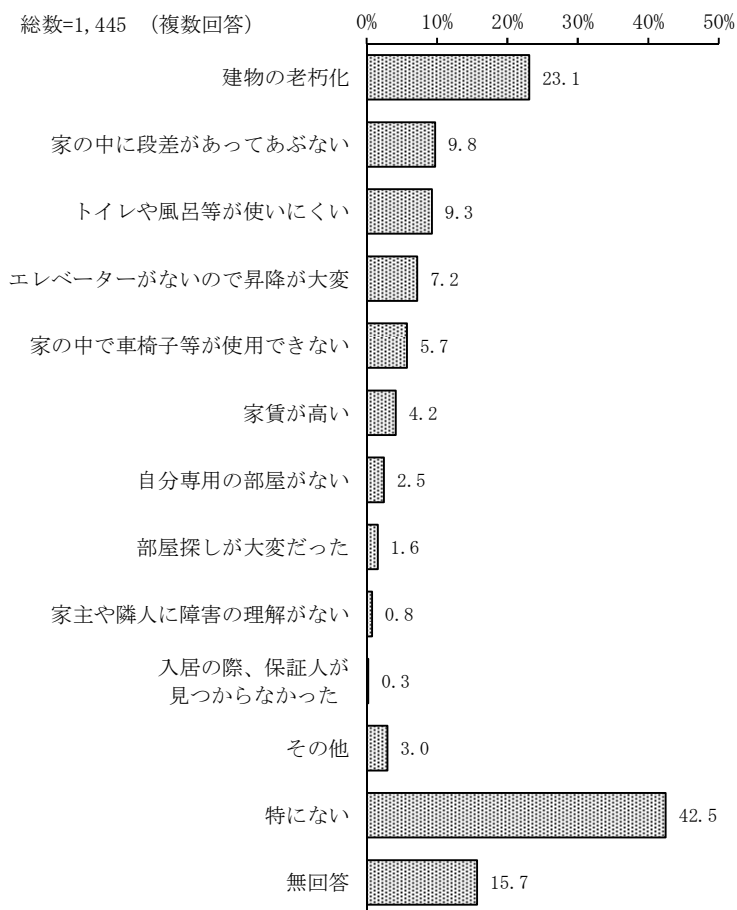
図表 1-53 現在の住まい



問28 あなたが今のお住まいで困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「建物の老朽化」が23.1%で最も多く、「家の中に段差があってあぶない」が9.8%、「トイレや風呂等が使いにくい」が9.3%、「エレベーターがないので昇降が大変」が7.2%で続きます。

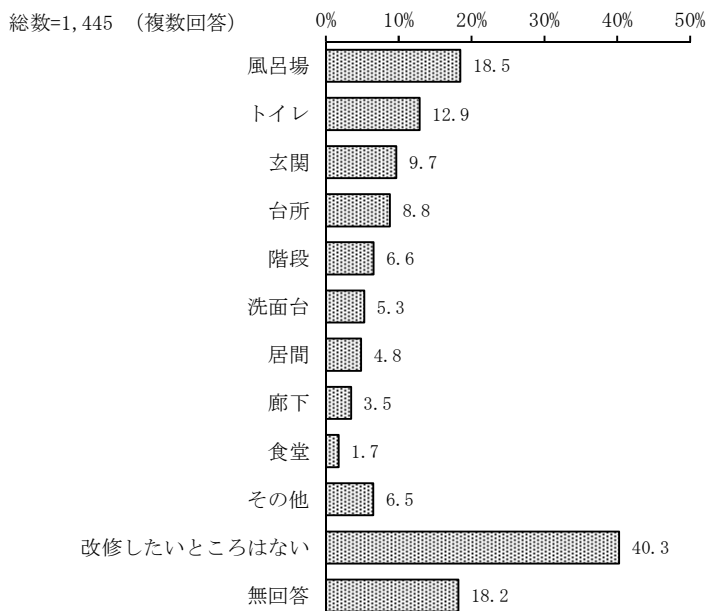
図表 1-54 今の住まいで困っていること



問29 あなたが今のお住まいで改修したいところは、どこですか。(あてはまるものすべてに○)

「風呂場」が18.5%で最も多く、「トイレ」が12.9%、「玄関」が9.7%、「台所」が8.8%で続きます。

図表 1-55 今の住まいで改修したいところ

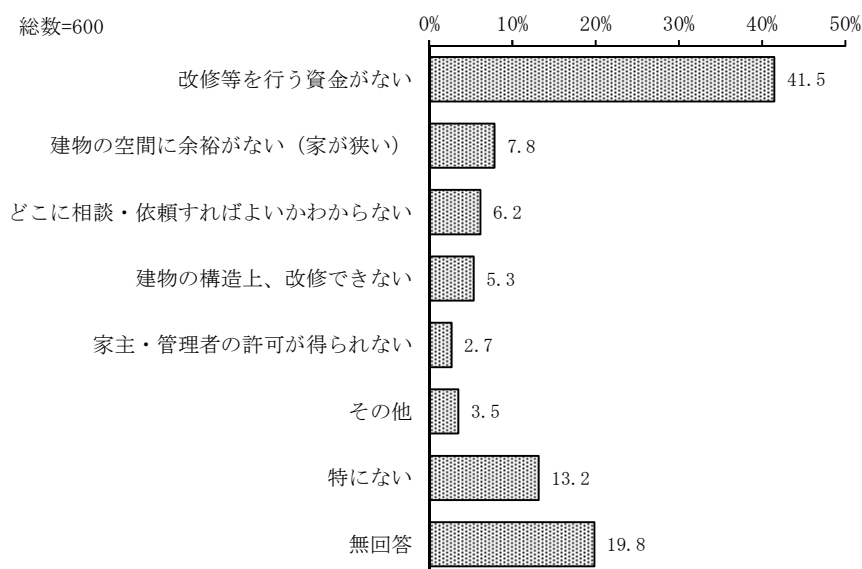


問29-1 【問29で1~10を選んだ方にうかがいます。】あなたにとって、住宅の改修を考えたときに最も難しいのはどのようなことですか。(どれか1つに○)

※ 1. 玄関 2. 風呂場 3. トイレ 4. 台所 5. 洗面台 6. 廊下 7. 階段 8. 居間 9. 食堂 10. その他

「改修等を行う資金がない」が41.5%で最も多く、「建物の空間に余裕がない(家が狭い)」が7.8%、「どこに相談・依頼すればよいかわからない」が6.2%、「建物の構造上、改修できない」が5.3%で続きます。

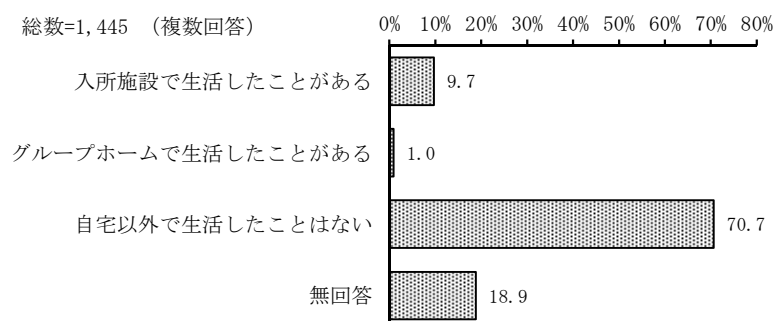
図表 1-56 住宅の改修を考えたときに最も難しいこと



問30 あなたはこれまで、自宅以外の入所施設やグループホームで生活したことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

「自宅以外で生活したことはない」が70.7%、「入所施設で生活したことがある」が9.7%、「グループホームで生活したことがある」が1.0%となっています。

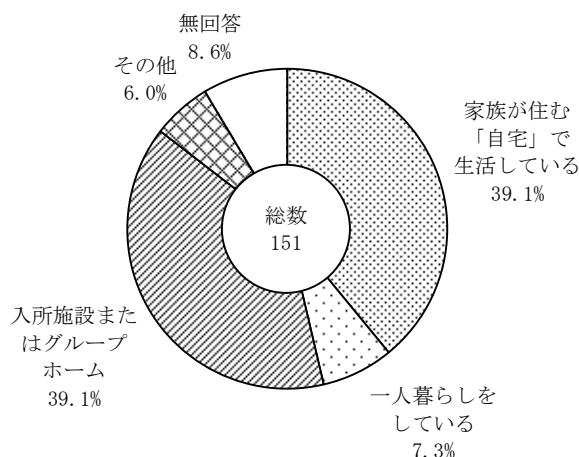
図表1-57 自宅以外で生活したこと



問30-1 【自宅以外で生活した経験がある方にうかがいます。】あなたが現在生活している場所を以下からお選びください。(どれか1つに○)

「家族が住む「自宅」で生活している」、「入所施設またはグループホーム」が39.1%、「一人暮らしをしている」が7.3%となっています。

図表1-58 現在生活している場所



問30-2 【自宅以外で生活した経験がある方にうかがいます。】施設やグループホームから自宅や一人暮らしへの生活に移行した際に良かったことや困ったことは何ですか。

【良かったこと】

61名が回答しました。

〈主な意見〉

- ・起床時間、食事時間など、自分の思うように生活できる。
- ・意思疎通がとりやすい。日常生活の動作がしやすい。施設より自立できる。

- ・施設から民間アパートに移ったときに開放感があった。
- ・食事の心配しなくても済んだ。
- ・家族が近くにいて安心できる。

### 【困ったこと】

44名が回答しました。

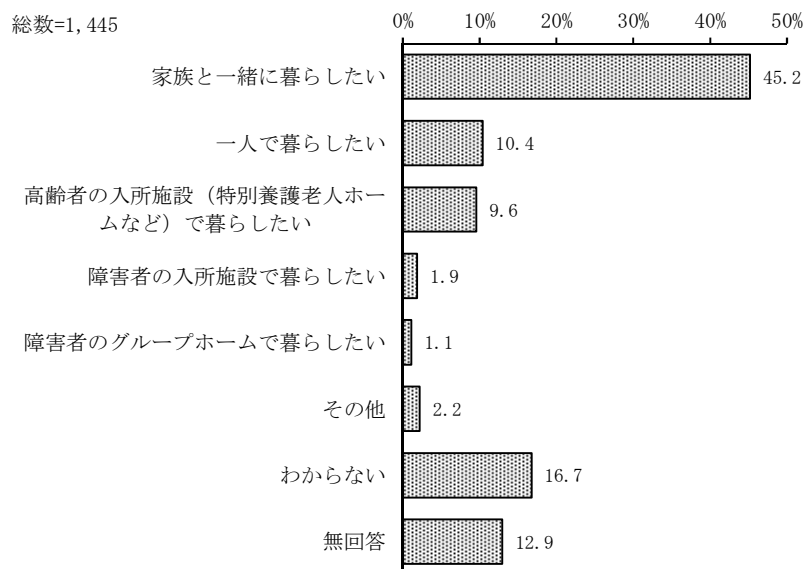
〈主な意見〉

- ・冬場、夏場は自宅の方が室温が適切でない。自宅は夏暑く、冬寒い。
- ・一人でトイレや入浴が出来ない。自由に歩けない。
- ・自分の思うように暮らせない。知り合いがいない事。
- ・同世代の話し相手が家の中にはいない。
- ・お金がない。体調が悪くなったとき、買物に行けない。
- ・経済的負担が多い。

## 問31 あなたは、将来どのように暮らしたいですか。(どれか1つに○)

「家族と一緒に暮らしたい」が45.2%で最も多く、「一人で暮らしたい」が10.4%、「高齢者の入所施設（特別養護老人ホームなど）で暮らしたい」が9.6%、で続きます。

図表 1-59 将来希望する暮らし方

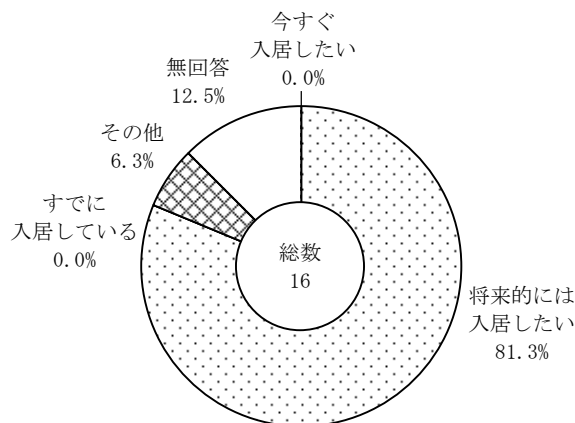


問31-1 【問31で4を選んだ方にうかがいます。】いつ頃障害者のグループホームに入居したいと考えていますか。(どれか1つに○)

※ 4. 障害者のグループホームで暮らしたい

「将来的には入居したい」が81.3%で最も多く、「その他」が6.3%で続きます。

図表 1-60 障害者のグループホームへの入居を希望する時期



問31-2 【問31-1で1を選んだ方にうかがいます。】障害者のグループホームに今すぐ入居したいと考えているのに入居していない理由は何ですか。(どれか1つに○)

※ 1. 今すぐ入居したい

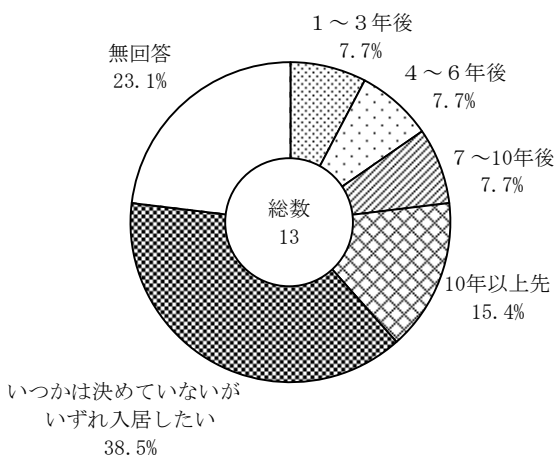
この設問には、回答者がありません。

問31-3 【問31-1で2を選んだ方にうかがいます。】障害者のグループホームに何年後くらいに入居したいと考えていますか。(どれか1つに○)

※ 2. 将来的には入居したい

「いつかは決めていないがいずれ入居したい」が38.5%で最も多く、「10年以上先」が15.4%で続きます。

図表 1-61 障害者のグループホームに入居したい時期

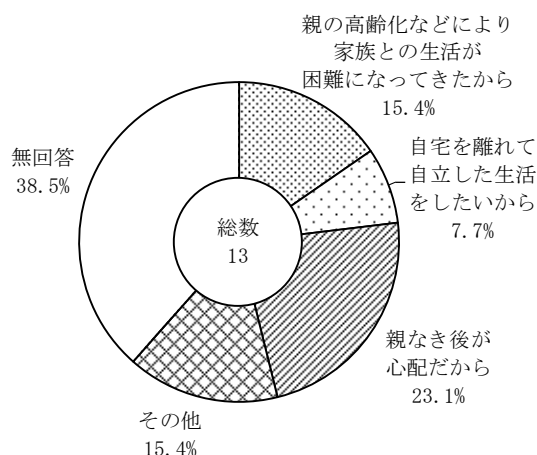


問31-4 【問31-1で1か2を選んだ方にうかがいます。】障害者のグループホームに入居したいと考えている理由は何ですか。(どれか1つに○)

※ 1. 今すぐ入居したい 2. 将来的には入居したい

「親なき後が心配だから」が23.1%で最も多く、「親の高齢化などにより家族との生活が困難になってきたから」、「その他」が15.4%で続きます。

図表1-62 障害者のグループホームに入居したい理由

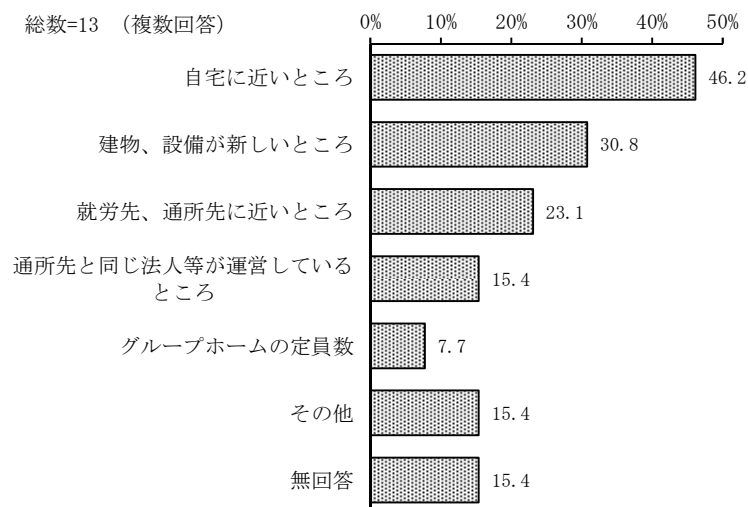


問31-5 【問31-1で1か2を選んだ方にうかがいます。】障害者のグループホームに入居するとしたら、どんな基準でグループホームを選びますか。(あてはまるものすべてに○)

※ 1. 今すぐ入居したい 2. 将来的には入居したい

「自宅に近いところ」が46.2%で最も多く、「建物、設備が新しいところ」が30.8%、「就労先、通所先に近いところ」が23.1%、で続きます。

図表1-63 障害者のグループホームを選ぶ基準



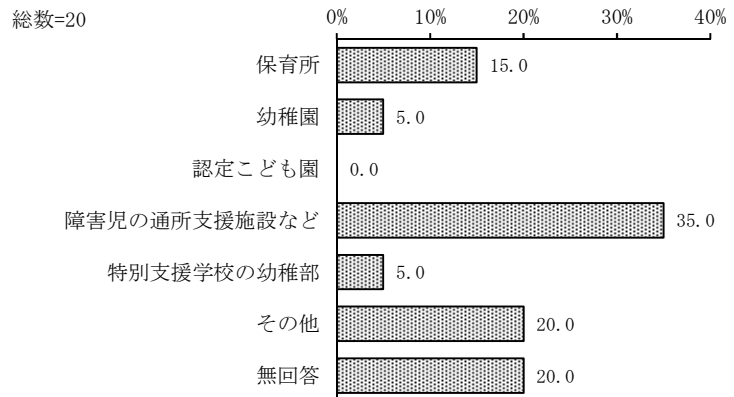
## 【7】保育・教育・療育についてうかがいます。

問32 現在、あなたが通園・通学しているところはどこですか。(どれか1つに○)

### 【A 就学前の方】

「障害児の通所支援施設など」が35.0%で最も多く、「その他」が20.0%、「保育所」が15.0%で続きます。

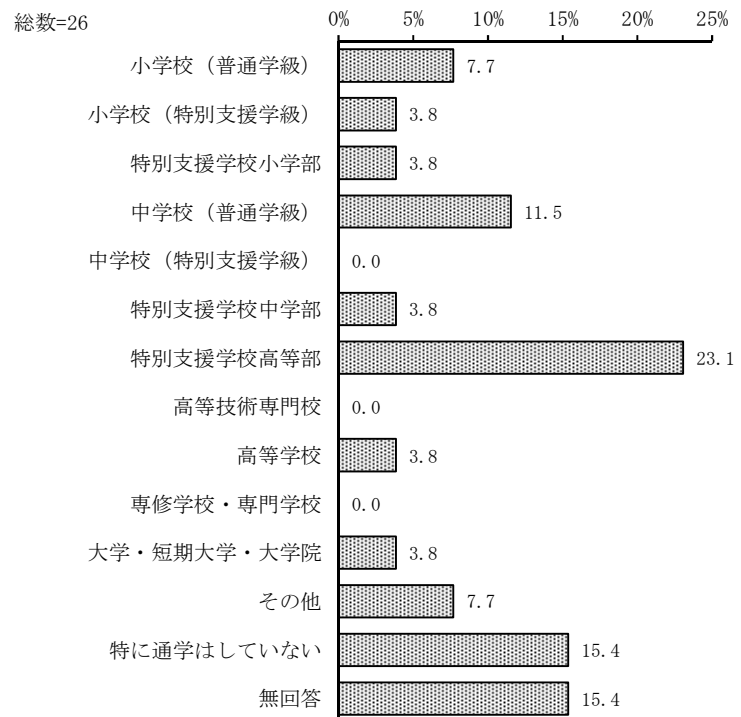
図表 1-64 通園・通所先【A 就学前】



### 【B 学齢期から25歳未満の方】

「特別支援学校高等部」が23.1%で最も多く、「特に通学はしていない」が15.4%、「中学校（普通学級）」が11.5%、「小学校（普通学級）」が7.7%、「小学校（特別支援学級）」が3.8%、「中学校（特別支援学級）」が0.0%、「高等技術専門校」が0.0%、「専修学校・専門学校」が0.0%、「大学・短期大学・大学院」が3.8%、「その他」が7.7%で続きます。

図表 1-65 通学先【B 学齢期から25歳未満】

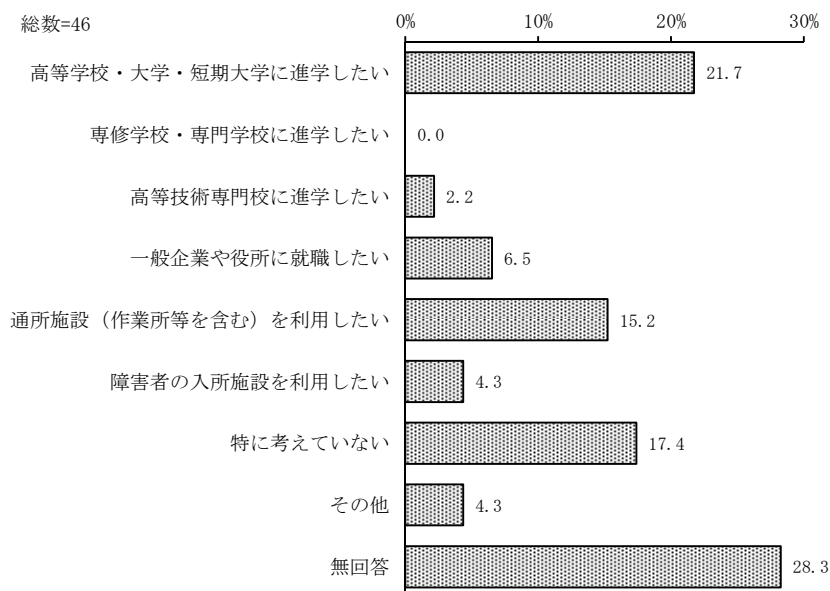




問33 あなたは、中学校・高等学校卒業後の進路について、どのように考えていますか。(どれか1つに○)

「高等学校・大学・短期大学に進学したい」が21.7%で最も多く、「特に考えていない」が17.4%、「通所施設（作業所等を含む）を利用したい」が15.2%、「一般企業や役所に就職したい」が6.5%で続きます。

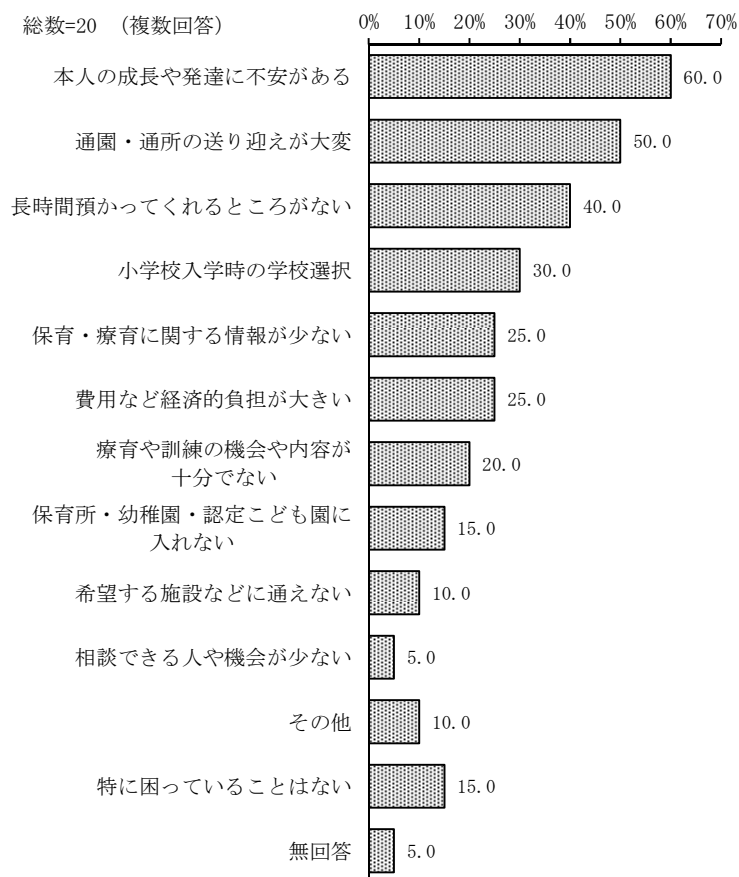
図表 1- 66 中学校・高等学校卒業後の進路希望



問34 【就学前の方の保護者にうかがいます。】保護者の方が、お子さんの保育や療育について困っていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「本人の成長や発達に不安がある」が60.0%で最も多く、「通園・通所の送り迎えが大変」が50.0%、「長時間預かってくれるところがない」が40.0%、「小学校入学時の学校選択」が30.0%で続きます。

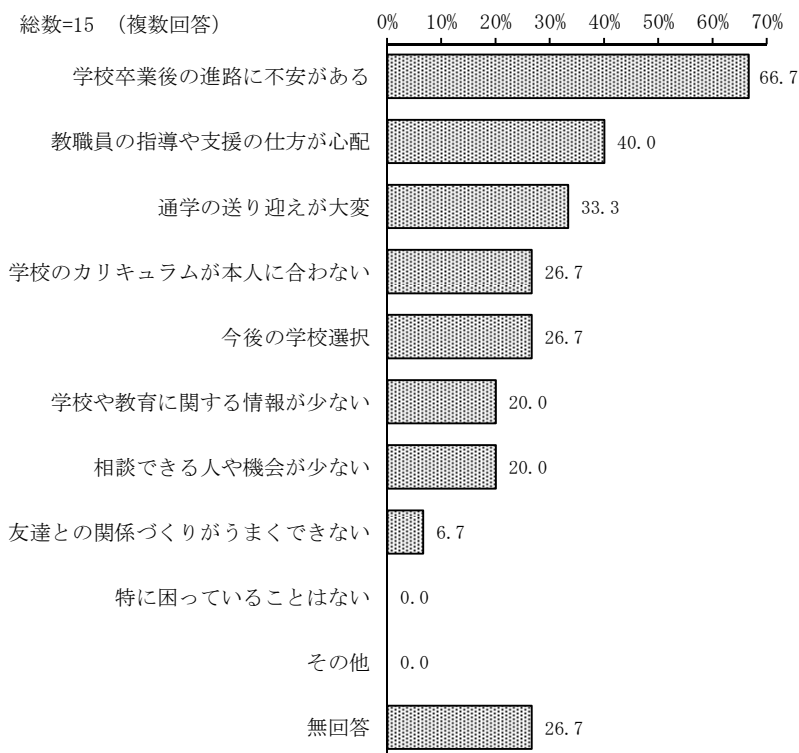
図表 1-67 保育や療育について困っていること



問 35 【特別支援学校（幼稚部を除く）・小学校・中学校・高等学校在学中の方の保護者にうかがいます。】保護者の方が、学校や教育について困っていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「学校卒業後の進路に不安がある」が66.7%で最も多く、「教職員の指導や支援の仕方が心配」が40.0%、「通学の送り迎えが大変」が33.3%で続きます。

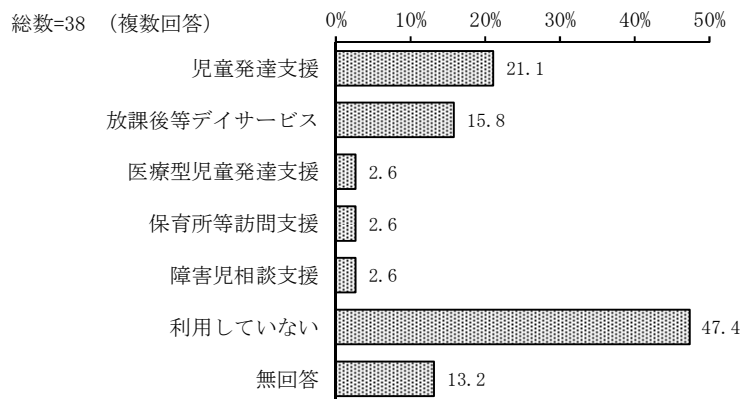
図表 1- 68 学校や教育について困っていること



問 36 【18歳未満の方にうかがいます。】あなたは、障害のある児童のための次のようなサービスを利用していますか。（あてはまるものすべてに○）

「児童発達支援」が21.1%で最も多く、「放課後等デイサービス」が15.8%で続きます。

図表 1- 69 障害のある児童のためのサービスの利用状況

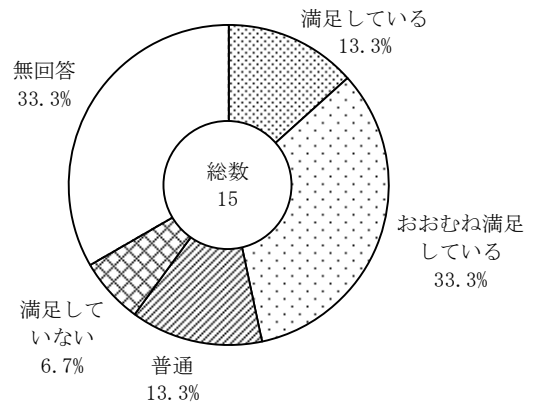


問 36-1 【問 36 で 1～5 を選んだ方にうかがいます。】あなたは、利用しているサービスに満足していますか。（どれか1つに○）

- ※ 1. 児童発達支援 2. 医療型児童発達支援 3. 放課後等デイサービス 4. 保育所等訪問支援  
5. 障害児相談支援

図表 1-70 利用しているサービスの満足度

「おおむね満足している」が 33.3%  
で最も多く、「満足している」、「普通」  
が 13.3%、「満足していない」が 6.7%  
となっています。



問 36-2 【問 36-1 で 4 を選んだ方にうかがいます。】あなたが満足していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- ※ 4. 満足していない

この設問の回答者は 1  
名で、「サービスの 1 回当  
たりの時間が少ない」と回  
答しています。

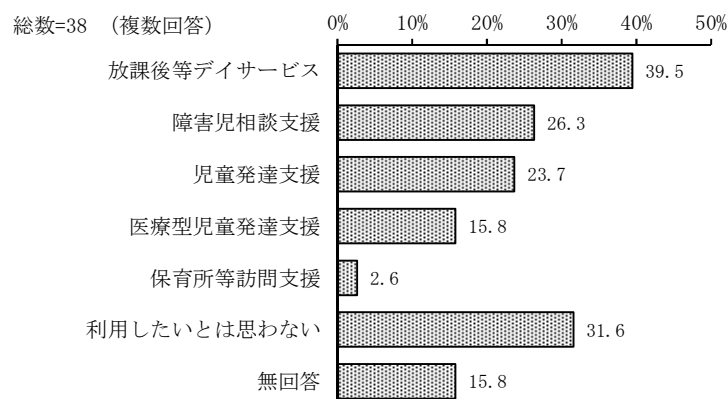
図表 1-71 サービスに満足していない理由

項目名 【複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	1	100.0
サービスの制度がわかりにくい	-	-
サービスの利用の手続きが面倒	-	-
サービスの回数や日数が少ない	-	-
サービスの 1 回当たりの時間が少ない	1	100.0
サービスを利用したい 日時の調整が大変	-	-
サービスの内容が雑であったり、 ニーズに合っていない	-	-
サービスを提供する人の 態度がよくない	-	-
サービス利用に対する 自己負担が大きい	-	-
その他	-	-
無回答	-	-

問37 【18歳未満の方にうかがいます。】今後、あなたは障害のある児童のための次のサービスを利用したいと思いますか。現在利用している方もお答えください。（あてはまるものにすべてに○）

「放課後等デイサービス」が39.5%で最も多く、「障害児相談支援」が26.3%、「児童発達支援」が23.7%で続きます。

図表 1-72 障害のある児童のためのサービスの利用意向

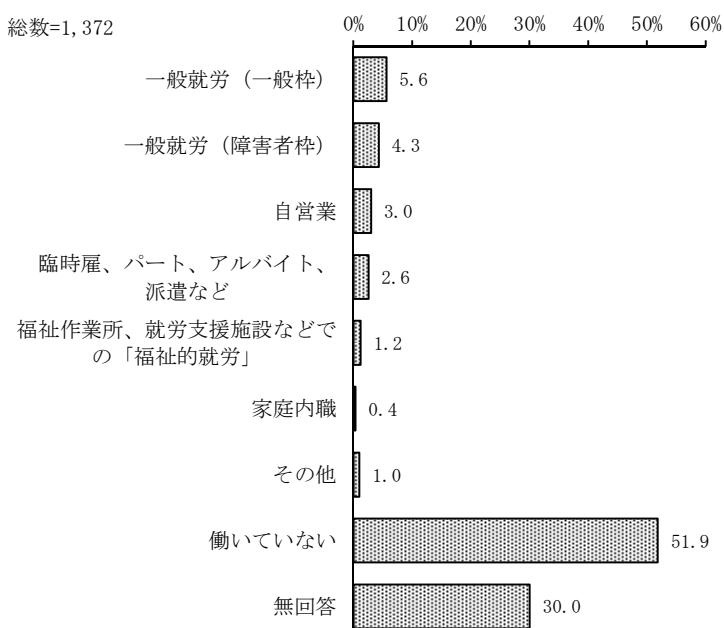


## 【8】仕事についてうかがいます。

問38 あなたは、現在働いて（収入のある仕事に就いて）いますか。（どれか1つに○）

「働いていない」が51.9%で最も多く、「一般就労（一般枠）」が5.6%、「一般就労（障害者枠）」が4.3%、「自営業」が3.0%、「臨時雇、パート、アルバイト、派遣など」が2.6%で続きます。

図表 1-73 就労の有無と種類



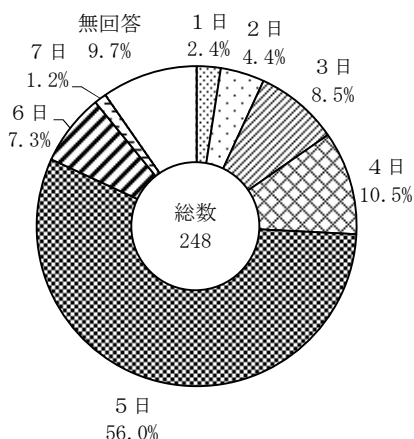
問38-1 【問38で1～7を選んだ方にうかがいます。】あなたは、週に何日間・合計何時間程度働いていますか。Aは（ ）内に数字を、Bはどれか1つに○を記入してください。

- ※ 1. 一般就労（一般枠） 2. 一般就労（障害者枠） 3. 臨時雇、パート、アルバイト、派遣など  
 4. 自営業 5. 家庭内職 6. 福祉作業所、就労支援施設などでの「福祉的就労」 7. その他

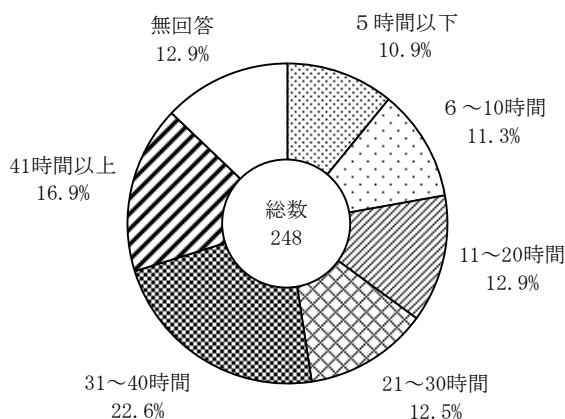
1週間あたりの労働日数は、「5日」が56.0%で最も多く、「4日」が10.5%、「3日」が8.5%、「6日」が7.3%で続きます。

1週間あたりの労働時間は、「31～40時間」が22.6%で最も多く、「41時間以上」が16.9%、「11～20時間」が12.9%、「21～30時間」が12.5%で続きます。

図表 1-74 1週間に働く日数の合計



図表 1-75 1週間に働く時間の合計

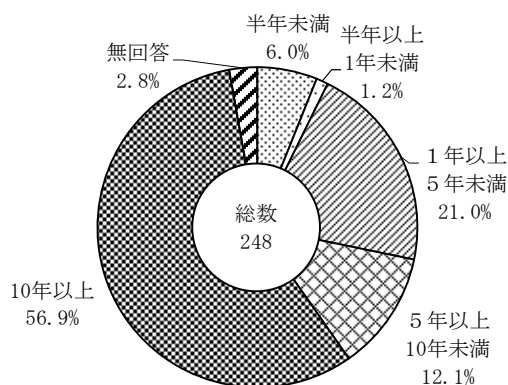


問38-2 【問38で1～7を選んだ方にうかがいます。】あなたは、今の仕事をどれくらいの期間続けていますか。（どれか1つに○）

- ※ 1. 一般就労（一般枠） 2. 一般就労（障害者枠） 3. 臨時雇、パート、アルバイト、派遣など  
 4. 自営業 5. 家庭内職 6. 福祉作業所、就労支援施設などでの「福祉的就労」 7. その他

「10年以上」が56.9%で最も多く、「1年以上5年未満」が21.0%、「5年以上10年未満」が12.1%、「半年未満」が6.0%で続きます。

図表 1-76 今の仕事を続けている期間

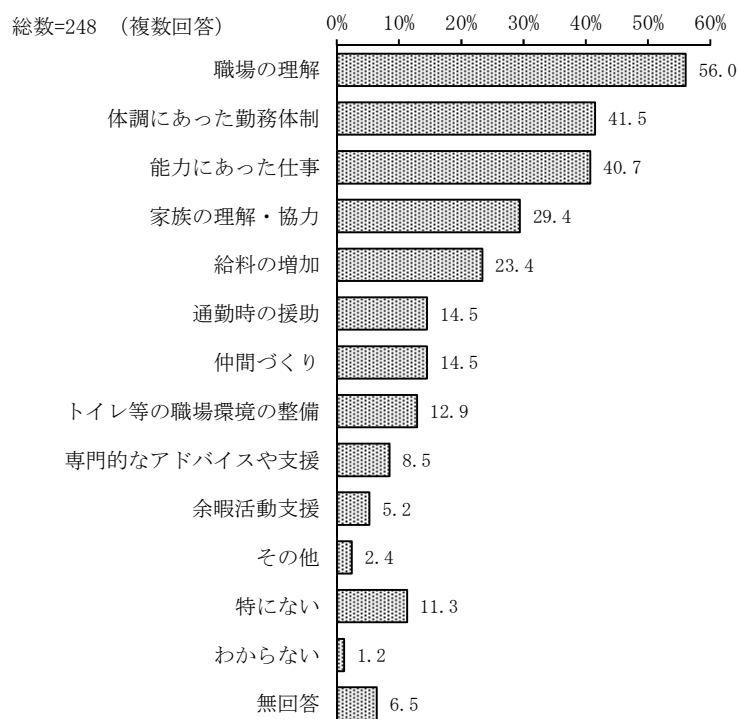


問38-3 【問38で1~7を選んだ方にうかがいます。】長期的に働くためにはどのようなことが必要だと考えますか。(あてはまるものにすべてに○)

- ※ 1. 一般就労（一般枠） 2. 一般就労（障害者枠） 3. 臨時雇、パート、アルバイト、派遣など  
4. 自営業 5. 家庭内職 6. 福祉作業所、就労支援施設などでの「福祉的就労」 7. その他

「職場の理解」が56.0%で最も多く、「体調にあった勤務体制」が41.5%、「能力にあった仕事」が40.7%で続きます。

図表 1-77 長期的に働くために必要なこと

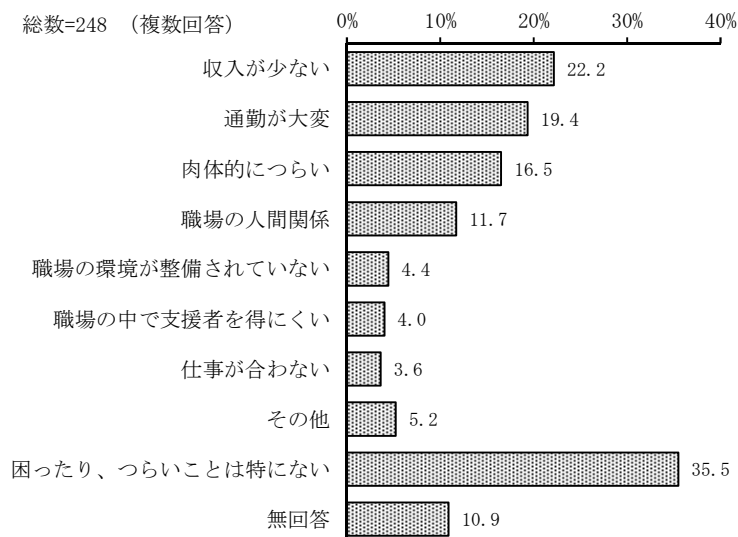


問38-4 【問38で1~7を選んだ方にうかがいます。】あなたが仕事をする上で、困ることや、つらいことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- ※ 1. 一般就労（一般枠） 2. 一般就労（障害者枠） 3. 臨時雇、パート、アルバイト、派遣など  
4. 自営業 5. 家庭内職 6. 福祉作業所、就労支援施設などでの「福祉的就労」 7. その他

「困ったりつらいことは特にない」が35.5%で最も多く、「収入が少ない」が22.2%、「通勤が大変」が19.4%、「肉体的につらい」が16.5%、「職場の人間関係」が11.7%で続きます。

図表1-78 仕事で困ることや、つらいこと



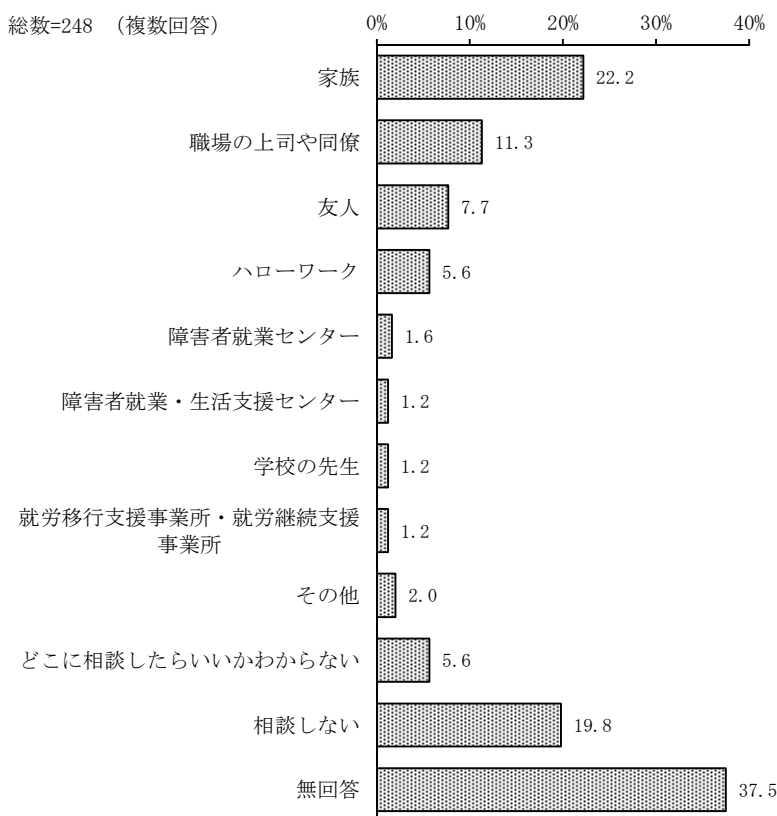


問 38-5 【問 38-4 で 1~8 を選んだ方にうかがいます。】あなたは仕事に関することをどこに相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

- ※ 1. 通勤が大変 2. 収入が少ない 3. 肉体的につらい 4. 仕事が合わない 5. 職場の人間関係  
6. 職場の環境が整備されていない 7. 職場の中で支援者を得にくい 8. その他

「家族」が 22.2%で最も多く、「職場の上司や同僚」が 11.3%、「友人」が 7.7%、「ハローワーク」が 5.6%で続きます。

図表 1-79 仕事に関することの相談先

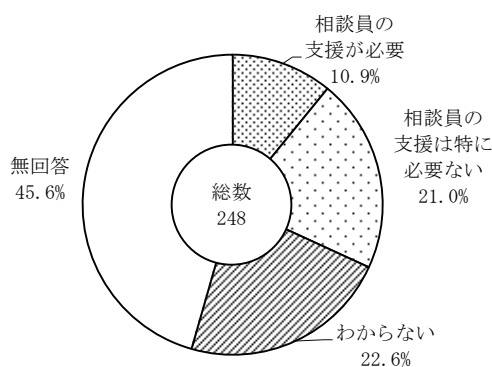


問 38-6 【問 38-4 で 1~8 を選んだ方にうかがいます。】就労について、軌道にのるまで相談員の支援が必要だと思いますか。(どれか1つに○)

- ※ 1. 通勤が大変 2. 収入が少ない 3. 肉体的につらい 4. 仕事が合わない 5. 職場の人間関係  
6. 職場の環境が整備されていない 7. 職場の中で支援者を得にくい 8. その他

「わからない」が 22.6%で最も多く、「相談員の支援は特に必要ない」が 21.0%、「相談員の支援が必要」が 10.9%となっています。

図表 1-80 就労が軌道にのるまで相談員の支援が必要だと思いますか

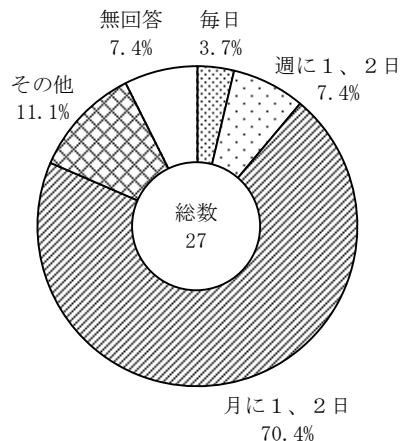


問 38-7 【問 38-6 で 1 を選んだ方にうかがいます。】就労について軌道にのるまで相談員の支援が必要な場合に、どのくらいの頻度で訪問してほしいと思いますか。(どれか1つに○)

※ 1. 相談員の支援が必要

「月に1、2日」が70.4%で最も多く、「その他」が11.1%、「週に1、2日」が7.4%、「毎日」が3.7%となっています。

図表 1-81 相談員の訪問頻度

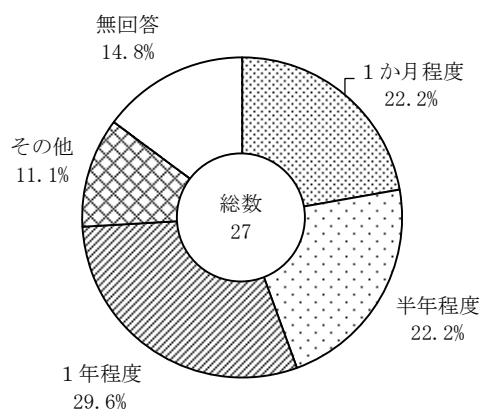


問 38-8 【問 38-6 で 1 を選んだ方にうかがいます。】就労について軌道にのるまで相談員の支援が必要な場合に、どのくらいの期間、支援してほしいと思いますか。(どれか1つに○)

※ 1. 相談員の支援が必要

「1年程度」が29.6%で最も多く、「1か月程度」、「半年程度」が22.2%、「その他」が11.1%となっています。

図表 1-82 相談員の支援期間

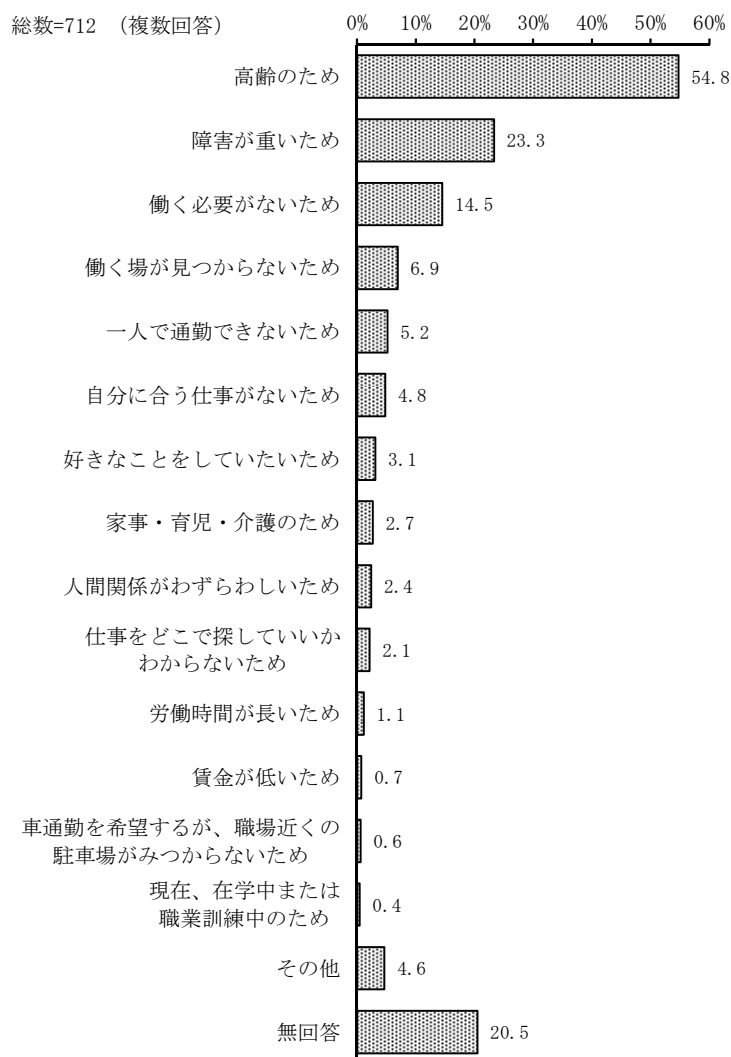


問38-9 【問38で8を選んだ方にうかがいます。】あなたが仕事に就いていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

※ 8. 働いていない

「高齢のため」が54.8%で最も多く、「障害が重い」が23.3%、「働く必要がないため」が14.5%で続きます。

図表1-83 就労していない理由

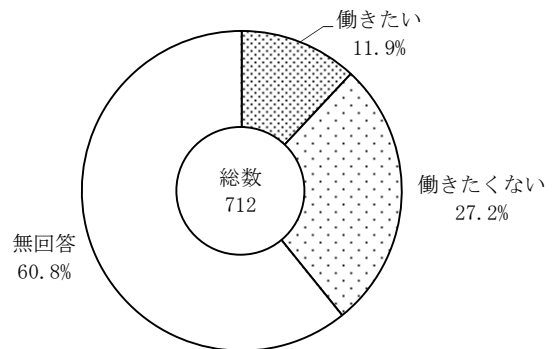


問 38-10 【問 38 で 8 を選んだ方にうかがいます。】あなたは今後、良い条件が整っているところがあれば、働きたいと思いますか。(どれか1つに○)

※ 8. 働いていない

「働きたい」が11.9%、「働きたくない」が27.2%となっています。

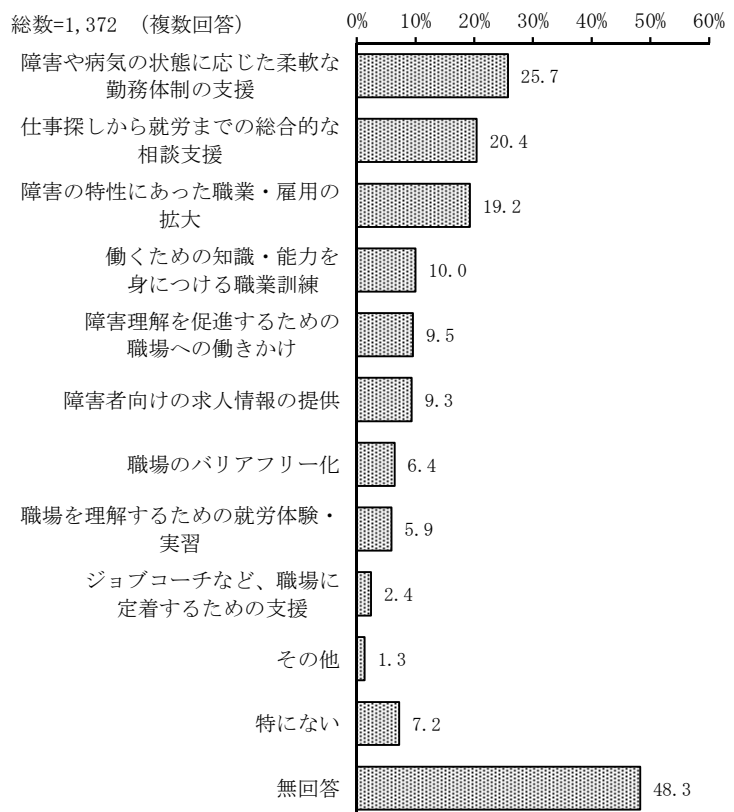
図表 1- 84 今後の就労意向



問 39 あなたは、障害のある人が、企業などで一般就労するためには、どのような支援が必要だと思いますか。(主なものを3つまでに○)

「障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務体制の支援」が25.7%で最も多く、「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」が20.4%、「障害の特性にあった職業・雇用の拡大」が19.2%で続きます。

図表 1- 85 障害者の一般就労のために必要な支援

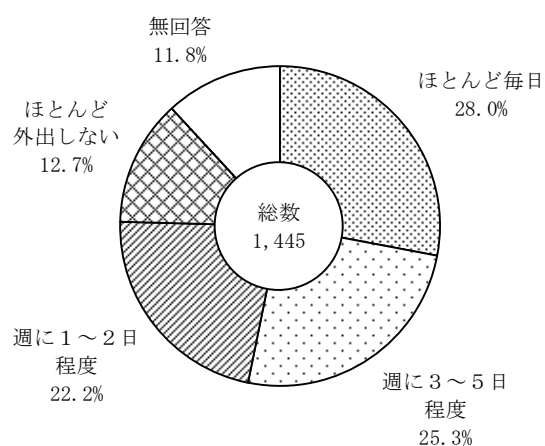


## 【9】外出・バリアフリーについてうかがいます。

問 40 ふだん、あなたは週に何日くらい外出しますか。(どれか1つに○)

「ほとんど毎日」が28.0%で最も多く、「週に3～5日程度」が25.3%、「週に1～2日程度」が22.2%、「ほとんど外出しない」が12.7%となっています。

図表 1- 86 外出の頻度

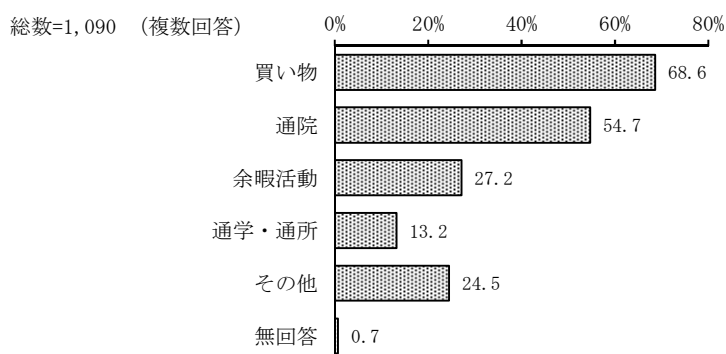


問 40-1 【問 40 で1～3を選んだ方にうかがいます。】外出の目的は、何ですか。(あてはまるものすべてに○)

※ 1. ほとんど毎日 2. 週に3～5日程度 3. 週に1～2日程度

「買い物」が68.6%で最も多く、「通院」が54.7%、「余暇活動」が27.2%、「その他」が24.5%、「通学・通所」が13.2%となっています。

図表 1- 87 外出の目的

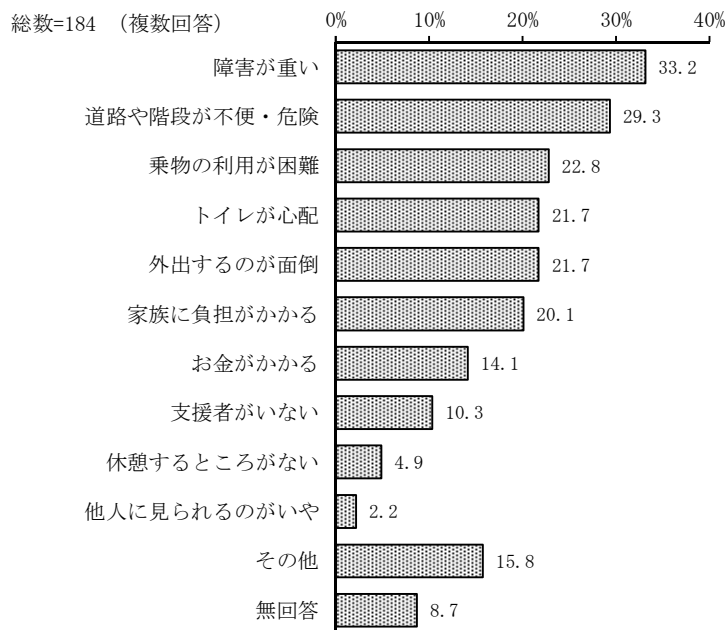


問40-2 【問40で4を選んだ方にうかがいます。】外出しない理由は、何ですか。（あてはまるものすべてに○）

※ 4. ほとんど外出しない

「障害が重い」が33.2%で最も多く、「道路や階段が不便・危険」が29.3%、「乗物の利用が困難」が22.8%、「トイレが心配」、「外出するのが面倒」が21.7%、「家族に負担がかかる」が20.1%で続きます。

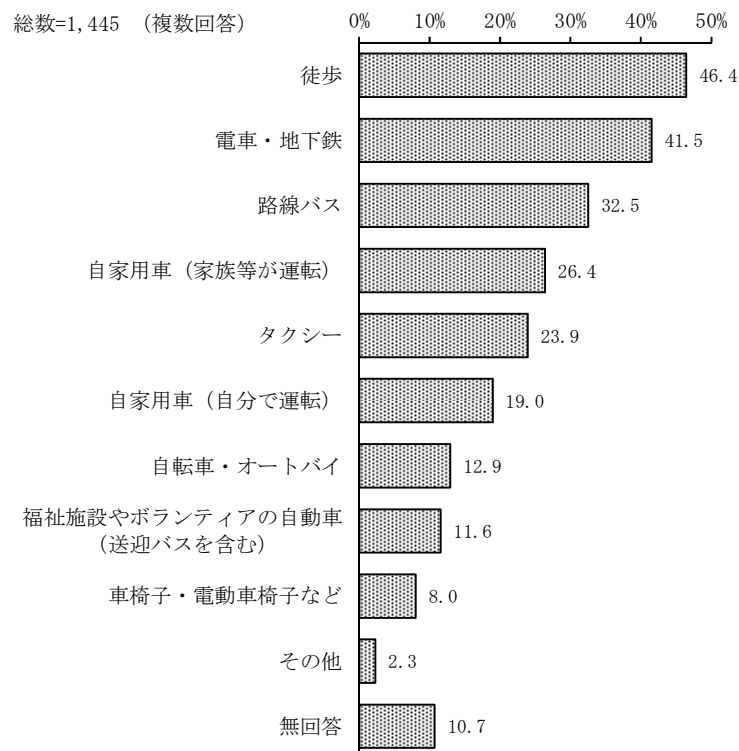
図表1-88 外出しない理由



問41 あなたが外出するときは、どのような交通手段を利用しますか。(あてはまるものすべてに○)

「徒歩」が46.4%で最も多く、「電車・地下鉄」が41.5%、「路線バス」が32.5%、「自家用車（家族等が運転）」が26.4%、「タクシー」が23.9%で続きます。

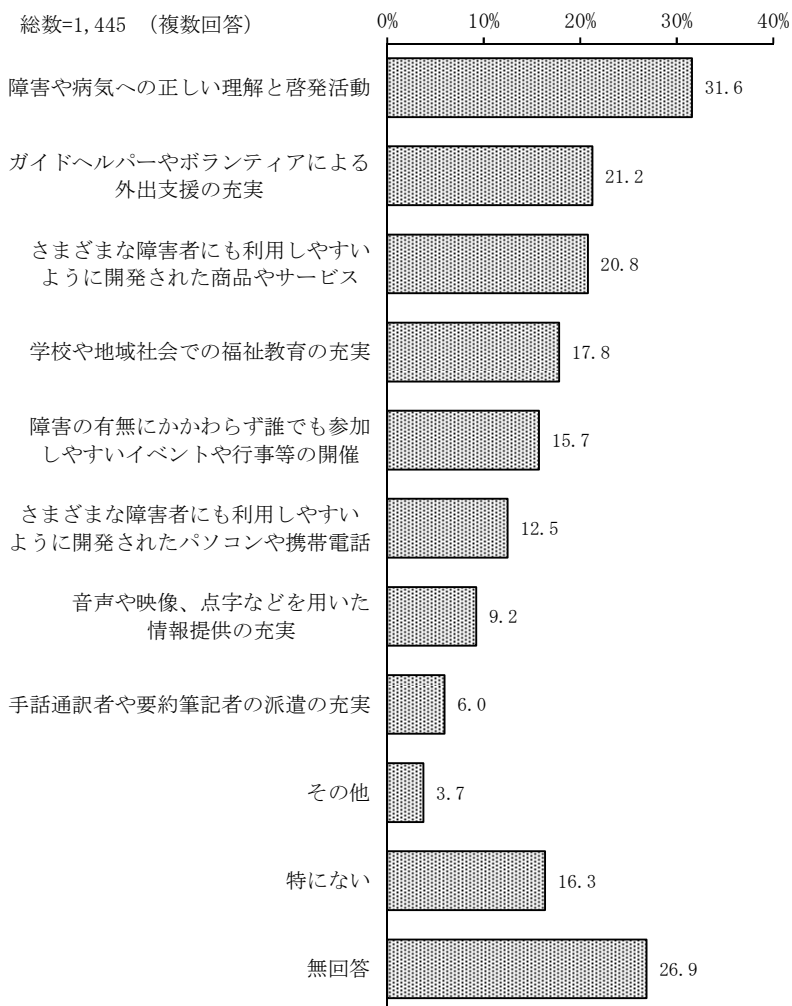
図表1-89 外出時に利用する交通手段



問 42 交通機関やまちのバリアフリー化だけでなく、制度や意識の面も含めた「社会全体のバリアフリー化」を進めるために、あなたが重要だと思うものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「障害や病気への正しい理解と啓発活動」が31.6%で最も多く、「ガイドヘルパーやボランティアによる外出支援の充実」が21.2%、「さまざまな障害者にも利用しやすいように開発された商品やサービス」が20.8%、「学校や地域社会での福祉教育の充実」が17.8%で続きます。

図表 1-90 「社会全体のバリアフリー化」を進めるため重要なこと





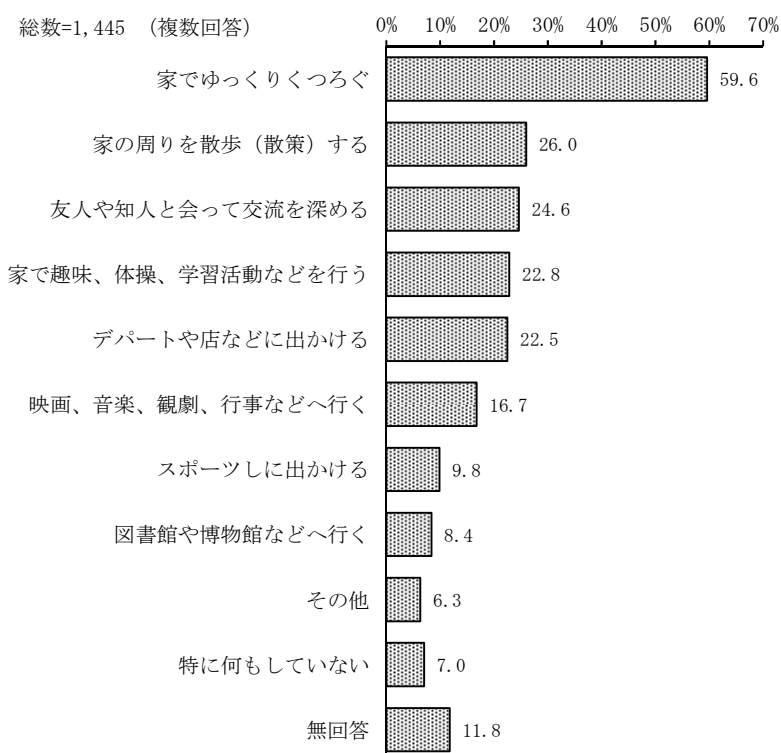
## 【10】余暇活動についてうかがいます。

問 43 あなたは、時間に余裕があるときにどのようなことをしていますか。(あてはまるものすべてに○)

「家でゆっくりくつろぐ」が59.6%で最も多く、「家の周りを散歩(散策)する」が26.0%、「友人や知人と会って交流を深める」が24.6%、「家で趣味、体操、学習活動などを行う」が22.8%、「デパートや店などに出かける」が22.5%で続きます。

男女別に見ると、「友人や知人と会って交流を深める」という回答は、女性が男性を約13ポイント上回っています。一方、「家の周りを散歩(散策)する」という回答は、男性が女性を13ポイント上回っています。

図表 1-91 余暇時間に行っていること



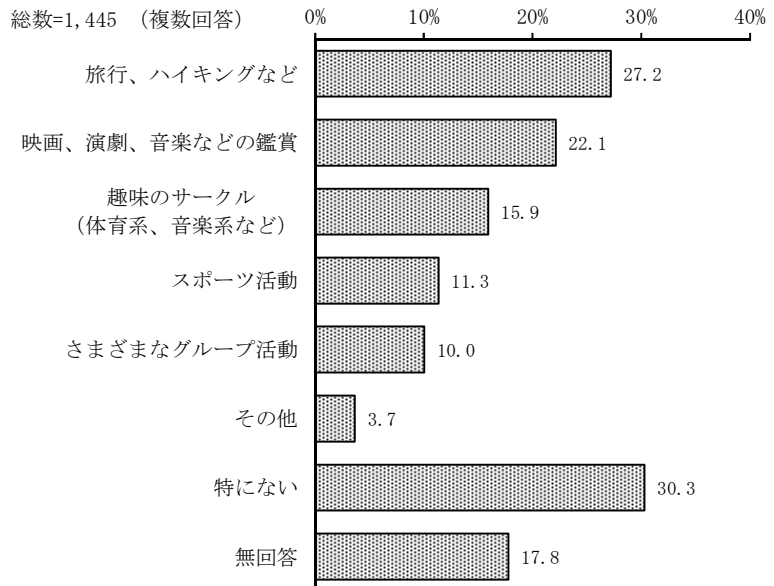
図表 1-92 余暇時間に行っていること(男女別)

	全体	家でゆっくりくつろぐ	家で趣味、体操、学習活動などを行う	家の周りを散歩(散策)する	友人や知人と会って交流を深める	デパートや店などに出かける	映画、音楽、観劇、行事などへ行く	スポーツしに出かける	図書館や博物館などへ行く	その他	特に何もしていない	無回答
全体	1,445 100.0	861 59.6	330 22.8	375 26.0	356 24.6	325 22.5	242 16.7	142 9.8	121 8.4	91 6.3	101 7.0	170 11.8
男性	699 100.0	417 59.7	154 22.0	228 32.6	128 18.3	158 22.6	108 15.5	81 11.6	64 9.2	55 7.9	48 6.9	73 10.4
女性	721 100.0	432 59.9	170 23.6	141 19.6	224 31.1	161 22.3	131 18.2	57 7.9	53 7.4	34 4.7	51 7.1	91 12.6

問 44 あなたは現在の生活をより豊かにするために、どのような活動に参加したいと思っていますか。(あてはまるものすべてに○)

「旅行、ハイキングなど」が27.2%で最も多く、「映画、演劇、音楽などの鑑賞」が22.1%、「趣味のサークル(体育系、音楽系など)」が15.9%、「スポーツ活動」が11.3%で続きます。

図表 1-93 今後参加したい活動

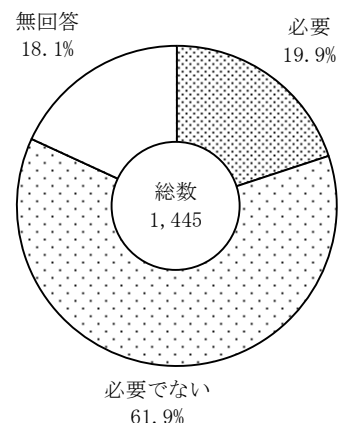


問 44-1 余暇活動の際にあなたはヘルパーによる移動の支援が必要ですか。(どれか1つに○)

「必要」が19.9%、「必要でない」が61.9%となっています。

図表 1-94

余暇活動にヘルパーによる移動の支援が必要ですか

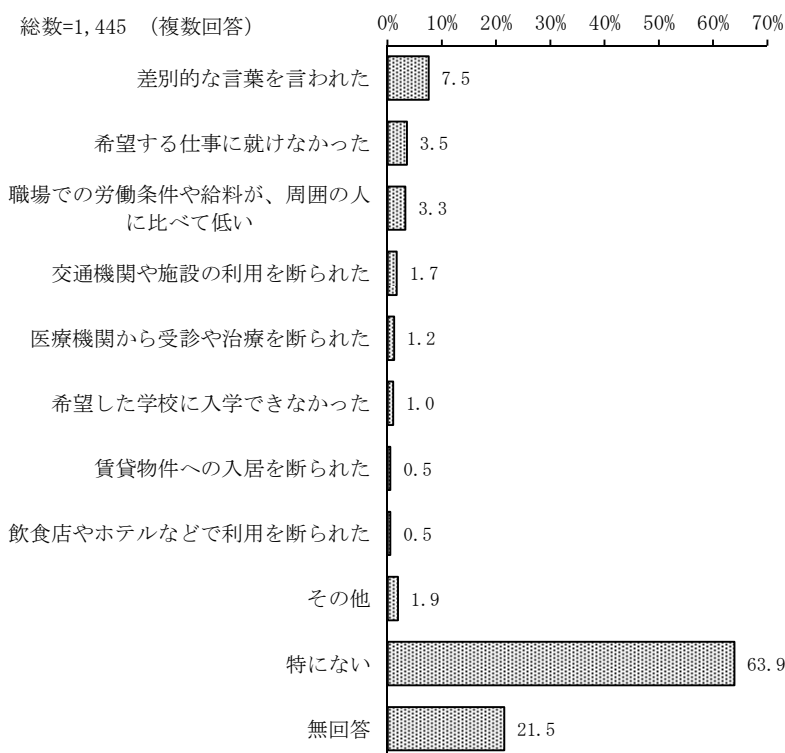


【11】権利擁護についてうかがいます。

問 45 あなたは、障害があるというだけで、差別的な扱いを受けた経験がありますか。(あてはまるものすべてに○)

「差別的な言葉を言われた」が7.5%で最も多く、「希望する仕事に就けなかった」が3.5%、「職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて低い」が3.3%で続きます。

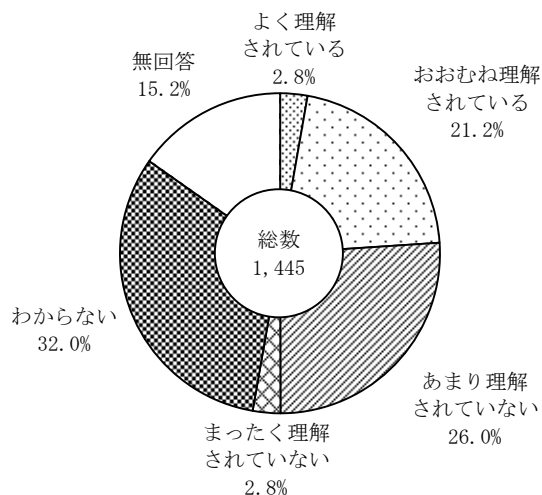
図表 1-95 障害による差別を受けた経験



問 46 あなたは、障害のある人に対する市民の理解がどの程度あると感じますか。(どれか1つに○)

「わからない」が32.0%で最も多く、「あまり理解されていない」が26.0%、「おおむね理解されている」が21.2%で続きます。

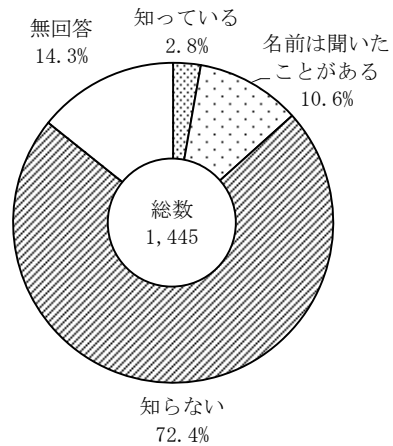
図表 1-96 障害のある人に対する市民の理解の程度



問 47 あなたは、「船橋市障害者虐待防止センター（通称：はーぶ）」を知っていますか。（どれか1つに○）

「知らない」が72.4%、「名前は聞いたことがある」が10.6%、「知っている」が2.8%となっています。

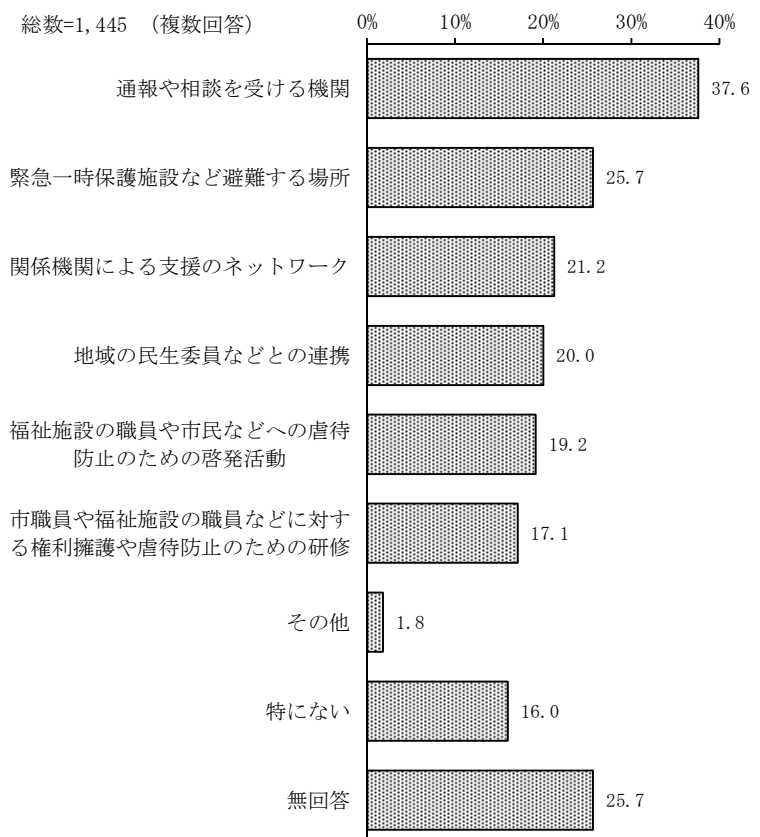
図表 1-97 船橋市障害者虐待防止センターの認知状況



問 48 障害者虐待の防止のために、あなたは、市がどのような制度や体制を整備する必要があると思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「通報や相談を受ける機関」が37.6%で最も多く、「緊急一時保護施設など避難する場所」が25.7%、「関係機関による支援のネットワーク」が21.2%、「地域の民生委員などとの連携」が20.0%で続きます。

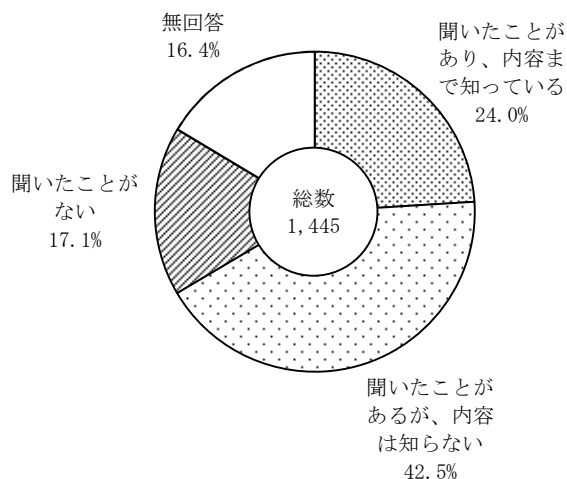
図表 1-98 障害者虐待の防止のために市が整備すべき制度や体制



問 49 あなたは、成年後見制度を知っていますか。(どれか1つに○)

「聞いたことがあるが、内容は知らない」が42.5%、「聞いたことがあり、内容まで知っている」が24.0%、「聞いたことがない」が17.1%となっています。

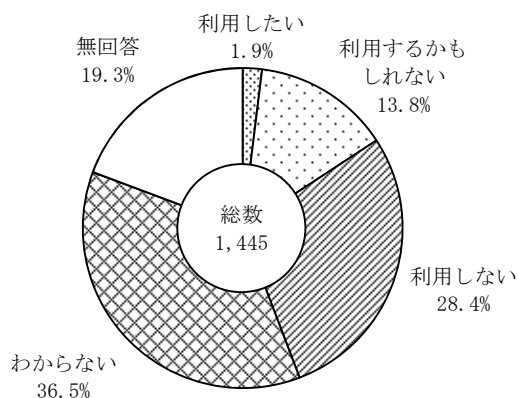
図表 1-99 成年後見制度の認知状況



問 50 成年後見制度の利用についてどう考えますか。(どれか1つに○)

「わからない」が36.5%、「利用しない」が28.4%、「利用するかもしれない」が13.8%、「利用したい」が1.9%となっています。

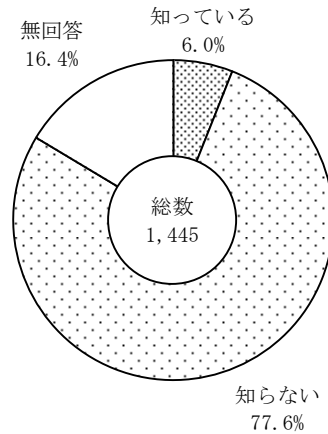
図表 1-100 成年後見制度の利用意向



問 51 船橋市障害者成年後見支援センターを知っていますか。(どれか1つに○)

「知っている」が6.0%、「知らない」が77.6%となっています。

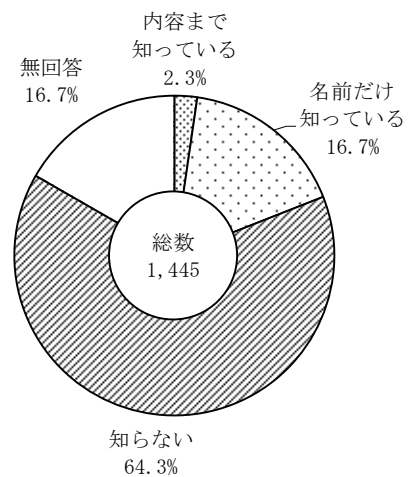
図表 1-101 船橋市障害者成年後見支援センターの認知状況



問 52 障害のある人への差別をなくすことを目的とした、「障害者差別解消法（正式名称は「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律）」が平成28年4月1日に施行されましたが、このことを知っていますか。(どれか1つに○)

「知らない」が64.3%、「名前だけ知っている」が16.7%、「内容まで知っている」が2.3%となっています。

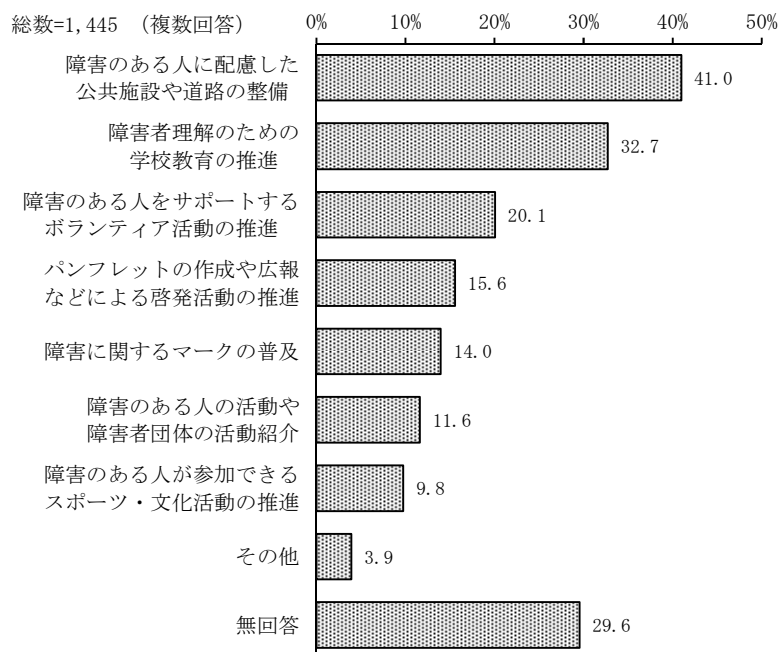
図表 1-102 障害者差別解消法の認知状況



問 53 あなたは、障害のある人に対する理解を深めるために、どのようなことが大切だと考えますか。(あてはまるもの3つまで○)

「障害のある人に配慮した公共施設や道路の整備」が41.0%で最も多く、「障害者理解のための学校教育の推進」が32.7%、「障害のある人をサポートするボランティア活動の推進」が20.1%で続きます。

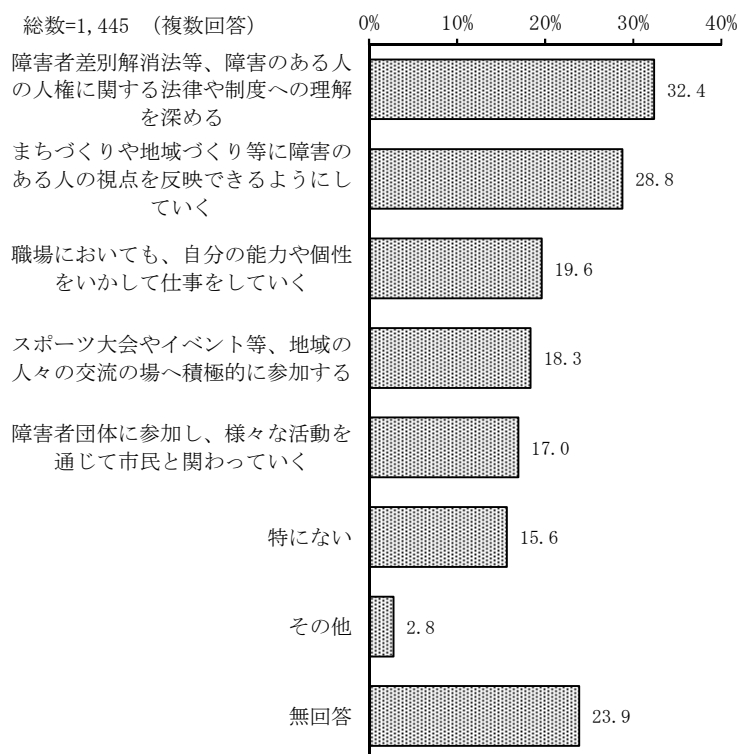
図表 1- 103 障害者への理解を深めるために大切なこと



問 54 あなたは、障害のある人に対する理解を深めるために、障害者自身がどのような取り組みをしていく必要があると考えますか。（あてはまるもの3つまで○）

「障害者差別解消法等、障害のある人の人権に関する法律や制度への理解を深める」が32.4%で最も多く、「まちづくりや地域づくり等に障害のある人の視点を反映できるようにしていく」が28.8%、「職場においても、自分の能力や個性をいかして仕事をしていく」が19.6%、「スポーツ大会やイベント等、地域の人々の交流の場へ積極的に参加する」が18.3%で続きます。

図表 1-104 障害者自身が行う必要のある取り組み



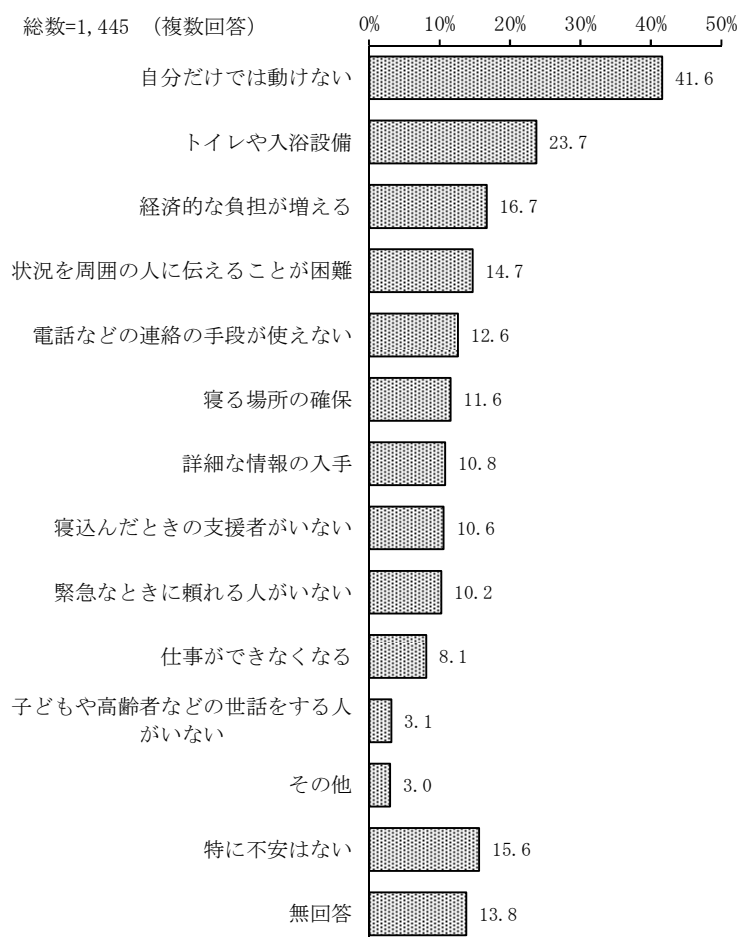


## 【12】災害時など緊急の時の対応についてうかがいます。

問 55 もし、あなたが緊急な病状になったことを考えると、特に不安に感じることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「自分だけでは動けない」が41.6%で最も多く、「トイレや入浴設備」が23.7%、「経済的な負担が増える」が16.7%、「状況を周囲の人に伝えることが困難」が14.7%で続きます。

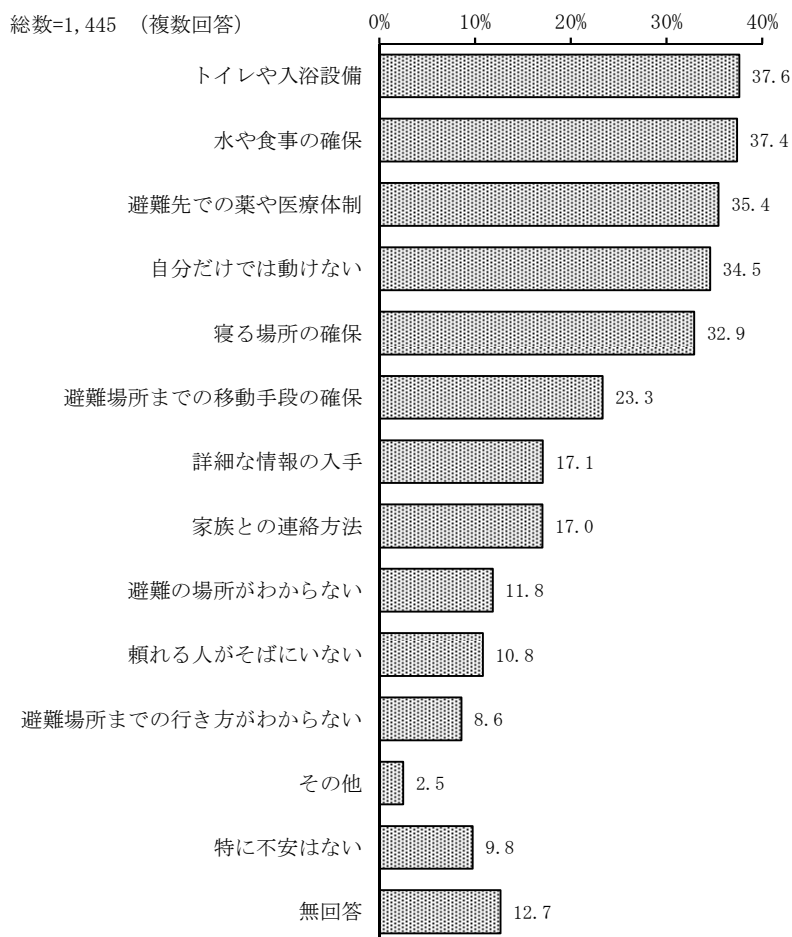
図表 1-105 緊急な病状になったときに不安なこと



問 56 地震や火事、台風などのために、緊急に避難しなければならなくなったことを考えると、あなたが不安に感じることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「トイレや入浴設備」が 37.6%で最も多く、「水や食事の確保」が 37.4%、「避難先での薬や医療体制」が 35.4%、「自分だけでは動けない」が 34.5%、「寝る場所の確保」が 32.9%で続きます。

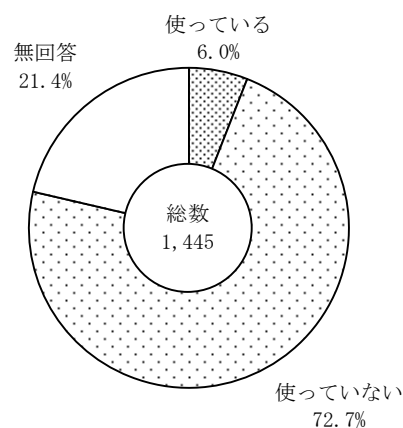
図表 1-106 緊急避難時に不安なこと



問57 あなたはストマ装具を使っていますか。

「使っている」が6.0%、「使っていない」が72.7%となっています。

図表 1- 107 ストマ装具の使用状況

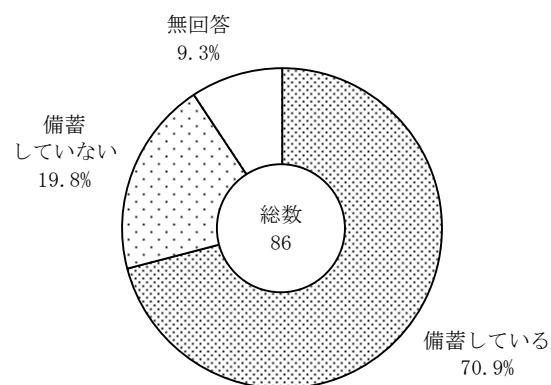


問57-1 【問57で1を選んだ方にうかがいます。】ストマを使っている場合、災害時用にストマを備蓄していますか。(どれか1つに○)

※ 1. 使っている

「備蓄している」が70.9%、「備蓄していない」が19.8%となっています。

図表 1- 108 災害時用のストマの備蓄状況

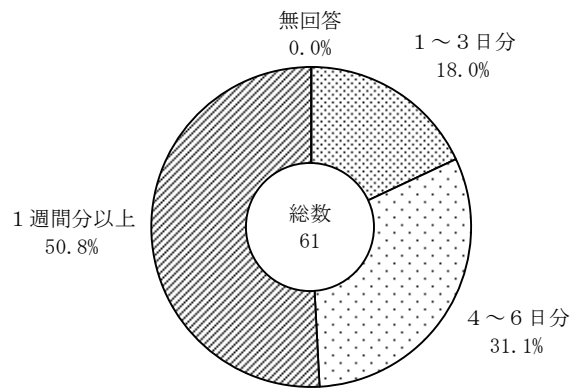


問57-2 【問57-1で1を選んだ方にうかがいます。】どのくらいの量を備蓄していますか。(どれか1つに○)

※ 1. 備蓄している

「1週間分以上」が50.8%、「4～6日分」が31.1%、「1～3日分」が18.0%となっています。

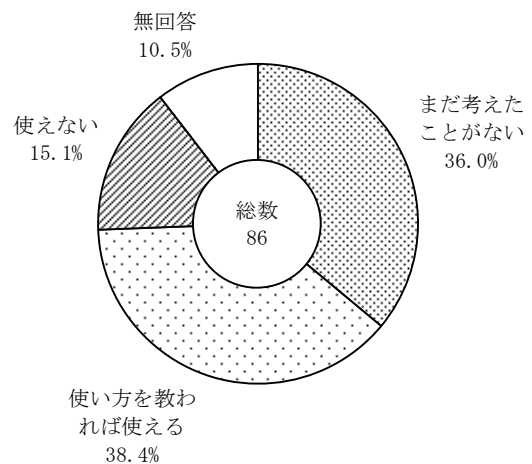
図表 1-109 ストマを備蓄している量



問57-3 ストマの備蓄を市で行う場合市から提供されるものが、普段自分が使用しているものとは異なるストマ装具であっても災害時に使用できると思えますか。(どれか1つに○)

「使い方を教われば使える」が38.4%、「まだ考えたことがない」が36.0%、「使えない」が15.1%となっています。

図表 1-110 災害時に市から提供されるストマ装具の使用意向

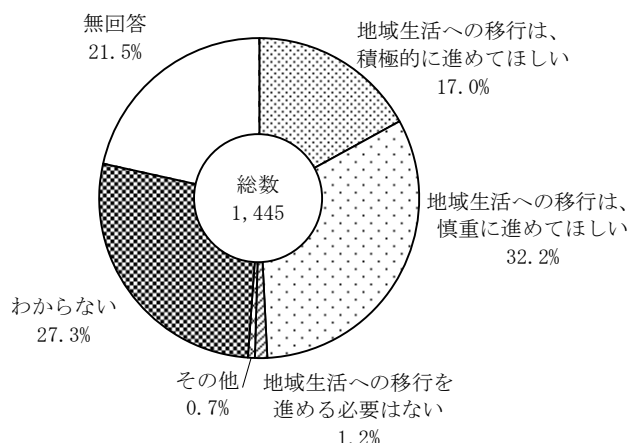


【13】障害者総合支援法についてうかがいます。

問 58 市では、「第4期船橋市障害福祉計画」に基づき、現在、福祉施設に入所または病院に入院している障害者のうち退所・退院が可能な人について、地域生活への移行を支援しています。このことについて、あなたはどのように思いますか。(どれか1つに○)

「地域生活への移行は、慎重に進めてほしい」が32.2%で最も多く、「わからない」が27.3%、「地域生活への移行は、積極的に進めてほしい」が17.0%で続きます。

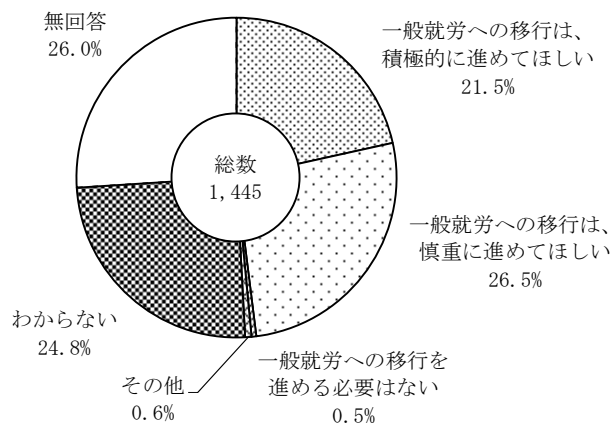
図表 1-111 入所者・入院者の地域生活移行への考え方



問 59 現在、福祉的就労（障害者の作業所などでの就労）をしている障害者のうち、訓練により一般就労が可能となる人について、市では一般就労への移行を支援しています。このことについて、あなたはどのように思いますか。(どれか1つに○)

「一般就労への移行は、慎重に進めてほしい」が26.5%で最も多く、「わからない」が24.8%、「一般就労への移行は、積極的に進めてほしい」が21.5%で続きます。

図表 1-112 福祉的就労から一般就労への移行の考え方

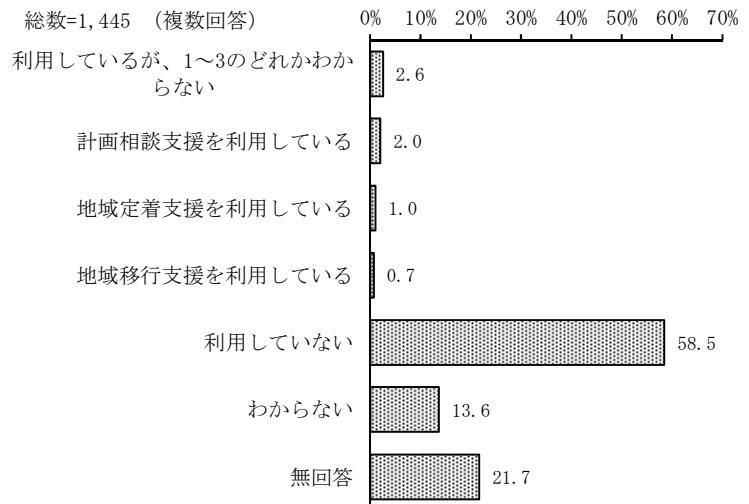


問60 あなたは、次のような相談支援事業を利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

- ※ 1. 計画相談支援を利用している 2. 地域移行支援を利用している 3. 地域定着支援を利用している

「利用していない」が58.5%で最も多く、「利用しているが、1～3のどれかわからない」が2.6%、「計画相談支援を利用している」が2.0%、「地域定着支援を利用している」が1.0%、「地域移行支援を利用している」が0.7%で続きます。

図表 1-113 相談支援事業の利用状況

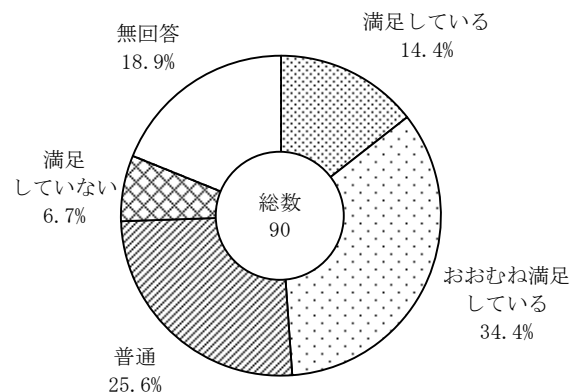


問60-1 【問60で1～4を選んだ方にうかがいます。】あなたは、相談支援事業に満足していますか。(どれか1つに○)

- ※ 1. 計画相談支援を利用している 2. 地域移行支援を利用している 3. 地域定着支援を利用している  
4. 利用しているが、1～3のどれかわからない

「おおむね満足している」が34.4%、「普通」が25.6%、「満足している」が14.4%、「満足していない」が6.7%となっています。

図表 1-114 相談支援事業の満足度



問60-2 【問60-1で4を選んだ方にうかがいます。】あなたが満足していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

※ 4. 満足していない

図表 1-115 相談支援事業の不満な理由

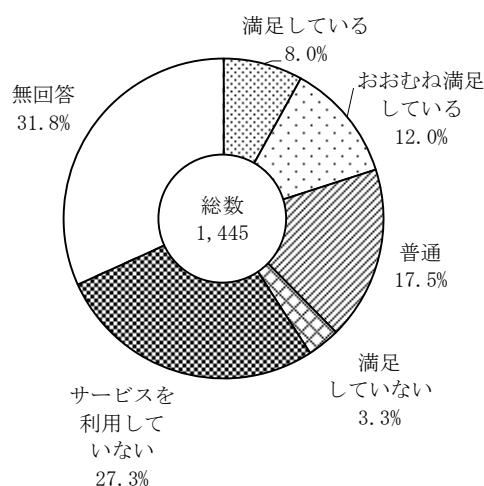
項目名【複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	6	100.0
相談支援の制度がわかりにくい	2	33.3
相談支援の利用の手続きが面倒	1	16.7
相談支援の回数や日数が少ない	1	16.7
相談支援の1回当たりの時間が少ない	1	16.7
相談支援を利用したい日時の調整が大変	1	16.7
相談支援の内容が雑であったり、ニーズに合っていない	2	33.3
相談支援を提供する人の態度がよくない	2	33.3
相談支援利用に対する自己負担が大きい	-	-
その他	2	33.3
無回答	-	-

この設問の回答者は6名で、「相談支援の制度がわかりにくい」、「相談支援の内容が雑であったり、ニーズに合っていない」、「相談支援を提供する人の態度がよくない」が2名、「相談支援の利用の手続きが面倒」、「相談支援の回数や日数が少ない」、「相談支援の1回当たりの時間が少ない」、「相談支援を利用したい日時の調整が大変」が1名回答しています。

問61 あなたは、現在利用している障害福祉サービスに満足していますか。(どれか1つに○)

「サービスを利用していない」が27.3%で最も多く、「普通」が17.5%、「おおむね満足している」が12.0%、「満足している」が8.0%で続きます。

図表 1-116 障害福祉サービスの満足度

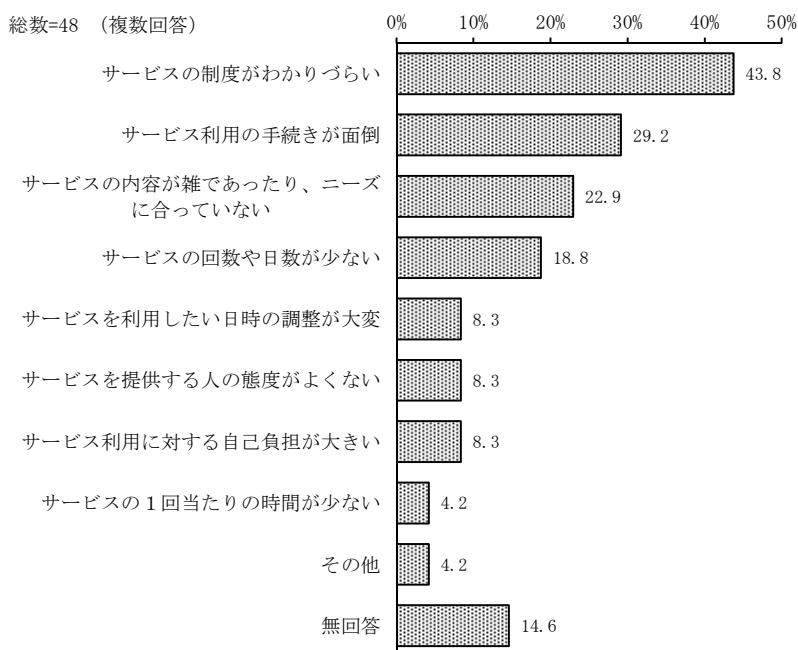


問61-1 【問61で4を選んだ方にうかがいます。】あなたが満足していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

※ 4. 満足していない

「サービスの制度がわかりづらい」が43.8%で最も多く、「サービス利用の手続きが面倒」が29.2%、「サービスの内容が雑であったり、ニーズに合っていない」が22.9%、「サービスの回数や日数が少ない」が18.8%で続きます。

図表 1-117 障害福祉サービスの不満理由

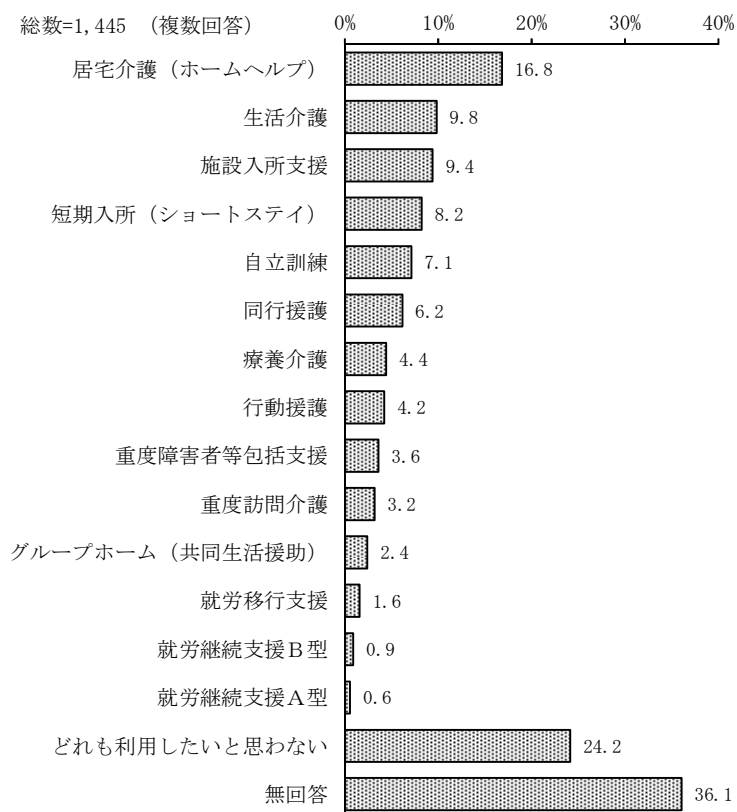




問 62 今後、あなたが利用したいと思う、または現在利用している障害福祉サービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「居宅介護（ホームヘルプ）」が16.8%で最も多く、「生活介護」が9.8%、「施設入所支援」が9.4%、「短期入所（ショートステイ）」が8.2%で続きます。

図表 1-118 今後の障害福祉サービスの利用意向



第2部 調査の結果

障害の種類別に見ると、視覚障害者では「居宅介護（ホームヘルプ）」（25.9%）と「同行援護」（24.7%）が、他の障害がある人より多くなっています。

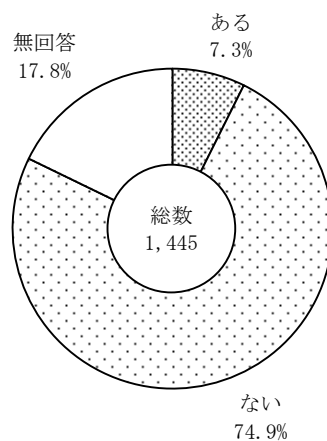
図表 1-119 今後の障害福祉サービスの利用意向（障害の種類別）

障害の種類（部位）	全体	（ホームヘルプ）	重度訪問介護	行動援護	同行援護	療養介護	生活介護	（ショートステイ）	重度障害者等 包括支援	
		居宅介護						短期入所		
全体	1,411 100.0	238 16.9	44 3.1	59 4.2	86 6.1	63 4.5	139 9.9	115 8.2	52 3.7	
障害の種類（部位）	視覚障害	81 100.0	21 25.9	6 7.4	5 6.2	20 24.7	2 2.5	13 16.0	7 8.6	4 4.9
	聴覚・平衡機能障害	84 100.0	11 13.1	1 1.2	3 3.6	7 8.3	2 2.4	9 10.7	7 8.3	1 1.2
	音声・言語 ・そしゃく機能障害	49 100.0	7 14.3	4 8.2	1 2.0	1 2.0	3 6.1	7 14.3	9 18.4	6 12.2
	肢体不自由 （上下肢、体幹機能）	718 100.0	135 18.8	29 4.0	38 5.3	45 6.3	34 4.7	83 11.6	77 10.7	28 3.9
	内部障害 （心臓、呼吸器、直腸など）	504 100.0	74 14.7	10 2.0	16 3.2	19 3.8	24 4.8	40 7.9	25 5.0	19 3.8
	無回答	64 100.0	11 17.2	1 1.6	1 1.6	1 1.6	2 3.1	4 6.3	3 4.7	2 3.1
	施設 入所支 援	自立 訓練	就 労移 行支 援	就 労 継 続 支 援 A 型	就 労 継 続 支 援 B 型	（グ ル ー プ ホ ー ム 共 同 生 活 援 助）	ど れ も 利 用 し た い と 思 わ な い	無 回 答		
全体	132 9.4	100 7.1	23 1.6	8 0.6	13 0.9	33 2.3	345 24.5	505 35.8		
障害の種類（部位）	視覚障害	8 9.9	6 7.4	1 1.2	2 2.5	2 2.5	1 1.2	12 14.8	17 21.0	
	聴覚・平衡機能障害	5 6.0	3 3.6	1 1.2	2 2.4	1 1.2	2 2.4	30 35.7	25 29.8	
	音声・言語 ・そしゃく機能障害	7 14.3	3 6.1	1 2.0	-	2 4.1	-	7 14.3	19 38.8	
	肢体不自由 （上下肢、体幹機能）	76 10.6	61 8.5	15 2.1	2 0.3	9 1.3	21 2.9	154 21.4	248 34.5	
	内部障害 （心臓、呼吸器、直腸など）	45 8.9	30 6.0	7 1.4	2 0.4	1 0.2	8 1.6	155 30.8	179 35.5	
	無回答	5 7.8	5 7.8	-	-	-	1 1.6	7 10.9	36 56.3	

問63 これまでに、短期入所施設を利用したことがありますか。(どれか1つに○)

「ある」が7.3%、「ない」が74.9%  
となっています。

図表 1-120 短期入所施設の利用状況



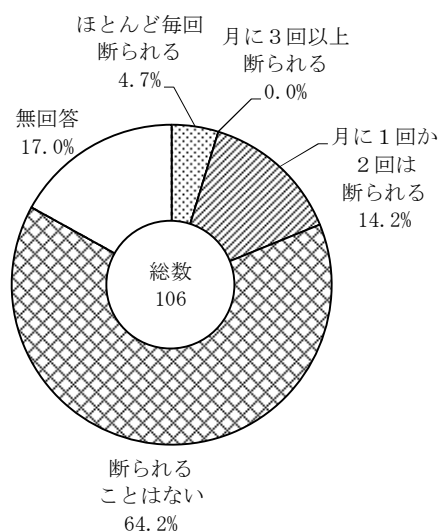
問63-1 【問63で1を選んだ方にうかがいます。】短期入所施設を利用したいのに、ベッドに空きがなくて、利用を断られたことがありますか。(どれか1つに○)

※ 1. ある

「断られることはない」が64.2%、「月に1回か2回は断られる」が14.2%、「ほとんど毎回断られる」が4.7%となっています。

図表 1-121

短期入所施設を利用したいのに  
ベッドに空きがなくて断られたこと

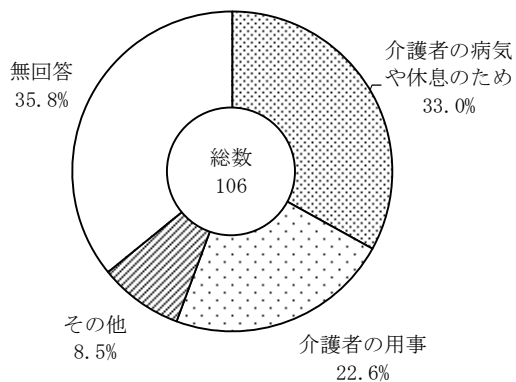


問 63-2 【問 63 で 1 を選んだ方にうかがいます。】短期入所を利用する理由は何ですか。(どれか1つに○)

※ 1. ある

「介護者の病気や休息のため」が33.0%、「介護者の用事」が22.6%、「その他」が8.5%となっています。

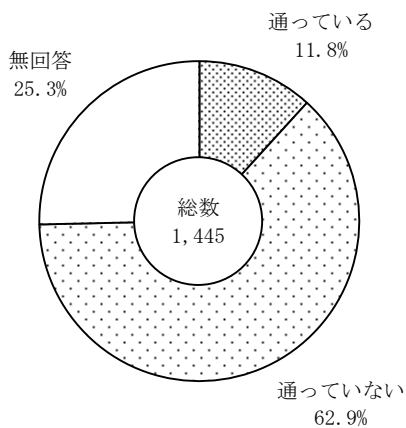
図表 1-122 短期入所を利用する理由



問 64 通所施設・事業所に通っていますか。(どれか1つに○)

「通っている」が11.8%、「通っていない」が62.9%となっています。

図表 1-123 通所施設・事業所に通っていますか

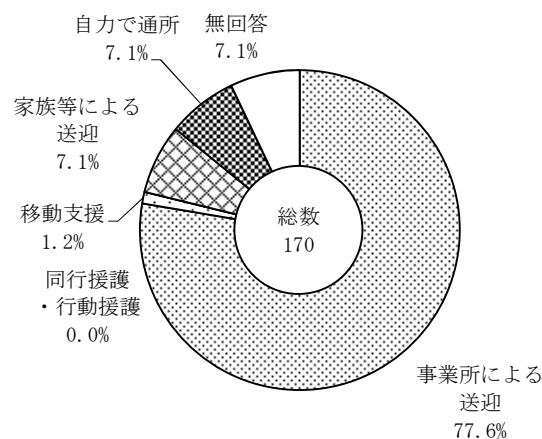


問64-1 【問64で1を選んだ方にうかがいます。】どのような手段を使って通所していますか。(どれか1つに○)

※ 1. 通っている

「事業所による送迎」が77.6%、「家族等による送迎」が7.1%、「自力で通所」が7.1%、「移動支援」が1.2%となっています。

図表 1- 124 通所手段

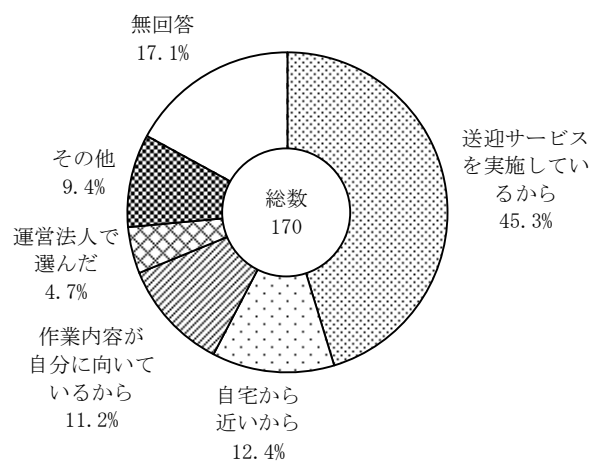


問64-2 【問64で1を選んだ方にうかがいます。】今の事業所に通っている理由は何ですか。(どれか1つに○)

※ 1. 通っている

「送迎サービスを実施しているから」が45.3%、「自宅から近いから」が12.4%、「作業内容が自分に向いているから」が11.2%、「運営法人で選んだ」が4.7%、「その他」が9.4%となっています。

図表 1- 125 今の事業所に通っている理由

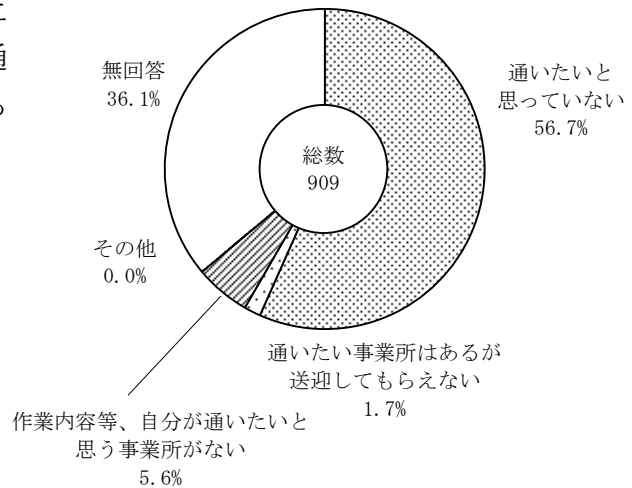


問 64-3 【問 64 で 2 を選んだ方にうかがいます。】通所施設・事業所に通っていない理由は何ですか。（どれか1つに○）

※ 2. 通っていない

「通いたいと思っていない」が56.7%、「作業内容等、自分が通いたいと思う事業所がない」が5.6%、「通いたい事業所はあるが送迎してもらえない」が1.7%となっています。

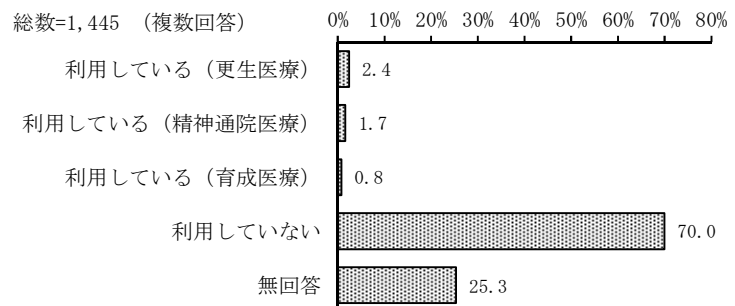
図表 1- 126 通所施設・事業所に通っていない理由



問 65 あなたは、「自立支援医療」を利用していますか。（あてはまるものすべてに○）

「利用している（更生医療）」が2.4%、「利用している（精神通院医療）」が1.7%、「利用している（育成医療）」が0.8%、「利用していない」が70.0%となっています。

図表 1- 127 自立支援医療の利用状況

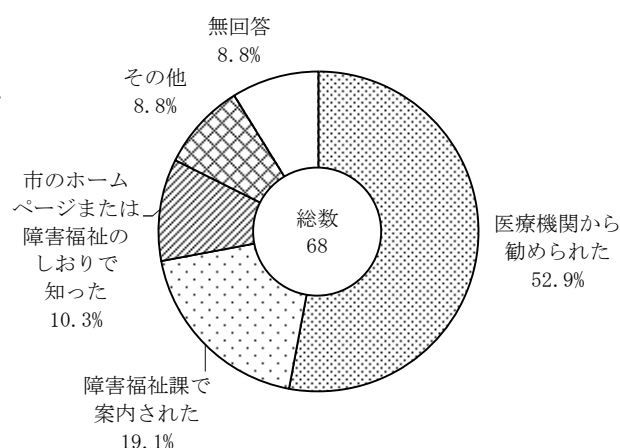


問65-1 【問65で1~3を選んだ方にうかがいます。】あなたは「自立支援医療」の制度をどこで最初に知りましたか。(どれか1つに○)

※ 1. 利用している(育成医療) 2. 利用している(更生医療) 3. 利用している(精神通院医療)

「医療機関から勧められた」が52.9%、「障害福祉課で案内された」が19.1%、「市のホームページまたは障害福祉のしおりで知った」が10.3%、「その他」が8.8%となっています。

図表1-128 自立支援医療の制度を最初に知った機会

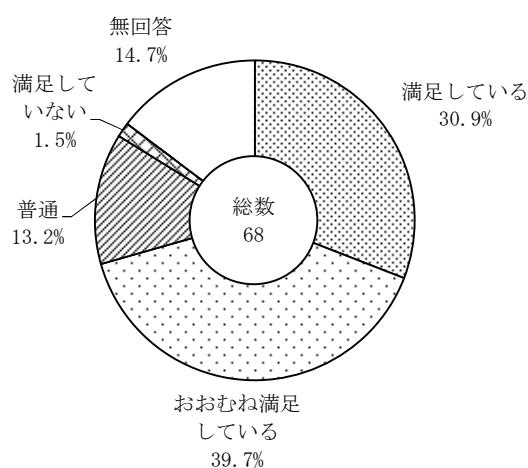


問65-2 【問65で1~3を選んだ方にうかがいます。】あなたは、自立支援医療に満足していますか。(どれか1つに○)

※ 1. 利用している(育成医療) 2. 利用している(更生医療) 3. 利用している(精神通院医療)

「おおむね満足している」が39.7%、「満足している」が30.9%、「普通」が13.2%、「満足していない」が1.5%となっています。

図表1-129 自立支援医療の満足度



問 65-3 【問 65-2 で 4 を選んだ方にうかがいます。】あなたが満足していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

※ 4. 満足していない

この設問の回答者は1名で、「医療費の自己負担が大きい」、「更新期間が短い」、「登録できる医療機関・薬局が一つしかない」と回答しています。

図表 1-130 自立支援医療の不满理由

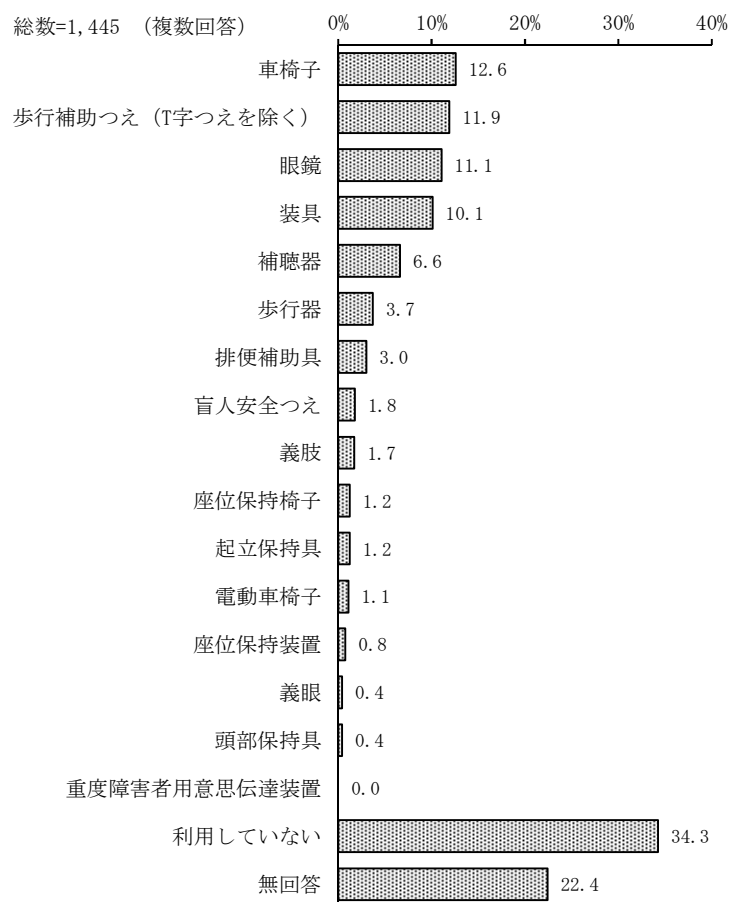
項目名【複数回答】	集計値	構成比(%)
全体	1	100.0
自立支援医療の制度がわかりづらい	-	-
自立支援医療の制度が使いづらい	-	-
医療費の自己負担が大きい	1	100.0
更新期間が短い	1	100.0
登録できる医療機関・薬局が一つしかない	1	100.0
その他	-	-
無回答	-	-



問66 あなたは、どのような補装具を利用していますか。(あてはまるものすべてに○、主なもの1つには◎)

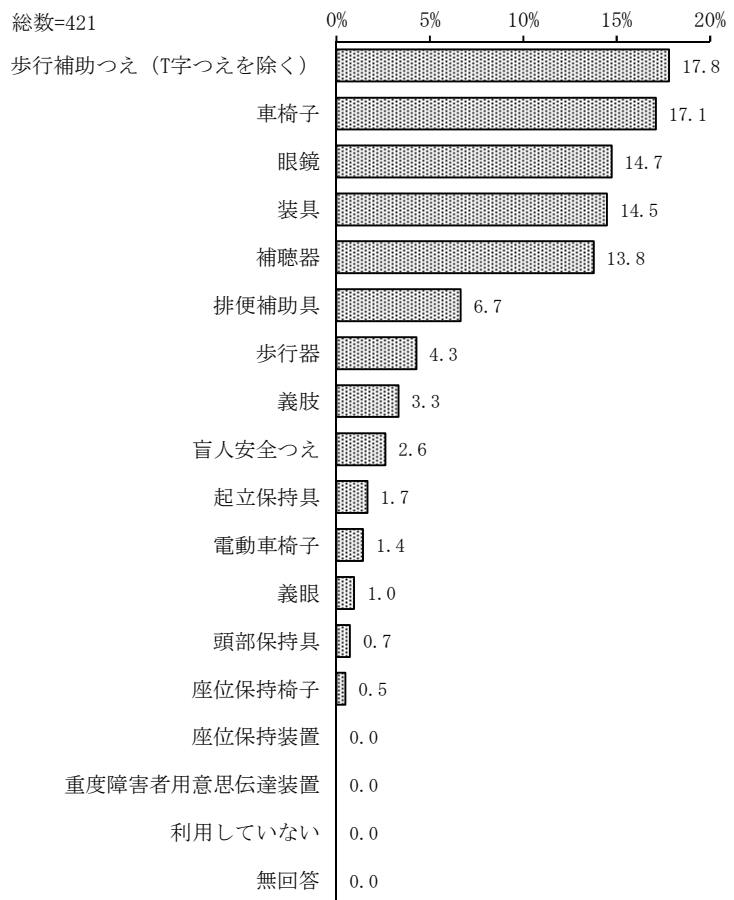
「車椅子」が12.6%で最も多く、「歩行補助つえ（T字つえを除く）」が11.9%、「眼鏡」が11.1%、「装具」が10.1%で続きます。

図表1-131 利用している補装具



「主なもの」は、歩行補助つえ（T字つえを除く）が17.8%で最も多く、「車椅子」が17.1%で続きます。

図表 1- 132 主に利用している補装具

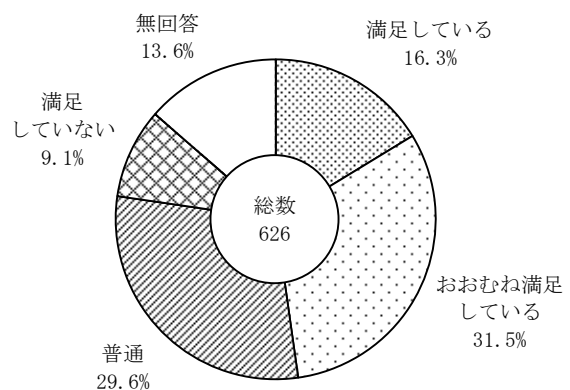


問 66-1 【問 66 で 1~16 を選んだ方にうかがいます。】あなたは、利用している主な補装具に満足していますか。（どれか1つに○）

- ※ 1. 義肢 2. 装具 3. 座位保持装置 4. 盲人安全つえ 5. 義眼 6. 眼鏡 7. 補聴器 8. 車椅子  
 9. 電動車椅子 10. 歩行器 11. 歩行補助つえ（T字つえを除く） 12. 座位保持椅子  
 13. 起立保持具 14. 頭部保持具 15. 排便補助具 16. 重度障害者用意思伝達装置

「おおむね満足している」が31.5%、「普通」が29.6%、「満足している」が16.3%、「満足していない」が9.1%となっています。

図表 1- 133 利用している主な補装具の満足度

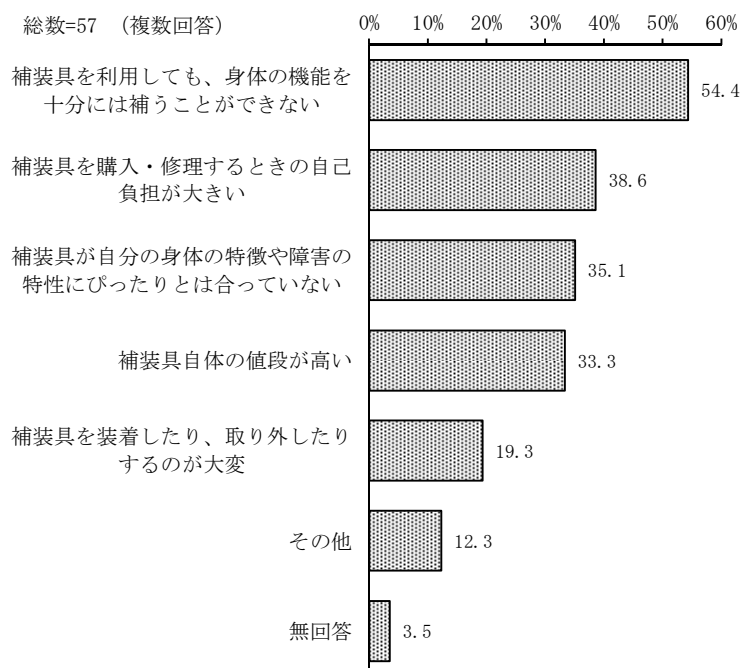


問66-2 【問66-1で4を選んだ方にうかがいます。】あなたが満足していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

※ 4. 満足していない

「補装具を利用しても、身体の機能を十分には補うことができない」が54.4%で最も多く、「補装具を購入・修理するときの自己負担が大きい」が38.6%、「補装具が自分の身体の特徴や障害の特性にぴったりとは合っていない」が35.1%、「補装具自体の値段が高い」が33.3%で続きます。

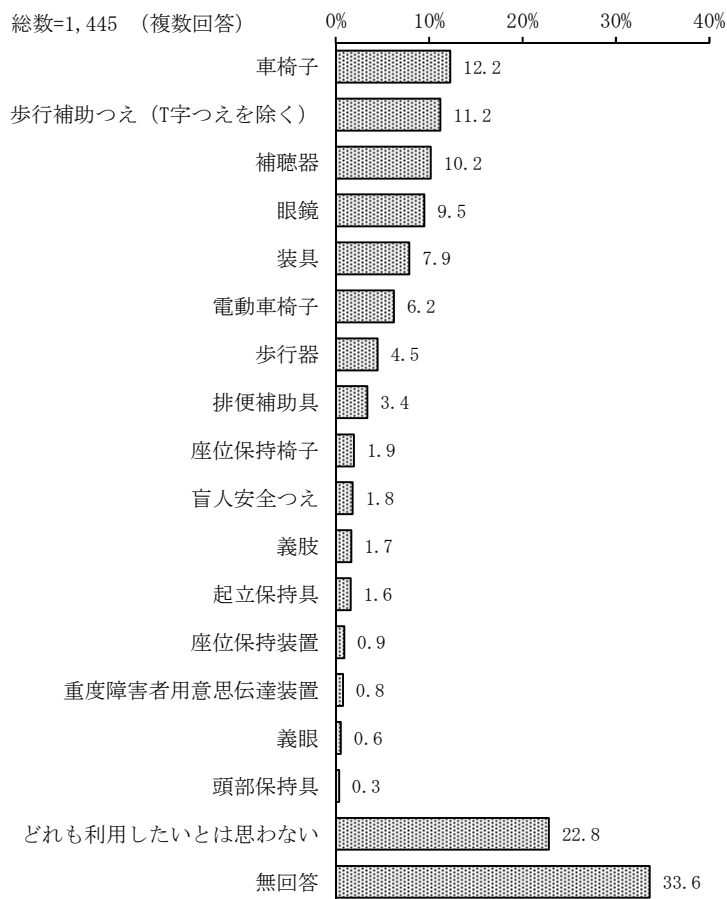
図表1-134 利用している主な補装具に満足していない理由



問67 今後、あなたが利用したいと思う補装具は何ですか。現在利用している方もお答えください。(あてはまるものすべてに○)

「車椅子」が12.2%で最も多く、「歩行補助つえ（T字つえを除く）」が11.2%、「補聴器」が10.2%、「眼鏡」が9.5%で続きます。

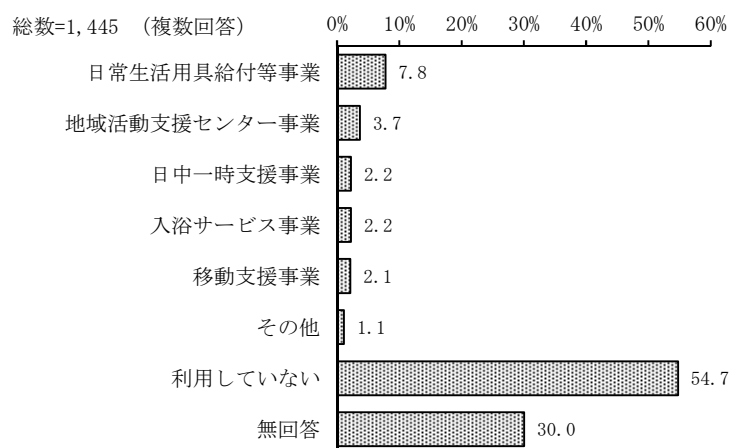
図表1-135 今後、利用したいと思う補装具



問 68 あなたは、船橋市が実施している地域生活支援事業のうち、どのようなものを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

「日常生活用具給付等事業」が7.8%で最も多く、「地域活動支援センター事業」が3.7%、「日中一時支援事業」、「入浴サービス事業」が2.2%、「移動支援事業」が2.1%で続きます。

図表 1-136 地域生活支援事業の利用状況

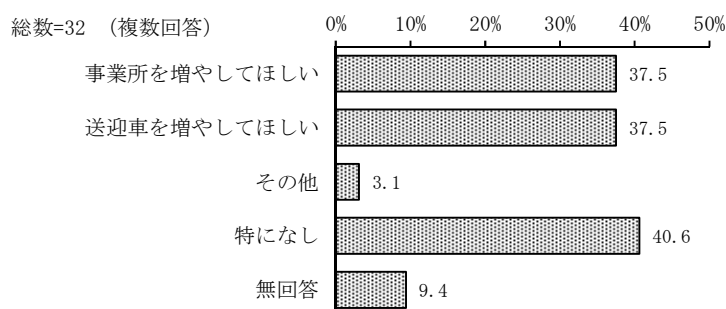


問 68-1 【問 68 で 2 を選んだ方にうかがいます。】日中一時支援事業について、改善を求めることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

※ 2. 日中一時支援事業

「事業所を増やしてほしい」、「送迎車を増やしてほしい」が37.5%、「その他」が3.1%、「特になし」が40.6%となっています。

図表 1-137 日中一時支援事業で改善を求めること

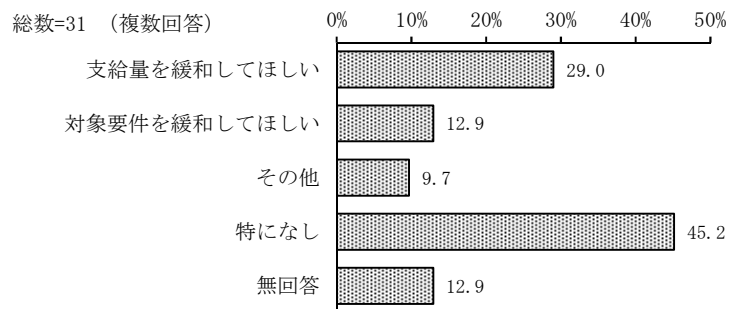


問68-2 【問68で3を選んだ方にうかがいます。】移動支援事業について、改善を求めることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

※ 3. 移動支援事業

「支給量を緩和してほしい」が29.0%、「対象要件を緩和してほしい」が12.9%、「その他」が9.7%、「特になし」が45.2%となっています。

図表1-138 移動支援事業で改善を求めること



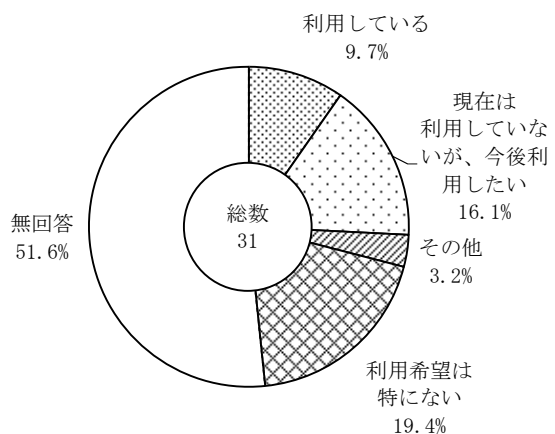
問68-3 【問68で3を選んだ方にうかがいます。】船橋市では移動支援事業の中で、保護者が社会的理由を有する場合に限り、「通学や通所をするための支援」についても認めています。この「通学通所支援」の利用をしたことはありますか。（どれか1つに○）

※ 社会的理由とは「保護者が入通院、出産、就労、介護等の理由により、付き添うことが困難な場合」をいいます。

※ 3. 移動支援事業

「利用希望は特になし」が19.4%、「現在は利用していないが、今後利用したい」が16.1%、「利用している」が9.7%、「その他」が3.2%となっています。

図表1-139 通学通所支援の利用状況



問68-4 【問68-3で1~3を選んだ方にうかがいます。】通学通所支援について改善を求めることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

※ 1. 利用している 2. 現在は利用していないが、今後利用したい 3. その他

この設問の回答者は9名で「保護者の社会的理由による制限をなくしてほしい」が4名、「社会的理由に「高齢」を加えてほしい」が3名、「社会的理由に「高齢」を加えてほしい」が3名で続きます。

図表1-140 通学通所支援について改善を求めること

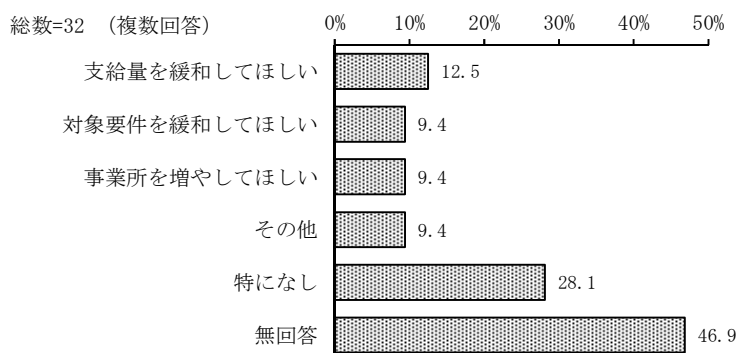
項目名 【4つまでの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	9	100.0
保護者の社会的理由による制限をなくしてほしい	4	44.4
社会的理由に「高齢」を加えてほしい	3	33.3
通勤への支援も認めてほしい	2	22.2
その他	1	11.1
特になし	-	-
無回答	3	33.3

問68-5 【問68で5を選んだ方にうかがいます。】入浴サービス事業について、改善を求めることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

※ 5. 入浴サービス事業

「支給量を緩和してほしい」が12.5%、「対象要件を緩和してほしい」、「事業所を増やしてほしい」、「その他」が9.4%、「特になし」が28.1%となっています。

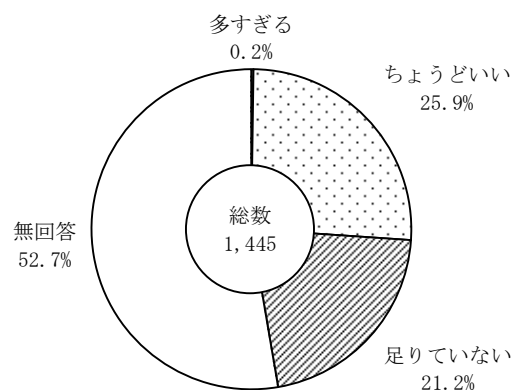
図表1-141 入浴サービス事業について改善を求めること



問 69 居住している地域に障害福祉施設は足りていますか。(どれか1つに○)

「ちょうどいい」が25.9%、「足りていない」が21.2%、「多すぎる」が0.2%となっています。

図表 1- 142  
居住している地域に障害福祉施設は足りていますか

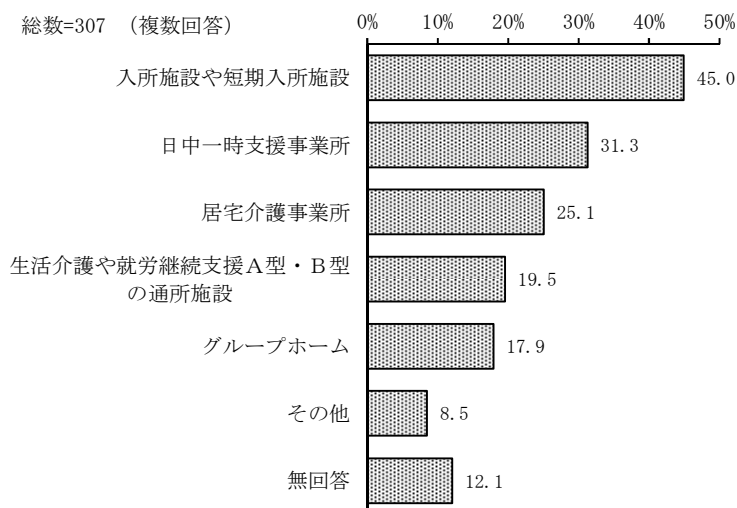


問 69-1 【問 69 で 3 を選んだ方にうかがいます。】どんな施設が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

※ 3. 足りていない

「入所施設や短期入所施設」が45.0%で最も多く、「日中一時支援事業所」が31.3%、「居宅介護事業所」が25.1%で続きます。

図表 1- 143 必要な施設



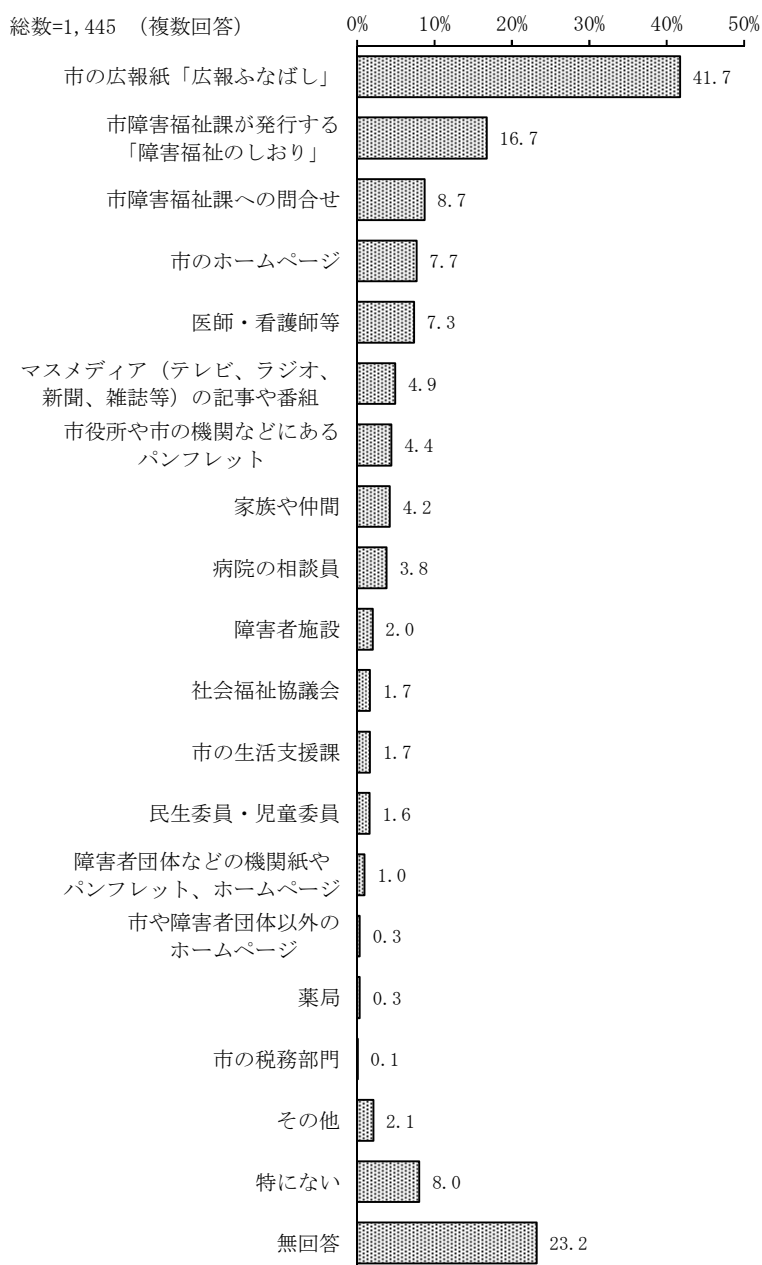


## 【14】船橋市の障害者福祉についてうかがいます。

問 70 あなたは、障害のある人のための市の福祉サービスの内容について、どのようなところで知ることが多いですか。（主なもの2つまでに○）

「市の広報紙「広報ふなばし」」が41.7%で最も多く、「市障害福祉課が発行する「障害福祉のしおり」」が16.7%で続きます。

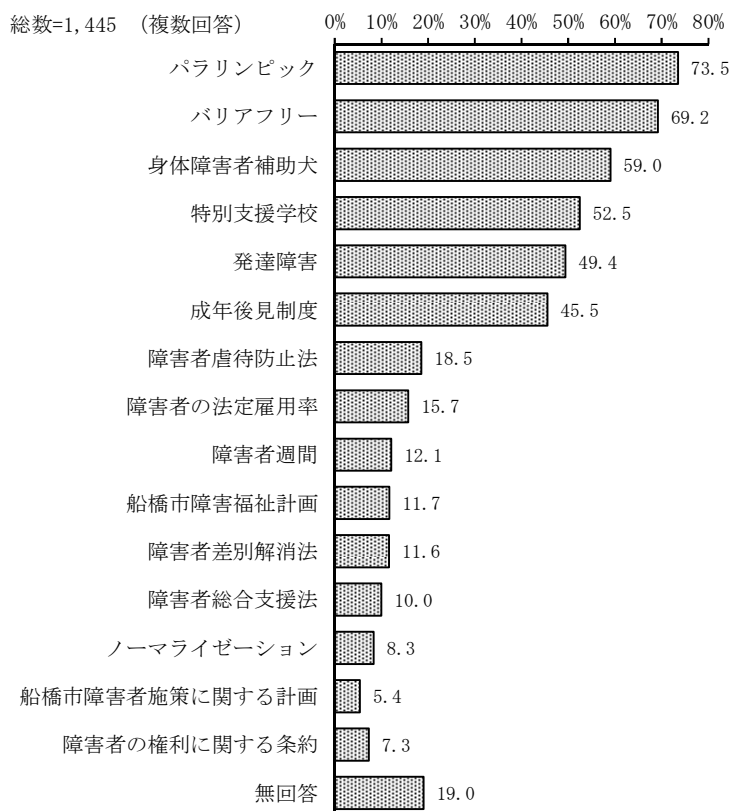
図表 1- 144 福祉サービス情報の入手方法



問 71 次にあげる障害者施策や福祉施策の用語のうち、あなたが見聞きしたことのあるものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「パラリンピック」が73.5%で最も多く、「バリアフリー」が69.2%、「身体障害者補助犬」が59.0%、「特別支援学校」が52.5%で続きます。

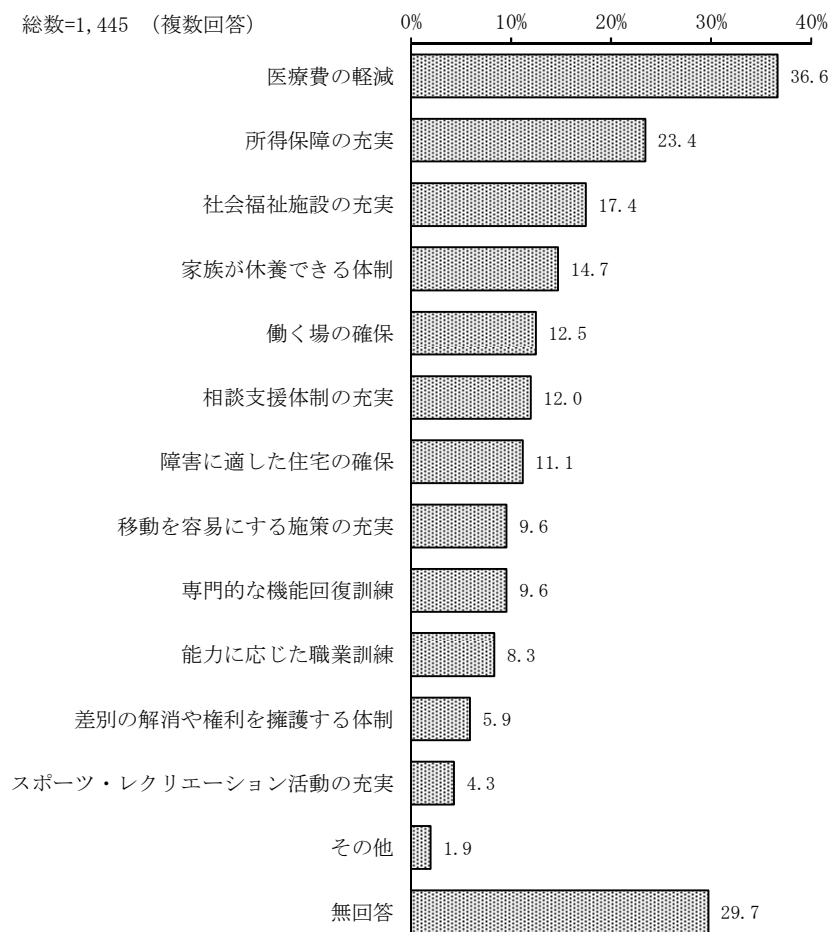
図表 1- 145 見聞きしたことのある障害者施策や福祉施策の用語



問 72 あなたが今後、必要だと思う障害福祉施策は何ですか。(主なものを3つまでに○)

「医療費の軽減」が36.6%で最も多く、「所得保障の充実」が23.4%、「社会福祉施設の充実」が17.4%、「家族が休養できる体制」が14.7%で続きます。

図表 1-146 今後必要だと思う障害福祉施策



問 73 船橋市の障害福祉施策についてのご意見、ご希望、または困っていることなどを、自由にお書きください。

自由回答を記入した回答者は 328 名です。

回答内容を分類すると、以下の通りとなっています。なお、一人で複数の内容を書かれている場合もあり、合計件数は回答者数を上回ります。

分類	件数	割合
全体	328	100%
啓発・広報	40	12.2%
保健・医療	47	14.3%
教育・雇用・就業	18	5.5%
生活支援・福祉サービス	106	32.3%
生活環境	70	21.3%
スポーツ・レクリエーション等	14	4.3%
その他	87	26.5%

※ここに掲載したものは回答の一部です。また、大意を変えずに一部を省略・要約している場合があります。

※回答者は本人ではなく、代理の人の場合があります。

### 啓発・広報

- ・船橋市に限らないが、車に貼る車椅子マークが百均で売られ、障害がない人も車につけて、障害者用スペースに駐車しているのは、問題と思う。本当に困った人が使用できない。マークを変更し、障害者手帳を提示して、関係機関で買えると良いと思う。(女性、63歳)
- ・杖を持たず電車等で座っていると健常者にみられるので席を変わってほしいとよく言われる。私も障害者だと伝えるのだが、何かわかるバッジがあればいいと思う。(女性、58歳)
- ・船橋市の今後の障害福祉施策の動向等について、「広報ふなばし」等で是非、知る機会を増して下さい。今回のアンケートを通じて、市の福祉施策等について、いかに知らないかという事を再認識しました。(男性、68歳)
- ・こちらがお電話しておたずねしないと情報が入って来ません。困っています。(女性、53歳)
- ・希望の1つとして東京都などがおこなっている障害者のワッペンみたいな物を市でも作ってほしいです。(女性、47歳)

## 保健・医療

- ・現在、人工透析中ですが、将来寝たきりになった時、自宅に居ながら通院が可能なのか、不安。透析患者を受け入れてくれる病院が不足していると思う。(女性、64歳)
- ・船橋市の福祉施策は我々障害者にやさしいと思います。医療費が1回300円、薬代が無料は非常に助かっています。(女性、74歳)
- ・災害時に避難先に自分が通常使用しているストマー式を預けておきたいと思っている。他の市では対応していると聞いているが、船橋市でも実行して欲しい。(男性、69歳)

## 教育・雇用・就業

- ・来年度より、幼稚園に入園させたいと思っています。吸引\*がある為、母親が毎日園に付き添いながら通う予定です。保護者が毎日幼稚園に通うのは負担も大きく、本人の成長、発育にも多少なりの影響があると考えています。そこで、毎日でなくても良いので、吸引をお願い出来る看護師を幼稚園に派遣する制度が欲しいです。(女性、4歳(保護者代筆))

※吸引=嚥下(飲み込む力)が弱いために、痰などが気道(空気の通り道)をふさいで窒息することを防ぐため、専用の機械で痰などを吸い出すこと。

- ・小学校は普通学級に入学しましたが、それまでの間、公立保育園ですごしました。近所の私立保育園希望でしたが、看護師が“常駐してないから”と公立へ。成長し、自分で自己導尿\*が出来ようになったので、やらせて欲しいと言ってもなかなかやらせてもらえず、年長に入ってから、2~3時間おきにやらなくてはいけないところ、お昼に1回程度でした。もう少し障害者に対しても柔軟な考えと、対応を個別にして欲しいと思っています。(男性、7歳(保護者代筆))

※自己導尿=排尿障害がある人が、自分で尿道から膀胱内に専用器具(カテーテル)を挿入し、尿を体外に排泄する方法。

- ・特別支援学校卒業後の働く場(車いす利用者)がありません。車いす利用者が自力で通勤する為に市内での職場を希望します。働く場を増やして下さい。トイレやエレベーターなどの配慮も必要です。(男性、16歳)
- ・障害者の給与は昇給がありません。会社等が障害者への支払を改善しようとしていない理由を聞きとりしてほしい。関東圏の平均よりも下の時給ばかりです(女性、57歳)

## 生活支援・福祉サービス

- ・福祉サービスを受けるための色々な申請について、各出張所等でもできるようにしてほしい。市役所まで出かけて行くのも大変です。(男性、88歳)

- ・人工透析中ですが遠くマイカー通院です。ガソリン費用の補助を進めて下さい。他市では支給しているところがあり、とても助かっているとよく聞きます。切実です。(男性、75歳)
- ・歩行困難な夫の世話をしている70代です。急病や、ケガ等で私が出来ない場合、施設で面倒みてくれる所がすぐ見つかるのか心配です。誰もかわりがおりませんのでいつも何かあったらと心配しております。(男性、77歳(配偶者代筆))
- ・身体障害者が65歳以上になった場合自動的に介護保険制度に移行するため、それまで利用できていたサービスが受けられなくなるのは不便であるのでその様な場合は利用者の意見を聞いて本人の希望にそってほしい。身障者サービスなら2時間ヘルパーが入っていたのに介護保険に移行した時から1時間になり不便になったので改善が必要です。(男性、71歳)
- ・相談したい事はたくさんあるが、平日は仕事のため市役所に相談に行くことができない。保険関係や住宅関係の事を誰に相談すれば良いかわからない。(男性、43歳)
- ・視覚障害者の同行援護の時間を月ではなく、半年か一年で個人で考えて使用出来たらいいです。(女性、71歳)
- ・オストメイトはストマ(人工肛門、人工膀胱)を造設している内部障害者です。ストマ装具がないと生活、外出もままなりません。オストメイトが安心して、災害時に備え避難所にも、ストマ装具の常備をぜひ、お願いしたいと思っております。(女性、76歳)

## 生活環境

- ・車椅子の方が安心して通れる歩道を整備してほしいです。(男性、53歳)
- ・多目的トイレ(オストメイト用)が少ない。(男性、68歳)
- ・機能回復訓練する場所がない。歩道が狭かったり車の往来が多く、安心して歩けない。(男性、39歳)
- ・電車のホームに行くのに、エレベーターの不備なところ、手すりが不完全なところがある。(男性、85歳)
- ・船橋の歩道は、杖をつかって歩いたり、車椅子で通る時、歩道のまん中に、電柱が有るので、車道に出るか、狭い歩道をとるので非常にあぶない。(男性、64歳)
- ・歩道が少ない。また有っても斜めが多く歩く時バランスがとれない。(女性、73歳)
- ・お店や、公共施設等、階段のある場所には全て手摺が付くようにしてほしい。

例えば立派な歩道橋があるのに取り付きの数段の階段に手摺がないため、利用が出来ない。(男性、82歳)

- ・私の居住する周辺の道路は道幅が狭く歩道が無く凸凹が多くて杖を使って歩くことが難しいので外出することが少なくなる。改善してほしい。(女性、81歳)
- ・以前から比べたら、いろいろと、良くなって来ていると思いますが、道路など、まだまだ障害者が歩くのは危険です。車椅子を押して歩けない。(男性、79歳)
- ・道路の側溝にふたをしてほしいです(視覚障害、何度も落ちています)。信号の青、赤が分かるように、音響装置を付けてほしいです。(男性、年齢不明)

#### スポーツ・レクリエーション等

- ・足が多少不自由なのでリハビリのためパークゴルフ場に行っていますが市営のゴルフ場など、安く出来たらと思います。高齢者(障害者)にはとても良いスポーツだと思います。(女性、77歳)
- ・母を亡くしさみしくなりましたが、3年位前に障害者団体に入会して同じ悩みを持つ方々と知り合いになれてとても良かったです。いろいろクラブに入って楽しんでいます。(女性、76歳)

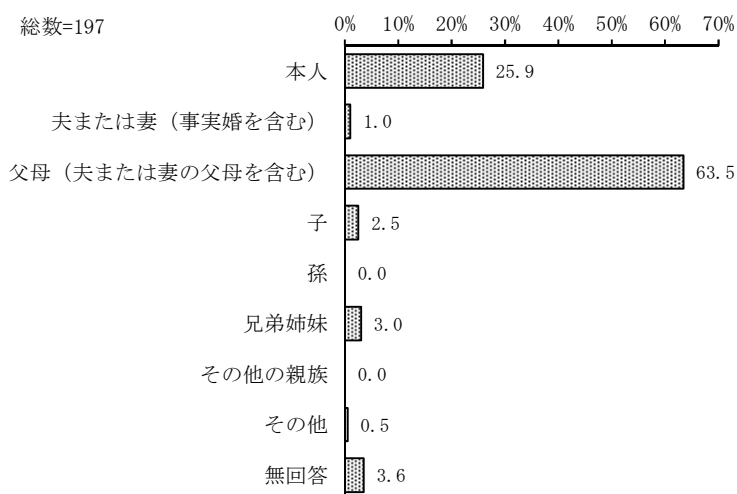
## 2 知的障害者を対象とした調査結果

### 【1】あなたご自身やご家族のことについてうかがいます。

問1 このアンケートの記入者はどなたですか。あなたから見た続柄でお答えください。（どれか1つに○）

「父母（夫または妻の父母を含む）」が63.5%で最も多く、「本人」が25.9%、「兄弟姉妹」が3.0%、「子」が2.5%で続きます。

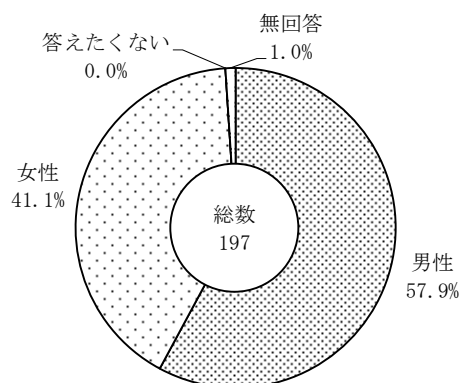
図表 2-1 記入者



問2 あなたの性別をお答えください。（どれか1つに○）

「男性」が57.9%、「女性」が41.1%となっています。

図表 2-2 性別

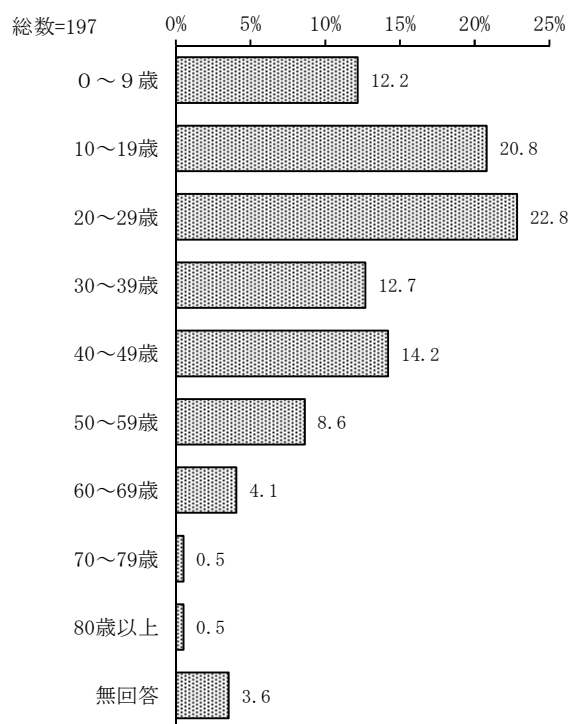




問3 あなたは、何歳ですか。平成29年1月1日現在の満年齢でお答えください。

「20～29歳」が22.8%で最も多く、「10～19歳」が20.8%、「40～49歳」が14.2%、「30～39歳」が12.7%で続きます。

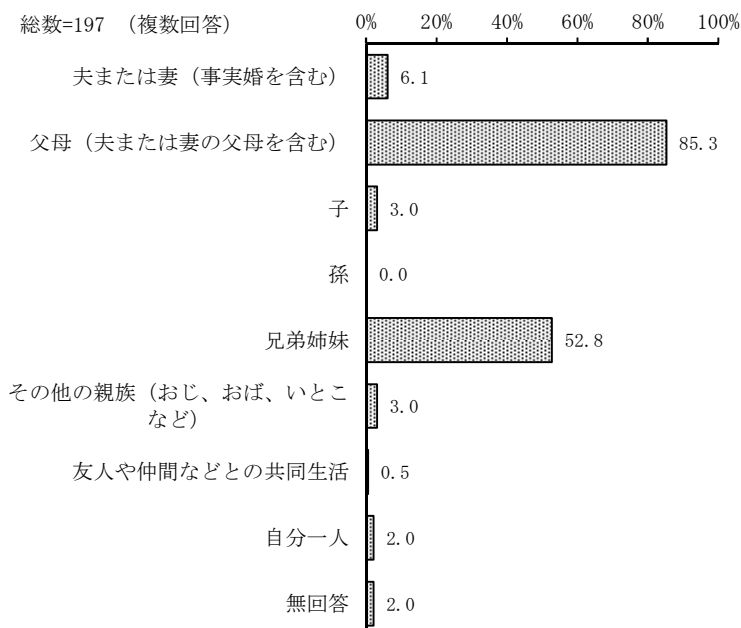
図表2-3 年齢



問4 あなたと一緒に暮らしている家族は、どなたですか。(あてはまるものすべてに○)

「父母（夫または妻の父母を含む）」が85.3%で最も多く、「兄弟姉妹」が52.8%、「夫または妻（事実婚を含む）」が6.1%で続きます。

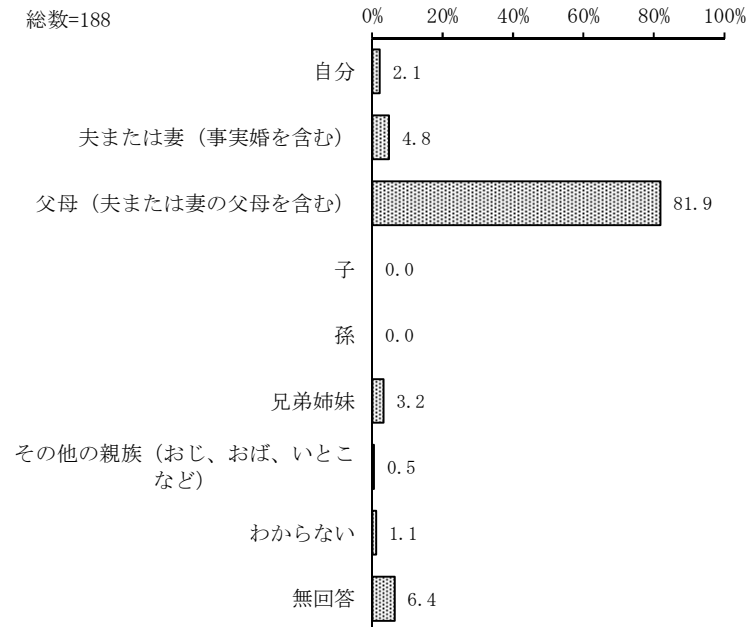
図表2-4 同居家族



問4-1 【家族等と一緒に暮らしている方にかがいます。】一緒に暮らしている家族の中で、主に生活のための収入を得ている方はどなたですか。(どれか1つに○)

「父母（夫または妻の父母を含む）」が81.9%で最も多く、「夫または妻（事実婚を含む）」が4.8%、「兄弟姉妹」が3.2%、「自分」が2.1%で続きます。

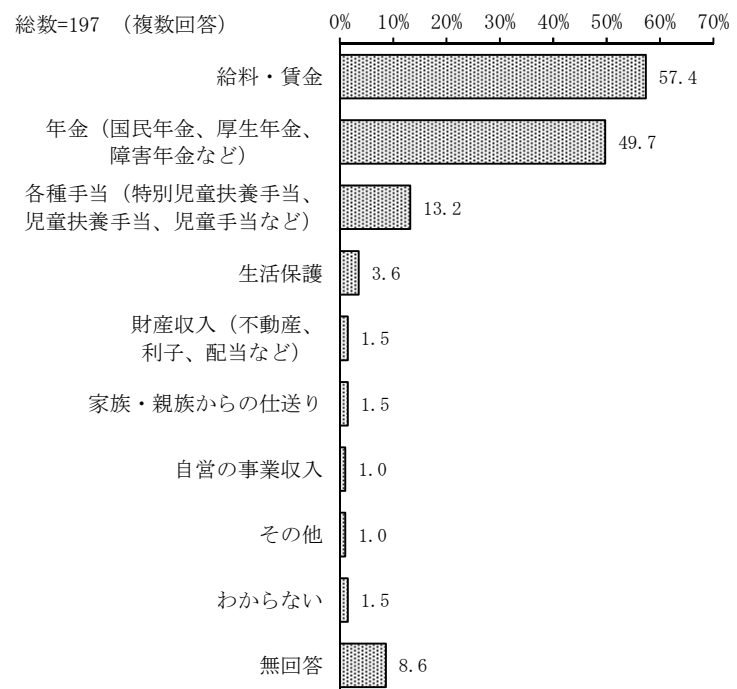
図表 2-5 主に収入を得ている同居家族



問5 あなたの世帯収入の種類はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○、最も金額が大きいものには◎)

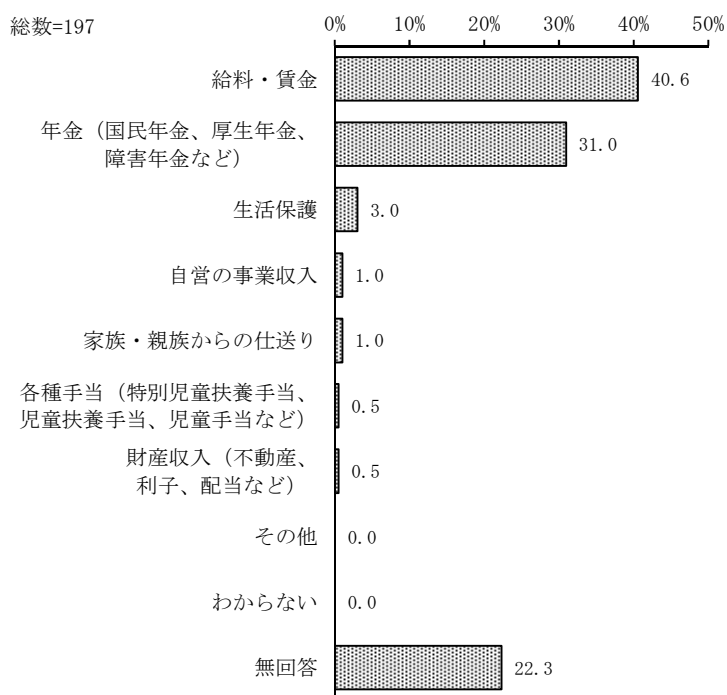
世帯収入の種類は、「給料・賃金」が57.4%で最も多く、「年金（国民年金、厚生年金、障害年金など）」が49.7%、「各種手当（特別児童扶養手当、児童扶養手当、児童手当など）」が13.2%で続きます。

図表 2-6 世帯収入の種類



最も金額が大きいものでは「給料・賃金」が40.6%で最も多く、「年金（国民年金、厚生年金、障害年金など）」が31.0%、「生活保護」が3.0%で続きます。

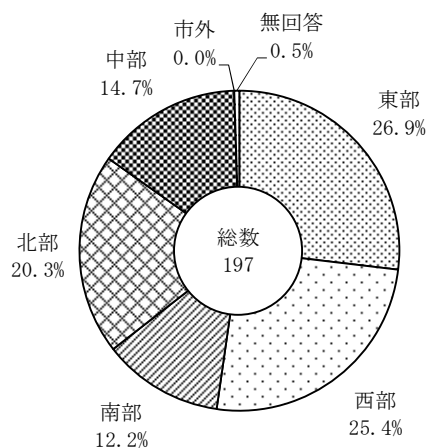
図表 2-7 最も金額が大きい収入



問6 あなたの住んでいる地域はどこですか。(どれか1つに○)

「東部」が26.9%で最も多く、「西部」が25.4%、「北部」が20.3%、「中部」が14.7%となっています。

図表 2-8 居住地域



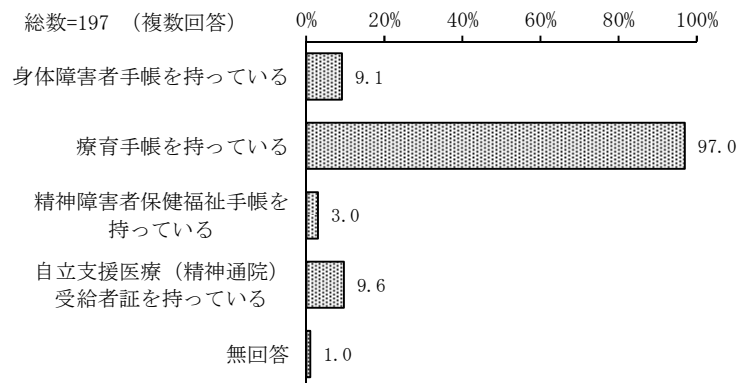
【2】あなたの障害のことについてうかがいます。

問7 あなたがお持ちの障害者手帳等の種類と等級についてうかがいます。下の表のあてはまる番号と等級（程度）に○をつけて（ ）内に取得した年齢を記入してください。

「療育手帳を持っている」が97.0%、「自立支援医療（精神通院）受給者証を持っている」が9.6%、「身体障害者手帳を持っている」が9.1%、「精神障害者保健福祉手帳を持っている」が3.0%となっています。

所持している手帳の組み合わせは、「療育手帳のみ」が80.2%で最も多く、「身体障害者手帳と療育手帳」、「療育手帳と自立支援医療（精神通院）受給者証」が6.6%で続きます。

図表 2-9 障害者手帳等取得の有無



図表 2-10 所持している手帳の組み合わせ

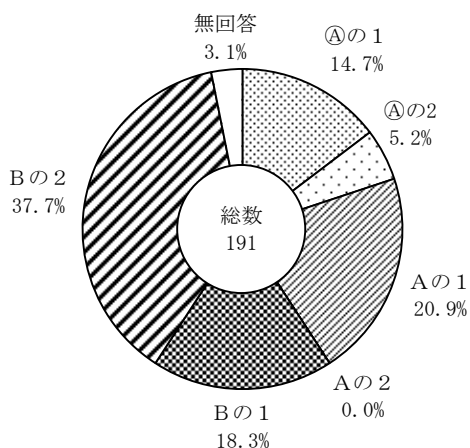
項目名	集計値	構成比 (%)
全体	197	100.0
身体障害者手帳のみ	3	1.5
療育手帳のみ	158	80.2
身体障害者手帳+療育手帳	13	6.6
療育手帳+精神障害者保健福祉手帳	2	1.0
療育手帳+自立支援医療（精神通院）受給者証	13	6.6
精神障害者保健福祉手帳+自立支援医療（精神通院）受給者証	1	0.5
身体障害者手帳+療育手帳+自立支援医療（精神通院）受給者証	2	1.0
療育手帳+精神障害者保健福祉手帳+自立支援医療（精神通院）受給者証	3	1.5
いずれも持っていない	2	1.0

【療育手帳】

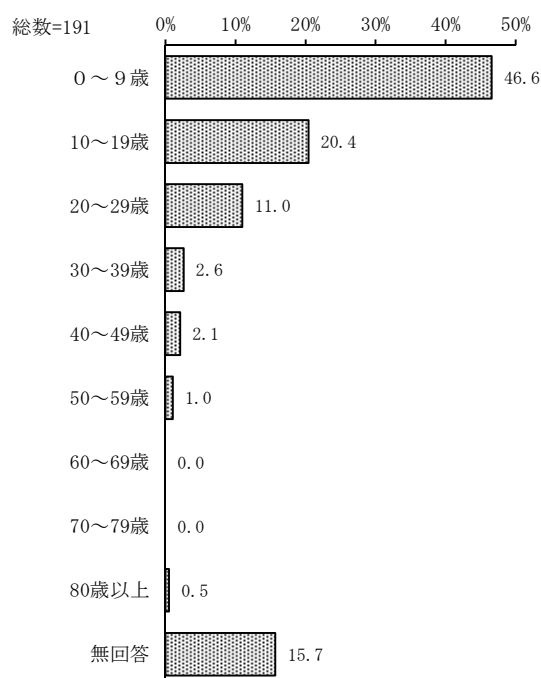
療育手帳の等級（程度）は、「Bの2」が37.7%、「Aの1」が20.9%、「Bの1」が18.3%、「Aの1」が14.7%、「Aの2」が5.2%となっています。

療育手帳を取得した年齢は、「0～9歳」が46.6%で最も多く、「10～19歳」が20.4%、「20～29歳」が11.0%で続きます。

図表 2-11 療育手帳の等級



図表 2-12 療育手帳を取得した年齢

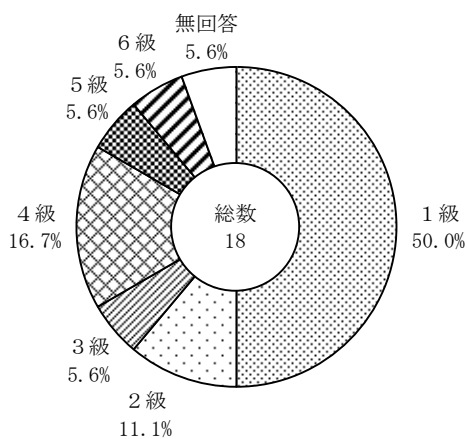


【身体障害者手帳】

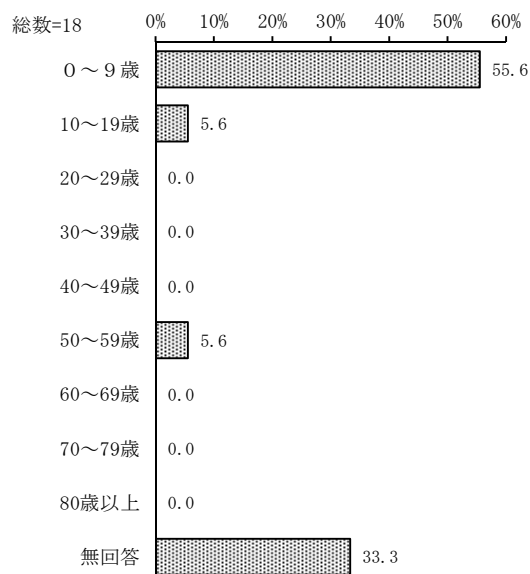
等級（程度）は、「1級」が50.0%、「4級」が16.7%、「2級」が11.1%、「3級」、「5級」、「6級」が5.6%となっています。

取得した年齢は、「0～9歳」が55.6%、「10～19歳」、「50～59歳」が5.6%となっています。

図表 2-13 身体障害者手帳の等級



図表 2-14 身体障害者手帳を取得した年齢



【精神障害者保健福祉手帳】

精神障害者保健福祉手帳を持っている人は6名です。等級（程度）「2級」が3名、「1級」、「3級」が1名となっています。

取得した年齢は、「20～29歳」が3名となっています。

図表 2-15 精神障害者保健福祉手帳の等級

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	6	100.0
1級	1	16.7
2級	3	50.0
3級	1	16.7
無回答	1	16.7

図表 2-16 精神障害者保健福祉手帳を取得した年齢

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	6	100.0
0～9歳	-	-
10～19歳	-	-
20～29歳	3	50.0
30～39歳	-	-
40～49歳	-	-
50～59歳	-	-
60～69歳	-	-
70～79歳	-	-
80歳以上	-	-
無回答	3	50.0

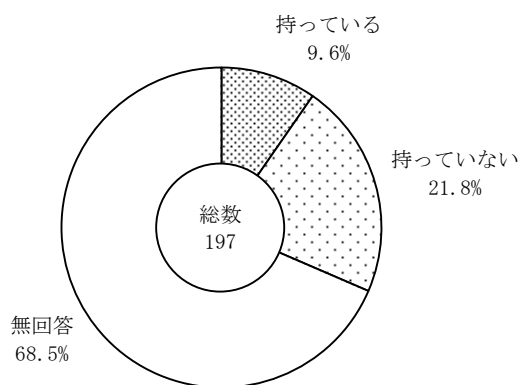
【自立支援医療（精神通院）受給者証】

「持っている」が9.6%、「持っていない」が21.8%となっています。

取得した年齢は、「10～19歳」、「20～29歳」が15.8%、「0～9歳」、「40～49歳」が10.5%、「40～49歳」が5.3%となっています。

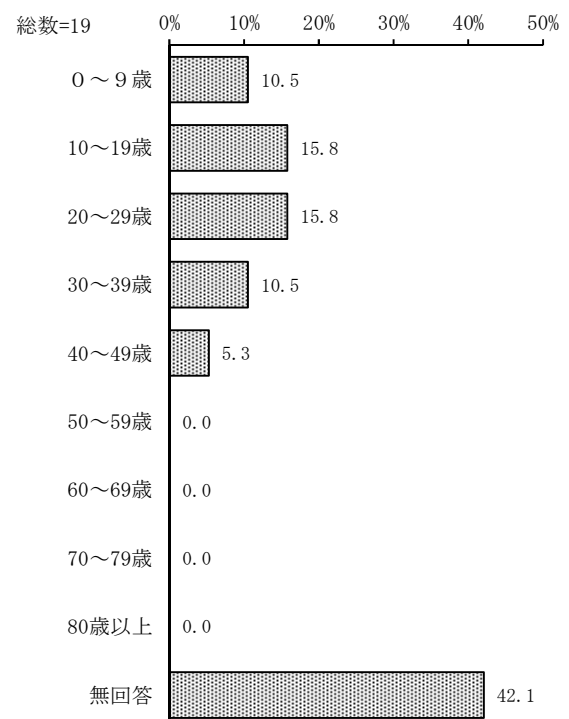
図表 2-17

自立支援医療（精神通院）受給者証取得の有無



図表 2-18

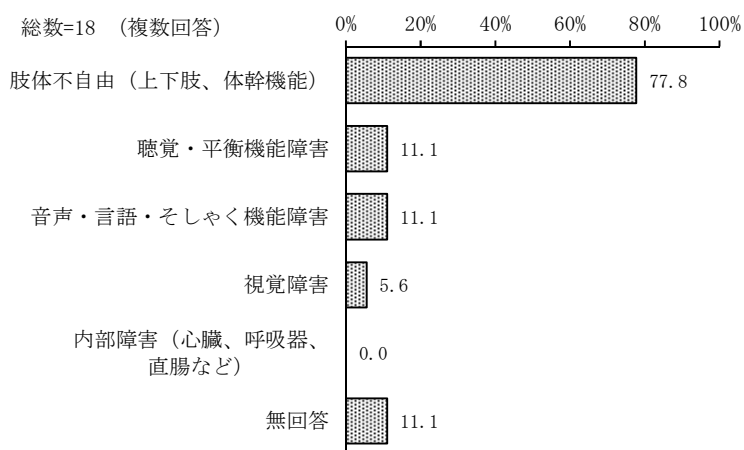
自立支援医療（精神通院）受給者証を取得した年齢



問7-1【身体障害者手帳をお持ちの方のうちの方がいます。】身体障害の種類（部位）は、次のうちのどれですか。（あてはまるものすべてに○）

「肢体不自由（上下肢、体幹機能）」が77.8%、「聴覚・平衡機能障害」、「音声・言語・そしゃく機能障害」が11.1%、「視覚障害」が5.6%となっています。

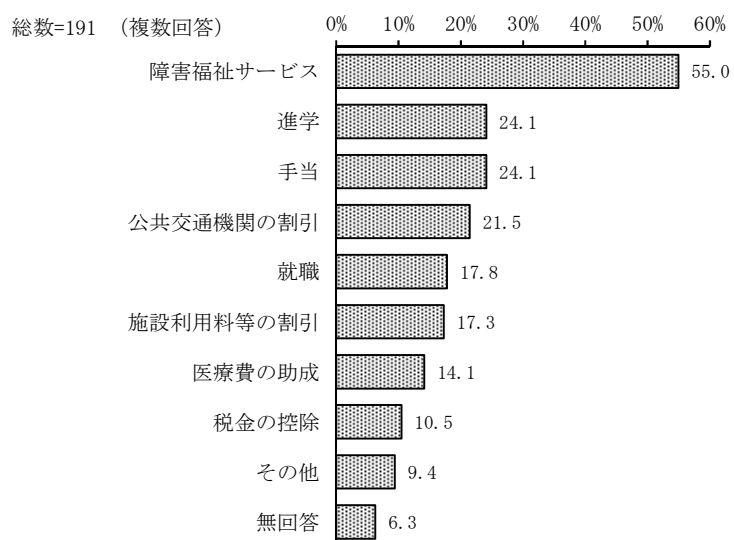
図表 2-19 身体障害の種類（部位）



問7-2【療育手帳をお持ちの方のうちの方がいます。】療育手帳を取得しようと思ったきっかけは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「障害福祉サービス」が55.0%で最も多く、「進学」、「手当」が24.1%、「公共交通機関の割引」が21.5%で続きます。

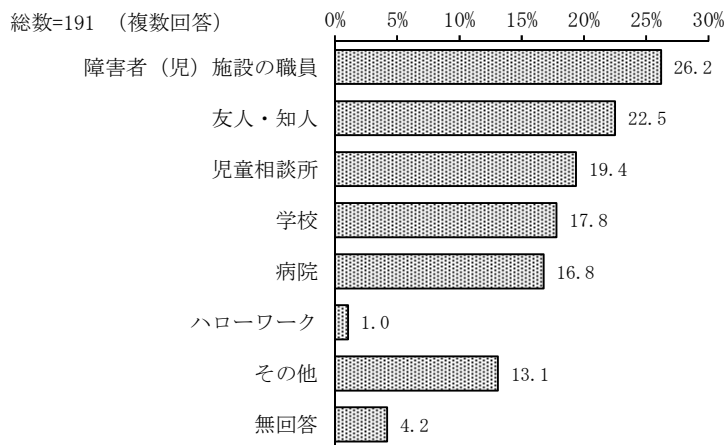
図表 2-20 療育手帳を取得しようと思ったきっかけ



問7-3【療育手帳をお持ちの方にかがいます。】療育手帳の取得についてどこで・誰から案内されましたか。(あてはまるものすべてに○)

「障害者（児）施設の職員」が26.2%で最も多く、「友人・知人」が22.5%、「児童相談所」が19.4%、「学校」が17.8%で続きます。

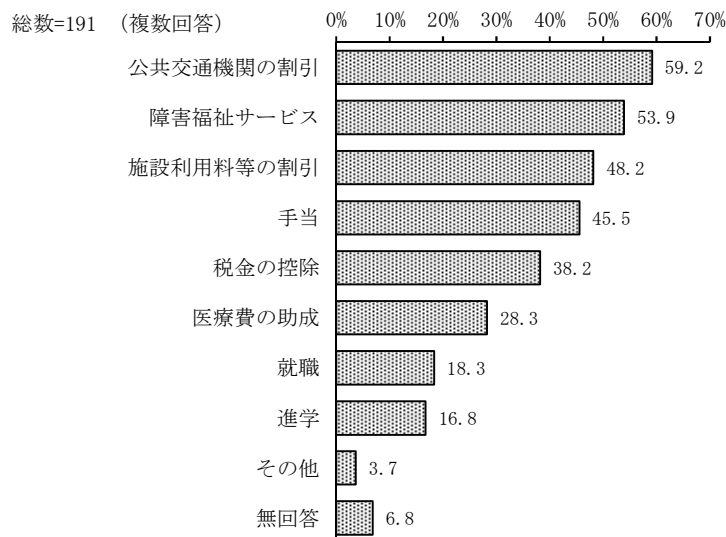
図表 2-21 療育手帳の取得の案内先



問7-4【療育手帳をお持ちの方にかがいます。】療育手帳があって役立ったことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「公共交通機関の割引」が59.2%で最も多く、「障害福祉サービス」が53.9%、「施設利用料等の割引」が48.2%、「手当」が45.5%で続きます。

図表 2-22 療育手帳があって役立ったこと

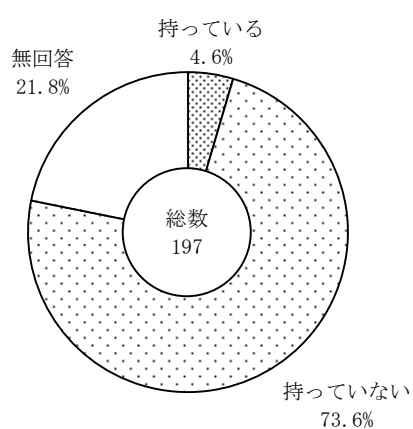




問8 あなたは、難病のための特定疾患医療受給者票（千葉県特定医療費（指定難病）受給者証等）をお持ちですか。（あてはまるもの1つに○をつけ、（ ）内に具体的に記入してください）

「持っている」が4.6%、「持っていない」が73.6%となっています。  
持っている人は9人で、取得した年齢は、「0～9歳」が3人、「10～19歳」、「20～29歳」が2人となっています。

図表 2-23 特定疾患医療受給者票取得の有無



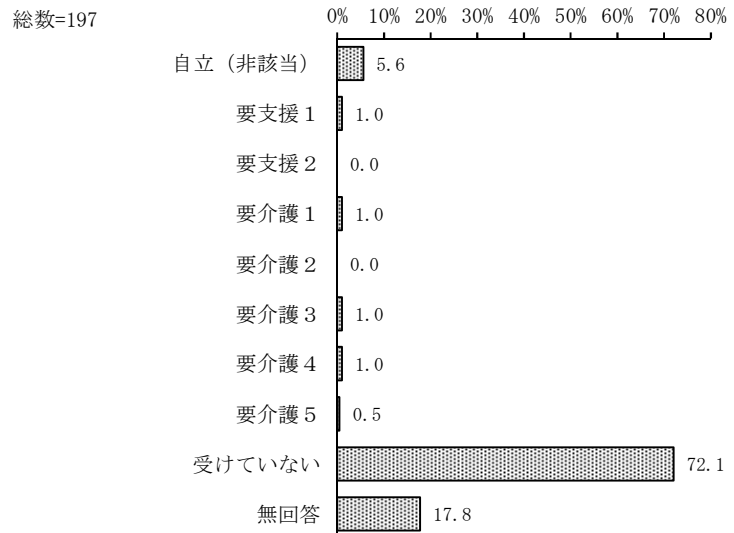
図表 2-24 特定疾患医療受給者票を取得した年齢

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	9	100.0
0～9歳	3	33.3
10～19歳	2	22.2
20～29歳	2	22.2
30～39歳	-	-
40～49歳	-	-
50～59歳	-	-
60～69歳	-	-
70～79歳	-	-
80歳以上	-	-
無回答	2	22.2

問9 あなたは、介護保険法に基づく要介護認定を受けていますか。(どれか1つに○)

「受けていない」が72.1%、「自立（非該当）」が5.6%、「要支援1」、「要介護1」、「要介護3」、「要介護4」が1.0%、「要介護5」が0.5%となっています。

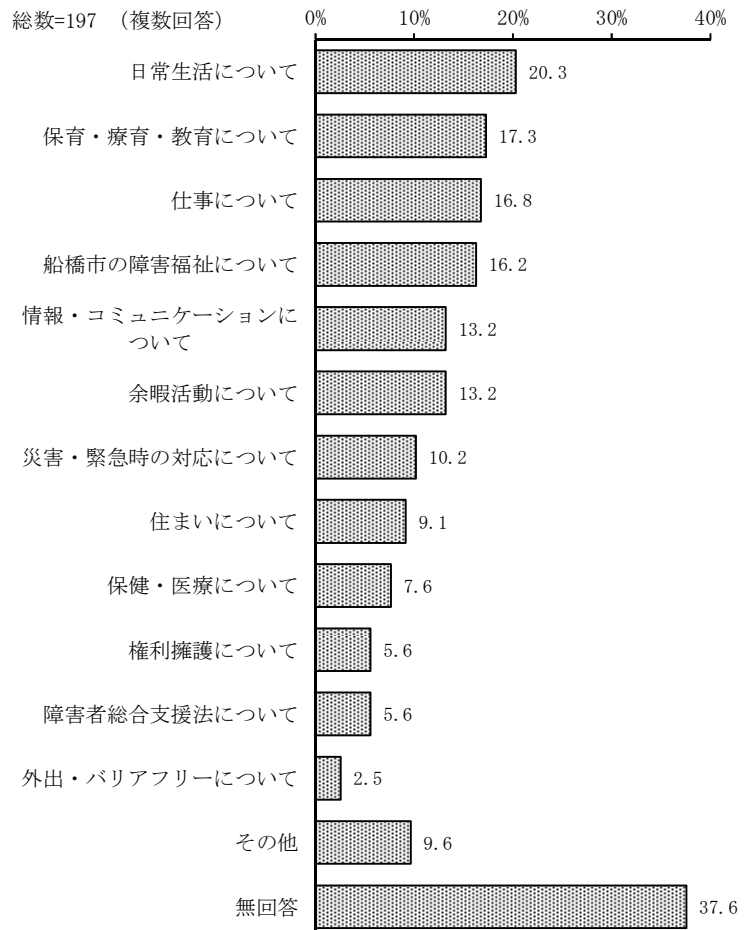
図表 2- 25 要介護認定を受けていますか



問10 現在あなたは、誰かに相談したいことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

「日常生活について」が20.3%で最も多く、「保育・療育・教育について」が17.3%、「仕事について」が16.8%、「船橋市の障害福祉について」が16.2%で続きます。

図表 2- 26 誰かに相談したいこと

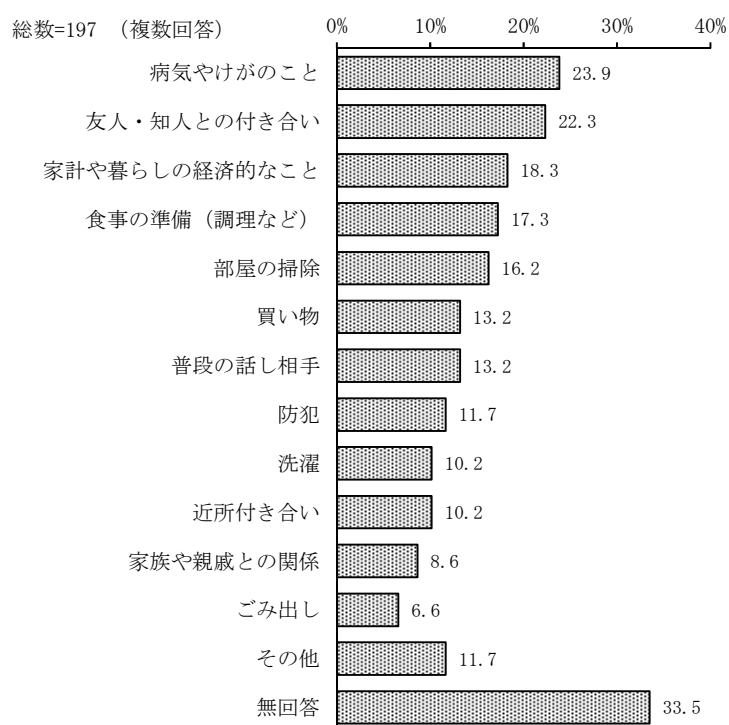


## 【3】日常生活についてうかがいます。

問 11 あなたは、ふだんの生活で気になったり、困ったりしていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

「病気やけがのこと」が23.9%で最も多く、「友人・知人との付き合い」が22.3%、「家計や暮らしの経済的なこと」が18.3%、「食事の準備(調理など)」が17.3%で続きます。

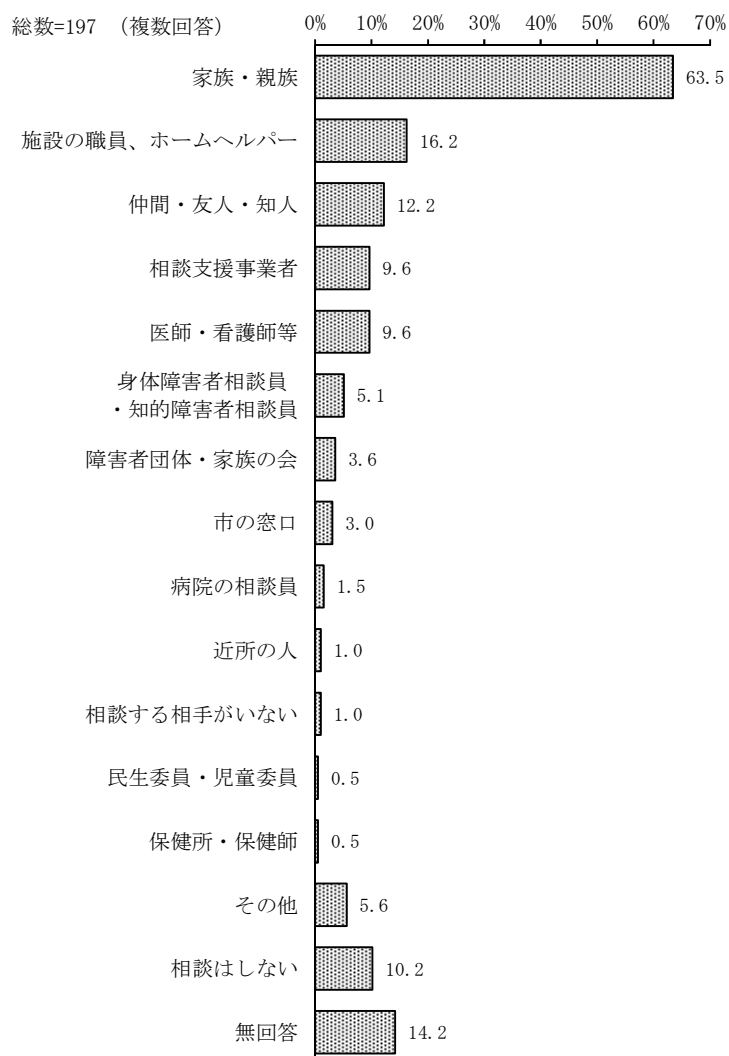
図表 2-27 ふだんの生活で気になったり、困っていること



問 12 あなたは、日常生活で困ったことや悩み事について、どなたに相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

「家族・親族」が63.5%で最も多く、「施設の職員、ホームヘルパー」が16.2%、「仲間・友人・知人」が12.2%で続きます。

図表 2-28 困ったことや悩み事の相談先

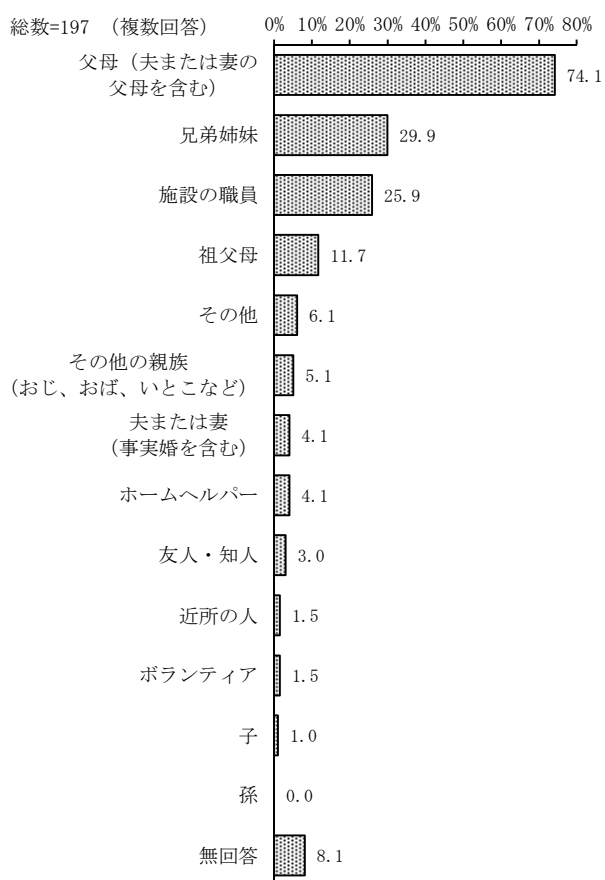


問 13 あなたは身の回りのことについて、どなたから支援を受けていますか。  
 (あてはまるものすべてに○、最も機会が多い人には◎)

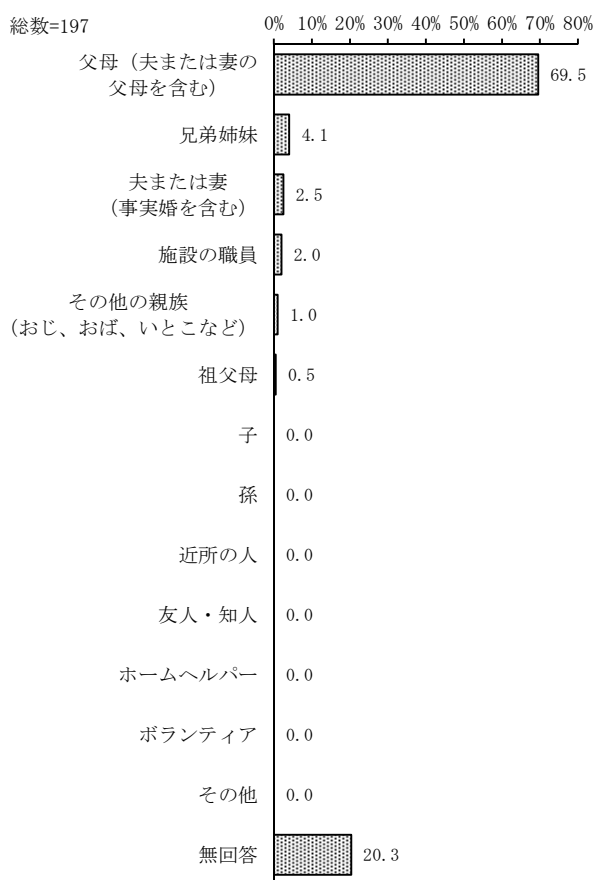
「父母(夫または妻の父母を含む)」が74.1%で最も多く、「兄弟姉妹」が29.9%、「施設の職員」が25.9%で続きます。

最も機会が多い人は、「父母(夫または妻の父母を含む)」が69.5%で最も多く、「兄弟姉妹」が4.1%、「夫または妻(事実婚を含む)」が2.5%、「施設の職員」が2.0%で続きます。

図表 2-29  
 支援を受けている人(支援者との関係)



図表 2-30  
 最も支援を受ける機会が多い人(支援者との関係)

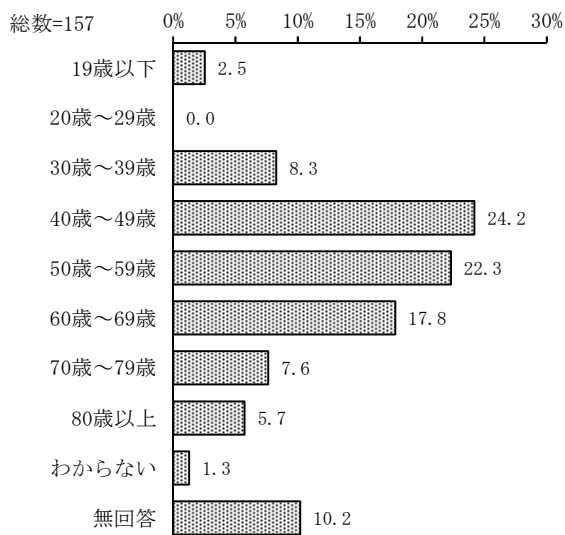


問 13-1 【問 13 で 1～7 に◎をつけた方にうかがいます。】主な支援者は何歳くらいの方ですか。(どれか1つに○)

- ※ 1. 夫または妻（事実婚を含む） 2. 子 3. 孫 4. 父母（夫または妻の父母を含む） 5. 兄弟姉妹  
6. 祖父母 7. その他の親族（おじ、おば、いとこなど）

「40歳～49歳」が24.2%  
で最も多く、「50歳～59歳」  
が22.3%、「60歳～69歳」  
が17.8%で続きます。

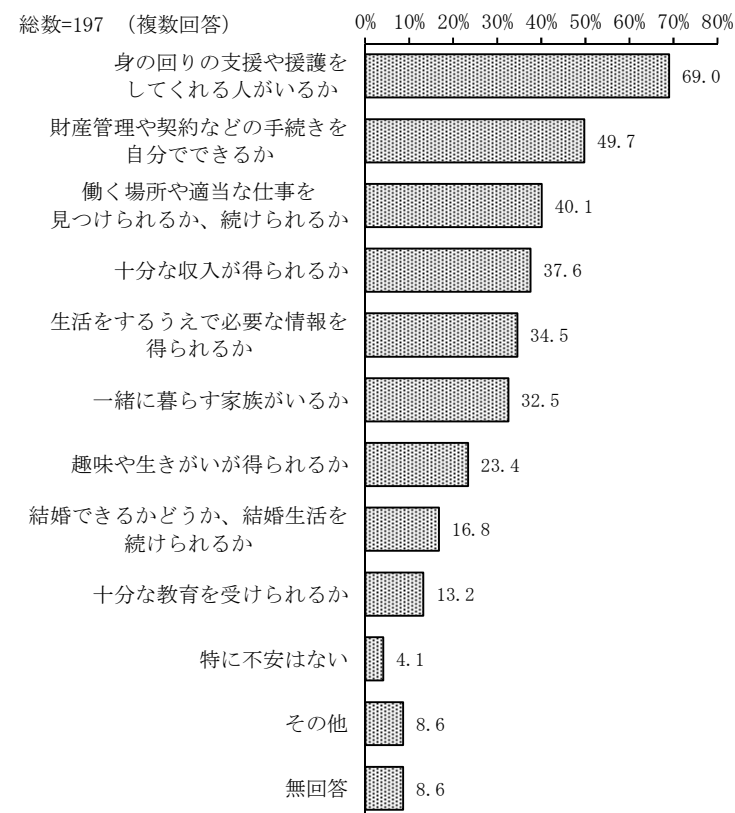
図表 2-31 主な支援者の年齢



問 14 あなたは支援者亡きあとの生活を考えた時、どのような不安がありますか。(あてはまるものすべてに○)

「身の回りの支援や援護をしてくれる人がいるか」が69.0%で最も多く、「財産管理や契約などの手続きを自分でできるか」が49.7%、「働く場所や適当な仕事を見つけられるか、続けられるか」が40.1%、「十分な収入が得られるか」が37.6%、「生活をするうえで必要な情報を得られるか」が34.5%、「一緒に暮らす家族がいるか」が32.5%、「趣味や生きがいを得られるか」が23.4%、「結婚できるかどうか、結婚生活を続けられるか」が16.8%、「十分な教育を受けられるか」が13.2%、「特に不安はない」が4.1%、「その他」が8.6%、「無回答」が8.6%です。

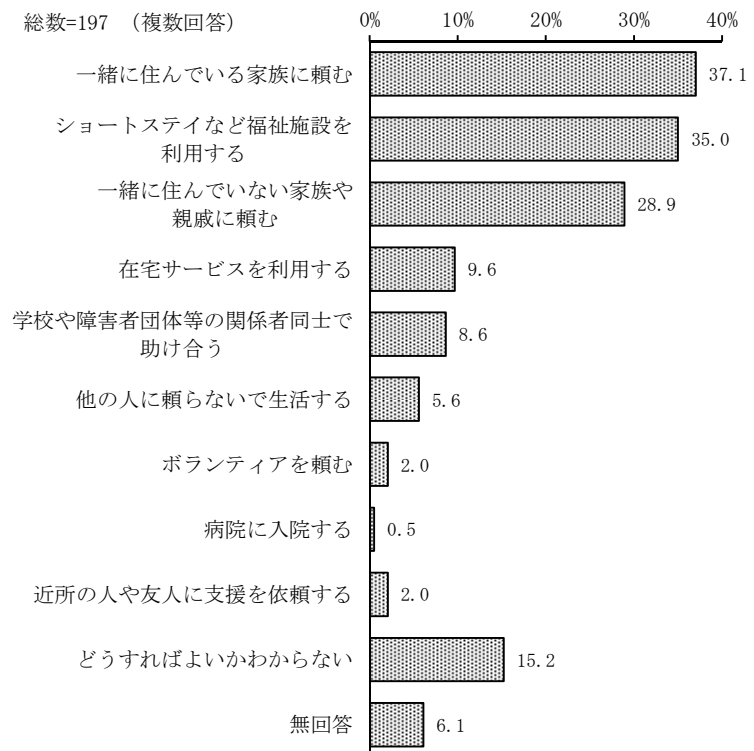
図表 2-32 支援者亡きあとの生活で不安なこと



問 15 もし、いつも支援をしてくれる方が病気などで支援できなくなった場合、あなたはどうしますか。(あてはまるものすべてに○)

「一緒に住んでいる家族に頼む」が37.1%で最も多く、「ショートステイなど福祉施設を利用する」が35.0%、「一緒に住んでいない家族や親戚に頼む」が28.9%で続きます。

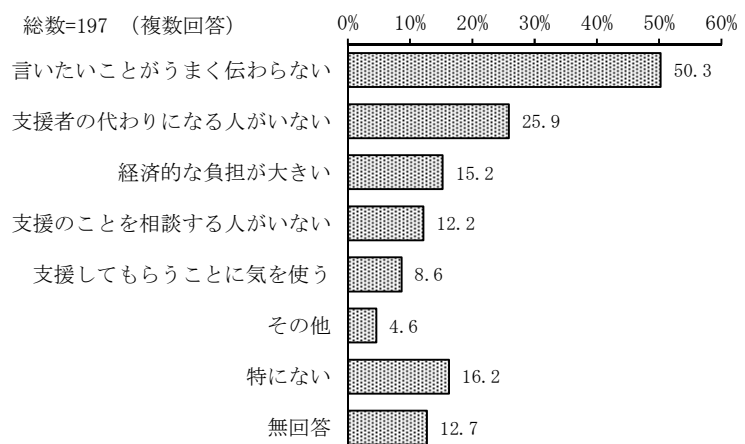
図表 2-33 支援者が支援できなくなった場合の対応



問 16 あなたが支援を受ける上で困っていることは、どのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

「言いたいことがうまく伝わらない」が50.3%で最も多く、「支援者の代わりになる人がいない」が25.9%、「経済的な負担が大きい」が15.2%、「支援のことを相談する人がいない」が12.2%で続きます。

図表 2-34 支援を受ける上で困っていること



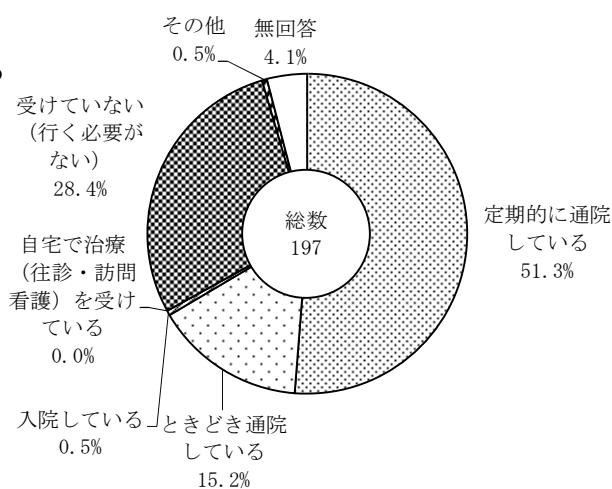


## 【4】保健・医療についてうかがいます。

問 17 あなたは、現在、医療を受けていますか。(どれか1つに○)

「定期的に通院している」が51.3%、「受けていない(行く必要がない)」が28.4%、「ときどき通院している」が15.2%、「入院している」が0.5%となっています。

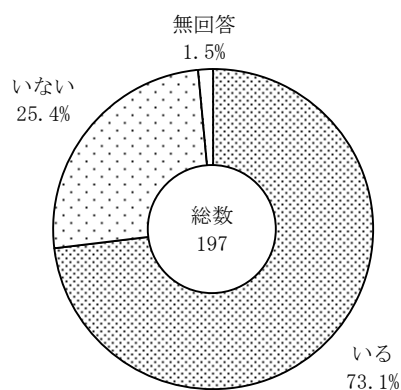
図表 2-35 現在、医療を受けていますか



問 18 あなたには、よく診察してもらう「かかりつけ医」がいますか。(どれか1つに○)

「いる」が73.1%、「いない」が25.4%となっています。

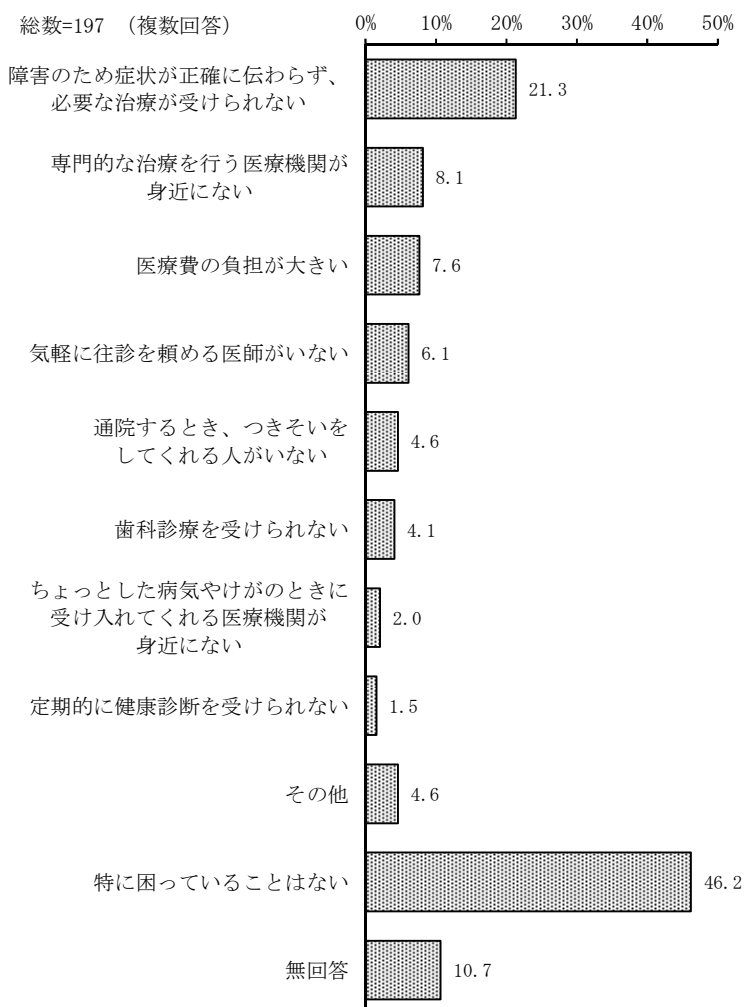
図表 2-36 かかりつけ医の有無



問 19 あなたが医療を受けるときや、健康管理で困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「障害のため症状が正確に伝わらず、必要な治療が受けられない」が21.3%で最も多く、「専門的な治療を行う医療機関が身近にない」が8.1%、「医療費の負担が大きい」が7.6%、「気軽に往診を頼める医師がいない」が6.1%で続きます。

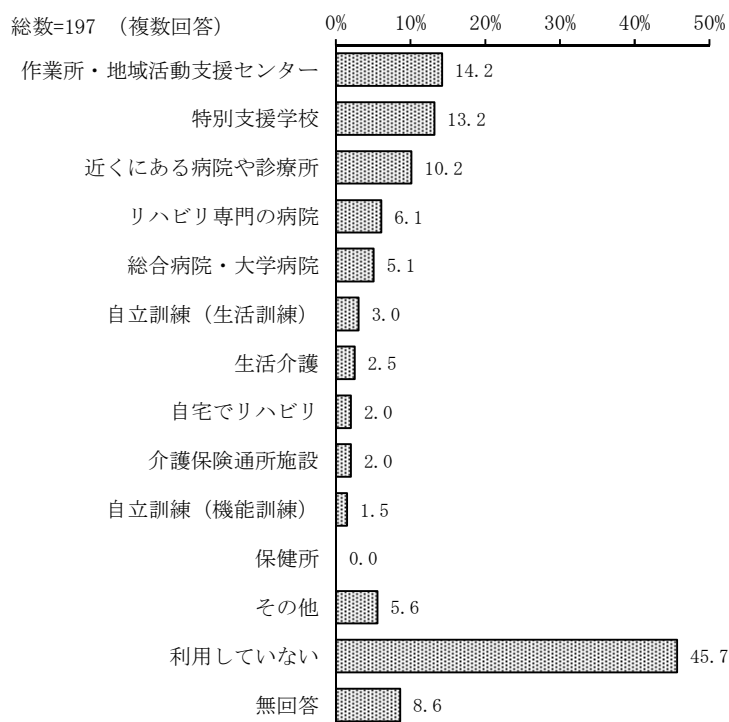
図表 2-37 医療を受ける時や健康管理で困ること



問 20 あなたは、障害の機能回復や悪化を防ぐために、病院や訓練施設を利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

「作業所・地域活動支援センター」が14.2%で最も多く、「特別支援学校」が13.2%、「近くにある病院や診療所」が10.2%で続きます。

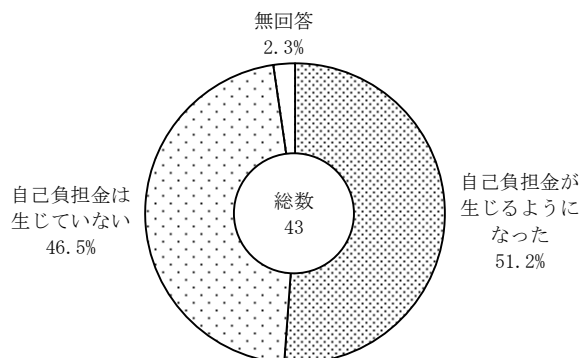
図表 2- 38 病院や訓練施設の利用状況



問 21 【重度心身障害者医療費助成受給券をお持ちの方のうちの方にうかがいます。】平成27年8月より、県内の病院等で重度医療費の助成を受ける場合は受給券を提示して、一定の所得の利用者に対しては自己負担金（通院1回300円、入院1日300円）が生じるという制度改正がされましたがどちらに該当しますか。(どれか1つに○)

「自己負担金が生じるようになった」が51.2%、「自己負担金は生じていない」が46.5%となっています。

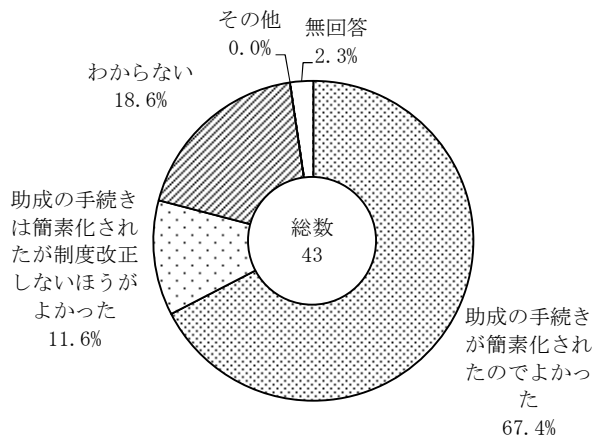
図表 2- 39 重度医療費の助成を受ける場合の自己負担金について



問 21-1【重度心身障害者医療費助成受給券をお持ちの方にうかがいます。】助成を受けるため、原則的には市役所へ申請書・領収書等を提出する必要がなくなりましたが、このことについてどう思いますか。（どれか1つに○）

「助成の手続きが簡素化されたのでよかった」が67.4%、「わからない」が18.6%、「助成の手続きは簡素化されたが制度改正しないほうがよかった」が11.6%となっています。

図表 2-40  
市役所へ申請書・領収書等を提出する必要がなくなったことについて

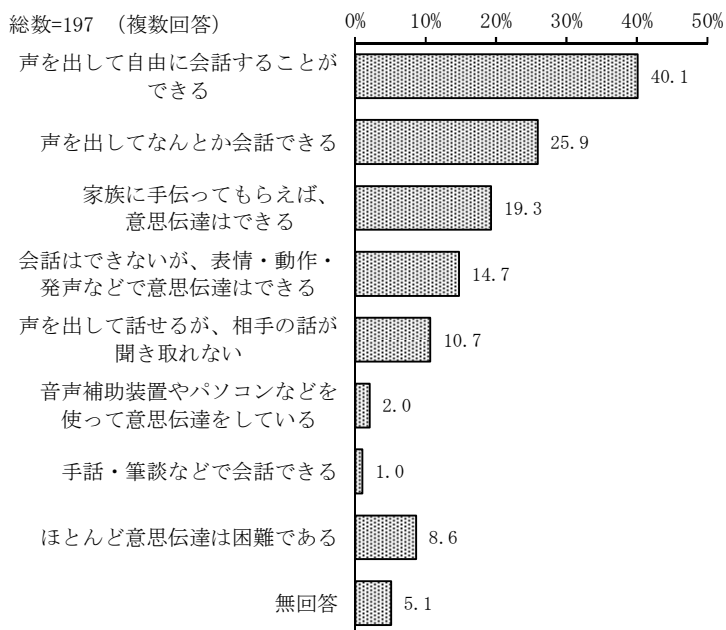


### 【5】情報・コミュニケーションについてうかがいます。

問 22 あなたは、日頃どのようにコミュニケーション（会話や意思の伝達）をとることができますか。（あてはまるものすべてに○）

「声を出して自由に会話することができる」が40.1%で最も多く、「声を出してなんとか会話できる」が25.9%、「家族に手伝ってもらえば、意思伝達はできる」が19.3%、「会話はできないが、表情・動作・発声などで意思伝達はできる」が14.7%で続きます。

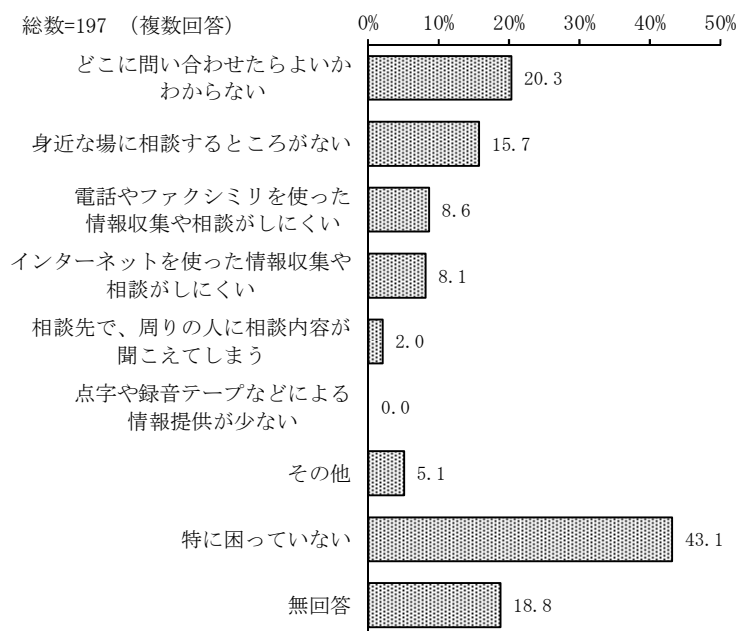
図表 2-41 コミュニケーション（会話や意思の伝達）の程度



問23 あなたが情報収集や相談をするときに困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「どこに問い合わせたらよいかわからない」が20.3%で最も多く、「身近な場に相談するところがない」が15.7%、「電話やファクシミリを使った情報収集や相談がしにくい」が8.6%、「インターネットを使った情報収集や相談がしにくい」が8.1%で続きます。

図表 2-42 情報収集や相談をするときに困ること

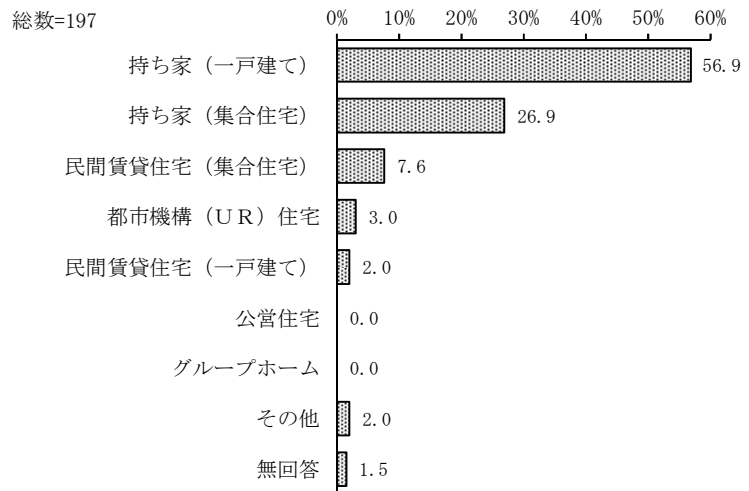


【6】お住まいについてうかがいます。

問24 あなたは、現在どのようなところにお住まいですか。(どれか1つに○)

「持ち家（一戸建て）」が56.9%で最も多く、「持ち家(集合住宅)」が26.9%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が7.6%、「都市機構（UR）住宅」が3.0%で続きます。

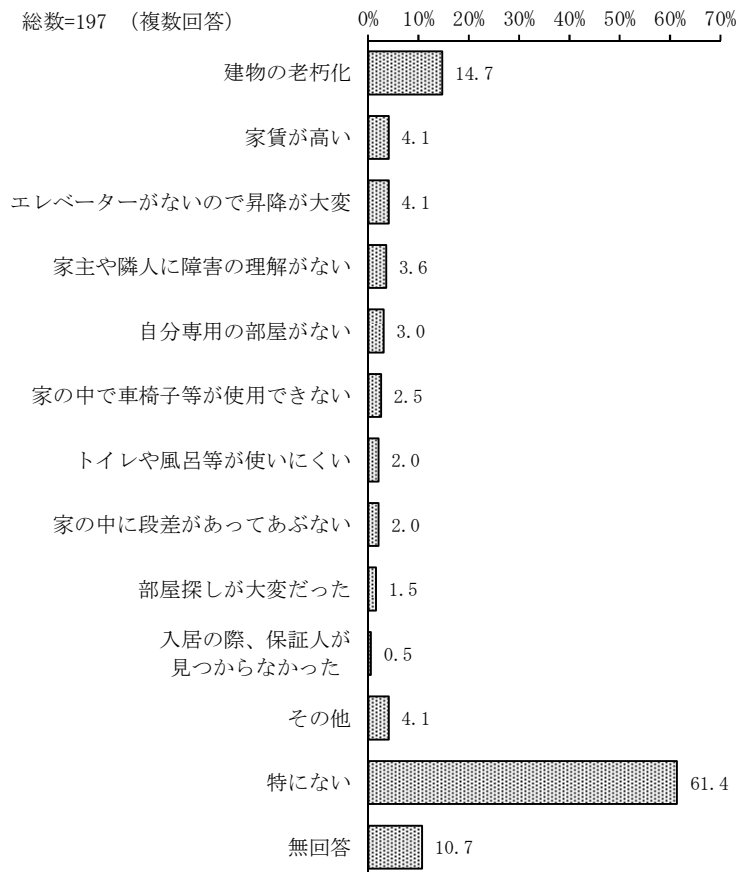
図表 2- 43 現在の住まい



問25 あなたが今のお住まいで困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「建物の老朽化」が14.7%で最も多く、「家賃が高い」、「エレベーターがないので昇降が大変」が4.1%、「家主や隣人に障害の理解がない」が3.6%で続きます。

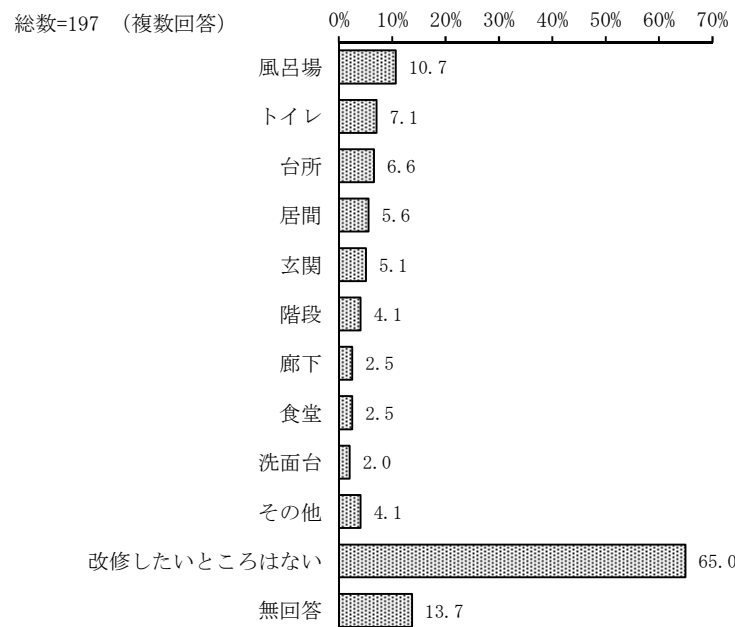
図表 2- 44 今の住まいで困っていること



問 25-1 あなたが今のお住まいで改修したいところは、どこですか。(あてはまるものすべてに○)

「風呂場」が10.7%で最も多く、「トイレ」が7.1%、「台所」が6.6%、「居間」が5.6%で続きます。

図表 2-45 今の住まいで改修したいところ

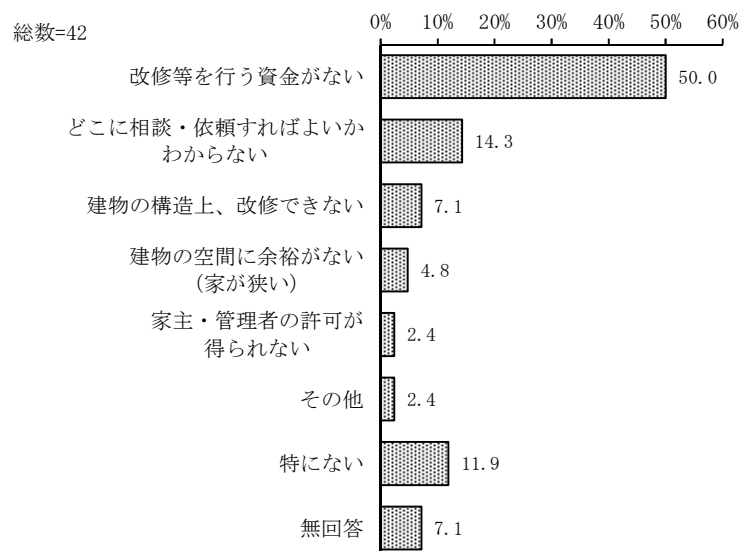


問 25-2 【問 25-1 で 1~10 を選んだ方にうかがいます。】あなたにとって、住宅の改修を考えたときに最も難しいのはどのようなことですか。(どれか1つに○)

※ 1. 玄関 2. 風呂場 3. トイレ 4. 台所 5. 洗面台 6. 廊下 7. 階段 8. 居間 9. 食堂 10. その他

「改修等を行う資金がない」が50.0%で最も多く、「どこに相談・依頼すればよいかわからない」が14.3%、「建物の構造上、改修できない」が7.1%で続きます。

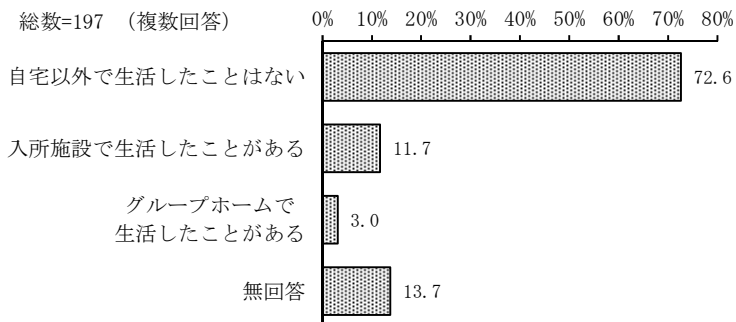
図表 2-46 住宅の改修を考えたときに最も難しいこと



問 26 あなたはこれまで、自宅以外の入所施設やグループホームで生活したことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

「自宅以外で生活したことはない」が72.6%、「入所施設で生活したことがある」が11.7%、「グループホームで生活したことがある」が3.0%となっています。

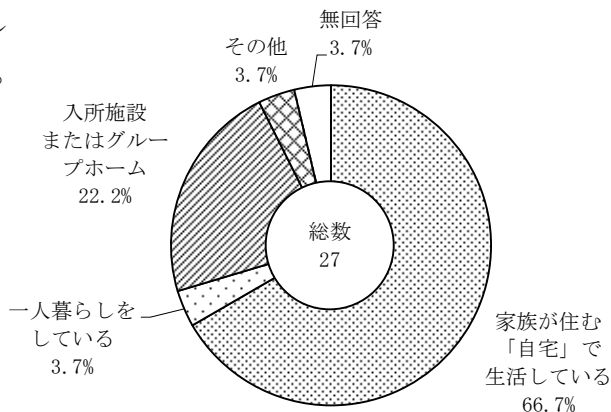
図表 2- 47 自宅以外で生活したこと



問 26-1 【自宅以外で生活した経験がある方にうかがいます。】あなたが現在生活している場所を以下からお選びください。(どれか1つに○)

「家族が住む「自宅」で生活している」が66.7%、「入所施設またはグループホーム」が22.2%、「一人暮らしをしている」が3.7%となっています。

図表 2- 48 現在生活している場所



問 26-2 【自宅以外で生活した経験がある方にうかがいます。】施設やグループホームから自宅や一人暮らしへの生活に移行した際に良かったことや困ったことは何ですか。

【良かったこと】

14 名が、回答しました。

〈主な意見〉

- ・一時入所だったので帰宅できホッとした。



- ・自分の好きな料理が作れる。
- ・門限がなくなった。

### 【困ったこと】

14名が、回答しました。

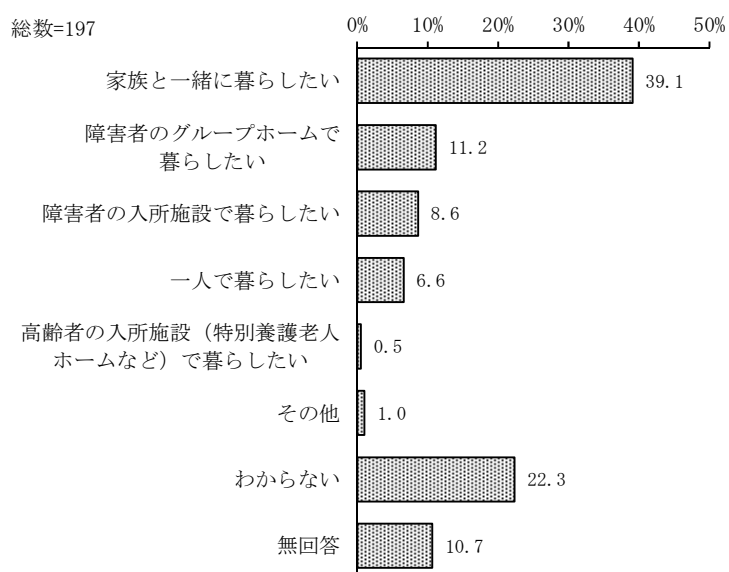
#### 〈主な意見〉

- ・父や弟とのトラブルが絶えない。
- ・将来が不安になってきました
- ・夜、さみしくなって泣いてしまった。

## 問27 あなたは、将来どのように暮らしたいですか。(どれか1つに○)

「家族と一緒に暮らしたい」が39.1%で最も多く、「障害者のグループホームで暮らしたい」が11.2%、「障害者の入所施設で暮らしたい」が8.6%、「一人で暮らしたい」が6.6%で続きます。

図表 2-49 将来希望する暮らし方

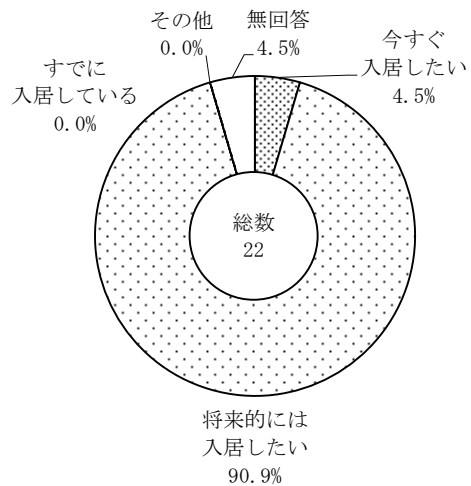


問27-1 【問27で4を選んだ方にうかがいます。】いつ頃障害者のグループホームに入居したいと考えていますか。(どれか1つに○)

※ 4. 障害者のグループホームで暮らしたい

「将来的には入居したい」が90.9%、「今すぐ入居したい」が4.5%となっています。

図表2-50  
障害者のグループホームへの入居を希望する時期



問27-2 【問27-1で1を選んだ方にうかがいます。】障害者のグループホームに今すぐ入居したいと考えているのに入居していない理由は何ですか。(どれか1つに○)

※ 1. 今すぐ入居したい

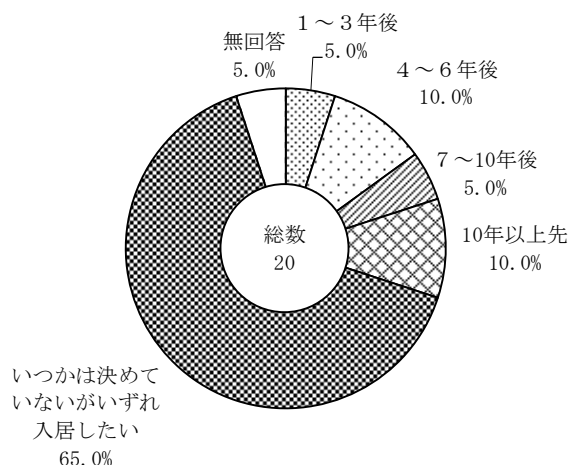
この設問には、回答者がありません。

問27-3 【問27-1で2を選んだ方にうかがいます。】障害者のグループホームに何年後くらいに入居したいと考えていますか。(どれか1つに○)

※ 2. 将来的には入居したい

「いつかは決めていないがいずれ入居したい」が65.0%、「4～6年後」、「10年以上先」が10.0%、「1～3年後」、「7～10年後」が5.0%となっています。

図表2-51  
障害者のグループホームに入居したい時期

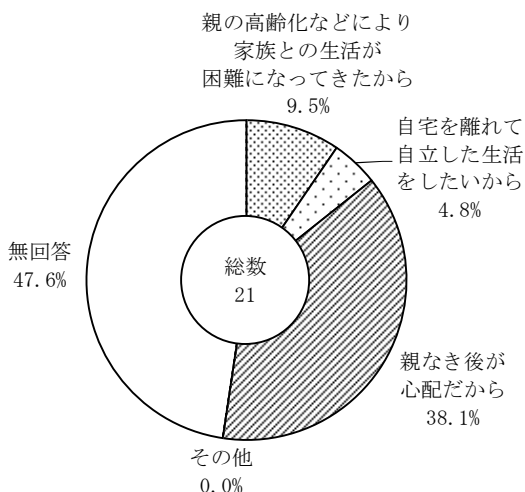


問 27-4 【問 27-1 で 1、2 を選んだ方にうかがいます。】 障害者のグループホームに入居したいと考えている理由は何ですか。（どれか1つに○）

※ 1. 今すぐ入居したい 2. 将来的には入居したい

「親なき後が心配だから」が 38.1%、  
「親の高齢化などにより家族との生活が困難になってきたから」が 9.5%、  
「自宅を離れて自立した生活をした  
いから」が 4.8%となっています。

図表 2- 52  
障害者のグループホームに入居したい理由

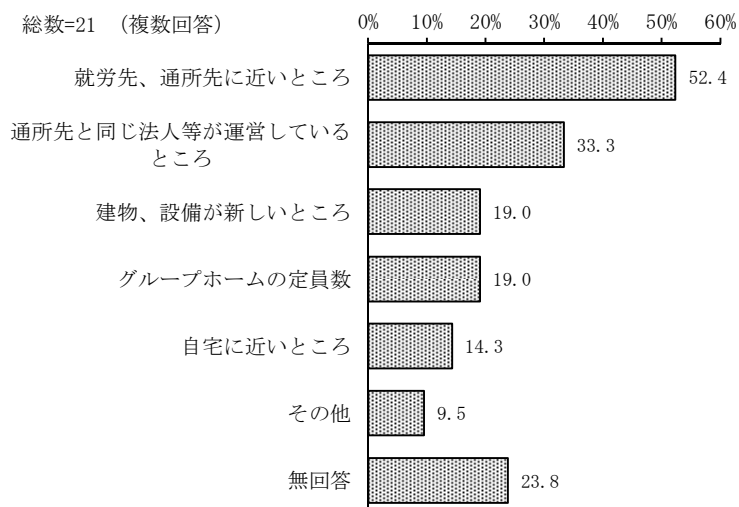


問 27-5 【問 27-1 で 1、2 を選んだ方にうかがいます。】 障害者のグループホームに入居するとしたら、どんな基準でグループホームを選びますか。（あてはまるものすべてに○）

※ 1. 今すぐ入居したい 2. 将来的には入居したい

「就労先、通所先に近い  
ところ」が 52.4%で最も多  
く、「通所先と同じ法人等  
が運営しているところ」が  
33.3%、「建物、設備が新  
しいところ」、「グループホ  
ームの定員数」が 19.0%で  
続きます。

図表 2- 53 障害者のグループホームを選ぶ基準



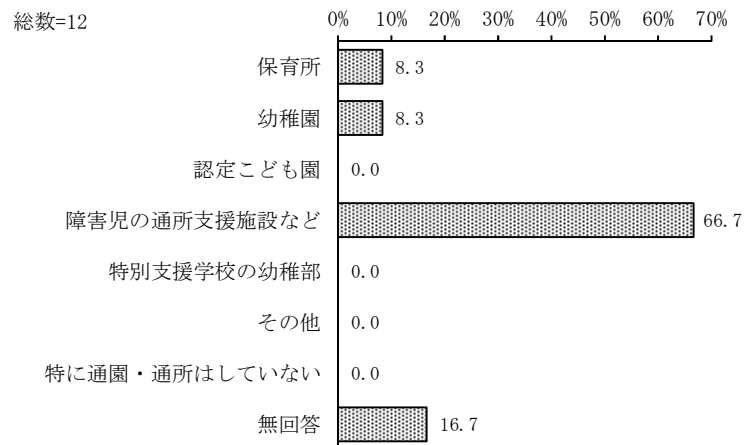
【7】保育・教育・療育についてうかがいます。

問28 現在、あなたが通園・通学しているところはどこですか。(どれか1つに○)

【A 就学前の方】

「障害児の通所支援施設など」が66.7%、「保育所」、「幼稚園」が8.3%となっています。

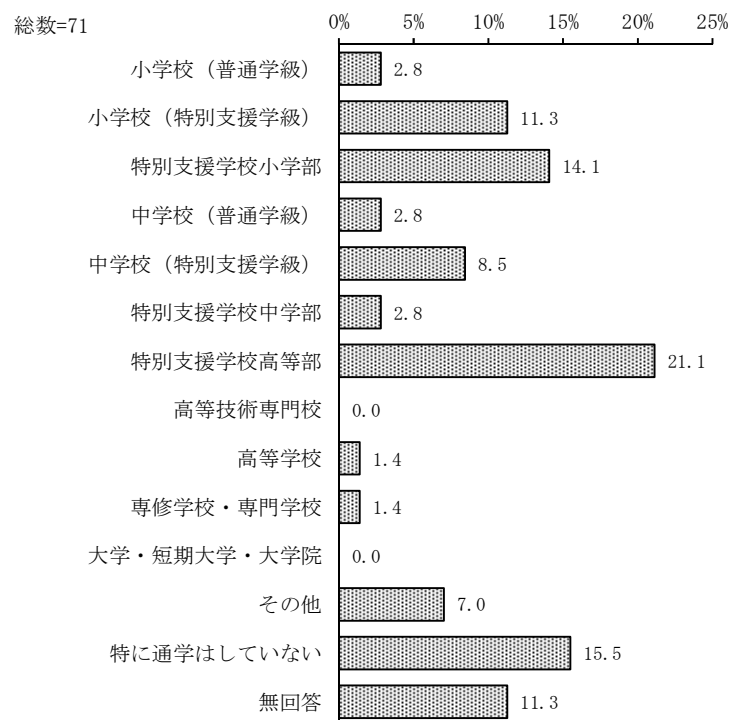
図表 2-54 通園・通所先【A 就学前の方】



【B 学齢期から25歳未満】

「特別支援学校高等部」が21.1%で最も多く、「特別支援学校小学部」が14.1%、「小学校（特別支援学級）」が11.3%、「中学校（特別支援学級）」が8.5%で続きます。

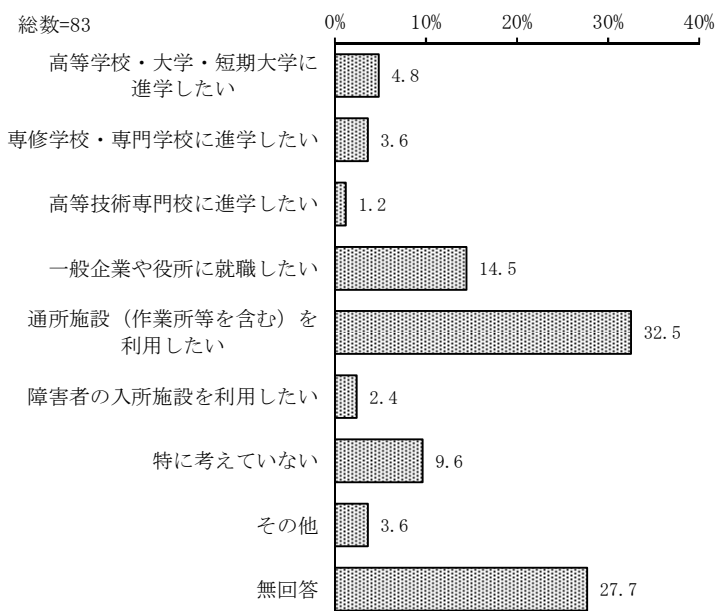
図表 2-55 通学先【B 学齢期から25歳未満】



問 29 あなたは、中学校・高等学校卒業後の進路について、どのように考えていますか。(どれか1つに○)

「通所施設（作業所等を含む）を利用したい」が32.5%で最も多く、「一般企業や役所に就職したい」が14.5%、「高等学校・大学・短期大学に進学したい」が4.8%、「専修学校・専門学校に進学したい」が3.6%で続きます。

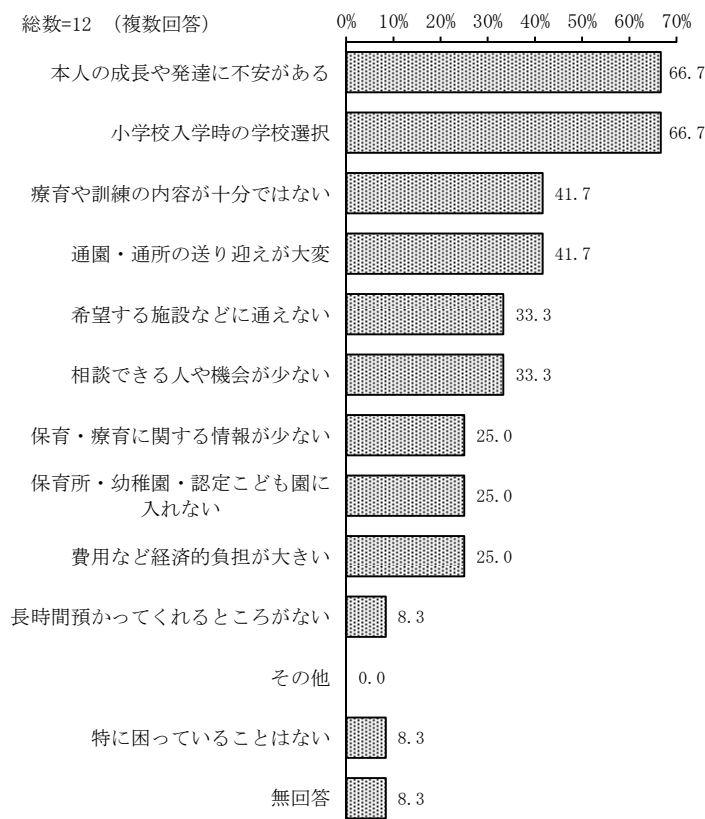
図表 2-56 中学校・高等学校卒業後の進路希望



問 30 【就学前の方の保護者にうかがいます。】お子さんの保育や療育について困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「本人の成長や発達に不安がある」、「小学校入学時の学校選択」が66.7%で最も多く、「療育や訓練の内容が十分ではない」、「通園・通所の送り迎えが大変」が41.7%で続きます。

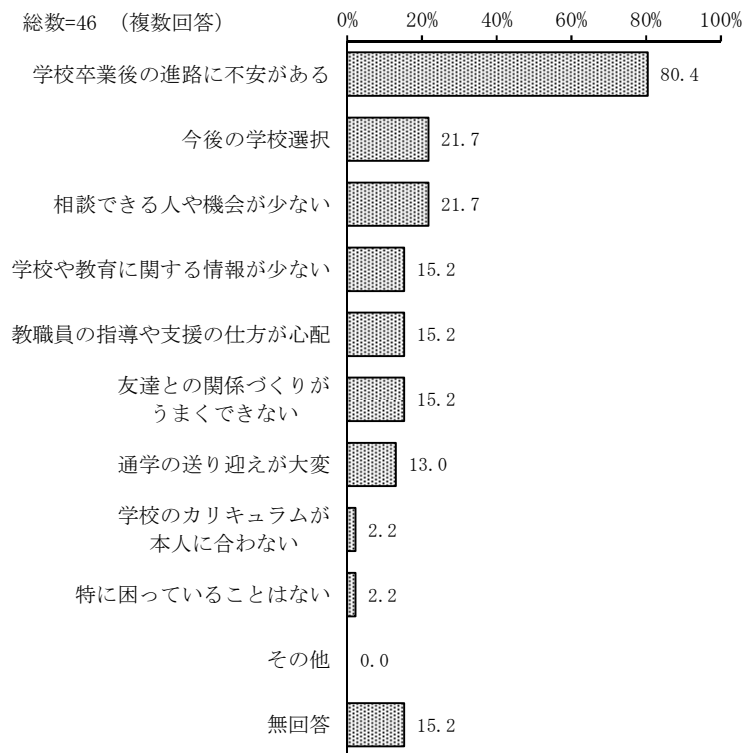
図表 2-57 保育や療育について困っていること



問31 【特別支援学校（幼稚部を除く）・小学校・中学校・高等学校在学中の方の保護者にうかがいます。】保護者の方が、学校や教育について困っていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「学校卒業後の進路に不安がある」が80.4%で最も多く、「今後の学校選択」、「相談できる人や機会が少ない」が21.7%、「学校や教育に関する情報が少ない」、「教職員の指導や支援の仕方が心配」、「友達との関係づくりがうまくできない」が15.2%で続きます。

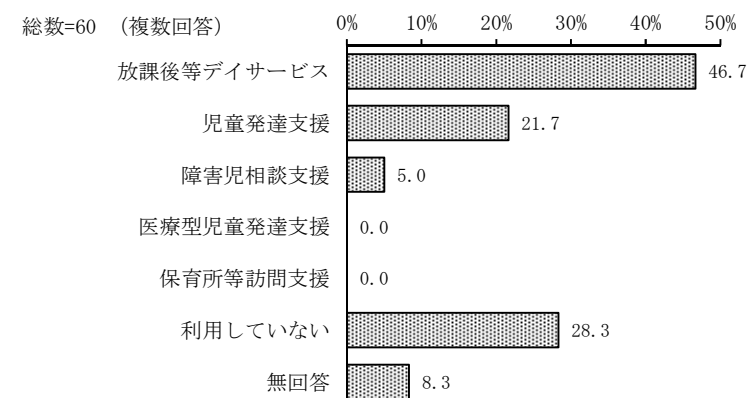
図表 2-58 学校や教育について困っていること



問32 【18歳未満の方にうかがいます。】あなたは、障害のある児童のための次のようなサービスを利用していますか。（あてはまるものすべてに○）

「放課後等デイサービス」が46.7%、「児童発達支援」が21.7%、「障害児相談支援」が5.0%、「利用していない」が28.3%となっています。

図表 2-59 障害のある児童のためのサービスの利用状況

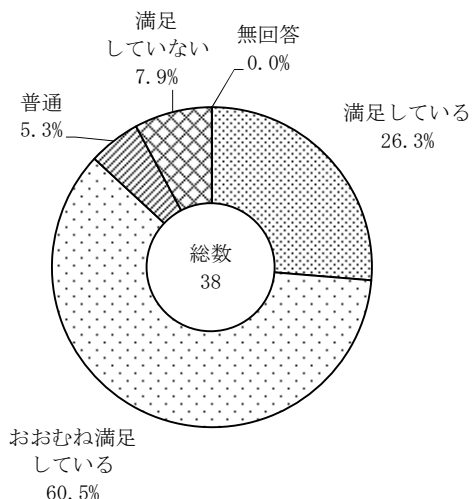


問32-1 【問32で1～5を選んだ方にうかがいます。】あなたは、利用しているサービスに満足していますか。（どれか1つに○）

- ※ 1. 児童発達支援 2. 医療型児童発達支援 3. 放課後等デイサービス 4. 保育所等訪問支援  
5. 障害児相談支援

「おおむね満足している」が60.5%、「満足している」が26.3%、「満足していない」が7.9%、「普通」が5.3%となっています。

図表2-60 利用しているサービスの満足度



問32-2 【問32-1で4を選んだ方にうかがいます。】あなたが満足していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- ※ 4. 満足していない

この設問の回答者は3名で、「サービスの内容が雑であったり、ニーズに合っていない」が2名、「サービスの1回当たりの時間が少ない」、「サービスを利用したい日時の調整が大変」、「サービスを提供する人の態度がよくない」、「サービス利用に対する自己負担が大きい」が1名となっています。

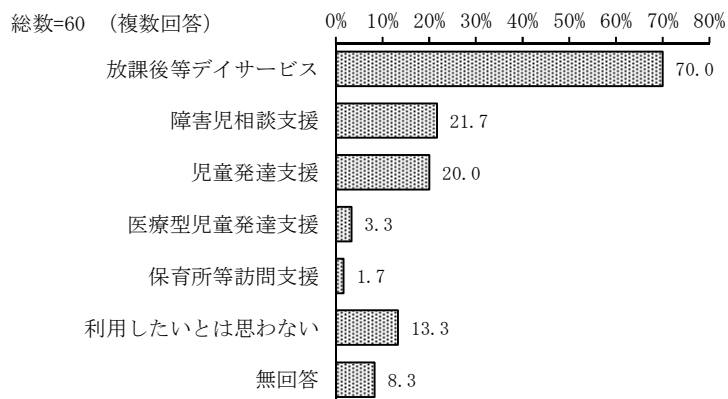
図表2-61 サービスに満足していない理由

項目名【複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	3	100.0
サービスの制度がわかりにくい	-	-
サービスの利用の手続きが面倒	-	-
サービスの回数や日数が少ない	-	-
サービスの1回当たりの時間が少ない	1	33.3
サービスを利用したい日時の調整が大変	1	33.3
サービスの内容が雑であったり、ニーズに合っていない	2	66.7
サービスを提供する人の態度がよくない	1	33.3
サービス利用に対する自己負担が大きい	1	33.3
その他	-	-
無回答	-	-

問33 【18歳未満の方にうかがいます。】今後、あなたは障害のある児童のための次のサービスを利用したいと思いますか。現在利用している方もお答えください。（あてはまるものすべてに○）

「放課後等デイサービス」が70.0%で最も多く、「障害児相談支援」が21.7%、「児童発達支援」が20.0%で続きます。

図表 2- 62 障害のある児童のためのサービスの利用意向

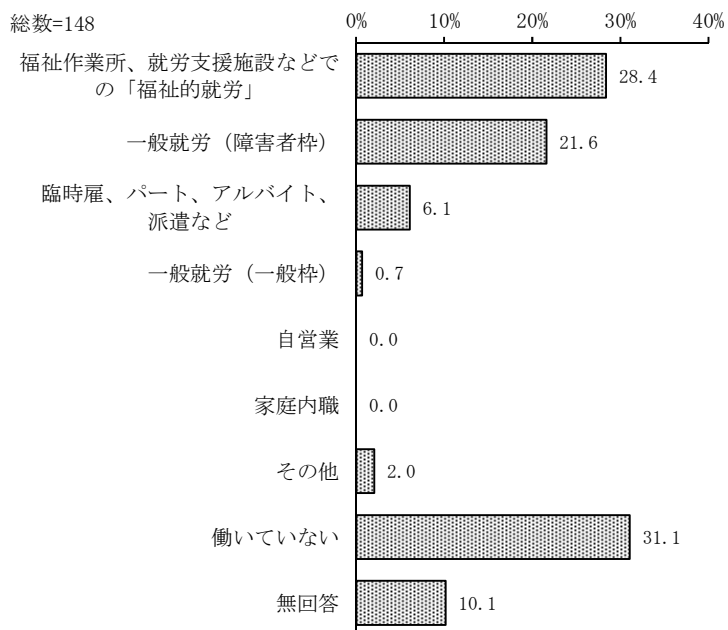


【8】仕事についてうかがいます。

問34 あなたは、現在働いて（収入のある仕事に就いて）いますか。（どれか1つに○）

「福祉作業所、就労支援施設などでの「福祉的就労」が28.4%で最も多く、「一般就労（障害者枠）」が21.6%、「臨時雇、パート、アルバイト、派遣など」が6.1%で続きます。

図表 2- 63 就労の有無と種類





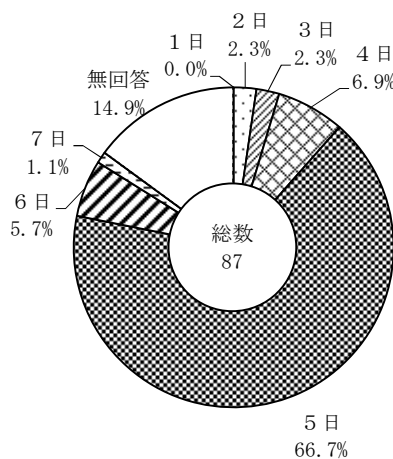
問34-1 【問34で1~7を選んだ方にうかがいます。】あなたは、週に何日間・合計何時間程度働いていますか。( )内に数字を記入してください。

- ※ 1. 一般就労（一般枠） 2. 一般就労（障害者枠） 3. 臨時雇、パート、アルバイト、派遣など  
4. 自営業 5. 家庭内職 6. 福祉作業所、就労支援施設などでの「福祉的就労」 7. その他

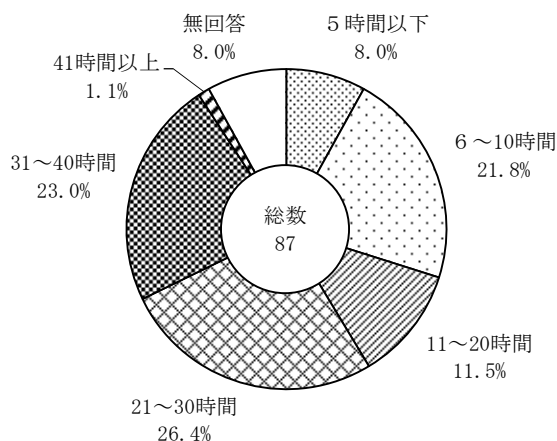
1週間あたりの勤務日数は「5日」が66.7%で最も多く、「4日」が6.9%、「6日」が5.7%、「2日」、「3日」が2.3%で続きます。

1週間あたりの勤務時間は「21~30時間」が26.4%で最も多く、「31~40時間」が23.0%、「6~10時間」が21.8%で続きます。

図表 2-64 1週間に働く日数



図表 2-65 1週間に働く時間の合計

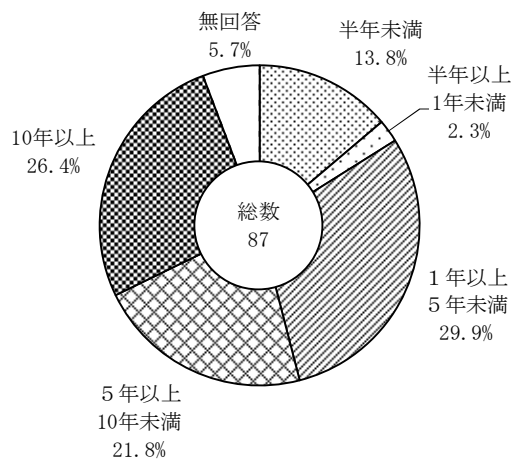


問34-2 【問34で1~7を選んだ方にうかがいます。】あなたは、今の仕事をどれくらいの期間続けていますか。(どれか1つに○)

- ※ 1. 一般就労（一般枠） 2. 一般就労（障害者枠） 3. 臨時雇、パート、アルバイト、派遣など  
4. 自営業 5. 家庭内職 6. 福祉作業所、就労支援施設などでの「福祉的就労」 7. その他

「1年以上5年未満」が29.9%、「10年以上」が26.4%、「5年以上10年未満」が21.8%、「半年未満」が13.8%、「半年以上1年未満」が2.3%となっています。

図表 2-66 今の仕事を続けている期間

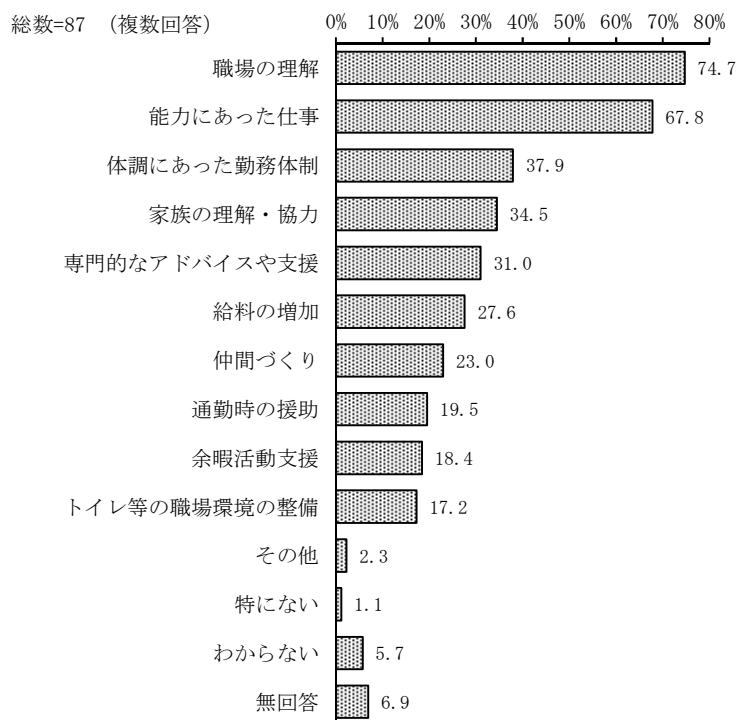


問34-3 【問34で1~7を選んだ方にうかがいます。】長期的に働くためにはどのようなことが必要だと考えますか。(あてはまるものにすべてに○)

- ※ 1. 一般就労（一般枠） 2. 一般就労（障害者枠） 3. 臨時雇、パート、アルバイト、派遣など  
4. 自営業 5. 家庭内職 6. 福祉作業所、就労支援施設などでの「福祉的就労」 7. その他

「職場の理解」が74.7%で最も多く、「能力にあった仕事」が67.8%、「体調にあった勤務体制」が37.9%、「家族の理解・協力」が34.5%で続きます。

図表 2-67 長期的に働くために必要なこと

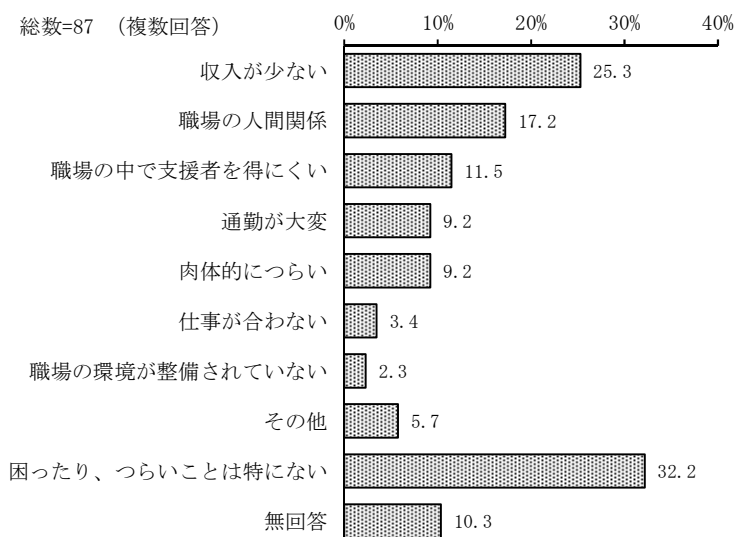


問34-4 【問34で1~7を選んだ方にうかがいます。】あなたが仕事をする上で、困ることや、つらいことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- ※ 1. 一般就労（一般枠） 2. 一般就労（障害者枠） 3. 臨時雇、パート、アルバイト、派遣など  
4. 自営業 5. 家庭内職 6. 福祉作業所、就労支援施設などでの「福祉的就労」 7. その他

「収入が少ない」が25.3%で最も多く、「職場の人間関係」が17.2%、「職場の中で支援者を得にくい」が11.5%、「通勤が大変」、「肉体的につらい」が9.2%で続きます。

図表 2-68 仕事で困ることや、つらいこと

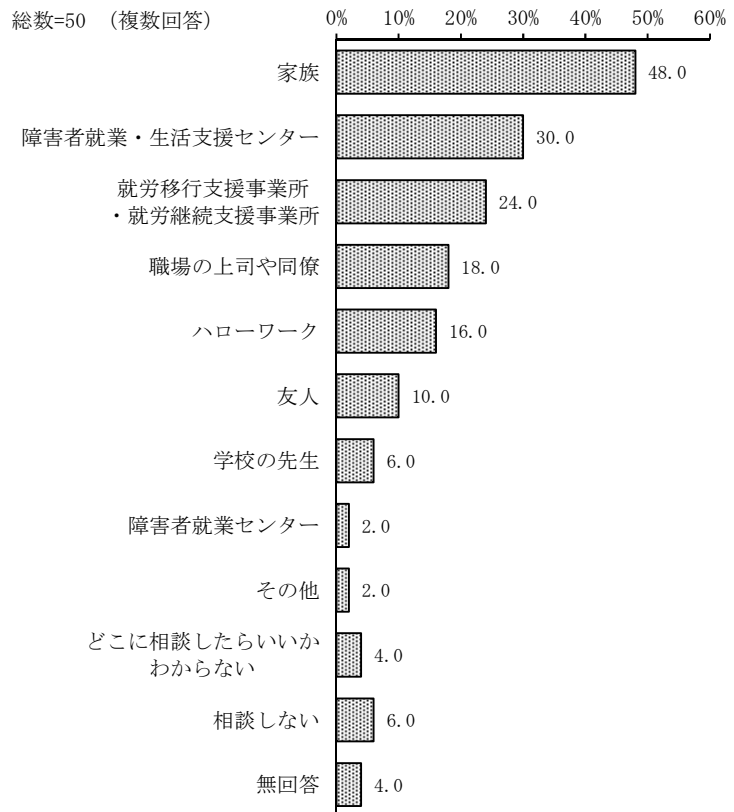


問 34-5 【問 34-4 で 1~8 を選んだ方にうかがいます。】あなたは仕事に関することをどこに相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

- ※ 1. 通勤が大変 2. 収入が少ない 3. 肉体的につらい 4. 仕事が合わない 5. 職場の人間関係  
6. 職場の環境が整備されていない 7. 職場の中で支援者を得にくい 8. その他

「家族」が48.0%で最も多く、「障害者就業・生活支援センター」が30.0%、「就労移行支援事業所・就労継続支援事業所」が24.0%で続きます。

図表 2- 69 仕事に関することの相談先



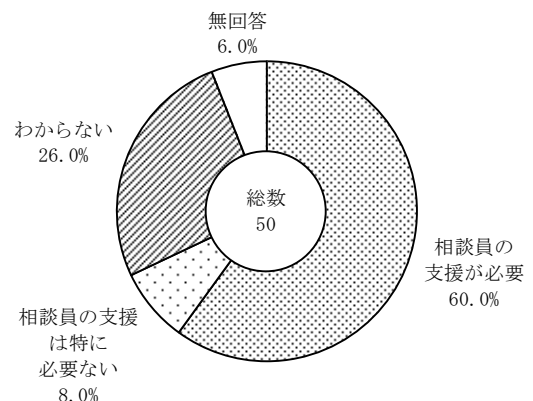
問 34-6 【問 34-4 で 1~8 を選んだ方にうかがいます。】就労について、軌道にのるまで相談員の支援が必要だと思いますか。(どれか1つに○)

- ※ 1. 通勤が大変 2. 収入が少ない 3. 肉体的につらい 4. 仕事が合わない 5. 職場の人間関係  
6. 職場の環境が整備されていない 7. 職場の中で支援者を得にくい 8. その他

「相談員の支援が必要」が60.0%、「わからない」が26.0%、「相談員の支援は特に必要ない」が8.0%となっています。

図表 2- 70

就労が軌道にのるまで相談員の支援が必要だと思いますか

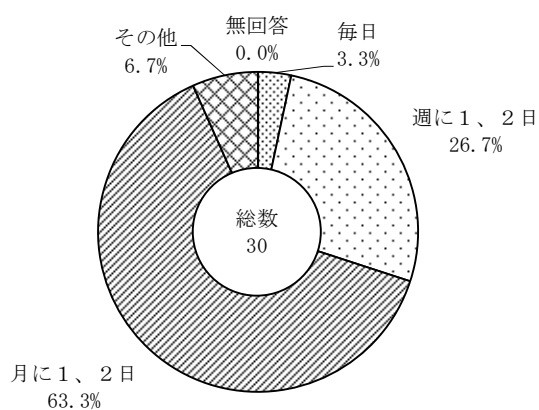


問34-7 【問34-6で1を選んだ方にうかがいます。】就労について軌道にのるまで相談員の支援が必要な場合に、どのくらいの頻度で訪問してほしいと思いますか。(どれか1つに○)

※ 1. 相談員の支援が必要

「月に1、2日」が63.3%、「週に1、2日」が26.7%、「その他」が6.7%、「毎日」が3.3%となっています。

図表2-71 相談員の訪問頻度

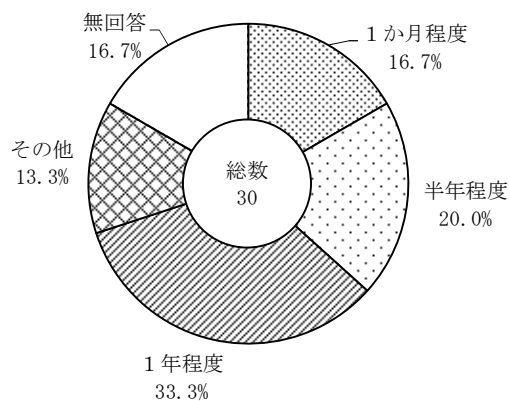


問34-8 【問34-6で1を選んだ方にうかがいます。】就労について軌道にのるまで相談員の支援が必要な場合に、どのくらいの期間、支援してほしいと思いますか。(どれか1つに○)

※ 1. 相談員の支援が必要

「1年程度」が33.3%、「半年程度」が20.0%、「1か月程度」が16.7%、「その他」が13.3%となっています。

図表2-72 相談員の支援期間

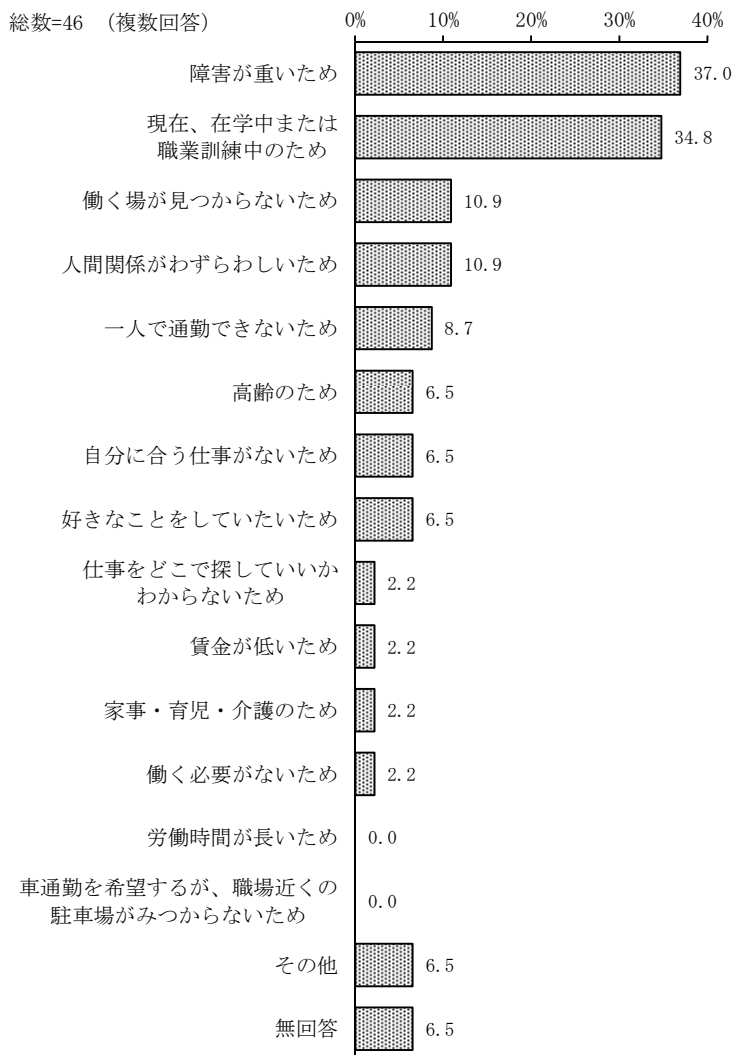


問34-9 【問34で8を選んだ方にうかがいます。】あなたが仕事に就いていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

※ 8. 働いていない

「障害が重いため」が37.0%で最も多く、「現在、在学中または職業訓練中のため」が34.8%、「働く場が見つからないため」、「人間関係がわずらわしいため」が10.9%で続きます。

図表 2-73 就労していない理由

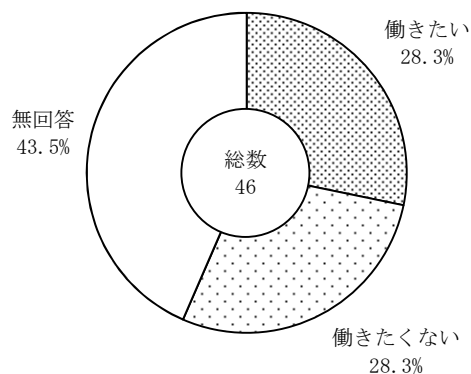


問 34-10 【問 34 で 8 を選んだ方にうかがいます。】あなたは今後、良い条件が整っているところがあれば、働きたいと思いますか。(どれか1つに○)

※ 8. 働いていない

「働きたい」、「働きたくない」が、28.3%となっています

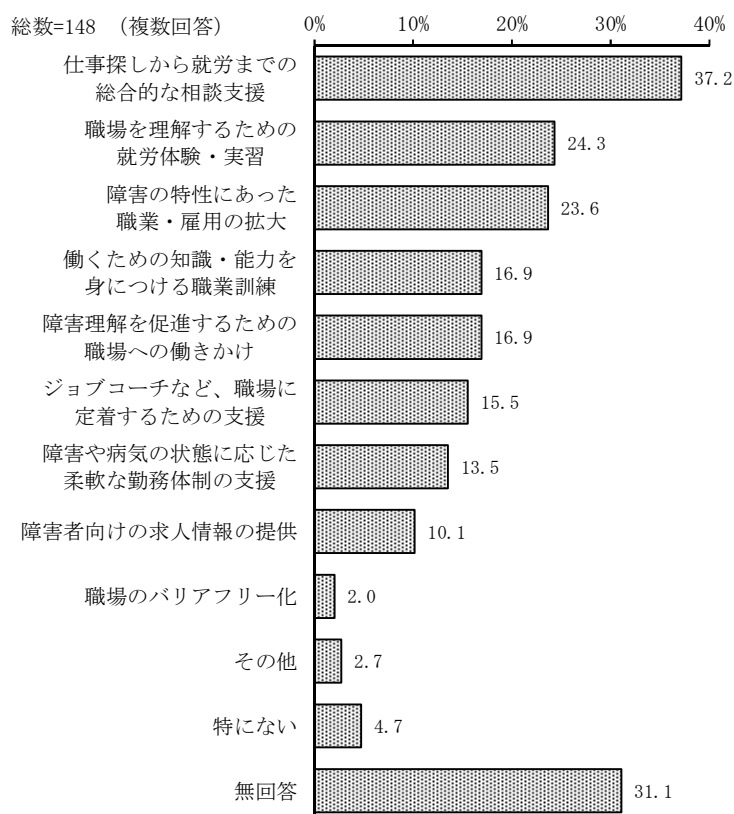
図表 2-74 今後の就労意向



問 35 あなたは、障害のある人が、企業などで一般就労するためには、どのような支援が必要だと思いますか。(主なもの3つまでに○)

「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」が37.2%で最も多く、「職場を理解するための就労体験・実習」が24.3%、「障害の特性にあった職業・雇用の拡大」が23.6%で続きます。

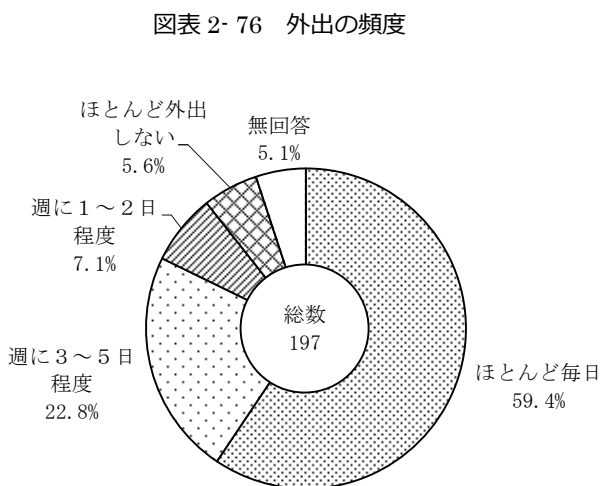
図表 2-75 障害者の一般就労のために必要な支援



【9】外出・バリアフリーについてうかがいます。

問 36 ふだん、あなたは週に何日くらい外出しますか。(どれか1つに○)

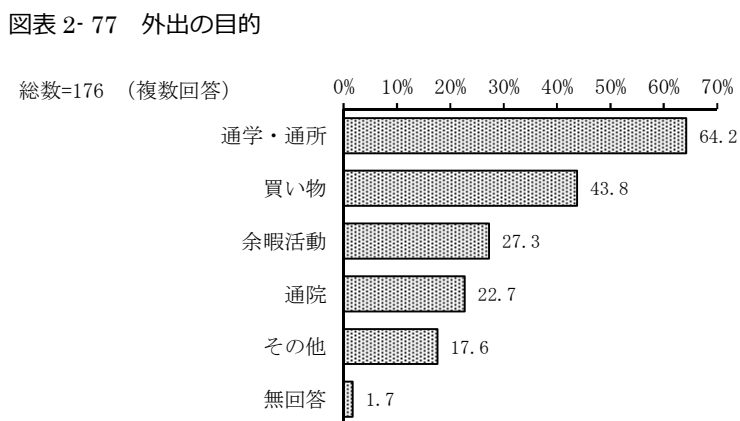
「ほとんど毎日」が 59.4%で最も多く、「週に3～5日程度」が 22.8%、「週に1～2日程度」が 7.1%、「ほとんど外出しない」が 5.6%となっています。



問 36-1 【問 36 で 1～3 を選んだ方にうかがいます。】外出の目的は、何ですか。(あてはまるものすべてに○)

※ 1. ほとんど毎日 2. 週に3～5日程度 3. 週に1～2日程度

「通学・通所」が 64.2%で最も多く、「買い物」が 43.8%、「余暇活動」が 27.3%、「通院」が 22.7%で続きます。



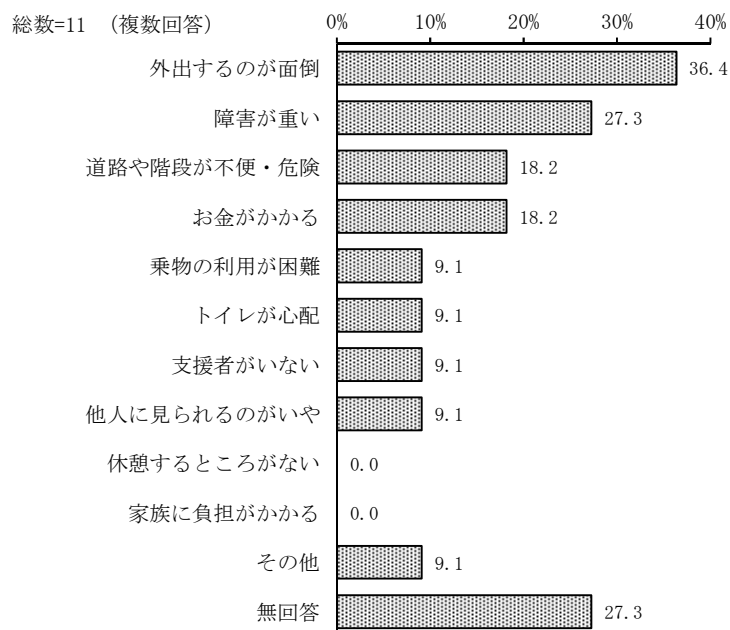


問36-2 【問36で4を選んだ方にうかがいます。】外出しない理由は、何ですか。（あてはまるものすべてに○）

※ 4. ほとんど外出しない

「外出するのが面倒」が36.4%で最も多く、「障害が重い」が27.3%、「道路や階段が不便・危険」、「お金がかかる」が18.2%で続きます。

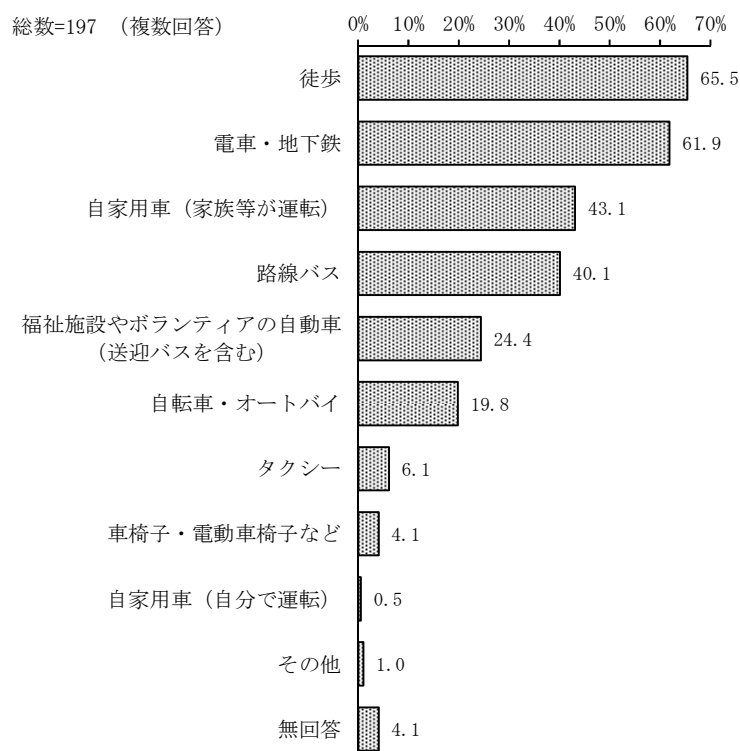
図表2-78 外出しない理由



問37 あなたが外出するときは、どのような交通手段を利用しますか。（あてはまるものすべてに○）

「徒歩」が65.5%で最も多く、「電車・地下鉄」が61.9%、「自家用車（家族等が運転）」が43.1%、「路線バス」が40.1%で続きます。

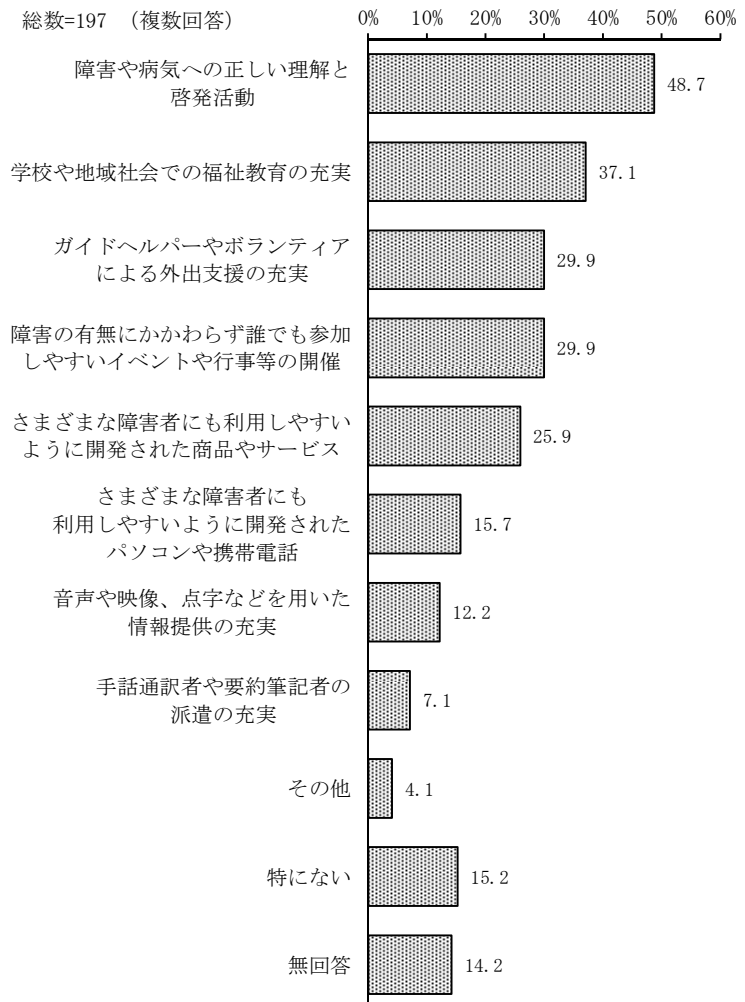
図表2-79 外出時に利用する交通手段



問 38 交通機関やまちのバリアフリー化だけでなく、制度や意識の面も含めた「社会全体のバリアフリー化」を進めるために、あなたが重要だと思うものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「障害や病気への正しい理解と啓発活動」が48.7%で最も多く、「学校や地域社会での福祉教育の充実」が37.1%、「ガイドヘルパーやボランティアによる外出支援の充実」、「障害の有無にかかわらず誰でも参加しやすいイベントや行事等の開催」が29.9%で続きます。

図表 2- 80 「社会全体のバリアフリー化」を進めるため重要なこと

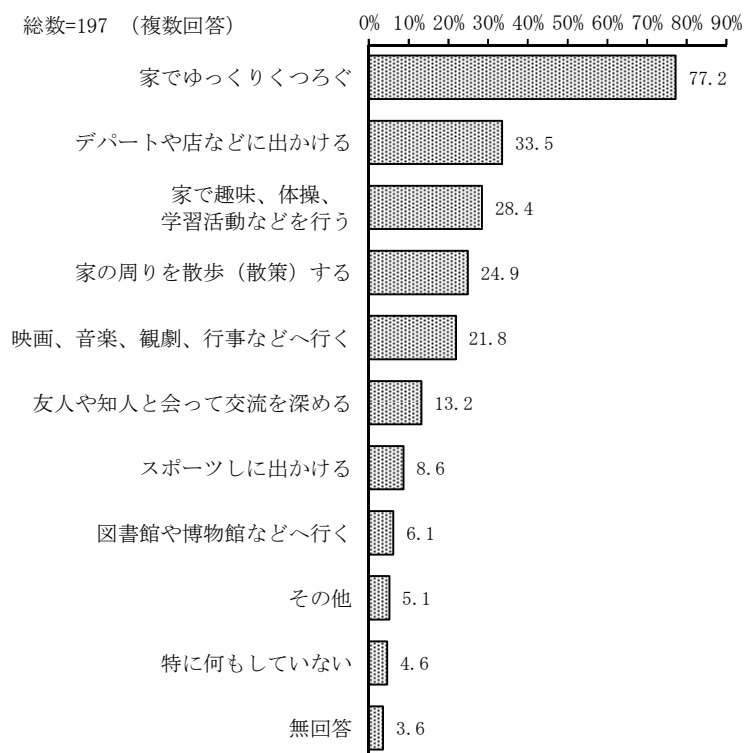


## 【10】余暇活動についてうかがいます。

問 39 あなたは、時間に余裕があるときにどのようなことをしていますか。(あてはまるものすべてに○)

「家でゆっくりくつろぐ」が77.2%で最も多く、「デパートや店などに出かける」が33.5%、「家で趣味、体操、学習活動などを行う」が28.4%、「家の周りを散歩(散策)する」が24.9%で続きます。

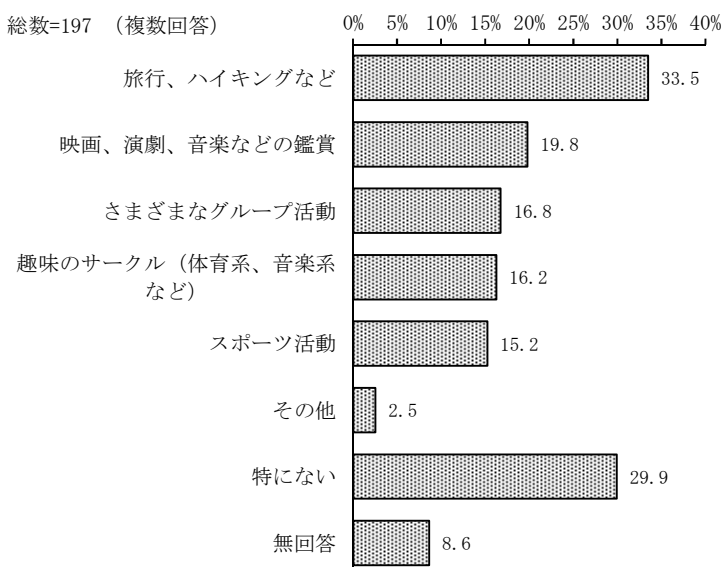
図表 2- 81 余暇時間にしていること



問 40 あなたは現在の生活をより豊かにするために、どのような活動に参加したいと思っていますか。(あてはまるものすべてに○)

「旅行、ハイキングなど」が33.5%で最も多く、「映画、演劇、音楽などの鑑賞」が19.8%、「さまざまなグループ活動」が16.8%、「趣味のサークル(体育系、音楽系など)」が16.2%で続きます。

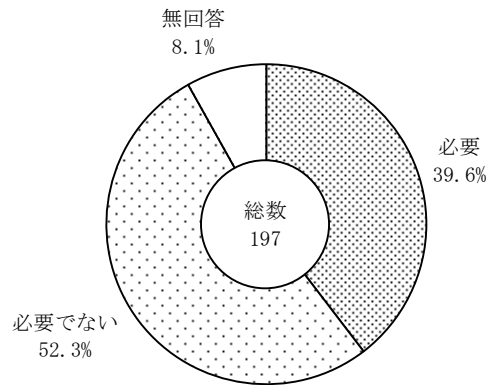
図表 2- 82 今後参加したい活動



問 41 余暇活動の際にあなたはヘルパーによる移動の支援が必要ですか。(どれか1つに○)

「必要」が 39.6%、「必要でない」が 52.3%となっています。

図表 2- 83  
余暇活動にヘルパーによる移動の支援が必要ですか

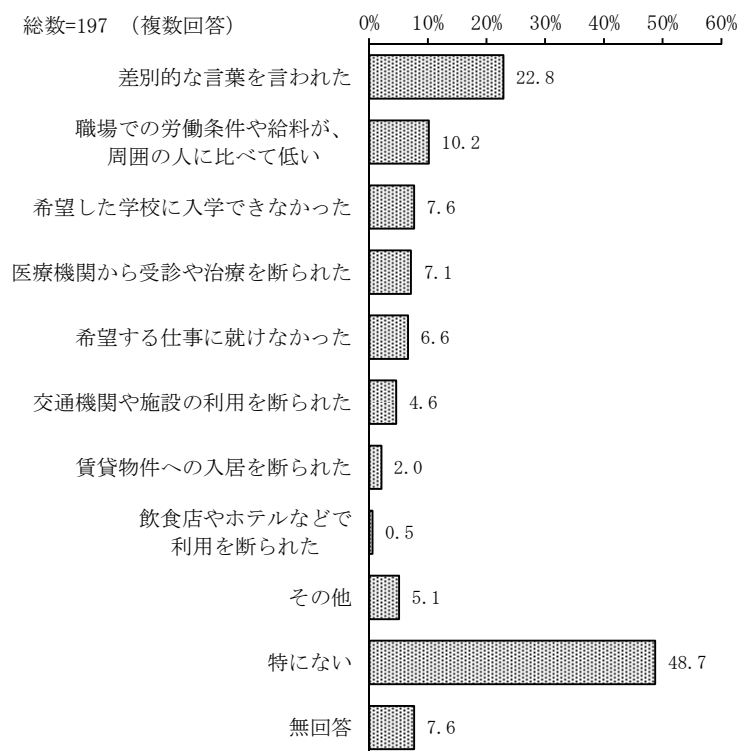


【11】権利擁護についてうかがいます。

問 42 あなたは、障害があるというだけで、差別的な扱いを受けた経験がありますか。(あてはまるものすべてに○)

「差別的な言葉を言われた」が 22.8%で最も多く、「職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて低い」が 10.2%、「希望した学校に入学できなかった」が 7.6%、「医療機関から受診や治療を断られた」が 7.1%で続きます。

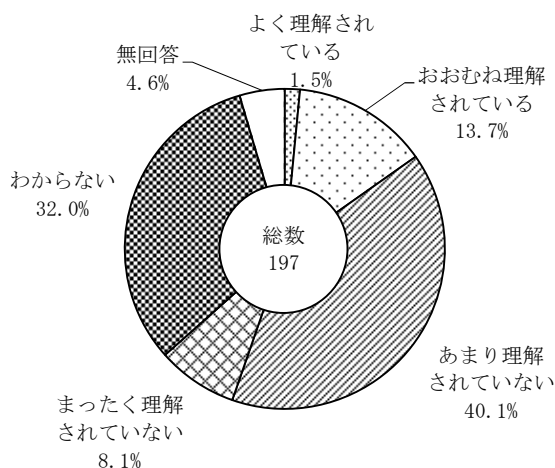
図表 2- 84 障害による差別を受けた経験



問 43 あなたは、障害のある人に対する市民の理解がどの程度あると感じますか。(どれか1つに○)

「あまり理解されていない」が40.1%、「わからない」が32.0%、「おおむね理解されている」が13.7%、「まったく理解されていない」が8.1%、「よく理解されている」が1.5%となっています。

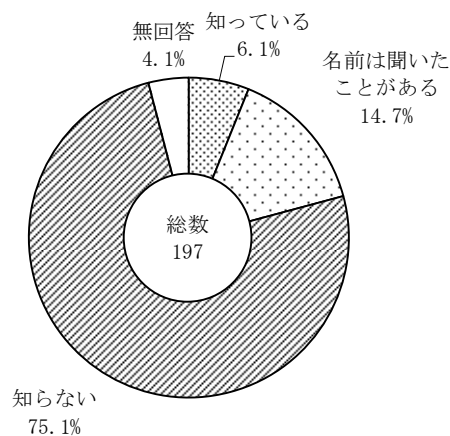
図表 2- 85 障害のある人に対する市民の理解の程度



問 44 あなたは、「船橋市障害者虐待防止センター（通称：はーぶ）」を知っていますか。(どれか1つに○)

「知らない」が75.1%、「名前は聞いたことがある」が14.7%、「知っている」が6.1%となっています。

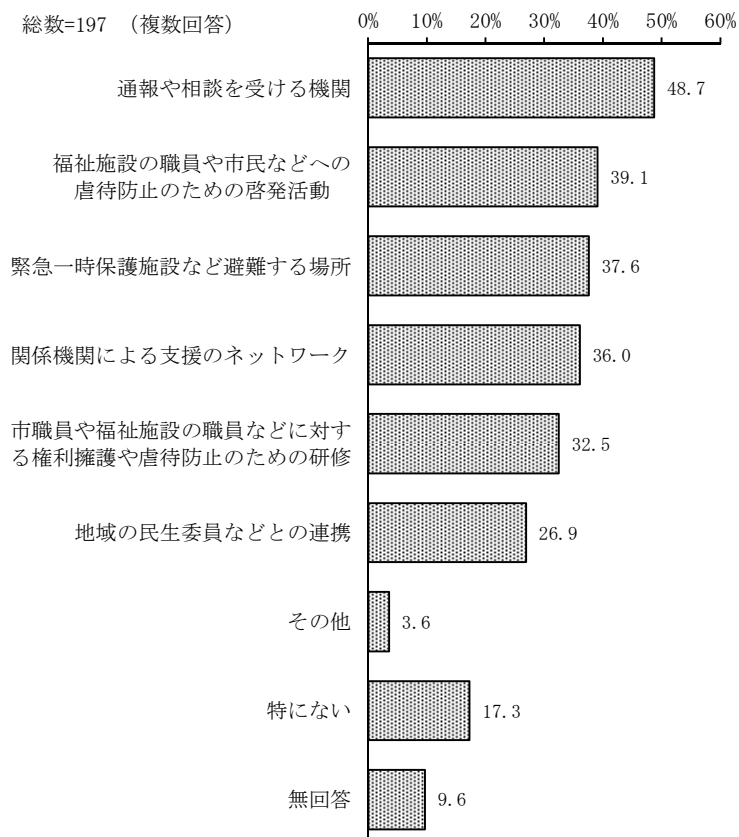
図表 2- 86 船橋市障害者虐待防止センターの認知状況



問 45 障害者虐待の防止のために、あなたは、市がどのような制度や体制を整備する必要があると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「通報や相談を受ける機関」が48.7%で最も多く、「福祉施設の職員や市民などへの虐待防止のための啓発活動」が39.1%、「緊急一時保護施設など避難する場所」が37.6%、「関係機関による支援のネットワーク」が36.0%で続きます。

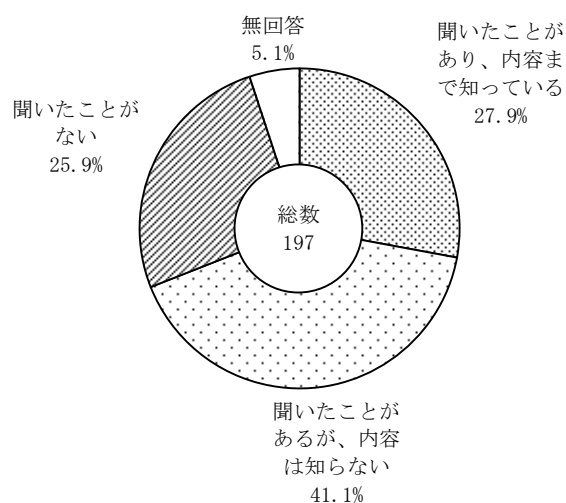
図表 2- 87 障害者虐待の防止のために市が整備すべき制度や体制



## 問 46 あなたは、成年後見制度を知っていますか。(どれか1つに○)

「聞いたことがあるが、内容は知らない」が41.1%、「聞いたことがあり、内容まで知っている」が27.9%、「聞いたことがない」が25.9%となっています。

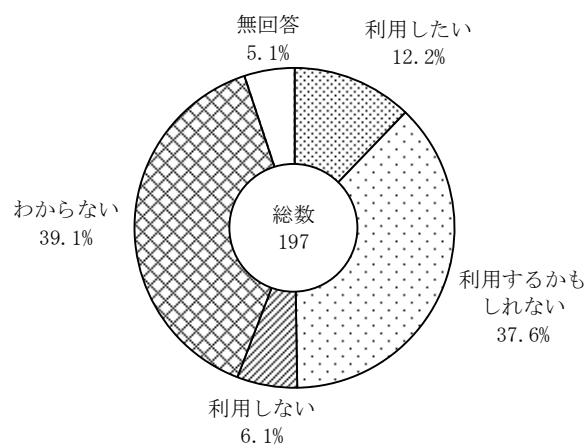
図表 2- 88 成年後見制度の認知状況



## 問 47 成年後見制度の利用についてどう考えますか。(どれか1つに○)

「わからない」が39.1%、「利用するかもしれない」が37.6%、「利用したい」が12.2%、「利用しない」が6.1%となっています。

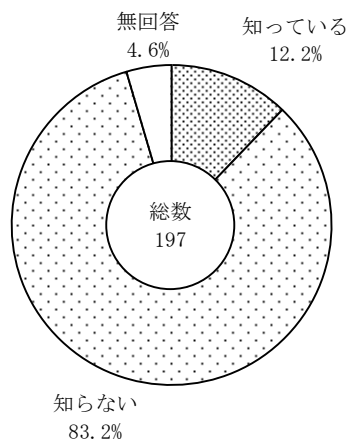
図表 2- 89 成年後見制度の利用意向



問 48 船橋市障害者成年後見支援センターを知っていますか。(どれか1つに○)

「知っている」が12.2%、「知らない」が83.2%となっています。

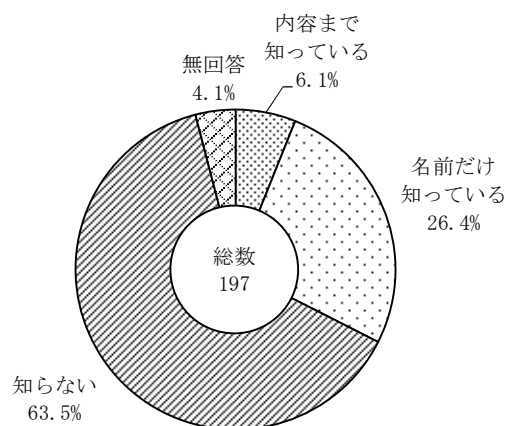
図表 2-90 船橋市障害者成年後見支援センターの認知状況



問 49 障害のある人への差別をなくすことを目的とした、「障害者差別解消法（正式名称は「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律）」が平成28年4月1日施行されましたが、このことを知っていますか。(どれか1つに○)

「知らない」が63.5%、「名前だけ知っている」が26.4%、「内容まで知っている」が6.1%となっています。

図表 2-91 障害者差別解消法の認知状況

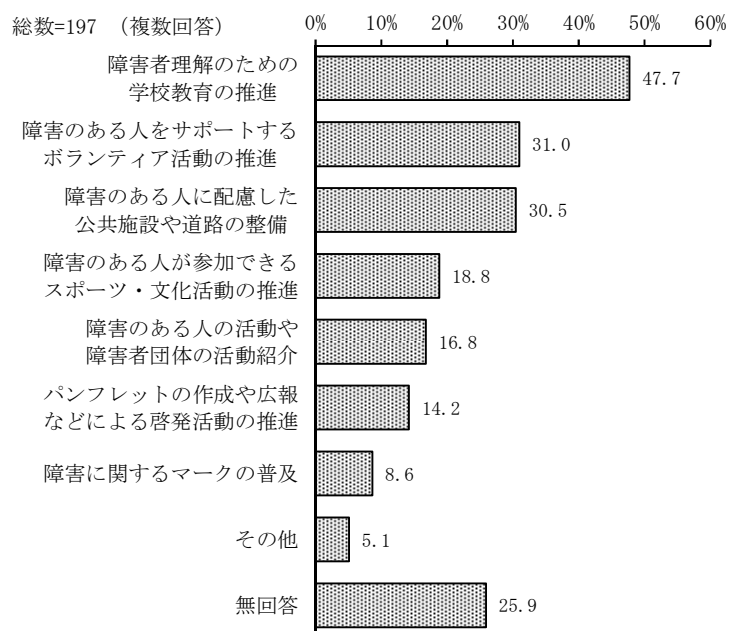




問 50 あなたは、障害者に対する理解を深めるために、どのようなことが大切だと考えますか。(あてはまるもの3つまで○)

「障害者理解のための学校教育の推進」が47.7%で最も多く、「障害のある人をサポートするボランティア活動の推進」が31.0%、「障害のある人に配慮した公共施設や道路の整備」が30.5%で続きます。

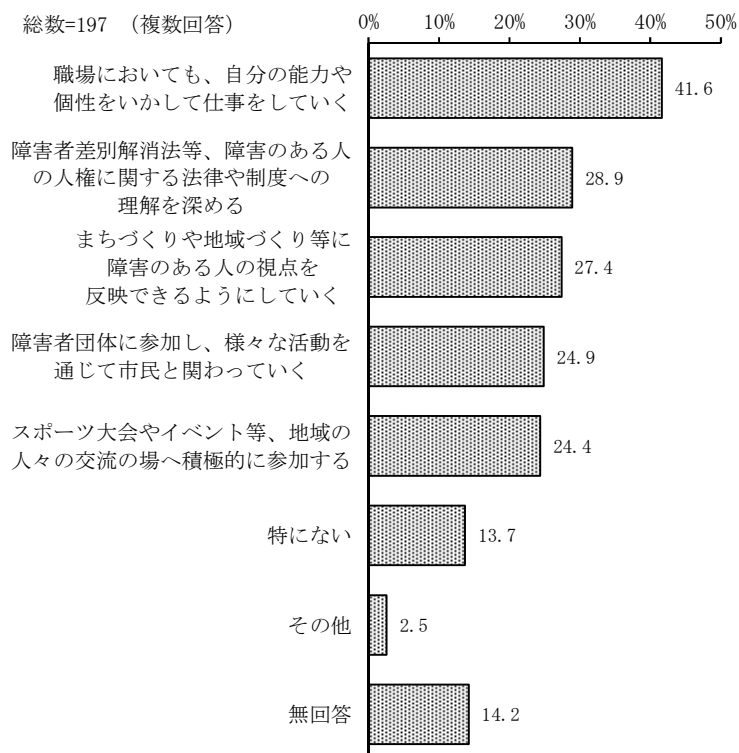
図表 2- 92 障害者への理解を深めるために大切なこと



問51 あなたは、障害のある人に対する理解を深めるために、障害者自身がどのような取り組みをしていく必要があると考えますか。(あてはまるもの3つまで○)

「職場においても、自分の能力や個性をいかして仕事をしていく」が41.6%で最も多く、「障害者差別解消法等、障害のある人の人権に関する法律や制度への理解を深める」が28.9%、「まちづくりや地域づくり等に障害のある人の視点を反映できるようにしていく」が27.4%で続きます。

図表 2- 93 障害者自身が行う必要のある取り組み

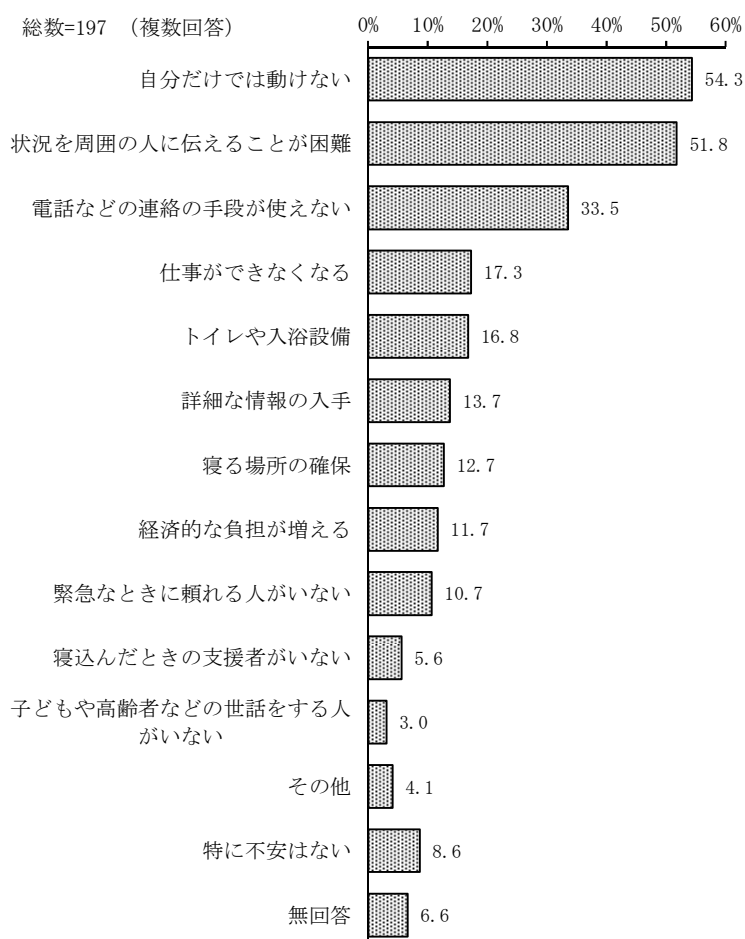


## 【12】災害時など緊急の時の対応についてうかがいます。

問 52 もし、あなたが緊急な病状になったことを考えると、特に不安に感じることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「自分だけでは動けない」が54.3%で最も多く、「状況を周囲の人に伝えることが困難」が51.8%、「電話などの連絡の手段が使えない」が33.5%で続きます。

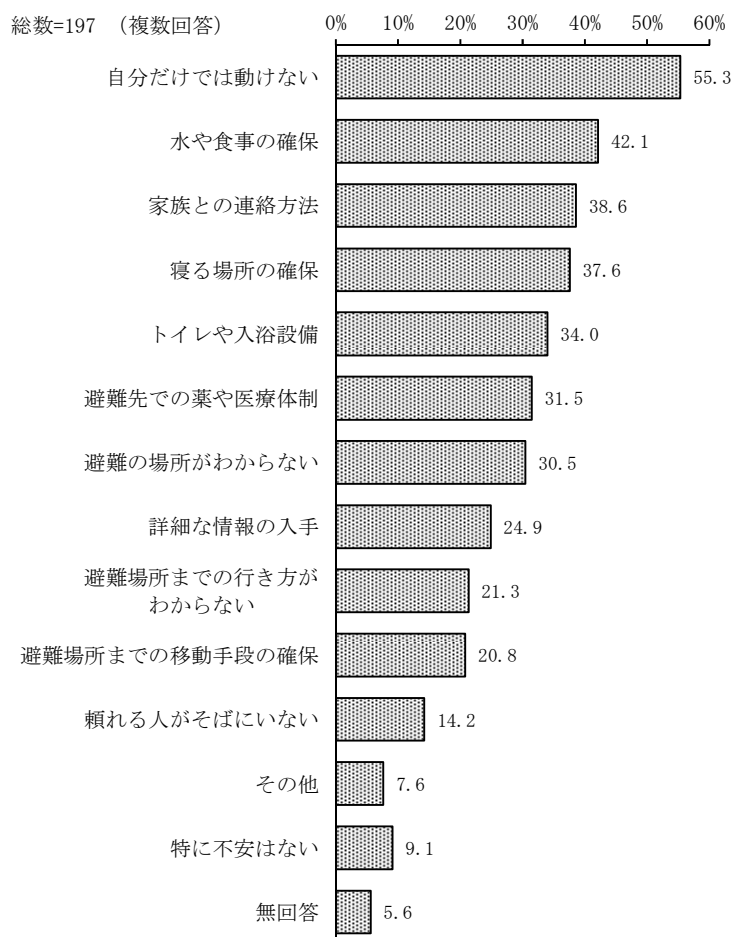
図表 2-94 緊急な病状になったときに不安なこと



問 53 地震や火事、台風などのために、緊急に避難しなければならなくなったことを考えると、あなたが不安に感じることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「自分だけでは動けない」が55.3%で最も多く、「水や食事の確保」が42.1%、「家族との連絡方法」が38.6%、「寝る場所の確保」が37.6%で続きます。

図表 2-95 緊急避難時に不安なこと

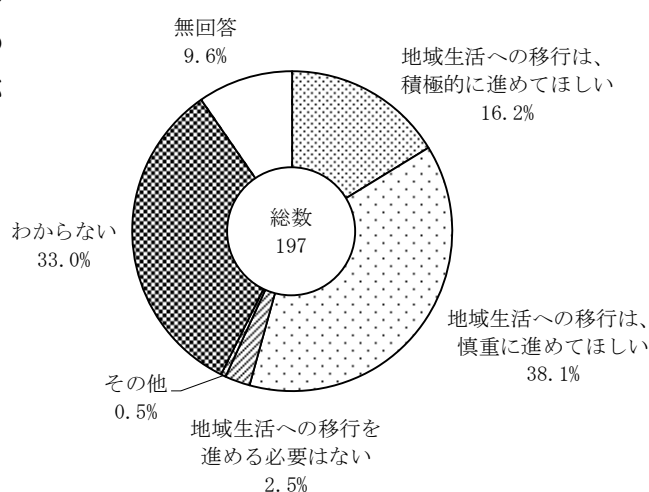


## 【13】障害者総合支援法についてうかがいます。

問54 市では、「第4期船橋市障害福祉計画」に基づき、現在、福祉施設に入所または病院に入院している障害者のうち退所・退院が可能な人について、地域生活への移行を支援しています。このことについて、あなたはどのように思いますか。（どれか1つに○）

「地域生活への移行は、慎重に進めてほしい」が38.1%で最も多く、「わからない」が33.0%、「地域生活への移行は、積極的に進めてほしい」が16.2%で続きます。

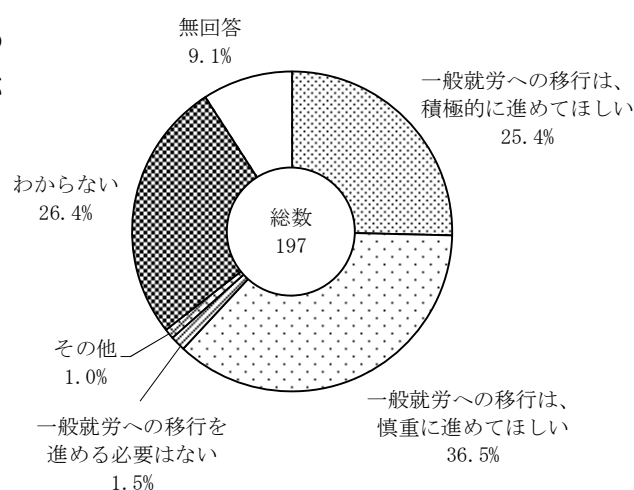
図表 2-96 入所者・入院者の地域生活移行への考え方



問55 現在、福祉的就労（障害者の作業所などでの就労）をしている障害者のうち、訓練により一般就労が可能となる人について、市では一般就労への移行を支援しています。このことについて、あなたはどのように思いますか。（どれか1つに○）

「一般就労への移行は、慎重に進めてほしい」が36.5%で最も多く、「わからない」が26.4%、「一般就労への移行は、積極的に進めてほしい」が25.4%で続きます。

図表 2-97 福祉的就労から一般就労への移行の考え方

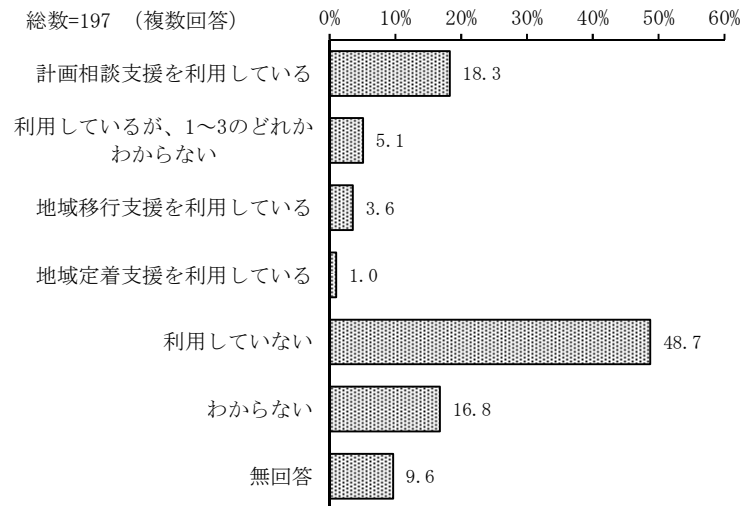


問56 あなたは、次のような相談支援事業を利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

- ※ 1. 計画相談支援を利用している 2. 地域移行支援を利用している 3. 地域定着支援を利用している

「計画相談支援を利用している」が18.3%で最も多く、「利用しているが、1～3のどれかわからない」が5.1%、「地域移行支援を利用している」が3.6%、「地域定着支援を利用している」が1.0%となっています。

図表2-98 相談支援事業の利用状況

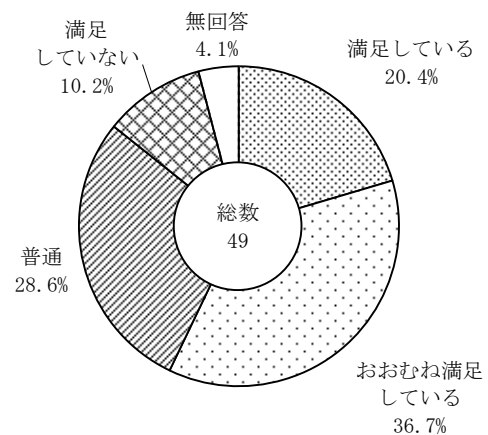


問56-1 【問56で1～4を選んだ方にかがいます。】あなたは、相談支援事業に満足していますか。(どれか1つに○)

- ※ 1. 計画相談支援を利用している 2. 地域移行支援を利用している 3. 地域定着支援を利用している  
4. 利用しているが、1～3のどれかわからない

「おおむね満足している」が36.7%、「普通」が28.6%、「満足している」が20.4%、「満足していない」が10.2%となっています。

図表2-99 相談支援事業の満足度



問56-2 【問56-1で4を選んだ方にうかがいます。】あなたが満足していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

※ 4. 満足していない

この設問の回答者は5名で、「相談支援の制度がわかりにくい」が4名、「相談支援の回数や日数が少ない」、「相談支援を利用したい日時調整が大変」、「相談支援の内容が雑であったり、ニーズに合っていない」、「その他」が2名回答しています。

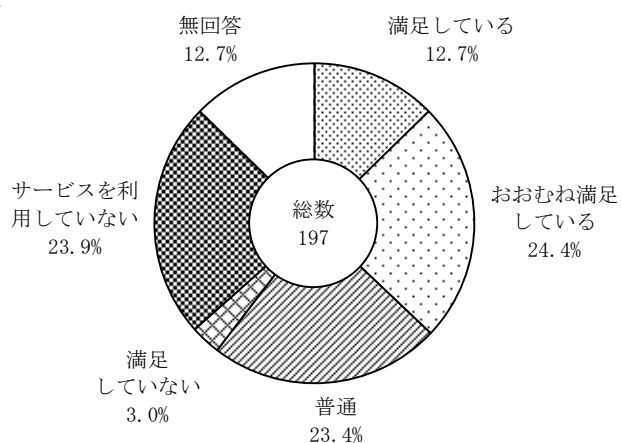
図表2-100 相談支援事業の不満な理由

項目名【複数回答】	集計値	構成比(%)
全体	5	100.0
相談支援の制度がわかりにくい	4	80.0
相談支援の利用の手続きが面倒	1	20.0
相談支援の回数や日数が少ない	2	40.0
相談支援の1回当たりの時間が少ない	1	20.0
相談支援を利用したい日時調整が大変	2	40.0
相談支援の内容が雑であったり、ニーズに合っていない	2	40.0
相談支援を提供する人の態度がよくない	1	20.0
相談支援利用に対する自己負担が大きい	-	-
その他	2	40.0
無回答	-	-

問57 あなたは、現在利用している障害福祉サービスに満足していますか。(どれか1つに○)

「おおむね満足している」が24.4%、「サービスを利用していない」が23.9%、「普通」が23.4%、「満足している」が12.7%、「満足していない」が3.0%となっています。

図表2-101 障害福祉サービスの満足度



問57-1 【問57で4を選んだ方にうかがいます。】あなたが満足していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

※ 4. 満足していない

この設問の回答者は6名で、「サービス利用の手続きが面倒」、「サービスを利用したい日時の調整が大変」が3名、「サービスの制度がわかりづらい」、「サービスの回数や日数が少ない」、「サービスの1回当たりの時間が少ない」、「サービスの内容が雑であったり、ニーズに合っていない」、「サービス利用に対する自己負担が大きい」が2名となっています。

図表 2-102 障害福祉サービスの不満理由

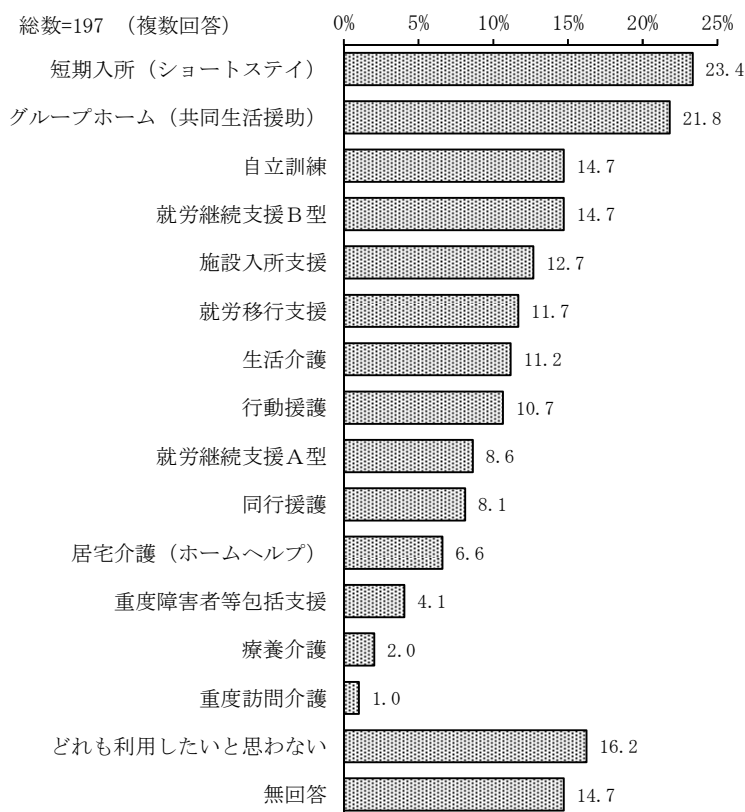
項目名 【複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	6	100.0
サービスの制度がわかりづらい	2	33.3
サービス利用の手続きが面倒	3	50.0
サービスの回数や日数が少ない	2	33.3
サービスの1回当たりの時間が少ない	2	33.3
サービスを利用したい日時の調整が大変	3	50.0
サービスの内容が雑であったり、 ニーズに合っていない	2	33.3
サービスを提供する人の態度がよくない	-	-
サービス利用に対する自己負担が大きい	2	33.3
その他	-	-
無回答	1	16.7



問 58 今後、あなたが利用したいと思う、または現在利用している障害福祉サービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「短期入所（ショートステイ）」が23.4%で最も多く、「グループホーム（共同生活援助）」が21.8%、「自立訓練」、「就労継続支援B型」が14.7%で続きます。

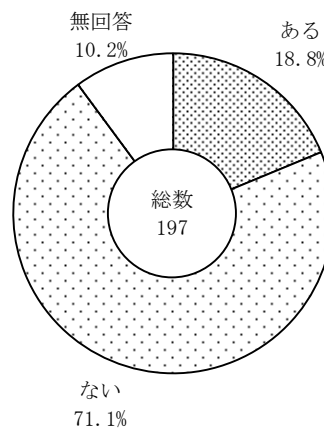
図表 2- 103 今後の障害福祉サービスの利用意向



問 59 これまでに、短期入所施設を利用したことがありますか。(どれか1つに○)

「ある」が18.8%、「ない」が71.1%となっています。

図表 2- 104 短期入所施設の利用状況

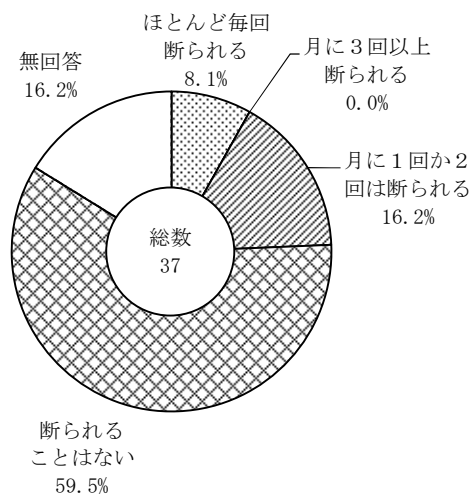


問 59-1 【問 59 で 1 を選んだ方にうかがいます。】短期入所施設を利用したいのに、ベッドに空きがなくて、利用を断られたことがありますか。（どれか1つに○）

※ 1. ある

「断られることはない」が 59.5%、「月に1回か2回は断られる」が 16.2%、「ほとんど毎回断られる」が 8.1%となっています。

図表 2-105  
短期入所施設を利用したいのに  
ベッドに空きがなくて断られたこと

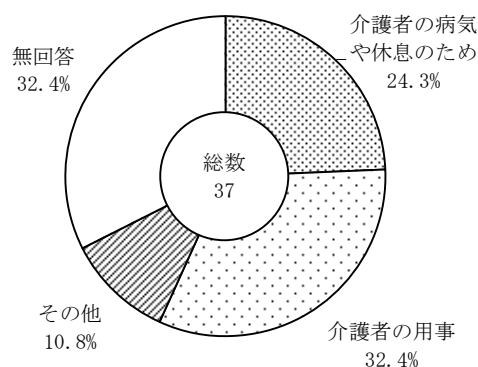


問 59-2 【問 59 で 1 を選んだ方にうかがいます。】短期入所を利用する理由は何ですか。（どれか1つに○）

※ 1. ある

「介護者の用事」が 32.4%、「介護者の病気や休息のため」が 24.3%、「その他」が 10.8%となっています。

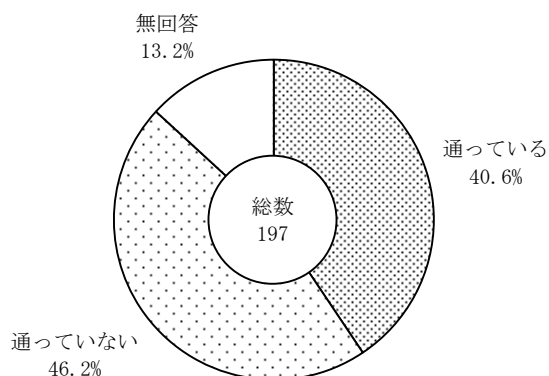
図表 2-106 短期入所を利用する理由



### 問 60 通所施設・事業所に通っていますか。(どれか1つに○)

「通っている」が40.6%、「通っていない」が46.2%となっています。

図表 2-107 通所施設・事業所に通っていますか

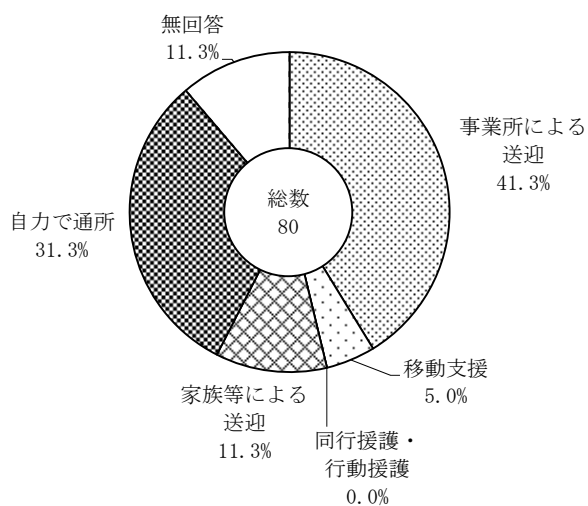


### 問 60-1 【問 60 で 1 を選んだ方にうかがいます。】どのような手段を使って通所していますか。(どれか1つに○)

※ 1. 通っている

「事業所による送迎」が41.3%、「自力で通所」が31.3%、「家族等による送迎」が11.3%、「移動支援」が5.0%となっています。

図表 2-108 通所手段

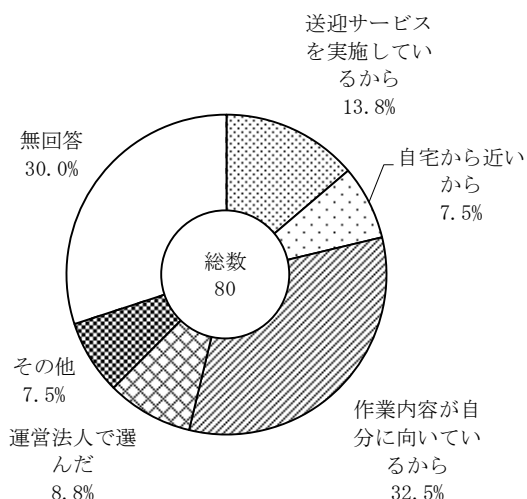


問 60-2 【問 60 で 1 を選んだ方にうかがいます。】今の事業所に通っている理由は何ですか。(どれか1つに○)

※ 1. 通っている

「作業内容が自分に向いているから」が 32.5%、「送迎サービスを実施しているから」が 13.8%、「運営法人で選んだ」が 8.8%、「自宅から近いから」、「その他」が 7.5%となっています。

図表 2- 109 今の事業所に通っている理由

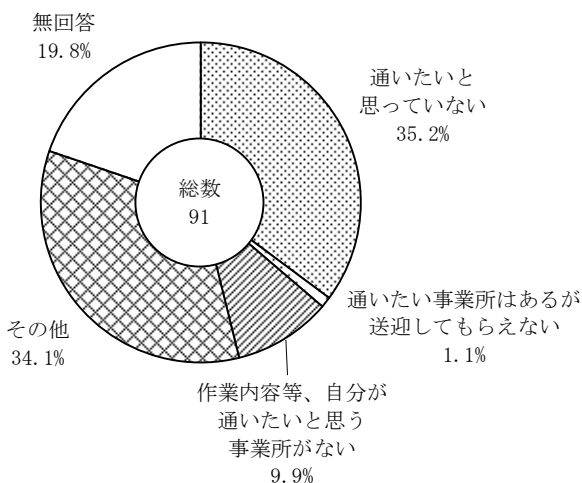


問 60-3 【問 60 で 2 を選んだ方にうかがいます。】通所施設・事業所に通わない理由は何ですか。(どれか1つに○)

※ 2. 通っていない

「通いたいと思っていない」が 35.2%、「その他」が 34.1%、「作業内容等、自分が通いたいと思う事業所がない」が 9.9%、「通いたい事業所はあるが送迎してもらえない」が 1.1%となっています。

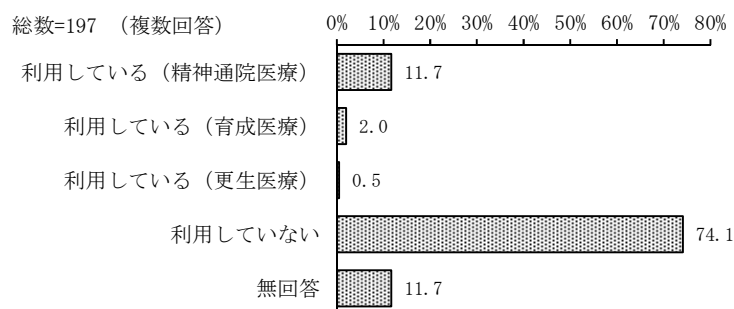
図表 2- 110 通所施設・事業所に通わない理由



問61 あなたは、「自立支援医療」を利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

「利用している(精神通院医療)」が11.7%、「利用している(育成医療)」が2.0%、「利用している(更生医療)」が0.5%、「利用していない」が74.1%となっています。

図表2-111 自立支援医療の利用状況

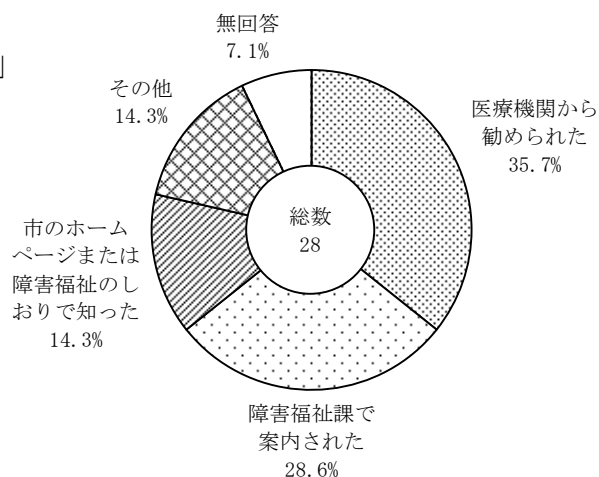


問61-1 【問61で1~3を選んだ方にうかがいます。】あなたは「自立支援医療」の制度をどこで最初に知りましたか。(どれか1つに○)

※ 1. 利用している(育成医療) 2. 利用している(更生医療) 3. 利用している(精神通院医療)

「医療機関から勧められた」が35.7%、「障害福祉課で案内された」が28.6%、「市のホームページまたは障害福祉のしおりで知った」、「その他」が14.3%となっています。

図表2-112 自立支援医療の制度を最初に知った機会

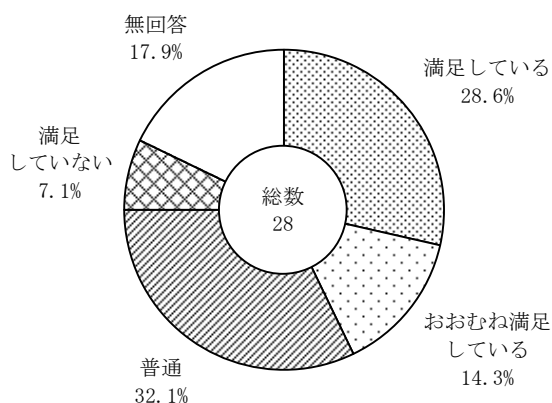


問61-2 【問61で1~3を選んだ方にうかがいます。】あなたは、自立支援医療に満足していますか。(どれか1つに○)

※ 1. 利用している(育成医療) 2. 利用している(更生医療) 3. 利用している(精神通院医療)

「普通」が32.1%、「満足している」が28.6%、「おおむね満足している」が14.3%、「満足していない」が7.1%となっています。

図表 2-113 自立支援医療の満足度



問61-3 【問61-2で4を選んだ方にうかがいます。】あなたが満足していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

※ 4. 満足していない

この設問の回答者は2名で、「自立支援医療の制度がわかりづらい」、「自立支援医療の制度が使いづらい」、「更新期間が短い」が2名、「登録できる医療機関・薬局が一つしかない」が1名回答しています。

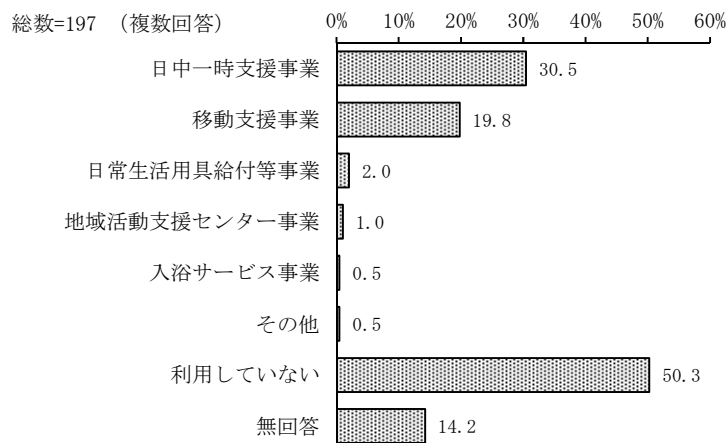
図表 2-114 自立支援医療の不満理由

項目名【複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	2	100.0
自立支援医療の制度がわかりづらい	2	100.0
自立支援医療の制度が使いづらい	2	100.0
医療費の自己負担が大きい	-	-
更新期間が短い	2	100.0
登録できる医療機関・薬局が一つしかない	1	50.0
その他	-	-
無回答	-	-

問 62 あなたは、船橋市が実施している地域生活支援事業のうち、どのようなものを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

「日中一時支援事業」が30.5%で最も多く、「移動支援事業」が19.8%、「日常生活用具給付等事業」が2.0%で続きます。

図表 2- 115 地域生活支援事業の利用状況

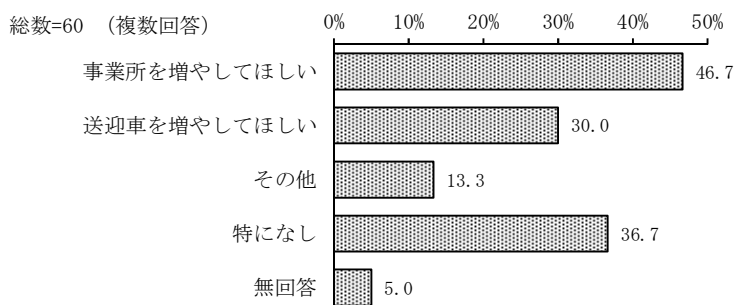


問 62-1 【問 62 で 2 を選んだ方にうかがいます。】日中一時支援事業について、改善を求めることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

※ 2. 日中一時支援事業

「事業所を増やしてほしい」が46.7%で最も多く、「送迎車を増やしてほしい」が30.0%で続きます。

図表 2- 116 日中一時支援事業で改善を求めること

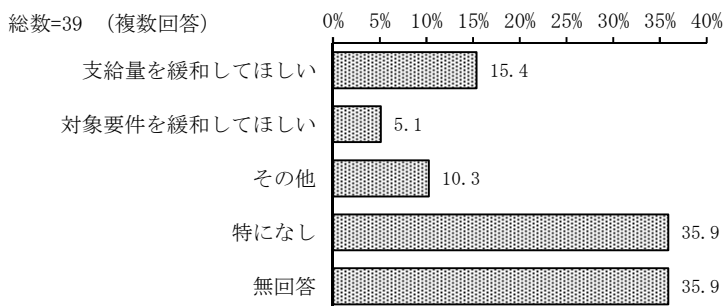


問 62-2 【問 62 で 3 を選んだ方にうかがいます。】移動支援事業について、改善を求めることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

※ 3. 移動支援事業

図表 2- 117 移動支援事業で改善を求めること

「支給量を緩和してほしい」が 15.4%で最も多く、「対象要件を緩和してほしい」が 5.1%で続きます。



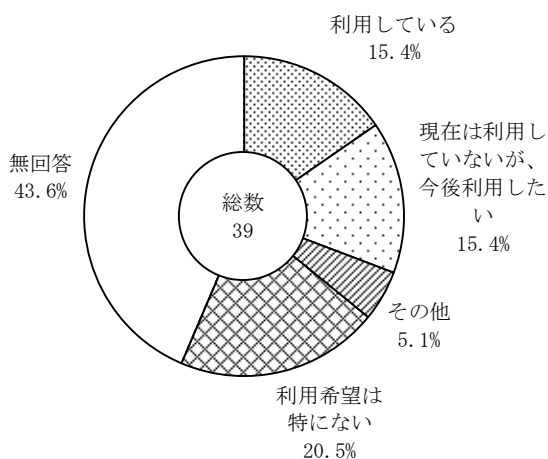
問 62-3 【問 62 で 3 を選んだ方にうかがいます。】船橋市では移動支援事業の中で、保護者が社会的理由を有する場合に限り、「通学や通所をするための支援」についても認めています。この「通学通所支援」を利用したことはありますか。（どれか1つに○）

※ 社会的理由とは「保護者が入通院、出産、就労、介護等の理由により、付き添うことが困難な場合」をいいます。

※ 3. 移動支援事業

図表 2- 118 通学通所支援の利用状況

「利用希望は特にない」が 20.5%、「利用している」、「現在は利用していないが、今後利用したい」が 15.4%、「その他」が 5.1%となっています。



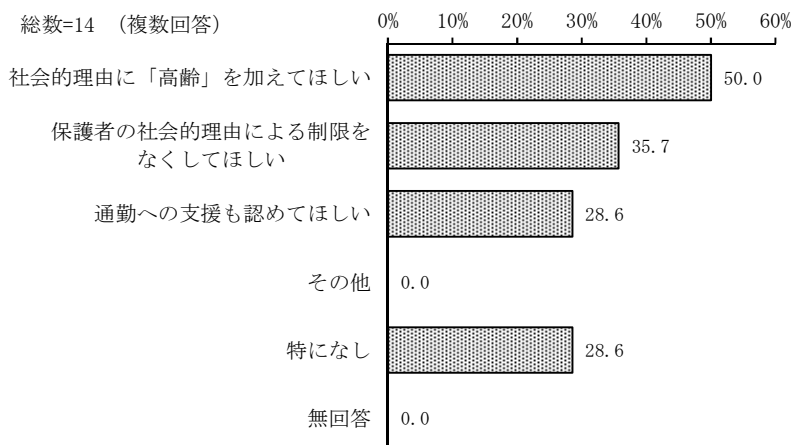


問 62-4 【問 62-3 で 1~3 を選んだ方にうかがいます。】通学通所支援について改善を求めることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

※ 1. 利用している。 2. 現在は利用していないが、今後利用したい 3. その他

「社会的理由に「高齢」を加えてほしい」が 50.0%で最も多く、「保護者の社会的理由による制限をなくしてほしい」が 35.7%、「通勤への支援も認めてほしい」が 28.6%で続きます。

図表 2-119 通学通所支援について改善を求めること



問 62-5 【問 62 で 5 を選んだ方にうかがいます。】入浴サービス事業について、改善を求めることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

※ 5. 入浴サービス事業

この設問の回答者は 1 名で、「支給量を緩和してほしい」、「事業所を増やしてほしい」と回答しています。

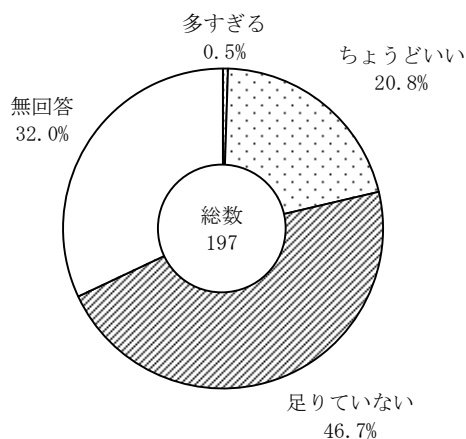
図表 2-120 入浴サービス事業について改善を求めること

項目名 【4つまでの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	1	100.0
対象要件を緩和してほしい	-	-
支給量を緩和してほしい	1	100.0
事業所を増やしてほしい	1	100.0
その他	-	-
特になし	-	-
無回答	-	-

問63 居住している地域に障害福祉施設は足りていますか。(どれか1つに○)

「足りていない」が46.7%、「ちょうどいい」が20.8%、「多すぎる」が0.5%となっています。

図表2-121 居住している地域に障害福祉施設は足りていますか

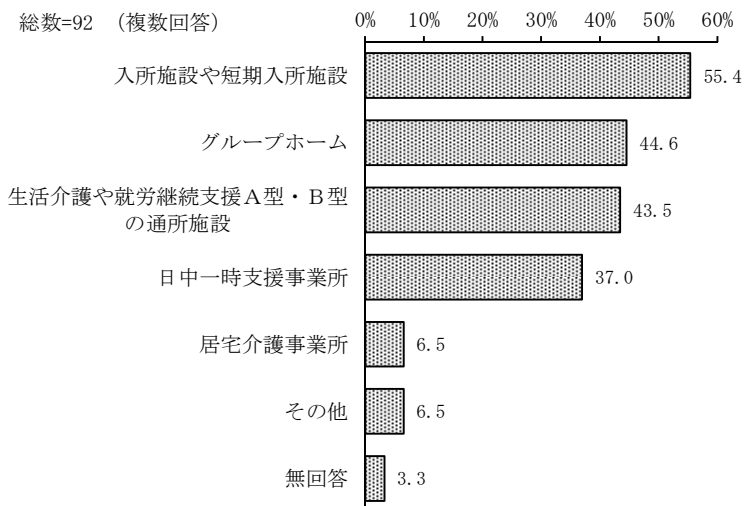


問63-1 【問63で3を選んだ方にうかがいます。】どんな施設が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

※ 3. 足りていない

「入所施設や短期入所施設」が55.4%で最も多く、「グループホーム」が44.6%、「生活介護や就労継続支援A型・B型の通所施設」が43.5%、「日中一時支援事業所」が37.0%で続きます。

図表2-122 必要な施設

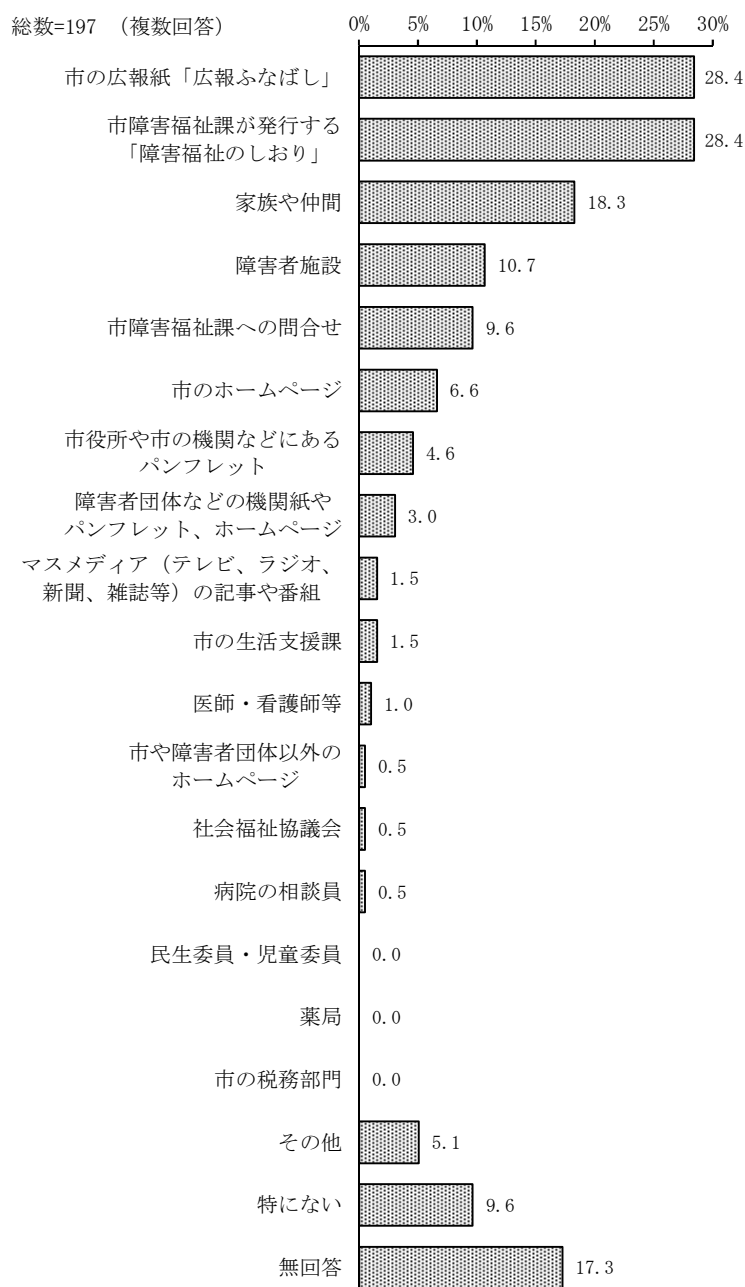


## 【14】船橋市の障害者福祉についてうかがいます。

問 64 あなたは、障害のある人のための市の福祉サービスの内容について、どのようなところで知ることが多いですか。（主なもの2つまでに○）

「市の広報紙「広報ふなばし」」、「市障害福祉課が発行する「障害福祉のしおり」」が28.4%で最も多く、「家族や仲間」が18.3%、「障害者施設」が10.7%で続きます。

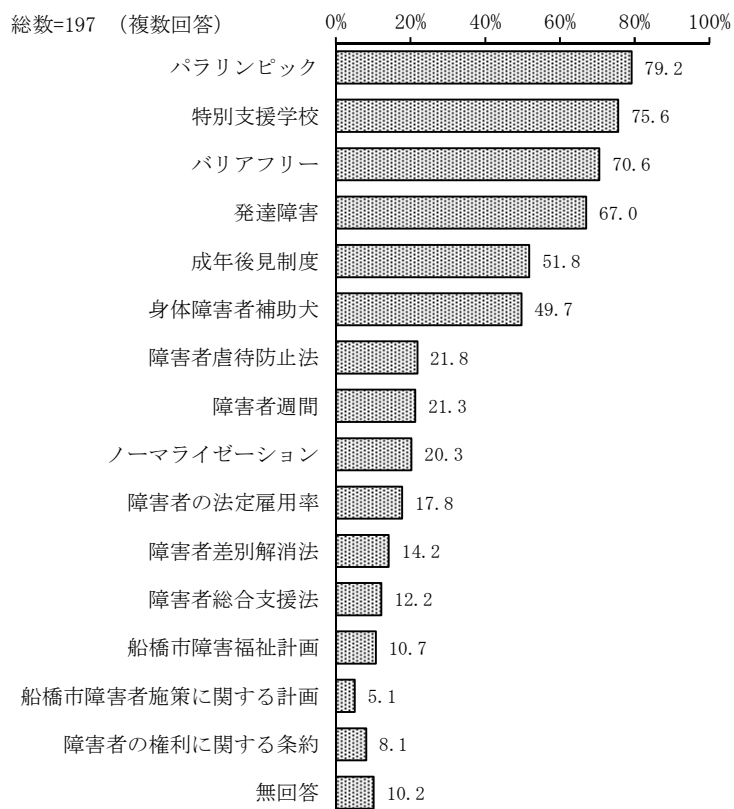
図表 2-123 福祉サービス情報の入手方法



問 65 次にあげる障害者施策や福祉施策の用語のうち、あなたが見聞きしたことのあるものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「パラリンピック」が79.2%で最も多く、「特別支援学校」が75.6%、「バリアフリー」が70.6%、「発達障害」が67.0%で続きます。

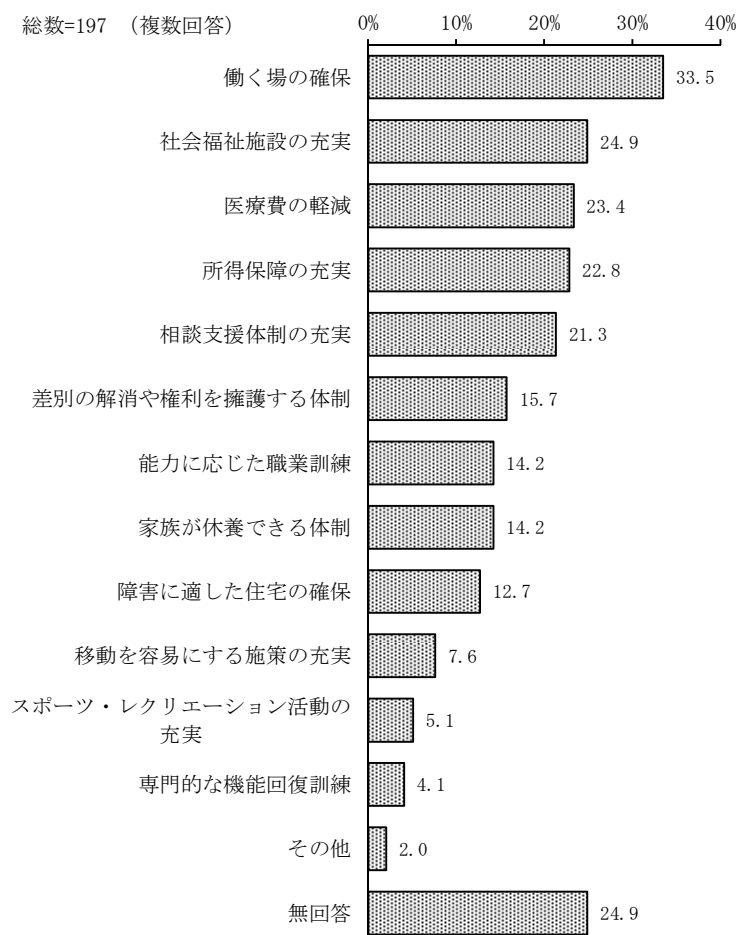
図表 2-124 見聞きしたことのある障害者施策や福祉施策の用語



問 66 あなたが今後、必要だと思ふ障害福祉施策は何ですか。(主なもの3つまでに○)

「働く場の確保」が33.5%で最も多く、「社会福祉施設の充実」が24.9%、「医療費の軽減」が23.4%、「所得保障の充実」が22.8%、「相談支援体制の充実」が21.3%で続きます。

図表 2-125 今後必要だと思ふ障害福祉施策



問 67 船橋市の障害福祉施策についてのご意見、ご希望、または困っていることなどを、自由にお書きください。

自由回答を記入した回答者は 61 名です。

回答内容を分類すると、以下の通りとなっています。なお、一人で複数の内容を書かれている場合もあり、合計件数は回答者数を上回ります。

分類	件数	割合
全体	61	100%
啓発・広報	8	13.1%
保健・医療	5	8.2%
教育・雇用・就業	13	21.3%
生活支援・福祉サービス	19	31.1%
生活環境	13	21.3%
スポーツ・レクリエーション等	3	4.9%
その他	15	24.6%

※ ここに掲載したものは回答の一部です。また、大意を変えずに一部を省略・要約している場合があります。

※ 回答者は本人ではなく、代理の人の場合があります。

### 啓発・広報

- ・子供が障害者です。船橋市のこのような施策は全く知りませんでした。障害の子を育てるのに忙しく、情報を得る時間ありません。365日、24時間休みはないのです。家から1歩出ると理解されない社会で、親子で疲れています。療育手帳を持っていても、公共交通機関で提示する事で、障害者という事がわかってしまうので出す事をしません。提示しても、後ろから来る人がいやな顔をするそうです。そういう社会で、生活する事の大変さは、当事者でしかわからないようです。本人は、友達が欲しいと願っています。休みの日に、遊んでくれる友達がいたら、どんなに楽しく日々がすごせるのか。先日も私と花火大会を見に行った時に「友達と、花火大会とか行きたいなあ」と言いながら見ました。むずかしい問題です。でも今は、いちばんの願いであるようです。(障害者の母) (男性、20歳)
- ・船橋市にかぎることではありませんが、自閉症、発達障害について、あまりにも理解がなされていないので、そのことをもっと考えてほしい。(男性、29歳)
- ・障害福祉にかぎらずこちらから聞かなければ医療費の助成やサービスの事は教えてくれない。職員から「〇〇サービスもありますよ」等のアドバイスや助言が無いのは冷たい。(男性、16歳)

## 保健・医療

- ・短期入所施設をもっと増やして下さい。入所施設も増やして下さい。障害者が（そして介助者も）安心して受けられる医療機関を市内に作って下さい。安心して居られる避難場所を確保して下さい。（男性、20歳）
- ・今後（今 高校生ですが）、どのような事が必要になってくるのかどんなサービスがあるのかよくわからないので、知りたい。とりあえず、市役所で相談しに行けばいいと思っているのですが、手続きに時間がかかりサービスをうけるのに時間がかかるイメージがあります。利用するにあたり受給証が必要だったり、療育手帳があれば、スムーズに利用できるし利用しやすいと思います。医療費の窓口の支払い等の医療費の免除、助成があるといいなと思いました。（男性、15歳）

## 教育・雇用・就業

- ・小学校でグレーゾーンの子の行き場がないことに困っています。普通級だとついていくのが難しいが、支援学級だと物足りず、通級を希望しても知識レベルが低いから通えないと言われ、普通級で加配をつけて欲しいと希望してもつけてもらえず、どうしたらよいか困っています。どこに相談したら良いのかもわかりません。（男性、7歳）
- ・進路について相談する場所がない。先生は偏りがあります。支援学校（高校）の情報が少ない。軽度の者への学校側の対応の改善。途中から障害者になっても、相談する場所等、どの道を進めば良いのか全くわからなかった。法が出来ても何も変わらないと思います。当事者の家族になり、私もやっと理解しようと動き始めたので。（女性、14歳）
- ・発達相談センターの療育は回数が少なく（月1回）、定期的に週に何日かのコースを利用できるのは保育園に在園できない子が対象と伺っています。その為、浦安まで療育に通っていますが、船橋市内にそのような通所施設が多くあればより良いと思います。また、そのような施設での専門職員の方が多くいると良いです。浦安市のサポート体制が整っていて（就学前…通所施設も相談センターも情報共有できていたり～就学後…小学校の普通級に加配の先生付で入学できたり）、とても魅力的です。財政面や人員数等違いはあると思いますが、船橋市ももっと充実していく事を願っています。（女性、4歳）
- ・息子は、知的障害があって、中学の特別支援学級を卒業後、叔父の所でタイル職の見習いをしましたが、仕事についてゆけず、辞めてしまいました。しかし知人の紹介で、団地内の清掃の仕事に就いて20年程になります。団地清掃の職場は、60～72歳位の方々が働いていますのでみな様とてもやさしく、指導して下さるのでお仕事をずっと続けられそうなので、親は、ありがたいと思っています。（男性、43歳）

- ・仕事、労働時間週 20 時間は、働けないので、働けても B 型。そこだと給料たりないので、もう少し考えてほしいです。(女性、年齢不明)

### 生活支援・福祉サービス

- ・軽度のグループホーム（マンション型）を作してほしい。以前見学に行ったが、重い方が優先され障害が軽いため、断られた。(男性、25 歳)
- ・近い将来ですが一人では生きて行けません。とても不安です。グループホーム他、少なすぎます。増やして下さい。安心して生活していきたいです。(女性、26 歳)
- ・重度知的障害者であって身体的には動ける場合（てんかんなど）、身体障害者の区分には入らず、病院の医療体制のあるところへの預かりが断られた。そこで、困ったことを相談しても、そういう所は無いと断られ自分でみつけるしかないと言われる。個別に対応してほしい。(男性、68 歳)

### 生活環境

- ・障害の有る子供達が安心して生活出来る所を作してほしい。(女性、36 歳)
- ・障害福祉計画に基づき地域生活への移行を支援しているとありますが、特に生まれつき障害のある子供たちは支援学校、学級出身者が多く、近所の友人もいません。地域になじめずそうして育った障害者を地域に移行させるのは難しいと感じます。(女性、5 歳)

### スポーツ・レクリエーション等

- ・保護者、養育者が働いている場合、習い事、レクリエーションに参加したくても、行けない、参加できないということがあります。移動支援の充実をおねがいしたい。訓練（DT・PT・ST）の外的に対応のできる医療施設が必要だと思います（就学後についても）。船橋市の福祉事業は、がんばってくれていると感じますし、利用しやすいと思います。(女性、50 歳)

### その他

- ・今回の意識調査は本人に聞きながら記入しましたが、本人ではわからない事が多く、ほとんど親の意見になってしまいます。知的障害のある人にこのような調査は大変難しいと思います。(女性、27 歳)
- ・本人が知的障害者であるため記入者（父）が憶測して回答したことを申し添えます。(意向を確かめることは不可能) (女性、27 歳)
- ・そもそも、未就学の知的障害者の「ご本人の意向」が確かめられたら苦労はしません。「通所受給者証」について、一方的に理由も示さず支給日数を減らされ、大変迷惑している。また、月ごとに利用回数が異なるからといって、その度に書き換えるのは効率が悪い。早期療育が重要なのに、相談しても様子見や



楽観論で考える保健師等がいる。周辺自治体に比較して、療育への理解も施策も遅れている。「障害はあるが、船橋で良かった」と思われるような町になるには職員やトップへの教育が必要。(女性、5歳)

- ・娘が市外の作業所に通っている頃(35年程前)、3日間、行方不明になって以来頑固に在宅を貫いて、お陰様で親子三人で楽しい生活を続けてきましたが、一昨年に親友(ダウン症)、昨年父親と身近な二人を亡くして、まだ暫くメンタルケアが必要と思われます。今回の意識調査に接し、長年の平和ボケから悪戦苦闘していた昔に一気に引き戻されました。何時の間にか、82歳、58歳、何が起きても不思議でない年齢になりました。今迄は、「お父さんが亡くなったら設備の完備した老人ホームに入るから」とか、親友、親子と、「交通の便のよい方の家で4人の老女が各方面の援護を受けながら終の住処に出来ないかな?」とか夢を語っていました。いつも障害児者全体の福祉を考えて行動していましたが今となっては残念ながら自分達の身の処し方に意識が片寄り、恥じ入るばかりです。こんな細やかな夢も、選択肢の一つとして、実現できればと今も変わらず考えています。親の我儘は際限なく本当に、申し訳無く思います。アンケートは疲れましたが、大変勉強になりました。ありがとうございました。(女性、58歳)

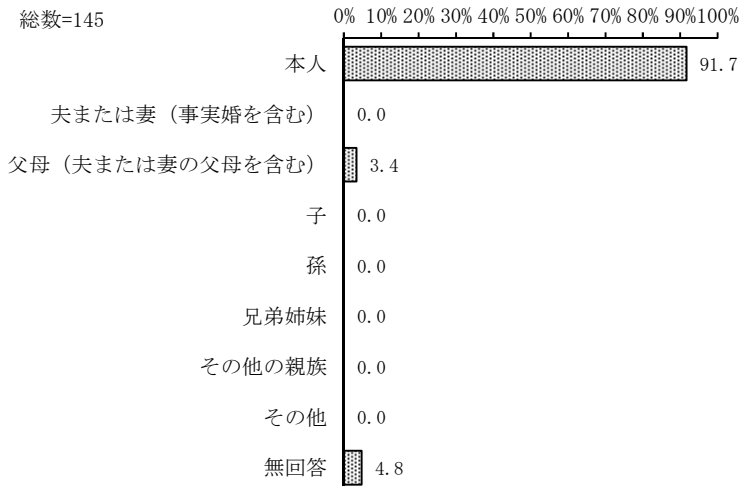
### 3 精神障害者を対象とした調査結果

#### 【1】あなたご自身やご家族のことについてうかがいます。

問1 このアンケートの記入者はどなたですか。あなたから見た続柄でお答えください。（どれか1つに○）

「本人」が91.7%、「父母（夫または妻の父母を含む）」が3.4%となっています。

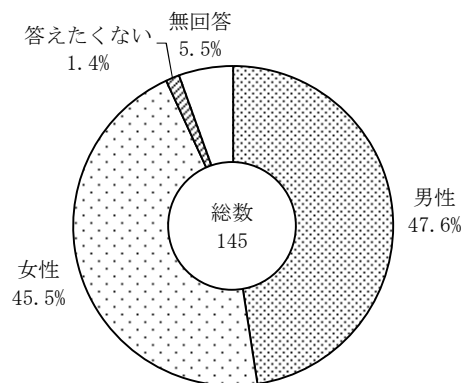
図表 3-1 記入者



問2 あなたの性別をお答えください。（どれか1つに○）

「男性」が47.6%、「女性」が45.5%、「答えたくない」が1.4%となっています。

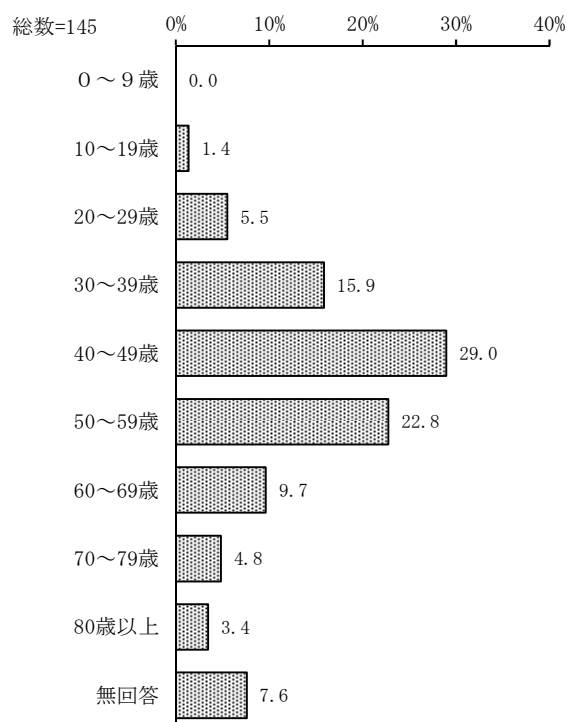
図表 3-2 性別



問3 あなたは、何歳ですか。平成29年1月1日現在の満年齢でお答えください。

「40～49歳」が29.0%で最も多く、「50～59歳」が22.8%、「30～39歳」が15.9%、「60～69歳」が9.7%で続きます。

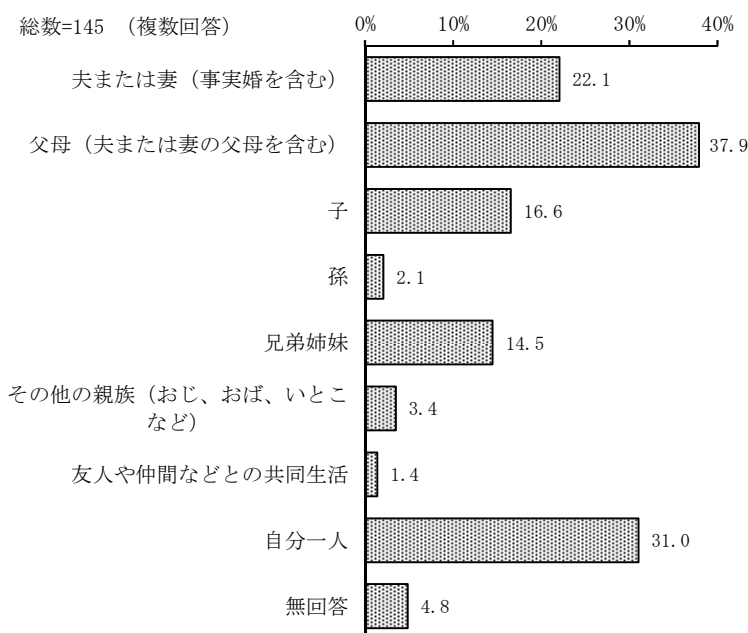
図表3-3 年齢



問4 あなたと一緒に暮らしている家族は、どなたですか。(あてはまるものすべてに○)

「父母（夫または妻の父母を含む）」が37.9%で最も多く、「自分一人」が31.0%、「夫または妻（事実婚を含む）」が22.1%、「子」が16.6%で続きます。

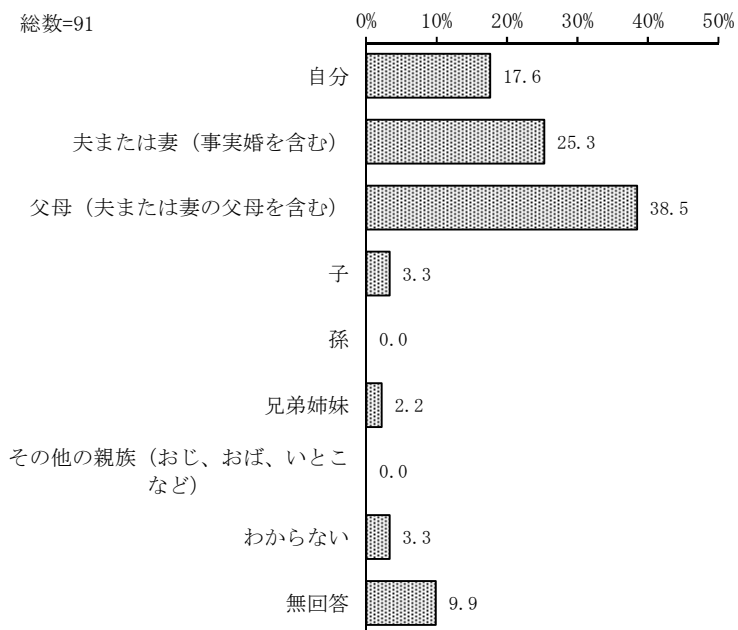
図表3-4 同居家族



問4-1 【家族等と一緒に暮らしている方にうかがいます。】一緒に暮らしている家族の中で、主に生活のための収入を得ている方はどなたですか。（どれか1つに○）

「父母（夫または妻の父母を含む）」が38.5%で最も多く、「夫または妻（事実婚を含む）」が25.3%、「自分」が17.6%で続きます。

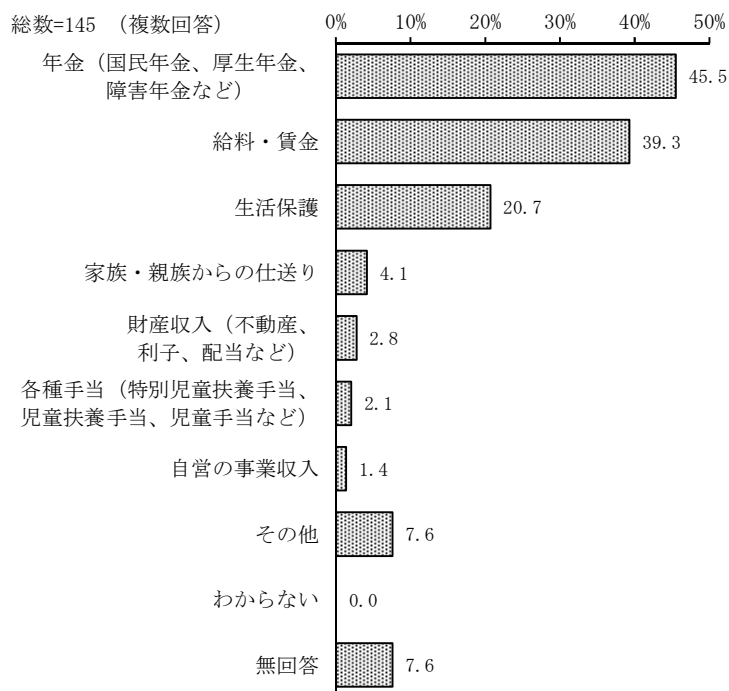
図表3-5 主に収入を得ている同居家族



問5 あなたの世帯収入の種類はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○、最も金額が大きいものには◎)

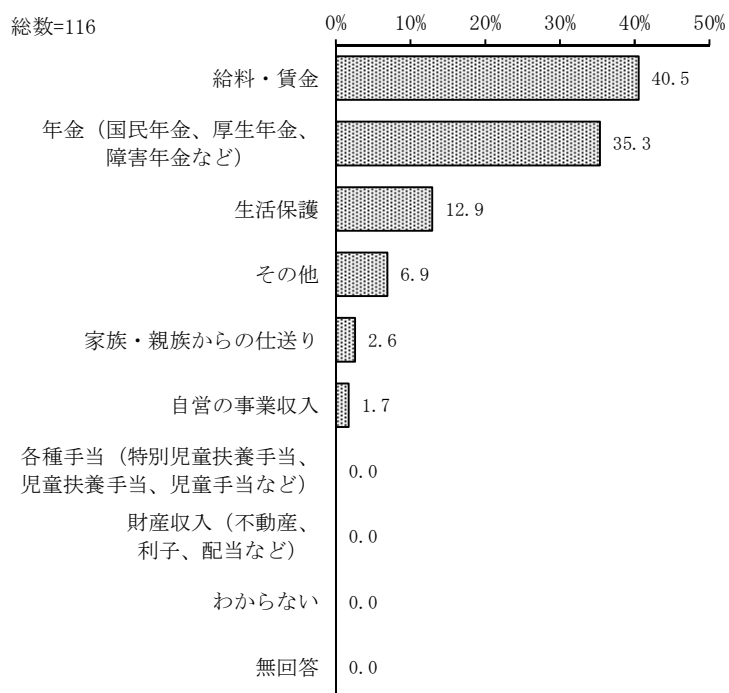
「年金（国民年金、厚生年金、障害年金など）」が45.5%で最も多く、「給料・賃金」が39.3%、「生活保護」が20.7%で続きます。

図表 3-6 世帯収入の種類



最も金額が大きいものは、「給料・賃金」が40.5%で最も多く、「年金（国民年金、厚生年金、障害年金など）」が35.3%で続きます。

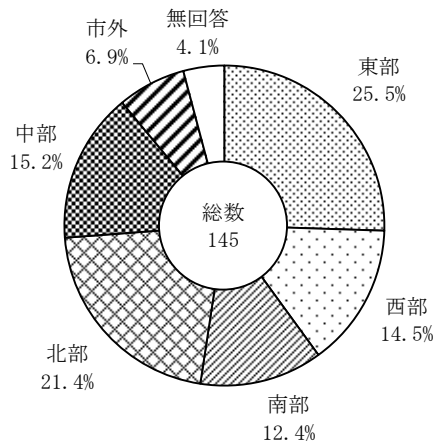
図表 3-7 最も金額が大きい収入



問6 あなたの住んでいる地域はどこですか。(どれか1つに○)

「東部」が25.5%、「北部」が21.4%、  
「中部」が15.2%、「西部」が14.5%、  
「南部」が12.4%となっています。

図表 3-8 居住地域

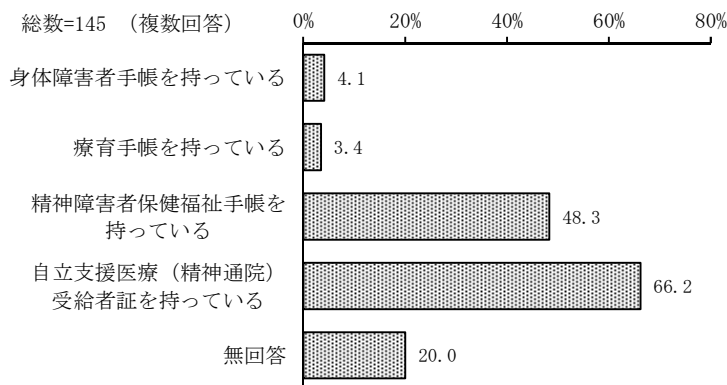


【2】あなたの障害のことがいえます。

問7 あなたがお持ちの障害者手帳等の種類と等級についてうかがいます。下の表のあてはまる番号と等級(程度)に○をつけて( )内に取得した年齢を記入してください。

「自立支援医療(精神通院)受給者証を持っている」が66.2%、「精神障害者保健福祉手帳を持っている」が48.3%、「身体障害者手帳を持っている」が4.1%、「療育手帳を持っている」が3.4%となっています。

図表 3-9 障害者手帳等取得の有無



所持している手帳の組み合わせは、「精神障害者保健福祉手帳と自立支援医療(精神通院)受給者証」が33.1%、「自立支援医療(精神通院)受給者証」が27.6%となっています。

図表 3-10 所持している手帳の組み合わせ

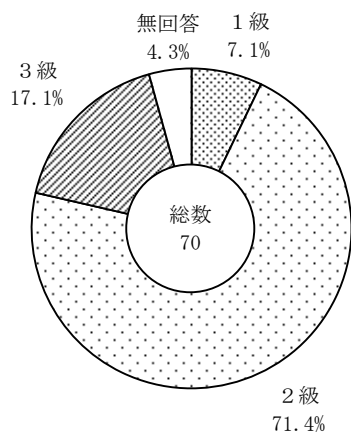
項目名	集計値	構成比 (%)
全体	145	100.0
身体障害者手帳のみ	1	0.7
療育手帳のみ	1	0.7
精神障害者保健福祉手帳のみ	17	11.7
自立支援医療(精神通院)受給者証のみ	40	27.6
身体障害者手帳+精神障害者保健福祉手帳	1	0.7
身体障害者手帳+自立支援医療(精神通院)受給者証	1	0.7
療育手帳+自立支援医療(精神通院)受給者証	3	2.1
精神障害者保健福祉手帳+自立支援医療(精神通院)受給者証	48	33.1
身体障害者手帳+精神障害者保健福祉手帳+自立支援医療(精神通院)受給者証	3	2.1
療育手帳+精神障害者保健福祉手帳+自立支援医療(精神通院)受給者証	1	0.7
いずれも持っていない	29	20.0

【精神障害者保健福祉手帳】

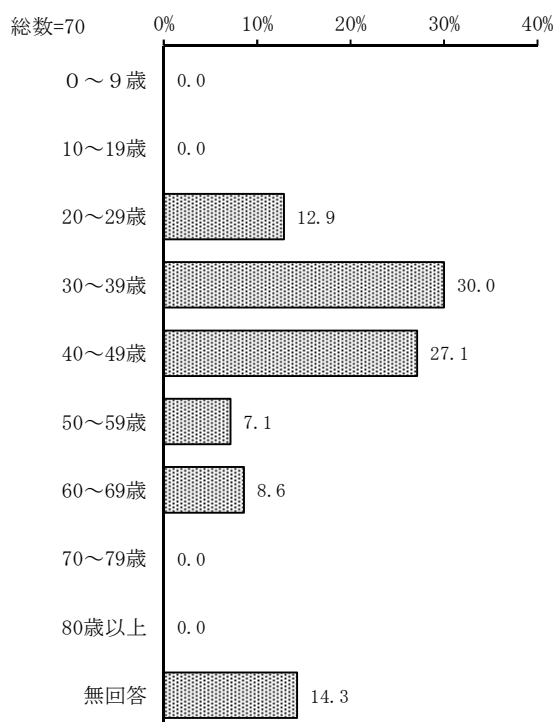
精神障害者保健福祉手帳の等級（程度）は、「2級」が71.4%、「3級」が17.1%、「1級」が7.1%となっています。

取得した年齢は、「30～39歳」が30.0%で最も多く、「40～49歳」が27.1%、「20～29歳」が12.9%で続きます。

図表 3-11 精神障害者保健福祉手帳の等級



図表 3-12 精神障害者保健福祉手帳を取得した年齢



【身体障害者手帳】

身体障害者手帳所持者は6名で、等級（程度）は、「2級」が3名、「1級」が2名、「4級」が1名となっています。

身体障害者手帳を取得した年齢は「40～49歳」、「50～59歳」が2名、「30～39歳」、「60～69歳」が1名となっています。

図表 3-13 身体障害者手帳の等級

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	6	100.0
1級	2	33.3
2級	3	50.0
3級	-	-
4級	1	16.7
5級	-	-
6級	-	-
無回答	-	-

図表 3-14 身体障害者手帳を取得した年齢

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	6	100.0
30～39歳	1	16.7
40～49歳	2	33.3
50～59歳	2	33.3
60～69歳	1	16.7
70～79歳	-	-
80歳以上	-	-
無回答	-	-

【療育手帳】

療育手帳の所持者は5名で、等級（程度）は、「Bの2」が2名、「Aの1」、「Bの1」が1名となっています。

取得した年齢は、「30～39歳」、「40～49歳」が1名となっています。

図表 3-15 療育手帳の等級

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	5	100.0
①の1	-	-
①の2	-	-
Aの1	1	20.0
Aの2	-	-
Bの1	1	20.0
Bの2	2	40.0
無回答	1	20.0

図表 3-16 療育手帳を取得した年齢

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	5	100.0
30～39歳	1	20.0
40～49歳	1	20.0
50～59歳	-	-
60～69歳	-	-
70～79歳	-	-
80歳以上	-	-
無回答	3	60.0

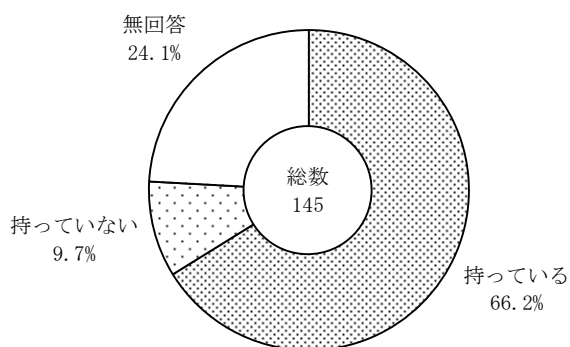
【自立支援医療（精神通院）受給者証】

「持っている」が66.2%、「持っていない」が9.7%となっています。

取得した年齢は、「40～49歳」が20.8%、「30～39歳」が18.8%、「20～29歳」が11.5%、「50～59歳」が9.4%となっています。

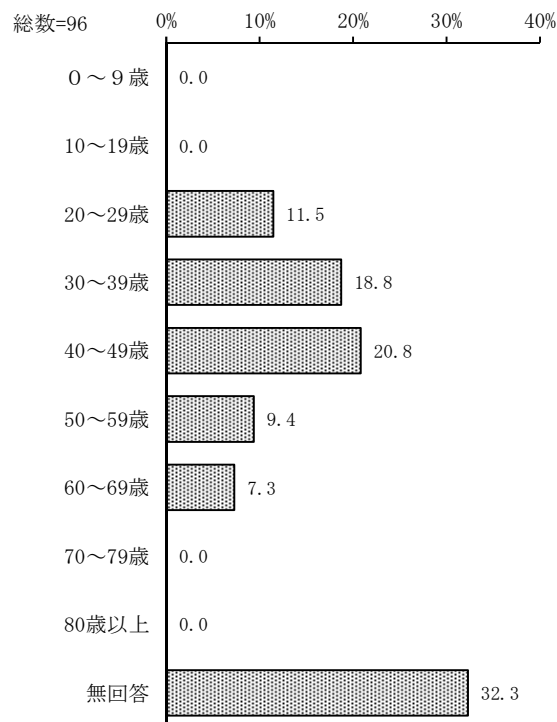
図表 3-17

自立支援医療（精神通院）受給者証取得の有無



図表 3-18

自立支援医療（精神通院）受給者証を取得した年齢





問7-A1 【身体障害者手帳をお持ちの方にかがいます。】障害の種類（部位）は、次のうちのどれですか。（あてはまるものすべてに○）

この設問の回答者は6名で、「聴覚・平衡機能障害」、「肢体不自由（上下肢、体幹機能）」が1名となっています。

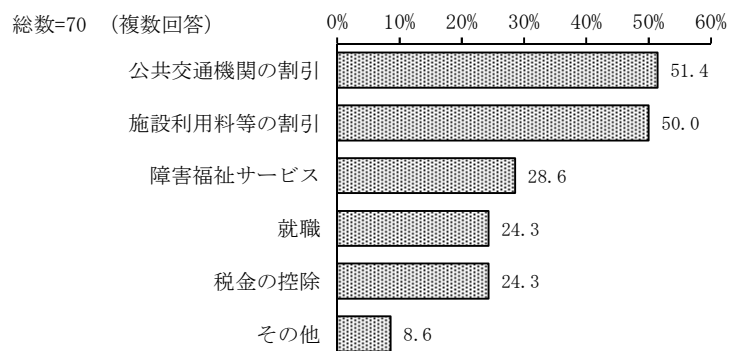
図表 3-19 身体障害の種類（部位）

項目名【複数回答】	集計値	構成比(%)
全体	6	100.0
視覚障害	-	-
聴覚・平衡機能障害	1	16.7
音声・言語・そしゃく機能障害	-	-
肢体不自由（上下肢、体幹機能）	1	16.7
内部障害（心臓、呼吸器、直腸など）	-	-
無回答	4	66.7

問7-B1 【精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方にかがいます。】精神障害者保健福祉手帳を取得しようと思ったきっかけは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「公共交通機関の割引」が51.4%、「施設利用料等の割引」が50.0%、「障害福祉サービス」が28.6%、「就職」、「税金の控除」が24.3%となっています。

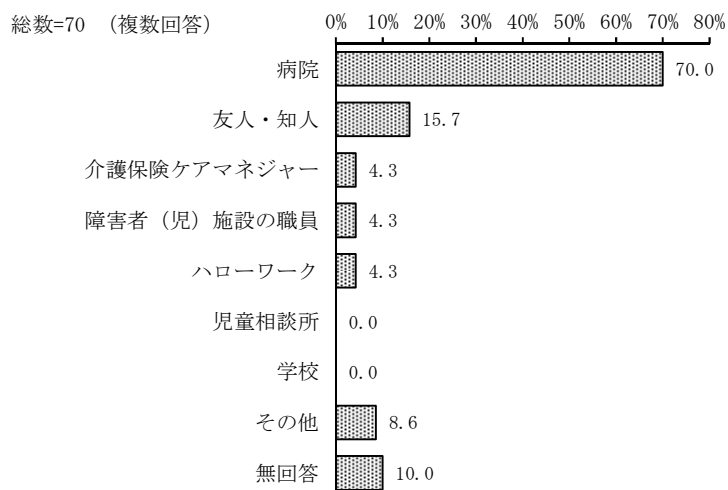
図表 3-20 精神障害者保健福祉手帳を取得しようと思ったきっかけ



問7-B2 【精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方にかがいます。】精神障害者保健福祉手帳の制度をどこで知りましたか。(あてはまるものすべてに○)

「病院」が70.0%で最も多く、「友人・知人」が15.7%で続きます。

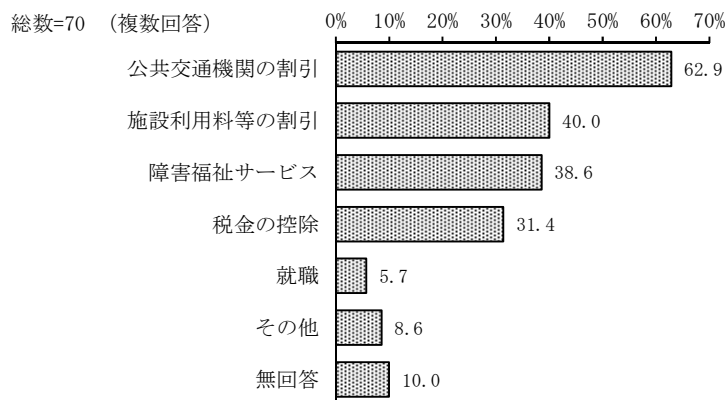
図表3-21 精神障害者保健福祉手帳の制度を知った先



問7-B3 【精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方にかがいます。】精神障害者保健福祉手帳で役立ったことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「公共交通機関の割引」が62.9%で最も多く、「施設利用料等の割引」が40.0%、「障害福祉サービス」が38.6%、「税金の控除」が31.4%で続きます。

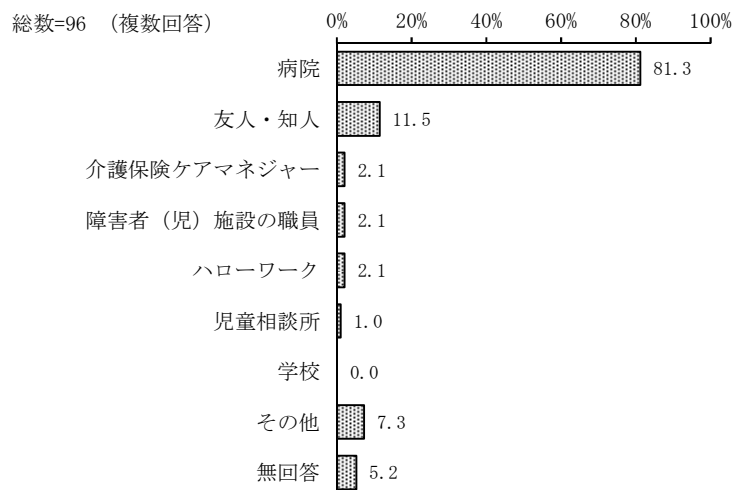
図表3-22 精神障害者保健福祉手帳で役立ったこと



問7-C1 【自立支援医療(精神通院)受給者証をお持ちの方のうち、】  
自立支援医療(精神通院)受給者証の制度をどこで知りましたか。(あてはまるものすべてに○)

「病院」が81.3%で最も多く、「友人・知人」が11.5%で続きます。

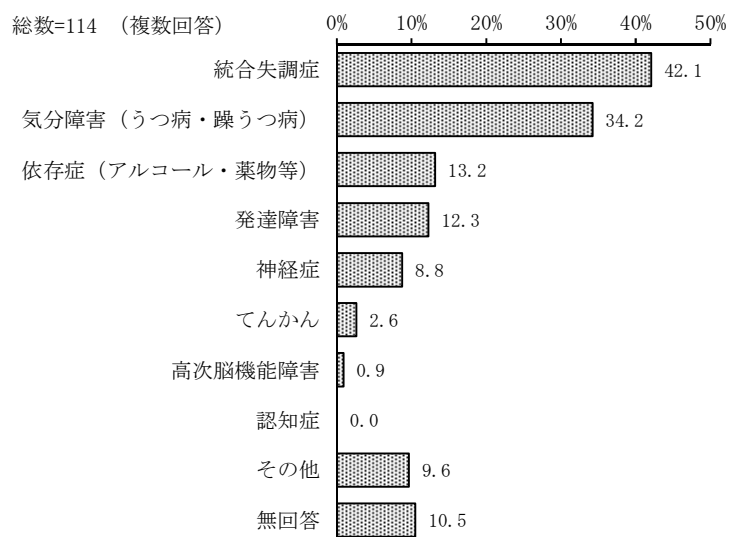
図表 3-23 自立支援医療(精神通院)受給者証の制度を知った先



問7-D1 【精神障害者保健福祉手帳、自立支援医療(精神通院)受給者証をお持ちの方のうち、】あなたには、次の疾患や障害がありますか。(あてはまるものすべてに○)

「統合失調症」が42.1%で最も多く、「気分障害(うつ病・躁うつ病)」が34.2%、「依存症(アルコール・薬物等)」が13.2%、「発達障害」が12.3%で続きます。

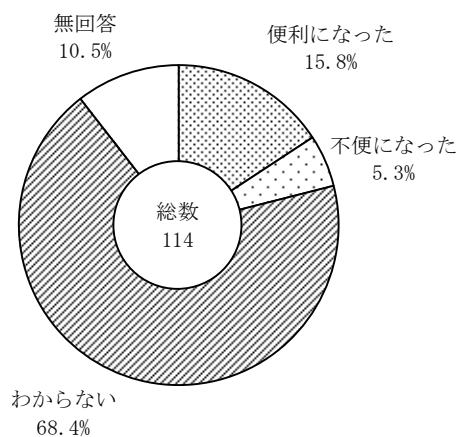
図表 3-24 疾患や障害の種類



問7-D2 【精神障害者保健福祉手帳、自立支援医療（精神通院）受給者証をお持ちの方にかがいます。】精神障害者保健福祉手帳や自立支援医療（精神通院）受給者証の申請窓口は障害福祉課、精神保健に関する相談窓口は保健所になっていますが、そのことで便利になったことや不便を感じたことはありますか。（あてはまる番号1つに○をつけて、その理由もお書きください。）

「わからない」が68.4%、「便利になった」が15.8%、「不便になった」が5.3%となっています。

図表3-25 申請窓口は障害福祉課、相談窓口は保健所になっていることについて



【便利になった理由】

10名が回答しました。

〈主な意見〉

- ・保健所が自宅から近くなり便利になった。
- ・悩みや不安を相談しやすくなった。

【不便になった理由】

5名が回答しました。

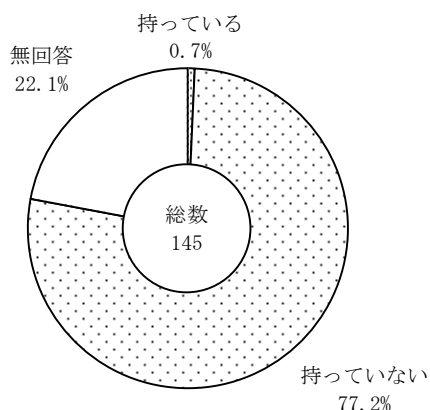
〈主な意見〉

- ・市役所と保健所との2か所の移動が大変になった。
- ・保健所が遠くなり不便になった。
- ・新しい保健所は広いので緊張する。

問8 あなたは、難病のための特定疾患医療受給者票（千葉県特定医療費（指定難病）受給者証等）をお持ちですか。あてはまる番号1つに○をつけて、（ ）内に具体的に記入してください。

「持っている」が0.7%、「持っていない」が77.2%となっています。  
「持っている」回答者は1名で、取得年齢は、「50～59歳」となっています。

図表 3-26 特定疾患医療受給者票取得の有無



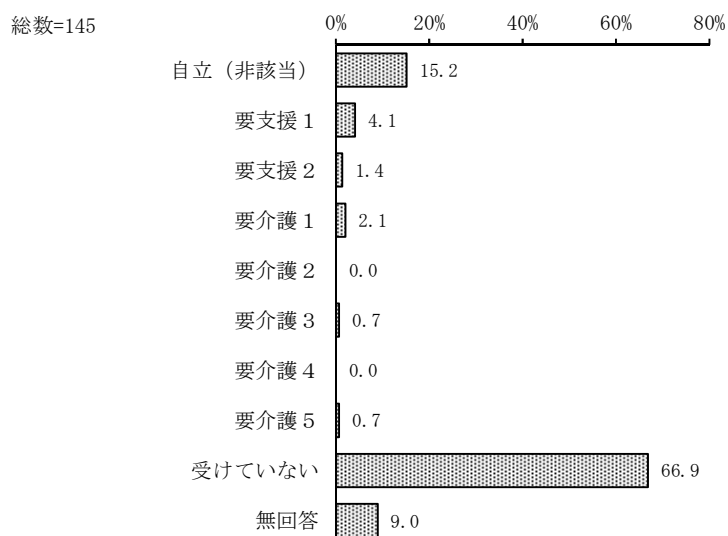
図表 3-27 特定疾患医療受給者票を取得した年齢

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	1	100.0
30～39歳	-	-
40～49歳	-	-
50～59歳	1	100.0
60～64歳	-	-
65～69歳	-	-
70～74歳	-	-
75～79歳	-	-
80歳以上	-	-
無回答	-	-

問9 あなたは、介護保険法に基づく要介護認定を受けていますか。（どれか1つに○）

「受けていない」が66.9%で最も多く、「自立（非該当）」が15.2%、「要支援1」が4.1%、「要介護1」が2.1%が続きます。

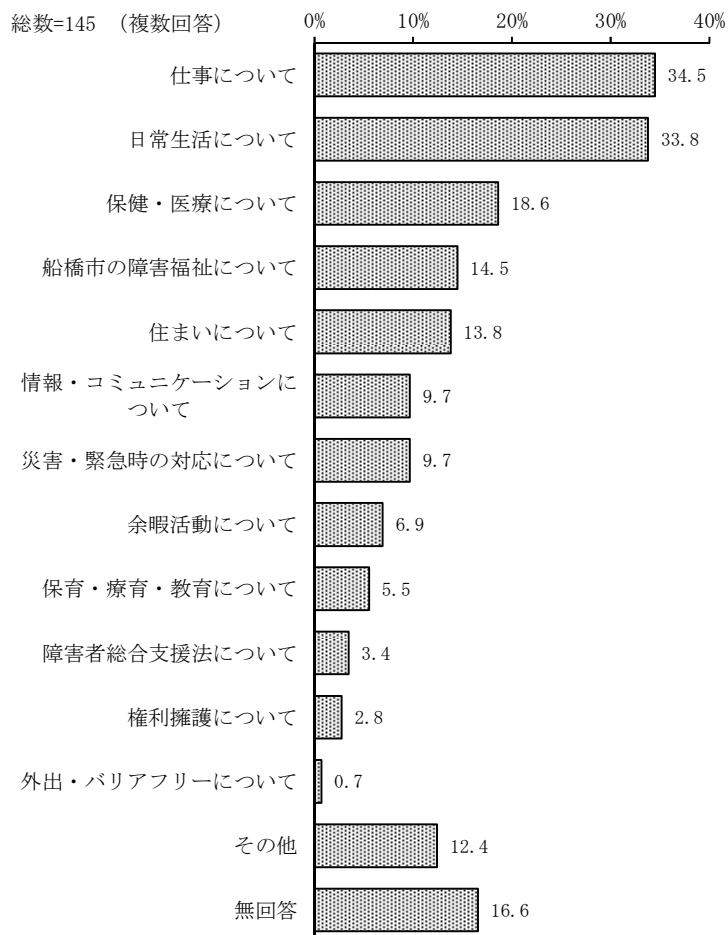
図表 3-28 要介護認定を受けていますか



問 10 現在あなたは、誰かに相談したいことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

「仕事について」が34.5%で最も多く、「日常生活について」が33.8%、「保健・医療について」が18.6%で続きます。

図表 3-29 誰かに相談したいこと

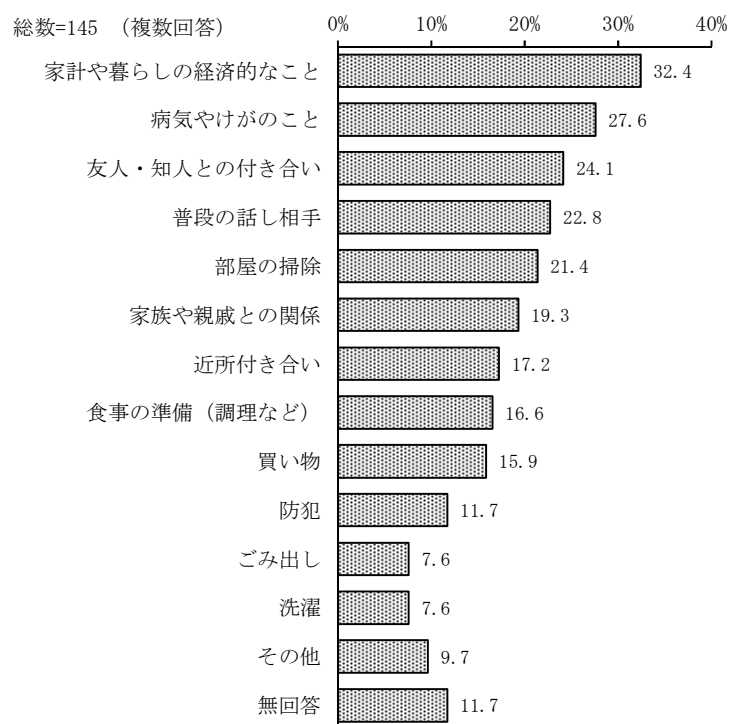


## 【3】日常生活についてうかがいます。

問 11 あなたは、ふだんの生活で気になったり、困ったりしていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

「家計や暮らしの経済的なこと」が32.4%で最も多く、「病気やけがのこと」が27.6%、「友人・知人との付き合い」が24.1%、「普段の話し相手」が22.8%で続きます。

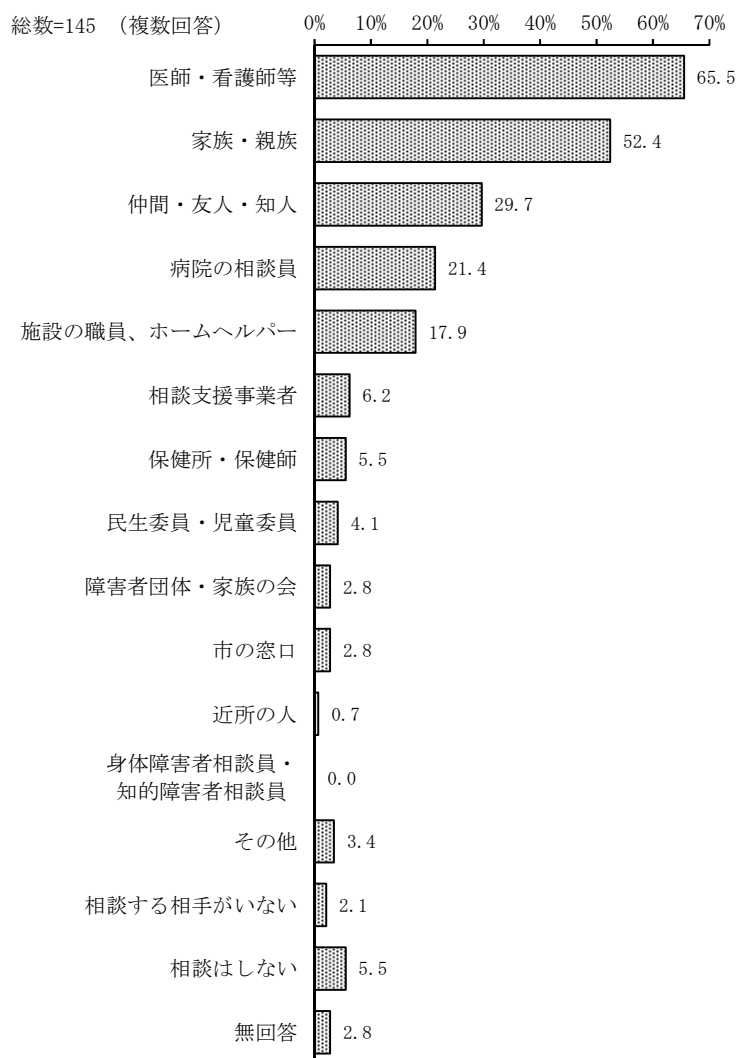
図表 3-30 ふだんの生活で気になったり、困っていること



問 12 あなたは、精神的な問題やこころの健康について、どなたに相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

「医師・看護師等」が65.5%で最も多く、「家族・親族」が52.4%、「仲間・友人・知人」が29.7%、「病院の相談員」が21.4%で続きます。

図表 3- 31 困ったことや悩み事の相談先

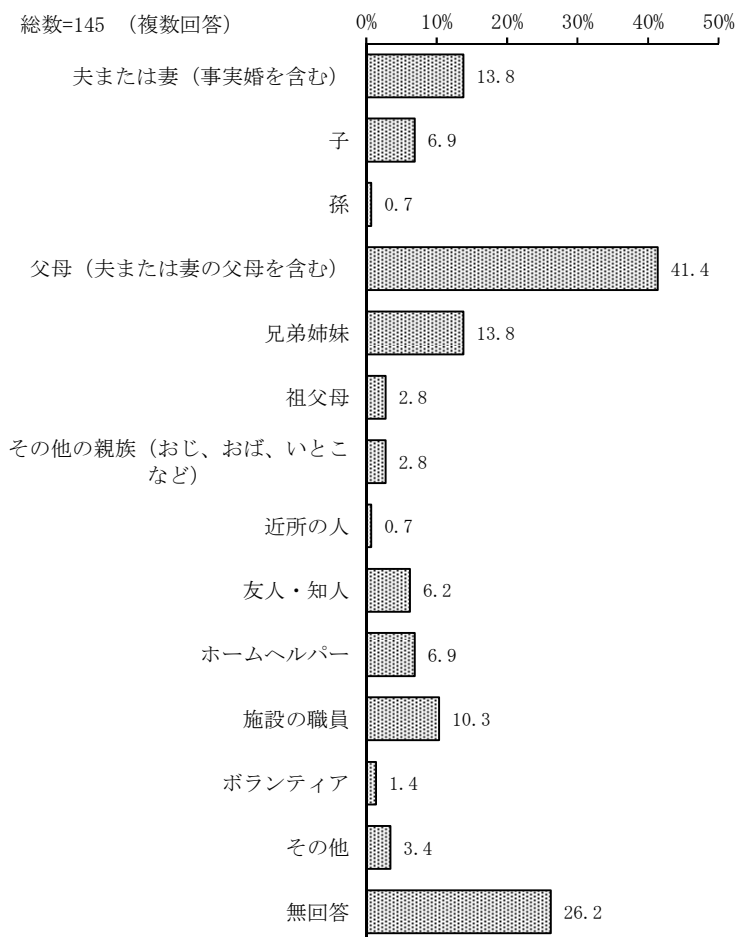




問 13 あなたは身の回りのことについて、どなたから支援を受けていますか。  
 (あてはまるものすべてに○、最も機会が多い人には◎)

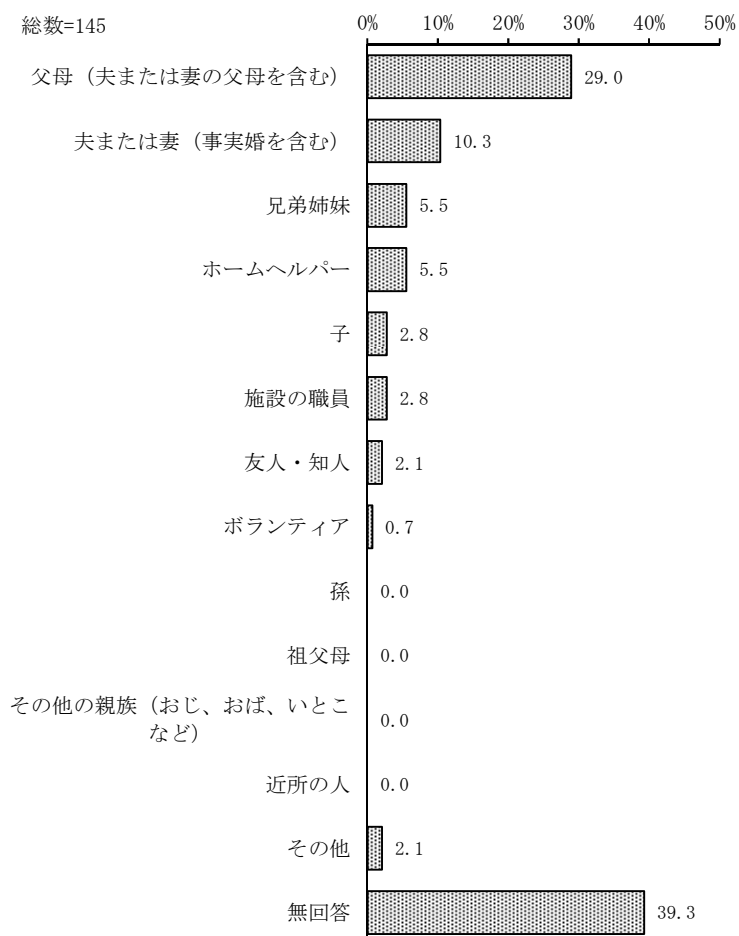
「父母（夫または妻の父母を含む）」が41.4%で最も多く、「夫または妻（事実婚を含む）」、「兄弟姉妹」が13.8%、「施設の職員」が10.3%で続きます。

図表 3-32 支援を受けている人（支援者との関係）



最も機会が多い人は、「父母（夫または妻の父母を含む）」が29.0%で最も多く、「夫または妻（事実婚を含む）」が10.3%で続きます。

図表 3- 33 最も支援を受ける機会の多い人（支援者との関係）

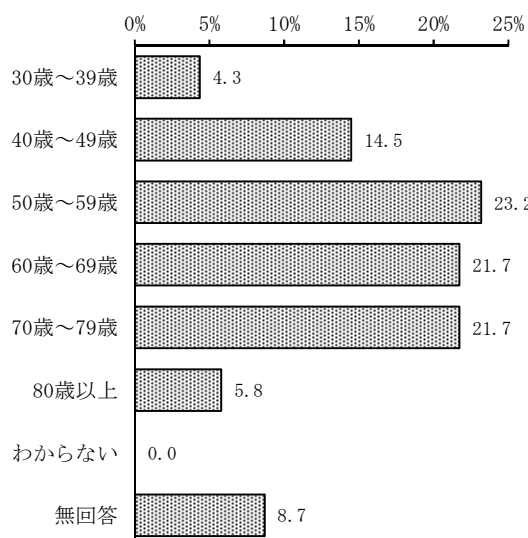


問 13-1 【問 13 で 1～7 に◎をつけた方にうかがいます。】主な支援者は何歳くらいの方ですか。(どれか1つに○)

- ※ 1. 夫または妻（事実婚を含む） 2. 子 3. 孫 4. 父母（夫または妻の父母を含む） 5. 兄弟姉妹  
6. 祖父母 7. その他の親族（おじ、おば、いとこなど）

「50歳～59歳」が23.2%  
で最も多く、「60歳～69歳」、  
「70歳～79歳」が21.7%、  
「40歳～49歳」が14.5%  
で続きます。

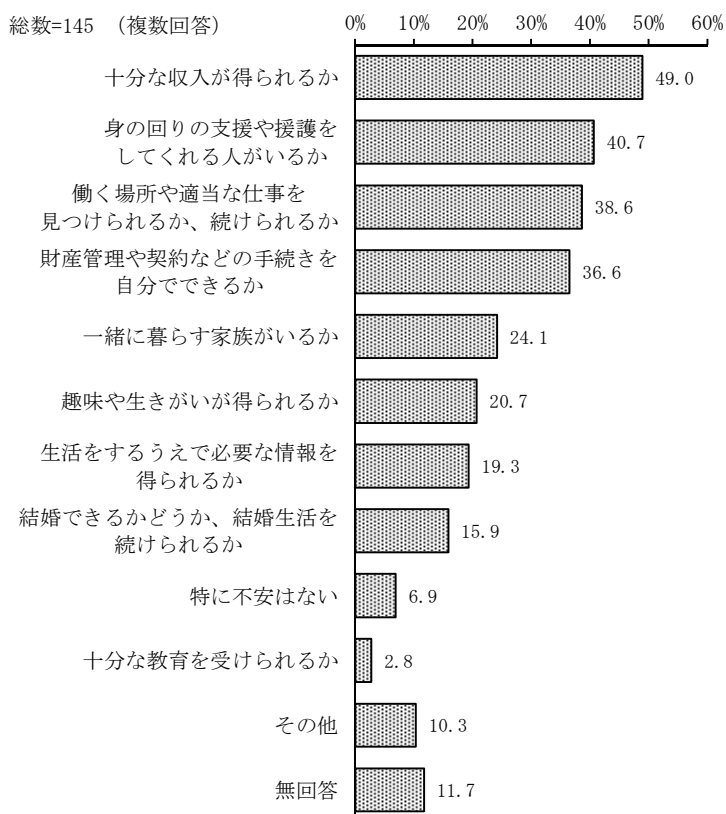
図表 3-34 主な支援者の年齢



問 14 あなたは支援者亡きあとの生活を考えた時、どのような不安がありますか。(あてはまるものすべてに○)

「十分な収入が得られるか」が49.0%で最も多く、「身の回りの支援や援護をしてくれる人がいるか」が40.7%、「働く場所や適当な仕事を見つけられるか、続けられるか」が38.6%、「財産管理や契約などの手続きを自分でできるか」が36.6%で続きます。

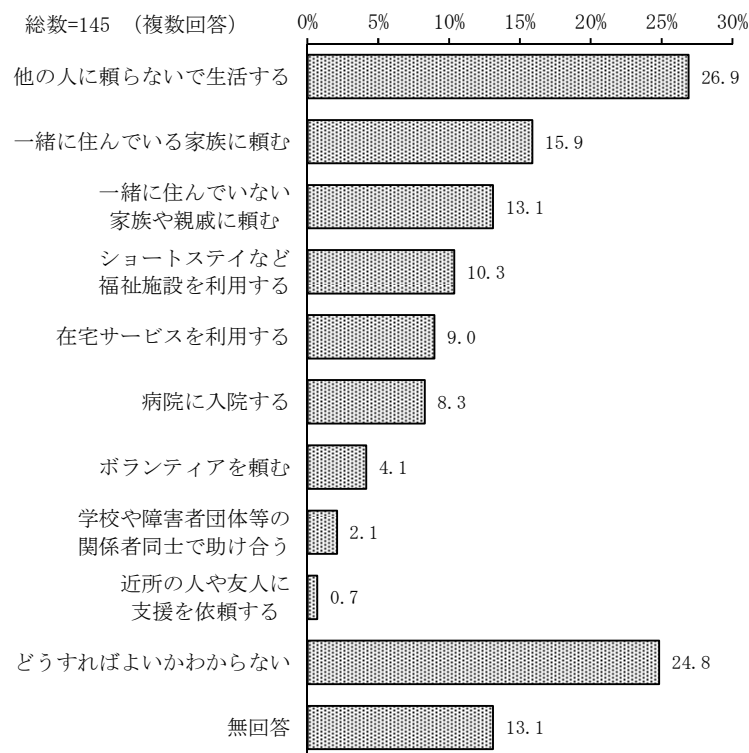
図表 3-35 支援者亡きあとの生活で不安なこと



問 15 もし、いつも支援をしてくれる方が病気などで支援できなくなった場合、あなたはどのようにしますか。(あてはまるものすべてに○)

「他の人に頼らないで生活する」が26.9%で最も多く、「一緒に住んでいる家族に頼む」が15.9%、「一緒に住んでいない家族や親戚に頼む」が13.1%、「ショートステイなど福祉施設を利用する」が10.3%で続きます。

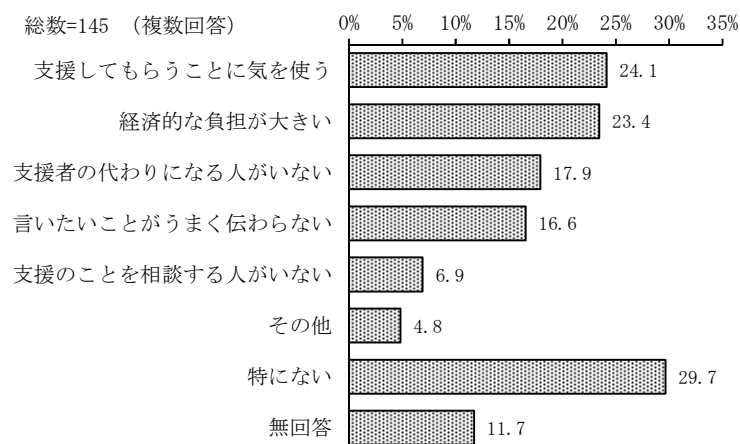
図表 3-36 支援者が支援できなくなった場合の対応



問 16 あなたが支援を受ける上で困っていることは、どのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

「支援してもらうことに気を使う」が24.1%で最も多く、「経済的な負担が大きい」が23.4%、「支援者の代わりになる人がいない」が17.9%、「言いたいことがうまく伝わらない」が16.6%で続きます。

図表 3-37 支援を受ける上で困っていること

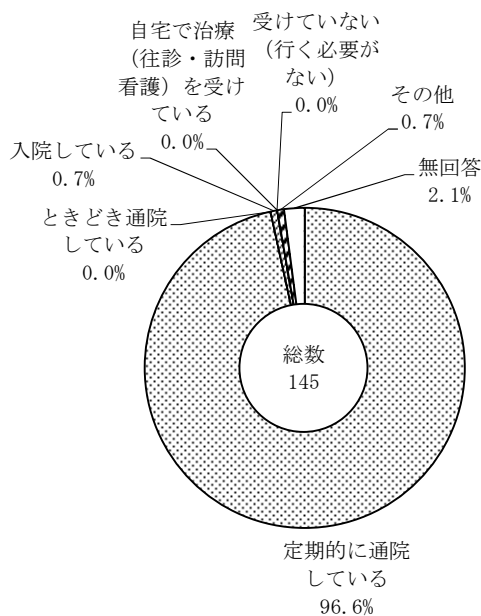


【4】保健・医療についてうかがいます。

問 17 あなたは、現在、医療を受けていますか。(どれか1つに○)

「定期的に通院している」が96.6%、  
「入院している」、「その他」が0.7%  
となっています。

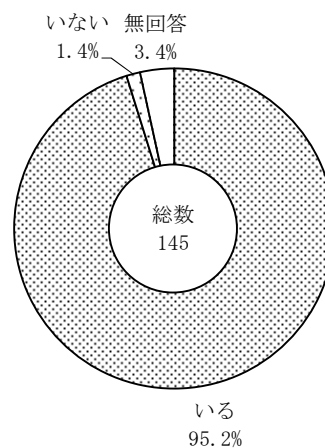
図表 3-38 現在、医療を受けていますか



問 18 あなたには、よく診察してもらう「かかりつけ医」がいますか。(どれか1つに○)

「いる」が95.2%、「いない」が1.4%  
となっています。

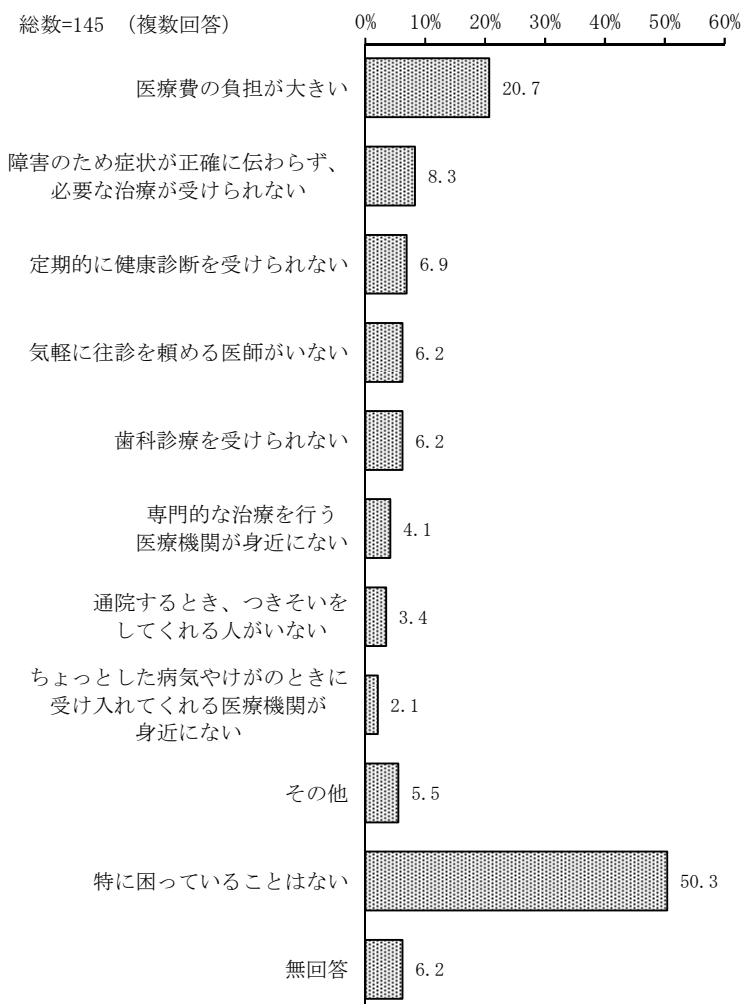
図表 3-39 かかりつけ医の有無



問 19 あなたが医療を受けるときや、健康管理で困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「医療費の負担が大きい」が20.7%で最も多く、「障害のため症状が正確に伝わらず、必要な治療が受けられない」が8.3%、「定期的に健康診断を受けられない」が6.9%、「気軽に往診を頼める医師がいない」、「歯科診療を受けられない」が6.2%で続きます。

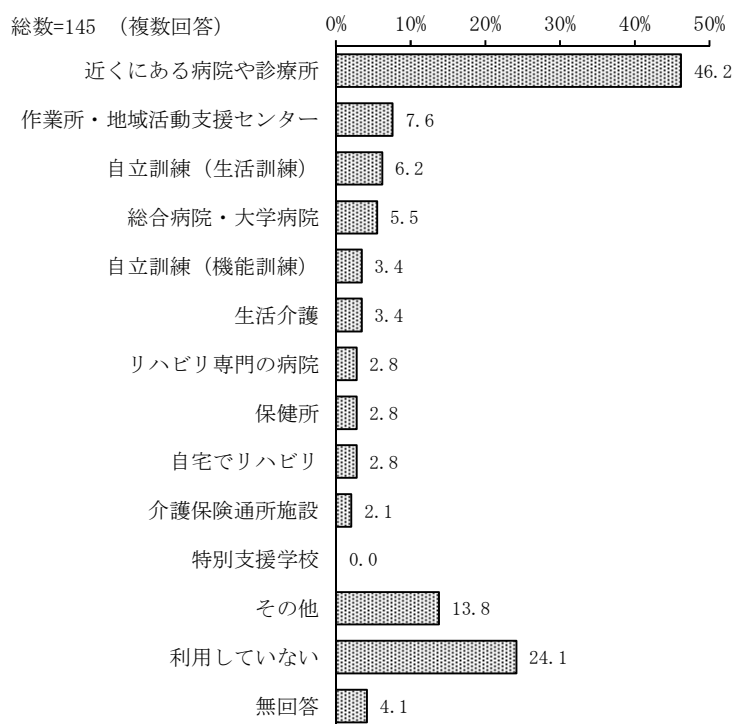
図表 3-40 医療を受けるときや健康管理で困ること



問 20 あなたは、障害の機能回復や悪化を防ぐために、病院や訓練施設を利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

「近くにある病院や診療所」が46.2%で最も多く、「作業所・地域活動支援センター」が7.6%、「自立訓練（生活訓練）」が6.2%、「総合病院・大学病院」が5.5%で続きます。

図表 3- 41 病院や訓練施設の利用状況

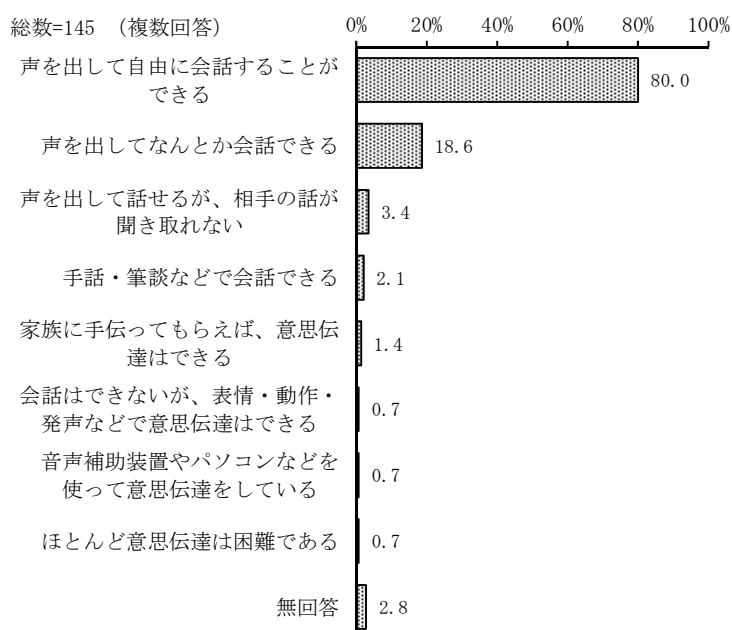


## 【5】情報・コミュニケーションについてうかがいます。

問 21 あなたは、日頃どのようにコミュニケーション（会話や意思の伝達）をとることができますか。(あてはまるものすべてに○)

「声を出して自由に会話することができる」が80.0%で最も多く、「声を出してなんとか会話できる」が18.6%で続きます。

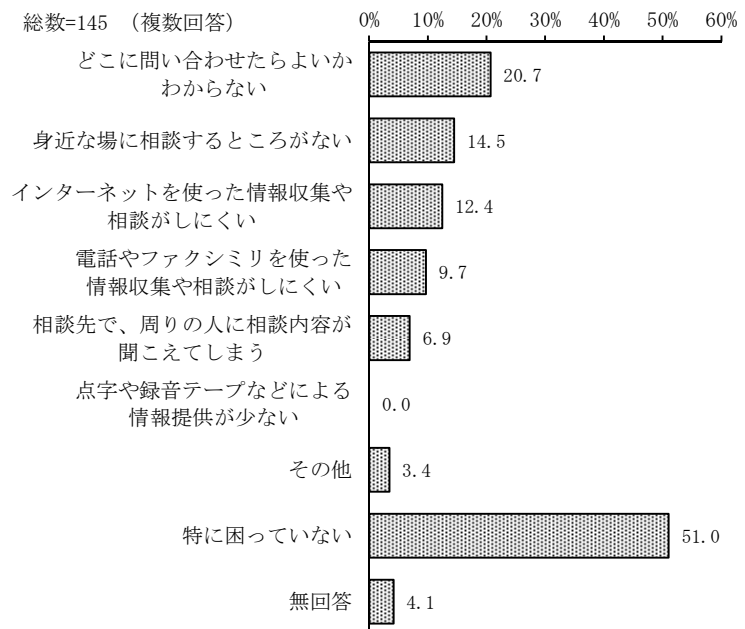
図表 3- 42 コミュニケーション（会話や意思の伝達）の程度



問22 あなたが情報収集や相談をするときに困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「どこに問い合わせたらよいかわからない」が20.7%で最も多く、「身近な場に相談するところがない」が14.5%、「インターネットを使った情報収集や相談がしにくい」が12.4%で続きます。

図表 3- 43 情報収集や相談をするときに困ること

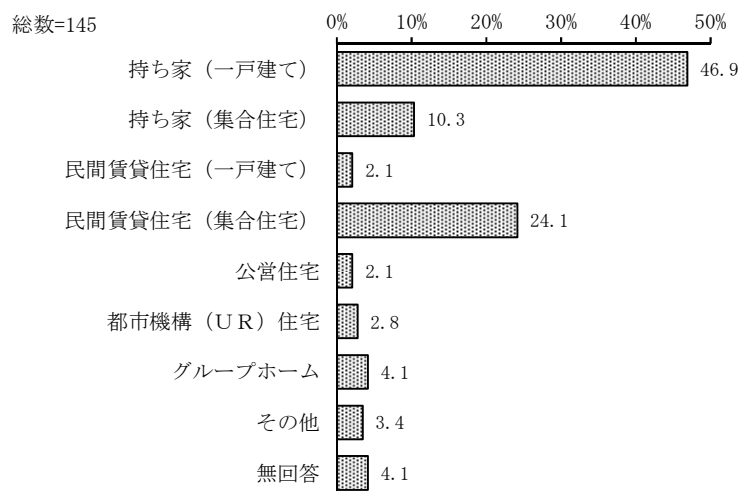


【6】お住まいについてうかがいます。

問23 あなたは、現在どのようなところにお住まいですか。(どれか1つに○)

「持ち家（一戸建て）」が46.9%で最も多く、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が24.1%、「持ち家（集合住宅）」が10.3%で続きます。

図表 3- 44 現在の住まい

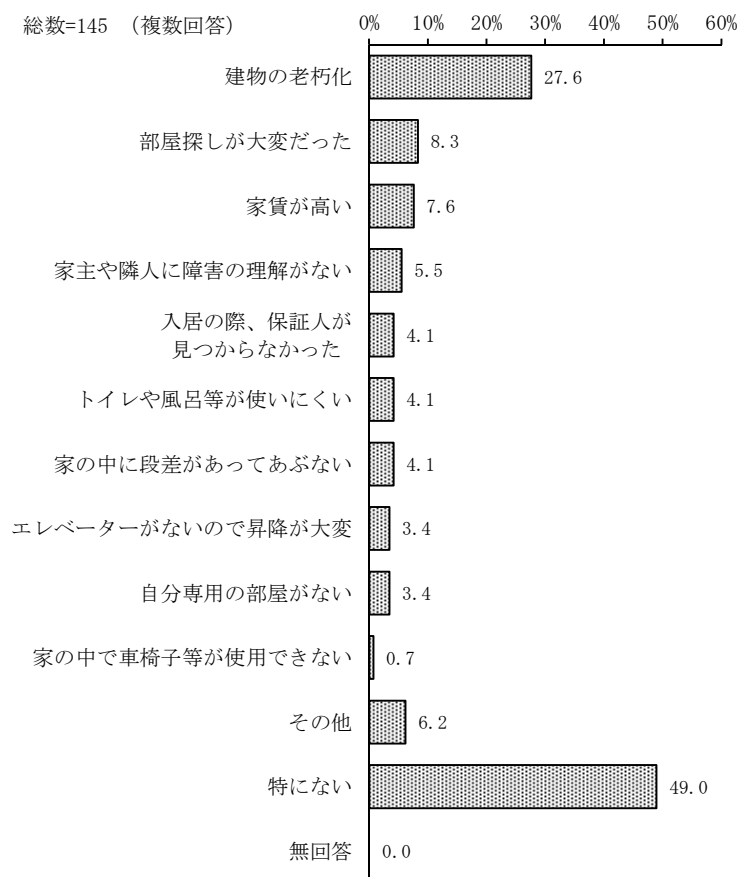




問24 あなたが今のお住まいで困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「建物の老朽化」が27.6%で最も多く、「部屋探しが大変だった」が8.3%、「家賃が高い」が7.6%、「家主や隣人に障害の理解がない」が5.5%で続きます。

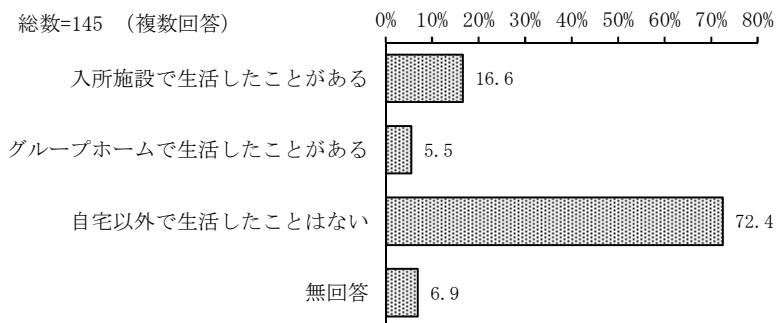
図表3-45 今の住まいで困っていること



問 25 あなたはこれまで、自宅以外の入所施設やグループホームで生活したことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

「自宅以外で生活したことはない」が72.4%、「入所施設で生活したことがある」が16.6%、「グループホームで生活したことがある」が5.5%となっています。

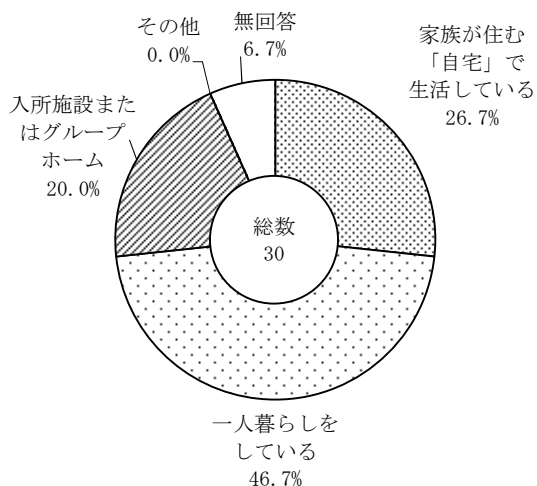
図表 3-46 自宅以外で生活したこと



問 25-1 【自宅以外で生活した経験がある方にうかがいます。】あなたが現在生活している場所を以下からお選びください。(どれか1つに○)

「一人暮らしをしている」が46.7%、「家族が住む「自宅」で生活している」が26.7%、「入所施設またはグループホーム」が20.0%となっています。

図表 3-47 現在生活している場所



問 25-2 【自宅以外で生活した経験がある方にうかがいます。】施設やグループホームから自宅や一人暮らしへの生活に移行した際に良かったことや困ったことは何ですか。

【良かったこと】

18名が、回答しました。

〈主な意見〉

- ・自宅なのでプライバシーが確保できた。
- ・自分のことが一人で出来た。
- ・何にでも汚くならないよう掃除を習ったこと。

【困ったこと】

13名が回答しました。

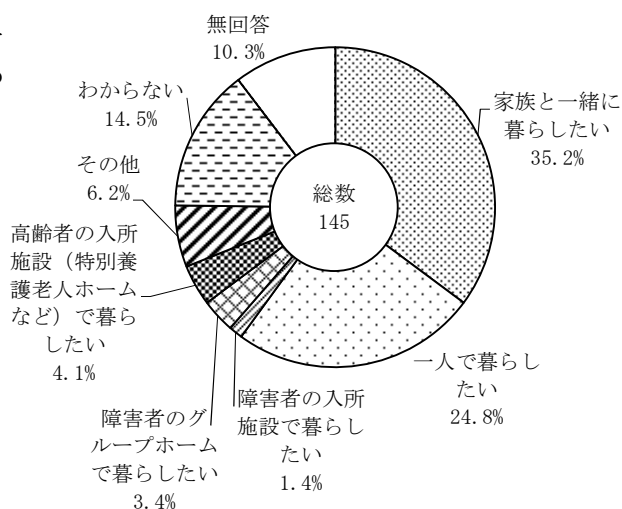
〈主な意見〉

- ・全て自分でやらなければならなくなった。
- ・近くにコンビニがない。
- ・食べ過ぎてしまう。

問26 あなたは、将来どのように暮らしたいですか。(どれか1つに○)

「家族と一緒に暮らしたい」が35.2%で最も多く、「一人で暮らしたい」が24.8%、「わからない」が14.5%で続きます。

図表3-48 将来希望する暮らし方



問26-1 【問26で4を選んだ方にうかがいます。】いつ頃障害者のグループホームに入居したいと考えていますか。(どれか1つに○)

※ 4. 障害者のグループホームで暮らしたい

この設問の回答者は5名で、「すでに入居している」が3名、「将来的には入居したい」が2名となっています。

図表3-49 障害者のグループホームへの入居を希望する時期

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	5	100.0
今すぐ入居したい	-	-
将来的には入居したい	2	40.0
すでに入居している	3	60.0
その他	-	-
無回答	-	-

問26-2 【問26-1で1を選んだ方にうかがいます。】障害者のグループホームに今すぐ入居したいと考えているのに入居していない理由は何ですか。（どれか1つに○）

※ 1. 今すぐ入居したい

この設問には、回答者がありません。

問26-3 【問26-1で2を選んだ方にうかがいます。】障害者のグループホームに何年後くらいに入居したいと考えていますか。（どれか1つに○）

※ 2. 将来的には入居したい

この設問の回答者は2名で、「7～10年後」、「いつかは決めていないがいずれ入居したい」と回答しています。

図表3-50 障害者のグループホームに入居したい時期

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	2	100.0
1～3年後	-	-
4～6年後	-	-
7～10年後	1	50.0
10年以上先	-	-
いつかは決めていないがいずれ入居したい	1	50.0
無回答	-	-

問26-4 【問26-1で1、2を選んだ方にうかがいます。】障害者のグループホームに入居したいと考えている理由は何ですか。（どれか1つに○）

※ 1. 今すぐ入居したい 2. 将来的には入居したい

この設問の回答者は2名で、「親の高齢化などにより家族との生活が困難になってきたから」、「親なき後が心配だから」と回答しています。

図表3-51 障害者のグループホームに入居したい理由

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	2	100.0
親の高齢化などにより 家族との生活が困難になってきたから	1	50.0
自宅を離れて自立した生活をしたいから	-	-
親なき後が心配だから	1	50.0
その他	-	-
無回答	-	-

問 26-5 【問 26-1 で 1、2 を選んだ方にうかがいます。】 障害者のグループホームに入居するとしたら、どんな基準でグループホームを選びますか。  
(あてはまるものすべてに○)

※ 1. 今すぐ入居したい 2. 将来的には入居したい

この設問の回答者は2名で、「建物、設備が新しいところ」が2名、「グループホームの定員数」が1名回答しています。

図表 3-52 障害者のグループホームを選ぶ基準

項目名 【複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	2	100.0
自宅に近いところ	-	-
就労先、通所先に近いところ	-	-
通所先と同じ法人等が運営しているところ	-	-
建物、設備が新しいところ	2	100.0
グループホームの定員数	1	50.0
その他	-	-
無回答	-	-

## 【7】保育・教育・療育についてうかがいます。

問 27 現在、あなたが通園・通学しているところはどこですか。(どれか1つに○)

この設問の回答者は5名で「中学校(普通学級)」が2名、「専修学校・専門学校」、「大学・短期大学・大学院」、「特に通学はしていない」が1名回答しています。

図表 3-53 通学先【学齢期から25歳未満】

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	5	100.0
小学校(普通学級)	-	-
小学校(特別支援学級)	-	-
特別支援学校小学部	-	-
中学校(普通学級)	2	40.0
中学校(特別支援学級)	-	-
特別支援学校中学部	-	-
特別支援学校高等部	-	-
高等技術専門校	-	-
高等学校	-	-
専修学校・専門学校	1	20.0
大学・短期大学・大学院	1	20.0
その他	-	-
特に通学はしていない	1	20.0
無回答	-	-

問 28 あなたは、中学校・高等学校卒業後の進路について、どのように考えていますか。(どれか1つに○)

この設問の回答者は5名で「高等学校・大学・短期大学に進学したい」が3名、「一般企業や役所に就職したい」が2名回答しています。

図表 3-54 中学校・高等学校卒業後の進路希望

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	5	100.0
高等学校・大学・短期大学に進学したい	3	60.0
専修学校・専門学校に進学したい	-	-
高等技術専門校に進学したい	-	-
一般企業や役所に就職したい	2	40.0
通所施設（作業所等を含む）を利用したい	-	-
障害者の入所施設を利用したい	-	-
特に考えていない	-	-
その他	-	-
無回答	-	-

問 29 【就学前の方の保護者にうかがいます。】お子さんの保育や療育について困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

この設問には、回答者がありません。

問 30 【特別支援学校（幼稚部を除く）・小学校・中学校・高等学校在学中の方の保護者にうかがいます。】保護者の方が、学校や教育について困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

この設問の回答者は2名で、「学校卒業後の進路に不安がある」が1名回答しています。

図表 3-55 学校や教育について困っていること

項目名 【9つまでの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	2	100.0
学校卒業後の進路に不安がある	1	50.0
学校や教育に関する情報が少ない	-	-
通学の送り迎えが大変	-	-
教職員の指導や支援の仕方が心配	-	-
友達との関係づくりがうまくできない	-	-
学校のカリキュラムが本人に合わない	-	-
今後の学校選択	-	-
相談できる人や機会が少ない	-	-
特に困っていることはない	-	-
その他	-	-
無回答	1	50.0

問31 【18歳未満の方にうかがいます。】あなたは、障害のある児童のための次のようなサービスを利用していますか。（あてはまるものすべてに○）

この設問の回答者は2名で、2名とも「利用していない」と回答しています。

図表3-56 障害のある児童のためのサービスの利用状況

項目名【5つまでの複数回答】	集計値	構成比(%)
全体	2	100.0
児童発達支援	-	-
医療型児童発達支援	-	-
放課後等デイサービス	-	-
保育所等訪問支援	-	-
障害児相談支援	-	-
利用していない	2	100.0
無回答	-	-

問31-1 【問31で1~5を選んだ方にうかがいます。】あなたは、利用しているサービスに満足していますか。（どれか1つに○）

- ※ 1. 児童発達支援 2. 医療型児童発達支援 3. 放課後等デイサービス 4. 保育所等訪問支援  
5. 障害児相談支援

この設問には、回答者がありません。

問31-2 【問31-1で4を選んだ方にうかがいます。】あなたが満足していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- ※ 4. 満足していない

この設問には、回答者がありません。

問32 【18歳未満の方にうかがいます。】今後、あなたは障害のある児童のための次のサービスを利用したいと思いませんか。現在利用している方もお答えください。（あてはまるものすべてに○）

この設問の回答者は2名で、「放課後等デイサービス」、「利用したいとは思わない」と回答しています。

図表3-57 障害のある児童のためのサービスの利用意向

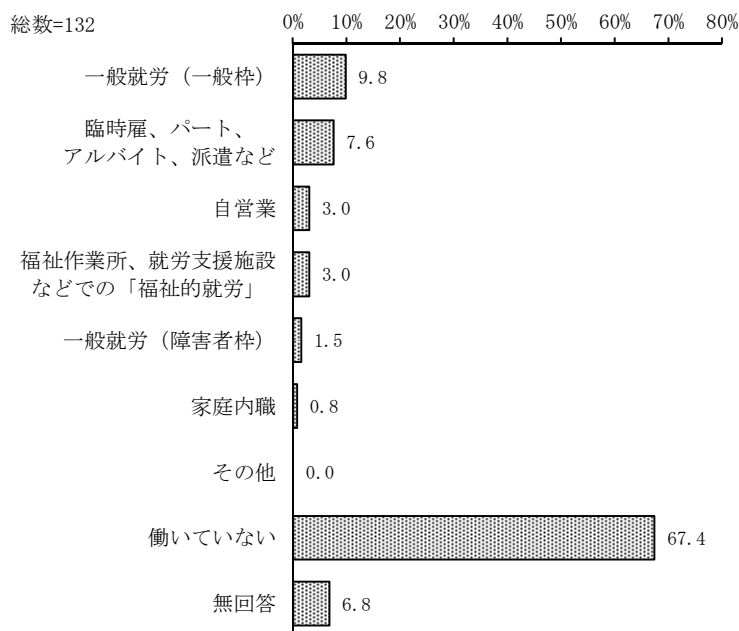
項目名【5つまでの複数回答】	集計値	構成比(%)
全体	2	100.0
児童発達支援	-	-
医療型児童発達支援	-	-
放課後等デイサービス	1	50.0
保育所等訪問支援	-	-
障害児相談支援	-	-
利用したいとは思わない	1	50.0
無回答	-	-

【8】仕事についてうかがいます。

問33 あなたは、現在働いて（収入のある仕事に就いて）いますか。（どれか一つに○）

「働いていない」が67.4%で最も多く、「一般就労（一般枠）」が9.8%、「臨時雇、パート、アルバイト、派遣など」が7.6%で続きます。

図表 3-58 就労の有無と種類



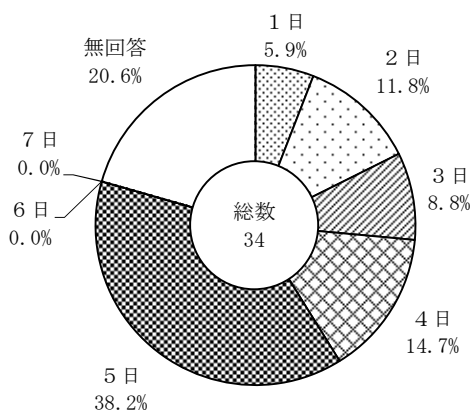
問33-1 【問33で1～7を選んだ方にうかがいます。】あなたは、週に何日間・合計何時間程度働いていますか。（ ）内に数字を記入してください。

- ※ 1. 一般就労（一般枠） 2. 一般就労（障害者枠） 3. 臨時雇、パート、アルバイト、派遣など  
4. 自営業 5. 家庭内職 6. 福祉作業所、就労支援施設などでの「福祉的就労」 7. その他

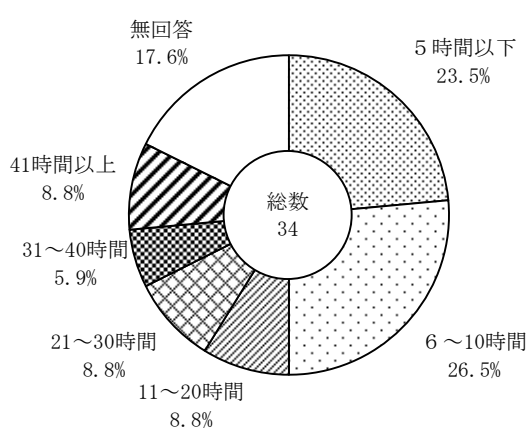
1週間あたりの就労日数は、「5日」が38.2%で最も多く、「4日」が14.7%、「2日」が11.8%、「3日」が8.8%で続きます。

1週間あたりの就労時間は、「6～10時間」が26.5%で最も多く、「5時間以下」が23.5%、「11～20時間」、「21～30時間」、「41時間以上」が8.8%で続きます。

図表 3-59 1週間に働く日数



図表 3-60 1週間に働く時間の合計



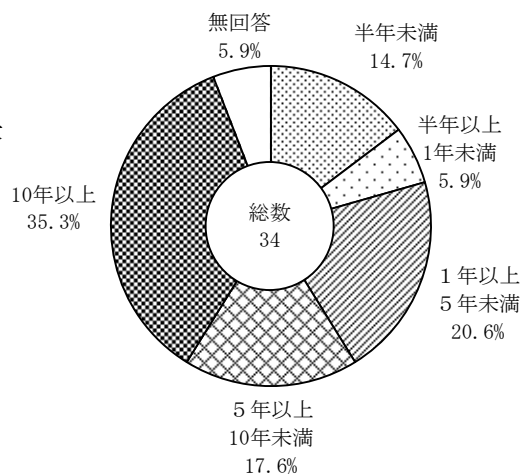


問33-2 【問33で1~7を選んだ方にうかがいます。】あなたは、今の仕事をどれくらいの期間続けていますか。(どれか1つに○)

- ※ 1. 一般就労（一般枠） 2. 一般就労（障害者枠） 3. 臨時雇、パート、アルバイト、派遣など  
4. 自営業 5. 家庭内職 6. 福祉作業所、就労支援施設などでの「福祉的就労」 7. その他

図表3-61 今の仕事を続けている期間

「10年以上」が35.3%で最も多く、「1年以上5年未満」が20.6%、「5年以上10年未満」が17.6%、「半年未満」が14.7%で続きます。

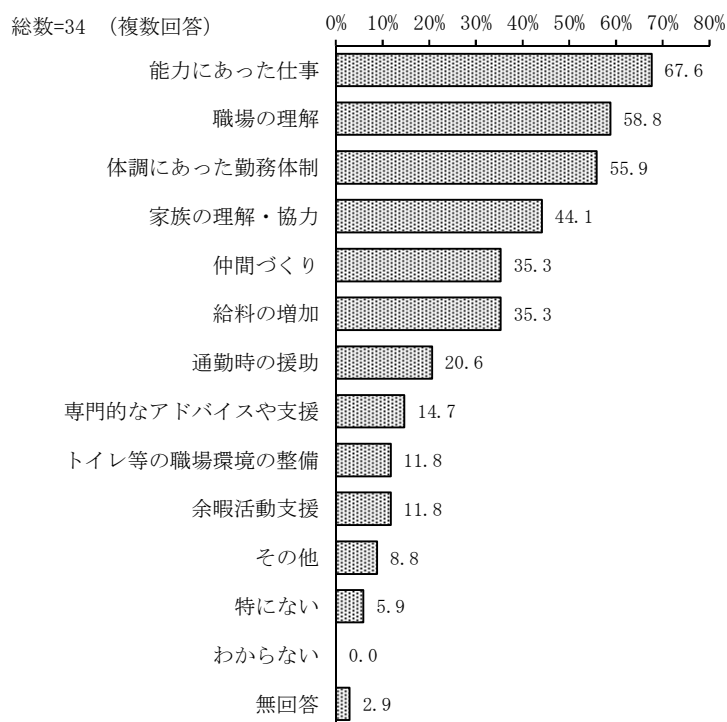


問33-3 【問33で1~7を選んだ方にうかがいます。】長期的に働くためにはどのようなことが必要だと考えますか。(あてはまるものにすべてに○)

- ※ 1. 一般就労（一般枠） 2. 一般就労（障害者枠） 3. 臨時雇、パート、アルバイト、派遣など  
 4. 自営業 5. 家庭内職 6. 福祉作業所、就労支援施設などでの「福祉的就労」 7. その他

「能力にあった仕事」が67.6%で最も多く、「職場の理解」が58.8%、「体調にあった勤務体制」が55.9%、「家族の理解・協力」が44.1%で続きます。

図表 3-62 長期的に働くために必要なこと

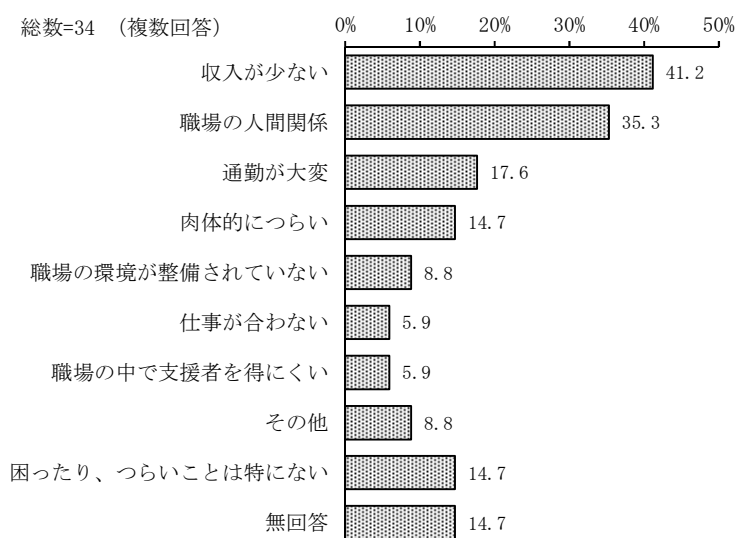


問33-4 【問33で1~7を選んだ方にうかがいます。】あなたが仕事をする上で、困ることや、つらいことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- ※ 1. 一般就労（一般枠） 2. 一般就労（障害者枠） 3. 臨時雇、パート、アルバイト、派遣など  
4. 自営業 5. 家庭内職 6. 福祉作業所、就労支援施設などでの「福祉的就労」 7. その他

「収入が少ない」が41.2%で最も多く、「職場の人間関係」が35.3%、「通勤が大変」が17.6%で続きます。

図表 3-63 仕事で困ることや、つらいこと

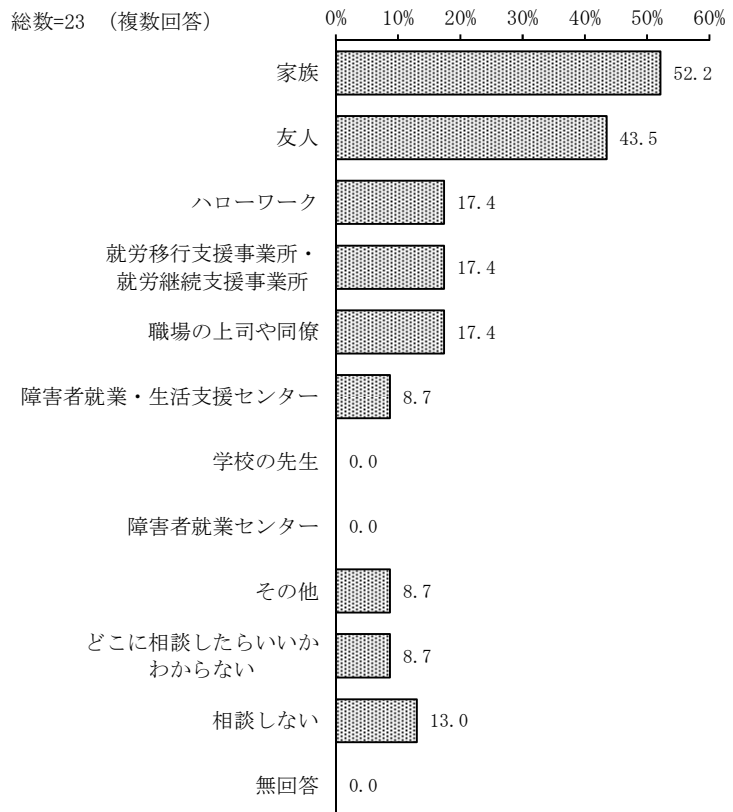


問 33-5 【問 33-4 で 1~8 を選んだ方にうかがいます。】あなたは仕事に関することをどこに相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

- ※ 1. 通勤が大変 2. 収入が少ない 3. 肉体的につらい 4. 仕事が合わない 5. 職場の人間関係  
6. 職場の環境が整備されていない 7. 職場の中で支援者を得にくい 8. その他

「家族」が52.2%で最も多く、「友人」が43.5%、「ハローワーク」、「就労移行支援事業所・就労継続支援事業所」、「職場の上司や同僚」が17.4%で続きます。

図表 3-64 仕事に関することの相談先



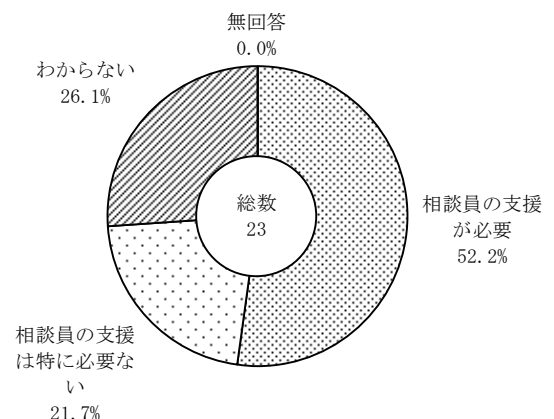
問 33-6 【問 33-4 で 1~8 を選んだ方にうかがいます。】就労について、軌道にのるまで相談員の支援が必要だと思いますか。(どれか1つに○)

- ※ 1. 通勤が大変 2. 収入が少ない 3. 肉体的につらい 4. 仕事が合わない 5. 職場の人間関係  
6. 職場の環境が整備されていない 7. 職場の中で支援者を得にくい 8. その他

「相談員の支援が必要」が52.2%、「わからない」が26.1%、「相談員の支援は特に必要ない」が21.7%となっています。

図表 3-65

就労が軌道にのるまで相談員の支援が必要だと思いますか

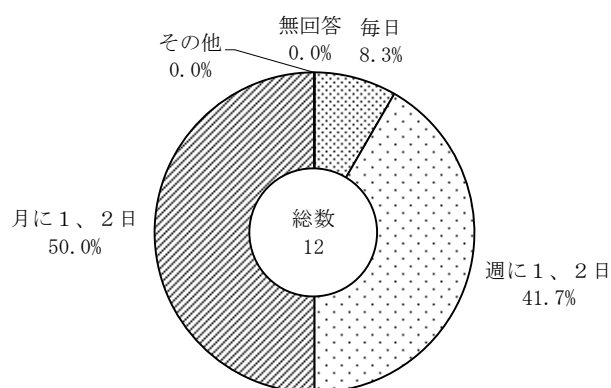


問 33-7 【問 33-6 で 1 を選んだ方にうかがいます。】就労について軌道にのるまで相談員の支援が必要な場合に、どのくらいの頻度で訪問してほしいと思いますか。(どれか1つに○)

※ 1. 相談員の支援が必要

「月に1、2日」が50.0%、「週に1、2日」が41.7%、「毎日」が8.3%となっています。

図表 3-66 相談員の訪問頻度

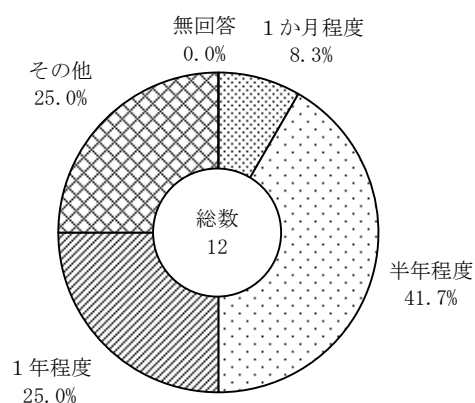


問 33-8 【問 33-6 で 1 を選んだ方にうかがいます。】就労について軌道にのるまで相談員の支援が必要な場合に、どのくらいの期間、支援してほしいと思いますか。(どれか1つに○)

※ 1. 相談員の支援が必要

「半年程度」が41.7%、「1年程度」、  
「その他」が25.0%、「1ヶ月程度」が8.3%となっています。

図表 3-67 相談員の支援期間

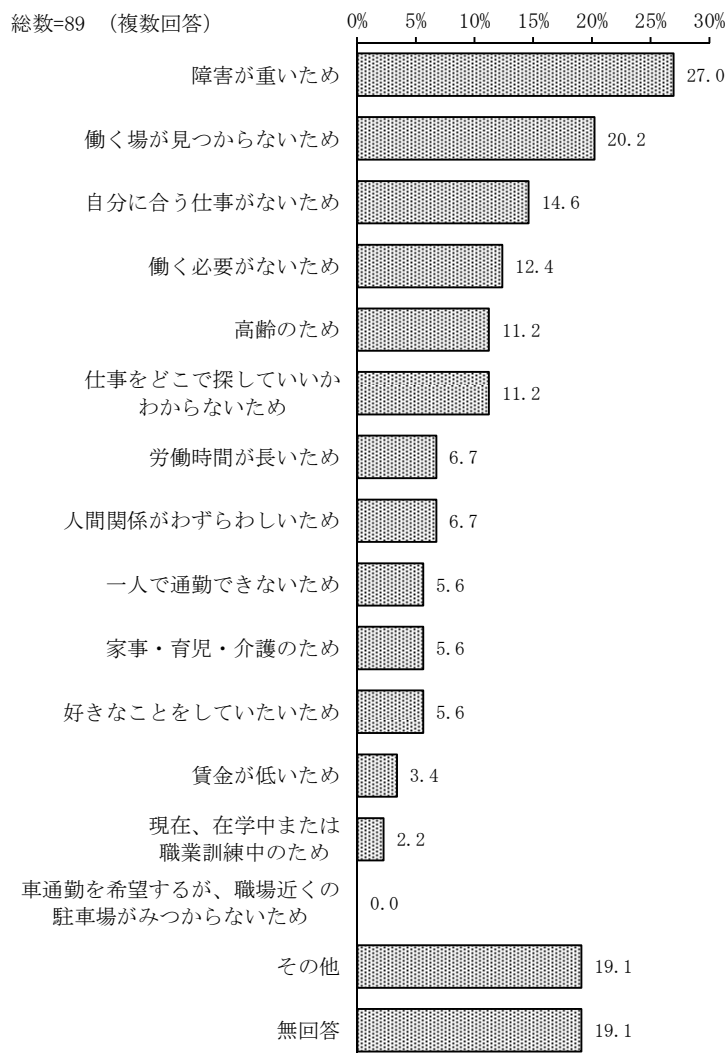


問33-9 【問33で8を選んだ方にうかがいます。】あなたが仕事に就いていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

※ 8. 働いていない

「障害が重いため」が27.0%で最も多く、「働く場が見つからないため」が20.2%、「自分に合う仕事がないため」が14.6%、「働く必要がないため」が12.4%で続きます。

図表3-68 就労していない理由

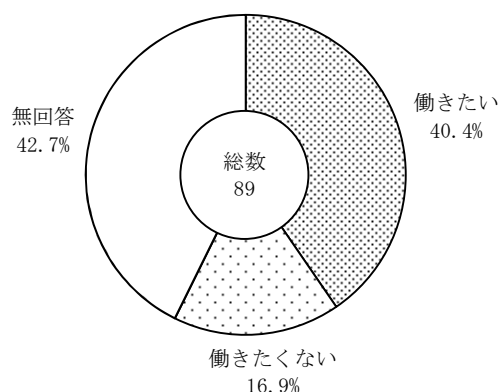


問 33-10 【問 33 で 8 を選んだ方にうかがいます。】あなたは今後、良い条件が整っているところがあれば、働きたいと思いますか。(どれか1つに○)

※ 8. 働いていない

「働きたい」が40.4%、「働きたくない」が16.9%となっています。

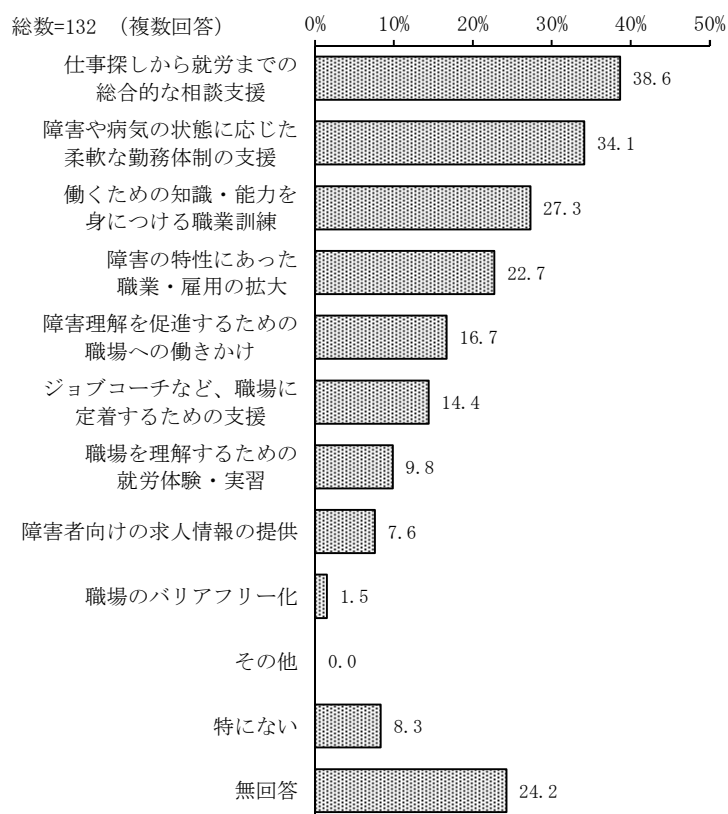
図表 3-69 今後の就労意向



問 34 あなたは、障害のある人が、企業などで一般就労するためには、どのような支援が必要だと思いますか。(主なもの3つまでに○)

「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」が38.6%で最も多く、「障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務体制の支援」が34.1%、「働くための知識・能力を身につける職業訓練」が27.3%、「障害の特性にあった職業・雇用の拡大」が22.7%、「障害の特性にあった職業・雇用の拡大」が22.7%で続きます。

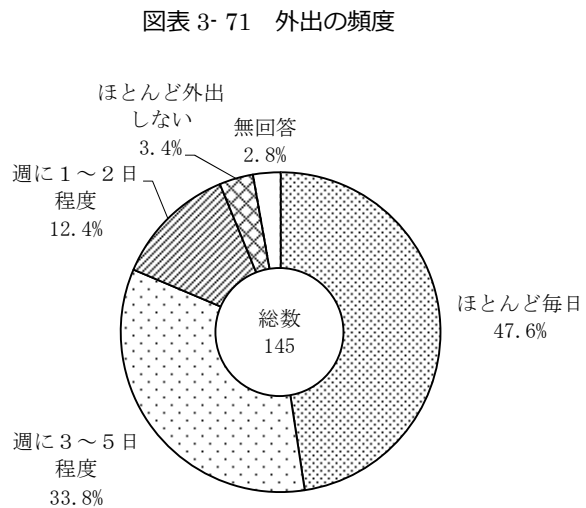
図表 3-70 障害者の一般就労のために必要な支援



【9】外出・バリアフリーについてうかがいます。

問 35 ふだん、あなたは週に何日くらい外出しますか。(どれか1つに○)

「ほとんど毎日」が47.6%、「週に3～5日程度」が33.8%、「週に1～2日程度」が12.4%、「ほとんど外出しない」が3.4%となっています。



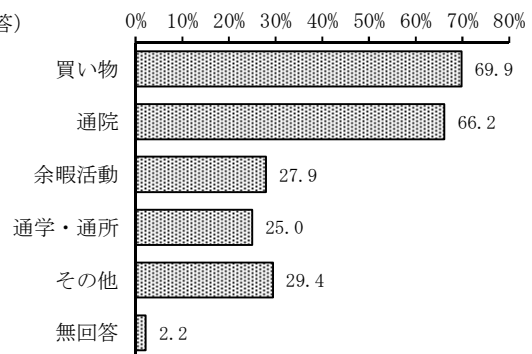
問 35-1 【問 35 で 1～3 を選んだ方にうかがいます。】外出の目的は、何ですか。(あてはまるものすべてに○)

※ 1. ほとんど毎日 2. 週に3～5日程度 3. 週に1～2日程度

「買い物」が69.9%で最も多く、「通院」が66.2%で続きます。

図表 3-72 外出の目的

総数=136 (複数回答)





問 35-2 【問 35 で 4 を選んだ方にうかがいます。】外出しない理由は、何ですか。（あてはまるものすべてに○）

※ 4. ほとんど外出しない

この設問の回答者は5名で、「他人に見られるのがいや」が4名、「乗物の利用が困難」が3名、「お金がかかる」、「外出するのが面倒」が2名回答しています。

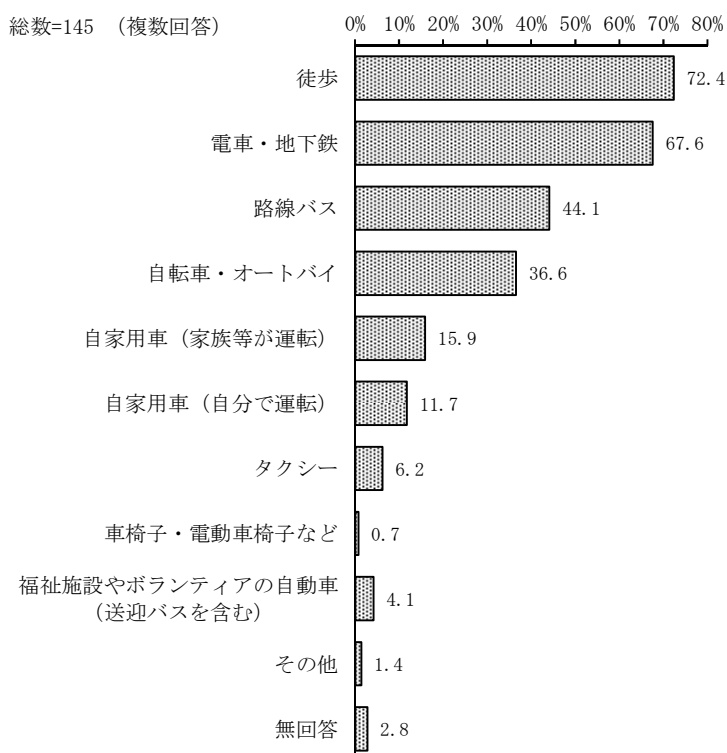
図表 3-73 外出しない理由

項目名【複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	5	100.0
道路や階段が不便・危険	-	-
乗物の利用が困難	3	60.0
トイレが心配	1	20.0
支援者がいない	-	-
休憩するところがない	-	-
お金がかかる	2	40.0
家族に負担がかかる	-	-
障害が重い	-	-
他人に見られるのがいや	4	80.0
外出するのが面倒	2	40.0
その他	1	20.0
無回答	-	-

問 36 あなたが外出するときは、どのような交通手段を利用しますか。（あてはまるものすべてに○）

「徒歩」が72.4%で最も多く、「電車・地下鉄」が67.6%、「路線バス」が44.1%、「自転車・オートバイ」が36.6%で続きます。

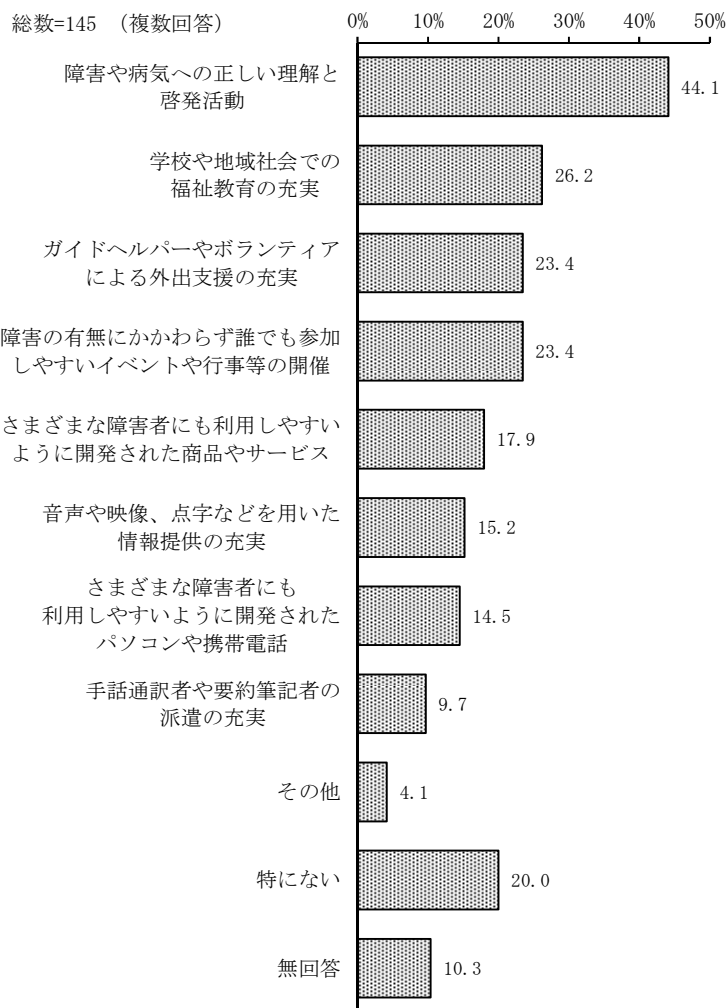
図表 3-74 外出時に利用する交通手段



問 37 交通機関やまちのバリアフリー化だけでなく、制度や意識の面も含めた「社会全体のバリアフリー化」を進めるために、あなたが重要だと思うものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「障害や病気への正しい理解と啓発活動」が44.1%で最も多く、「学校や地域社会での福祉教育の充実」が26.2%、「ガイドヘルパーやボランティアによる外出支援の充実」、「障害の有無にかかわらず誰でも参加しやすいイベントや行事等の開催」が23.4%で続きます。

図表 3-75 「社会全体のバリアフリー化」を進めるため重要なこと

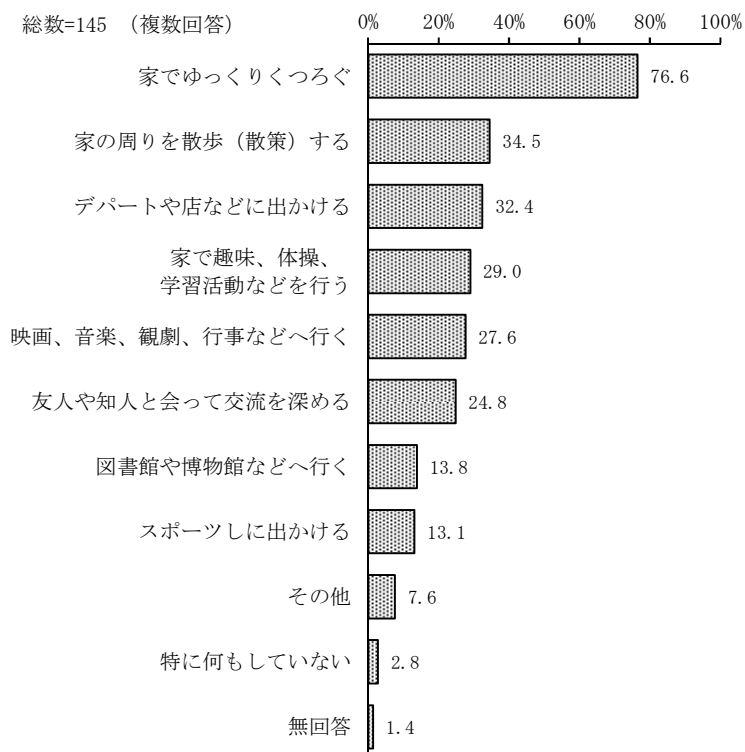


## 【10】余暇活動についてうかがいます。

問 38 あなたは、時間に余裕があるときにどのようなことをしていますか。(あてはまるものすべてに○)

「家でゆっくりくつろぐ」が76.6%で最も多く、「家の周りを散歩(散策)する」が34.5%、「デパートや店などに出かける」が32.4%、「家で趣味、体操、学習活動などを行う」が29.0%で続きます。

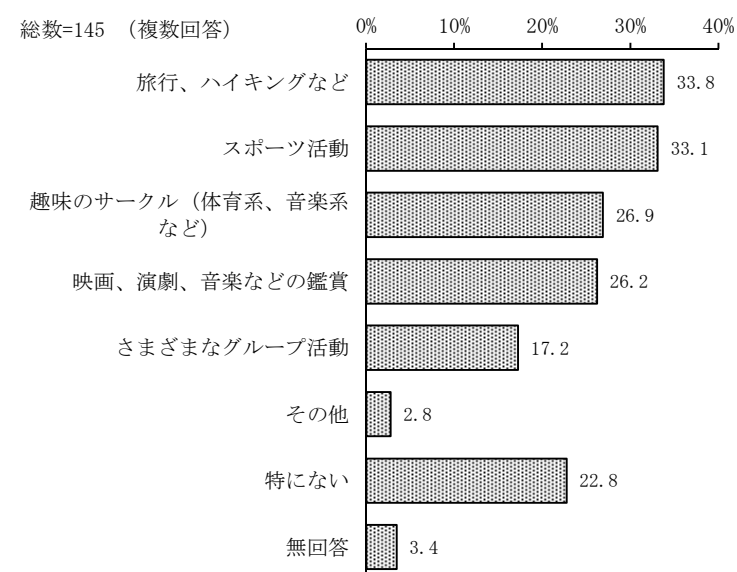
図表 3-76 余暇時間にしていること



問 39 あなたは現在の生活をより豊かにするために、どのような活動に参加したいと思っていますか。(あてはまるものすべてに○)

「旅行、ハイキングなど」が33.8%で最も多く、「スポーツ活動」が33.1%、「趣味のサークル(体育系、音楽系など)」が26.9%、「映画、演劇、音楽などの鑑賞」が26.2%で続きます。

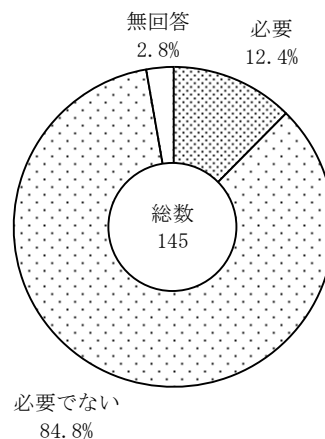
図表 3-77 今後参加したい活動



問 40 余暇活動の際にあなたはヘルパーによる移動の支援が必要ですか。(どちらか1つに○)

「必要でない」が84.8%、「必要」が12.4%となっています。

図表 3-78 余暇活動にヘルパーによる移動の支援が必要ですか

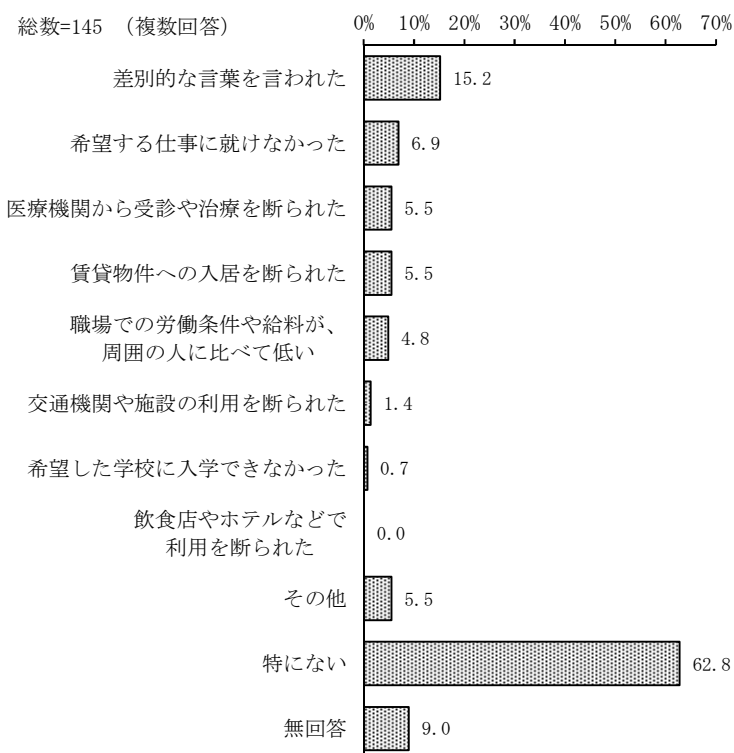


### 【11】権利擁護についてうかがいます。

問 41 あなたは、障害があるというだけで、差別的な扱いを受けた経験がありますか。(あてはまるものすべてに○)

「差別的な言葉を言われた」が15.2%で最も多く、「希望する仕事に就けなかった」が6.9%、「医療機関から受診や治療を断られた」、「賃貸物件への入居を断られた」が5.5%で続きます。

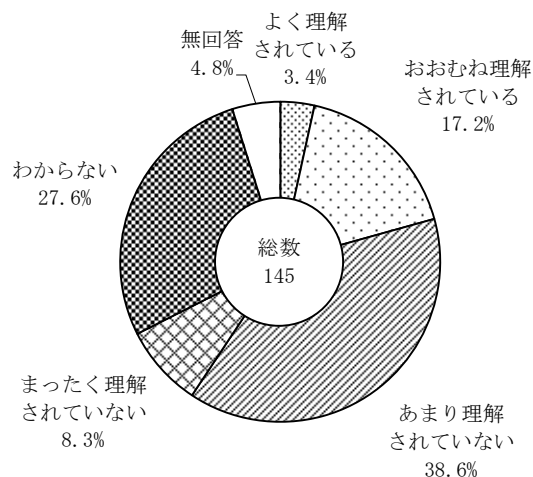
図表 3-79 障害による差別を受けた経験



問 42 あなたは、障害のある人に対する市民の理解がどの程度あると感じますか。(どれか1つに○)

「あまり理解されていない」が38.6%、「わからない」が27.6%、「おおむね理解されている」が17.2%、「まったく理解されていない」が8.3%、「よく理解されている」が3.4%となっています。

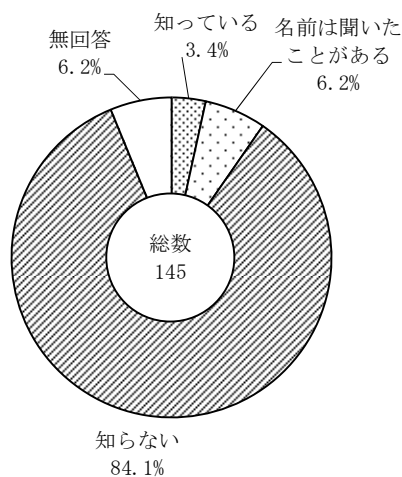
図表 3- 80 障害のある人に対する市民の理解の程度



問 43 あなたは、「船橋市障害者虐待防止センター（通称：はーぶ）」を知っていますか。(どれか1つに○)

「知らない」が84.1%、「名前は聞いたことがある」が6.2%、「知っている」が3.4%となっています。

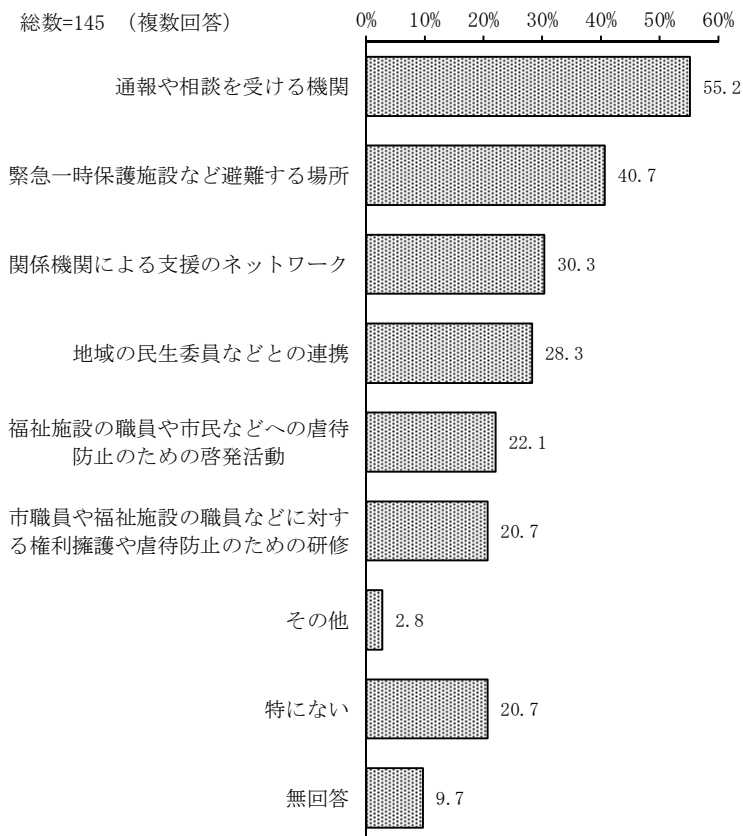
図表 3- 81 船橋市障害者虐待防止センターの認知状況



問 44 障害者虐待の防止のために、あなたは、市がどのような制度や体制を整備する必要があると思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「通報や相談を受ける機関」が55.2%で最も多く、「緊急一時保護施設など避難する場所」が40.7%、「関係機関による支援のネットワーク」が30.3%、「地域の民生委員などとの連携」が28.3%で続きます。

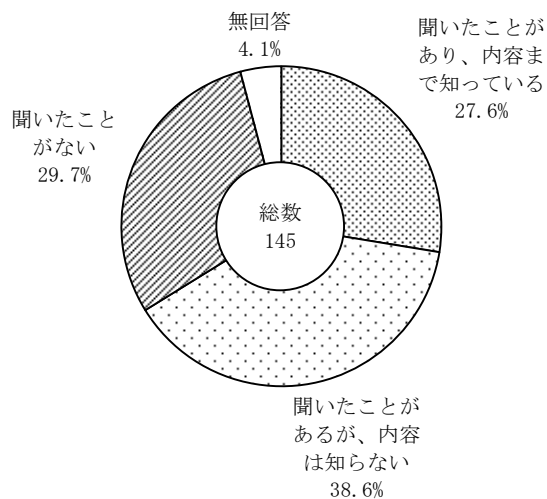
図表 3- 82 障害者虐待の防止のために市が整備すべき制度や体制



問 45 あなたは、成年後見制度を知っていますか。（どれか1つに○）

「聞いたことがあるが、内容は知らない」が38.6%、「聞いたことがない」が29.7%、「聞いたことがあり、内容まで知っている」が27.6%となっています。

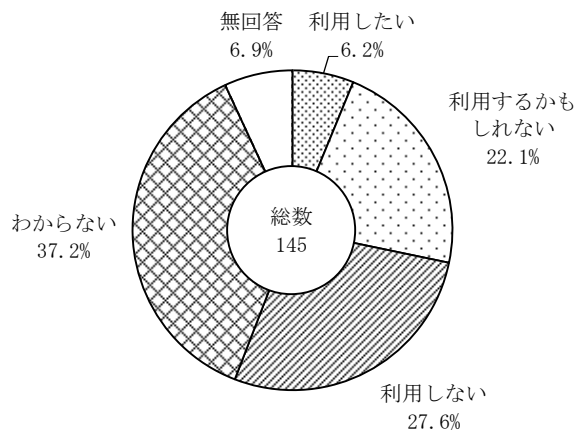
図表 3- 83 成年後見制度の認知状況



問 46 成年後見制度の利用についてどう考えますか。(どれか1つに○)

「わからない」が37.2%、「利用しない」が27.6%、「利用するかもしれない」が22.1%、「利用したい」が6.2%となっています。

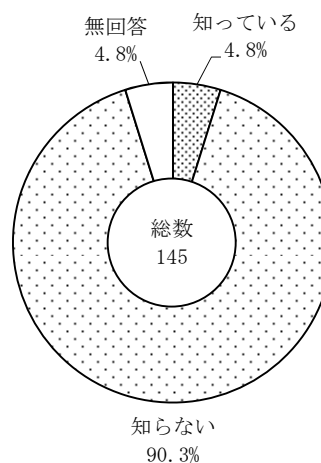
図表 3-84 成年後見制度の利用意向



問 47 船橋市障害者成年後見支援センターを知っていますか。(どれか1つに○)

「知っている」が4.8%、「知らない」が90.3%となっています。

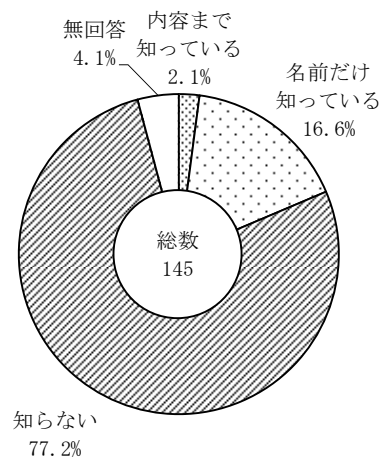
図表 3-85 船橋市障害者成年後見支援センターの認知状況



問 48 障害のある人への差別をなくすことを目的とした、「障害者差別解消法（正式名称は「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律）」が平成28年4月1日に施行されましたが、このことを知っていますか。（どれか1つに○）

「知らない」が77.2%、「名前だけ知っている」が16.6%、「内容まで知っている」が2.1%となっています。

図表 3- 86 障害者差別解消法の認知状況

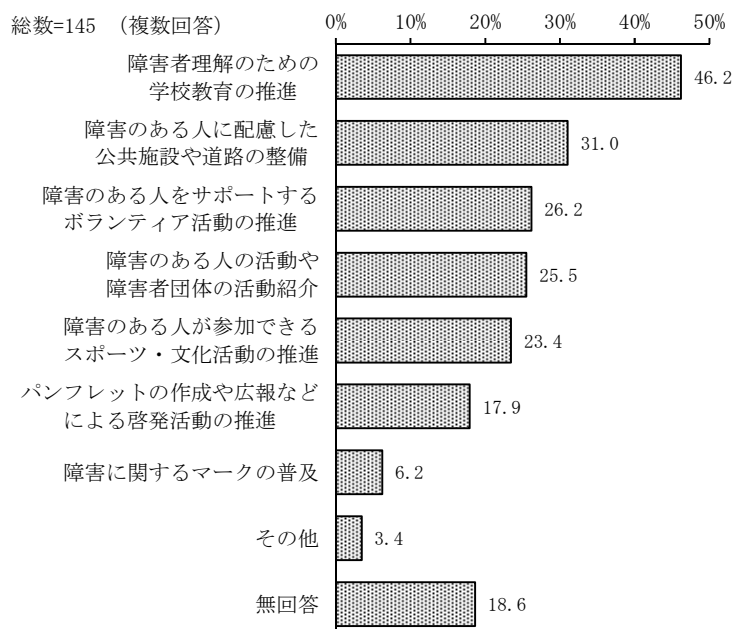




問 49 あなたは、障害のある人に対する理解を深めるために、どのようなことが大切だと考えますか。(あてはまるもの3つまで○)

「障害者理解のための学校教育の推進」が46.2%で最も多く、「障害のある人に配慮した公共施設や道路の整備」が31.0%、「障害のある人をサポートするボランティア活動の推進」が26.2%、「障害のある人の活動や障害者団体の活動紹介」が25.5%、「障害のある人が参加できるスポーツ・文化活動の推進」が23.4%、「障害のある人の活動紹介」が25.5%で続きます。

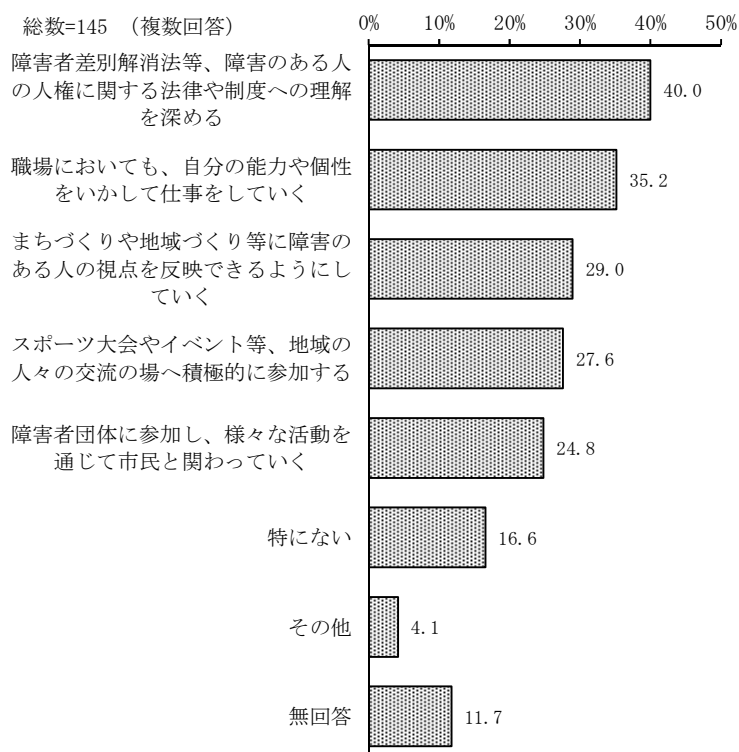
図表 3- 87 障害者への理解を深めるために大切なこと



問 50 あなたは、障害のある人に対する理解を深めるために、障害者自身がどのような取り組みをしていく必要があると考えますか。(あてはまるもの3つまで○)

「障害者差別解消法等、障害のある人の人権に関する法律や制度への理解を深める」が40.0%で最も多く、「職場においても、自分の能力や個性をいかして仕事をしていく」が35.2%、「まちづくりや地域づくり等に障害のある人の視点を反映できるようにしていく」が29.0%、「スポーツ大会やイベント等、地域の人々の交流の場へ積極的に参加する」が27.6%で続きます。

図表 3- 88 障害者自身が行う必要のある取り組み

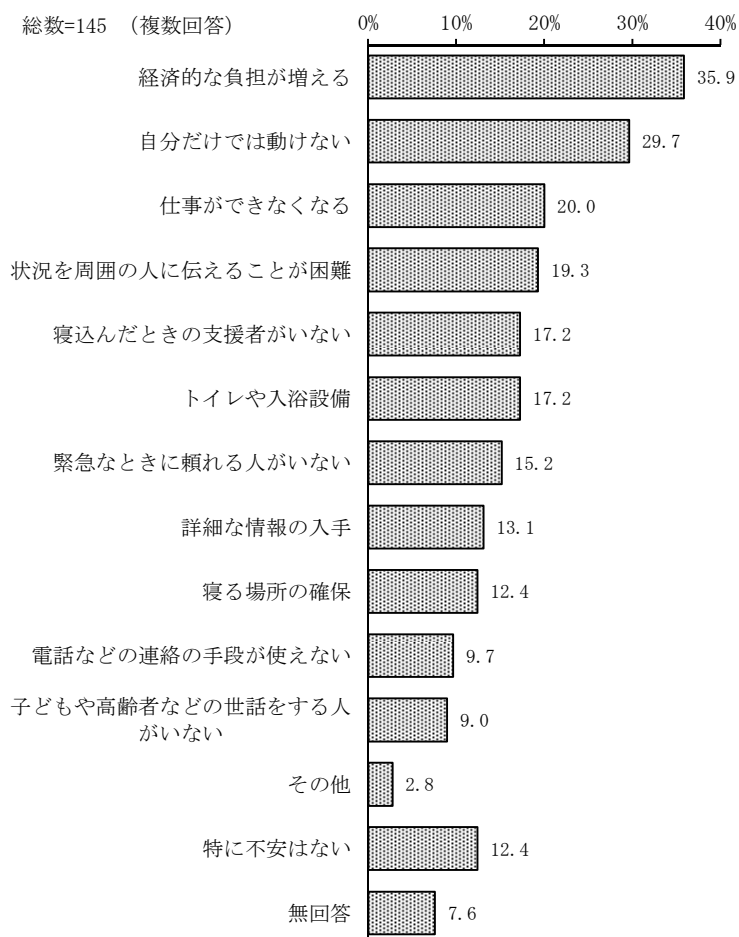


## 【12】災害時など緊急の時の対応についてうかがいます。

問 51 もし、あなたが緊急な病状になったことを考えると、特に不安に感じることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「経済的な負担が増える」が35.9%で最も多く、「自分だけでは動けない」が29.7%、「仕事ができなくなる」が20.0%、「状況を周囲の人に伝えることが困難」が19.3%で続きます。

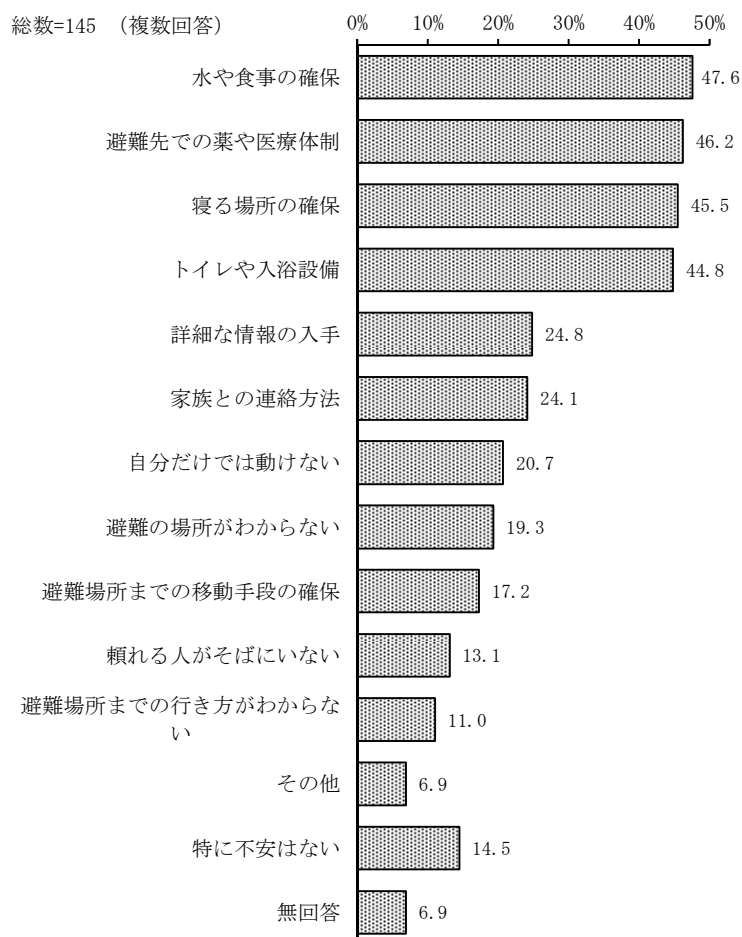
図表 3- 89 緊急な病状になったときに不安なこと



問 52 地震や火事、台風などのために、緊急に避難しなければならなくなったことを考えると、あなたが不安に感じることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「水や食事の確保」が47.6%で最も多く、「避難先での薬や医療体制」が46.2%、「寝る場所の確保」が45.5%、「トイレや入浴設備」が44.8%で続きます。

図表 3-90 緊急避難時に不安なこと

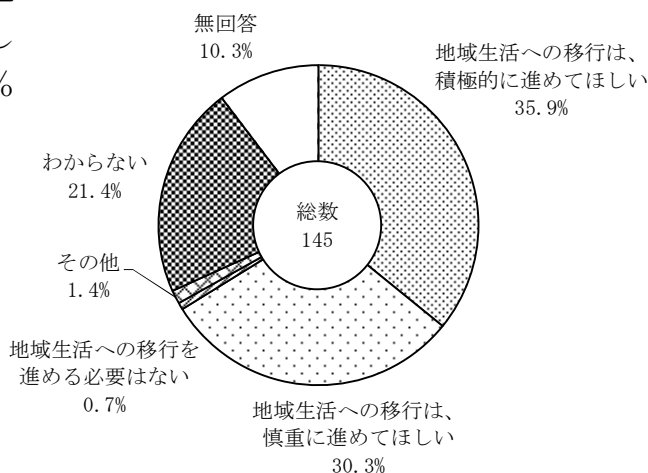


【13】障害者総合支援法についてうかがいます。

問 53 市では、「第4期船橋市障害福祉計画」に基づき、現在、福祉施設に入所または病院に入院している障害者のうち退所・退院が可能な人について、地域生活への移行を支援しています。このことについて、あなたはどのように思いますか。(どれか1つに○)

「地域生活への移行は、積極的に進めてほしい」が35.9%で最も多く、「地域生活への移行は、慎重に進めてほしい」が30.3%、「わからない」が21.4%で続きます。

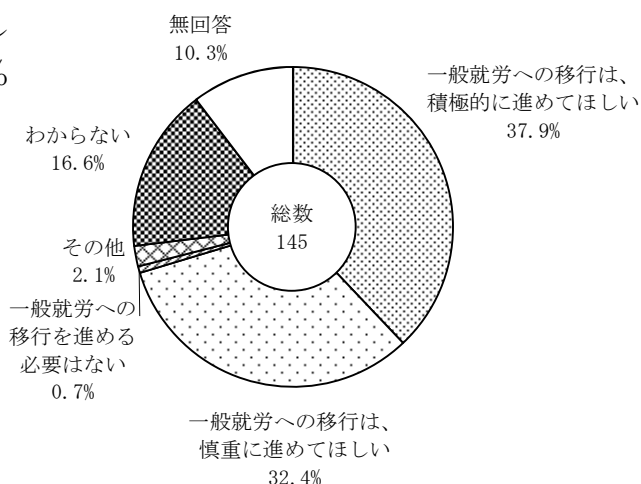
図表 3-91 入所者・入院者の地域生活移行への考え方



問 54 現在、福祉的就労（障害者の作業所などでの就労）をしている障害者のうち、訓練により一般就労が可能となる人について、市では一般就労への移行を支援しています。このことについて、あなたはどのように思いますか。(どれか1つに○)

「一般就労への移行は、積極的に進めてほしい」が37.9%で最も多く、「一般就労への移行は、慎重に進めてほしい」が32.4%、「わからない」が16.6%で続きます。

図表 3-92 福祉的就労から一般就労への移行の考え方

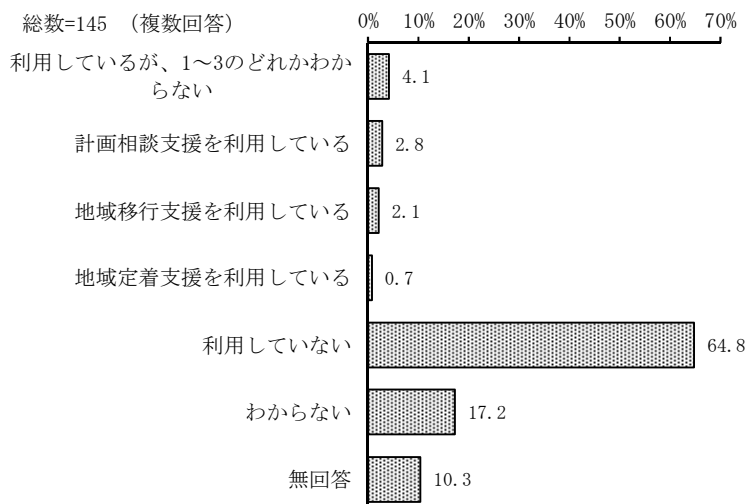


問55 あなたは、次のような相談支援事業を利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

- ※ 1. 計画相談支援を利用している 2. 地域移行支援を利用している 3. 地域定着支援を利用している

「利用しているが、1～3のどれかわからない」が4.1%で最も多く、「計画相談支援を利用している」が2.8%、「地域移行支援を利用している」が2.1%、「地域定着支援を利用している」が0.7%で続きます。

図表 3-93 相談支援事業の利用状況

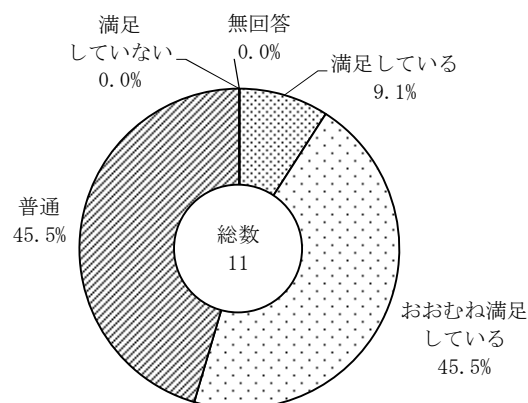


問55-1 【問55で1～4を選んだ方にうかがいます。】あなたは、相談支援事業に満足していますか。(どれか1つに○)

- ※ 1. 計画相談支援を利用している 2. 地域移行支援を利用している 3. 地域定着支援を利用している  
4. 利用しているが、1～3のどれかわからない

「おおむね満足している」、「普通」が45.5%、「満足している」が9.1%となっています。

図表 3-94 相談支援事業の満足度



問 55-2 【問 55-1 で 4 を選んだ方にうかがいます。】あなたが満足していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

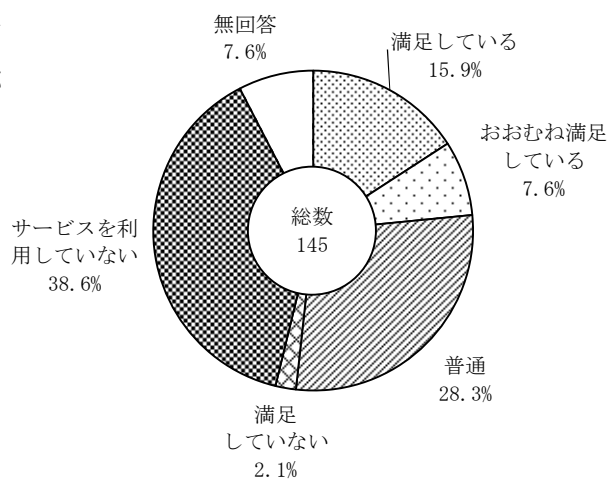
※ 4. 満足していない

この設問には、回答者がありません。

問 56 あなたは、現在利用している障害福祉サービスに満足していますか。(どれか1つに○)

「サービスを利用していない」が 38.6%、「普通」が 28.3%、「満足している」が 15.9%、「おおむね満足している」が 7.6%、「満足していない」が 2.1%となっています。

図表 3-95 障害福祉サービスの満足度



問56-1 【問56で4を選んだ方にうかがいます。】あなたが満足していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

※ 4. 満足していない

この設問の回答者は3名で、「サービスの制度がわかりづらい」、「サービス利用に対する自己負担が大きい」が2名、「サービス利用の手続きが面倒」、「サービスの回数や日数が少ない」、「サービスの1回当たりの時間が少ない」、「サービスを利用したい日時が調整が大変」、「サービスの内容が雑であったり、ニーズに合っていない」、「サービスを提供する人の態度がよくない」が1名回答しています。

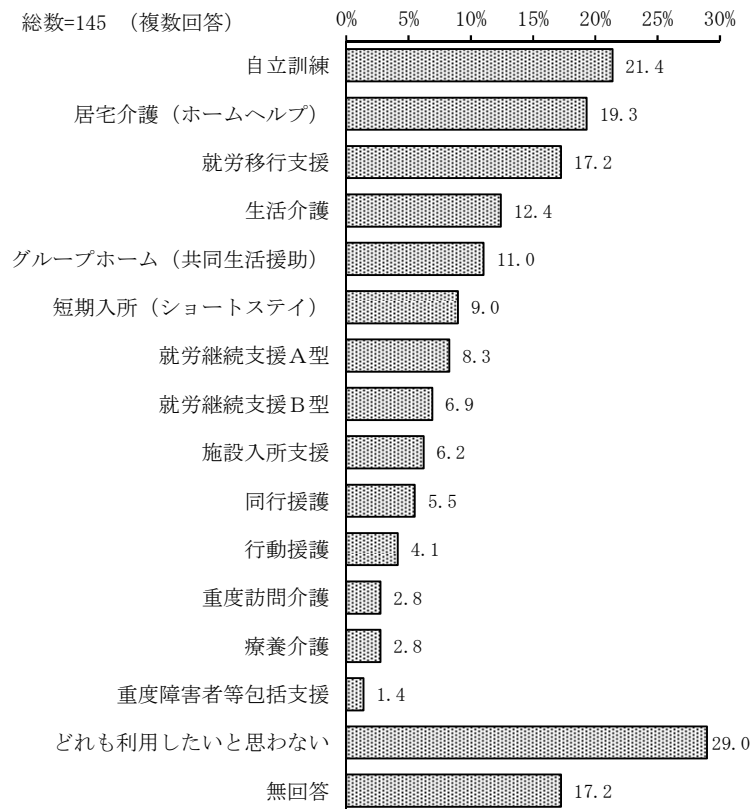
図表 3-96 障害福祉サービスの不満理由

項目名 【複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	3	100.0
サービスの制度がわかりづらい	2	66.7
サービス利用の手続きが面倒	1	33.3
サービスの回数や日数が少ない	1	33.3
サービスの1回当たりの時間が少ない	1	33.3
サービスを利用したい日時の調整が大変	1	33.3
サービスの内容が雑であったり、ニーズに合っていない	1	33.3
サービスを提供する人の態度がよくない	1	33.3
サービス利用に対する自己負担が大きい	2	66.7
その他	-	-
無回答	-	-

問 57 今後、あなたが利用したいと思う、または現在利用している障害福祉サービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「自立訓練」が21.4%で最も多く、「居宅介護（ホームヘルプ）」が19.3%、「就労移行支援」が17.2%、「生活介護」が12.4%で続きます。

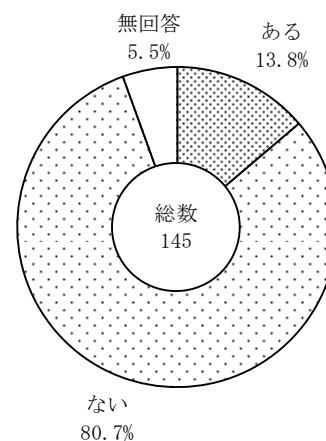
図表 3- 97 今後の障害福祉サービスの利用意向



問 58 これまでに、短期入所施設を利用したことがありますか。(どれか1つに○)

「ある」が13.8%、「ない」が80.7%となっています。

図表 3- 98 短期入所施設の利用経験

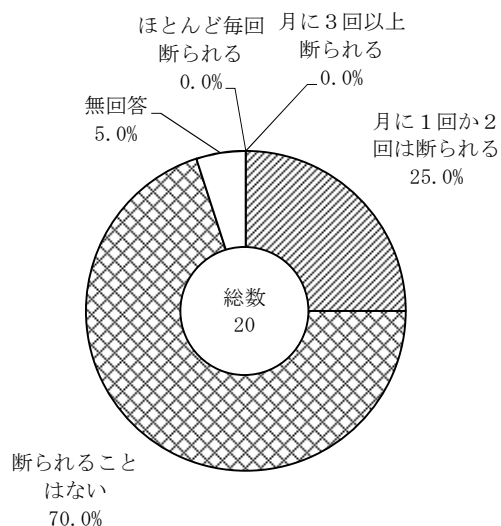




問 58-1 【短期入所施設を利用したことがある人にうかがいます。】短期入所施設を利用したいのに、ベッドに空きがなくて、利用を断られたことがありますか。(どれか1つに○)

「断られることはない」が70.0%、「月に1回か2回は断られる」が25.0%となっています。

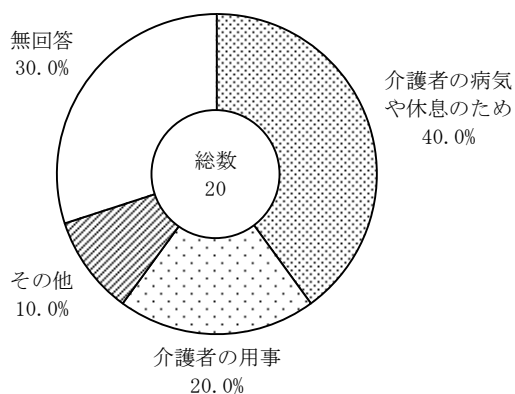
図表 3-99  
短期入所施設を利用したいのに  
ベッドに空きがなくて断られたこと



問 58-2 【短期入所施設を利用したことがある人にうかがいます。】短期入所を利用する理由は何ですか。(どれか1つに○)

「介護者の病気や休息のため」が40.0%、「介護者の用事」が20.0%、「その他」が10.0%となっています。

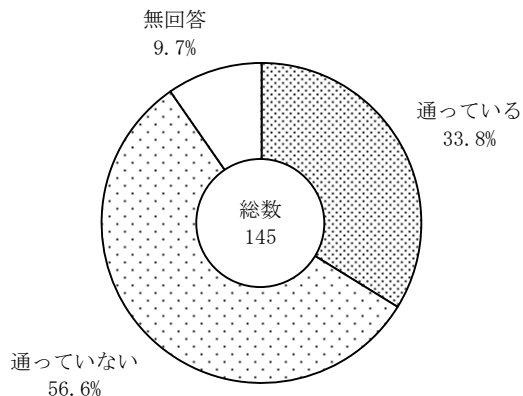
図表 3-100 短期入所を利用する理由



問59 通所施設・事業所に通っていますか。(どれか1つに○)

「通っている」が33.8%、「通っていない」が56.6%となっています。

図表3-101 通所施設・事業所に通っていますか

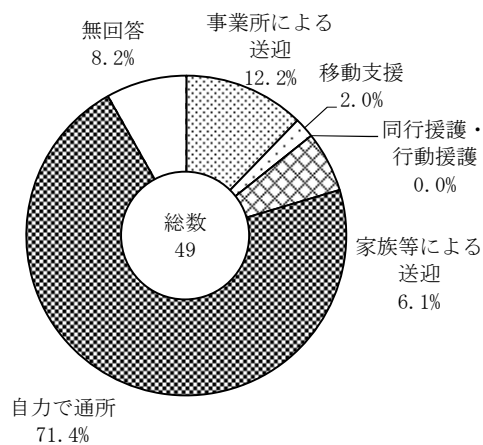


問59-1 【問59で1を選んだ方にうかがいます。】どのような手段を使って通所していますか。(どれか1つに○)

※ 1. 通っている

「自力で通所」が71.4%、「事業所による送迎」が12.2%、「家族等による送迎」が6.1%、「移動支援」が2.0%となっています。

図表3-102 通所手段

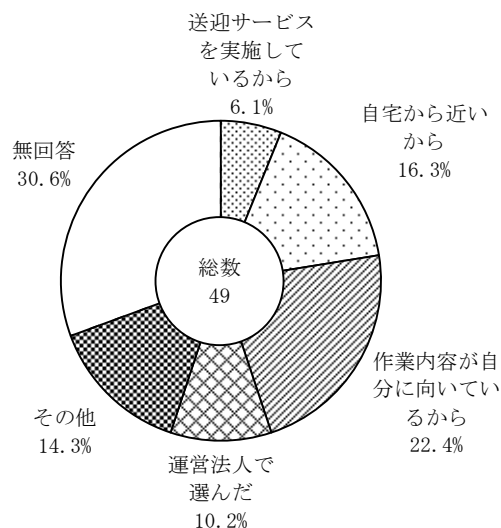


問 59-2 【問 59 で 1 を選んだ方にうかがいます。】今の事業所に通っている理由は何ですか。(どれか1つに○)

※ 1. 通っている

「作業内容が自分に向いているから」が 22.4%で最も多く、「自宅から近いから」が 16.3%、「その他」が 14.3%、「運営法人で選んだ」が 10.2%で続きます。

図表 3-103 今の事業所に通っている理由

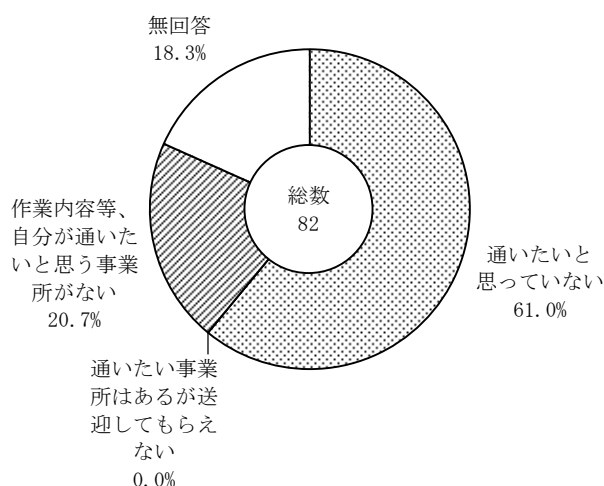


問 59-3 【問 59 で 2 を選んだ方にうかがいます。】通所施設・事業所に通わない理由は何ですか。(どれか1つに○)

※ 2. 通っていない

「通いたいと思っていない」が 61.0%、「作業内容等、自分が通いたいと思う事業所がない」が 20.7%となっています。

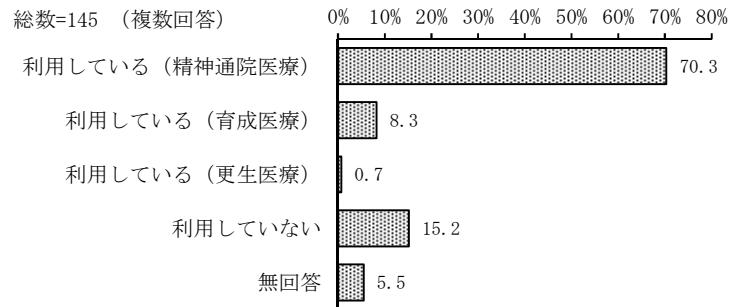
図表 3-104 通所施設・事業所に通わない理由



問 60 あなたは、「自立支援医療」を利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

「利用している（精神通院医療）」が70.3%、「利用している（育成医療）」が8.3%、「利用している（更生医療）」が0.7%、「利用していない」が15.2%となっています。

図表 3-105 自立支援医療の利用状況

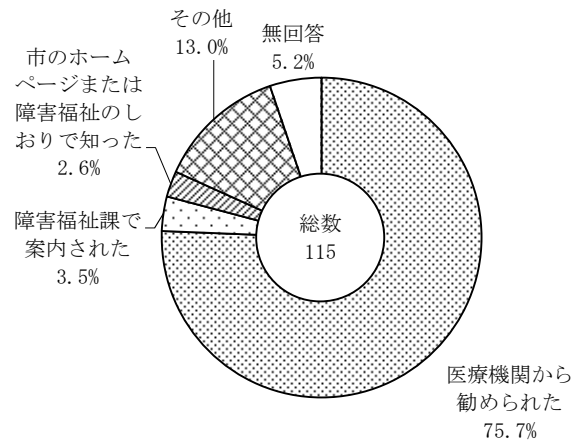


問 60-1 【問 60 で 1~3 を選んだ方にうかがいます。】あなたは「自立支援医療」の制度をどこで最初に知りましたか。(どれか1つに○)

※ 1. 利用している（育成医療） 2. 利用している（更生医療） 3. 利用している（精神通院医療）

「医療機関から勧められた」が75.7%、「その他」が13.0%、「障害福祉課で案内された」が3.5%、「市のホームページまたは障害福祉のしおりで知った」が2.6%となっています。

図表 3-106 自立支援医療の制度を最初に知った機会

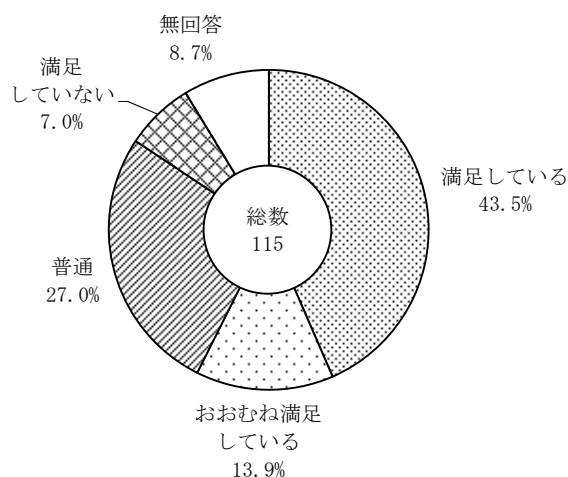


問60-2 【問60で1~3を選んだ方にうかがいます。】あなたは、自立支援医療に満足していますか。(どれか1つに○)

※ 1. 利用している(育成医療) 2. 利用している(更生医療) 3. 利用している(精神通院医療)

「満足している」が43.5%、「普通」が27.0%、「おおむね満足している」が13.9%、「満足していない」が7.0%となっています。

図表3-107 自立支援医療の満足度



問60-3 【問60-2で4を選んだ方にうかがいます。】あなたが満足していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

※ 4. 利用していない

この設問の回答者は8名で、「医療費の自己負担が大きい」、「更新期間が短い」、「登録できる医療機関・薬局が一つしかない」が4名、「自立支援医療の制度がわかりづらい」が3名で続きます。

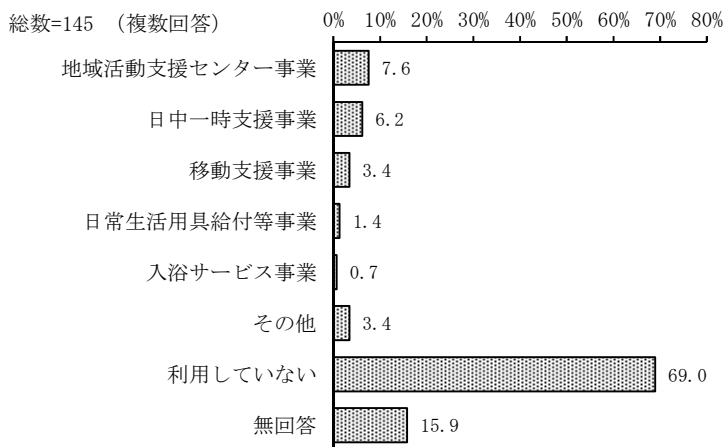
図表3-108 自立支援医療の不満理由

項目名 【複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	8	100.0
自立支援医療の制度がわかりづらい	3	37.5
自立支援医療の制度が使いづらい	2	25.0
医療費の自己負担が大きい	4	50.0
更新期間が短い	4	50.0
登録できる医療機関・薬局が一つしかない	4	50.0
その他	1	12.5
無回答	-	-

問61 あなたは、船橋市が実施している地域生活支援事業のうち、どのようなものを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

「地域活動支援センター事業」が7.6%で最も多く、「日中一時支援事業」が6.2%で続きます。

図表 3-109 地域生活支援事業の利用状況



問61-1 【問61で2を選んだ方にうかがいます。】日中一時支援事業について、改善を求めることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

※ 2. 日中一時支援事業

この設問の回答者は9名で、「事業所を増やしてほしい」が3名、「送迎車を増やしてほしい」、「その他」が1名で続きます。

図表 3-110 日中一時支援事業で改善を求めること

項目名 【3つまでの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	9	100.0
事業所を増やしてほしい	3	33.3
送迎車を増やしてほしい	1	11.1
その他	1	11.1
特になし	4	44.4
無回答	1	11.1

問61-2 【問61で3を選んだ方にうかがいます。】移動支援事業について、改善を求めることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

※ 3. 移動支援事業

この設問の回答者は5名で、「対象要件を緩和してほしい」が1名、「特になし」が3名となっています。

図表 3-111 移動支援事業で改善を求めること

項目名 【3つまでの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	5	100.0
対象要件を緩和してほしい	1	20.0
支給量を緩和してほしい	-	-
その他	-	-
特になし	3	60.0
無回答	1	20.0

問61-3 【問61で3を選んだ方にうかがいます。】船橋市では移動支援事業の中で、保護者が社会的理由を有する場合に限り、「通学や通所をするための支援」についても認めています。この「通学通所支援」を利用したことはありますか。(どれか1つに○)

※ 社会的理由とは「保護者が入院、出産、就労、介護等の理由により、付き添うことが困難な場合」をいいます。

※ 3. 移動支援事業

この設問の回答者は5名で、「利用している」、「現在は利用していないが、今後利用したい」が1名となっています。

図表3-112 通学通所支援の利用状況

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	5	100.0
利用している	1	20.0
現在は利用していないが、今後利用したい	1	20.0
その他	-	-
利用希望は特になし	-	-
無回答	3	60.0

問61-4 【問61-3で1~3を選んだ方にうかがいます。】通学通所支援について改善を求めることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

※ 1. 利用している 2. 現在は利用していないが、今後利用したい 3. その他

この設問の回答者は2名で、「保護者の社会的理由による制限をなくしてほしい」が1名となっています。

図表3-113 通学通所支援について改善を求めること

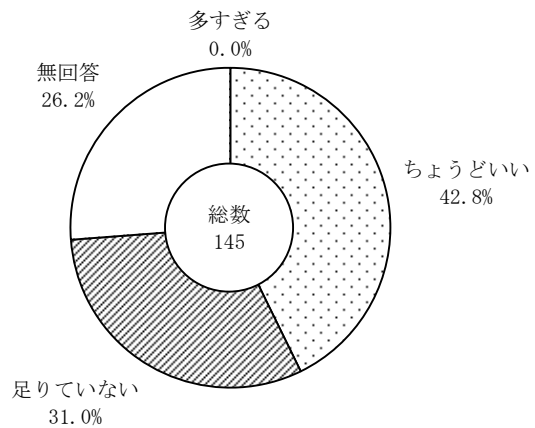
項目名 【4つまでの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	2	100.0
保護者の社会的理由による制限をなくしてほしい	1	50.0
社会的理由に「高齢」を加えてほしい	-	-
通勤への支援も認めてほしい	-	-
その他	-	-
特になし	1	50.0
無回答	-	-

問62 居住している地域に障害福祉施設は足りていますか。(どれか1つに○)

「ちょうどいい」が42.8%、「足りていない」が31.0%となっています。

図表3-114

居住している地域に障害福祉施設は足りていますか

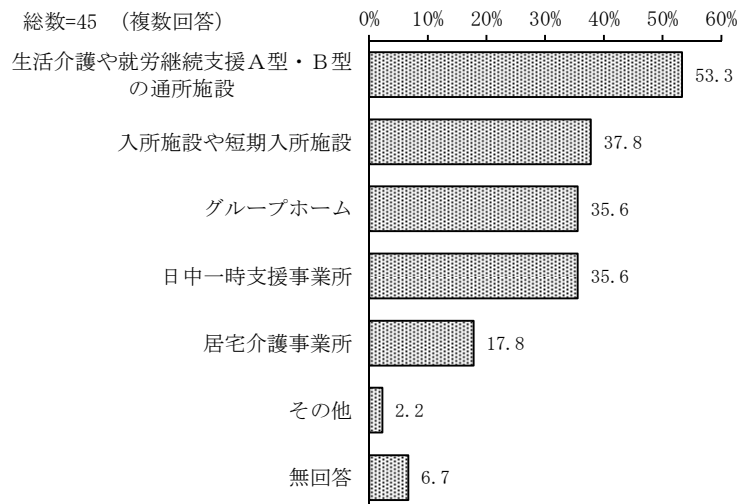


問62-1 【問62で3を選んだ方にうかがいます。】どんな施設が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

※ 3. 足りていない

図表3-115 必要な施設

「生活介護や就労継続支援A型・B型の通所施設」が53.3%で最も多く、「入所施設や短期入所施設」が37.8%、「グループホーム」、「日中一時支援事業所」が35.6%で続きます。



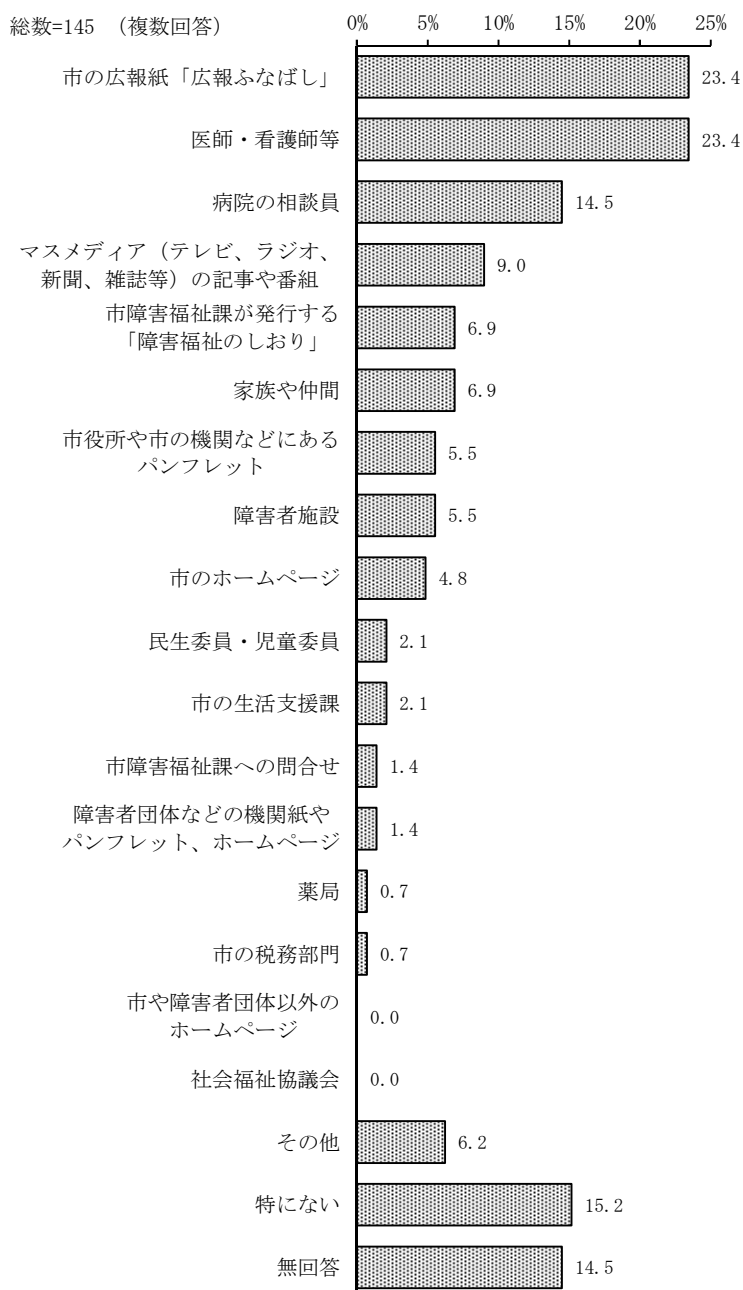


【14】船橋市の障害者福祉についてうかがいます。

問 63 あなたは、障害のある人のための市の福祉サービスの内容について、どのようなところで知ることが多いですか。（主なもの2つまでに○）

「市の広報紙「広報ふなばし」、「医師・看護師等」が23.4%で最も多く、「病院の相談員」が14.5%、「マスメディア（テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等）の記事や番組」が9.0%で続きます。

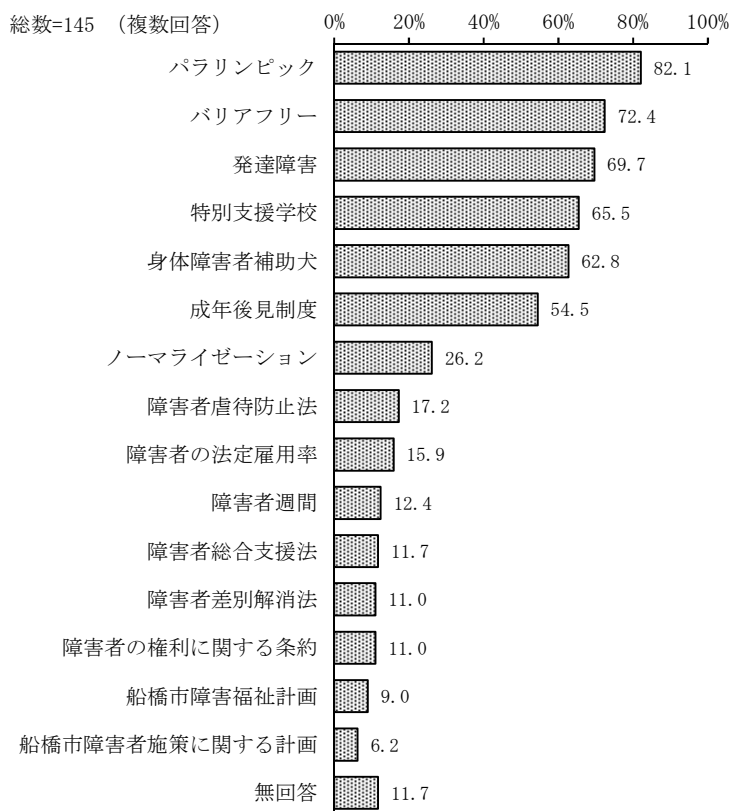
図表 3-116 福祉サービス情報の入手方法



問 64 次にあげる障害者施策や福祉施策の用語のうち、あなたが見聞きしたことのあるものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「パラリンピック」が82.1%で最も多く、「バリアフリー」が72.4%、「発達障害」が69.7%、「特別支援学校」が65.5%、「身体障害者補助犬」が62.8%で続きます。

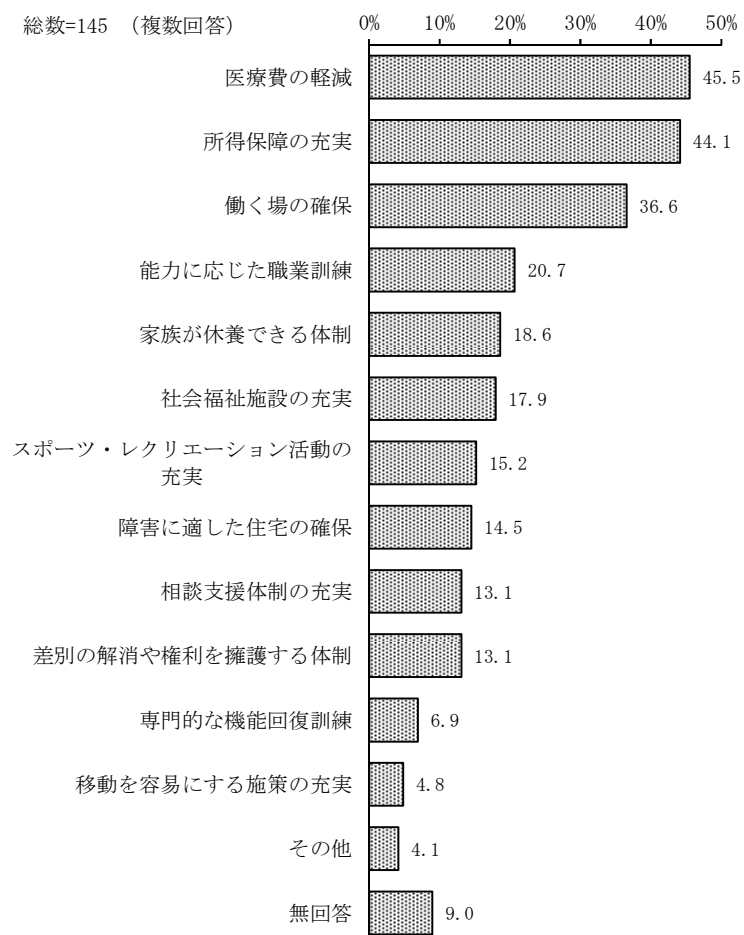
図表 3- 117 見聞きしたことのある障害者施策や福祉施策の用語



問 65 あなたが今後、必要だと思う障害福祉施策は何ですか。(主なものを3つまでに○)

「医療費の軽減」が45.5%で最も多く、「所得保障の充実」が44.1%、「働く場の確保」が36.6%で続きます。

図表 3-118 今後必要だと思う障害福祉施策



問 66 船橋市の障害福祉施策についてのご意見、ご希望、または困っていることなどを、自由にお書きください。

自由回答を記入した回答者は41名です。

回答内容を分類すると、以下の通りとなっています。なお、一人で複数の内容を書かれている場合もあり、合計件数は回答者数を上回ります。

分類	件数	割合
全体	41	100%
啓発・広報	13	31.7%
保健・医療	5	12.2%
教育・雇用・就業	12	29.3%
生活支援・福祉サービス	10	24.4%
生活環境	2	4.9%
スポーツ・レクリエーション等	1	2.4%
その他	11	26.8%

※ ここに掲載したものは回答の一部です。また、大意を変えずに一部を省略・要約している場合があります。

※ 回答者は本人ではなく、代理の人の場合があります。

#### 啓発・広報

- ・船橋市民は障害者に対して、いまだ偏見を持っている人が多いような気がする。啓蒙教育を充実させて欲しいと思う。(男性、48歳)
- ・情報発信を積極的に行うべき。誰にも頼っていない障害者やそのご家族はまだまだいるはずだから。(男性、33歳)
- ・障害者が一人で困っている時に街の人(周りの人)が障害者だと認識をしてもっと協力をしながら助け合う。出来ることがあったらお声をかけたり、お手を少し借りるなど。(女性、45歳)

#### 保健・医療

- ・現在週2回デイケアサービスを利用させて頂いているが、病院の規模等でプログラムに多少なりとも違いがあるので、病院連携をもう少し充実させて頂いて、なるべく質、量共に同じ様なものにして頂きたい。(男性、53歳)
- ・精神科クリニックには2週間に1回通院していますが、患者さんが多く、ゆっくり話を聞いてもらえません。薬剤師さんはとても感じのいい人です。以前、民生委員さんに「一人で悩まず相談を」というパンフレットをいただき、電話してみたことがありますが、十分に聞いてもらえませんでした。(男性、61歳)

- ・自立支援医療（精神通院）を利用していますが、病院で聞くまで制度について全く知りませんでした。休職しているため医療負担が少なくなり助かっています。（男性、48歳）

### 教育・雇用・就業

- ・長期間、引きこもりをしていた人に対する社会復帰のプログラムや支援が欲しい。職業訓練をするにしても、どうやって自分に合った学校を探せば良いのか。（女性、34歳）
- ・障害者福祉の枠を超えるかもしれないが提案、市内の個別指導塾に勤務しているが、入塾してくる生徒（特に小中学生）の中には学習障害や発達障害が疑われる場合がある。保護者から成績の伸び悩みや授業中落ち着かない等の相談を受けるが、①スタッフの専門知識が少ない、②学校や公的な支援機関との連携が取りにくい等の課題を感じる。行政と学習塾業界とが協力して発達障害（及びその可能性のある）の子どもを支援することは出来ないだろうか。（女性、31歳）
- ・障害者でも差別されずに働く場所がほしい。（性別、年齢不明）
- ・入院している時に外で就労できるようにしてほしい。（女性、56歳）

### 生活支援、福祉サービス

- ・現在、自分一人で生活しているので毎週金曜日に訪問支援に来ていただいています。本当は収入があり、自分で「居、食、住」ができればと考えている。（男性、72歳）
- ・身体障害等に比べると精神障害に対する福祉が軽視されているようにも思われる。今後、力を入れていってほしい。誰にでも、良く伝わる福祉を目指していただきたい。（女性、43歳）
- ・バスを乗る時は手帳で半額になるが、電車は割引がないので困る。中にはパニックを起こしたりして、一人で電車などに乗れない人もいる、電車なども半額で乗れるようになると外出支援を使い活動範囲も広がると思う。（性別、年齢不明）

### 生活環境

- ・道が悪すぎる。車椅子の人は本当に苦労している。（女性、57歳）

### その他

- ・15歳以上30歳未満の精神疾患の方の支援の充実が必要だと思います。相談する場所も分かりづらく、あるかないかもわからないので、わかりやすくしてほしいです。学生だけでなく、フリーターにも気軽に相談できる場所がほしいです。（女性、22歳）

## 第2部 調査の結果

- ・行政の管轄縦割りがあって分かりにくい。連携をさらに進めてほしい。市の職員に聞いて誰でも窓口までは案内してくれる気遣いが出来る職員であってほしい。(男性、41歳)
- ・相談する機関が少ないように感じる。電話での予約が必要である所がほとんどであり、悩みなどの相談をすぐに聞いてもらうことが難しいので、不便に感じることがある。気軽に赴いて電話予約が無くても相談に乗ってもらえる機関が今後、増えていってほしい(窓口対応やインターネットでの相談予約システムなどが出来るようになったらいいなと思う)。(女性、28歳)

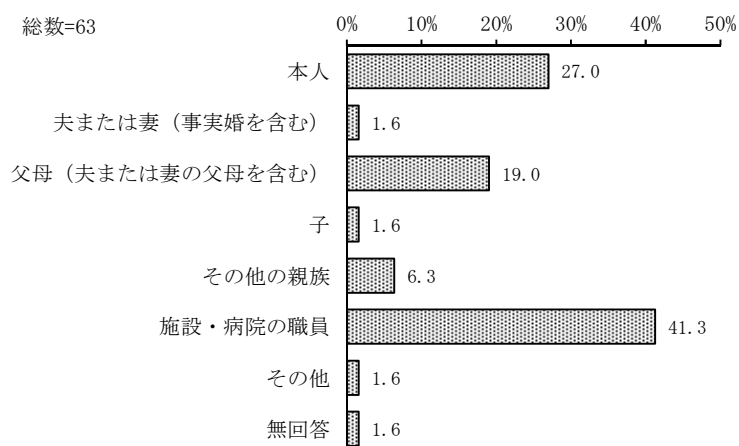
## 4 施設入所者を対象とした調査結果

### 【1】あなたご自身やご家族のことについてうかがいます。

問1 このアンケートの記入者はどなたですか。あなたから見た続柄でお答えください。（どれか1つに○）

「施設・病院の職員」が41.3%で最も多く、「本人」が27.0%、「父母（夫または妻の父母を含む）」が19.0%で続きます。

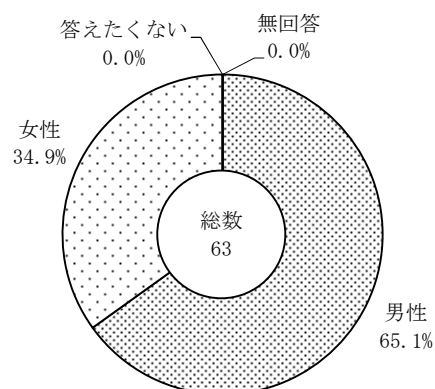
図表 4-1 記入者



問2 あなたの性別をお答えください。（どれか1つに○）

「男性」が65.1%、「女性」が34.9%となっています。

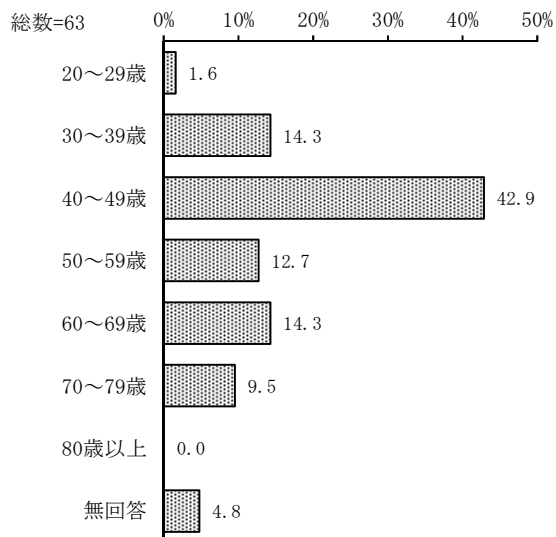
図表 4-2 性別



問3 あなたは、何歳ですか。平成29年1月1日現在の満年齢でお答えください。

「40～49歳」が42.9%で最も多く、「30～39歳」、「60～69歳」が14.3%、「50～59歳」が12.7%で続きます。

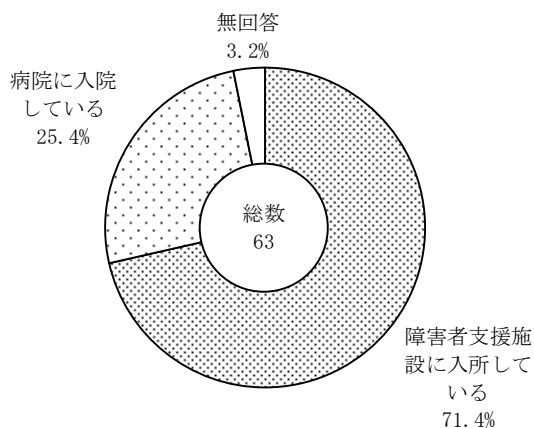
図表4-3 年齢



問4 あなたは、障害者支援施設に入所していますか、病院に入院していますか。(どれか1つに○)

「障害者支援施設に入所している」が71.4%、「病院に入院している」が25.4%となっています。

図表4-4 入所・入院先

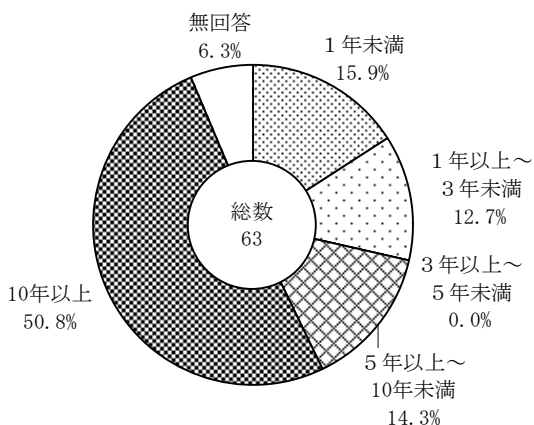




問5 あなたは、この施設・病院に入所・入院して何年になりますか。(どれか1つに○)

「10年以上」が50.8%、「1年未満」が15.9%、「5年以上～10年未満」が14.3%、「1年以上～3年未満」が12.7%、「1年以上～3年未満」が12.7%となっています。

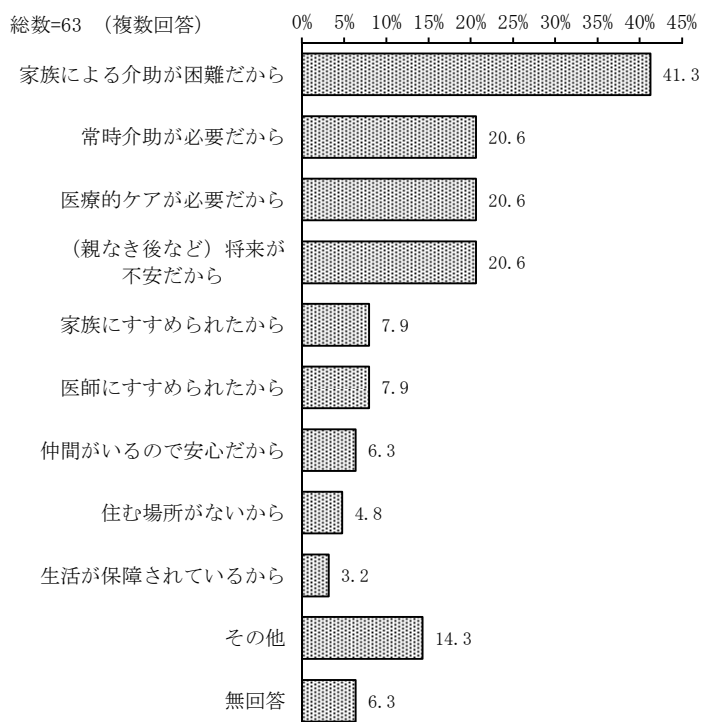
図表4-5 施設・病院への入所・入院年数



問5-1 あなたが、この施設・病院に入所・入院した理由は何ですか。(主なものを3つまでに○)

「家族による介助が困難だから」が41.3%で最も多く、「常時介助が必要だから」、「医療的ケアが必要だから」、「(親なき後など)将来が不安だから」が20.6%で続きます。

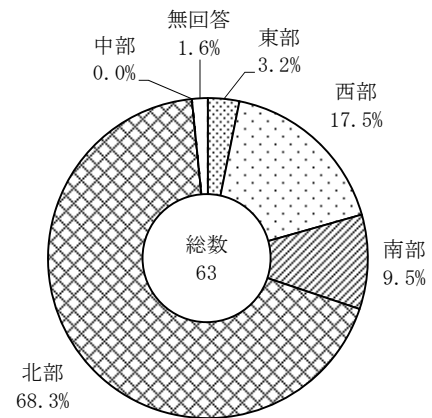
図表4-6 施設・病院に入所・入院した理由



問6 あなたが入所・入院している施設・病院のある地域は、どこですか。(どれか1つに○)

「北部」が68.3%、「西部」が17.5%、「南部」が9.5%、「東部」が3.2%と  
なっています。

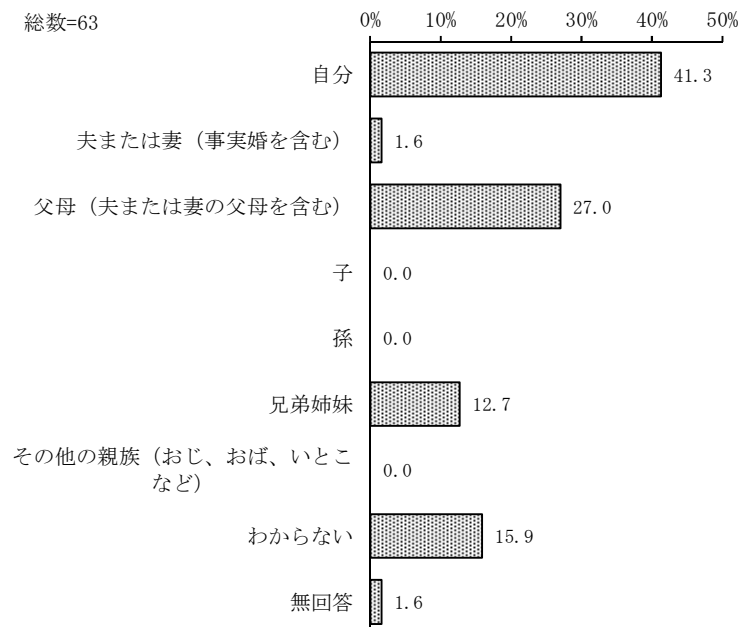
図表 4-7 入所・入院している施設・病院のある地域



問7 あなたまたはご家族の中で、主に生活のための収入を得ている方はどなたですか (どれか1つに○)

「自分」が41.3%で最も多く、「父母 (夫または妻の父母を含む)」が27.0%、「わからない」が15.9%、「兄弟姉妹」が12.7%で続きます。

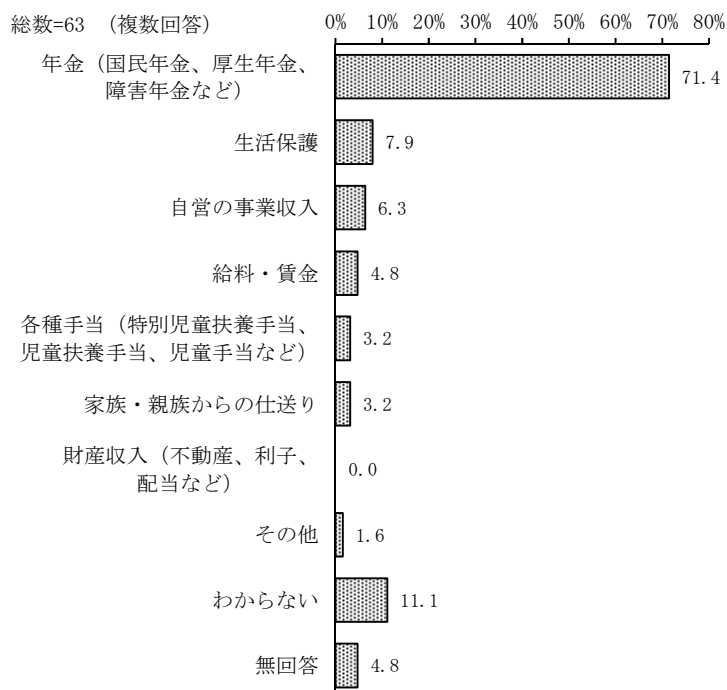
図表 4-8 主に収入を得ている同居家族



問8 あなたの世帯収入の種類はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○、最も金額が大きいものには◎)

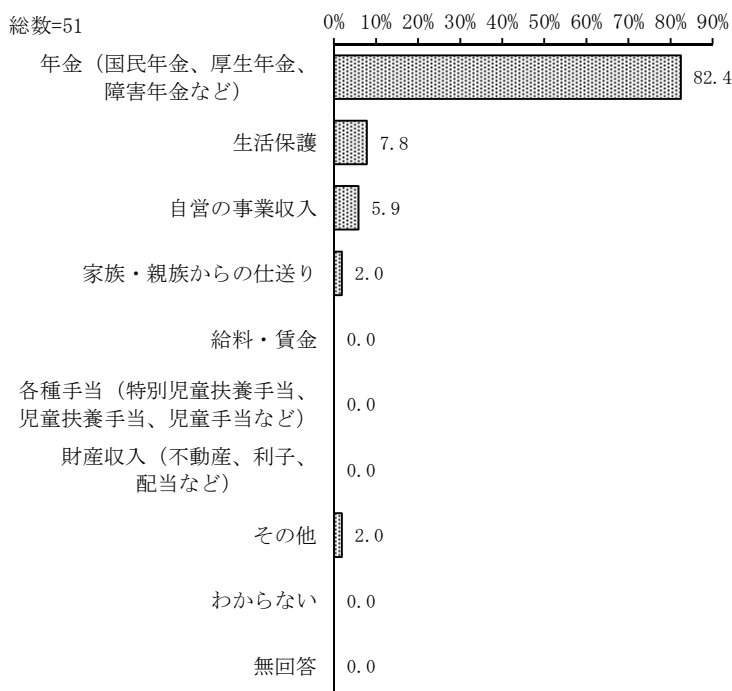
「年金（国民年金、厚生年金、障害年金など）」が71.4%で最も多く、「生活保護」が7.9%、「自営の事業収入」が6.3%、「給料・賃金」が4.8%で続きます。

図表 4-9 世帯収入の種類



最も金額が大きいものは、「年金（国民年金、厚生年金、障害年金など）」が82.4%で最も多く、「生活保護」が7.8%、「自営の事業収入」が5.9%で続きます。

図表 4-10 最も金額が大きい収入

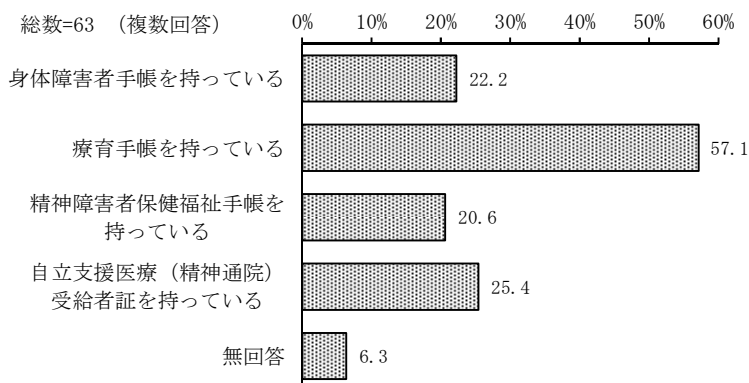


## 【2】あなたの障害のことについてうかがいます。

問9 あなたがお持ちの障害者手帳等の種類と等級についてうかがいます。下の表のあてはまる所の番号と等級（程度）に○をつけて、（ ）内に取得した年齢を記入してください。

「療育手帳を持っている」が57.1%、「自立支援医療（精神通院）受給者証を持っている」が25.4%、「身体障害者手帳を持っている」が22.2%、「精神障害者保健福祉手帳を持っている」が20.6%、となっています。

図表 4-11 身体障害者手帳等取得の有無



所持している手帳の組み合わせは、「療育手帳のみ」が33.3%、「療育手帳と自立支援医療（精神通院）受給者証」が17.5%、「身体障害者手帳のみ」が15.9%、「精神障害者保健福祉手帳のみ」が12.7%で続きます。

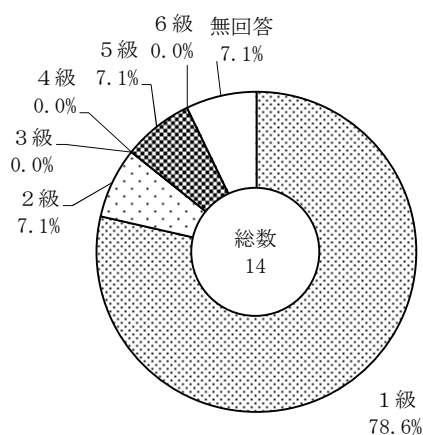
図表 4-12 所持している手帳の組み合わせ

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	63	100.0
身体障害者手帳のみ	10	15.9
療育手帳のみ	21	33.3
精神障害者保健福祉手帳のみ	8	12.7
自立支援医療（精神通院）受給者証のみ	1	1.6
身体障害者手帳+療育手帳	2	3.2
身体障害者手帳+精神障害者保健福祉手帳	1	1.6
療育手帳+精神障害者保健福祉手帳	1	1.6
療育手帳+自立支援医療（精神通院）受給者証	11	17.5
精神障害者保健福祉手帳+自立支援医療（精神通院）受給者証	3	4.8
身体障害者手帳+療育手帳+自立支援医療（精神通院）受給者証	1	1.6
いずれも持っていない	4	6.3

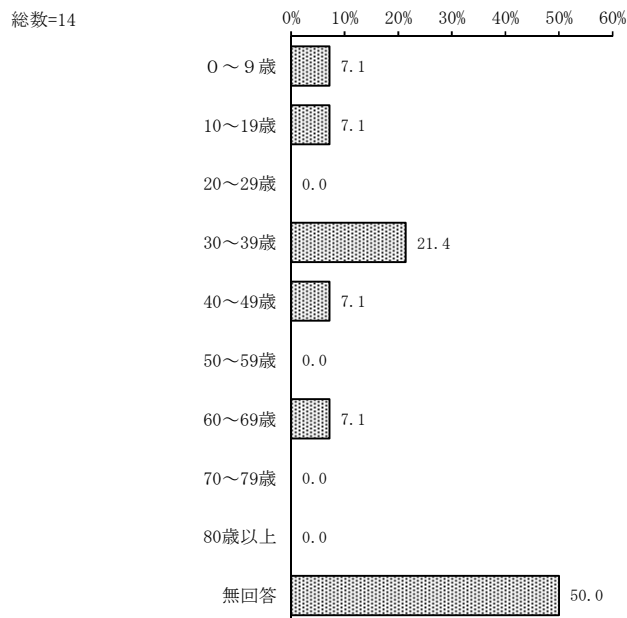
【身体障害者手帳】

等級（程度）は、「1級」が78.6%、「2級」、「5級」が7.1%となっています。  
 取得した年齢は、「30～39歳」が21.4%、「0～9歳」、「10～19歳」、「40～49歳」、「60～69歳」が7.1%となっています。

図表 4-13 身体障害者手帳の等級



図表 4-14 身体障害者手帳を取得した年齢

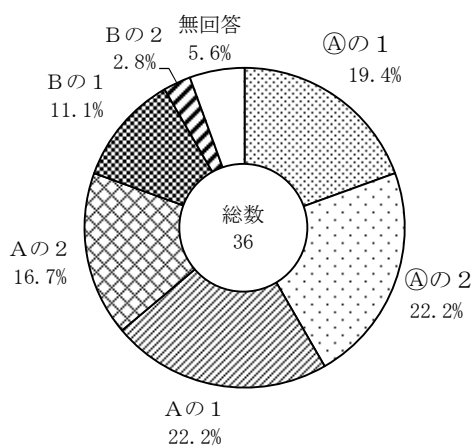


【療育手帳】

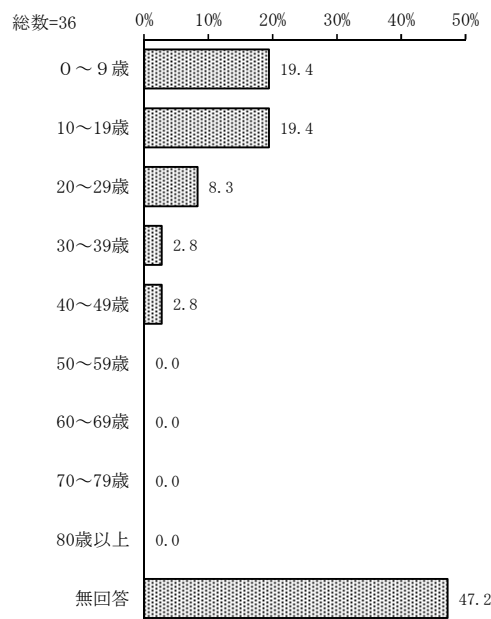
等級（程度）は、「㊤の2」、「Aの1」が22.2%で最も多く、「㊤の1」が19.4%、「Aの2」が16.7%で続きます。

取得した年齢は、「0～9歳」、「10～19歳」が19.4%、「20～29歳」が8.3%、「30～39歳」、「40～49歳」が2.8%となっています。

図表 4-15 療育手帳の等級



図表 4-16 療育手帳を取得した年齢

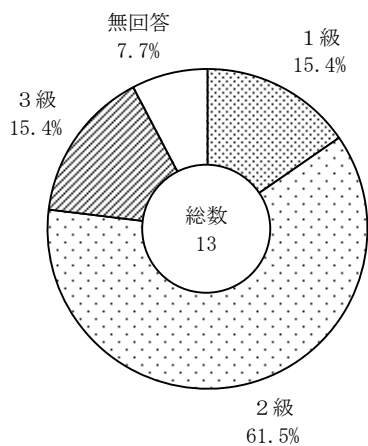


【精神障害者保健福祉手帳】

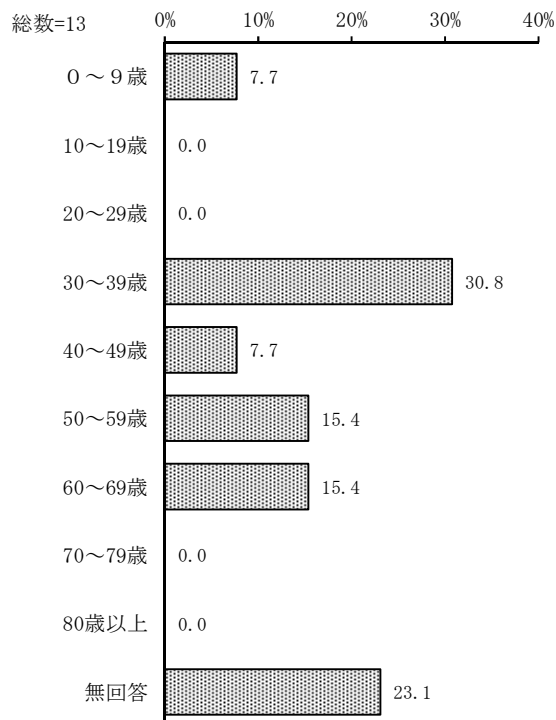
等級（程度）は、「2級」が61.5%、「1級」、「3級」が15.4%となっています。

取得した年齢は、「30～39歳」が30.8%、「50～59歳」、「60～69歳」が15.4%、「0～9歳」、「40～49歳」が7.7%となっています。

図表 4-17 精神障害者保健福祉手帳の等級



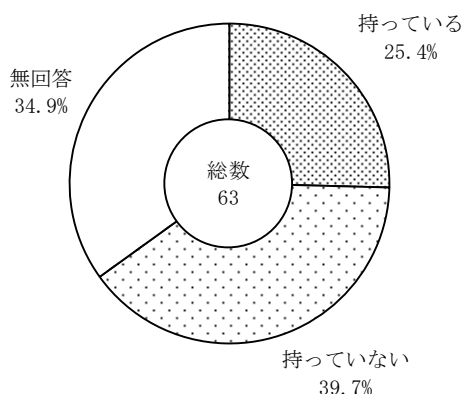
図表 4-18 精神障害者保健福祉手帳を取得した年齢



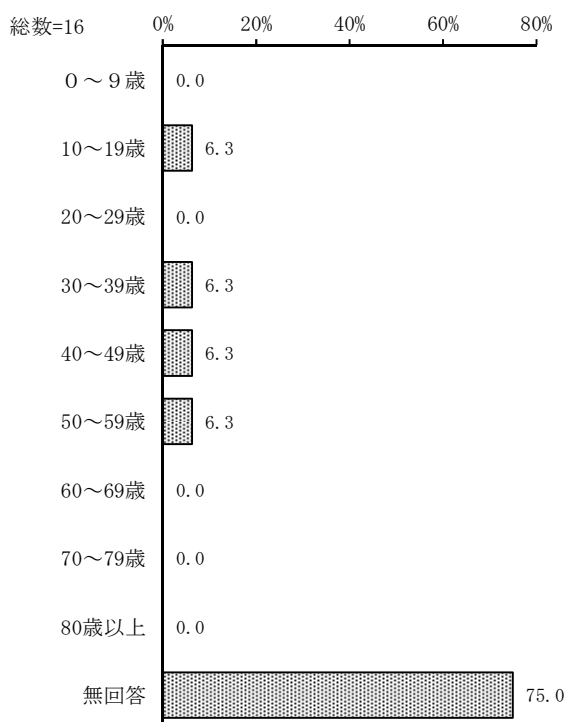
【自立支援医療（精神通院）受給者証】

「持っている」が25.4%、「持っていない」が39.7%となっています。  
 取得した年齢は、「10～19歳」、「30～39歳」、「40～49歳」、「50～59歳」が6.3%  
 となっています。

図表 4-19  
 自立支援医療（精神通院）受給者証取得の有無



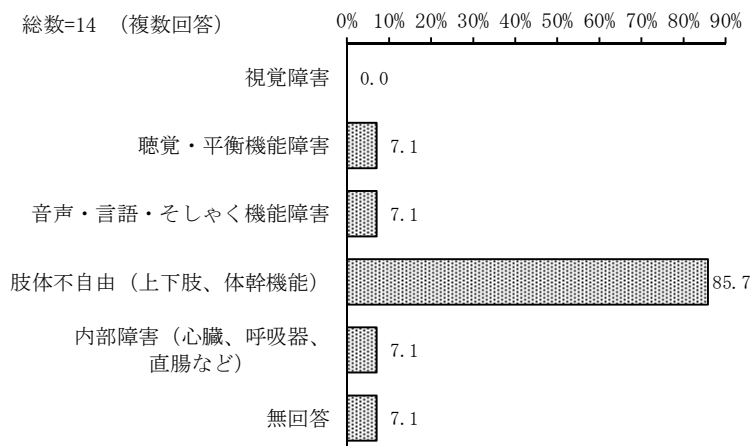
図表 4-20  
 自立支援医療（精神通院）受給者証を取得した年齢



問9-1 【身体障害者手帳をお持ちの方のうちの方にうかがいます。】障害の種類（部位）は、次のうちのどれですか。（あてはまるものすべてに○）

「肢体不自由（上下肢、体幹機能）」が85.7%、「聴覚・平衡機能障害」、「音声・言語・そしゃく機能障害」、「内部障害（心臓、呼吸器、直腸など）」が7.1%となっています。

図表 4-21 身体障害の種類（部位）

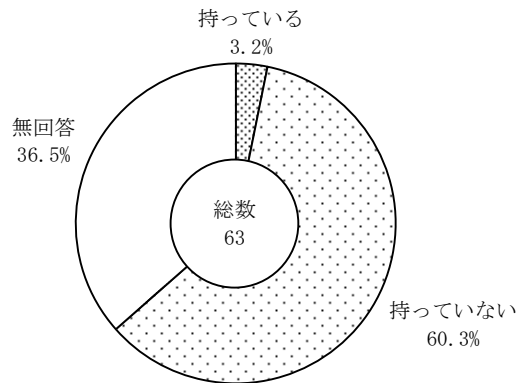


問 10 あなたは、難病のための受給者証（千葉県特定医療費（指定難病）受給者証等）をお持ちですか。あてはまる番号1つに○をつけて、（ ）内に具体的に記入してください。

「持っている」が3.2%、「持っていない」が60.3%となっています。

取得した年齢について、回答者はありません。

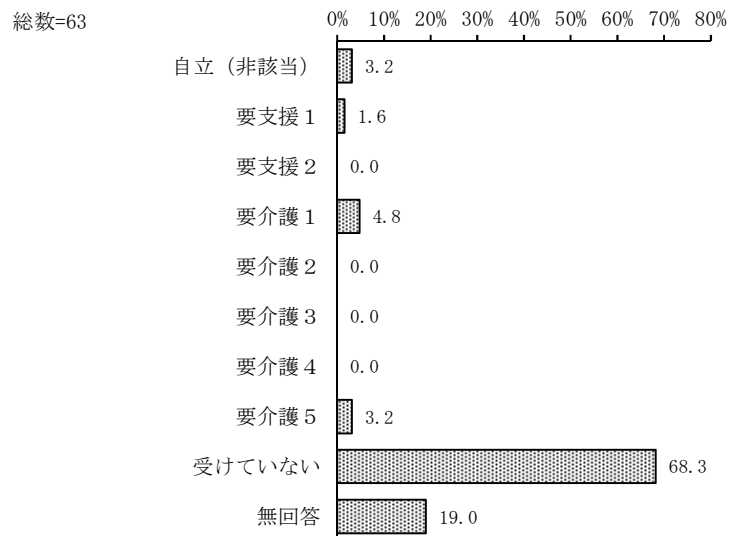
図表 4-22 特定疾患医療受給者票取得の有無



問 10-1 あなたは、介護保険法に基づく要介護認定を受けていますか。（どれか1つに○）

「受けていない」が68.3%、「要介護1」が4.8%、「自立（非該当）」、「要介護5」が3.2%、「要支援1」が1.6%となっています。

図表 4-23 要介護認定を受けていますか

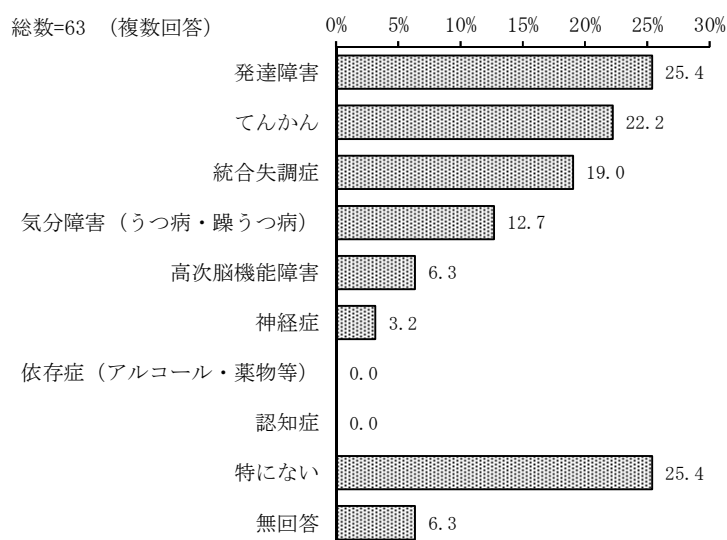




## 問11 あなたには、次の疾患や障害がありますか。(あてはまるものすべてに○)

「発達障害」が25.4%で最も多く、「てんかん」が22.2%、「統合失調症」が19.0%、「気分障害（うつ病・躁うつ病）」が12.7%で続きます。

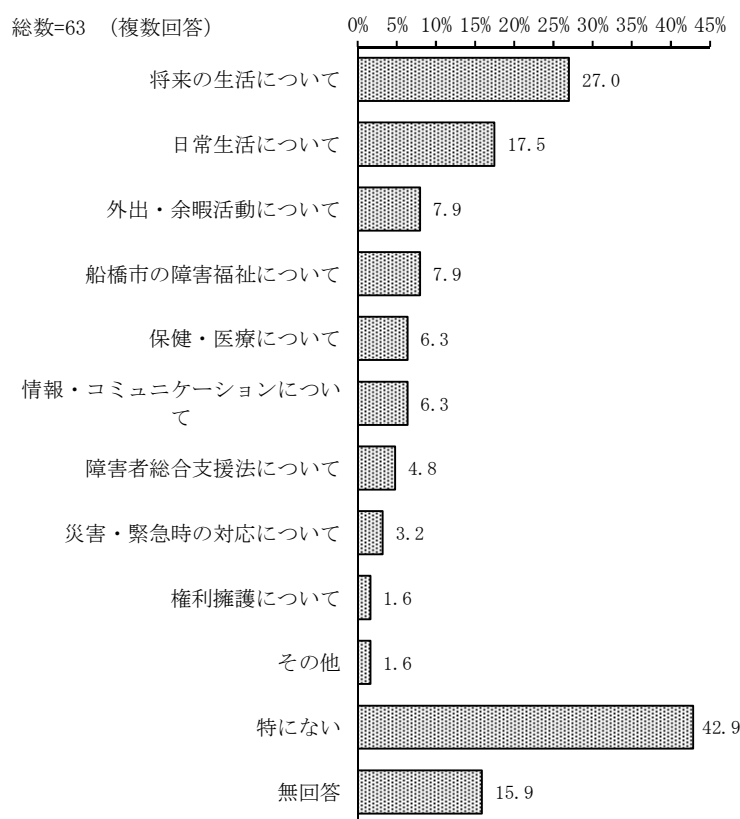
図表 4-24 疾患や障害の有無と種類



## 問12 現在あなたには、誰かに相談したいことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

「将来の生活について」が27.0%で最も多く、「日常生活について」が17.5%で続きます。

図表 4-25 誰かに相談したいこと

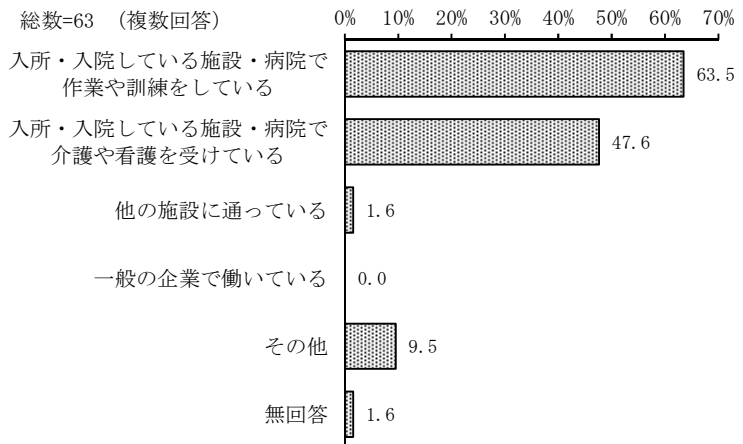


### 【3】日常生活についてうかがいます。

問 13 あなたは、普段日中をどのように過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

「入所・入院している施設・病院で作業や訓練をしている」が63.5%で最も多く、「入所・入院している施設・病院で介護や看護を受けている」が47.6%で続きます。

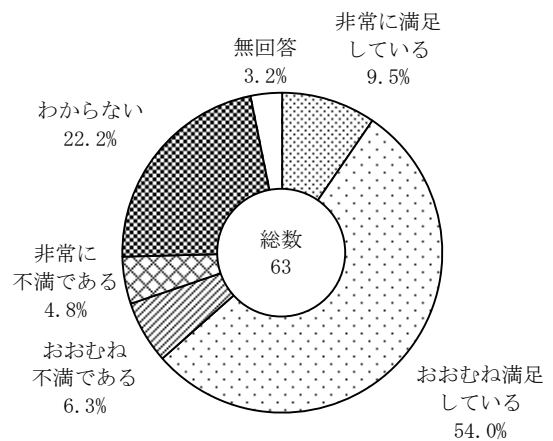
図表 4-26 日中の過ごし方



問 14 あなたは、現在の施設・病院での生活に満足していますか。(どれか1つに○)

「おおむね満足している」が54.0%、「わからない」が22.2%、「非常に満足している」が9.5%、「おおむね不満である」が6.3%、「非常に不満である」が4.8%となっています。

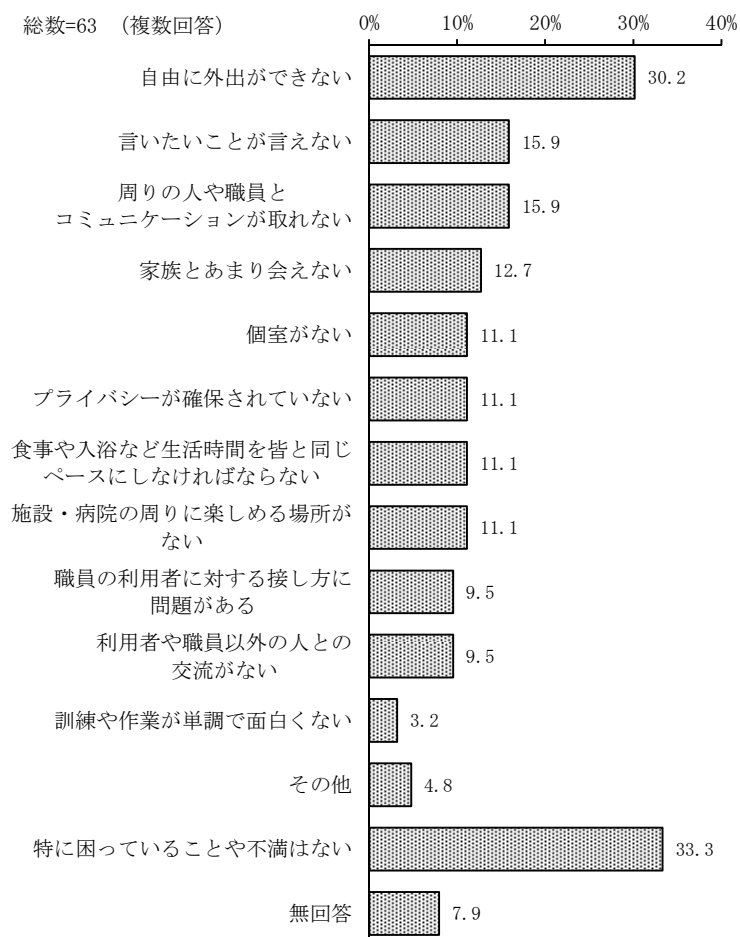
図表 4-27 施設・病院での生活の満足度



問 15 あなたが施設・病院の生活で困っていることや不満に思っていることは、何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「自由に外出ができない」が30.2%で最も多く、「言いたいことが言えない」、「周りの人や職員とコミュニケーションが取れない」が15.9%、「家族とあまり会えない」が12.7%で続きます。

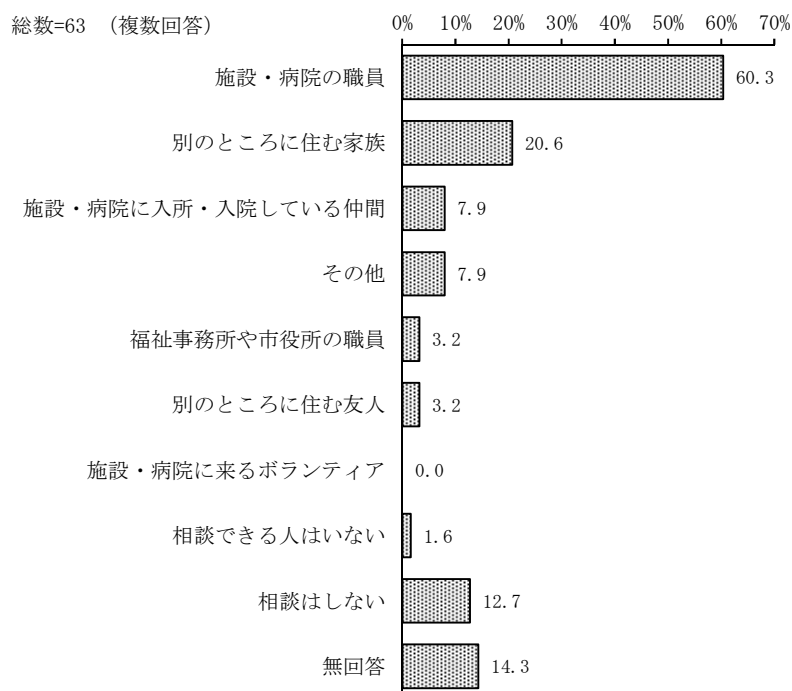
図表 4-28  
施設・病院の生活で困っていることや不満に思っていること



問 16 あなたが困ったり、悩んだりしたときに相談する人は誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

「施設・病院の職員」が60.3%で最も多く、「別のところに住む家族」が20.6%で続きます。

図表 4-29 困ったり、悩んだときの相談相手

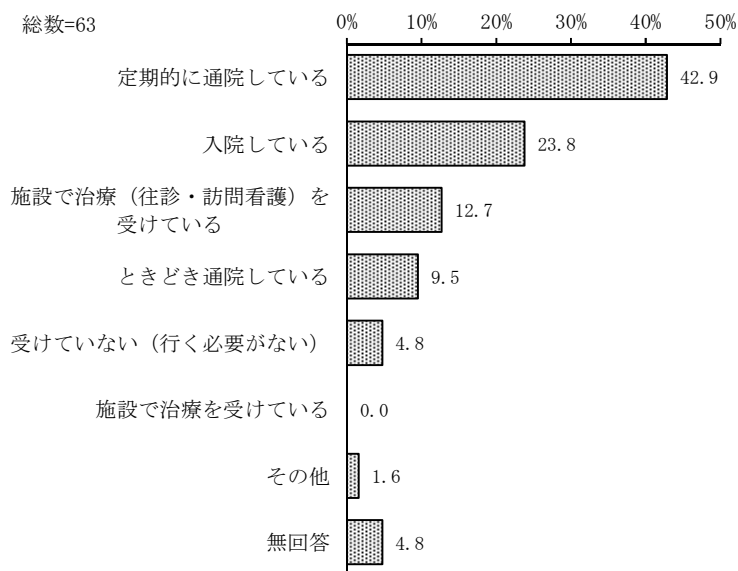


【4】保健・医療についてうかがいます。

問 17 あなたは、現在、医療を受けていますか。(どれか1つに○)

「定期的に通院している」が42.9%で最も多く、「入院している」が23.8%、「施設で治療(往診・訪問看護)を受けている」が12.7%で続きます。

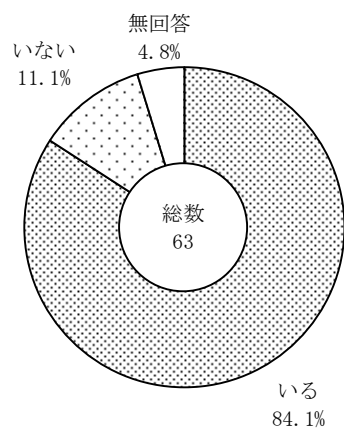
図表 4-30 現在、医療を受けていますか



問 18 あなたには、よく診察してもらう「かかりつけ医」がいますか。(どれか1つに○)

「いる」が84.1%、「いない」が11.1%となっています。

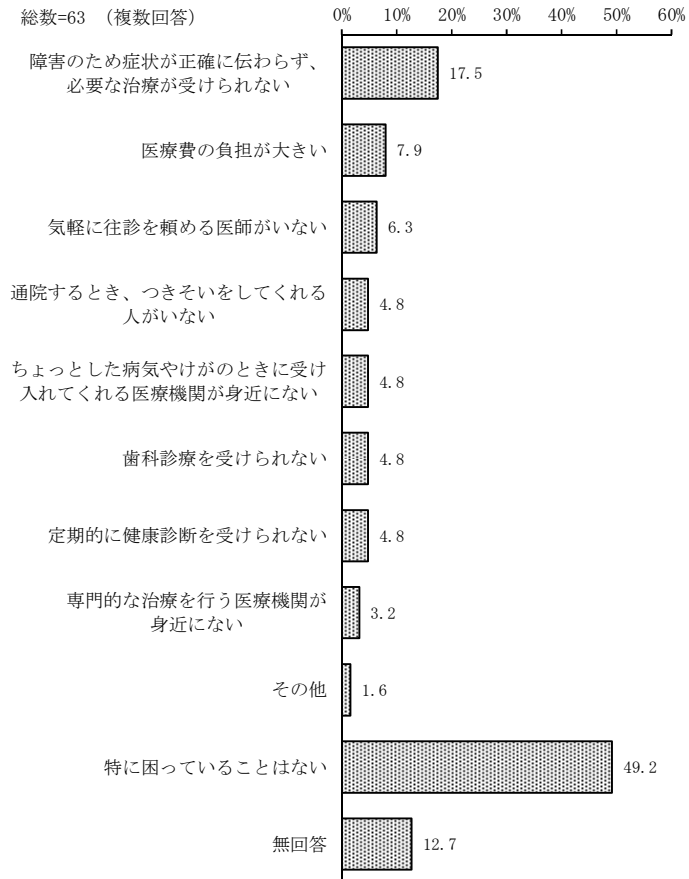
図表 4-31 かかりつけ医の有無



問 19 あなたが医療を受けるときや、健康管理で困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「障害のため症状が正確に伝わらず、必要な治療が受けられない」が17.5%で最も多く、「医療費の負担が大きい」が7.9%、「気軽に往診を頼める医師がいない」が6.3%で続きます。

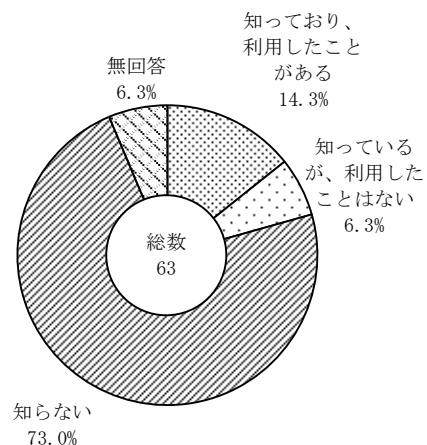
図表 4-32 通院時や健康管理で困っていること



問 20 あなたは精神障害者入院費医療制度を知っていますか。(どれか1つに○)

「知らない」が73.0%、「知っており、利用したことがある」が14.3%、「知っているが、利用したことはない」が6.3%となっています。

図表 4-33 精神障害者入院費医療制度の認知状況

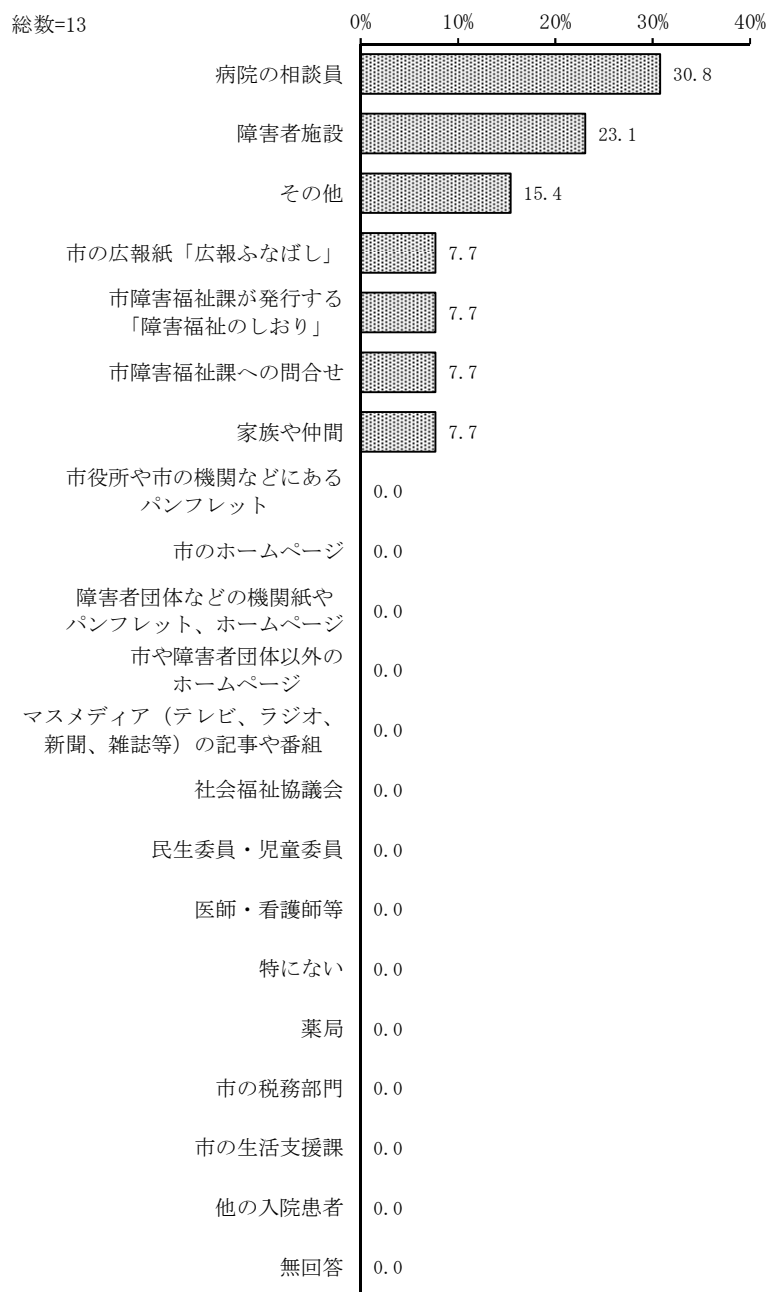


問 20-1 【問 20 で 1、2 を選んだ方にうかがいます。】あなたは精神障害者入院費医療制度をどこで知りましたか。(どれか1つに○)

※ 1. 知っており、利用したことがある 2. 知っているが、利用したことはない

「病院の相談員」が30.8%で最も多く、「障害者施設」が23.1%、「その他」が15.4%で続きます。

図表 4-34 精神障害者入院費医療制度を知った先

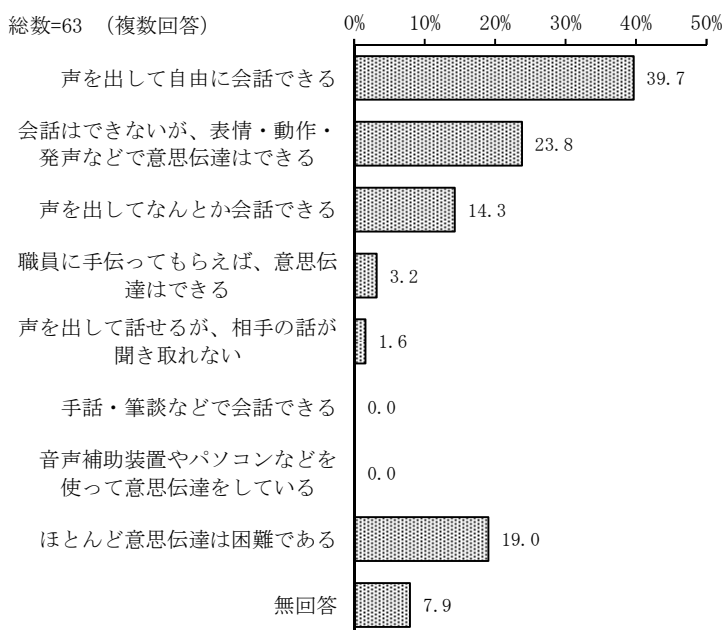


## 【5】情報・コミュニケーションについてうかがいます。

問 21 あなたは、日頃どのようにコミュニケーション（会話や意思の伝達）をとることができますか。（あてはまるものすべてに○）

「声を出して自由に会話できる」が39.7%で最も多く、「会話はできないが、表情・動作・発声などで意思伝達はある」が23.8%、「ほとんど意思伝達は困難である」が19.0%、「声を出してなんとか会話できる」が14.3%で続きます。

図表 4-35  
コミュニケーション（会話や意思の伝達）の程度



問 22 【視覚障害の方にはうかがいます。】あなたは、日頃どのようにして情報を得たり、コミュニケーションをとったりしていますか。（あてはまるものすべてに○）

この設問には、回答者がありません。

問 23 【聴覚障害の方にはうかがいます。】あなたは、日頃どのようにして情報を得たり、コミュニケーションをとったりしていますか。（あてはまるものすべてに○）

この設問には、回答者がありません。



問 23-1 【問 23 で 3 を選んだ方にうかがいます。】手話通訳者・要約筆記者の派遣サービスに満足していますか。(どれか1つに○)

※ 3. 手話通訳・要約筆記通訳

この設問には、回答者がありません。

問 23-2 【問 23-1 で 4 を選んだ方にうかがいます。】あなたが手話通訳者・要約筆記者の派遣サービスに満足していない理由は何ですか。(どれか1つに○)

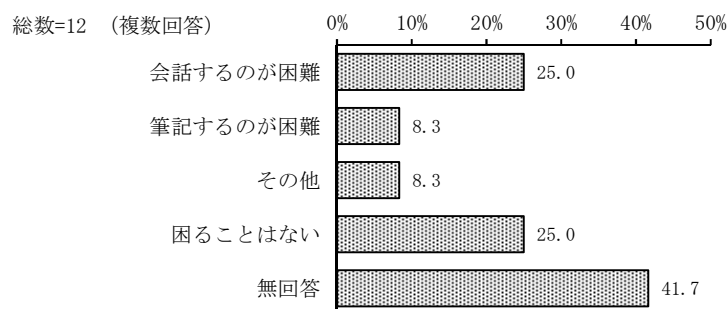
※ 4. 満足していない

この設問には、回答者がありません。

問 24 【脳性まひや肢体不自由の方にうかがいます。】あなたが意思を伝える場合に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「会話するのが困難」、「困ることはない」が25.0%、「筆記するのが困難」、「その他」が8.3%となっています。

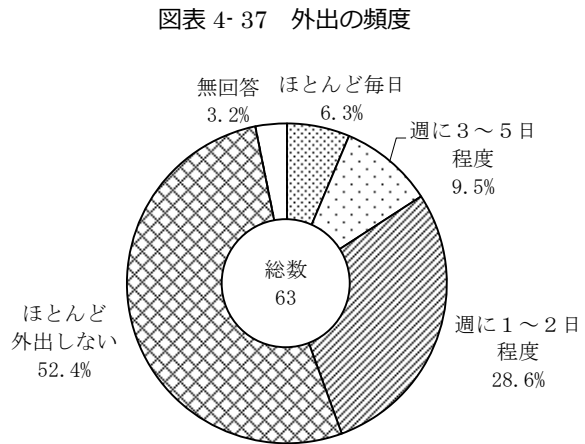
図表 4-36 意思を伝える場合に困ること  
【脳性まひや肢体不自由の方】



【6】外出・余暇活動についてうかがいます。

問 25 ふだん、あなたは週に何日くらい外出しますか。(どれか1つに○)

「ほとんど外出しない」が52.4%、「週に1～2日程度」が28.6%、「週に3～5日程度」が9.5%、「ほとんど毎日」が6.3%となっています。

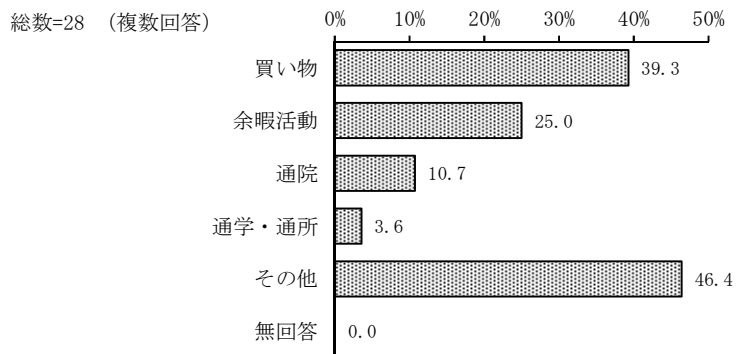


問 25-1 【問 25 で1～3を選んだ方にうかがいます。】外出の目的は、何ですか。(あてはまるものすべてに○)

※ 1. ほとんど毎日 3. 週に1～2日程度 2. 週に3～5日程度

「買い物」が39.3%で最も多く、「余暇活動」が25.0%、「通院」が10.7%で続きます。

図表 4-38 外出の目的

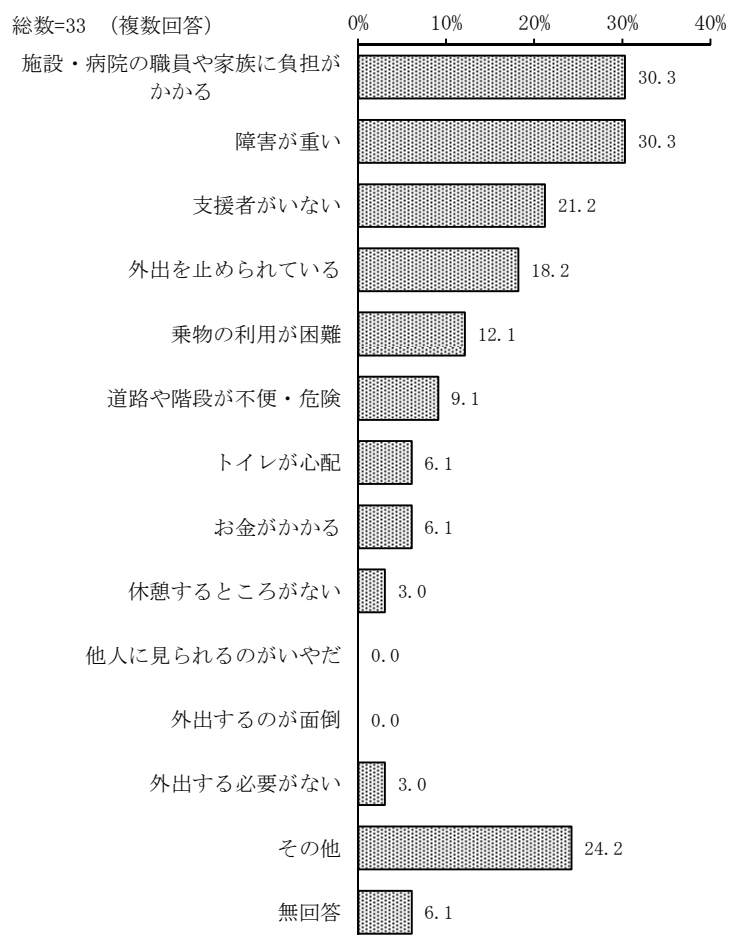


問25-2 【問25で4を選んだ方にうかがいます。】外出しない理由は、何ですか。（あてはまるものすべてに○）

※ 4. ほとんど外出しない

「施設・病院の職員や家族に負担がかかる」、「障害が重い」が30.3%で最も多く、「支援者がいない」が21.2%、「外出を止められている」が18.2%で続きます。

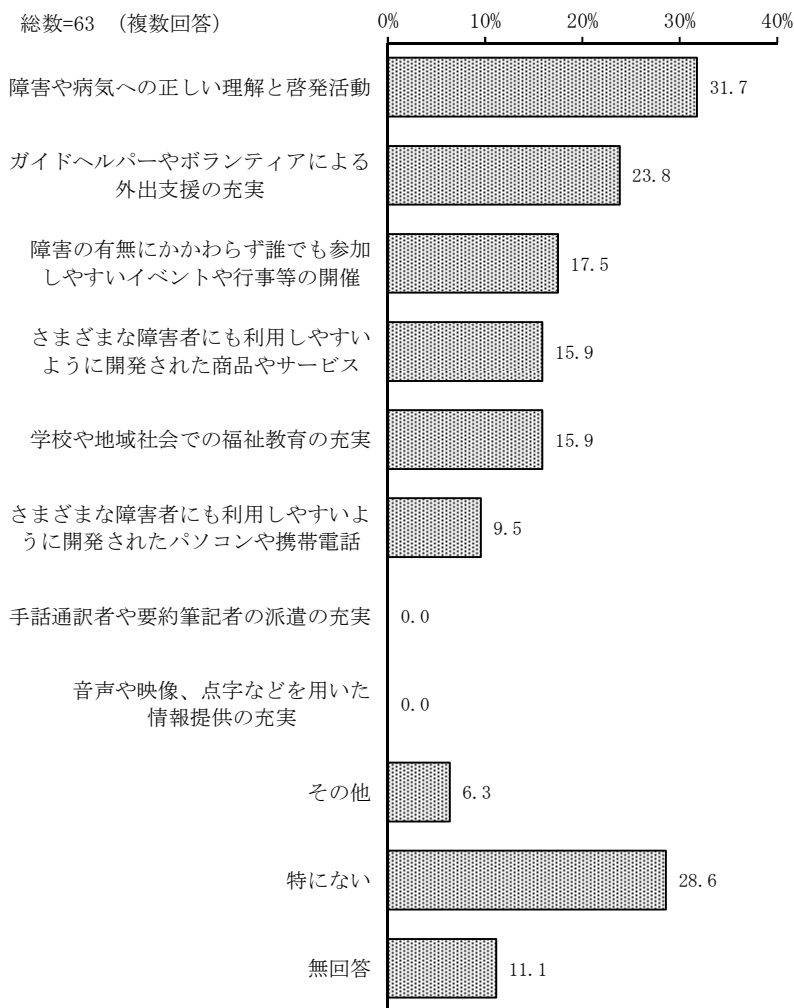
図表4-39 外出しない理由



問 26 交通機関やまちのバリアフリー化だけでなく制度や意識の面も含めた「社会全体のバリアフリー化」を進めるために、あなたが重要だと思うものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「障害や病気への正しい理解と啓発活動」が31.7%で最も多く、「ガイドヘルパーやボランティアによる外出支援の充実」が23.8%、「障害の有無にかかわらず誰でも参加しやすいイベントや行事等の開催」が17.5%、「さまざまな障害者にも利用しやすいように開発された商品やサービス」、「学校や地域社会での福祉教育の充実」が15.9%で続きます。

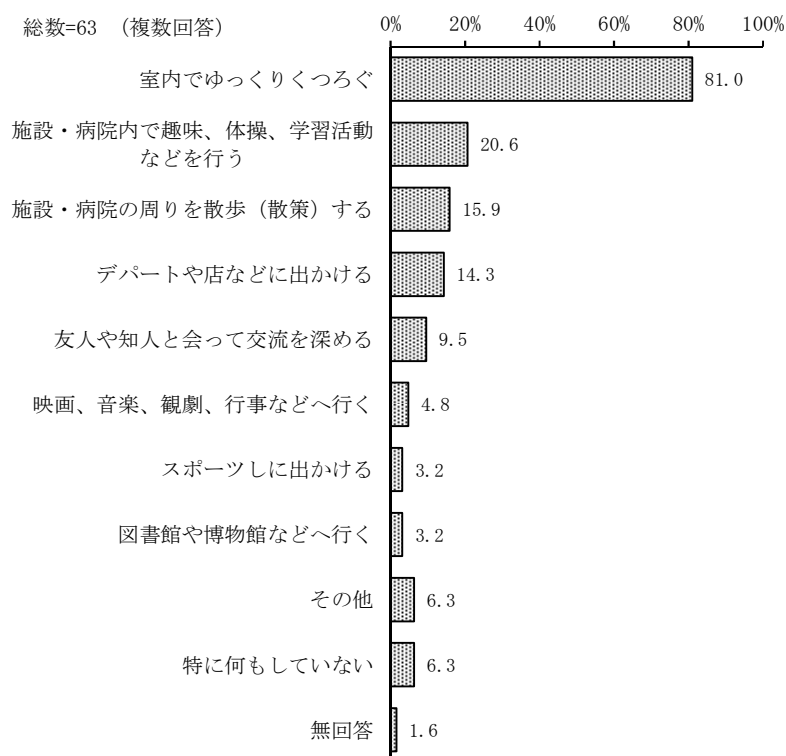
図表 4-40 「社会全体のバリアフリー化」を進めるため重要なこと



問 27 あなたは時間に余裕があるときには、どのようなことをしていますか。  
(あてはまるものすべてに○)

「室内でゆっくりくつろぐ」が81.0%で最も多く、「施設・病院内で趣味、体操、学習活動などを行う」が20.6%、「施設・病院の周りを散歩（散策）する」が15.9%、「デパートや店などに出かける」が14.3%で続きます。

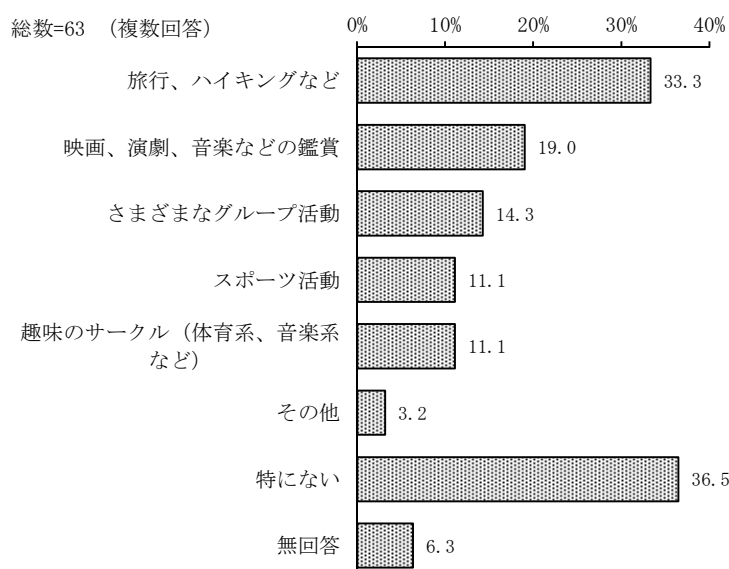
図表 4-41 余暇時間に行っていること



問 28 あなたは現在の生活をより豊かにするために、どのような活動に参加したいと思っていますか。(あてはまるものすべてに○)

「旅行、ハイキングなど」が33.3%で最も多く、「映画、演劇、音楽などの鑑賞」が19.0%、「さまざまなグループ活動」が14.3%で続きます。

図表 4-42 今後参加したい活動

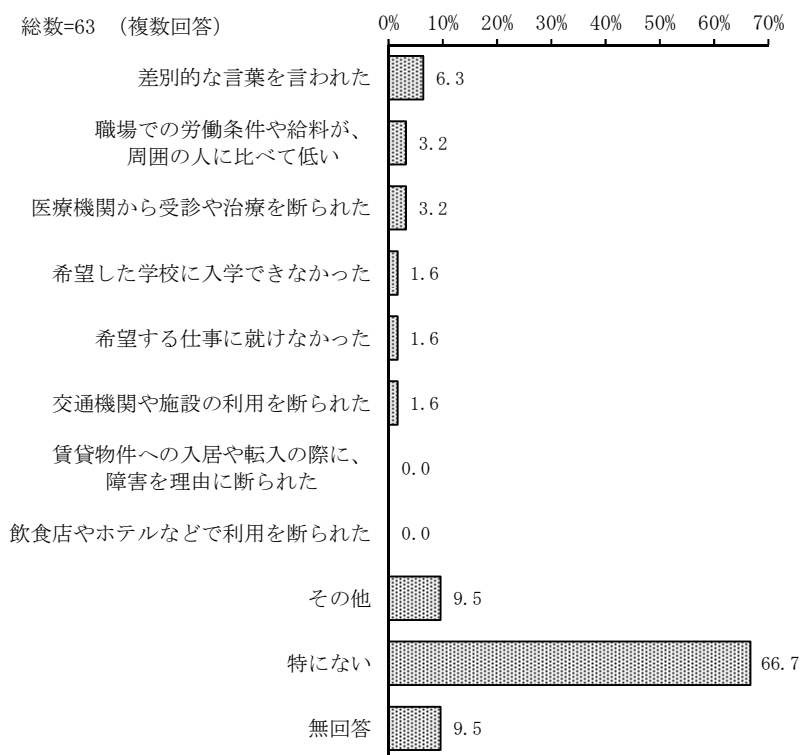


【7】権利擁護についてうかがいます。

問 29 あなたは、障害があることが原因で、人権を損なう扱いを受けた経験がありますか。(あてはまるものすべてに○)

「差別的な言葉を言われた」が6.3%で最も多く、「職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて低い」、「医療機関から受診や治療を断られた」が3.2%で続きます。

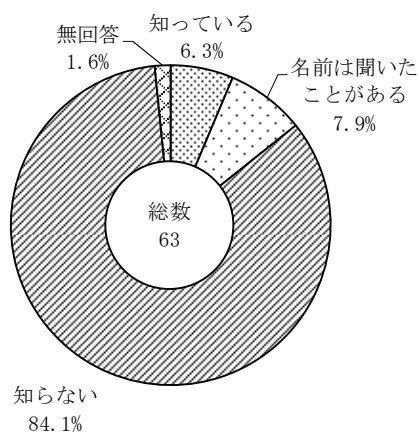
図表 4- 43 障害による差別を受けた経験



問 30 あなたは、「船橋市障害者虐待防止センター（通称：はーぶ）」を知っていますか。(どれか1つに○)

「知らない」が84.1%、「名前は聞いたことがある」が7.9%、「知っている」が6.3%となっています。

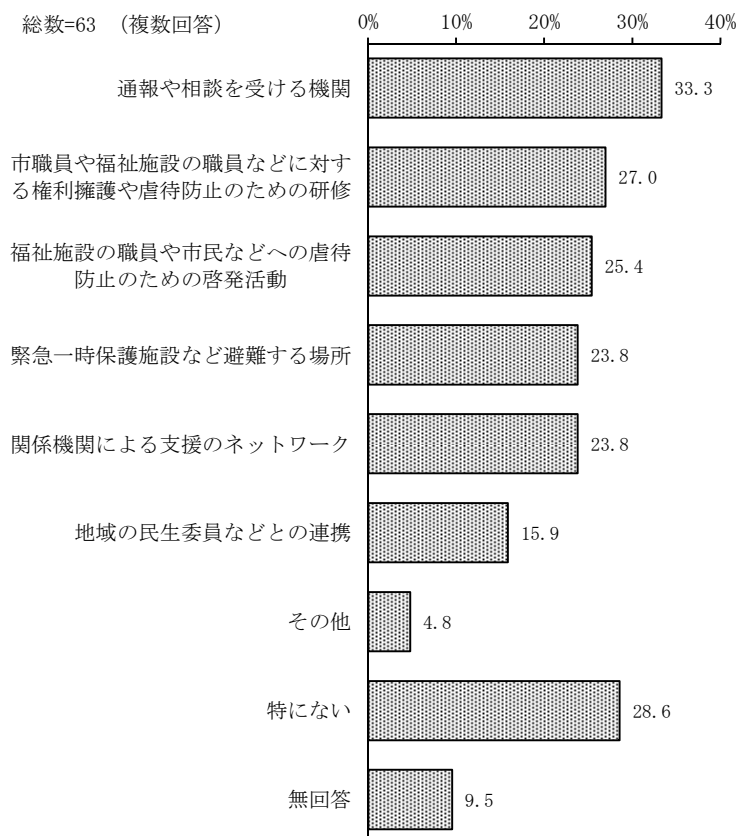
図表 4- 44 船橋市障害者虐待防止センターの認知状況



問31 障害者虐待の防止のために、あなたは、市がどのような制度や体制を整備する必要がありますか。(あてはまるものすべてに○)

「通報や相談を受ける機関」が33.3%で最も多く、「市職員や福祉施設の職員などに対する権利擁護や虐待防止のための研修」が27.0%、「福祉施設の職員や市民などへの虐待防止のための啓発活動」が25.4%、「緊急一時保護施設など避難する場所」、「関係機関による支援のネットワーク」が23.8%で続きます。

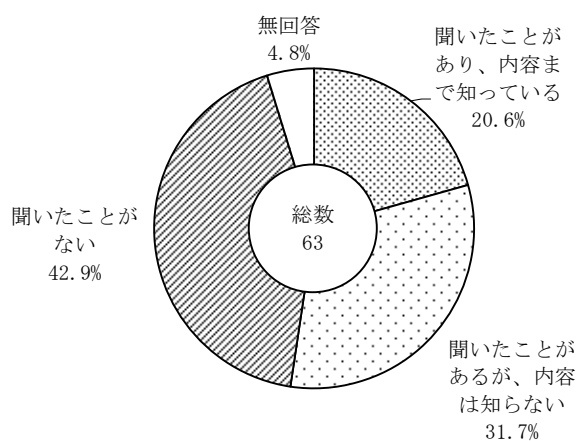
図表4-45 障害者虐待の防止のために市が整備すべき制度や体制



問32 あなたは、成年後見制度を知っていますか。(どれか1つに○)

「聞いたことがない」が42.9%、「聞いたことがあるが、内容は知らない」が31.7%、「聞いたことがあり、内容まで知っている」が20.6%となっています。

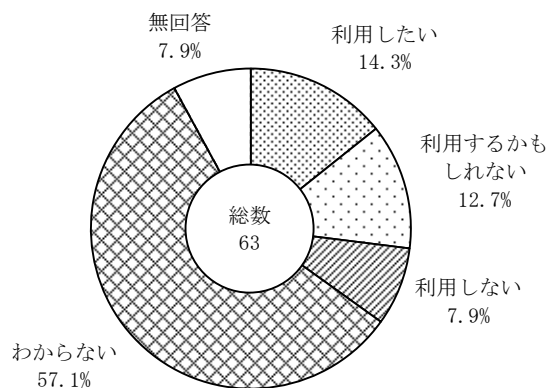
図表4-46 成年後見制度の認知状況



問 32-1 成年後見制度の利用についてどう考えますか。(どれか1つに○)

「わからない」が57.1%、「利用したい」が14.3%、「利用するかもしれない」が12.7%、「利用しない」が7.9%となっています。

図表 4- 47 成年後見制度の利用意向

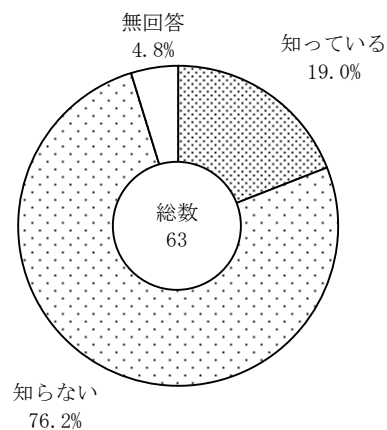


問 32-2 船橋市障害者成年後見支援センターを知っていますか。(どれか1つに○)

「知っている」が19.0%、「知らない」が76.2%となっています。

図表 4- 48

船橋市障害者成年後見支援センターの認知状況



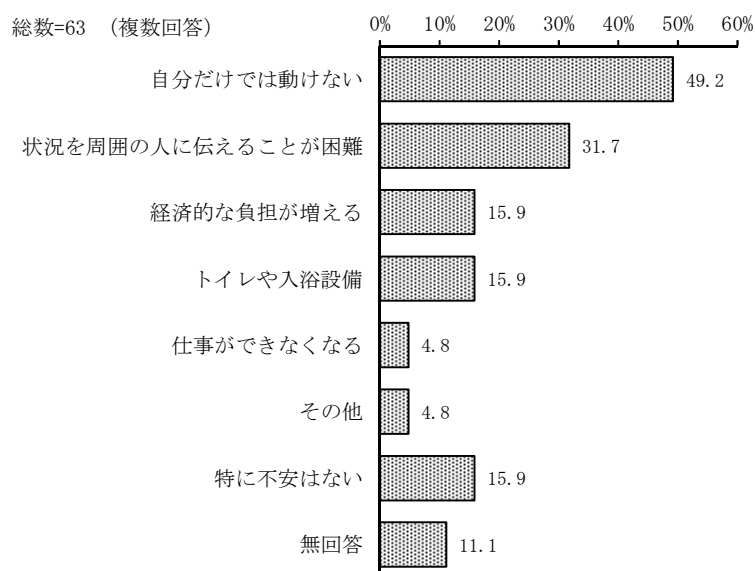


## 【8】災害時など緊急の時の対応についてうかがいます。

問 33 もし、あなたが緊急な病状になったことを考えると、特に不安に感じることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「自分だけでは動けない」が49.2%で最も多く、「状況を周囲の人に伝えることが困難」が31.7%で続きます。

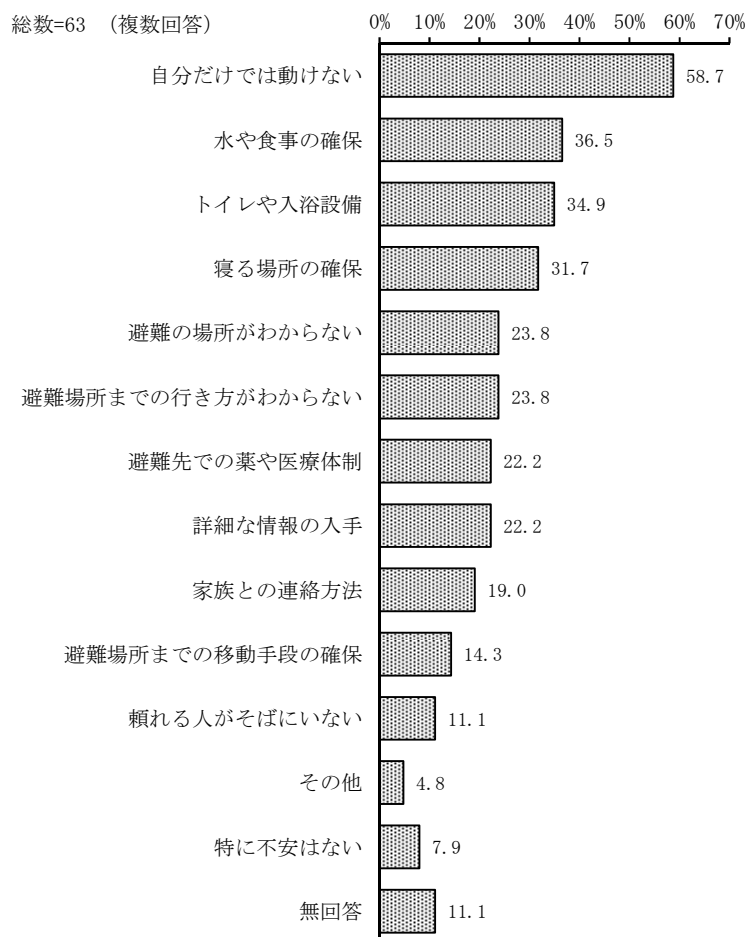
図表 4-49 緊急な病状になったときに不安なこと



問 34 地震や火事、台風などのために、緊急に避難しなければならなくなったことを考えると、あなたが不安に感じることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「自分だけでは動けない」が58.7%で最も多く、「水や食事の確保」が36.5%、「トイレや入浴設備」が34.9%、「寝る場所の確保」が31.7%で続きます。

図表 4-50 緊急避難時に不安なこと

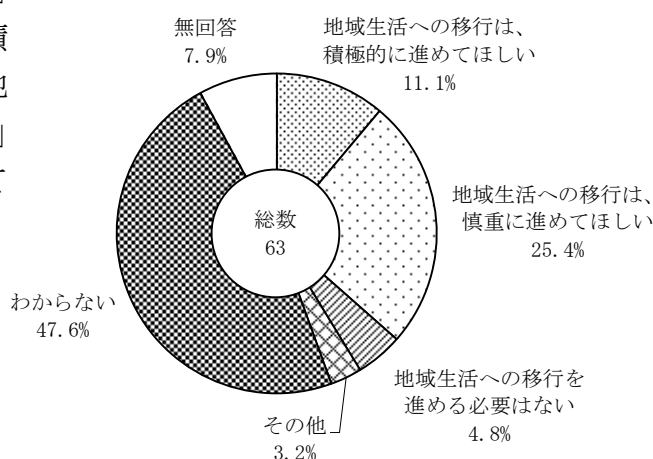


## 【9】障害者総合支援法についてうかがいます。

問 35 市では、「第4期船橋市障害福祉計画」に基づき、現在、福祉施設に入所または病院に入院している障害者で退所・退院が可能な人について、地域生活への移行を支援しています。このことについて、あなたはどのように思いますか。（どれか1つに○）

「わからない」が47.6%、「地域生活への移行は、慎重に進めてほしい」が25.4%、「地域生活への移行は、積極的に進めてほしい」が11.1%、「地域生活への移行を進める必要はない」が4.8%、「その他」が3.2%となっています。

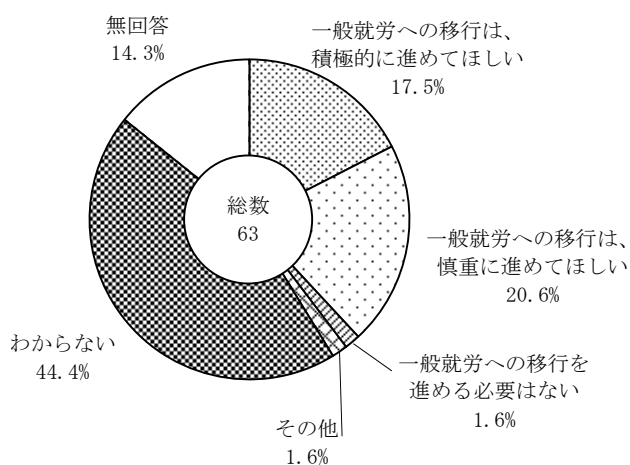
図表 4-51 入所者・入院者の地域生活移行への考え方



問 36 現在、福祉的就労（障害者の作業所などでの就労）をしている障害者のうち、訓練により一般就労（企業等への就労、在宅での就労）が可能となる人について、市では一般就労への移行を支援しています。このことについて、あなたはどのように思いますか。（どれか1つに○）

「わからない」が44.4%、「一般就労への移行は、慎重に進めてほしい」が20.6%、「一般就労への移行は、積極的に進めてほしい」が17.5%、「一般就労への移行を進める必要はない」、「その他」が1.6%となっています。

図表 4-52 福祉的就労から一般就労への移行の考え方

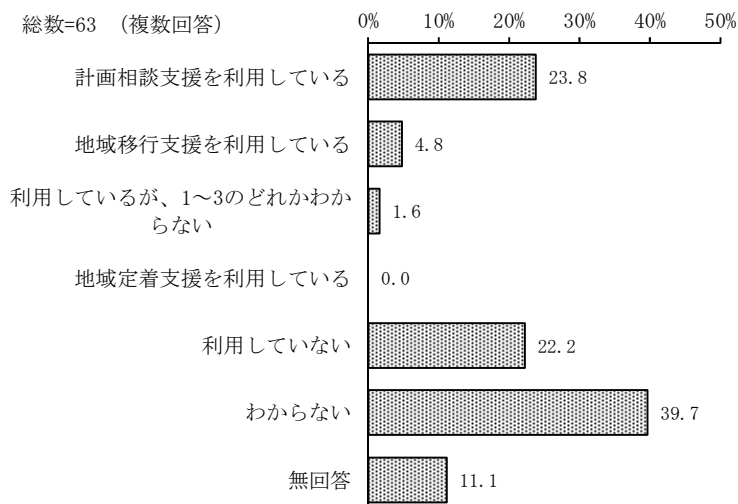


問37 あなたは、次のような相談支援事業を利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

- ※ 1. 計画相談支援を利用している 2. 地域移行支援を利用している 3. 地域定着支援を利用している

「計画相談支援を利用している」が23.8%で最も多く、「地域移行支援を利用している」が4.8%で続きます。

図表 4-53 相談支援事業の利用状況

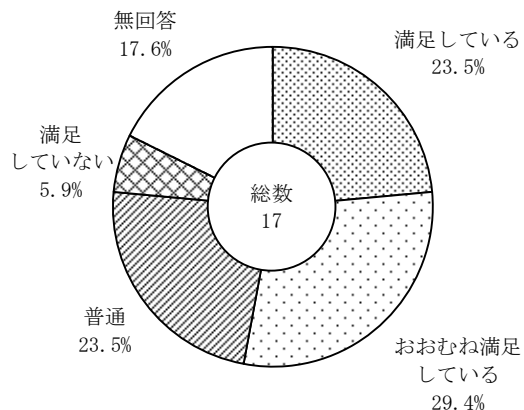


問37-1 【問37で1~4を選んだ方にうかがいます。】あなたは、相談支援事業に満足していますか。(どれか1つに○)

- ※ 1. 計画相談支援を利用している 2. 地域移行支援を利用している 3. 地域定着支援を利用している  
4. 利用しているが、1~3のどれかわからない

「おおむね満足している」が29.4%、「満足している」、「普通」が23.5%、「満足していない」が5.9%となっています。

図表 4-54 相談支援事業の満足度



問37-2 【問37-1で4を選んだ方にうかがいます。】あなたが満足していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

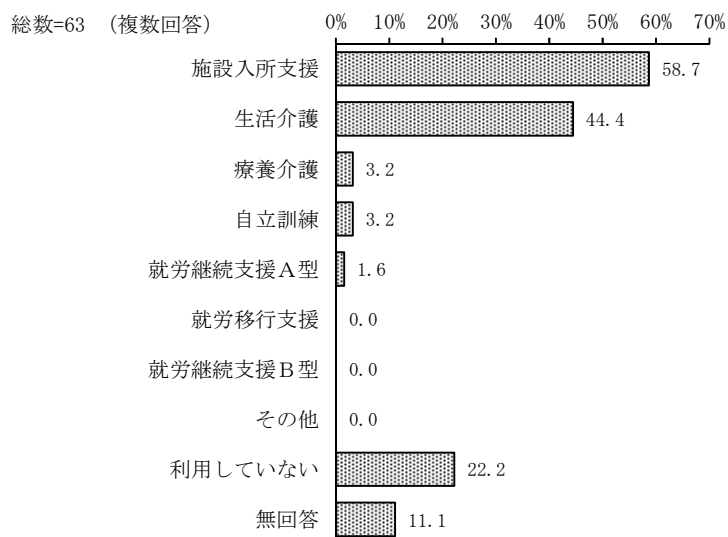
※ 4. 満足していない

この設問には、回答者がありません。

問38 あなたは、どのような障害福祉サービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

「施設入所支援」が58.7%で最も多く、「生活介護」が44.4%で続きます。

図表4-55 利用している障害福祉サービス

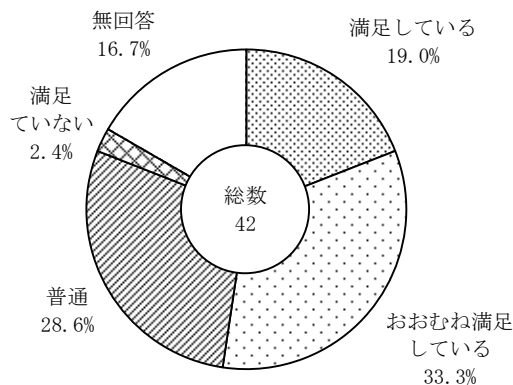


問38-1 【問38で1~8を選んだ方にうかがいます。】あなたは、利用しているサービスに満足していますか。(どれか1つに○)

※ 1. 療養介護 2. 生活介護 3. 施設入所支援 4. 自立訓練 5. 就労移行支援 6. 就労継続支援A型 7. 就労継続支援B型 8. その他

「おおむね満足している」が33.3%、「普通」が28.6%、「満足している」が19.0%、「満足していない」が2.4%となっています。

図表4-56 障害福祉サービスの満足度



問38-2 【問38-1で4を選んだ方にうかがいます。】あなたが満足していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

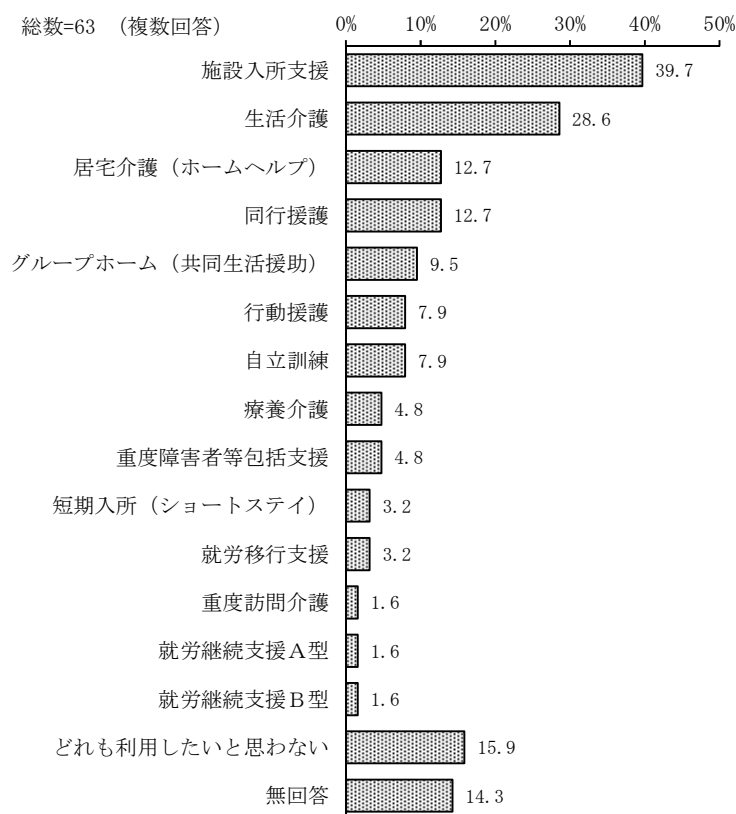
※ 4. 満足していない

この設問には、回答者がありません。

問39 今後、あなたが利用したいと思う障害福祉サービスは何ですか。現在利用している方もお答えください。(あてはまるものすべてに○)

「施設入所支援」が39.7%で最も多く、「生活介護」が28.6%で続きます。

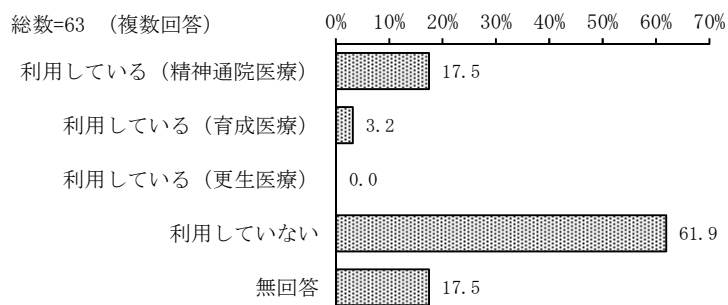
図表4-57 今後の障害福祉サービスの利用意向



問 40 あなたは、「自立支援医療」を利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

「利用している（精神通院医療）」が17.5%で最も多く、「利用している（育成医療）」が3.2%で続きます。

図表 4-58 自立支援医療の利用状況

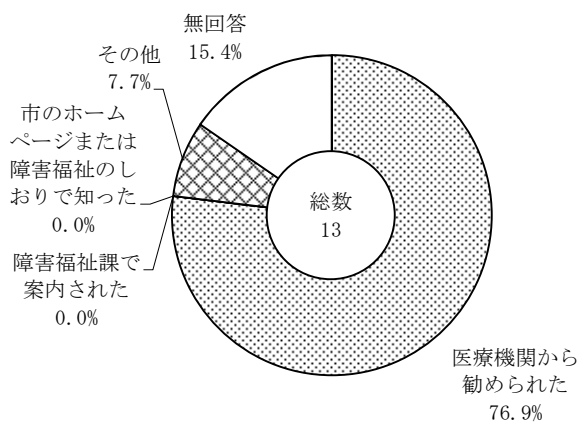


問 40-1 【問 40 で 1~3 を選んだ方にうかがいます。】あなたは「自立支援医療」の制度をどこで最初に知りましたか。(どれか1つに○)

※ 1. 利用している（育成医療） 2. 利用している（更生医療） 3. 利用している（精神通院医療）

「医療機関から勧められた」が76.9%、「その他」が7.7%となっています。

図表 4-59 自立支援医療の制度を最初に知った機会

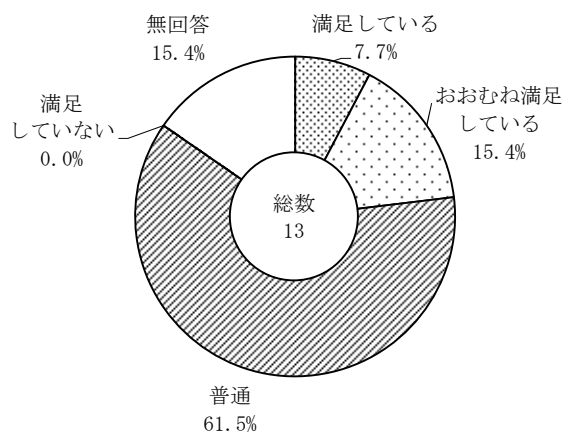


問 40-2 【問 40 で 1~3 を選んだ方にうかがいます。】あなたは、自立支援医療に満足していますか。(どれか1つに○)

※ 1. 利用している(育成医療) 2. 利用している(更生医療) 3. 利用している(精神通院医療)

「普通」が61.5%、「おおむね満足している」が15.4%、「満足している」が7.7%、「満足していない」が0.0%、「無回答」が15.4%となっています。

図表 4-60 自立支援医療の満足度



問 40-3 【問 40-2 で 4 を選んだ方にうかがいます。】あなたが満足していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

※ 4. 満足していない

この設問には、回答者がありません。

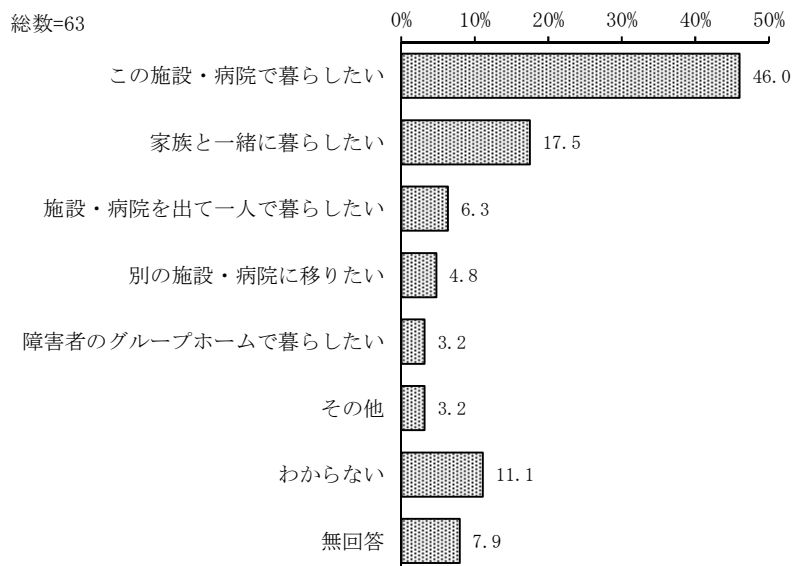


## 【10】将来の生活についてうかがいます。

問41 あなたは将来、どのように暮らしたいですか。(どれか1つに○)

「この施設・病院で暮らしたい」が46.0%で最も多く、「家族と一緒に暮らしたい」が17.5%、「施設・病院を出て一人で暮らしたい」が6.3%で続きます。

図表 4-61 将来希望する暮らし方

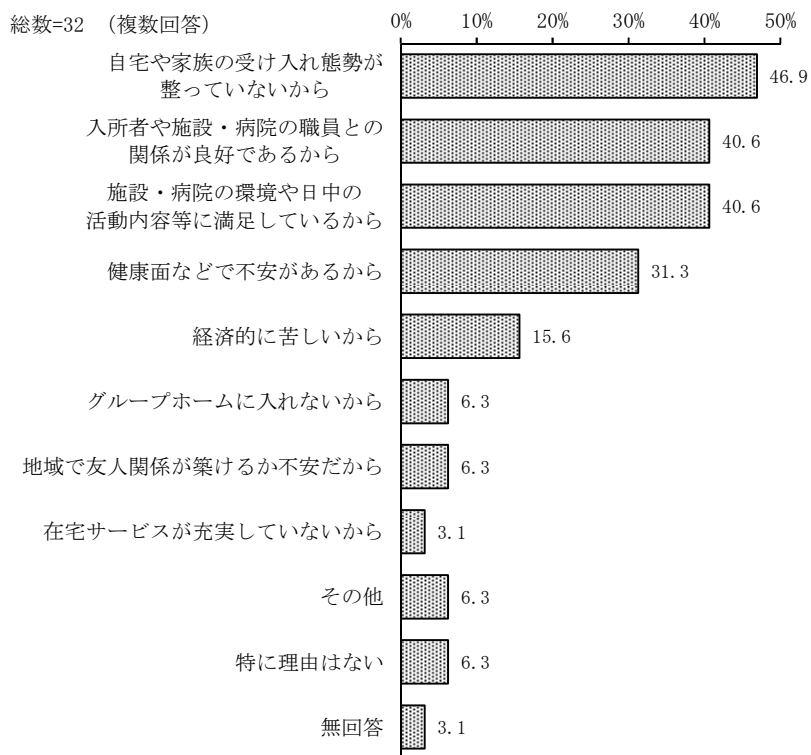


問41-1 【問41で1、2を選んだ方にうかがいます。】あなたが施設・病院での生活を続けたい理由は、何ですか。（あてはまるものすべてに○）

※ 1. この施設・病院で暮らしたい 2. 別の施設・病院に移りたい

「自宅や家族の受け入れ態勢が整っていないから」が46.9%で最も多く、「入所者や施設・病院の職員との関係が良好であるから」、「施設・病院の環境や日中の活動内容等に満足しているから」が40.6%、「健康面などで不安があるから」が31.3%で続きます。

図表4-62 施設・病院での生活を続けたい理由

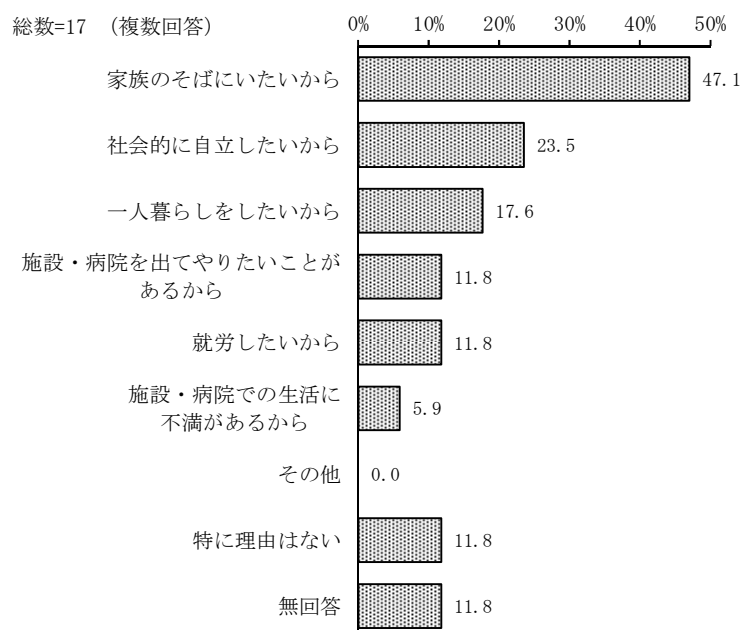


問41-2 【問41で3~5を選んだ方にうかがいます。】あなたが施設・病院を退所・退院したい理由は、何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- ※ 3. 家族と一緒に暮らしたい 4. 障害者のグループホームで暮らしたい  
5. 施設・病院を出て一人で暮らしたい

「家族のそばにいたいから」が47.1%で最も多く、「社会的に自立したいから」が23.5%、「一人暮らしをしたいから」が17.6%で続きます。

図表4-63 施設・病院を退所・退院したい理由



問41-3 【問41で4を選んだ方にうかがいます。】障害者のグループホームで暮らしてみたいと考えているが、今も施設・病院で暮らしている理由は、何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- ※ 4. 障害者のグループホームで暮らしたい

この設問の回答者は2名で「グループホームの空きがない」、「グループホームでの日常生活における支援に不安がある」が1名、「その他」が2名となっています。

図表4-64

グループホームで暮らしたいが、今も施設・病院で暮らしている理由

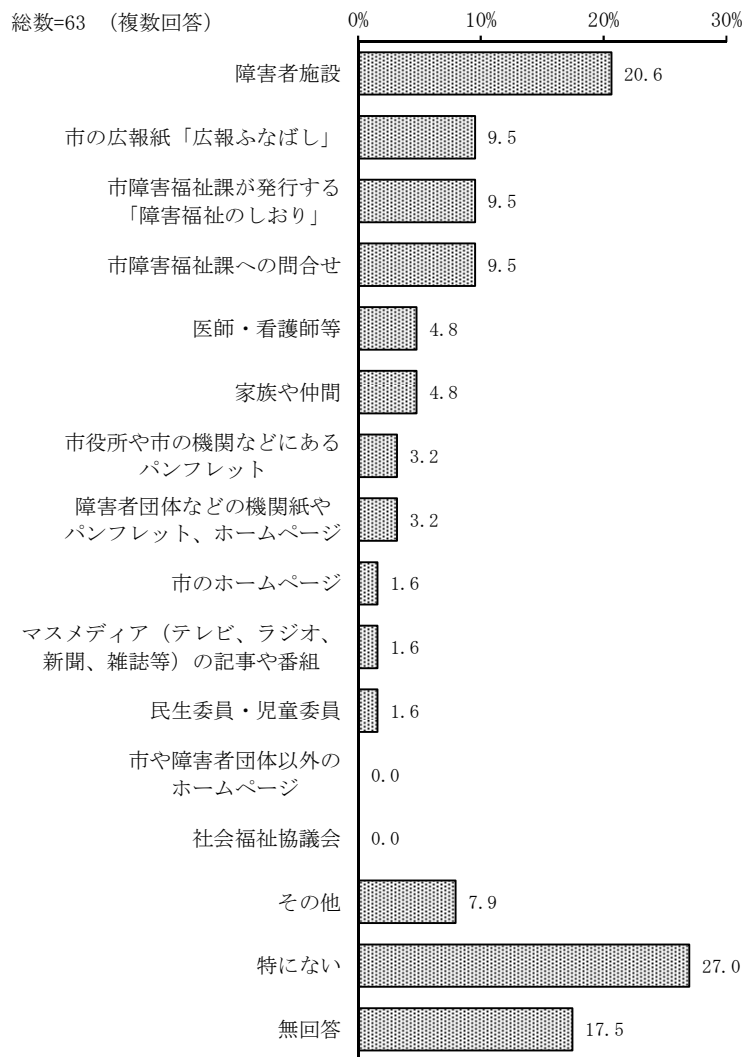
項目名 【複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	2	100.0
グループホームの空きがない	1	50.0
グループホームでの日常生活における支援に不安がある	1	50.0
その他	2	100.0
無回答	-	-

【11】船橋市の障害者福祉についてうかがいます。

問 42 あなたは、障害のある人のための市の福祉サービスの内容について、どのようなところで知ることが多いですか。（主なもの2つまでに○）

「障害者施設」が20.6%で最も多く、「市の広報紙「広報ふなばし」」、「市障害福祉課が発行する「障害福祉のしおり」」、「市障害福祉課への問合せ」が9.5%で続きます。

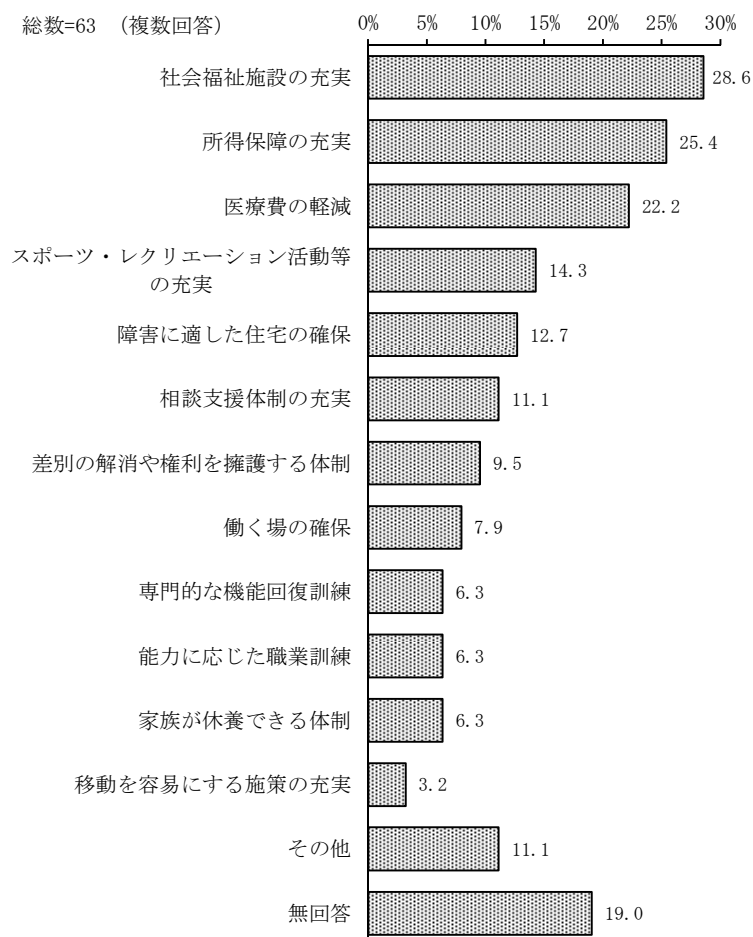
図表 4-65 福祉サービス情報の入手方法



問43 あなたが今後、必要だと思う障害福祉施策は何ですか。(主なものを3つまでに○)

「社会福祉施設の充実」が28.6%で最も多く、「所得保障の充実」が25.4%、「医療費の軽減」が22.2%で続きます。

図表4-66 今後必要だと思う障害福祉施策



問 44 船橋市の障害福祉施策についてのご意見、ご希望、または困っていることなどを、自由にお書きください。

自由回答を記入した回答者は11名です。

回答内容を分類すると、以下の通りとなっています。なお、一人で複数の内容を書かれている場合もあり、合計件数は回答者数を上回ります。

分類	件数	割合
全体	11	100%
教育・雇用・就業	1	9.1%
生活支援・福祉サービス	6	54.5%
生活環境	2	18.2%
その他	3	27.3%

※ ここに掲載したものは回答の一部です。また、大意を変えずに一部を省略・要約している場合があります。

※ 回答者は本人ではなく、代理の人の場合があります。

#### 生活支援・福祉サービス

- ・災害が発生し、避難を強いられた時、健常者と一緒の避難場所へは、迷惑をかけることを考えると行けません。障害者用の避難場所と支援が必要と思います。  
(男性、45歳)

#### 生活環境

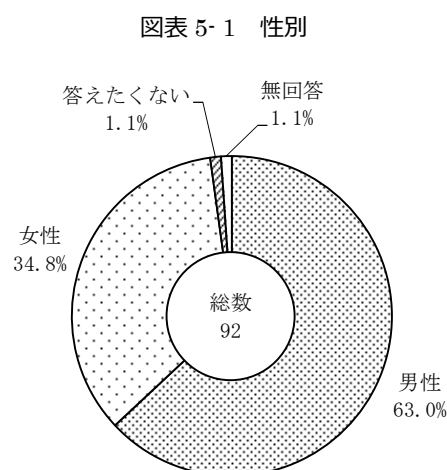
- ・本人は重度障害のため、母親が記入しています。現在は週2回の面会と月1～2回の外泊で自宅に帰っていますが、親も高齢になり車の運転や外泊も出来なくなる日が近くなってきています。おかげで現在の施設にほぼ満足していますが、益々充実されますよう願っています。(男性、38歳)
- ・現在、無職で両親が他界し、私は一人なので、この先の生活などが不安でたまらないです。(男性、46歳)

## 5 グループホーム入居者を対象とした調査結果

### 【1】あなたご自身やご家族のことについてうかがいます。

問1 あなたの性別をお答えください。(どれか1つに○)

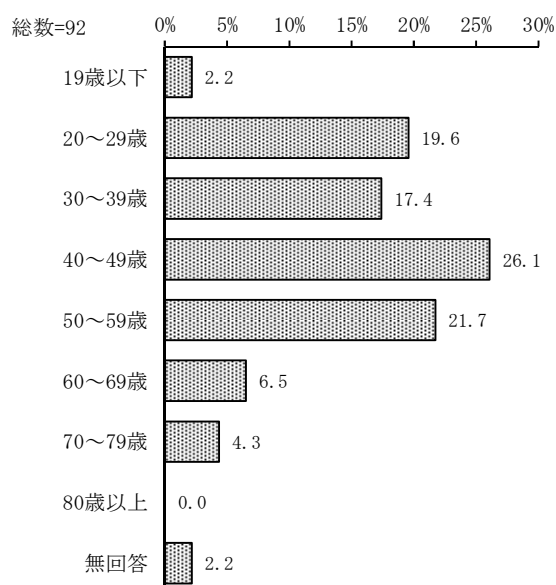
「男性」が63.0%、「女性」が34.8%、「答えたくない」が1.1%となっています。



問2 あなたは、何歳ですか。平成29年1月1日現在の満年齢でお答えください。

「40～49歳」が26.1%で最も多く、「50～59歳」が21.7%、「20～29歳」が19.6%、「30～39歳」が17.4%で続きます。

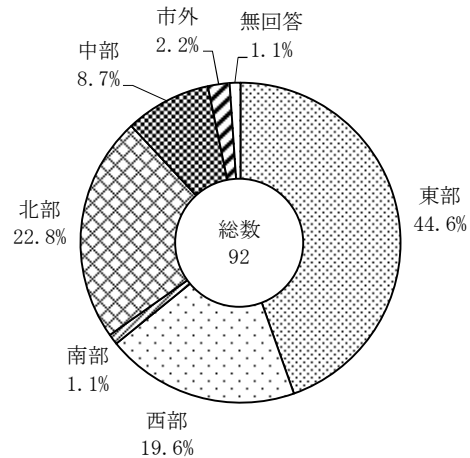
図表 5-2 年齢



問3 あなたの利用しているグループホームの所在地はどこですか。(どれか1つに○)

「東部」が44.6%、「北部」が22.8%、「西部」が19.6%、「中部」が8.7%、「南部」が1.1%、「市外」が2.2%となっています。

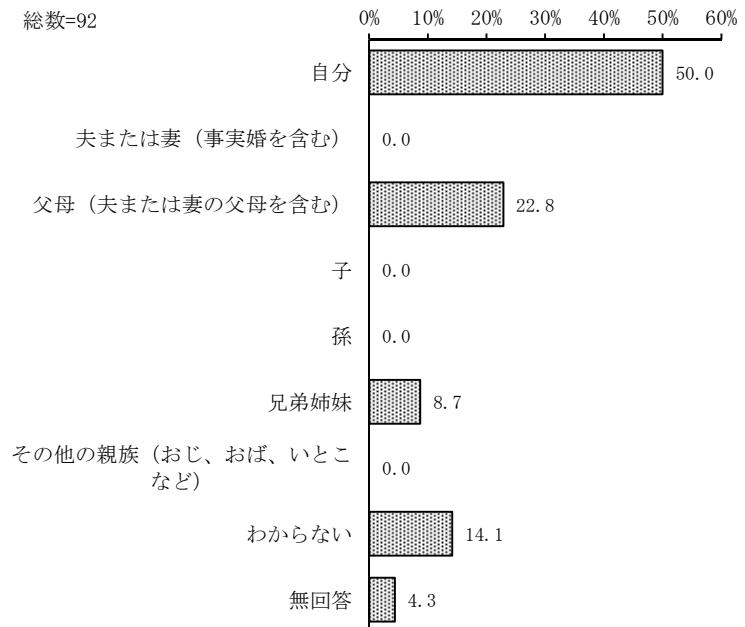
図表5-3 グループホームの所在地



問4 あなたまたはご家族の中で、主に生活のための収入を得ている方はどなたですか。(どれか1つに○)

「自分」が50.0%、「父母(夫または妻の父母を含む)」が22.8%、「兄弟姉妹」が8.7%、「わからない」が14.1%となっています。

図表5-4 主に収入を得ている同居家族

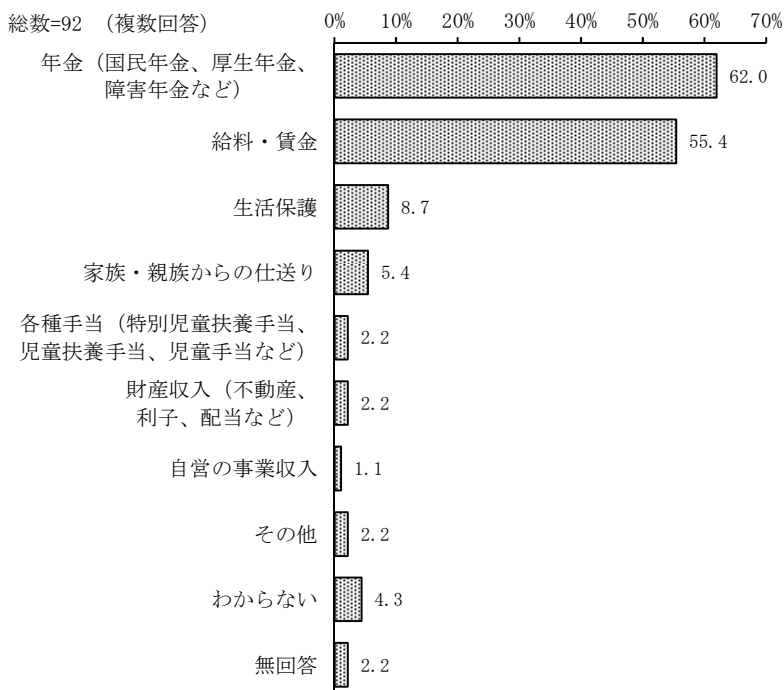




問 5 あなたの世帯収入の種類はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○、最も金額が大きいものには◎)

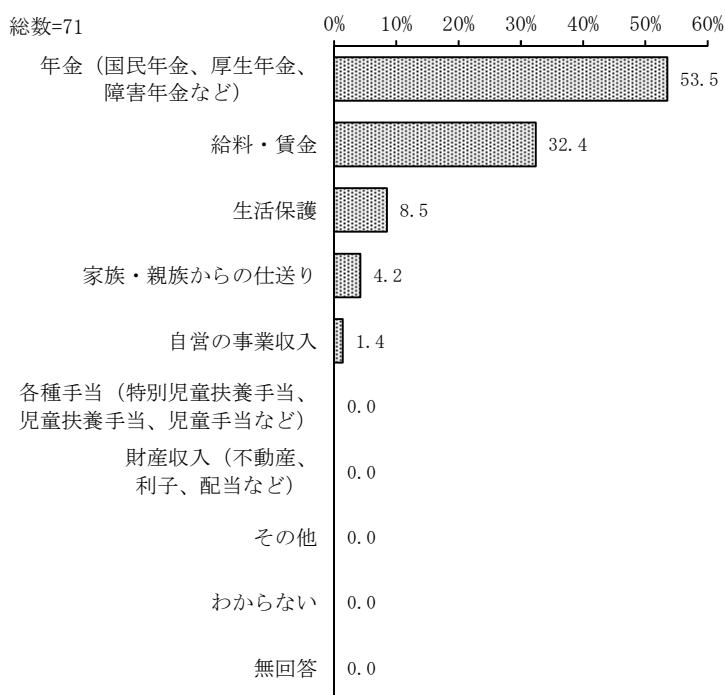
「年金（国民年金、厚生年金、障害年金など）」が62.0%で最も多く、「給料・賃金」が55.4%で続きます。

図表 5-5 世帯収入の種類



最も金額が大きいものは、「年金（国民年金、厚生年金、障害年金など）」が53.5%で最も多く、「給料・賃金」が32.4%で続きます。

図表 5-6 最も金額が大きい収入

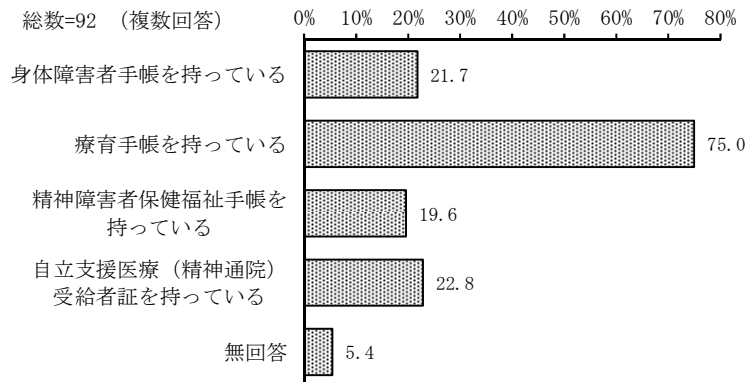


## 【2】あなたの障害のことについてうかがいます。

問6 あなたがお持ちの障害者手帳等の種類と等級についてうかがいます。下の表のあてはまる番号と等級（程度）に○をつけて（ ）内に取得した年齢を記入してください。

「療育手帳を持っている」が75.0%、「自立支援医療（精神通院）受給者証を持っている」が22.8%、「身体障害者手帳を持っている」が21.7%、「精神障害者保健福祉手帳を持っている」が19.6%となっています。

図表 5-7 障害者手帳等取得の有無



所持している手帳の組み合わせは、療育手帳のみが53.3%、「精神障害者保健福祉手帳と自立支援医療（精神通院）受給者証」が9.8%で続きます。

図表 5-8 所持している手帳の組み合わせ

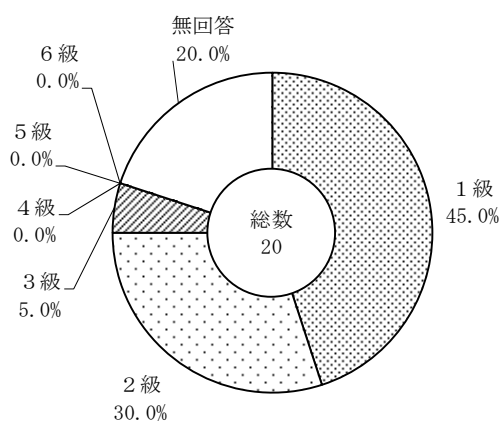
項目名	集計値	構成比 (%)
全体	92	100.0
身体障害者手帳のみ	2	2.2
療育手帳のみ	49	53.3
精神障害者保健福祉手帳のみ	3	3.3
身体障害者手帳+療育手帳	8	8.7
身体障害者手帳+精神障害者保健福祉手帳	2	2.2
身体障害者手帳+自立支援医療（精神通院）受給者証	1	1.1
療育手帳+精神障害者保健福祉手帳	1	1.1
療育手帳+自立支援医療（精神通院）受給者証	5	5.4
精神障害者保健福祉手帳+自立支援医療（精神通院）受給者証	9	9.8
身体障害者手帳+療育手帳+精神障害者保健福祉手帳	1	1.1
身体障害者手帳+療育手帳+自立支援医療（精神通院）受給者証	4	4.3
身体障害者手帳+精神障害者保健福祉手帳+自立支援医療（精神通院）受給者証	1	1.1
身体障害者手帳+療育手帳+精神障害者保健福祉手帳+自立支援医療（精神通院）受給者証	1	1.1
いずれも持っていない	5	5.4

【身体障害者手帳】

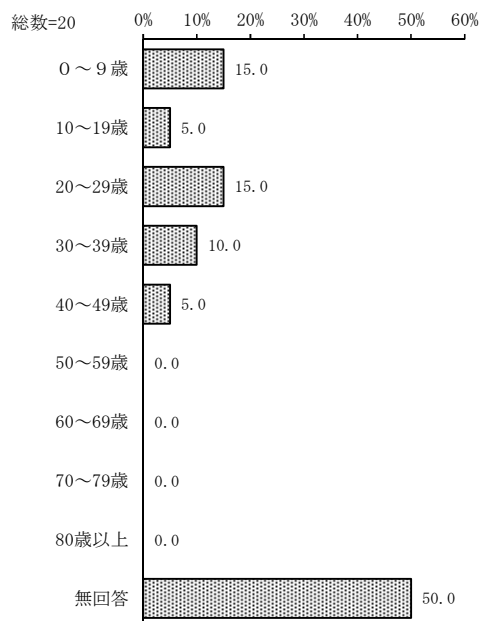
等級（程度）は、「1級」が45.0%、「2級」が30.0%、「3級」が5.0%となっています。

取得した年齢は、「0～9歳」、「20～29歳」が15.0%、「30～39歳」が10.0%、「10～19歳」、「40～49歳」が5.0%となっています。

図表 5-9 身体障害者手帳の等級



図表 5-10 身体障害者手帳を取得した年齢

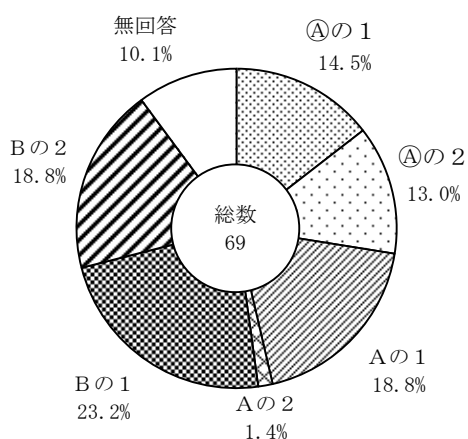


【療育手帳】

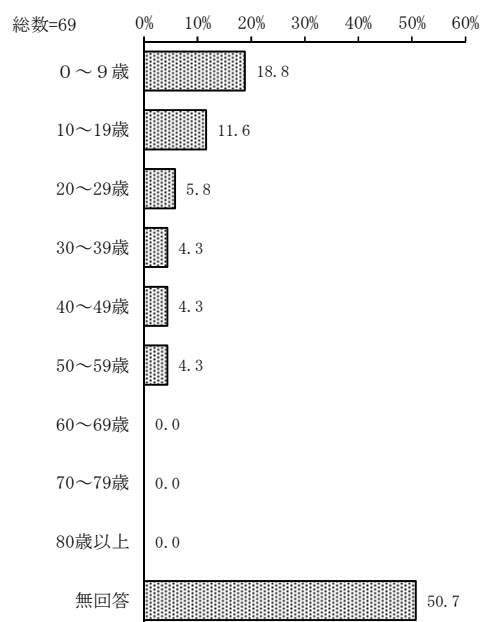
等級（程度）は、「Bの1」が23.2%、「Aの1」、「Bの2」が18.8%、「㊟の1」が14.5%、「㊟の2」が13.0%、「Aの2」が1.4%となっています。

取得した年齢は、「0～9歳」が18.8%、「10～19歳」が11.6%、「20～29歳」が5.8%、「30～39歳」、「40～49歳」、「50～59歳」が4.3%となっています。

図表 5-11 療育手帳の等級



図表 5-12 療育手帳を取得した年齢

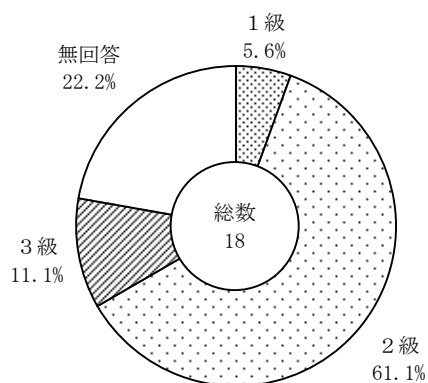


【精神障害者保健福祉手帳】

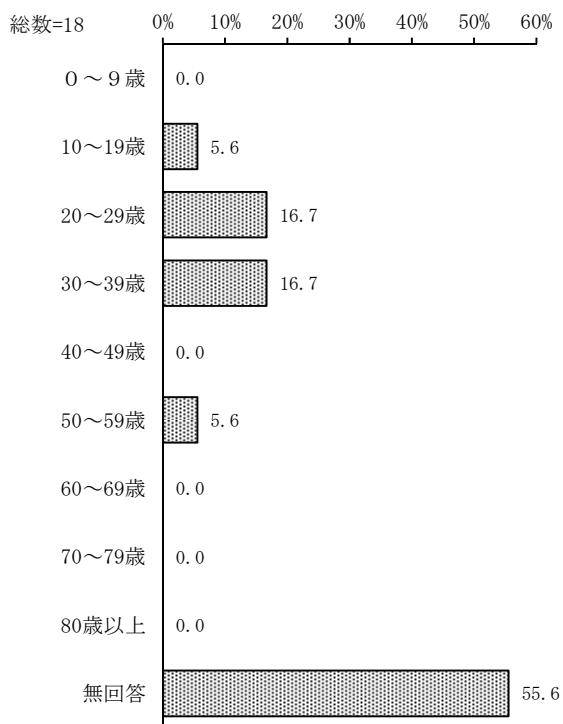
等級（程度）は、「2級」が61.1%、「3級」が11.1%、「1級」が5.6%となっています。

取得した年齢は、「20～29歳」、「30～39歳」が16.7%、「10～19歳」、「50～59歳」が5.6%となっています。

図表 5-13 精神障害者保健福祉手帳の等級



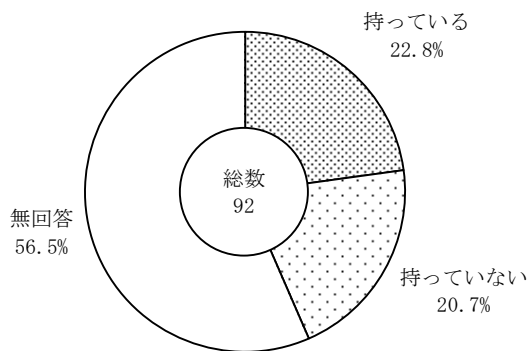
図表 5-14 精神障害者保健福祉手帳を取得した年齢



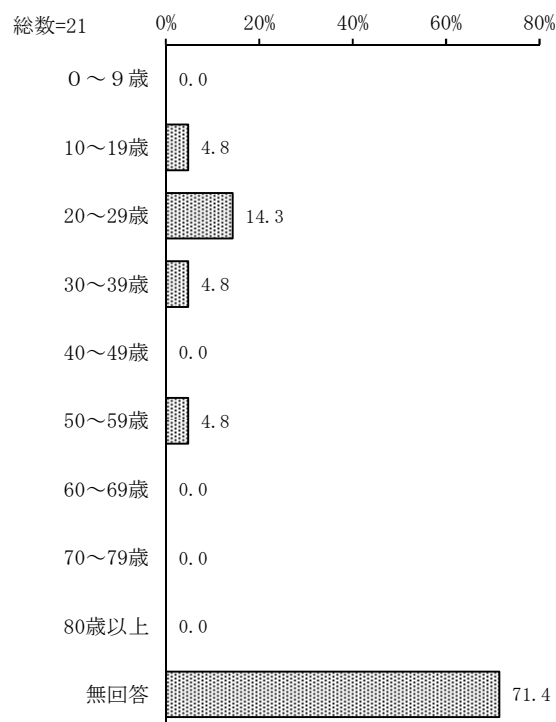
【自立支援医療（精神通院）受給者証】

「持っている」が22.8%、「持っていない」が20.7%となっています。  
 取得した年齢は、「20～29歳」が14.3%、「10～19歳」、「30～39歳」、「50～59歳」が4.8%となっています。

図表 5-15  
 自立支援医療（精神通院）受給者証取得の有無



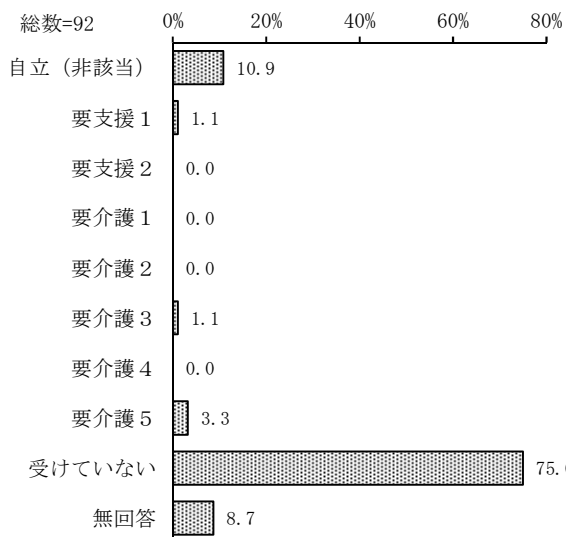
図表 5-16  
 自立支援医療（精神通院）受給者証を取得した年齢



問6-1 あなたは、介護保険法に基づく要介護認定を受けていますか。(どれか1つに○)

「受けていない」が75.0%、「自立（非該当）」が10.9%、「要介護5」が3.3%、「要支援1」、「要介護3」が1.1%となっています。

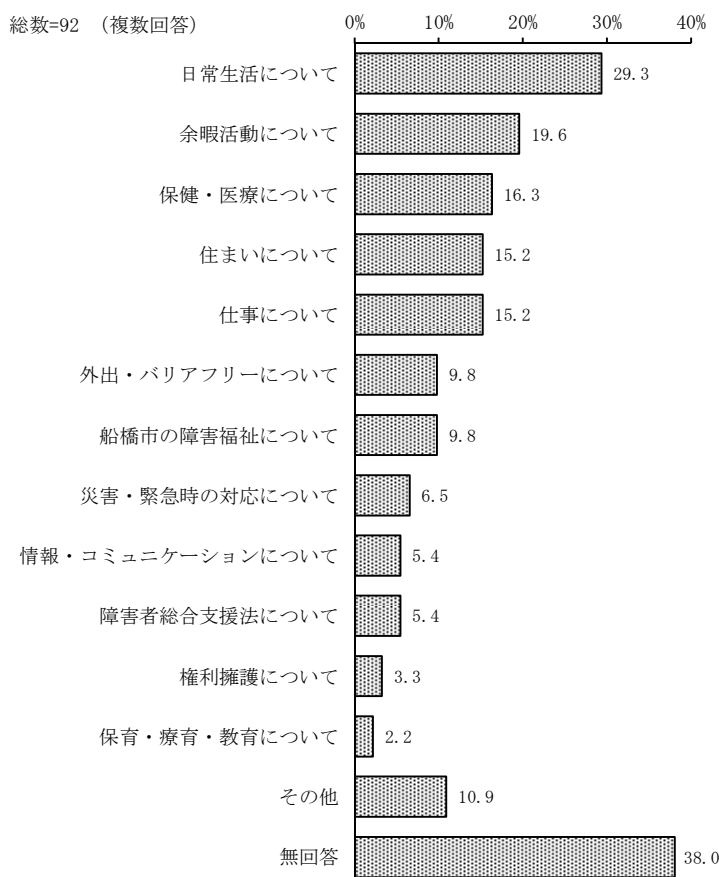
図表 5-17 要介護認定を受けていますか



問7 現在あなたは、誰かに相談したいことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

「日常生活について」が29.3%で最も多く、「余暇活動について」が19.6%、「保健・医療について」が16.3%、「住まいについて」、「仕事について」が15.2%で続きます。

図表 5-18 誰かに相談したいこと

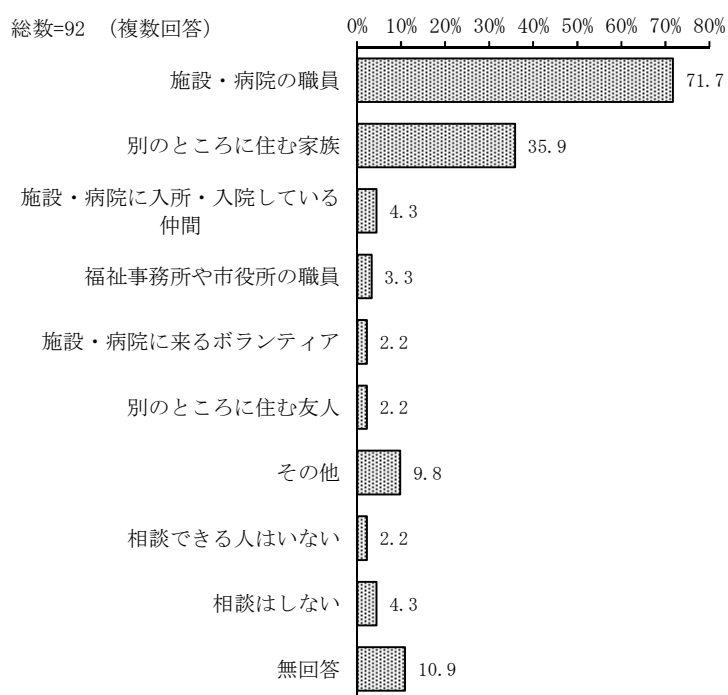


### 【3】日常生活についてうかがいます。

問 8 あなたが困ったり、悩んだりしたときに相談する人は誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

「施設・病院の職員」が71.7%で最も多く、「別のところに住む家族」が35.9%で続きます。

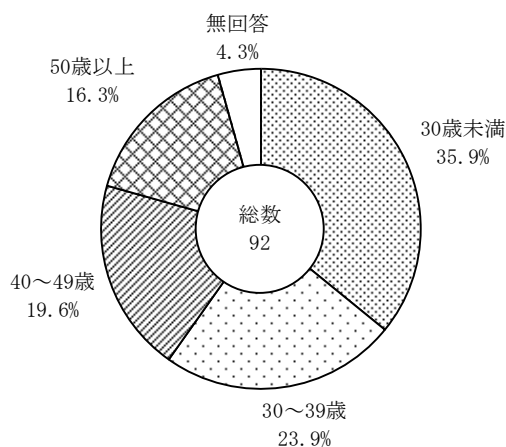
図表 5-19 困ったことや悩み事の相談先



問 9 あなたはグループホームに何歳の時から入居していますか。(どれか1つに○)

「30歳未満」が35.9%、「30～39歳」が23.9%、「40～49歳」が19.6%、「50歳以上」が16.3%となっています。

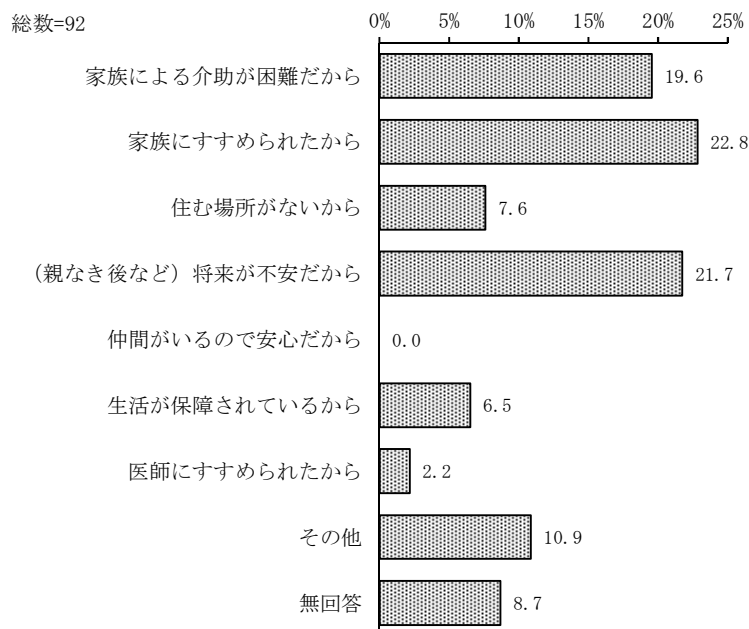
図表 5-20 グループホームに入居した年齢



問 10 あなたが、グループホームに入居した理由は何ですか。(どれか1つに○)

「家族にすすめられたから」が22.8%で最も多く、「(親なき後など) 将来が不安だから」が21.7%、「家族による介助が困難だから」が19.6%で続きます。

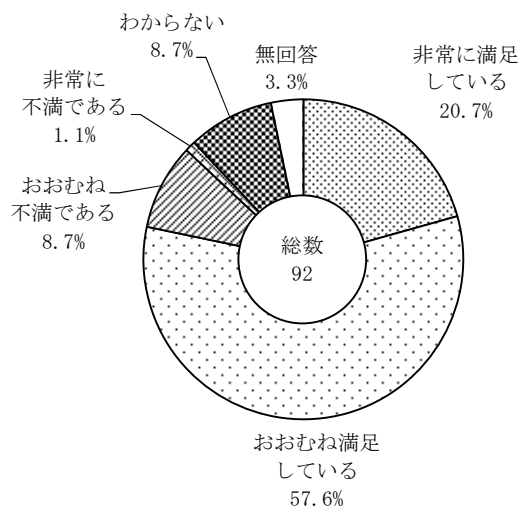
図表 5-21 グループホームに入居した理由



問 11 あなたは、グループホームでの生活に満足していますか。(どれか1つに○)

「おおむね満足している」が57.6%、「非常に満足している」が20.7%、「おおむね不満である」、「わからない」が8.7%、「非常に不満である」が1.1%となっています。

図表 5-22 グループホームでの生活の満足度

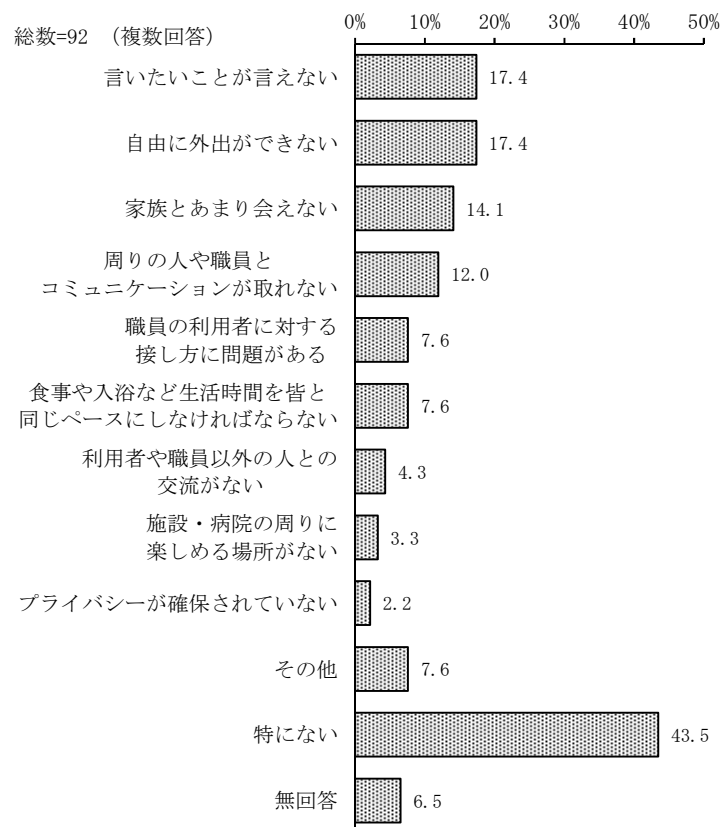




問 12 あなたがグループホームで困っていることや不満に思っていることは、何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「言いたいことが言えない」、「自由に外出ができない」が17.4%で最も多く、「家族とあまり会えない」が14.1%、「周りの人や職員とコミュニケーションが取れない」が12.0%で続きます。

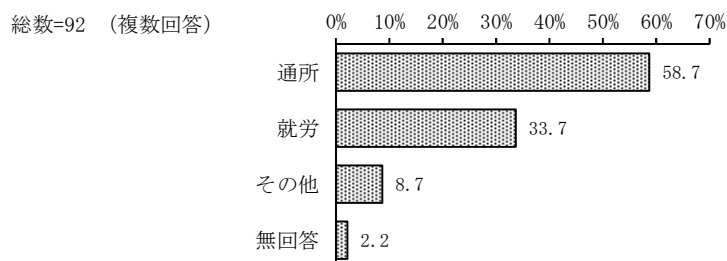
図表 5-23 グループホームで困っていることや不満に思っていること



問 13 あなたは、日中をどのように過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

「通所」が58.7%、「就労」が33.7%、「その他」が8.7%となっています。

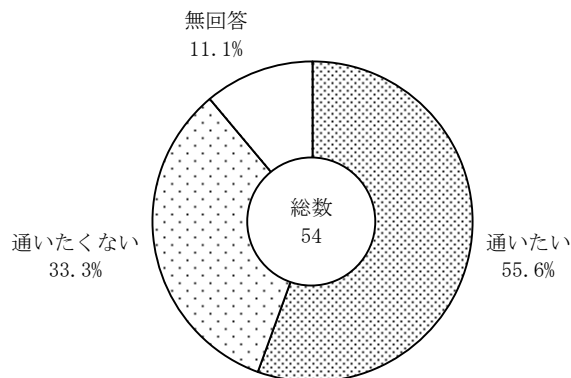
図表 5-24 日中の過ごし方



問 13-1 【通所している方にうかがいます。】仮にグループホームの敷地内に通所事業所があった場合、そこに通いたいですか。（どれか1つに○をつけ、その理由を記入してください）

「通いたい」が55.6%、「通いたくない」が33.3%となっています。

図表 5- 25  
グループホーム敷地内に通所事業所があった場合、通いたいですか

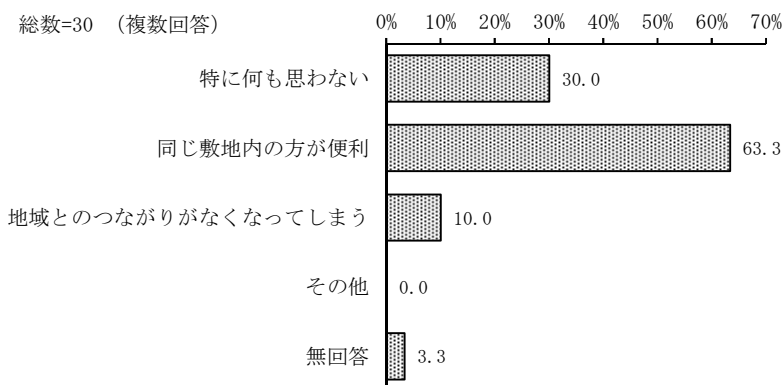


問 13-2 【問 13-1 で 1 と回答した方にうかがいます。】生活がグループホームと同じ敷地内で完結することについてどう思いますか。（あてはまるものすべてに○）

※ 1. 通いたい

「同じ敷地内の方が便利」が63.3%、「特に何も思わない」が30.0%、「地域とのつながりがなくなってしまう」が10.0%となっています。

図表 5- 26 生活が同じ敷地内で完結することについて

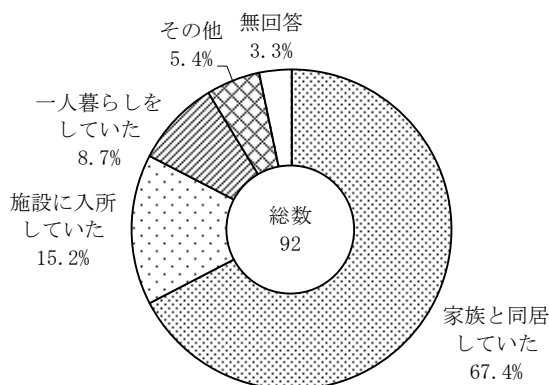


【4】グループホームの入居についてうかがいます。

問 14 あなたはグループホームに入居する前はどのように暮らしていましたか。(どれか1つに○)

「家族と同居していた」が67.4%、「施設に入所していた」が15.2%、「一人暮らしをしていた」が8.7%、「その他」が5.4%となっています。

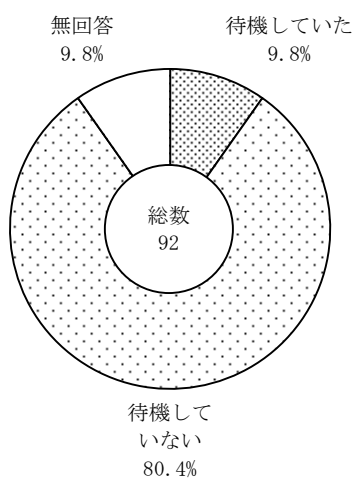
図表 5-27 グループホームに入居する前の暮らし方



問 15 あなたはグループホームに入居するために何年間か待機してきましたか。(どれか1つに○)

「待機していた」が9.8%、「待機していない」が80.4%となっています。この設問の回答者は9名で、待機していた年数は、「1年」が3名、「2年」、「4年」、「5年以上」が1名となっています。

図表 5-28 グループホーム入居のための待機の有無



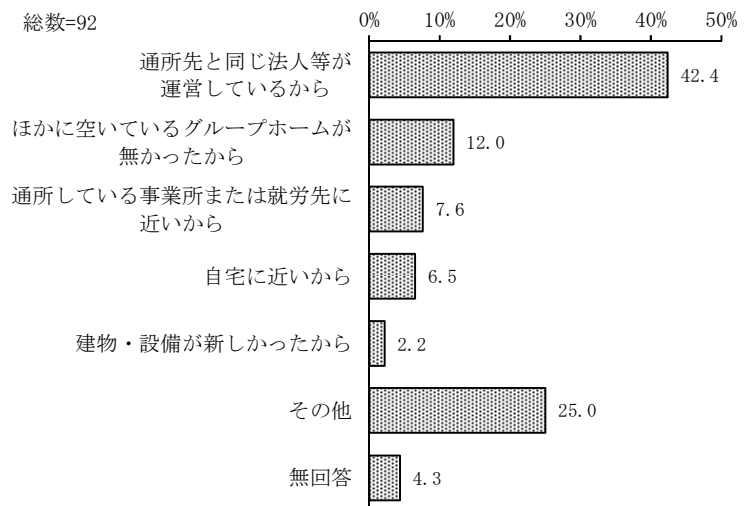
図表 5-29 グループホーム入居の待機年数

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	9	100.0
1年	3	33.3
2年	1	11.1
4年	1	11.1
5年以上	1	11.1
無回答	3	33.3

問 16 現在入居しているグループホームに入居を決めた理由は何ですか。(どれか1つに○)

「通所先と同じ法人等が運営しているから」が42.4%で最も多く、「ほかに空いているグループホームが無かったから」が12.0%、「通所している事業所または就労先に近いから」が7.6%、「自宅に近いから」が6.5%で続きます。

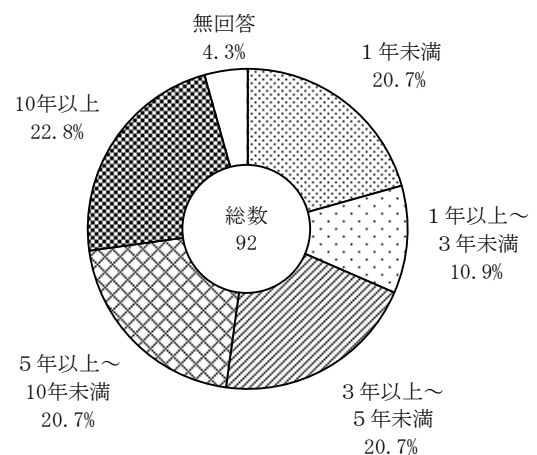
図表 5-30 入居を決めた理由



問 17 グループホームに入居して何年程度経過していますか。複数のグループホームを経験している方はその期間を合計してお答えください。(どれか1つに○)

「10年以上」が22.8%、「1年未満」、「3年以上～5年未満」、「5年以上～10年未満」が20.7%、「1年以上～3年未満」が10.9%となっています。

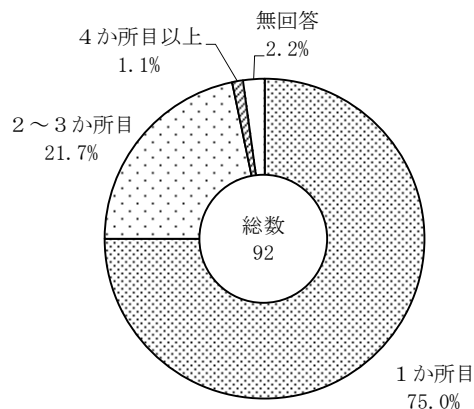
図表 5-31 グループホームへの入居年数



問 18 現在のグループホームは何か所目ですか。(どれか1つに○)

「1か所目」が75.0%、「2～3か所目」が21.7%、「4か所目以上」が1.1%となっています。

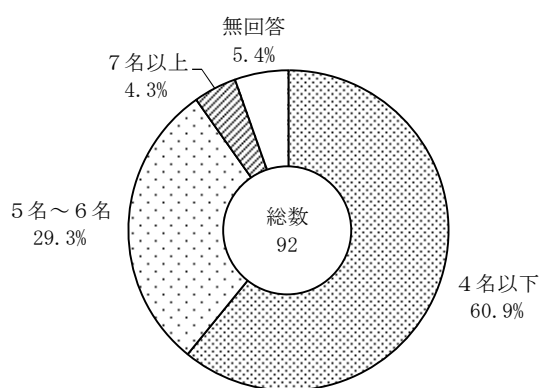
図表 5-32 現在のグループホームは何か所目ですか



問 19 グループホームの定員は何人程度が望ましいと思いますか。(どれか1つに○)

「4名以下」が60.9%、「5名～6名」が29.3%、「7名以上」が4.3%となっています。

図表 5-33 グループホームの望ましい定員人数

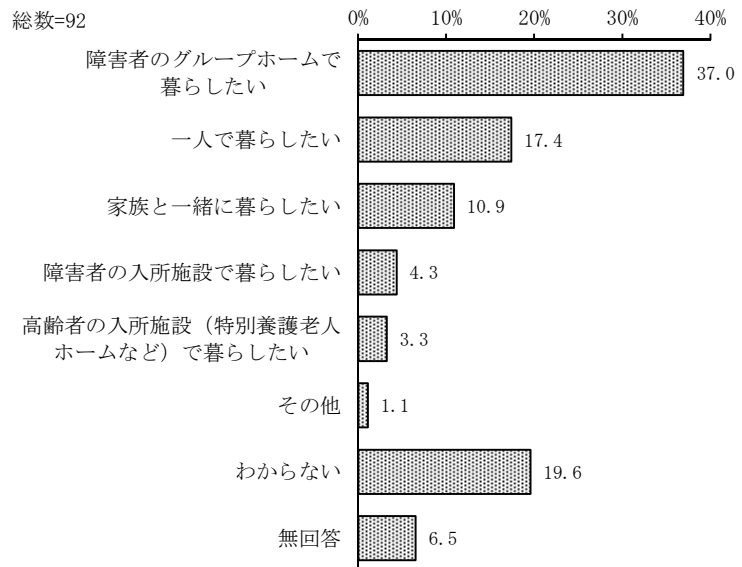


**【5】将来の生活についてうかがいます。**

問 20 あなたは、将来どのように暮らしたいですか。(どれか1つに○)

「障害者のグループホームで暮らしたい」が37.0%で最も多く、「一人で暮らしたい」が17.4%、「家族と一緒に暮らしたい」が10.9%で続きます。

図表 5-34 将来希望する暮らし方

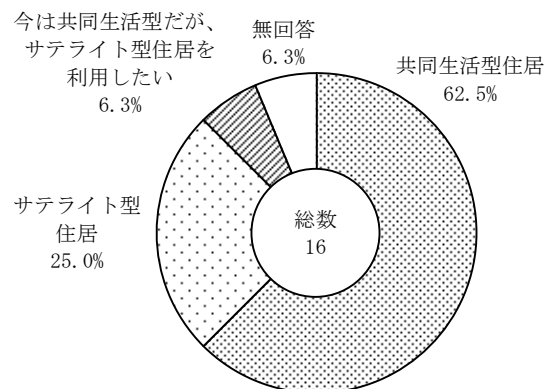


問 21 【問 20 で 2 を選んだ方にうかがいます。】 単身生活を希望する方向けの居住支援としてグループホームには「サテライト型住居」がありますが、現在お住まいのグループホームは「共同生活型住居」ですか、「サテライト型住居」ですか。(どれか1つに○)

※ 2. 一人で暮らしたい

「共同生活型住居」が62.5%、「サテライト型住居」が25.0%、「今は共同生活型だが、サテライト型住居を利用したい」が6.3%となっています。

図表 5-35 現在のグループホームの種類



問21-1 【問21で2、3を選んだ方にうかがいます。】サテライト型住居の標準利用期間は「3年以内」と定められていますが、この期間中に単身住居に移行できそうですか。(どれか1つに○)

※ 2. サテライト型住居 3. 今は共同生活型だが、サテライト型住居を利用したい

この設問の回答者は5名で、「生活に関する支援員がついてくれれば可能」が3名、「不可能」が1名となっています。

図表5-36 3年以内に単身住居に移行できそうですか

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	5	100.0
可能	3	60.0
生活に関する支援員がついてくれれば可能	3	60.0
不可能	1	20.0
無回答	1	20.0

問21-2 【問21-1で2を選んだ方にうかがいます。】一人暮らしをするうえで支援員に支援してほしいことは何ですか。

※ 2. 生活に関する支援員がついてくれれば可能

2名が回答しました。内容は以下の通りです。

- ・ 仕事就労、生活面、住居、金銭面、医療。
- ・ 金銭管理、栄養管理。

## 【6】船橋市の障害者福祉についてうかがいます。

問 22 船橋市の障害福祉施策についてのご意見、ご希望、または困っていることなどを、自由にお書きください。

自由回答を記入した回答者は 35 名です。

回答内容を分類すると、以下の通りとなっています。なお、一人で複数の内容を書かれている場合もあり、合計件数は回答者数を上回ります。

分類	件数	割合
全体	35	100%
保健・医療	3	8.6%
教育・雇用・就業	4	11.4%
生活支援、福祉サービス	13	37.1%
生活環境	10	28.6%
スポーツ、レクリエーション等	4	11.4%
その他	19	54.3%

※ ここに掲載したものは回答の一部です。また、大意を変えずに一部を省略・要約している場合があります。

※ 回答者は本人ではなく、代理の人の場合があります。

### 保健・医療

- ・急に具合が悪くなった場合など医療ケアが出来るように看護師や医師（病院）とのつながりがほしい。（男性、47 歳）

### 教育・雇用・就業

- ・お金が工賃だけでやりくりするのが難しい。日中一時を使ってみたいがお金がない。みんな楽しんでいるのを聞くとうらやましく感じる。（男性、31 歳）
- ・障害程度 B-2 でも就職できず、障害基礎年金と通所先の工賃、年約 16 万円と各種の補助金での収入では国保の 3 割負担は無理です。親亡き後で大病になったらと不安です。現在は週に 2 日実家に帰り、食費、交通費、医療費、衣服代、日用品他を援助してもらっています。（女性、50 歳）

### 生活支援、福祉サービス

- ・私どもは希望通り、あまり待機することなくグループホームに入居させていただけましたが、私の周りには高齢や手のかかるお子さんを抱えている方が年々多く見受けられるようになってきました。グループホームを立ち上げるた



めには、まず世話人の確保がなんと言っても重要と思います。この点、法人だけでなく市障害福祉課のサポートが必要と思います。週末には帰宅し家で過ごしています。用事があったり、病気等で面倒が見られない時は移動支援を利用せざるを得ません。なんとかグループホームでこのような時の支援態勢が出来ればと思います。(女性、47歳)

- ・グループホームは4人の入居者と一人の世話人の体制ですが、新しいグループホームが出来ても世話人が中々見つからないで苦労している様子。日中活動の場でも、年中職員募集をしています。市サイドでもなんとか、ご協力いただけないでしょうか。(女性、47歳)
- ・グループホームで高齢になっても生活したい。介護を提供してもらえる体制を整えてもらいたい。知り合いの多いところで生活したい。(男性、41歳)

### 生活環境

- ・外掃除、庭の水撒きしていた(楽しい)。お風呂はいつてきた(楽しい)。(男性、37歳)
- ・生活環境を変えることはとてもストレスになるので、長くいた施設の近くのグループホームにいられる方が良いと思っています。(男性、67歳)
- ・両親亡き後、隣家に住んでいた兄が保護者になりました。今入所しているグループホームは月～金の宿泊で土日、その他の休日は家庭で過ごすという態勢なので、休日は私ども兄夫婦が面倒を見ています。私どもも高齢になってきており、健康にも不安があり、休日の全てが身動きが取れない状態は精神的に負担に思うこともあります。今後のことを考えると毎日を過ごせる場所を見つけなければと考えていますが、本人にとっては今の生活を変えることが良いとは思えないので、今のグループホームが全日の態勢になってくれるのが一番なので、そのような方向に向かってほしいと願っています。(女性、56歳)

### スポーツ、レクリエーション等

- ・外出する機会を多く取りたい。年を取って知らない人と生活するのはおっくうです。(男性、44歳)

### その他

- ・障害者でも恋は出来るのか教えてほしい。(男性、21歳)
- ・引っ越したい、お母さんに会いたい。(女性、24歳)
- ・書類が多いのですが、送り先など色々良い方法を取り入れてくださってうれしいです。書類の書き方など不明な時も電話で親切に教えてもらっています。今後親がより高齢になったり、亡くなったりすることになりそうですが、その時はまた相談に乗ってくださるようお願いいたします。(男性、44歳)

## 第2部 調査の結果

- ・親亡き後も安心してグループホームで生活したいので健康面でのケアも費用の面でもなるべく年金の中で出来たらと思っています。(男性、44歳)

## 6 一般市民を対象とした調査結果

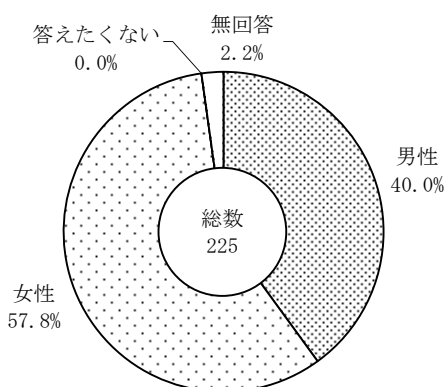
### 【1】あなたご自身のことについてうかがいます。

問1 あなたの性別と、平成29年1月1日時点の満年齢をお答えください。

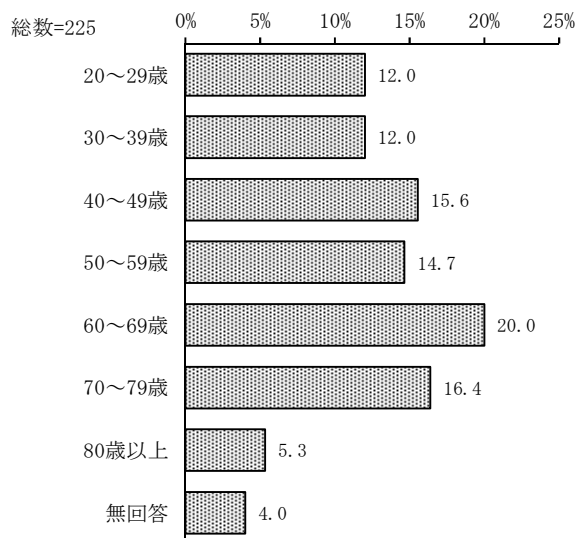
性別は、「男性」が40.0%、「女性」が57.8%となっています。

年齢は、「60～69歳」が20.0%で最も多く、「70～79歳」が16.4%、「40～49歳」が15.6%で続きます。

図表 6-1 性別



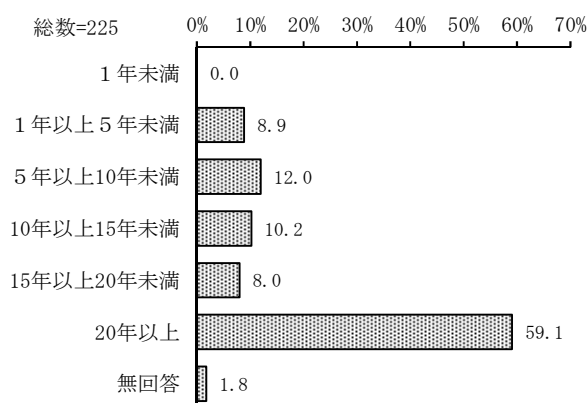
図表 6-2 年齢



問2 あなたは、船橋市に住み始めてから、何年になりますか。

「20年以上」が59.1%、「5年以上10年未満」が12.0%、「10年以上15年未満」が10.2%、「1年以上5年未満」が8.9%、「15年以上20年未満」が8.0%となっています。

図表 6-3 居住年数

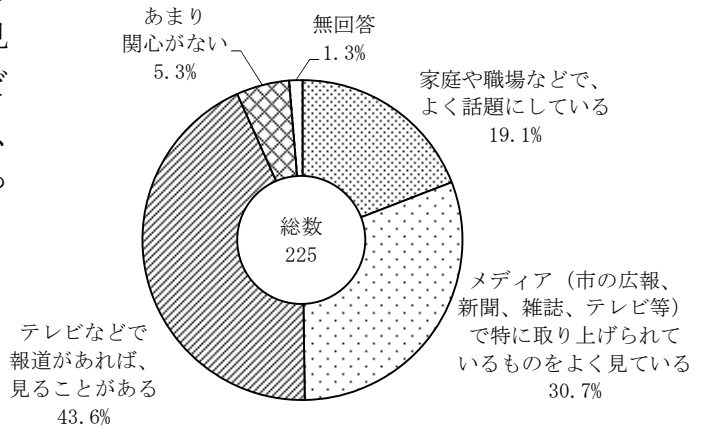


**【2】障害のある人たちについての意識や交流についてうかがいます。**

問3 あなたは、身体や心に障害のある人たち（認知症高齢者含む）に対して関心がありますか。（どれか1つに○）

「テレビなどで報道があれば、見ることがある」が43.6%、「メディア（市の広報、新聞、雑誌、テレビ等）で特に取り上げられているものをよく見ている」が30.7%、「家庭や職場などで、よく話題にしている」が19.1%、「あまり関心がない」が5.3%となっています。

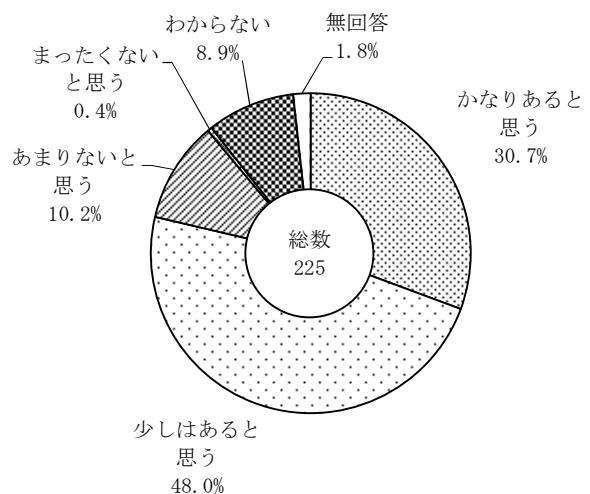
図表 6-4  
身体や心に障害のある人たち（認知症高齢者含む）への関心の有無



問4 あなたは、今の社会で障害のある人に対する差別があると思いますか。（どれか1つに○）

「少しはあると思う」が48.0%で最も多く、「かなりあると思う」が30.7%、「あまりないと思う」が10.2%で続きます。

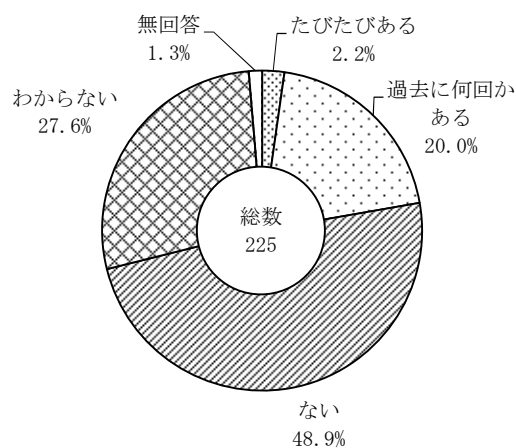
図表 6-5 今の社会で障害のある人に対する差別の有無



問5 あなたは、障害のある人に対して差別的な認識や行動をしてしまった経験がありますか。(どれか1つに○)

「ない」が48.9%、「わからない」が27.6%、「過去に何回かある」が20.0%、「たびたびある」が2.2%となっています。

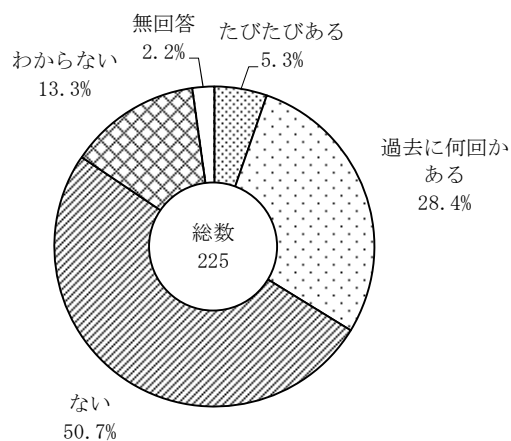
図表 6-6  
障害のある人に対して差別的な認識や行動をしてしまった経験



問6 あなたは、障害のある人が差別的な扱いをされている場面を直接見たことがありますか。(どれか1つに○)

「ない」が50.7%、「過去に何回かある」が28.4%、「わからない」が13.3%、「たびたびある」が5.3%となっています。

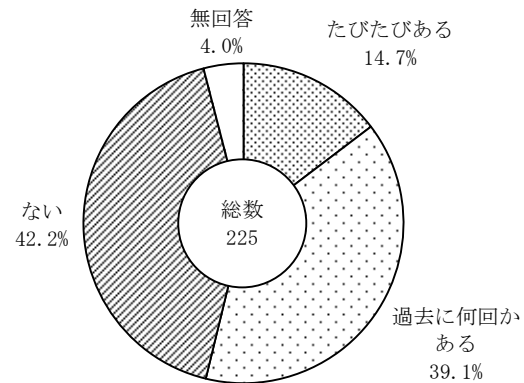
図表 6-7  
障害者が差別的な扱いをされている場面を直接見たことの有無



問7 あなたは、障害のある人といっしょに活動した経験がありますか。(どれか1つに○)

「ない」が42.2%、「過去に何回かある」が39.1%、「たびたびある」が14.7%となっています。

図表 6-8  
障害のある人といっしょに活動した経験の有無

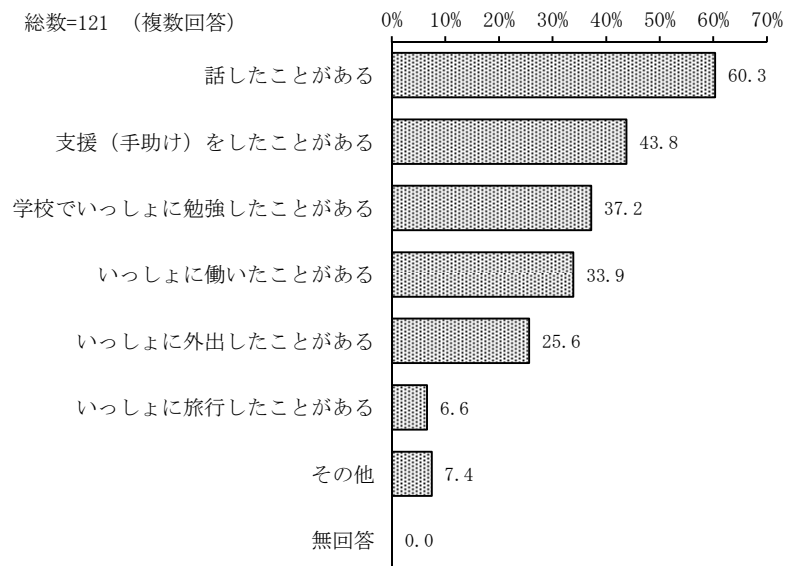


問7-1 【問7で1、2を選んだ方にうかがいます。】あなたは、主にどのようなことを経験しましたか。(あてはまるものすべてに○)

※ 1. たびたびある 2. 過去に何回かある

「話したことがある」が60.3%で最も多く、「支援(手助け)をしたことがある」が43.8%、「学校でいっしょに勉強したことがある」が37.2%、「いっしょに働いたことがある」が33.9%で続きます。

図表 6-9 一緒に活動した経験の内容

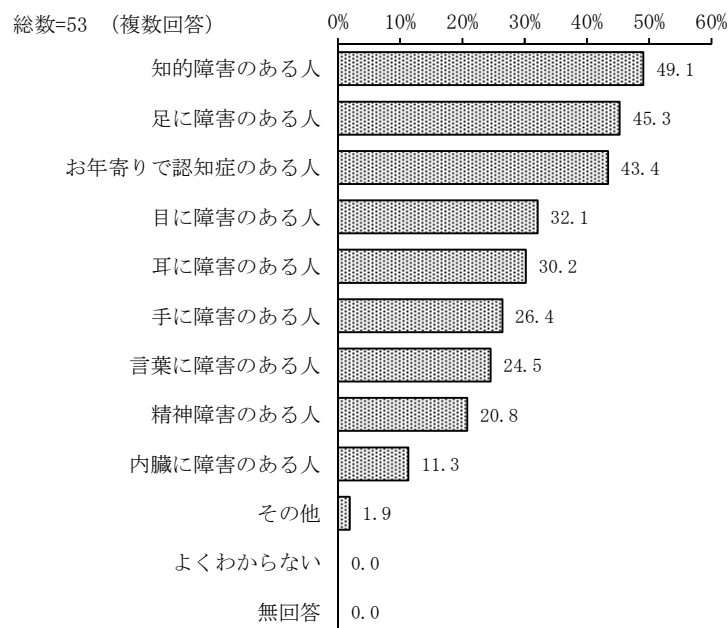


問7-2 【問7-1で6を選んだ方にうかがいます。】あなたが実際に支援したのは、どのような障害のある人でしたか。(あてはまるものすべてに○)

※ 6. 支援(手助け)をしたことがある

「知的障害のある人」が49.1%で最も多く、「足に障害のある人」が45.3%、「お年寄りで認知症のある人」が43.4%で続きます。

図表6-10 実際に支援をした障害者

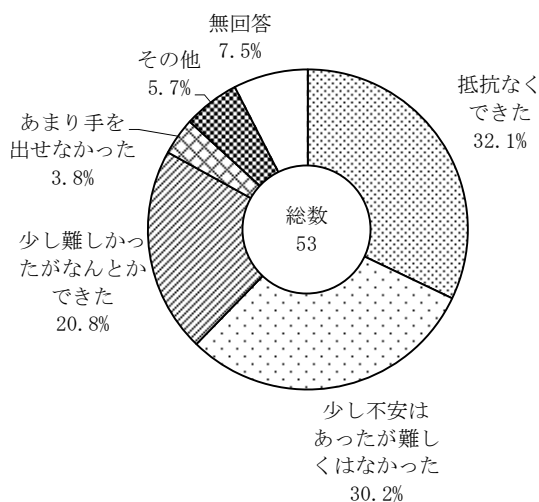


問7-3 【問7-1で6を選んだ方にうかがいます。】あなたは、支援にどのような印象を持ちましたか。(どれか1つに○)

※ 6. 支援(手助け)をしたことがある

「抵抗なくできた」が32.1%で最も多く、「少し不安はあったが難しくはなかった」が30.2%、「少し難しかったがなんとかできた」が20.8%で続きます。

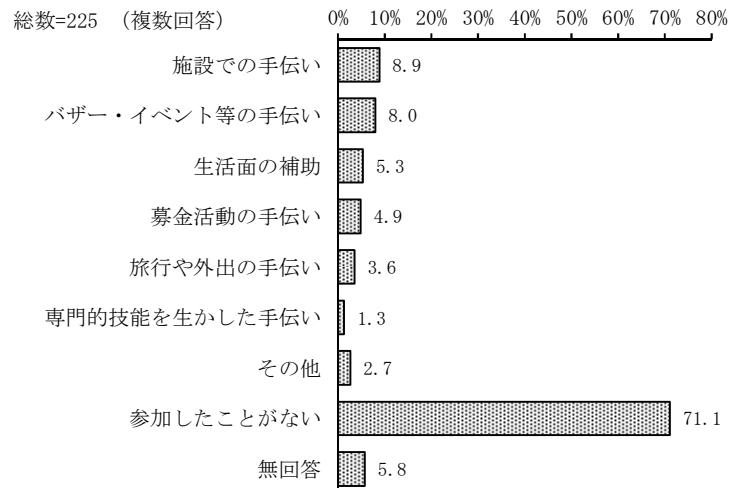
図表6-11 支援の印象



問8 障害のある人のためのボランティア活動として、あなたが参加したことのある活動はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「施設での手伝い」が8.9%で最も多く、「バザー・イベント等の手伝い」が8.0%、「生活面の補助」が5.3%、「募金活動の手伝い」が4.9%で続きます。

図表 6-12 参加したことのある障害者へのボランティア活動

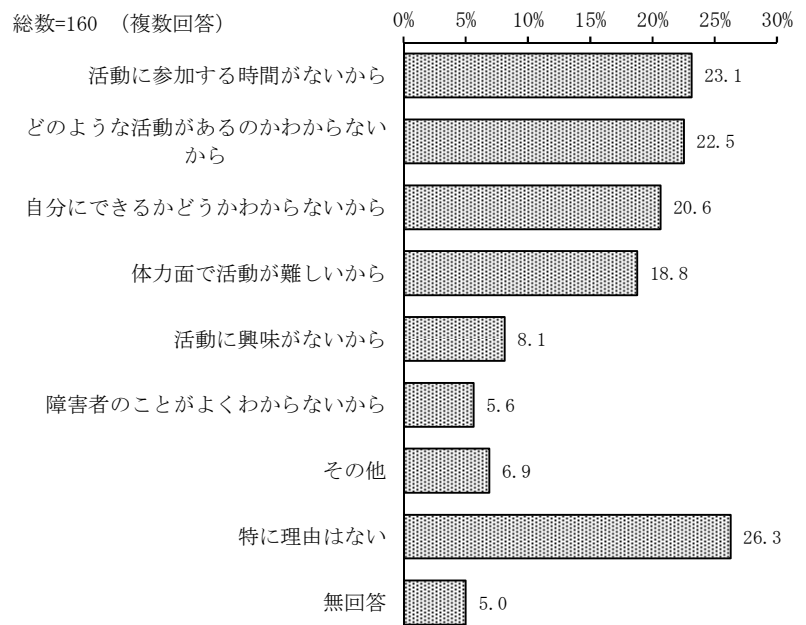


問8-1 【問8で8を選んだ方にうかがいます。】あなたがボランティア活動に参加したことがないのは、なぜですか。(あてはまるものすべてに○)

※ 8. 参加したことがない

「活動に参加する時間がないから」が23.1%で最も多く、「どのような活動があるのかわからないから」が22.5%、「自分にできるかどうかかわからないから」が20.6%、「体力面で活動が難しいから」が18.8%で続きます。

図表 6-13 ボランティア活動に参加したことがない理由

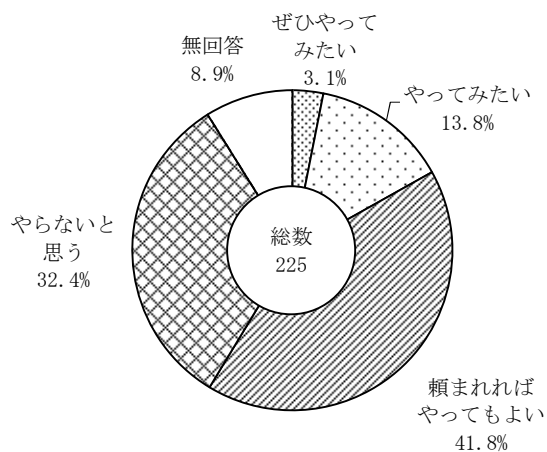




問9 あなたは今後、ボランティア活動をする条件が整った場合、活動したいと  
 思いますか。(どれか1つに○)

「頼まれればやってもよい」が41.8%で最も多く、「やらないと思う」が32.4%、「やってみたい」が13.8%で続きます。

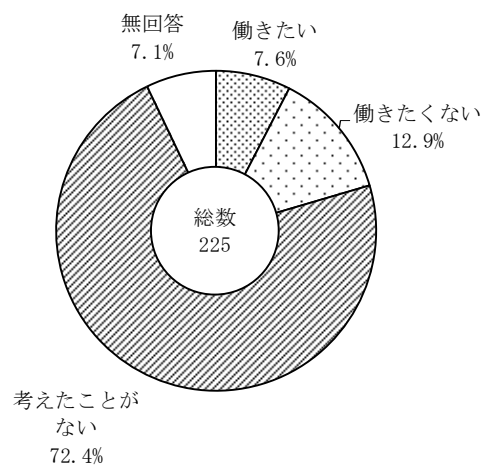
図表 6-14  
 ボランティア活動をする条件が整った場合の活動意向



問10 あなたは、ご自身が障害者の施設で働くことについてどのように考えますか。(どれか1つに○)

「考えたことがない」が72.4%、「働きたくない」が12.9%、「働きたい」が7.6%となっています。

図表 6-15 障害者の施設で働くことについての考え

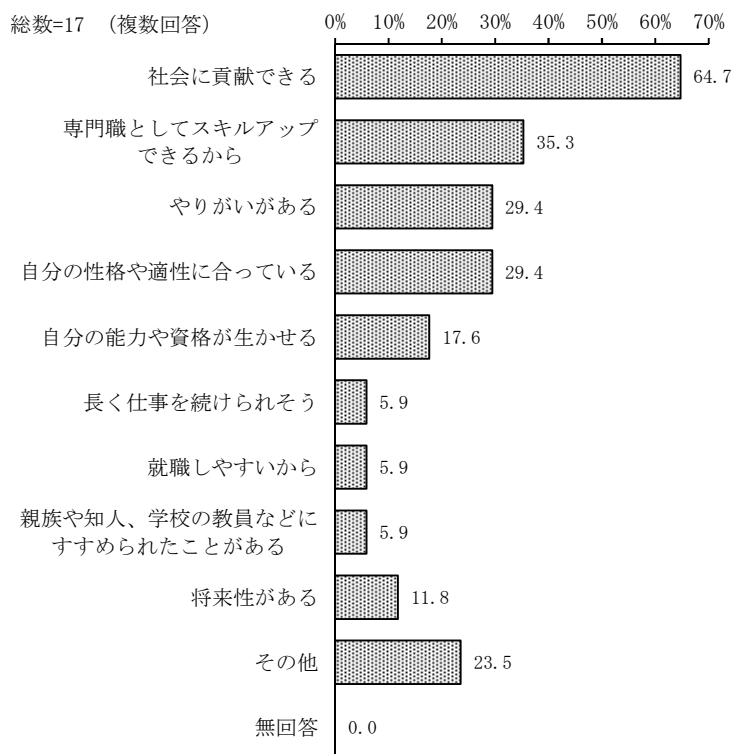


問 10-1 【問 10 で 1 を選んだ方にうかがいます。】あなたが障害者の施設で働きたいと思ったのは、なぜですか。（あてはまるものすべてに○）

※ 1. 働きたい

「社会に貢献できる」が64.7%で最も多く、「専門職としてスキルアップできるから」が35.3%、「やりがいがある」、「自分の性格や適性に合っている」が29.4%で続きます。

図表 6-16 障害者の施設で働きたいと思った理由

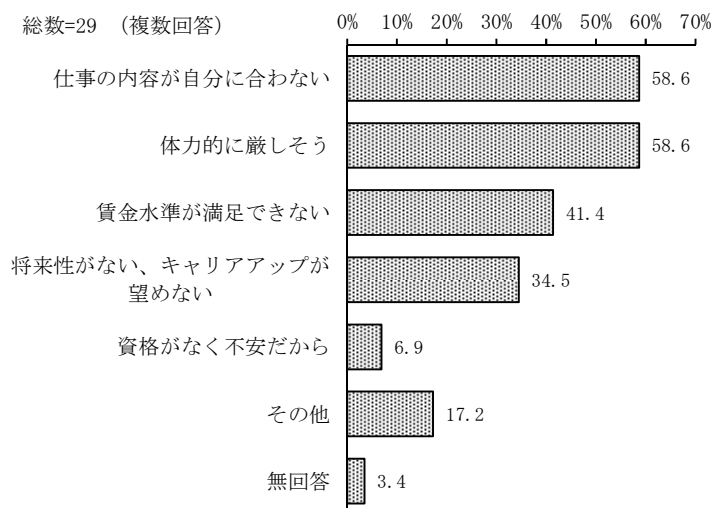


問 10-2 【問 10 で 2 を選んだ方にうかがいます。】あなたが障害者の施設で働きたくないと思ったのは、なぜですか。（あてはまるものすべてに○）

※ 2. 働きたくない

「仕事の内容が自分に合わない」、「体力的に厳しそう」が 58.6%で最も多く、「賃金水準が満足できない」が 41.4%、「将来性がない、キャリアアップが望めない」が 34.5%で続きます。

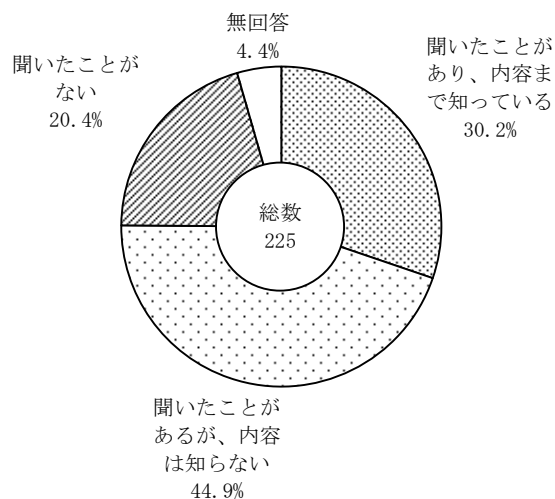
図表 6-17 障害者の施設で働きたくないと思った理由



問 11 あなたは、成年後見制度を知っていますか。（どれか1つに○）

「聞いたことがあるが、内容は知らない」が 44.9%、「聞いたことがあり、内容まで知っている」が 30.2%、「聞いたことがない」が 20.4%となっています。

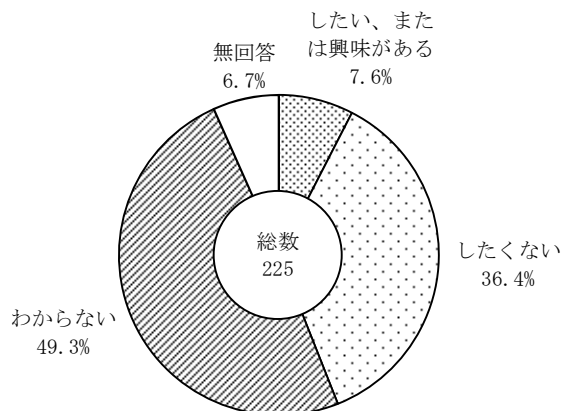
図表 6-18 成年後見制度の認知状況



問 11-1 専門的な知識がなくても、自治体による研修や家庭裁判所への推薦を経て「市民後見人」という形で障害のある人の支援をすることができますが、このような活動をしたいと思いますか。(どれか1つに○)

「わからない」が49.3%、「したくない」が36.4%、「したい、または興味がある」が7.6%となっています。

図表 6-19 「市民後見人」で障害者を支援する活動への参加意向



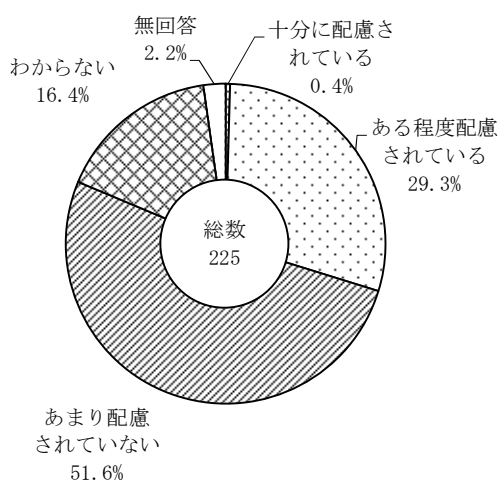
### 【3】船橋市の障害者施策についてうかがいます。

問 12 船橋市の障害者施策に関する次のA～Dのことについて、あなたの考えに近いものを選んでください。(それぞれ1つずつに○)

A) 道路や公園や公共施設は障害のある人のために配慮されて作られていると思いますか。

「あまり配慮されていない」が51.6%で最も多く、「ある程度配慮されている」が29.3%、「わからない」が16.4%で続きます。

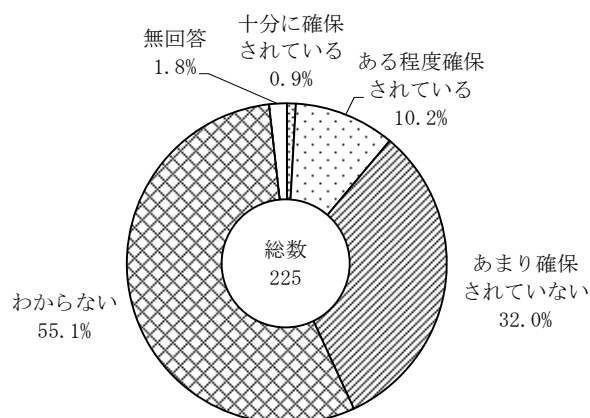
図表 6-20  
A) 道路や公園や公共施設は配慮されて作られていると思いますか



B) 障害者雇用促進法では、民間企業で常時雇用する従業員の2.0%以上の障害者を雇用しなければならないこと（法定雇用率）が規定されています。現在、市内には障害のある人の働く場が確保されていると思いますか。

「わからない」が55.1%で最も多く、「あまり確保されていない」が32.0%、「ある程度確保されている」が10.2%で続きます。

図表 6-21  
B) 現在、市内には障害のある人の働く場が確保されていると思いますか

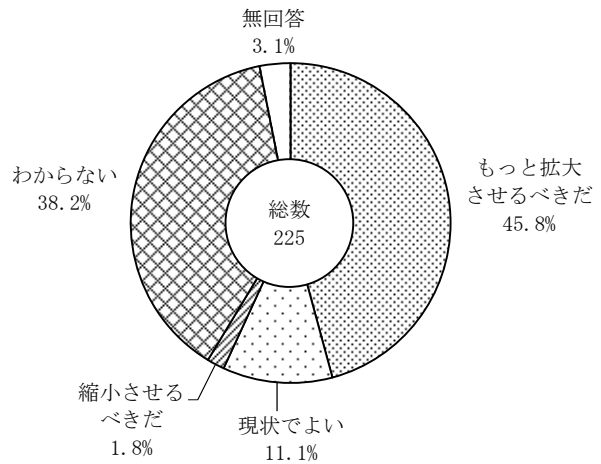


C) 今後、障害のある人の雇用をもっと拡大させる方がよいと思いますか。

「もっと拡大させるべきだ」が45.8%で最も多く、「わからない」が38.2%、「現状でよい」が11.1%で続きます。

図表6-22

C) 今後、障害のある人の雇用をもっと拡大させる方がよいと思いますか

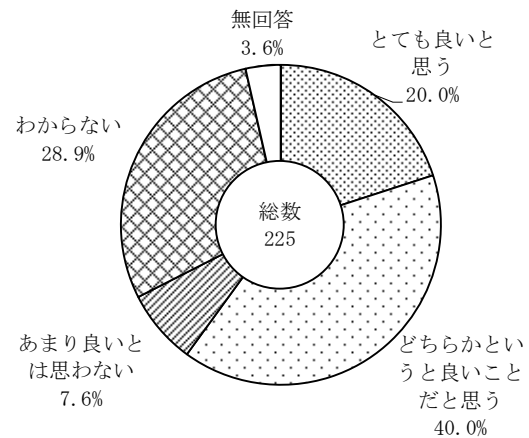


D) もし、あなたの近所に障害のある人のための施設ができるとしたら、どう思いますか。

「どちらかというの良いことだと思う」が40.0%で最も多く、「わからない」が28.9%、「とても良いと思う」が20.0%で続きます。

図表6-23

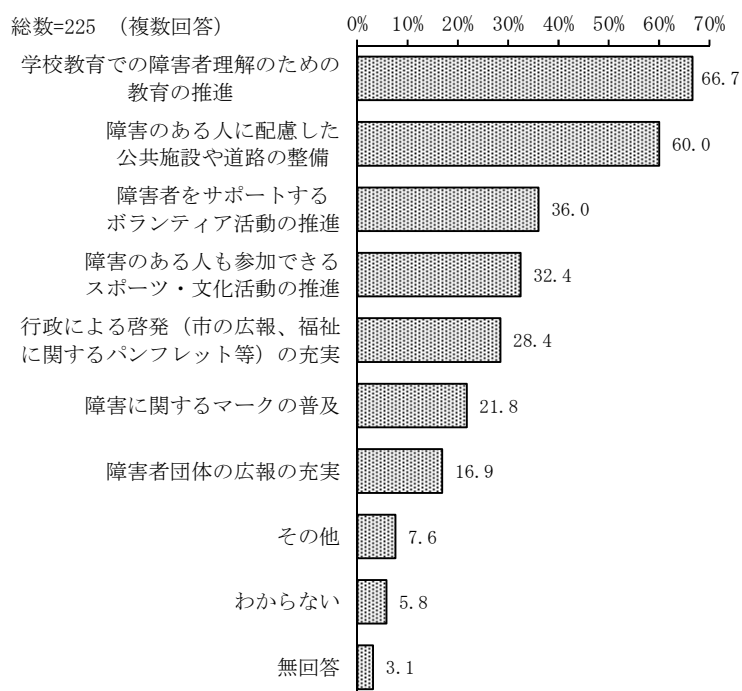
D) あなたの近所に障害のある人のための施設ができるとしたら、どう思いますか



問 13 障害のある人に対する理解をより深めるために、あなたが必要と思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「学校教育での障害者理解のための教育の推進」が66.7%で最も多く、「障害のある人に配慮した公共施設や道路の整備」が60.0%、「障害者をサポートするボランティア活動の推進」が36.0%、「障害のある人も参加できるスポーツ・文化活動の推進」が32.4%で続きます。

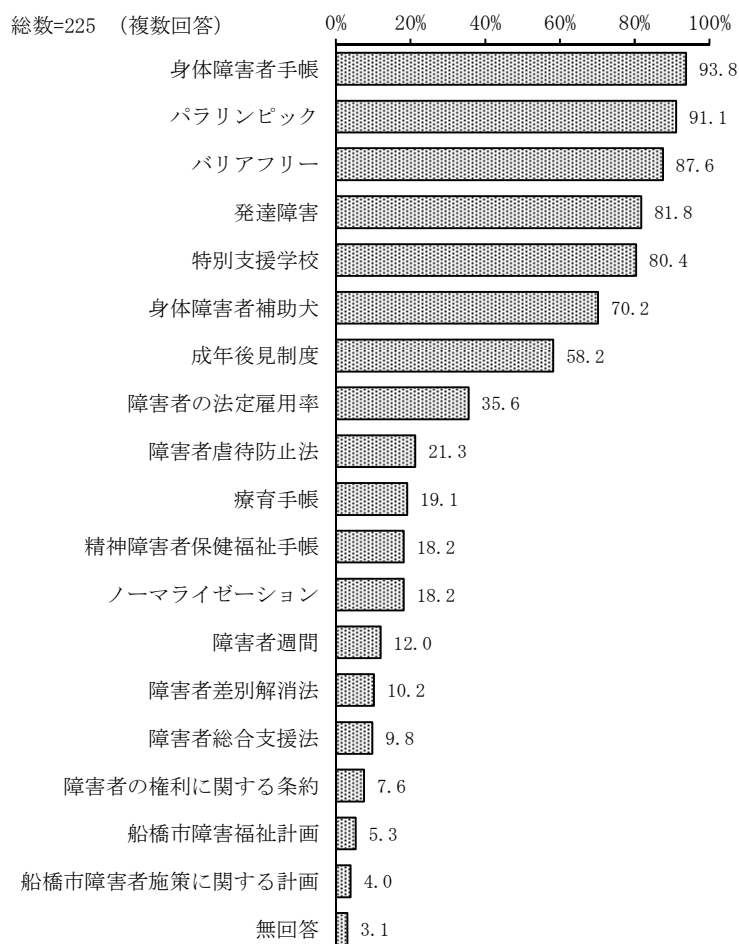
図表 6-24 障害者に対する理解をより深めるために必要と思うこと



問 14 次にあげる障害者施策や福祉施策の用語のうち、あなたが見聞きしたことのあるものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「身体障害者手帳」が93.8%で最も多く、「パラリンピック」が91.1%、「バリアフリー」が87.6%、「発達障害」が81.8%、「特別支援学校」が80.4%で続きます。

図表 6-25 見聞きしたことのある障害者施策や福祉施策の用語

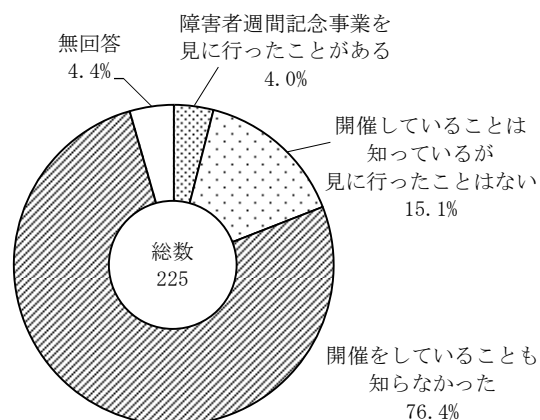




問 15 船橋市では障害者週間（12月3日から9日）の時期に、広く市民も参加できる障害者週間記念事業（作品展、発表会、映画上映等）を開催していますが、このことについてうかがいます。（どれか1つに○）

「開催をしていることも知らなかった」が76.4%、「開催していることは知っているが見に行かなかった」が15.1%、「障害者週間記念事業を見に行っていたことがある」が4.0%となっています。

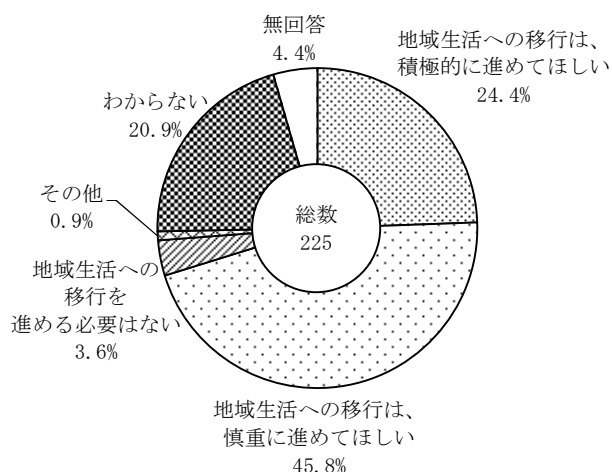
図表 6-26  
障害者週間に行う障害者週間記念事業の認知状況



問 16 市では、「第4期船橋市障害福祉計画」に基づき、現在、福祉施設に入所または病院に入院している障害者で退所・退院が可能な人について、地域生活への移行を支援しています。このことについて、あなたはどのように思いますか。（どれか1つに○）

「地域生活への移行は、慎重に進めてほしい」が45.8%で最も多く、「地域生活への移行は、積極的に進めてほしい」が24.4%、「わからない」が20.9%で続きます。

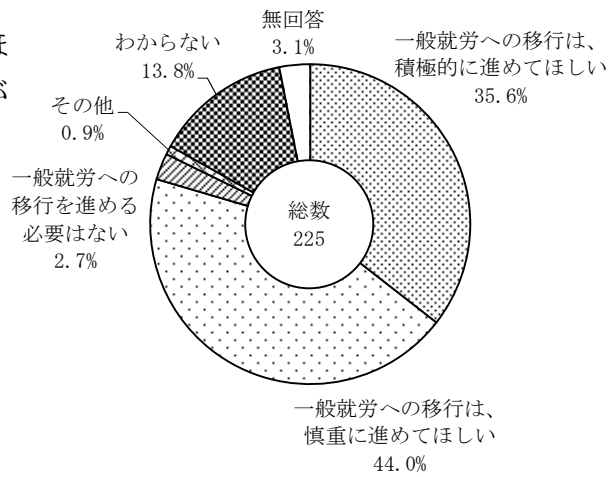
図表 6-27  
入所者・入院者の地域生活移行への考え方



問 17 現在、福祉的就労（障害者の作業所などでの就労）をしている障害者のうち、訓練により一般就労（企業等への就労、在宅での就労）が可能となる人について、市では一般就労への移行を支援しています。このことについて、あなたはどのように思いますか。（どれか1つに○）

「一般就労への移行は、慎重に進めてほしい」が44.0%で最も多く、「一般就労への移行は、積極的に進めてほしい」が35.6%、「わからない」が13.8%で続きます。

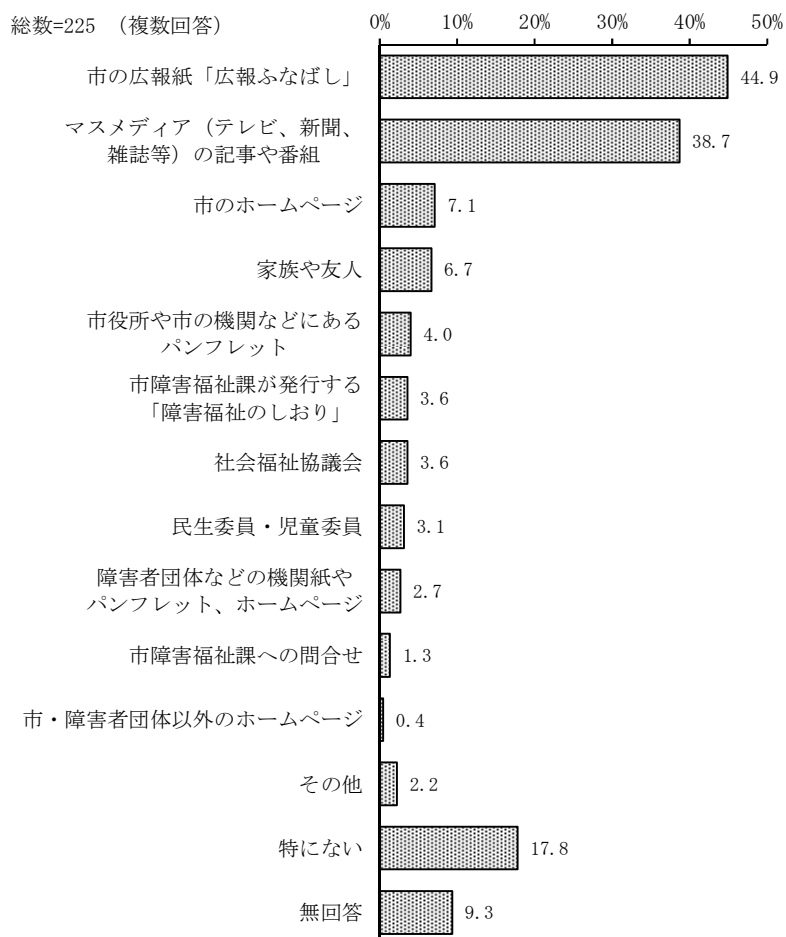
図表 6-28 福祉的就労から一般就労への移行の考え方



問 18 あなたは、障害のある人のための市の福祉サービスの内容について、どのようなところで知ることが多いですか。（主なもの2つまでに○）

「市の広報紙「広報ふなばし」」が44.9%で最も多く、「マスメディア（テレビ、新聞、雑誌等）の記事や番組」が38.7%で続きます。

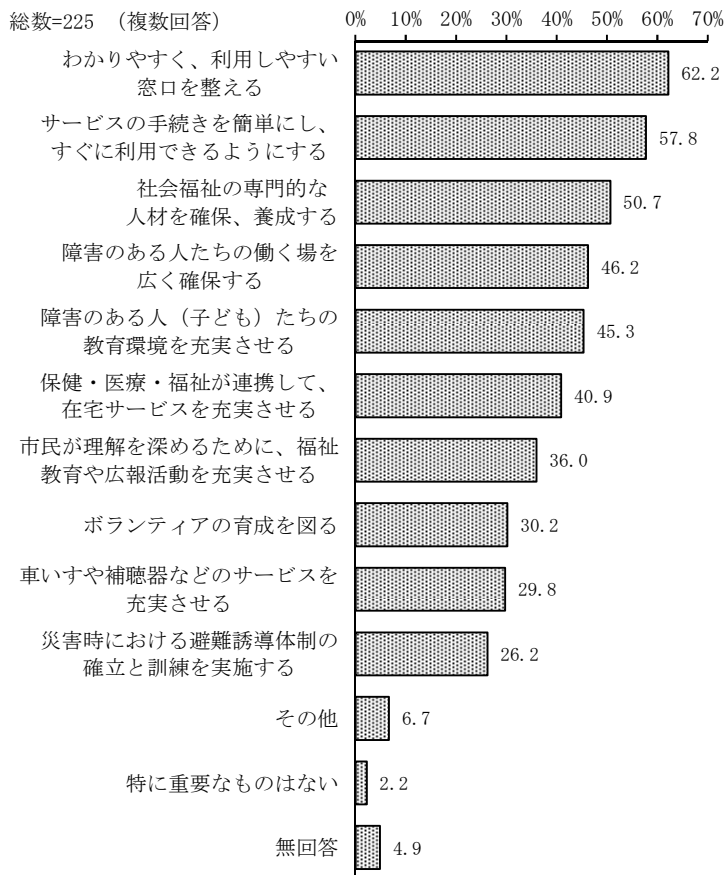
図表 6-29 福祉サービス情報の入手方法



問 19 あなたは、障害のある人にとって住みやすいまちをつくるために、市としてどのような取組が重要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「わかりやすく、利用しやすい窓口を整える」が62.2%で最も多く、「サービスの手続きを簡単にし、すぐに利用できるようにする」が57.8%、「社会福祉の専門的な人材を確保、養成する」が50.7%で続きます。

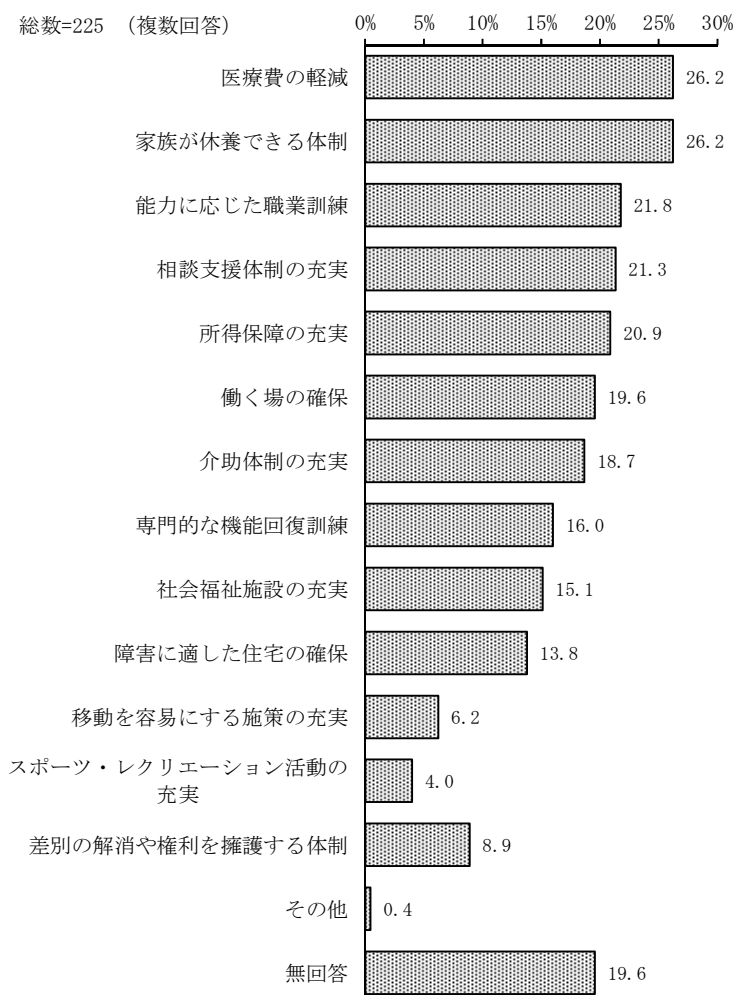
図表 6-30 障害者にとって住みやすいまちをつくるために重要な取組



問20 あなたが今後、必要だと思う障害福祉施策は何ですか。(主なものを3つまでに○)

「医療費の軽減」、「家族が休養できる体制」が26.2%で最も多く、「能力に応じた職業訓練」が21.8%、「相談支援体制の充実」が21.3%、「所得保障の充実」が20.9%で続きます。

図表 6-31 今後必要だと思う障害福祉施策



問 21 船橋市の障害福祉施策についてのご意見、ご希望などを自由にお書きください。

自由回答を記入した回答者は45名です。

回答内容を分類すると、以下の通りとなっています。なお、一人で複数の内容を書かれている場合もあり、合計件数は回答者数を上回ります。

分類	件数	割合
全体	45	100%
啓発・広報	7	15.6%
保健・医療	4	8.9%
教育・雇用・就業	3	6.7%
生活支援・福祉サービス	12	26.7%
生活環境	9	20.0%
その他	15	33.3%

※ ここに掲載したものは回答の一部です。また、大意を変えずに一部を省略・要約している場合があります。

※ 回答者は本人ではなく、代理の人の場合があります。

#### 啓発・広報

- ・施策について、進んでいると思います。ただ、障害は特別ではなく、普通にあること、普通に社会で生活できること、が理想です。施策が進めば進むほど離れていくと感じます。(女性、58歳)
- ・どういう福祉施策があるのか自分も含めて知っている人が少ないと思うのもっと、色々な方法で市民に広めてほしいと思います。(女性、65歳)
- ・リウマチの妻がいます。見た目では分かりにくいいため、公共交通機関で罵声を浴びせられ、悲しい思いをしたことがあります。100～200人に1人と患者数が多い割に、正しい知識が多くの方にはないと感じています。ぜひ、広報誌等での紹介をお願いします。(男性、46歳)

#### 保健・医療

- ・現在、重度の障害者を自宅で介護していますが、医療ケアをしているため、ショートステイ出来る施設が市内にありません。市外の施設も常にいっぱい利用できず、他の施設の利用を勧められています。私が入院する場合、どうすれば良いのか不安になります。既存の病院・施設や新設の病院・施設で医療ケアのショートステイを行っていただけるように進めていただきたいと思います。(女性、50歳)

## 教育・雇用・就業

- ・近所の成人した男性はバス、電車、バスを乗り継いで作業所に行っていますが、働いても月に5000円程度と聞いてます。どの程度の仕事をしているのかも詳しく聞いてはいませんが安いのはびっくりしました。本当に見合ったものなのか分かりませんが。親の収入次第では交通費も出なくなるとか聞いてびっくりしました。親御さんはそれでもお子さんが働きに行くことでほっとはしています。大人となって、行く場所があるだけでも助かるとおっしゃっています。(女性、58歳)
- ・職場の確保。障害者の職場が少ない。以前、工場で約20名の障害者に仕事についてもらって大きな力になっていました。宇都宮の工場でのことで30年前の事です。(男性、80歳)

## 生活支援・福祉サービス

- ・現在、私の家の隣近所では、一人暮らしをしている人がおりますが、お互いにゴミ出しや、どうしておられるか、また、ヘルパーさんが来てくださっているようですので、時々顔を出して、お声をかけたりしております。障害の方にお会いした場合はお声をかけ、挨拶しています。(女性、81歳)
- ・現場では医療・介護の人員が不足しています。より良いサービスの提供、質を向上するためにはそこも問題になってくるのかな？と思います。また、普段あまり関わりのない方々の理解が深まれば社会にも出やすいのかなと感じています。(女性、23歳)
- ・健常者でも困っている方もいるし、障害者でもその程度は一人一人で異なると思うので、きめ細かい対応が出来るようにして、公平、公正な施策となるように考えてほしい。“障害”、“福祉”であれば無策でも税金を使えるような雰囲気にはしてほしくない。(男性、44歳)

## 生活環境

- ・道路が新しく出来ていますが通りにくいです。街中を車椅子で通る方をあまり見かけません。小、中学校までは交流があっても、それ以降接点はなくなります。差別するような考えは子ども達は持ちませんが、大人は理解が足りてないようです。具体的に書き切れません。このアンケートがどの程度役に立つのかも分かりませんが。(女性、44歳)
- ・歩道を松葉杖で歩いたり、自転車等で走ってみても段差、ガタガタ、車道と歩道の段差(自転車で乗り上がるのも危ない)、20年前と大差ないところが多い。車椅子で通るなんて難しい。年老いた人にとっても危ないと思う。障害者のこと思うなら、まず全ての道を歩いてみよう。(女性、61歳)





## 第3部 人口推計

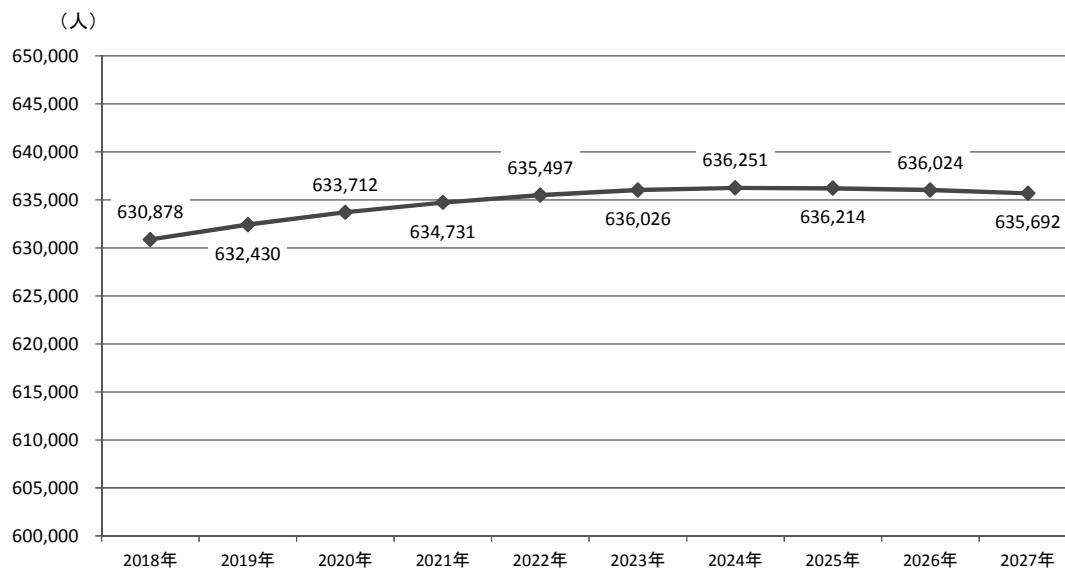


## 1 推計の基礎データ

### (1) 船橋市全体の人口

「船橋市人口ビジョン（平成28年3月）」による各年4月1日の船橋市全体の人口推計は以下の通りです。

図表 推計-1 船橋市全体の人口推計



## 2 推計結果

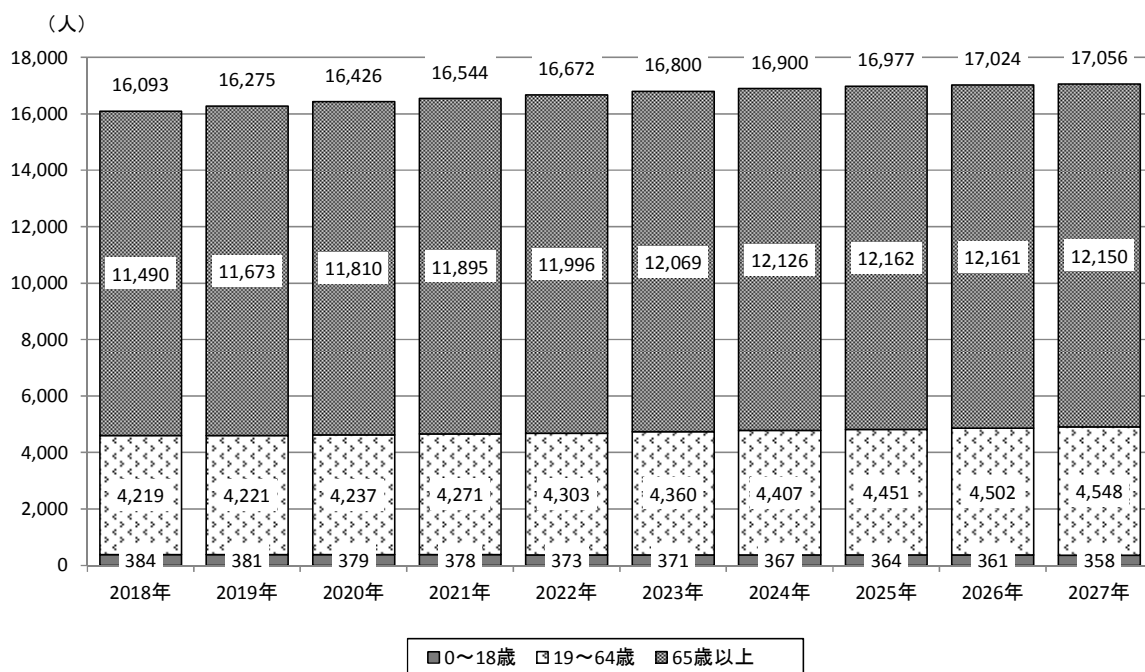
障害者の人口推計は、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、精神通院受給者証の所持者数及び増加率をもとに、船橋市全人口に占める各障害者の年齢別、障害種・等級別の人数割合により各年4月1日のそれぞれの数を推計しました。

### (1) 身体障害者手帳所持者の推計値

身体障害者手帳所持者は2018年には16,093人ですが、2027年には17,056人と推計されます。

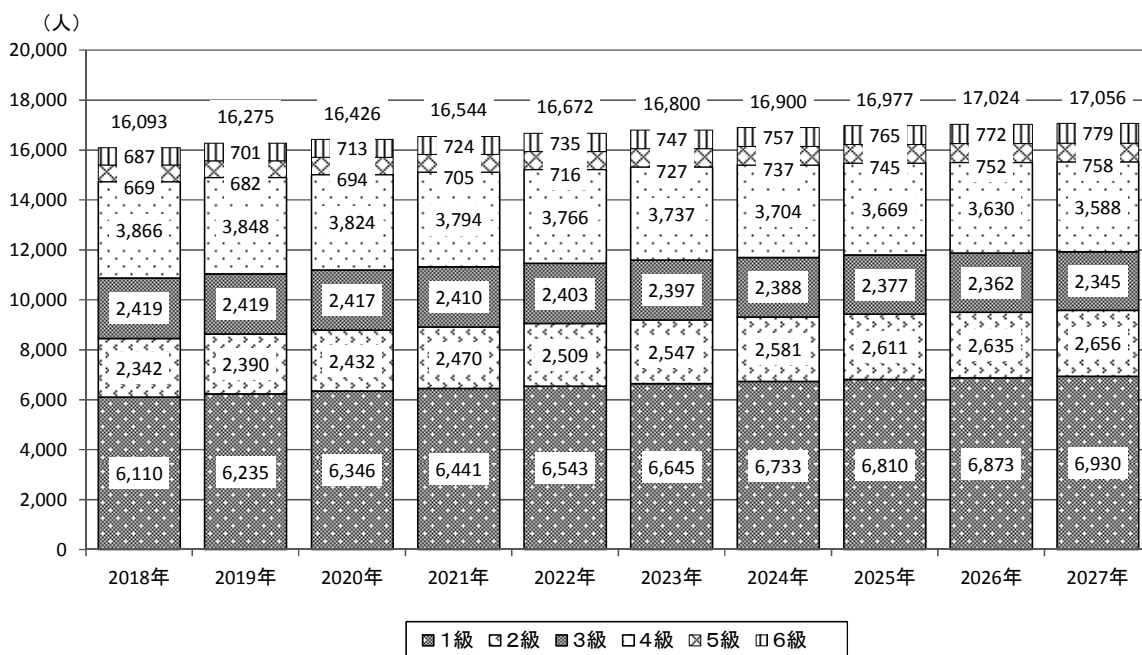
#### 【身体障害者手帳所持者数（全体）の推計】

図表 推計－2 身体障害者手帳所持者数推計（全体）



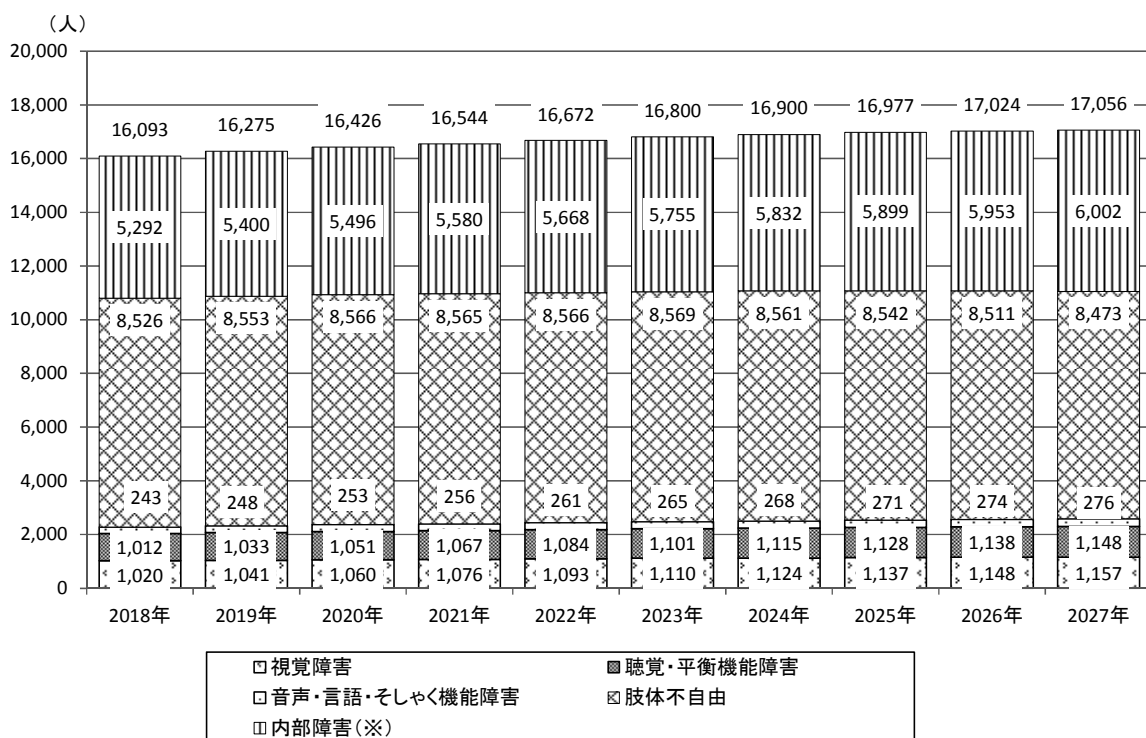
【身体障害者手帳所持者数（等級別）の推計】

図表 推計 - 3 身体障害者手帳所持者数推計（等級別）



【身体障害者手帳所持者数（部位別）の推計】

図表 推計 - 4 身体障害者手帳所持者数推計（部位別）



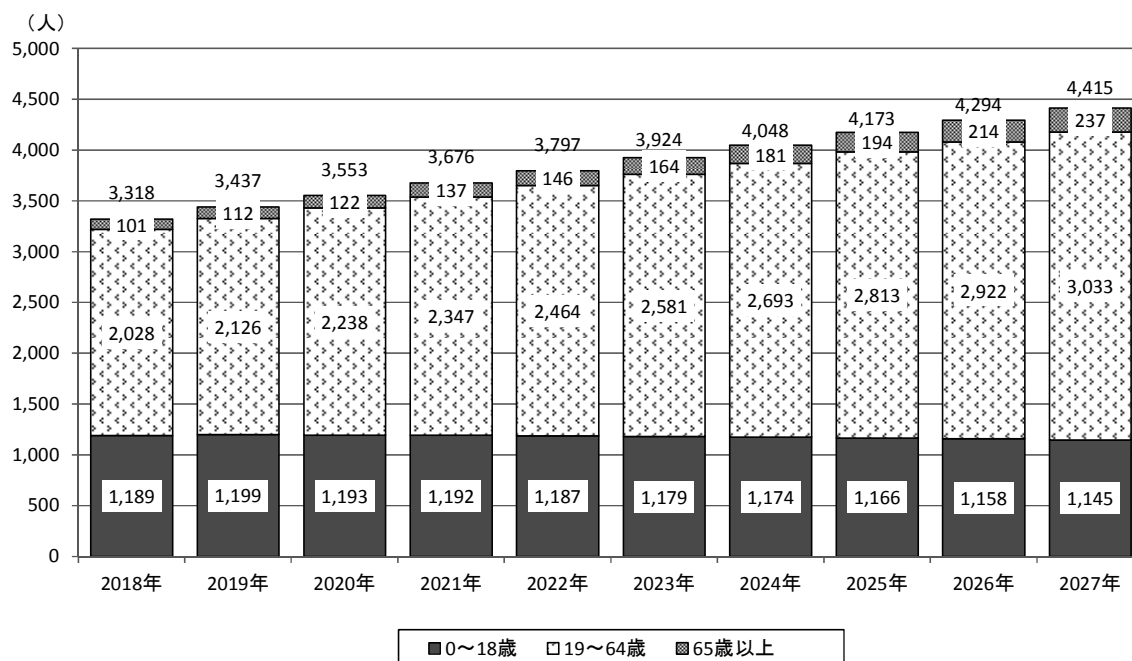
※ 「内部障害」は、心臓機能障害、じん臓機能障害、呼吸器機能障害、ぼうこう又は直腸の機能障害、小腸機能障害、免疫機能障害、肝臓機能障害の合計

(2) 療育手帳所持者の推計値

療育手帳所持者は2018年には3,318人ですが、2027年には4,415人と推計されます。

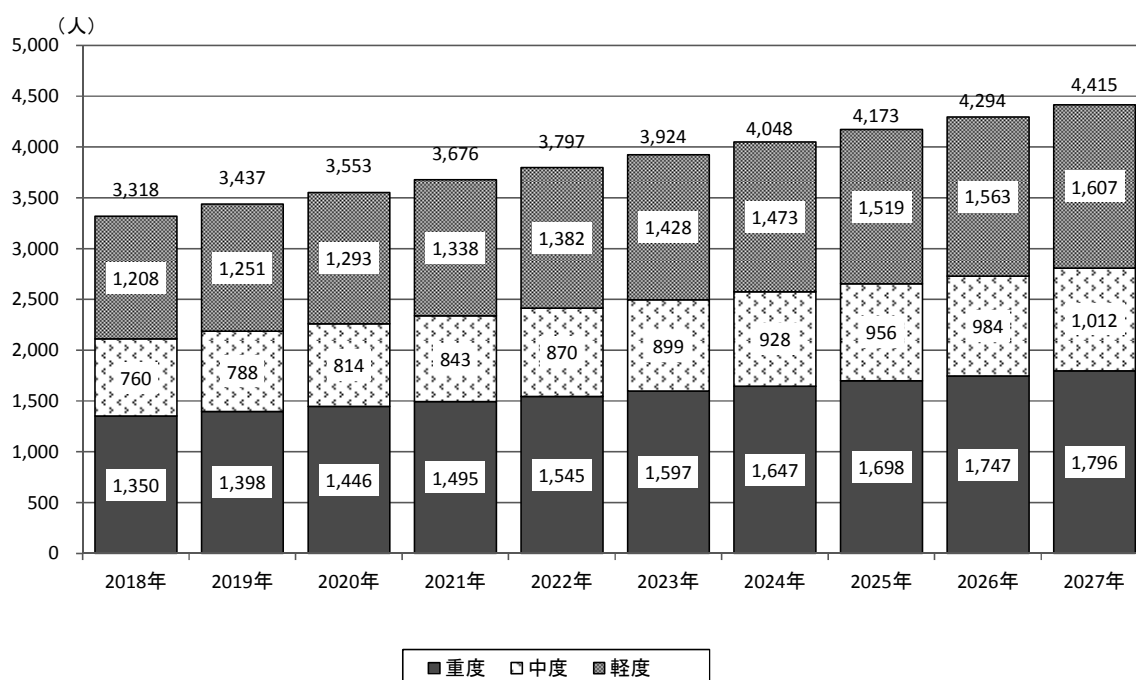
【療育手帳所持者数（全体）の推計】

図表 推計-5 療育手帳所持者数推計（全体）



【療育手帳所持者数（程度別）の推計】

図表 推計-6 療育手帳所持者数推計（程度別）

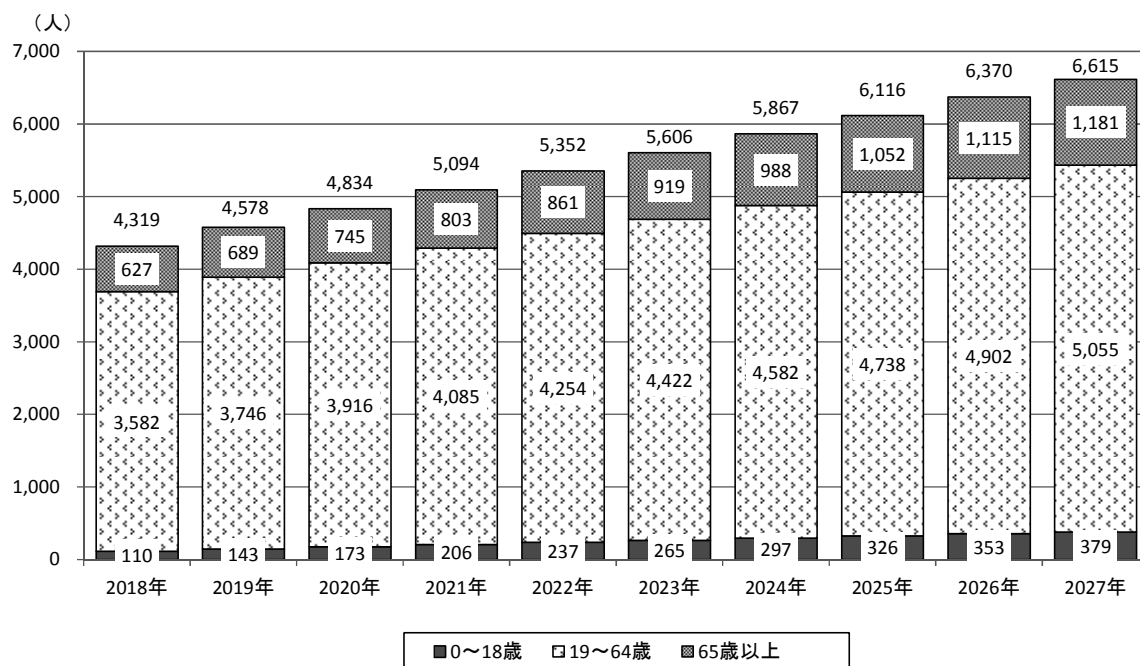


(3) 精神障害者保健福祉手帳所持者の推計値

精神障害者保健福祉手帳所持者は 2018 年には 4,319 人ですが、2027 年には 6,615 人と推計されます。

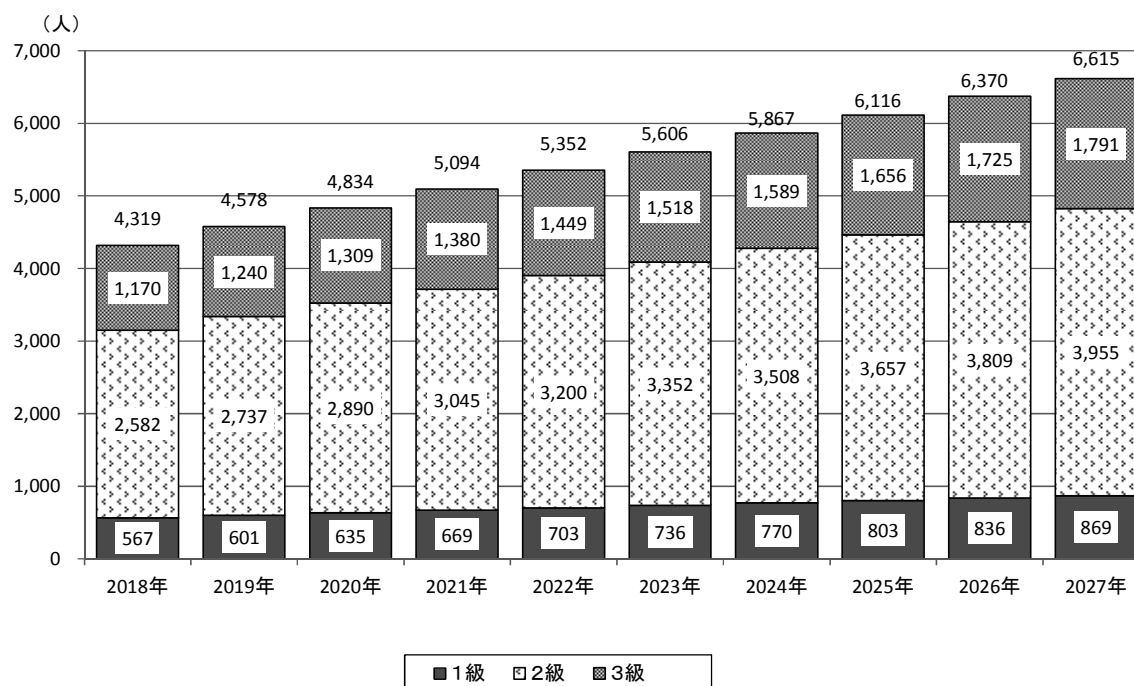
【精神障害者保健福祉手帳所持者数（全体）の推計】

図表 推計 - 7 精神障害者保健福祉手帳所持者数推計（全体）



【精神障害者保健福祉手帳所持者数（等級別）の推計】

図表 推計 - 8 精神障害者保健福祉手帳所持者数推計（等級別）

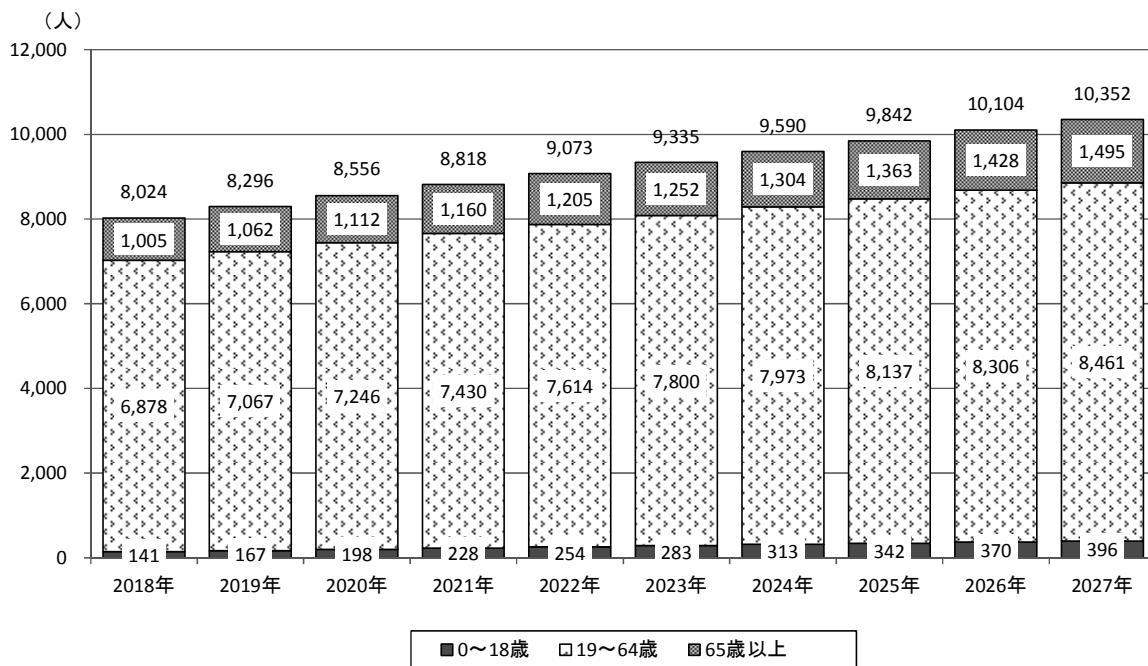


(4) 精神通院受給者証所持者の推計値

精神通院受給者証所持者は2018年には8,024人ですが、2027年には10,352人と推計されます。

【精神通院受給者証所持者数（全体）の推計】

図表 推計-9 精神通院受給者証所持者数推計（全体）





船橋市障害福祉施策に関する意識調査報告書

平成 30 年 1 月発行

船橋市健康福祉局福祉サービス部障害福祉課  
〒273-8501 千葉県船橋市湊町 2-10-25  
電話：047-436-2307 F A X：047-433-5566